

平成 23 年度

肝炎検査受検状況実態把握事業  
事業成果報告書

平成 24 年3月

株式会社 サーベイリサーチセンター



# 目次

I. 概要	1
1. 調査目的と方法	1
2. 結果と考察	1
3. まとめ	5
II. 本編	7
1. 事業の背景と目的	7
2. 調査実施の概要	7
2-1. 事業の期間	7
2-2. 対象	8
2-3. 実施体制	9
2-4. 調査概要	10
2-5. 国民調査における発送時・回収時のサンプル属性について	14
2-6. 国民調査における標本誤差について	15
2-7. 調査結果に関する注意事項と説明	16
3. 調査結果：国民調査	17
3-1. 回答者属性	17
3-2. 肝炎ウイルス検査に関係がありそうな既往歴	32
3-3. 肝炎ウイルス検査の受検状況	43
3-4. 肝炎ウイルス検査の認知状況	76
4. 調査結果：保険者調査	94
4-1. 保険者の基本情報	94
4-2. 保険者としての肝炎ウイルス検査の実施状況	96
4-3. 肝炎ウイルス検査に関する普及啓発、受検勧奨の実施状況	147
5. 調査結果：自治体調査	149
5-1. 自治体における肝炎対策推進にかかる計画・指針等の策定状況	149
5-2. 自治体の肝炎ウイルス検査に関する予算	152
5-3. 肝炎ウイルス検査の実績	156
5-4. 肝炎ウイルス検査に関する普及啓発、受検勧奨の実施状況	202
6. 結果の特徴	204
6-1. 肝炎検査の受検状況	204
6-2. 自己申告受検者の状況	227
6-3. 非認識受検者の状況	260
6-4. 市町村事業における重複受検	281
6-5. 未受検者の実態	292
6-6. 現在の各種施策の効果	303

Ⅲ. 資料	319
1. 国民調査__調査資料	319
1-1. 実査資料	319
1-2. 調査準備資料	337
2. 保険者調査__調査資料	339
2-1. 実査資料	339
3. 自治体調査__調査資料	351
3-1. 実査資料	351

# 図 表 目 次

I. 概要.....	1
表 1-1-1 調査概要.....	1
II. 本編 2. 調査実施の概要.....	7
図 2-1-1 事業全体スケジュール.....	7
表 2-4-1 調査地点一覧.....	10
表 2-4-2 国民調査 地域ブロック別回収率一覧.....	13
表 2-4-3 自治体調査 地域ブロック別回収率一覧.....	13
表 2-4-4 国民調査 地点抽出の際に除外した市町村一覧.....	13
図 2-5-1 発送時一回収時のサンプル属性.....	14
表 2-6-1 国民調査 主要属性における標本誤差一覧.....	15
表 2-7-1 $\chi^2$ 検定に関する指標について.....	16
II. 本編 3. 調査結果：国民調査.....	17
図 3-1-1-1 性別.....	17
図 3-1-1-2 【地域ブロック別】性別.....	17
図 3-1-1-3 【職業別】性別.....	18
表 3-1-1-1 【年代・地域ブロック・職業別】性別 クロス表.....	18
図 3-1-2-1 年齢.....	19
図 3-1-2-2 【性別】年齢.....	19
図 3-1-2-3 【地域ブロック別】年齢.....	20
図 3-1-2-4 【職業別】年齢.....	20
表 3-1-2-1 【性・地域ブロック・職業別】年齢 クロス集計表.....	21
図 3-1-3-1 地域ブロック.....	22
図 3-1-3-2 【性別】地域ブロック.....	22
図 3-1-3-3 【職業別】地域ブロック.....	23
表 3-1-3-1 【性・年代・職業別】地域ブロック クロス集計表.....	23
図 3-1-3-4 人口規模.....	24
図 3-1-3-5 【性別】人口規模.....	24
図 3-1-3-6 【地域ブロック別】人口規模.....	25
図 3-1-3-7 【職業別】人口規模.....	25
表 3-1-3-2 【性・年代・地域ブロック・職業別】人口規模 クロス集計表.....	26
図 3-1-4-1 職業.....	27
表 3-1-4-1 【性・年代・地域ブロック別】職業 クロス集計表.....	28
図 3-1-5-1 加入健康保険種別.....	29

図 3-1-5- 2 【年代別】加入健康保険種別.....	29
図 3-1-5- 3 【地域ブロック別】加入健康保険種別.....	30
表 3-1-5- 1 【性・年代・地域ブロック・職業別】加入健康保険種別 クロス集計表.....	31
図 3-2- 1 大きな外科手術の経験.....	32
図 3-2- 2 大きな外科手術の経験時期.....	32
図 3-2- 3 【性別】大きな外科手術の経験.....	33
図 3-2- 4 【年代別】大きな外科手術の経験.....	33
図 3-2- 5 【地域ブロック別】大きな外科手術の経験.....	34
表 3-2- 1 【性・年代・地域ブロック別】大きな外科手術の経験 クロス集計表.....	35
図 3-2- 6 妊娠・出産の経験.....	36
図 3-2- 7 妊娠・出産の経験時期.....	36
図 3-2- 8 【年代別】妊娠・出産の経験.....	37
図 3-2- 9 【地域ブロック別】妊娠・出産の経験.....	37
表 3-2- 2 【年代・地域ブロック別】妊娠・出産の経験 クロス集計表.....	38
図 3-2- 10 献血の経験.....	39
図 3-2- 11 献血の経験時期.....	39
図 3-2- 12 【性別】献血の経験.....	40
図 3-2- 13 【年代別】献血の経験.....	40
図 3-2- 14 【地域ブロック別】献血の経験.....	41
表 3-2- 3 【性・年代・地域ブロック別】献血の経験 クロス集計表.....	42
図 3-3- 1 肝炎ウイルス検査の受検状況.....	43
図 3-3- 2 【性別】肝炎ウイルス検査の受検状況.....	43
図 3-3- 3 【年代別】肝炎ウイルス検査の受検状況.....	44
図 3-3- 4 【地域ブロック別】肝炎ウイルス検査の受検状況.....	44
図 3-3- 5 【加入健康保険別】肝炎ウイルス検査の受検状況.....	45
表 3-3- 1 【性・年代・地域ブロック・加入健康保険別】肝炎ウイルス検査の受検状況 クロス集計表.....	46
図 3-3- 6 肝炎ウイルス検査を受検した経緯.....	47
表 3-3- 2 【性・年代・地域ブロック・加入健康保険別】肝炎ウイルス検査を受検した経緯 クロス集計表.....	49
図 3-3- 7 肝炎ウイルス検査を受検した場所.....	50
表 3-3- 3 【性・年代・地域ブロック・加入健康保険別】肝炎ウイルス検査を受検した場所 クロス集計表.....	51
図 3-3- 8 肝炎ウイルス検査を2回以上受検した理由.....	52
図 3-3- 9 【性別】肝炎ウイルス検査を2回以上受検した理由.....	52
図 3-3- 10 【年代別】肝炎ウイルス検査を2回以上受検した理由.....	53
図 3-3- 11 【地域ブロック別】肝炎ウイルス検査を2回以上受検した理由.....	53
表 3-3- 4 【性・年代・地域ブロック・加入健康保険別】肝炎ウイルス検査を2回以上受検した理由 クロス集計表.....	54
図 3-3- 12 受検した検査の種類.....	55
図 3-3- 13 【性別】受検した検査の種類.....	55

図 3-3- 14 【年代別】受検した検査の種類	56
図 3-3- 15 【地域ブロック別】受検した検査の種類	56
表 3-3- 5 【性・年代・地域ブロック・加入健康保険別】受検した検査の種類 クロス集計表	57
図 3-3- 16 検査結果の認知	58
図 3-3- 17 【性別】検査結果の認知	58
図 3-3- 18 【年代別】検査結果の認知	59
図 3-3- 19 【地域ブロック別】検査結果の認知	59
表 3-3- 6 【性・年代・地域ブロック・加入健康保険別】検査結果の認知 クロス集計表	60
図 3-3- 20 検査結果	61
図 3-3- 21 【性別】検査結果	61
図 3-3- 22 【年代別】検査結果	62
図 3-3- 23 【地域ブロック別】検査結果	62
表 3-3- 7 【性・年代・地域ブロック・加入健康保険別】検査結果 クロス集計表	63
図 3-3- 24 医療機関の受診	64
図 3-3- 25 【性別】医療機関の受診	64
図 3-3- 26 【年代別】医療機関の受診	65
図 3-3- 27 【地域ブロック別】医療機関の受診	66
表 3-3- 8 【性・年代・地域ブロック・加入健康保険別】医療機関の受診 クロス集計表	67
図 3-3- 28 検査を受けていない理由	68
表 3-3- 9 【性・年代・地域ブロック・加入健康保険別】検査を受けていない理由 クロス集計表	69
図 3-3- 29 今後の受検意向	70
図 3-3- 30 【性別】今後の受検意向	70
図 3-3- 31 【年代別】今後の受検意向	71
図 3-3- 32 【地域ブロック別】今後の受検意向	71
表 3-3- 10 【性・年代・地域ブロック・加入健康保険別】今後の受検意向 クロス集計表	72
図 3-3- 33 今後受検する場合の行政施策の希望	73
表 3-3- 11 【性・年代・地域ブロック・加入健康保険別】今後受検する場合の行政施策の希望 クロス集計表	75
図 3-4- 1 B型肝炎の認知	76
図 3-4- 2 【性別】B型肝炎の認知	76
図 3-4- 3 【年代別】B型肝炎の認知	77
図 3-4- 4 【地域ブロック別】 B型肝炎の認知	77
表 3-4- 1 【性・年代・地域ブロック・職業別】B型肝炎の認知 クロス集計表	78
図 3-4- 5 C型肝炎の認知	79
図 3-4- 6 【性別】C型肝炎の認知	79
図 3-4- 7 【年代別】C型肝炎の認知	80
図 3-4- 8 【地域ブロック別】C型肝炎の認知	80
表 3-4- 2 【性・年代・地域ブロック・職業別】C型肝炎の認知 クロス集計表	81
図 3-4- 9 肝炎ウイルス検査の普及啓発に向けた取組みの認知	82

表 3-4-3 【性・年代・地域ブロック・加入健康保険別】肝炎ウイルス検査の普及啓発に向けた取組みの認知	84
図 3-4-10 【性・年代別】肝炎ウイルス検査の普及啓発に向けた取組みの施策の認知率	85
図 3-4-11 【地域ブロック・加入健康保険別】肝炎ウイルス検査の普及啓発に向けた取組みの施策の認知率	86
表 3-4-4 【性・年代・地域ブロック・加入健康保険別】肝炎ウイルス検査の普及啓発に向けた取組みの施策の認知率	87
図 3-4-12 肝炎ウイルス検査未受検者への無料検査実施の認知	88
図 3-4-13 【性別】肝炎ウイルス検査未受検者への無料検査実施の認知	88
図 3-4-14 【年代別】肝炎ウイルス検査未受検者への無料検査実施の認知	89
図 3-4-15 【地域ブロック別】肝炎ウイルス検査未受検者への無料検査実施の認知	89
表 3-4-5 【性・年代・地域ブロック・加入健康保険別】肝炎ウイルス検査未受検者への無料検査実施の認知 クロス集計表	90
図 3-4-16 要インターフェロン治療者への治療費一部公費補助の認知	91
図 3-4-17 【性別】要インターフェロン治療者への治療費一部公費補助の認知	91
図 3-4-18 【年代別】要インターフェロン治療者への治療費一部公費補助の認知	92
図 3-4-19 【地域ブロック別】要インターフェロン治療者への治療費一部公費補助の認知	92
表 3-4-6 【性・年代・地域ブロック・加入健康保険別】要インターフェロン治療者への治療費一部公費補助の認知 クロス集計表	93
II. 本編 4. 調査結果:保険者調査	94
図 4-1-1 組合における保険適用者総数	94
表 4-1-1 組合における保険適用者総数	95
図 4-2-1 組合におけるB型肝炎ウイルス検査の実施体制(1)被保険者	96
表 4-2-1 組合におけるB型肝炎ウイルス検査の実施体制(1)被保険者	97
図 4-2-2 B型肝炎ウイルス検査の自己負担(1)被保険者	98
表 4-2-2 B型肝炎ウイルス検査の自己負担(1)被保険者	98
図 4-2-3 組合におけるB型肝炎ウイルス検査の実施体制(2)被扶養者	99
表 4-2-3 組合におけるB型肝炎ウイルス検査の実施体制(2)被扶養者	99
図 4-2-4 B型肝炎ウイルス検査の自己負担(2)被扶養者	100
表 4-2-4 B型肝炎ウイルス検査の自己負担(2)被扶養者	100
図 4-2-5 B型肝炎ウイルス検査を実施している経緯(1)被保険者	101
表 4-2-5 B型肝炎ウイルス検査を実施している経緯(1)被保険者	102
図 4-2-6 B型肝炎ウイルス検査を実施している経緯(2)被扶養者	103
表 4-2-6 B型肝炎ウイルス検査を実施している経緯(2)被扶養者	104
図 4-2-7 B型肝炎ウイルス検査を実施していない理由(1)被保険者	105
表 4-2-7 B型肝炎ウイルス検査を実施していない理由(1)被保険者	106
図 4-2-8 B型肝炎ウイルス検査を実施していない理由(2)被扶養者	107
表 4-2-8 B型肝炎ウイルス検査を実施していない理由(2)被扶養者	108
図 4-2-9 組合におけるC型肝炎ウイルス検査の実施体制(1)被保険者	109
表 4-2-9 組合におけるC型肝炎ウイルス検査の実施体制(1)被保険者	110
図 4-2-10 C型肝炎ウイルス検査の自己負担(1)被保険者	111
表 4-2-10 C型肝炎ウイルス検査の自己負担(1)被保険者	111

図 4-2- 11	組合におけるC型肝炎ウイルス検査の実施体制(2)被扶養者	112
表 4-2- 11	組合におけるC型肝炎ウイルス検査の実施体制(2)被扶養者	112
図 4-2- 12	C型肝炎ウイルス検査の自己負担(2)被扶養者	113
表 4-2- 12	C型肝炎ウイルス検査の自己負担(2)被扶養者	113
図 4-2- 13	C型肝炎ウイルス検査を実施している経緯(1)被保険者	114
表 4-2- 13	C型肝炎ウイルス検査を実施している経緯(1)被保険者	115
図 4-2- 14	C型肝炎ウイルス検査を実施している経緯(2)被扶養者	116
表 4-2- 14	C型肝炎ウイルス検査を実施している経緯(2)被扶養者	117
図 4-2- 15	C型肝炎ウイルス検査を実施していない理由(1)被保険者	118
表 4-2- 15	C型肝炎ウイルス検査を実施していない理由(1)被保険者	119
図 4-2- 16	C型肝炎ウイルス検査を実施していない理由(2)被扶養者	120
表 4-2- 16	C型肝炎ウイルス検査を実施していない理由(2)被扶養者	121
図 4-2- 17	最近5年間の組合におけるB型肝炎ウイルス検査の実績(1)被保険者	122
表 4-2- 17	最近5年間の組合におけるB型肝炎ウイルス検査の実績(1)被保険者	123
表 4-2- 18	組合の被保険者(男女計)の規模別 平成22年度におけるB型肝炎ウイルス検査の実績(1)被保険者	124
表 4-2- 19	組合の被保険者(男女計)の規模別 平成22年度におけるB型肝炎ウイルス検査の受検率(1)被保険者	125
図 4-2- 18	最近5年間の組合におけるB型肝炎ウイルス検査の実績(2)被扶養者	126
表 4-2- 20	最近5年間の組合におけるB型肝炎ウイルス検査の実績(2)被扶養者	127
表 4-2- 21	組合の被保険者(男女計)の規模別 平成22年度におけるB型肝炎ウイルス検査の実績(2)被扶養者	128
表 4-2- 22	組合の被保険者(男女計)の規模別 平成22年度におけるB型肝炎ウイルス検査の受検率(2)被扶養者	129
図 4-2- 19	最近5年間の組合におけるC型肝炎ウイルス検査の実績(1)被保険者	130
表 4-2- 23	最近5年間の組合におけるC型肝炎ウイルス検査の実績(1)被保険者	131
表 4-2- 24	組合の被保険者(男女計)の規模別 平成22年度におけるC型肝炎ウイルス検査の実績(1)被保険者	132
表 4-2- 25	組合の被保険者(男女計)の規模別 平成22年度におけるC型肝炎ウイルス検査の受検率(1)被保険者	133
図 4-2- 20	最近5年間の組合におけるC型肝炎ウイルス検査の実績(2)被扶養者	134
表 4-2- 26	最近5年間の組合におけるC型肝炎ウイルス検査の実績(2)被扶養者	135
表 4-2- 27	組合の被保険者(男女計)の規模別 平成22年度におけるC型肝炎ウイルス検査の実績(2)被扶養者	136
表 4-2- 28	組合の被保険者(男女計)の規模別 平成22年度におけるC型肝炎ウイルス検査の受検率(2)被扶養者	137
図 4-2- 21	※B型・C型検査を同時に実施	138
図 4-2- 22	最近5年間の組合におけるB型C型(同時)肝炎ウイルス検査の実績(1)被保険者	138
表 4-2- 29	最近5年間の組合におけるB型C型(同時)肝炎ウイルス検査の実績(1)被保険者	139
表 4-2- 30	組合の被保険者(男女計)の規模別 平成22年度におけるB型C型(同時)肝炎検査の実績(1)被保険者	140
表 4-2- 31	組合の被保険者(男女計)の規模別 平成22年度におけるB型C型(同時)肝炎検査の受検率(1)被保険者	141
図 4-2- 23	最近5年間の組合におけるB型C型(同時)肝炎ウイルス検査の実績(2)被扶養者	142
表 4-2- 32	最近5年間の組合におけるB型C型(同時)肝炎ウイルス検査の実績(2)被扶養者	143
表 4-2- 33	組合の被保険者(男女計)の規模別 平成22年度におけるB型C型(同時)肝炎検査の実績(2)被扶養者	144
表 4-2- 34	組合の被保険者(男女計)の規模別 平成22年度におけるB型C型(同時)肝炎検査の受検率(2)被扶養者	145
図 4-2- 24	肝炎ウイルス検査を同一人物が複数回受検しているかどうかについて確認をしていますか	146

表 4-2- 35	肝炎ウイルス検査を同一人物が複数回受検しているかどうかについて確認をしていますか	146
図 4-2- 25	肝炎ウイルス検査に関する普及啓発、受検勧奨の実施状況について	147
表 4-2- 36	肝炎ウイルス検査に関する普及啓発、受検勧奨の実施状況について	148
II. 本編 5.	調査結果:自治体調査	149
図 5-1- 1	肝炎対策推進にかかる計画・指針等の策定状況について	149
図 5-1- 2	策定(予定)年月	149
表 5-1- 1	肝炎対策推進にかかる計画・指針等の策定状況について クロス集計表	150
表 5-1- 2	策定(予定)年月 クロス集計表	150
図 5-1- 3	肝炎ウイルス検査の受検促進を盛り込んだその他の計画・指針等がありますか	151
表 5-1- 3	肝炎ウイルス検査の受検促進を盛り込んだその他の計画・指針等がありますか クロス集計表	151
図 5-2- 1	自治体の肝炎ウイルス検査に関する予算について【肝炎ウイルス検査費用】	152
表 5-2- 1	自治体の肝炎ウイルス検査に関する予算について【肝炎ウイルス検査費用】	152
表 5-2- 2	自治体の肝炎ウイルス検査に関する予算について【肝炎ウイルス検査費用】 クロス集計表	153
図 5-2- 2	自治体の肝炎ウイルス検査に関する予算について【肝炎ウイルス検査にかかる広報・啓発費用】	154
表 5-2- 3	自治体の肝炎ウイルス検査に関する予算について【肝炎ウイルス検査にかかる広報・啓発費用】	154
表 5-2- 4	自治体の肝炎ウイルス検査に関する予算について【肝炎ウイルス検査にかかる広報・啓発費用】 クロス集計表	155
図 5-3- 1	委託医療機関における出張型の検査の実績がありますか(平成 22 年度)	156
表 5-3- 1	委託医療機関における出張型の検査の実績がありますか(平成 22 年度) クロス集計表	157
表 5-3- 2	委託医療機関における出張型の検査の実績の件数 クロス集計表	157
図 5-3- 2	B型肝炎ウイルス検査の実績/健康増進法に基づく肝炎ウイルス検査【対象者】	158
表 5-3- 3	B型肝炎ウイルス検査の実績/健康増進法に基づく肝炎ウイルス検査【対象者】	158
表 5-3- 4	B型肝炎ウイルス検査の実績/健康増進法に基づく肝炎ウイルス検査【対象者】 クロス集計表	159
図 5-3- 3	B型肝炎ウイルス検査の実績/健康増進法に基づく肝炎ウイルス検査【受検者】	161
表 5-3- 5	B型肝炎ウイルス検査の実績/健康増進法に基づく肝炎ウイルス検査【受検者】	161
表 5-3- 6	B型肝炎ウイルス検査の実績/健康増進法に基づく肝炎ウイルス検査【受検者】	162
図 5-3- 4	B型肝炎ウイルス検査の実績/健康増進法に基づく肝炎ウイルス検査【うち陽性者】	164
表 5-3- 7	B型肝炎ウイルス検査の実績/健康増進法に基づく肝炎ウイルス検査【うち陽性者】	164
表 5-3- 8	B型肝炎ウイルス検査の実績/健康増進法に基づく肝炎ウイルス検査【うち陽性者】 クロス集計表	165
図 5-3- 5	B型肝炎ウイルス検査の実績/健康増進法に基づく肝炎ウイルス検査【受検者】	167
表 5-3- 9	B型肝炎ウイルス検査の実績/健康増進法に基づく肝炎ウイルス検査【受検者】	167
表 5-3- 10	B型肝炎ウイルス検査の実績/健康増進法に基づく肝炎ウイルス検査【受検者】 クロス集計表	168
図 5-3- 6	B型肝炎ウイルス検査の実績/健康増進法に基づく肝炎ウイルス検査【うち陽性者】	170
表 5-3- 11	B型肝炎ウイルス検査の実績/健康増進法に基づく肝炎ウイルス検査【うち陽性者】	170
表 5-3- 12	B型肝炎ウイルス検査の実績/健康増進法に基づく肝炎ウイルス検査【うち陽性者】 クロス集計表	171
図 5-3- 7	B型肝炎ウイルス検査の実績/市町村独自検診(若年者等)【受検者】	173
表 5-3- 13	B型肝炎ウイルス検査の実績/市町村独自検診(若年者等)【受検者】	173
表 5-3- 14	B型肝炎ウイルス検査の実績/市町村独自検診(若年者等)【受検者】 クロス集計表	174

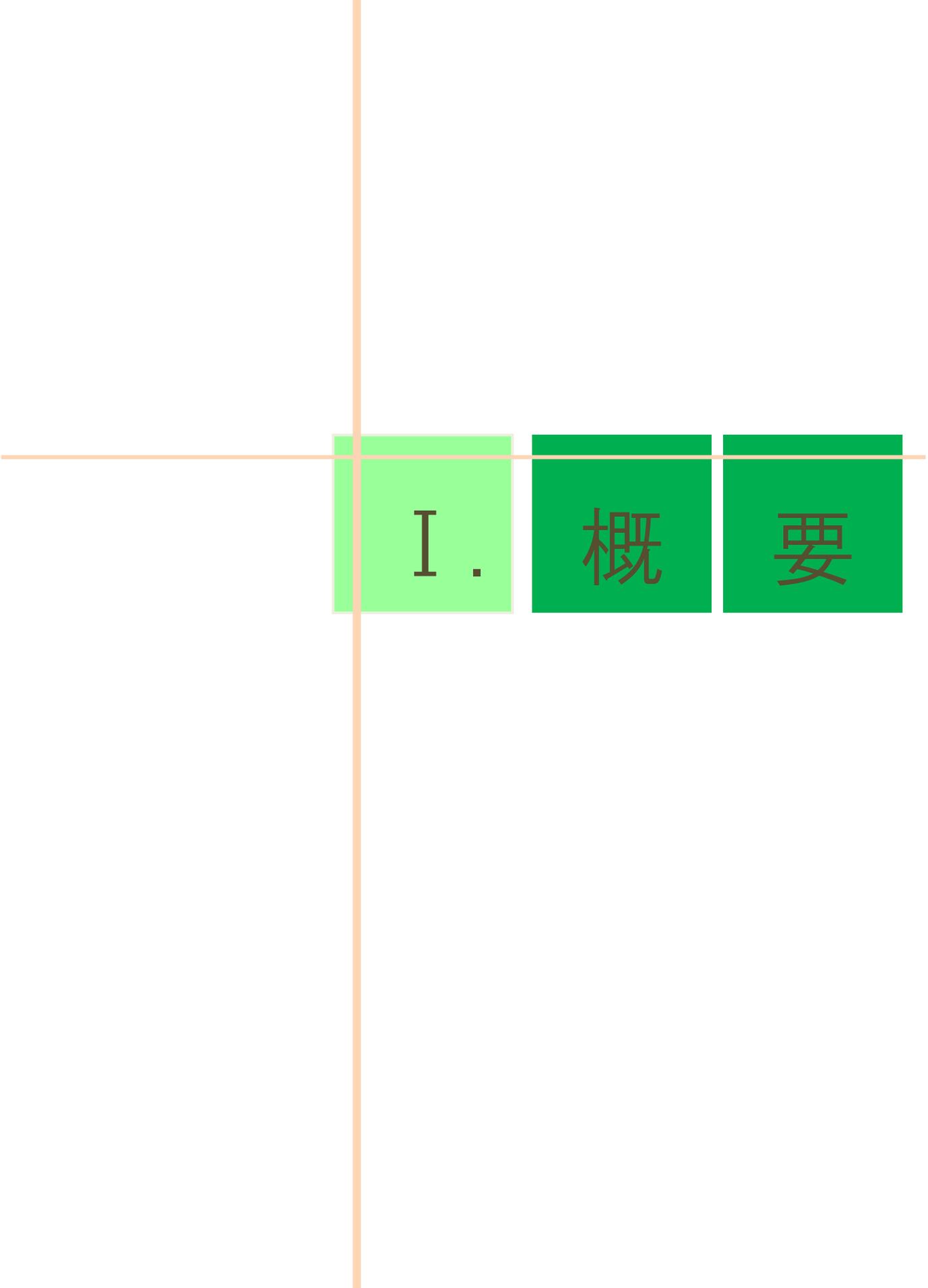
図 5-3- 8 B型肝炎ウイルス検査の実績／市町村独自検診(若年者等)【うち陽性者】	176
表 5-3- 15 B型肝炎ウイルス検査の実績／市町村独自検診(若年者等)【うち陽性者】	176
表 5-3- 16 B型肝炎ウイルス検査の実績／市町村独自検診(若年者等)【うち陽性者】 クロス集計表	177
図 5-3- 9 C型肝炎ウイルス検査の実績／健康増進法に基づく肝炎ウイルス検査【対象者】	179
表 5-3- 17 C型肝炎ウイルス検査の実績／健康増進法に基づく肝炎ウイルス検査【対象者】	179
表 5-3- 18 C型肝炎ウイルス検査の実績／健康増進法に基づく肝炎ウイルス検査【対象者】 クロス集計表	180
図 5-3- 10 C型肝炎ウイルス検査の実績／健康増進法に基づく肝炎ウイルス検査【受検者】	182
表 5-3- 19 C型肝炎ウイルス検査の実績／健康増進法に基づく肝炎ウイルス検査【受検者】	182
表 5-3- 20 C型肝炎ウイルス検査の実績／健康増進法に基づく肝炎ウイルス検査【受検者】 クロス集計表	183
図 5-3- 11 C型肝炎ウイルス検査の実績／健康増進法に基づく肝炎ウイルス検査【うち陽性者】	185
表 5-3- 21 C型肝炎ウイルス検査の実績／健康増進法に基づく肝炎ウイルス検査【うち陽性者】	185
表 5-3- 22 C型肝炎ウイルス検査の実績／健康増進法に基づく肝炎ウイルス検査【うち陽性者】 クロス集計表	186
図 5-3- 12 C型肝炎ウイルス検査の実績／健康増進法に基づく肝炎ウイルス検査【受検者】	188
表 5-3- 23 C型肝炎ウイルス検査の実績／健康増進法に基づく肝炎ウイルス検査【受検者】	188
表 5-3- 24 C型肝炎ウイルス検査の実績／健康増進法に基づく肝炎ウイルス検査【受検者】 クロス集計表	189
図 5-3- 13 C型肝炎ウイルス検査の実績／健康増進法に基づく肝炎ウイルス検査【うち陽性者】	191
表 5-3- 25 C型肝炎ウイルス検査の実績／健康増進法に基づく肝炎ウイルス検査【うち陽性者】	191
表 5-3- 26 C型肝炎ウイルス検査の実績／健康増進法に基づく肝炎ウイルス検査【うち陽性者】 クロス集計表	192
図 5-3- 14 C型肝炎ウイルス検査の実績／市町村独自検診(若年者等)【受検者】	194
表 5-3- 27 C型肝炎ウイルス検査の実績／市町村独自検診(若年者等)【受検者】	194
表 5-3- 28 C型肝炎ウイルス検査の実績／市町村独自検診(若年者等)【受検者】 クロス集計表	195
図 5-3- 15 C型肝炎ウイルス検査の実績／市町村独自検診(若年者等)【うち陽性者】	197
表 5-3- 29 C型肝炎ウイルス検査の実績／市町村独自検診(若年者等)【うち陽性者】	197
表 5-3- 30 C型肝炎ウイルス検査の実績／市町村独自検診(若年者等)【うち陽性者】 クロス集計表	198
図 5-3- 16 肝炎ウイルス検査を同一人物が複数回受検しているかどうかについて確認方法	200
表 5-3- 31 肝炎ウイルス検査を同一人物が複数回受検しているかどうかについて確認方法 クロス集計表	201
図 5-4- 1 自治体における肝炎ウイルス検査に関する普及啓発、受検勧奨の実施状況について	202
表 5-4- 1 自治体における肝炎ウイルス検査に関する普及啓発、受検勧奨の実施状況について 地域別クロス集計表	203
表 5-4- 2 自治体における肝炎ウイルス検査に関する普及啓発、受検勧奨の実施状況について 人口規模別クロス集計表	203

II. 本編 6. 結果の特徴	204
表 6-1- 1 肝炎検査受検状況の判定	204
図 6-1-1- 1 肝炎検査受検状況×問8 性別	206
表 6-1-1- 1 肝炎検査受検状況×問8 性別(B型肝炎ウイルス検査)	207
表 6-1-1- 2 肝炎検査受検状況×問8 性別(C型肝炎ウイルス検査)	208
図 6-1-2- 1 肝炎検査受検状況×問9 年代別	209
表 6-1-2- 1 肝炎検査受検状況×問9 年代別(B型肝炎ウイルス検査)	210
表 6-1-2- 2 肝炎検査受検状況×問9 年代別(C型肝炎ウイルス検査)	211

図 6-1-3- 1	肝炎検査受検状況×問8.性別×問9 年代別	212
表 6-1-3- 1	肝炎検査受検状況×問8.性別×問9 年代別(B型肝炎ウイルス検査)	213
表 6-1-3- 2	肝炎検査受検状況×問8.性別×問9 年代別(C型肝炎ウイルス検査)	214
図 6-1-4- 1	肝炎検査受検状況×問10 地域ブロック別	215
表 6-1-4- 1	肝炎検査受検状況×問10 地域ブロック別(B型肝炎ウイルス検査)	216
表 6-1-4- 2	肝炎検査受検状況×問10 地域ブロック別(C型肝炎ウイルス検査)	217
図 6-1-5- 1	肝炎検査受検状況×問10 人口規模別	218
表 6-1-5- 1	肝炎検査受検状況×問10 人口規模別(B型肝炎ウイルス検査)	219
表 6-1-5- 2	肝炎検査受検状況×問10 人口規模別(C型肝炎ウイルス検査)	220
図 6-1-6- 1	肝炎検査受検状況×問11 職業別	221
表 6-1-6- 1	肝炎検査受検状況×問11 職業別(B型肝炎ウイルス検査)	222
表 6-1-6- 2	肝炎検査受検状況×問11 職業別(C型肝炎ウイルス検査)	223
図 6-1-7- 1	肝炎検査受検状況×問12 加入健康保険別	224
表 6-1-7- 1	肝炎検査受検状況×問12 加入健康保険別(B型肝炎ウイルス検査)	225
表 6-1-7- 2	肝炎検査受検状況×問12 加入健康保険別(C型肝炎ウイルス検査)	226
図 6-2-1- 1	問4(a) 自己申告受検者の受検のきっかけ×問8 性別	227
表 6-2-1- 1	問4(a) 自己申告受検者の受検のきっかけ×問8 性別(B型肝炎ウイルス検査)	228
表 6-2-1- 2	問4(a) 自己申告受検者の受検のきっかけ×問8 性別(C型肝炎ウイルス検査)	229
図 6-2-2- 1	問4(a) 自己申告受検者の受検のきっかけ×問9 年代別	230
表 6-2-2- 1	問4(a) 自己申告受検者の受検のきっかけ×問9 年代別(B型肝炎ウイルス検査)	231
表 6-2-2- 2	問4(a) 自己申告受検者の受検のきっかけ×問8 性別(C型肝炎ウイルス検査)	232
図 6-2-3- 1	問4(a) 自己申告受検者の受検のきっかけ×問10 地域ブロック別	233
表 6-2-3- 1	問4(a) 自己申告受検者の受検のきっかけ×問10 地域ブロック別(B型肝炎ウイルス検査)	235
表 6-2-3- 2	問4(a) 自己申告受検者の受検のきっかけ×問10 地域ブロック別(C型肝炎ウイルス検査)	236
図 6-2-4- 1	問4(a) 自己申告受検者の受検のきっかけ×問10 人口規模別	237
表 6-2-4- 1	問4(a) 自己申告受検者の受検のきっかけ×問10 人口規模別(B型肝炎ウイルス検査)	238
表 6-2-4- 2	問4(a) 自己申告受検者の受検のきっかけ×問10 人口規模別(C型肝炎ウイルス検査)	239
図 6-2-5- 1	問4(b) 自己申告受検者の受検した場所×問8 性別	240
表 6-2-5- 1	問4(b) 自己申告受検者の受検した場所×問8 性別(B型肝炎ウイルス検査)	241
表 6-2-5- 2	問4(b) 自己申告受検者の受検した場所×問8 性別(C型肝炎ウイルス検査)	242
図 6-2-6- 1	問4(b) 自己申告受検者の受検した場所×問9 年代別	243
表 6-2-6- 1	問4(b) 自己申告受検者の受検した場所×問9 年代別(B型肝炎ウイルス検査)	244
表 6-2-6- 2	問4(b) 自己申告受検者の受検した場所×問9 年代別(C型肝炎ウイルス検査)	245
図 6-2-7- 1	問4(b) 自己申告受検者の受検した場所×問10 地域ブロック別	246
表 6-2-7- 1	問4(b) 自己申告受検者の受検した場所×問10 地域ブロック別(B型肝炎ウイルス検査)	248
表 6-2-7- 2	問4(b) 自己申告受検者の受検した場所×問10 地域ブロック別(C型肝炎ウイルス検査)	249
図 6-2-8- 1	問4(b) 自己申告受検者の受検した場所×問10 人口規模別	250
表 6-2-8- 1	問4(b) 自己申告受検者の受検した場所×問10 人口規模別(B型肝炎ウイルス検査)	251

表 6-2-8- 2	問4(b) 自己申告受検者の受検した場所×問10 人口規模別(C型肝炎ウイルス検査)	252
図 6-2-9- 1	問4-1-2 検査結果の認知度×問8 性別	253
表 6-2-9- 1	検査結果の認知度×問8 性別(B型肝炎ウイルス検査)	254
表 6-2-9- 2	問4-1-2 検査結果の認知度×問8 性別(C型肝炎ウイルス検査)	254
図 6-2-10- 1	問4-1-4 陽性の場合の医療機関受診状況×問8 性別	255
表 6-2-10- 1	問4-1-4 陽性の場合の医療機関受診状況×問8 性別(B型肝炎ウイルス検査)	256
表 6-2-10- 2	問4-1-4 陽性の場合の医療機関受診状況×問8 性別(C型肝炎ウイルス検査)	256
図 6-2-11- 1	問4-1-4 陽性の場合の医療機関受診状況×問9 年代別	257
表 6-2-11- 1	問4-1-4 陽性の場合の医療機関受診状況×問9 年代別(B型肝炎ウイルス検査)	258
表 6-2-11- 2	問4-1-4 陽性の場合の医療機関受診状況×問9 年代別(C型肝炎ウイルス検査)	259
図 6-3-1- 1	問2 受検の種類×問8 性別	260
表 6-3-1- 1	問2 受検の種類×問8 性別(B型肝炎ウイルス検査)	261
表 6-3-1- 2	問2 受検の種類×問8 性別(C型肝炎ウイルス検査)	261
図 6-3-2- 1	問2 受検の種類×問9 年代別	262
表 6-3-2- 1	問2 受検の種類×問9 年代別(B型肝炎ウイルス検査)	263
表 6-3-2- 2	問2 受検の種類×問9 年代別(C型肝炎ウイルス検査)	264
図 6-3-3- 1	問2 受検の種類×問8 性別×問9 年代別	265
表 6-3-3- 1	問2 受検の種類×問8 性別×問9 年代別(B型肝炎ウイルス検査)	267
表 6-3-3- 2	問2 受検の種類×問8 性別×問9 年代別(C型肝炎ウイルス検査)	268
図 6-3-4- 1	問2 受検の種類×問10地域ブロック別	269
表 6-3-4- 1	問2 受検の種類×問10地域ブロック別(B型肝炎ウイルス検査)	270
表 6-3-4- 2	問2 受検の種類×問10地域ブロック別(C型肝炎ウイルス検査)	271
図 6-3-5- 1	問2 受検の種類×問10 人口規模別	272
表 6-3-5- 1	問2 受検の種類×問10 人口規模別(B型肝炎ウイルス検査)	273
表 6-3-5- 2	問2 受検の種類×問10 人口規模別(C型肝炎ウイルス検査)	274
図 6-3-6- 1	問2 受検の種類×問11 職業別	275
表 6-3-6- 1	問2 受検の種類×問11 職業別(B型肝炎ウイルス検査)	276
表 6-3-6- 2	問2 受検の種類×問11 職業別(C型肝炎ウイルス検査)	277
図 6-3-7- 1	問2 受検の種類×問12 加入健康保険別	278
表 6-3-7- 1	問2 受検の種類×問12 加入健康保険別(B型肝炎ウイルス検査)	279
表 6-3-7- 2	問2 受検の種類×問12 加入健康保険別(C型肝炎ウイルス検査)	280
図 6-4-1-1	問3 受検の状況	281
表 6-4-1- 1	問3 受検の状況	281
図 6-4-2- 1	問4(c) 2回以上受検した理由×問8 性別	282
表 6-4-2- 1	問4(c) 2回以上受検した理由×問8 性別	283
図 6-4-3- 1	問4(c) 2回以上受検した理由×問9 年代別	284
表 6-4-3- 1	問4(c) 2回以上受検した理由×問9 年代別	285
図 6-4-4- 1	問4(c) 2回以上受検した理由×問10 地域ブロック別	286

表 6-4-4- 1	問4(c) 2回以上受検した理由×問10 地域ブロック別	287
図 6-4-5- 1	問4(c) 2回以上受検した理由×問10 人口規模別	288
表 6-4-5- 1	問4(c) 2回以上受検した理由×問10 人口規模別	289
図 6-4-6- 1	市町村での重複受検確認状況×人口規模別(自治体調査)	290
表 6-4-6- 1	市町村での重複受検確認状況×人口規模別(自治体調査)	291
図 6-5-1- 1	問5(1)受検しない理由×問10 人口規模別	292
表 6-5-1- 1	問5(1)受検しない理由×問10 人口規模別	293
図 6-5-2- 1	問5(2)今後の受検意向×問10 人口規模別	294
表 6-5-2- 1	問5(2)今後の受検意向×問10 人口規模別	294
図 6-5-3- 1	問5(2)今後の受検意向×問5(1)受検しない理由別	295
表 6-5-3- 1	問5(2)今後の受検意向×問5(1)受検しない理由別	296
図 6-5-4- 1	問5(3)期待する行政施策×問10 人口規模別	297
表 6-5-4- 1	問5(3)期待する行政施策×問10 人口規模別	298
図 6-5-5- 1	問5(3)期待する行政施策×問5(1)受検しない理由別	299
表 6-5-5- 1	問5(3)期待する行政施策×問5(1)受検しない理由別	300
図 6-5-6- 1	問5(3)期待する行政施策×問5(2)今後の受検意向別	301
表 6-5-6- 1	問5(3)期待する行政施策×問5(2)今後の受検意向別	302
図 6-6-1- 1	肝炎ウイルス検査の普及啓発に向けた市町村の取り組み×人口規模別(自治体調査)	303
表 6-6-1- 1	肝炎ウイルス検査の普及啓発に向けた市町村の取り組み×人口規模別(自治体調査)	304
表 6-6-2- 1	自治体の施策実施有無と国民の認知度の有無の対応	305
図 6-6-2- 1	自治体の施策実施有無と国民の認知度	305
表 6-6-2- 2	自治体の施策実施有無と国民の認知度	306
図 6-6-2- 2	自治体における普及啓発取り組みの効果・広報紙での情報提供×問9. 年齢	307
表 6-6-2- 3	自治体における普及啓発取り組みの効果・広報紙での情報提供×問9. 年齢	307
図 6-6-2- 3	自治体における普及啓発取り組みの効果・新聞広告、折り込み広告×問9. 年齢	308
表 6-6-2- 4	自治体における普及啓発取り組みの効果・新聞広告、折り込み広告×問9. 年齢	308
図 6-6-2- 4	自治体における普及啓発取り組みの効果・テレビ広報(ケーブルテレビを含む)×問9. 年齢	309
表 6-6-2- 5	自治体における普及啓発取り組みの効果・テレビ広報(ケーブルテレビを含む)×問9. 年齢	309
図 6-6-2- 5	自治体における普及啓発取り組みの効果・インターネットホームページでの情報提供×問8. 性別×問9. 年齢	310
表 6-6-2- 6	自治体における普及啓発取り組みの効果・インターネットホームページでの情報提供×問8. 性別×問9. 年齢	311
図 6-6-2- 6	自治体における普及啓発取り組みの効果・個人宛ハガキなどで検査を通知することによる受検勧奨×問9. 年齢	312
表 6-6-2- 7	自治体における普及啓発取り組みの効果・個人宛ハガキなどで検査を通知することによる受検勧奨×問9. 年齢	312
図 6-6-3- 1	問7(1)肝炎の無料検査実施の認知度×受検状況別	314
表 6-6-3- 1	問7(1)肝炎の無料検査実施の認知度×受検状況別(B型肝炎ウイルス検査)	314
表 6-6-3- 2	問7(1)肝炎の無料検査実施の認知度×受検状況別(C型肝炎ウイルス検査)	315
図 6-6-4- 1	問7(2)治療費の一部公費補助の認知度×受検状況別	316
表 6-6-4- 1	問7(2)治療費の一部公費補助の認知度×受検状況別(B型肝炎ウイルス検査)	316
表 6-6-4- 2	問7(2)治療費の一部公費補助の認知度×受検状況別(C型肝炎ウイルス検査)	317



I .

概

要



# I. 概要

## 1. 調査目的と方法

本事業は、「平成23年度肝炎検査受検状況実態把握事業」によって実施したものである。国内最大級の慢性感染症であるB型・C型ウイルス性肝炎については、様々な各関係諸団体がその取組みを行っており、受検状況および受検促進のための取組み実態とその効果についての把握が難しい状況にある。そのため、本事業ではこれらの実態を把握するために、20～79歳までの日本人74,000人を対象とした国民調査、組合健保・共済組合および船員保険を除く協会けんぽを対象とした保険者調査、都道府県・特別区・保健所設置市を除いた全市町村を対象とした自治体調査の3つの調査を横断的に実施し、受検状況だけでなく、様々な主体による肝炎ウイルス検査の受検促進のための取組みがどのように国民に認知されているか／認知されていないのかを明らかにすることで、ウイルス性肝炎と各主体が実施している肝炎ウイルス検査の取組みについて、国民に対する正しい知識の普及啓発を効果的に推進していくための手がかりとすることを目的として実施した。

表 1-1-1 調査概要

種類	調査期間	対象・方法	回収率	調査内容
国民調査	平成24年1月6日(金)～ 平成24年1月30日(月)	住民基本台帳より、地域・市町村の人口規模による層化二段抽出した20～79歳の日本人 * 郵送アンケート	32.1% (74,000件中 23,720件回収)	B型、C型肝炎についての認知度、受検状況等
保険者調査	平成23年12月16日(金)～ 平成24年1月23日(月)	組合健保、および共済組合 1,529団体* 郵送アンケート	64.9% (1,529件中 992件回収)	健診でのB型、C型肝炎ウイルス検査実施状況等
		全国健康保険協会(船員保険を除く) * データ集計	—	
自治体調査	平成23年12月13日(火)～ 平成24年1月16日(月)	都道府県および特別区・保健所設置市を除いた全ての市町村 * 郵送アンケート	74.6% (1,631件中 1,216件回収)	健康増進法に基づく肝炎ウイルス検査、健診でのB型、C型肝炎受検状況等
		都道府県全数 * 事業報告データを再集計	—	

## 2. 結果と考察

### (1) 回収について

調査の結果、国民調査では74,000件のうち23,720件(32.1%)、保険者調査では1,529件のうち992件(64.9%)、自治体調査では1,631件のうち1,216件(74.6%)の回答が得られた。

## (2) 国民調査：肝炎ウイルス検査の自己申告受検者について

これまでに1回でも「肝炎ウイルス検査を受検したことがある」と認識している国民の割合は全体で26.2%であった（図3-3-1）。男女別にみると男性は21.2%、女性は30.6%であり、女性の割合が高く、年代別では50歳代がもっとも自覚的な受検率が高いという結果が得られた（図3-3-2）。

女性の受検率の高さは、受検のきっかけとして「手術前の検査、妊娠・出産時の検査」が34.1%と男性（20.9%）より高いことから妊婦検診等の女性特有の検査を受ける可能性が高いことが要因として考えられる（表3-3-2）。

年代別にみた受検率の違いは、健康増進事業に基づく肝炎ウイルス検診において対象年齢を40歳および41歳以上の者としており、受検のきっかけで「40歳以上を対象とした検診の通知」が40代以上で年代が上がるごとに高くなることから各自治体における受検勧奨の効果によることや、主な受検のきっかけである人間ドックの受診は一般的に中高年齢層で多いことが要因と考えられる（表3-3-2）。

## (3) 国民調査：非認識受検者について

上記のように、受検したことを認識・申告している回答者がいる一方で、外科手術前の検査や妊婦検診、また献血時の検査により、本人は無自覚ではあるものの、肝炎対策の取組上、受検したと推察される「非認識受検者」は多く存在することが明らかとなった。本人が無自覚な受検を経験していることは、B型・C型肝炎検査において保険適用等の対策により「検査が導入されていると考えられる時期」により受検率に多少の違いはあるものの、回答者のうち非認識受検者はそれぞれB型肝炎検査で約4割、C型肝炎検査で約3割存在する（図6-1-1-1）。したがって、先述の自覚的に検査を受検している回答者（自己申告受検者）の割合と合わせると、B型肝炎検査で57.4%、C型肝炎検査で48.0%と約半数の回答者が結果的に肝炎ウイルス検査を受検しているということが本調査の結果であった。

この非認識受検者を推定するための外科手術や妊娠・出産などの経験は、年齢を重ねるごとに経験している可能性が高まるが、保険適用等の対策による検査等が導入された時期以降に経験している割合を見てみると、B型肝炎検査は40代、C型肝炎検査は30代でもっとも多かった。なお、B型・C型ともに自己申告受検者の割合がもっとも高い50代については、非認識受検者の割合が落ち込むが、これは保険適用等の対策による検査導入の時期による影響であると考えられる（図6-1-2-1）。

さらに性別で比較すると、妊娠・出産経験によるものと考えられるが、女性の非認識受検者の割合がB型・C型ともに男性よりも高く、同じく女性の方が高い自己申告受検者と合わせて、全体の受検率は男女で10ポイント程度の差がある（図6-1-1-1）。特に年代別にみると、本調査における全体の受検率は出産のピークである30代、40代でB型・C型ともに約7割～8割という非常に高い結果が得られた（図6-1-3-1）。

このことから、肝炎ウイルス検査はこれまでの感染拡大防止対策により広く促進されてきていることが明らかとなった。しかしながら、その3～4割が受検していることに無自覚であるという点は留意すべきである。未受検者への肝炎ウイルス検査の受検促進に加えて、医療機関で実施しているいわゆるチェックのための肝炎ウイルス検査の結果を本人に周知することが肝炎対策として有効であることが示唆された。

## (4) 国民調査：重複受検について

受検者の大半が「受検したことに無自覚である」ということは、それだけ肝炎ウイルス検査についての正しい知識の普及啓発が進んでいないということが推察される。これは自覚的に肝炎ウイルス検査を

受検した「自己申告受検者」にも言えることであり、「肝炎対策の推進に関する基本的な指針」においても「全ての国民が、少なくとも一回は肝炎ウイルス検査を受検する必要がある」と考えられているが、2回以上の検査を受けている回答者のうち、再検査の必要性が低いと考えられるケースが4割以上あることは、ウイルス性肝炎についての正しい知識の啓発が未だ普及途上にあることを示している（図6-4-2-1）。

これに対して、自治体が実施する肝炎ウイルス検査において同一人物が複数回受検しているかどうかを確認する方法は、「受検者の自己申告による」としている自治体が7割程度であることが自治体調査で示された（図5-3-16）。国民調査で2回受検した理由として「毎年定期的に受検するものと思っていたため」を挙げる回答者が全体でほぼ4人に1人、50代以上で約3割いる状況を考慮すると、肝炎ウイルス検査は一回受ければ基本的に再検査は不要であることや、自身が肝炎ウイルス検査を受検していることを住民が認識しているかを含めて自治体は確認する必要があるだろう（図3-3-8、図3-3-10）。

### （5）国民調査：未受検者について

未だ肝炎ウイルス検査を受検していない回答者については、受検しない理由や今後の意向について確認を行なった。受検しない理由でもっとも多い回答は、性別・年代等の属性である程度違いはあるものの、全体的に「きっかけがなかったから」（39.1%）、「定期的に受けている健康診断等のメニューにないから」（37.3%）という2点が多く（図3-3-28）、また未受検者のうちの約7割は、機会があれば受けてみたいという意向を示しており、肝炎ウイルス検査の受検促進の対象として重視すべき層といえる（図3-3-29）。

一方で「自分は感染していないと思う」ことを未受検の理由とした回答者も3割弱おり、この層に対しては肝炎ウイルス検査を受けるべき理由を適切に伝える必要がある（図3-3-28）。

また、行政施策への希望については「定期的に受けている健康診断等のメニューに加える」ことが58.2%、「検査にかかる費用を安くする」が36.8%であり、受検の直接的な「きっかけ」を促すことが求められている（図3-3-33）。

### （6）国民調査：肝炎ウイルス検査の受検勧奨の取組みについて

肝炎ウイルス検査の受検勧奨について、その重要な勧奨主体である各保険者・自治体における肝炎検査受検勧奨に関する取組みについては、保険者・自治体ともに「広報誌での情報提供」の割合がもっとも高い（保険者では17.2%、自治体では76.6%）。保険者ではこれに続き、「受検費用補助、自己負担の無料化による勧奨」が17.0%であり、自治体の場合は「個別勧奨による受検勧奨」が60.9%であった（図4-2-25、図5-4-1）。

しかし保険者では、検査そのものを実施していないケースがB型・C型いずれも被保険者については4割以上、被扶養者については5割以上あり（図4-2-3、図4-2-11）、実施しない理由はB型・C型、被保険者・被扶養者いずれも「被保険者・被扶養者から要望がなかったため」という回答が約6割を占めている（図4-2-7、図4-2-15、図4-2-8、図4-2-16）。

一方自治体では人口規模が大きいほど、様々な取組みに積極的であるものの、実施している取組について、当該地域に居住する国民調査の回答者における、実施している施策の認知状況を確認したところ、比較的規模の大きい自治体で実施されている「インターネットホームページでの情報提供」については、住民のうち75.6%が認知していなかった。さらに、多くの自治体が取り組んでいる「広報誌での情報提供」も52.7%の地域住民がその施策について認知しておらず、様々な対策が講じられているもの

の、効果的な普及啓発という観点からは課題があることが明らかとなった(図6-6-2-1)。

この課題は性別・年代によって実施している施策の効果が異なるためにもたらされたと考えられる。まず、広報紙や新聞広告、折り込み広告などの紙媒体を使用した広報事業についてみると、20代や30代などの若年層は他の年代に比べ認知度が小さく、年代が上がるごとに認知度が高くなっていることがわかった(図6-6-2-2, 図6-6-2-3)。次にテレビ広報については、20代および50代以降の年代にはやや効果的であるものの、30代・40代に対する効果が小さい(図6-6-2-4)。このことは、テレビ広報が時間的な制約を受けやすいメディアであり、働き盛りの年代にとっては必ずしも有効な広報手段ではないことがうかがえる。一方、インターネットホームページでの情報提供については、全体的な効果は小さいものの、年代の他に男女でも効果に違いがあり、男性の場合は若い年代ほど効果が高い傾向となったが、女性の場合は特に40代をピークに認知度が高くなることがわかった(図6-6-25)。これは育児等に必要な生活情報として、自治体情報にアクセスする頻度が男性や他の年代に比べてやや高いことが影響しているものと考えられる。このように、年代や性別により生活習慣が異なっており、それぞれの自治体においては、その受検促進施策のターゲットとする年代に絞った広報戦略を選択して実施して、広報の効果をより高めることが必要である。

#### (7) 保険者調査：肝炎ウイルス検査の実施体制について

肝炎ウイルス検査を何らかのかたちで実施している割合は、被保険者においては、B型の場合で55.1%、C型の場合で57.1%であり、半数以上の保険者が取組を行なっていることが明らかとなった(図4-2-1, 図4-2-9)。被扶養者については、B型の場合は44.3%、C型の場合は43.1%が人間ドック等検診事業として実施しており、被保険者に比べるとやや実施している割合は少ない(図4-2-3, 図4-2-11)。

また、検査を実施している保険者の経緯として最も多かったのは、「厚生労働省からの実施勧奨により」であった。実施していない保険者では、被保険者・被扶養者からの要望がなかったことを主な理由として挙げている(図4-2-5, 図4-2-8)。

前述のように、行政施策への希望については「定期的に受けている健康診断等のメニューに加える」が最も多い国民の希望であるが、各保険者の財政状況も厳しい中で被保険者・被扶養者の要望が即座に肝炎ウイルス検査導入につながるかは不明である。しかしながら、既に実施している保険者において「本人からの要望により」を実施の経緯として回答したのがB型、C型とも1割程度いること、任意自己負担での導入であれば保険者の財政負担も少ないことを考慮すると未実施の保険者については、まずは任意自己負担での検査を導入し、被保険者・被扶養者の潜在的なニーズに対応するよう働きかけることが重要だと思われる(図4-2-5, 図4-2-13)。

#### (8) 保険者調査：検査実績について

検査を実施している保険者のうち、過去5年間の検査実績については、5年間を通じ、B型・C型検査それぞれにおいて、被保険者・被扶養者ともに、少しずつではあるが増加傾向がみられる。直近の平成22年度の受検実績としては、被保険者についてはB型の場合は平均的に15.0%(表4-2-19)、C型の場合は9.3%が検査を受けているが(表4-2-25)、一方被扶養者については、B型の場合は2.8%(表4-2-22)、C型の場合は1.8%であり(表4-2-28)、被扶養者については体制としては組み込んであるものの、実際に被扶養者がそれを活用する割合は少ないことがわかる。

#### (9) 保険者調査：受検勧奨取組の実施状況について

肝炎ウイルス検査に関する普及啓発、受検勧奨については、広報紙による情報提供や受検費用の補助、自己負担の無料化についての勧奨が比較的多く取り組まれている(図4-2-25)。

取組の実施方法については、広報紙による情報提供やインターネットホームページでの情報提供については、保険適用者規模が大きいほど取組の割合が大きく、逆に規模の小さい保険者ほど、チラシ、ポスター等の配布により勧奨を行なっていることがみられた(表4-2-36)。

### (10) 自治体調査：検査実績について

自治体における肝炎ウイルス検査の実績については、調査対象とした期間において、受検者の人数に大きな変動はみられなかった。

### (11) 自治体調査：肝炎ウイルス検査の受検勧奨の取組みの効果について

自治体における肝炎ウイルス検査の普及啓発、受検勧奨の取組みについては、多くの自治体において、広報紙での情報提供(76.6%)を進めているほか、個別通知による受検勧奨も多く取り組まれている(60.9%)(図5-4-1)。インターネットホームページでの情報提供も、およそ4割の自治体に取り組んでいるが、これは人口規模による影響が大きく、人口規模が15万人以上の都市では78.6%の割合で実施されているものの、郡部(町村)では28.0%である(表5-4-2)。このように、様々な受検勧奨の取組みは、人口規模が大きいほど実施している取組も多様となり、郡部では取組みにかかる選択肢への反応が平均して2.20か所であるのに対して、規模が大きくなるほど反応数の平均値が高くなり、15万人以上の都市では3.31か所となり、スケールメリットが明確に表れている。一方で、個別通知による受検勧奨については人口規模にはほとんど影響を受けず、全体的に6割程度の割合で実施されており、特に規模の小さい自治体にとっては有用性が高いものと考えられる(表5-4-2)。

## 3. まとめ

本調査の目的である肝炎ウイルス検査の受検状況の把握については、「非認識受検者」を含めるとB型、C型とも約50%が受検していることが推測され、既に多くの国民が肝炎ウイルス検査を受検していることが示唆された。

しかしB型、C型とも検査を受けていることに無自覚である「非認識受検者」が「自己申告受検者」の2倍程度いる。国民調査では啓発的な意図もあり、調査票の冒頭に1990年代以降の手術や献血では肝炎ウイルス検査を実施していることを敢えて示したが、この情報がなかった場合はさらに「非認識受検者」の割合が高くなったと思われる。

したがって、「非認識受検者」に対して、医療機関で実施しているいわゆるチェックのための肝炎ウイルス検査の結果を本人に周知することも今後の肝炎対策の重要な論点として検討すべきと考えられる。これまであまり周知されていなかったのは陰性であるので特段知らせなかったと推測されるが、陰性であることを自ら認識することも重要な肝炎対策の一環であるとの認識で医療機関での協力が得られるような関連資料の整備などが求められる。

「自己申告受検者」についても、「毎年定期的に受検するものと思っていたため」等の理由で、結果的に「なんとなく複数回受検している」といった状態も一定程度存在することが示された。抗体状況の定期的な把握などが必要な場合など複数回のウイルス検査に意味がある場合もあるが、自治体の肝炎ウイルス検査のようにできるだけ多くの住民が受検すべき検査を毎年受検していることも考えられるので、7割の自治体が自己申告で確認しているとしていた複数回受検の確認は依然として重要である。確認が十分でないと、実数での対住民ウイルス検査受検率が伸びないことになりかねない。

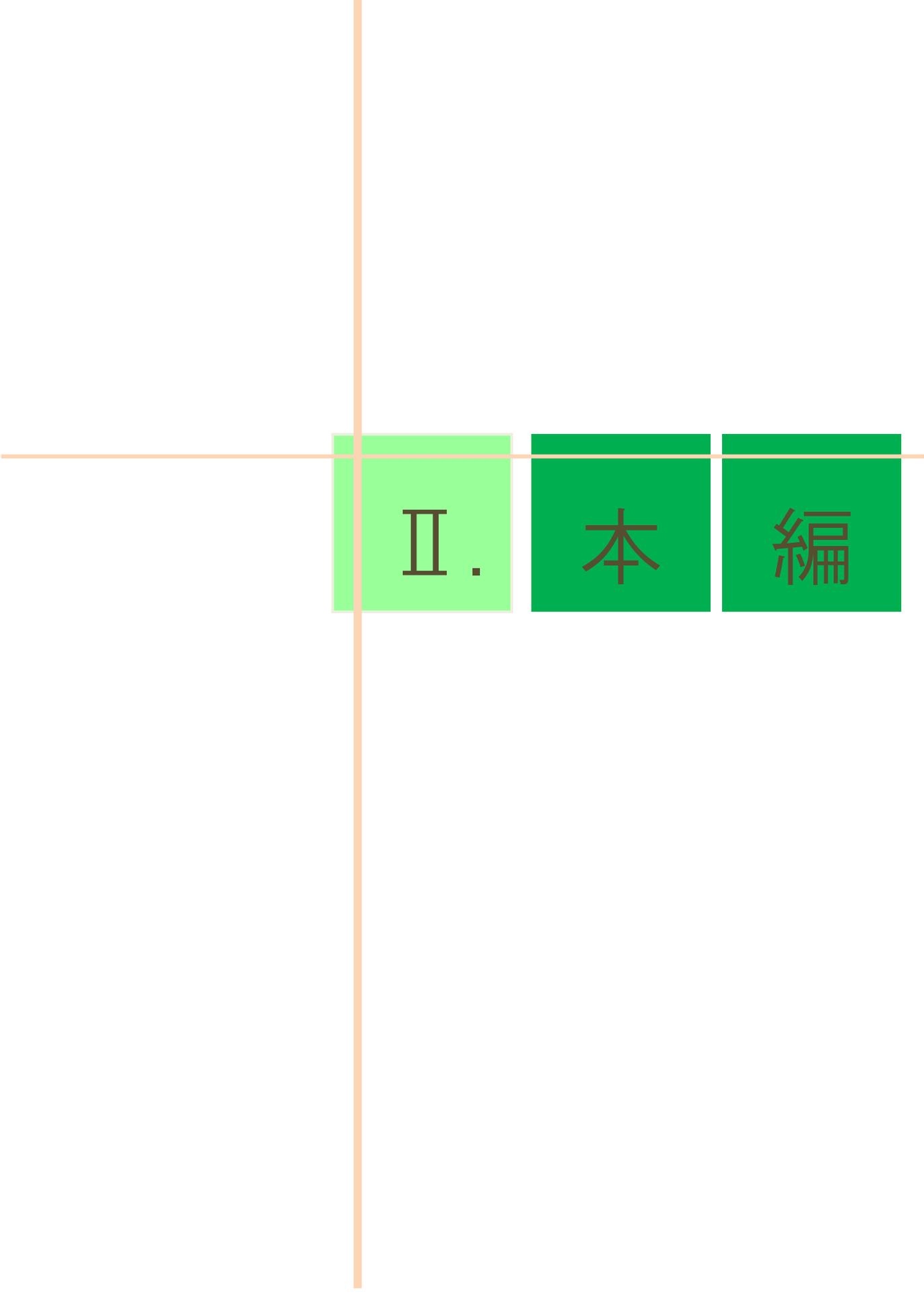
自治体における受検勧奨取組みの効果についても、現状の様々な取組みでは必ずしも地域住民へ適切な情報が届いているとはいえない可能性もあり、このことから「国民への正しい知識の普及啓発」について、より一層の効果的な取組みが求められる。

効果的な取組みについては、まず未受検者においては、「受検のきっかけ」が少ないという評価がもっとも高く、「生涯に1回は検査を受ける」という取組を推進させるためには、これまで実践されてきた各種の地域住民向けの広報事業によるものだけでなく、自治体および保険者からの職域への受検勧奨を充実させることにより、生活の多くを職場で過ごす就業者に対して、肝炎ウイルス検査を受検することの重要性と受検方法について周知していくことが有効と考えられる。

次に、従来行ってきた広報事業については、それぞれの方法がどのような対象に効果的かが異なるため、肝炎ウイルス検査の受検推進において、性・年代別に異なるターゲットに対して効果的な広報手段を選択していくことが重要である。具体的には、老年層については従来型の紙媒体による広報事業も他の年齢層に比べれば一定程度効果を挙げているが、若年層、壮年層については効果が低い。若年層においては、取組みを実施している自治体は少ないものの、テレビ広報やインターネットを通じた広報が効果を上げる可能性を示している。壮年層においては、紙媒体の広報による効果は他の年齢層の中間に位置するが、テレビ広報といった「時間を要する」メディアの効果は低い。また女性の場合、ネットによる広報については、男性の傾向と異なり壮年層への効果が高く、これは育児等により必要に迫られて自治体情報にアクセスする頻度の高い年代であることが考えられる。

現状、多く取組みが実施されている「広報紙による情報提供」や個別勧奨については、受検している割合の低い高齢者の受検推進については一定の効果を上げるものと考えられるが、今後の感染拡大防止という観点からも、若い世代への普及啓発取組みが重要と思われる。しかしながら現状の取組みは必ずしもその目的に合致した取組みがなされているとは言い難いため、上記のような年代・性別の違いによって異なる傾向を視野に入れた、効果的な取組みを模索していくことが重要である。

各自治体は人口規模や地域性も影響すると思われるので、広報施策の展開にあたっては各ターゲット層に適した事業手法の検討・選択に加えて、受検者にどの媒体の情報を参考にしたか確認するなど実施効果の検証をすることでより効果の高い事業展開を目指すことが期待される。



II.

本

編



## Ⅱ. 本編

### 1. 事業の背景と目的

本事業は、厚生労働省健康局より、厚生労働省発健1110第2号をもって（株）サーベイリサーチセンターが交付決定を受けた「平成23年度肝炎検査受検状況実態把握事業」によって実施したものである。

国内最大級の慢性感染症であるB型・C型ウイルス性肝炎は、平成22年1月に「肝炎対策基本法」が施行され、肝炎対策推進協議会における議論等を踏まえ、総合的な対策の推進が行われている。

肝炎ウイルス検査（以下、「肝炎検査」という。）については、国庫補助事業により実施されている健康増進事業や特定感染症検査等事業、職域で実施される健康診断、人間ドックなど、多様な受検機会がまた、他検査と同時に実施されることもあるなど、自身の受検意識の有無だけでなく、受検していても気がつかないということも起こり得る状況である。

今般のこのような状況を踏まえ、肝炎対策の一層の充実・強化を図る上で必要な支援策等を検討するため、国民における肝炎検査の受検状況の把握および、肝炎検査の受検及び受検促進のために各関係諸団体が行なっている取組み等の実態把握を目的として、「国民調査」、「保険者調査」、「自治体調査」の3調査を実施した。

### 2. 調査実施の概要

#### 2-1. 事業の期間

##### (1) 事業期間

平成23年7月～平成24年3月

図 2-1-1 事業全体スケジュール

	7月			8月			9月			10月			11月			12月			1月			2月			3月		
	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下	上	中	下
1 調査項目の検討																											
2 先行研究・文献調査																											
3 調査票案の作成																											
4 有識者ヒアリング																											
4.1 有識者依頼・アポイント																											
4.2 ヒアリング実施																											
5 自治体調査																											
5.1 【プレ調査】自治体ヒアリング																											
5.2 調査票印刷、発送準備																											
5.3 調査票発送																											
回収、集計・分析期間																											
6 保険者調査																											
6.1 【プレ調査】ヒアリング																											
6.2 調査票印刷、発送準備																											
6.3 調査票発送																											
回収、集計・分析期間																											
7 国民調査																											
7.1 プレ調査の実施																											
7.2 総務省協議の支援																											
7.3 調査対象の抽出																											
7.4 調査票印刷、発送準備																											
7.5 調査票発送																											
回収、集計・分析期間																											
8 報告書取りまとめ																											

## (2) 調査期間（調査票発送～回収締切）

- ①国民調査  
平成24年 1月 6日（金） ～ 平成24年1月30日（月）まで
- ②保険者調査  
平成23年12月16日（金） ～ 平成24年1月23日（月）まで
- ③自治体調査  
平成23年12月13日（火） ～ 平成24年1月16日（月）まで

## 2-2. 対象

### (1) 調査対象

- ①国民調査  
平成24年1月20日時点で満20～79歳の日本人74,000人。住民基本台帳より地域・市町村における性別・年代別人口構成比による層化二段抽出した。
- ②保険者調査  
組合健保、協会健保（船員保険を除く）および共済健保1,529団体。  
※ただし、全国健康保険協会については同一のアンケートは送付せず、検診結果データの一部を貸与いただき、受検者実績を集計した。
- ③自治体調査  
都道府県・特別区・保健所設置市については、厚生労働省健康局疾病対策課肝炎対策推進室にて同年5月に実施した調査と調査項目が酷似していたため、調査票を発送したのは上記以外の市町村に限定した。ただし、国民調査・自治体調査それぞれの結果を元にした効果検証の際には上記調査データより結果を補完して集計している。

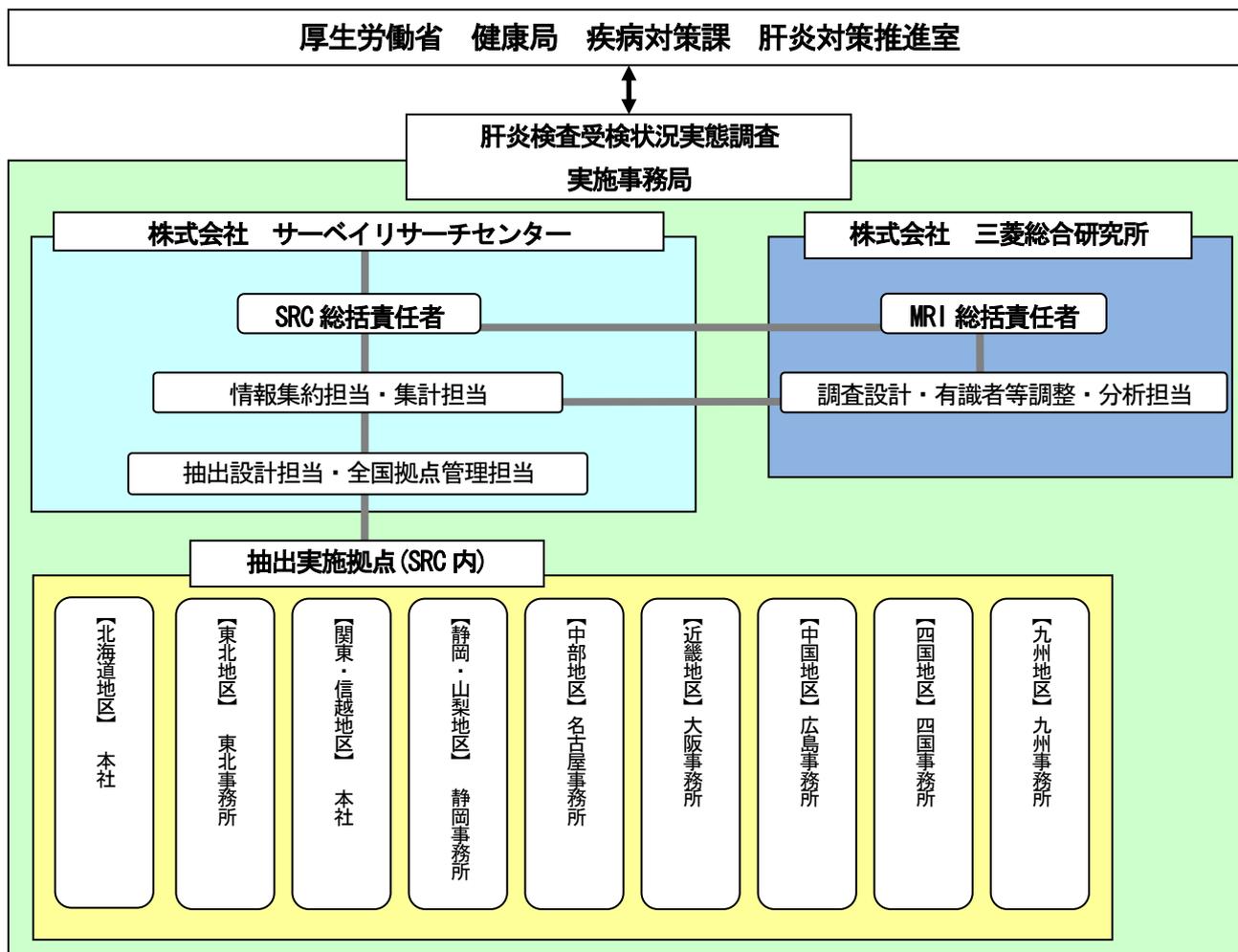
### (2) 調査の実施内容

- ①～③それぞれについて、主に以下の内容を郵送調査法により聴取した。
- ①国民調査
  - ・ウイルス性肝炎の認知
  - ・肝炎ウイルス検査の受検経験
  - ・未受検の理由と今後の意向
  - ・肝炎対策、受検勧奨取組みの認知状況
- ②保険者調査
  - ・B型・C型肝炎ウイルス検査の実施体制
  - ・直近5年間の肝炎ウイルス検査の受検実績
  - ・肝炎ウイルス検査に関する普及啓発・受検勧奨取組みの実施状況
- ③自治体調査
  - ・肝炎対策推進にかかる計画・指針等の策定状況、予算
  - ・直近5年間の肝炎ウイルス検査の受検実績
  - ・肝炎ウイルス検査に関する普及啓発・受検勧奨取組みの実施状況

## 2-3. 実施体制

本事業の実施体制については下図に示す通りである。

図2-3-1 実施体制図



## 2-4. 調査概要

### (1)国民調査:調査地点

表 2-4- 1 調査地点一覧

地点番号	ブロック	人口区分	都道府県名	自治体名
001	北海道	20大都市	北海道	札幌市中央区
002	北海道	20大都市	北海道	札幌市北区
003	北海道	20大都市	北海道	札幌市東区
004	北海道	20大都市	北海道	札幌市白石区
005	北海道	20大都市	北海道	札幌市南区
006	北海道	20大都市	北海道	札幌市厚別区
007	北海道	15万以上の都市	北海道	函館市
008	北海道	15万以上の都市	北海道	釧路市
009	北海道	15万以上の都市	北海道	苫小牧市
010	北海道	5万以上の都市	北海道	北見市
011	北海道	5万以上の都市	北海道	千歳市
012	北海道	5万以上の都市	北海道	石狩市
013	北海道	5万未満の都市	北海道	根室市
014	北海道	郡部(町村)	北海道	岩内町
015	北海道	郡部(町村)	北海道	訓子府町
016	北海道	郡部(町村)	北海道	本別町
017	東北	20大都市	宮城県	仙台市青葉区
018	東北	20大都市	宮城県	仙台市太白区
019	東北	20大都市	宮城県	仙台市泉区
020	東北	15万以上の都市	青森県	青森市
021	東北	15万以上の都市	青森県	弘前市
022	東北	15万以上の都市	岩手県	盛岡市
023	東北	15万以上の都市	秋田県	秋田市
024	東北	15万以上の都市	山形県	山形市
025	東北	15万以上の都市	福島県	福島市
026	東北	15万以上の都市	福島県	郡山市
027	東北	5万以上の都市	青森県	むつ市
028	東北	5万以上の都市	岩手県	一関市
029	東北	5万以上の都市	宮城県	登米市
030	東北	5万以上の都市	秋田県	横手市
031	東北	5万以上の都市	秋田県	大仙市
032	東北	5万以上の都市	山形県	酒田市
033	東北	5万以上の都市	福島県	喜多方市
034	東北	5万未満の都市	岩手県	二戸市
035	東北	5万未満の都市	秋田県	北秋田市
036	東北	5万未満の都市	福島県	本宮市
037	東北	郡部(町村)	青森県	鶴田町
038	東北	郡部(町村)	岩手県	矢巾町
039	東北	郡部(町村)	宮城県	大和町
040	東北	郡部(町村)	山形県	金山町
041	東北	郡部(町村)	福島県	会津坂下町
042	関東信越	20大都市	埼玉県	さいたま市大宮区
043	関東信越	20大都市	埼玉県	さいたま市桜区
044	関東信越	20大都市	埼玉県	さいたま市南区
045	関東信越	20大都市	千葉県	千葉市中央区
046	関東信越	20大都市	千葉県	千葉市稲毛区
047	関東信越	20大都市	千葉県	千葉市美浜区
048	関東信越	20大都市	東京都	新宿区
049	関東信越	20大都市	東京都	文京区
050	関東信越	20大都市	東京都	墨田区
051	関東信越	20大都市	東京都	江東区
052	関東信越	20大都市	東京都	江東区
053	関東信越	20大都市	東京都	品川区
054	関東信越	20大都市	東京都	目黒区
055	関東信越	20大都市	東京都	大田区
056	関東信越	20大都市	東京都	世田谷区
057	関東信越	20大都市	東京都	世田谷区
058	関東信越	20大都市	東京都	渋谷区
059	関東信越	20大都市	東京都	中野区
060	関東信越	20大都市	東京都	杉並区

地点番号	ブロック	人口区分	都道府県名	自治体名
061	関東信越	20大都市	東京都	杉並区
062	関東信越	20大都市	東京都	豊島区
063	関東信越	20大都市	東京都	北区
064	関東信越	20大都市	東京都	板橋区
065	関東信越	20大都市	東京都	板橋区
066	関東信越	20大都市	東京都	練馬区
067	関東信越	20大都市	東京都	練馬区
068	関東信越	20大都市	東京都	足立区
069	関東信越	20大都市	東京都	足立区
070	関東信越	20大都市	東京都	葛飾区
071	関東信越	20大都市	東京都	江戸川区
072	関東信越	20大都市	東京都	江戸川区
073	関東信越	20大都市	神奈川県	横浜市鶴見区
074	関東信越	20大都市	神奈川県	横浜市神奈川区
075	関東信越	20大都市	神奈川県	横浜市南区
076	関東信越	20大都市	神奈川県	横浜市保土ヶ谷区
077	関東信越	20大都市	神奈川県	横浜市金沢区
078	関東信越	20大都市	神奈川県	横浜市港北区
079	関東信越	20大都市	神奈川県	横浜市港南区
080	関東信越	20大都市	神奈川県	横浜市旭区
081	関東信越	20大都市	神奈川県	横浜市瀬谷区
082	関東信越	20大都市	神奈川県	横浜市青葉区
083	関東信越	20大都市	神奈川県	横浜市都筑区
084	関東信越	20大都市	神奈川県	川崎市幸区
085	関東信越	20大都市	神奈川県	川崎市高津区
086	関東信越	20大都市	神奈川県	川崎市多摩区
087	関東信越	20大都市	神奈川県	川崎市麻生区
088	関東信越	20大都市	神奈川県	相模原市緑区
174	関東信越	20大都市	新潟県	新潟市中央区
175	関東信越	20大都市	新潟県	新潟市北区
089	関東信越	15万以上の都市	茨城県	水戸市
090	関東信越	15万以上の都市	茨城県	つくば市
091	関東信越	15万以上の都市	栃木県	宇都宮市
092	関東信越	15万以上の都市	栃木県	宇都宮市
093	関東信越	15万以上の都市	群馬県	前橋市
094	関東信越	15万以上の都市	群馬県	高崎市
095	関東信越	15万以上の都市	群馬県	高崎市
096	関東信越	15万以上の都市	群馬県	太田市
097	関東信越	15万以上の都市	埼玉県	川越市
098	関東信越	15万以上の都市	埼玉県	川口市
099	関東信越	15万以上の都市	埼玉県	川口市
100	関東信越	15万以上の都市	埼玉県	所沢市
101	関東信越	15万以上の都市	埼玉県	狭山市
102	関東信越	15万以上の都市	埼玉県	草加市
103	関東信越	15万以上の都市	埼玉県	越谷市
104	関東信越	15万以上の都市	埼玉県	新座市
105	関東信越	15万以上の都市	千葉県	市川市
106	関東信越	15万以上の都市	千葉県	市川市
107	関東信越	15万以上の都市	千葉県	船橋市
108	関東信越	15万以上の都市	千葉県	松戸市
109	関東信越	15万以上の都市	千葉県	松戸市
110	関東信越	15万以上の都市	千葉県	佐倉市
111	関東信越	15万以上の都市	千葉県	柏市
112	関東信越	15万以上の都市	千葉県	市原市
113	関東信越	15万以上の都市	千葉県	流山市
114	関東信越	15万以上の都市	千葉県	浦安市
115	関東信越	15万以上の都市	東京都	八王子市
116	関東信越	15万以上の都市	東京都	三鷹市
117	関東信越	15万以上の都市	東京都	府中市
118	関東信越	15万以上の都市	東京都	町田市

地点番号	ブロック	人口区分	都道府県名	自治体名
176	関東信越	15万以上の都市	新潟県	長岡市
177	関東信越	15万以上の都市	新潟県	上越市
129	関東信越	15万以上の都市	長野県	長野市
130	関東信越	15万以上の都市	長野県	長野市
131	関東信越	15万以上の都市	長野県	上田市
132	関東信越	5万以上の都市	茨城県	土浦市
133	関東信越	5万以上の都市	茨城県	龍ヶ崎市
134	関東信越	5万以上の都市	茨城県	取手市
135	関東信越	5万以上の都市	茨城県	筑西市
136	関東信越	5万以上の都市	栃木県	栃木市
137	関東信越	5万以上の都市	栃木県	佐野市
138	関東信越	5万以上の都市	群馬県	桐生市
139	関東信越	5万以上の都市	群馬県	藤岡市
140	関東信越	5万以上の都市	埼玉県	秩父市
141	関東信越	5万以上の都市	埼玉県	東松山市
142	関東信越	5万以上の都市	埼玉県	蕨市
143	関東信越	5万以上の都市	埼玉県	入間市
144	関東信越	5万以上の都市	埼玉県	和光市
145	関東信越	5万以上の都市	埼玉県	富士見市
146	関東信越	5万以上の都市	埼玉県	坂戸市
147	関東信越	5万以上の都市	埼玉県	ふじみ野市
148	関東信越	5万以上の都市	千葉県	成田市
149	関東信越	5万以上の都市	千葉県	我孫子市
150	関東信越	5万以上の都市	千葉県	八街市
151	関東信越	5万以上の都市	千葉県	山武市
152	関東信越	5万以上の都市	東京都	昭島市
153	関東信越	5万以上の都市	東京都	国分寺市
154	関東信越	5万以上の都市	東京都	東大和市
155	関東信越	5万以上の都市	東京都	武蔵村山市
156	関東信越	5万以上の都市	東京都	羽村市
157	関東信越	5万以上の都市	神奈川県	海老名市
181	関東信越	5万以上の都市	新潟県	十日町市
182	関東信越	5万以上の都市	新潟県	南魚沼市
158	関東信越	5万以上の都市	山梨県	南アルプス市
159	関東信越	5万以上の都市	長野県	飯田市
160	関東信越	5万以上の都市	長野県	佐久市
161	関東信越	5万未満の都市	茨城県	下妻市
162	関東信越	5万未満の都市	茨城県	行方市
163	関東信越	5万未満の都市	千葉県	南房総市
185	関東信越	5万未満の都市	新潟県	魚沼市
164	関東信越	5万未満の都市	山梨県	韭崎市
165	関東信越	5万未満の都市	山梨県	北杜市
166	関東信越	郡部(町村)	茨城県	八千代町
167	関東信越	郡部(町村)	群馬県	神流町
168	関東信越	郡部(町村)	埼玉県	伊奈町
169	関東信越	郡部(町村)	埼玉県	寄居町
170	関東信越	郡部(町村)	千葉県	一宮町
171	関東信越	郡部(町村)	神奈川県	二宮町
172	関東信越	郡部(町村)	長野県	佐久穂町
173	関東信越	郡部(町村)	長野県	池田町
191	東海北陸	20大都市	静岡県	静岡市駿河区
192	東海北陸	20大都市	静岡県	静岡市清水区
193	東海北陸	20大都市	静岡県	浜松市南区
194	東海北陸	20大都市	静岡県	浜松市北区
195	東海北陸	20大都市	愛知県	名古屋市中区
196	東海北陸	20大都市	愛知県	名古屋市中村区
197	東海北陸	20大都市	愛知県	名古屋市中区
198	東海北陸	20大都市	愛知県	名古屋市中川区
199	東海北陸	20大都市	愛知県	名古屋市中区
200	東海北陸	20大都市	愛知県	名古屋市中区
201	東海北陸	20大都市	愛知県	名古屋市中区
178	東海北陸	15万以上の都市	富山県	富山市
179	東海北陸	15万以上の都市	石川県	金沢市
180	東海北陸	15万以上の都市	石川県	金沢市
202	東海北陸	15万以上の都市	岐阜県	岐阜市

地点番号	ブロック	人口区分	都道府県名	自治体名
203	東海北陸	15万以上の都市	岐阜県	大垣市
204	東海北陸	15万以上の都市	静岡県	富士市
205	東海北陸	15万以上の都市	静岡県	磐田市
206	東海北陸	15万以上の都市	愛知県	豊橋市
207	東海北陸	15万以上の都市	愛知県	岡崎市
209	東海北陸	15万以上の都市	愛知県	岡崎市
208	東海北陸	15万以上の都市	愛知県	一宮市
210	東海北陸	15万以上の都市	愛知県	豊田市
211	東海北陸	15万以上の都市	愛知県	安城市
212	東海北陸	15万以上の都市	愛知県	豊川市
213	東海北陸	15万以上の都市	三重県	四日市市
214	東海北陸	15万以上の都市	三重県	鈴鹿市
183	東海北陸	5万以上の都市	石川県	加賀市
215	東海北陸	5万以上の都市	岐阜県	多治見市
216	東海北陸	5万以上の都市	岐阜県	恵那市
217	東海北陸	5万以上の都市	岐阜県	可児市
218	東海北陸	5万以上の都市	静岡県	伊東市
219	東海北陸	5万以上の都市	静岡県	藤枝市
220	東海北陸	5万以上の都市	静岡県	湖西市
221	東海北陸	5万以上の都市	愛知県	津島市
222	東海北陸	5万以上の都市	愛知県	西尾市
223	東海北陸	5万以上の都市	愛知県	小牧市
224	東海北陸	5万以上の都市	愛知県	東海市
225	東海北陸	5万以上の都市	愛知県	尾張旭市
226	東海北陸	5万以上の都市	愛知県	清須市
227	東海北陸	5万以上の都市	三重県	伊勢市
228	東海北陸	5万以上の都市	三重県	志摩市
229	東海北陸	5万未満の都市	岐阜県	山県市
230	東海北陸	5万未満の都市	静岡県	熱海市
231	東海北陸	5万未満の都市	愛知県	岩倉市
186	東海北陸	5万未満の都市	富山県	魚津市
187	東海北陸	5万未満の都市	石川県	能美市
190	東海北陸	郡部(町村)	富山県	入善町
232	東海北陸	郡部(町村)	岐阜県	輪之内町
233	東海北陸	郡部(町村)	静岡県	清水町
234	東海北陸	郡部(町村)	愛知県	蟹江町
235	東海北陸	郡部(町村)	三重県	菟野町
236	近畿	20大都市	京都府	京都市北区
237	近畿	20大都市	京都府	京都市左京区
238	近畿	20大都市	京都府	京都市南区
239	近畿	20大都市	京都府	京都市伏見区
240	近畿	20大都市	京都府	京都市西京区
241	近畿	20大都市	大阪府	大阪市西区
242	近畿	20大都市	大阪府	大阪市淀川区
243	近畿	20大都市	大阪府	大阪市東成区
244	近畿	20大都市	大阪府	大阪市城東区
245	近畿	20大都市	大阪府	大阪市住吉区
246	近畿	20大都市	大阪府	大阪市西成区
247	近畿	20大都市	大阪府	大阪市住之江区
248	近畿	20大都市	大阪府	大阪市北区
249	近畿	20大都市	大阪府	堺市北区
250	近畿	20大都市	大阪府	堺市南区
251	近畿	20大都市	兵庫県	神戸市東灘区
252	近畿	20大都市	兵庫県	神戸市長田区
253	近畿	20大都市	兵庫県	神戸市垂水区
254	近畿	20大都市	兵庫県	神戸市中央区
255	近畿	15万以上の都市	滋賀県	大津市
256	近畿	15万以上の都市	京都府	宇治市
257	近畿	15万以上の都市	大阪府	豊中市
258	近畿	15万以上の都市	大阪府	吹田市
259	近畿	15万以上の都市	大阪府	吹田市
260	近畿	15万以上の都市	大阪府	高槻市
261	近畿	15万以上の都市	大阪府	枚方市
262	近畿	15万以上の都市	大阪府	八尾市
263	近畿	15万以上の都市	大阪府	寝屋川市

地点番号	ブロック	人口区分	都道府県名	自治体名
264	近畿	15万以上の都市	大阪府	東大阪市
265	近畿	15万以上の都市	兵庫県	姫路市
266	近畿	15万以上の都市	兵庫県	姫路市
267	近畿	15万以上の都市	兵庫県	尼崎市
268	近畿	15万以上の都市	兵庫県	明石市
269	近畿	15万以上の都市	兵庫県	西宮市
270	近畿	15万以上の都市	兵庫県	西宮市
271	近畿	15万以上の都市	兵庫県	加古川市
272	近畿	15万以上の都市	兵庫県	川西市
273	近畿	15万以上の都市	奈良県	奈良市
274	近畿	15万以上の都市	和歌山県	和歌山市
184	近畿	5万以上の都市	福井県	坂井市
275	近畿	5万以上の都市	滋賀県	長浜市
276	近畿	5万以上の都市	滋賀県	甲賀市
277	近畿	5万以上の都市	京都府	福知山市
278	近畿	5万以上の都市	京都府	向日市
279	近畿	5万以上の都市	京都府	木津川市
280	近畿	5万以上の都市	大阪府	守口市
281	近畿	5万以上の都市	大阪府	富田林市
282	近畿	5万以上の都市	大阪府	大東市
283	近畿	5万以上の都市	大阪府	羽曳野市
284	近畿	5万以上の都市	大阪府	藤井寺市
285	近畿	5万以上の都市	兵庫県	芦屋市
286	近畿	5万以上の都市	兵庫県	高砂市
287	近畿	5万以上の都市	奈良県	大和高田市
288	近畿	5万以上の都市	奈良県	生駒市
289	近畿	5万以上の都市	和歌山県	田辺市
188	近畿	5万未満の都市	福井県	小浜市
189	近畿	5万未満の都市	福井県	勝山市
290	近畿	5万未満の都市	兵庫県	相生市
291	近畿	5万未満の都市	奈良県	五條市
292	近畿	郡部(町村)	大阪府	島本町
293	近畿	郡部(町村)	兵庫県	新温泉町
294	近畿	郡部(町村)	和歌山県	美浜町
295	中国	20大都市	岡山県	岡山市中区
296	中国	20大都市	岡山県	岡山市南区
297	中国	20大都市	広島県	広島市南区
298	中国	20大都市	広島県	広島市安佐南区
299	中国	20大都市	広島県	広島市安芸区
300	中国	15万以上の都市	鳥取県	鳥取市
301	中国	15万以上の都市	岡山県	倉敷市
302	中国	15万以上の都市	広島県	呉市
303	中国	15万以上の都市	広島県	福山市
304	中国	15万以上の都市	広島県	東広島市
305	中国	15万以上の都市	山口県	下関市
306	中国	15万以上の都市	山口県	山口市
307	中国	5万以上の都市	鳥取県	米子市
308	中国	5万以上の都市	島根県	益田市
309	中国	5万以上の都市	岡山県	真庭市
310	中国	5万以上の都市	広島県	廿日市市
311	中国	5万以上の都市	山口県	岩国市
312	中国	5万未満の都市	島根県	安来市
313	中国	5万未満の都市	島根県	雲南市
314	中国	5万未満の都市	広島県	府中市
315	中国	郡部(町村)	鳥取県	湯梨浜町
316	中国	郡部(町村)	岡山県	吉備中央町
317	四国	15万以上の都市	徳島県	徳島市
318	四国	15万以上の都市	香川県	高松市
319	四国	15万以上の都市	愛媛県	松山市
320	四国	15万以上の都市	愛媛県	今治市
321	四国	15万以上の都市	高知県	高知市
322	四国	5万以上の都市	香川県	坂出市
323	四国	5万以上の都市	愛媛県	宇和島市
324	四国	5万以上の都市	愛媛県	四国中央市
325	四国	5万未満の都市	徳島県	美馬市

地点番号	ブロック	人口区分	都道府県名	自治体名
326	四国	5万未満の都市	香川県	東かがわ市
327	四国	5万未満の都市	高知県	安芸市
328	四国	郡部(町村)	徳島県	上板町
329	四国	郡部(町村)	高知県	田野町
330	九州	20大都市	福岡県	北九州市戸畑区
331	九州	20大都市	福岡県	北九州市小倉南区
332	九州	20大都市	福岡県	北九州市八幡西区
333	九州	20大都市	福岡県	福岡市博多区
334	九州	20大都市	福岡県	福岡市中央区
335	九州	20大都市	福岡県	福岡市西区
336	九州	20大都市	福岡県	福岡市早良区
337	九州	15万以上の都市	福岡県	久留米市
338	九州	15万以上の都市	佐賀県	佐賀市
339	九州	15万以上の都市	長崎県	長崎市
340	九州	15万以上の都市	長崎県	佐世保市
341	九州	15万以上の都市	熊本県	熊本市
342	九州	15万以上の都市	熊本県	熊本市
343	九州	15万以上の都市	大分県	大分市
344	九州	15万以上の都市	宮崎県	宮崎市
345	九州	15万以上の都市	宮崎県	都城市
346	九州	15万以上の都市	鹿児島県	鹿児島市
347	九州	15万以上の都市	沖縄県	那覇市
348	九州	5万以上の都市	福岡県	大牟田市
349	九州	5万以上の都市	福岡県	柳川市
350	九州	5万以上の都市	福岡県	春日市
351	九州	5万以上の都市	福岡県	古賀市
352	九州	5万以上の都市	佐賀県	鳥栖市
353	九州	5万以上の都市	長崎県	南島原市
354	九州	5万以上の都市	熊本県	菊池市
355	九州	5万以上の都市	大分県	中津市
356	九州	5万以上の都市	宮崎県	延岡市
357	九州	5万以上の都市	鹿児島県	出水市
358	九州	5万以上の都市	鹿児島県	霧島市
359	九州	5万以上の都市	沖縄県	糸満市
360	九州	5万未満の都市	佐賀県	多久市
361	九州	5万未満の都市	長崎県	西海市
362	九州	5万未満の都市	大分県	杵築市
363	九州	5万未満の都市	鹿児島県	指宿市
364	九州	5万未満の都市	鹿児島県	伊佐市
365	九州	郡部(町村)	福岡県	篠栗町
366	九州	郡部(町村)	福岡県	広川町
367	九州	郡部(町村)	長崎県	長与町
368	九州	郡部(町村)	熊本県	山都町
369	九州	郡部(町村)	宮崎県	美郷町
370	九州	郡部(町村)	沖縄県	国頭村

※人口区分における20大都市: 東京都区部と政令指定都市(平成24年1月現在)

**(2)各調査別回収状況一覧**

- ・国民調査 : 23,720件 (回収率 32.1%)
- ・保険者調査 : 992件 (回収率 64.9%)
- ・自治体調査 : 1,216件 (回収率 74.6%)

表 2-4-2 国民調査 地域ブロック別回収率一覧

ブロック	回収数	発送件数	回収率
北海道	987	3,200	30.8%
東北	1,710	5,000	34.2%
関東信越	8,788	27,800	31.6%
東海北陸	3,556	10,400	34.2%
近畿	3,720	12,400	30.0%
中国	1,479	4,400	33.6%
四国	760	2,600	29.2%
九州	2,301	8,200	28.1%

※上記の他、郵便番号記入欄が無回答で地域の判別が出来ない回収が419件あった

表 2-4-3 自治体調査 地域ブロック別回収率一覧

ブロック	回収数	発送件数	回収率
北海道	118	175	67.4%
東北	141	199	70.9%
関東信越	330	413	79.9%
東海北陸	154	184	83.7%
近畿	155	203	76.4%
中国	75	101	74.3%
四国	59	92	64.1%
九州	184	264	69.7%

**(3)震災の影響により除外した地域**

本調査の実施に際して、平成23年3月11日に発生した東日本大震災による影響により、標本設計の際に根拠とした総務省の「住民基本台帳に基づく人口、人口動態および世帯数」に人口が記載されていない以下の市町村については、抽出地点の選定の際に対象から除外した。

表 2-4-4 国民調査 地点抽出の際に除外した市町村一覧

県	市町村
岩手県	宮古市
岩手県	大船渡市
岩手県	陸前高田市
岩手県	釜石市
岩手県	上閉伊郡
岩手県	上閉伊郡大槌町
岩手県	下閉伊郡山田町
岩手県	下閉伊郡岩泉町
岩手県	九戸郡野田村

県	市町村
宮城県	石巻市
宮城県	気仙沼市
宮城県	多賀城市
宮城県	亘理郡山元町
宮城県	牡鹿郡
宮城県	牡鹿郡女川町
宮城県	本吉郡
宮城県	本吉郡南三陸町

県	市町村
福島県	南相馬市
福島県	双葉郡楢葉町
福島県	双葉郡富岡町
福島県	双葉郡川内村
福島県	双葉郡大熊町
福島県	双葉郡双葉町
福島県	双葉郡浪江町
福島県	双葉郡葛尾村

※人口に関する根拠資料：住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数（平成23年3月31日現在）

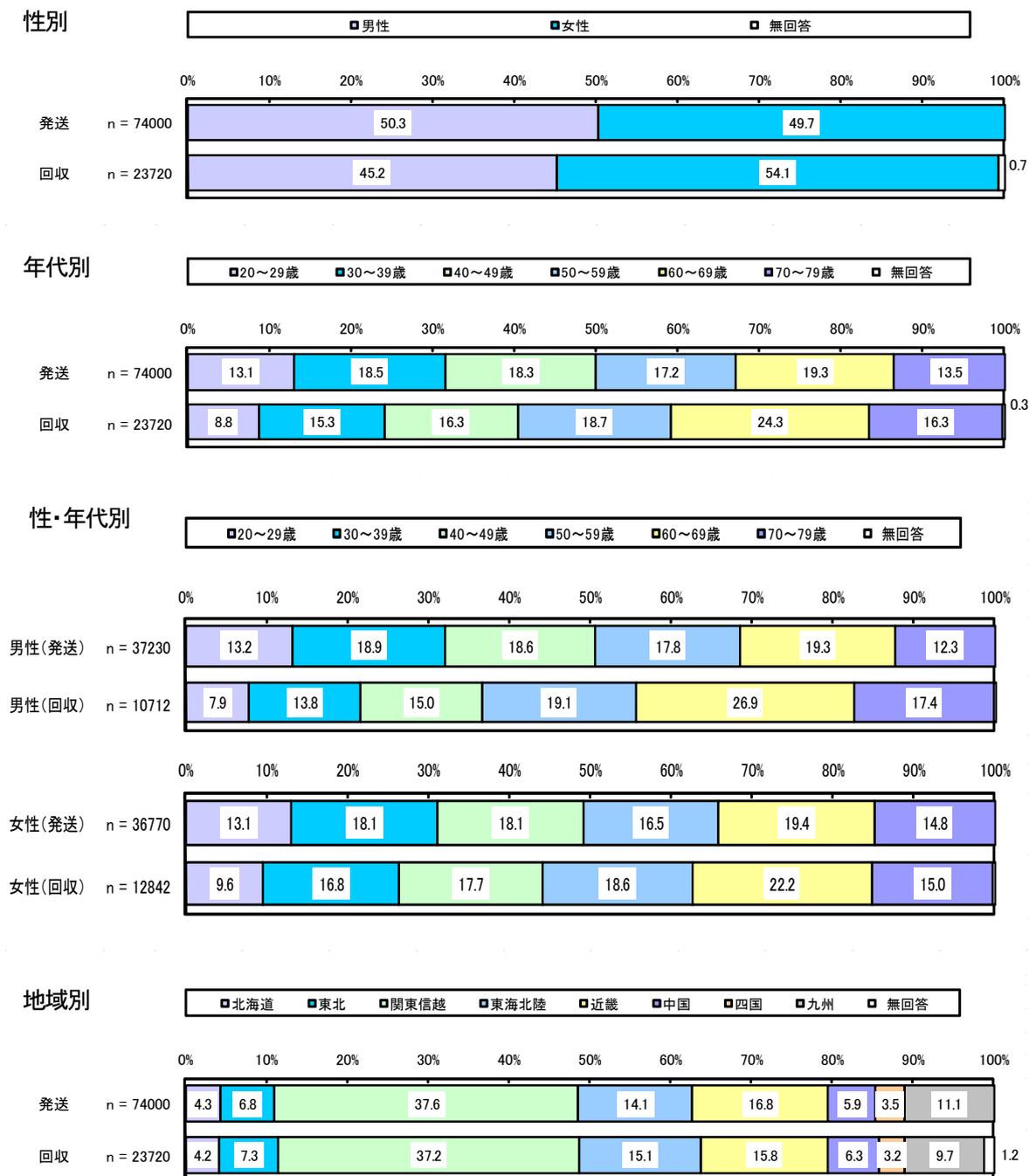
[http://www.soumu.go.jp/menu\\_news/s-news/01gyosei02\\_01000023.html](http://www.soumu.go.jp/menu_news/s-news/01gyosei02_01000023.html)

## 2-5. 国民調査における発送時・回収時のサンプル属性について

発送時点と回収時点の対象者の属性を比較すると、発送時点の割合と比較して男性および20歳代、30歳代、40歳代の割合が低く、若い世代の回収状況が悪い傾向があるが、地域別の割合には大きな違いはみられていない。

なお、発送サンプル属性は、住民基本台帳閲覧情報より集計し、回収サンプル属性は設問回答内容から集計した。

図 2-5-1 発送時—回収時のサンプル属性



## 2-6. 国民調査における標本誤差について

国民調査については標本調査であるため、推計値のもつ誤差の一つとして、標本抽出に起因する標本誤差がある。標本誤差の大きさは、調査項目の種類によって異なるが、本報告書では主な項目の「標準誤差率（推計値の大きさに対する標準誤差の百分率）」を示しており、観測値の±標準誤差率の中に、全数調査から得られるはずの値が95%以上の確率で存在すると考えてよい。標本誤差については「回収率10%となった場合に性別・年代別の12区分別の比率の標準誤差率が最大で3%程度」となるように設定した。

結果、回収サンプルにおける主要な属性の標本誤差については、下記の通りである。

表 2-6-1 国民調査 主要属性における標本誤差一覧

### ■性別・年代別

年代 \ 性別	男女計	男性	女性
合計	0.64%	0.95%	0.86%
20代	2.15%	3.38%	2.79%
30代	1.63%	2.55%	2.11%
40代	1.57%	2.45%	2.06%
50代	1.47%	2.17%	2.01%
60代	1.29%	1.83%	1.84%
70代	1.58%	2.27%	2.23%

### ■性別・地区別

地区 \ 性別	男女計	男性	女性
合計	0.64%	0.95%	0.86%
北海道	3.10%	4.52%	4.28%
東北	2.36%	3.45%	3.26%
関東	1.04%	1.55%	1.41%
東海北陸	1.64%	2.42%	2.24%
近畿	1.60%	2.37%	2.19%
中国	2.54%	3.76%	3.48%
四国	3.55%	5.54%	4.66%
九州	2.04%	3.09%	2.73%

### ■年代・地区別

地区 \ 年代	合計	20代	30代	40代	50代	60代	70代
合計	0.64%	2.15%	1.63%	1.57%	1.47%	1.29%	1.58%
北海道	3.10%	10.69%	8.25%	7.77%	6.86%	6.12%	7.87%
東北	2.36%	8.22%	6.55%	5.97%	5.14%	4.87%	5.50%
関東	1.04%	3.55%	2.62%	2.50%	2.43%	2.12%	2.65%
東海北陸	1.64%	5.76%	4.18%	4.03%	3.83%	3.24%	4.09%
近畿	1.60%	5.37%	3.99%	3.92%	3.78%	3.34%	3.87%
中国	2.54%	8.50%	6.61%	6.64%	5.76%	5.16%	6.04%
四国	3.55%	12.35%	10.51%	9.22%	8.25%	6.84%	7.92%
九州	2.04%	6.24%	5.21%	5.42%	4.57%	4.11%	5.22%

### ■人口規模・地区別

地区 \ 人口規模	合計	20大都市	15万以上の都市	5万以上の都市	5万未満の都市	郡部（町村）
合計	0.64%	1.24%	1.15%	1.29%	2.22%	2.11%
北海道	3.10%	4.91%	7.87%	7.39%	12.65%	6.98%
東北	2.36%	6.58%	4.27%	4.51%	7.04%	5.69%
関東	1.04%	1.78%	1.81%	2.22%	5.24%	4.22%
東海北陸	1.64%	3.58%	2.98%	3.07%	5.21%	5.21%
近畿	1.60%	3.00%	2.79%	3.16%	6.01%	7.11%
中国	2.54%	5.31%	4.51%	5.35%	6.84%	8.80%
四国	3.55%	-	5.92%	7.77%	6.73%	9.14%
九州	2.04%	4.92%	4.09%	3.76%	5.63%	5.26%

標準誤差率 5～10%未満  
 標準誤差率 10%以上

## 2-7. 調査結果に関する注意事項と説明

### (1) 調査結果の見方

- ・次ページ以降の「3. 調査結果：国民調査」から「5. 調査結果：自治体調査」については、それぞれの調査票の設問に沿って、回答状況をグラフおよび集計表にて示している。「6. 結果の特徴」では、国民調査を中心に調査票の設問を加工し、調査目的にそって分析を行なっている。
- ・自治体調査において、都道府県・特別区・保健所設置市については厚生労働省健康局肝炎対策推進室にて同年5月に実施した調査と調査項目が酷似していたため、調査票を発送したのは上記以外の市町村に限定した。ただし、国民調査・自治体調査それぞれの結果を元にした効果検証の際には上記調査データより結果を補完して集計している。
- ・回答結果の割合を算出する分母は、該当する設問に答えるべきサンプルに絞り込んでいるため、設問によっては回答者全体の割合ではないことに注意が必要である。これについては、必要に応じて分母を絞り込んだ条件を記載している。
- ・回答結果の割合は、小数第二位を四捨五入し、小数第一位までを示しているため、合計が100%にならないことがある（複数回答設問を除く）。
- ・それぞれの調査のクロス集計表に関しては、必ずしも因果関係を示したものではないことに留意する必要がある。特に、各調査における肝炎ウイルス検査の受検者数および受検率はあくまで本調査において聴取した限りにおいて明らかとなった意識や把握している実績上の結果であり、厳密な意味で受検した事実を示す統計情報ではない。また、この調査の目的は肝炎ウイルス検査の受検実態を明らかにすることであり、政策検討上検査結果についても回答をもとめたが、この結果の集計値が即ち疫学上の陽性率を示すものではない点に留意いただきたい。

### (2) クロス集計における $\chi^2$ 値について

各集計表の下部に記載している値は $\chi^2$ 検定の結果である。

ここでいう $\chi^2$ 検定とは、「ピアソンの $\chi^2$ 検定」による独立性の検定を行なったものである。この検定は、2つの変数によって観測された事象（実測値）と期待値（2つの変数が互いに独立である）との乖離度合いを示す $\chi^2$ 値を算出し、自由度（df）によって $\chi^2$ 分布上の位置を確認し、その危険率が帰無仮説（2つの変数が互いに独立である）を棄却できる有意水準よりも小さい、つまり「2つの変数には有意な関連がある」かどうかを判断する手法である。

ただし、 $\chi^2$ 検定は「サンプルサイズが大きいくほど有意になりやすい」、「分割表1セルあたりの度数が極端に小さい（0に近い）場合は検出力が低下する」という特性があるため、各グラフ下部の検定結果でp値が5%未満であったとしても、すなわち「関連性がある」とは必ずしもいえない。

表 2-7-1  $\chi^2$  検定に関する指標について

指標	意味
$\chi^2$ 値	カイ二乗値。分割表における期待値と実測値の差の大きさを表わす。
df	自由度 (degree of freedom)。得られた $\chi^2$ 値が $\chi^2$ 分布のどのような位置にあるかを確認し、帰無仮説を棄却するか判定する際に必要である。
p値	危険率。社会科学では一般的にこれが5%未満であると「有意である」とみなされる。

### 3. 調査結果：国民調査

#### 3-1. 回答者属性

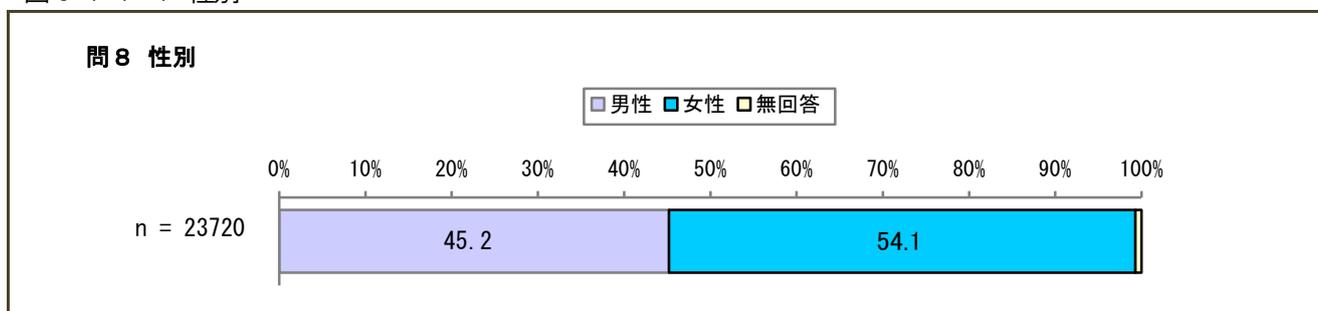
##### 3-1-1. 性別

問8 あなたの性別についてお答えください(あてはまる番号ひとつに○をつけてください)。

1. 男性

2. 女性

図 3-1-1-1 性別

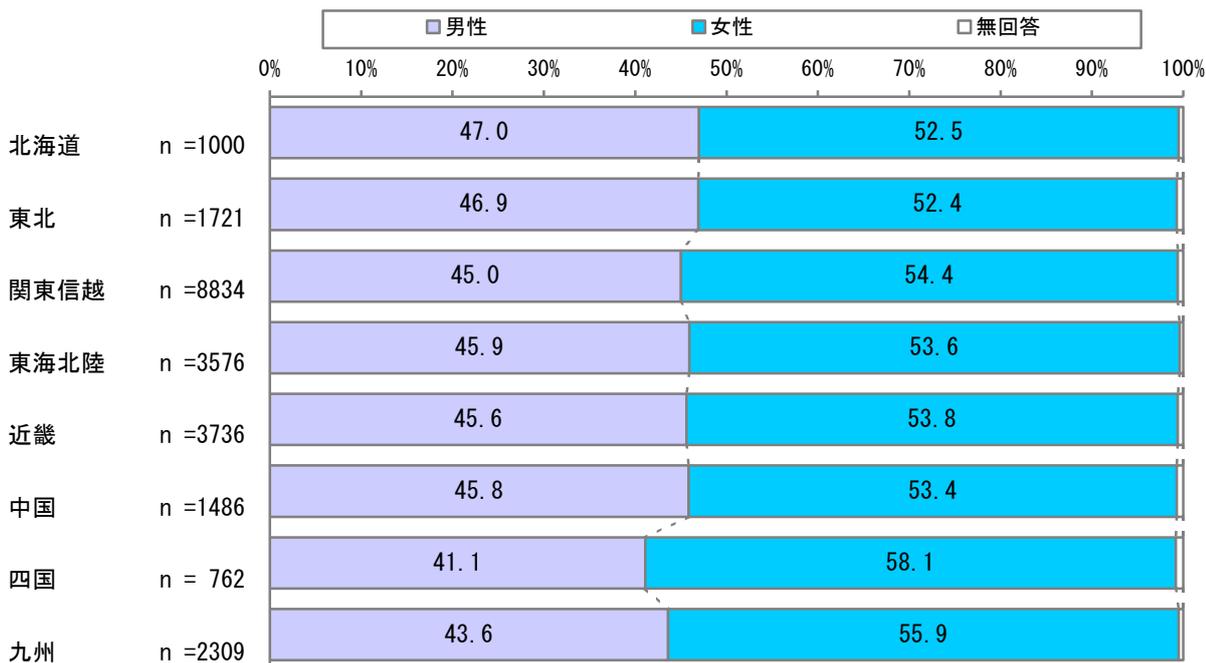


回答者の性別については、「男性」(45.2%)が半数弱、「女性」(54.1%)が半数強となっている。

地域ブロック別では、四国ブロックでは「女性」(58.1%)がやや高くなっている。

図 3-1-1-2 【地域ブロック別】性別

##### 【地域ブロック別】問8 性別



職業別では、医療従事者と主婦・学生・無職・その他では「女性」が7割前後（医療従事者：74.2%、学生・無職・その他：68.4%）を占め、医療従事者以外の職業では「男性」（61.7%）が6割以上を占めている。

図 3-1-1-3 【職業別】性別

【職業別】問8 性別

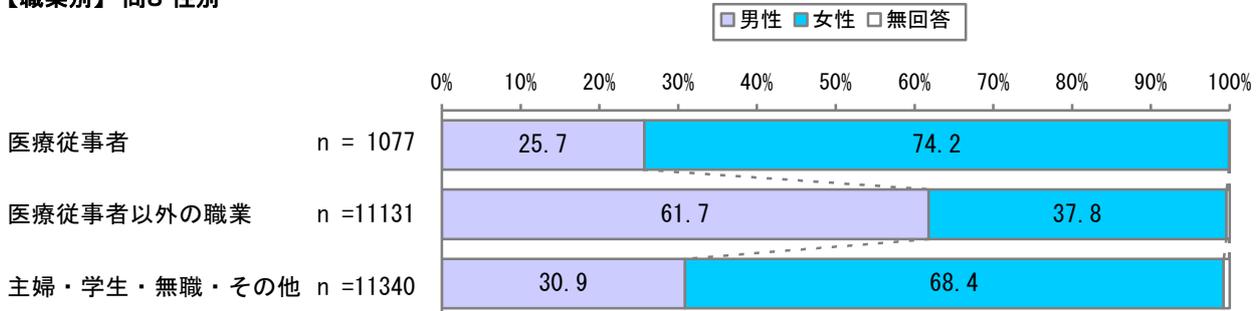


表 3-1-1-1 【年代・地域ブロック・職業別】性別 クロス表

		問8. 性別			
		調査数	男性	女性	無回答
年代	全体	23720 100.0	10712 45.2	12842 54.1	166 0.7
	20～29歳	2084 100.0	843 40.5	1238 59.4	3 0.1
	30～39歳	3632 100.0	1477 40.7	2152 59.3	3 0.1
	40～49歳	3876 100.0	1602 41.3	2268 58.5	6 0.2
	50～59歳	4436 100.0	2042 46.0	2383 53.7	11 0.2
	60～69歳	5763 100.0	2881 50.0	2848 49.4	34 0.6
	70～79歳	3863 100.0	1863 48.2	1923 49.8	77 2.0
	地域ブロック	北海道	1000 100.0	470 47.0	525 52.5
東北		1721 100.0	808 46.9	901 52.4	12 0.7
関東信越		8834 100.0	3976 45.0	4808 54.4	50 0.6
東海北陸		3576 100.0	1642 45.9	1918 53.6	16 0.4
近畿		3736 100.0	1704 45.6	2010 53.8	22 0.6
中国		1486 100.0	681 45.8	794 53.4	11 0.7
四国		762 100.0	313 41.1	443 58.1	6 0.8
九州		2309 100.0	1006 43.6	1291 55.9	12 0.5
職業別		医療従事者	1077 100.0	277 25.7	799 74.2
	医療従事者以外の職業	11131 100.0	6871 61.7	4212 37.8	48 0.4
	主婦・学生・無職・その他	11340 100.0	3501 30.9	7753 68.4	86 0.8

単位/上段：件数(人)  
下段：構成比(%)  
※以降の集計表も同様

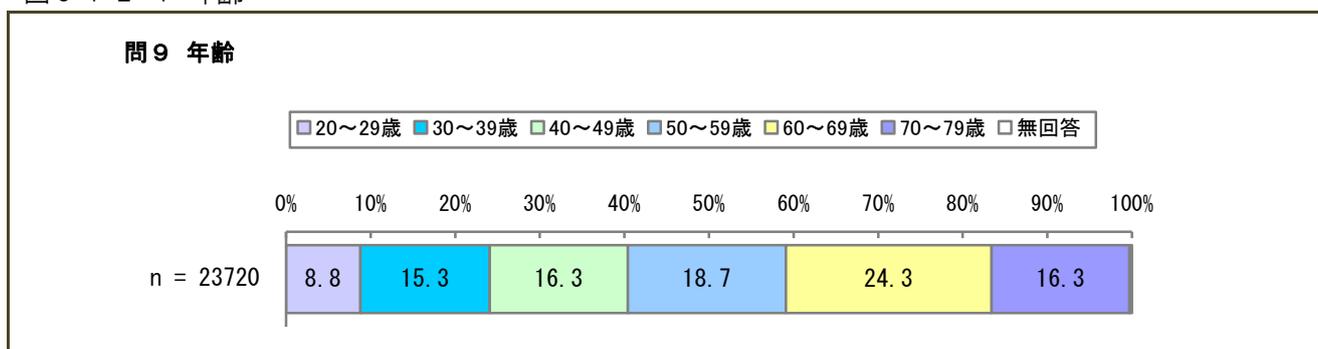
年代 ( $\chi^2=155.590, df=5, p=0.000 < 0.05$ )  
 地域ブロック ( $\chi^2=12.436, df=7, p=0.087$  n.s.)  
 職業 ( $\chi^2=2325.593, df=2, p=0.000 < 0.05$ )

## 3-1-2. 年齢

問9 あなたのご年齢についてお答えください(あてはまる番号ひとつに○をつけてください)。

1. 20～29歳 2. 30～39歳 3. 40～49歳 4. 50～59歳 5. 60～69歳 6. 70～79歳

図 3-1-2- 1 年齢

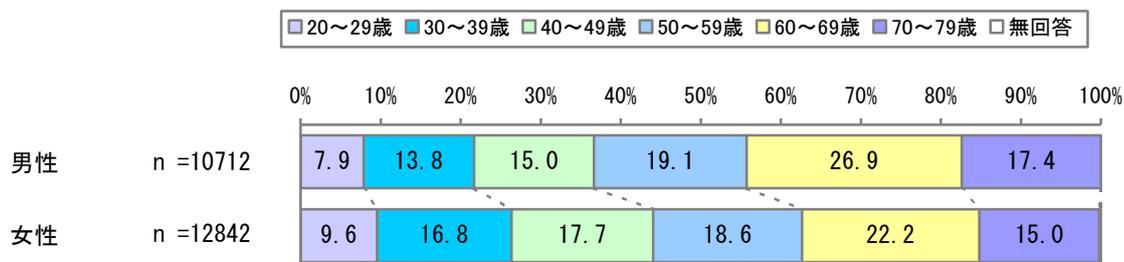


回答者の年代については、「60～69歳」(24.3%)が最も高く約4分の1を占め、以降、「50～59歳」(18.7%)、「40～49歳」「70～79歳」(各16.3%)、「30～39歳」(15.3%)、「20～29歳」(8.8%)と続いている。

性別では、女性では「30～39歳」(16.8%)、「40～49歳」(17.7%)の割合が男性を上回っている。

図 3-1-2- 2 【性別】年齢

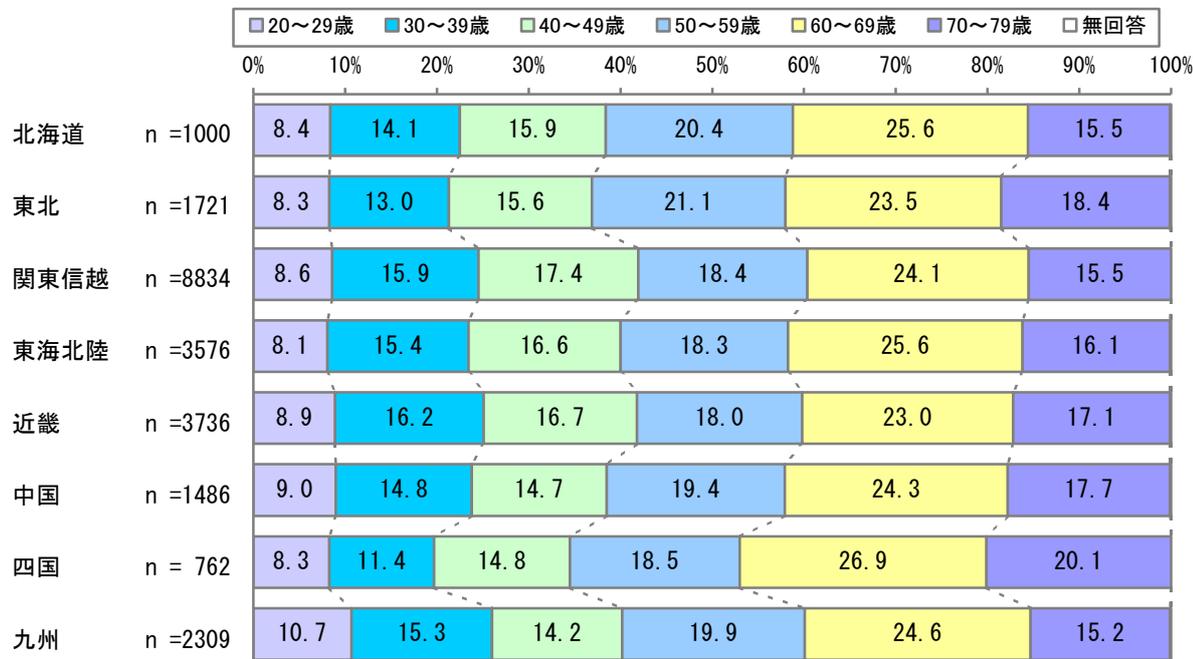
## 【性別】問9 年齢



地域ブロック別では大きな差はみられていないが、四国では「60～69 歳」(26.9%) と「70～79 歳」(20.1%) がやや高い。

図 3-1-2- 3 【地域ブロック別】年齢

【地域ブロック別】問9 年齢



職業別では、医療従事者では「30～39 歳」(26.6%) と「40～49 歳」(25.5%) がそれぞれ4分の1以上を占め、主婦・学生・無職・その他では「60～69 歳」(31.0%) が3割以上、「70～79 歳」(28.4%) が4分の1以上を占めている。

図 3-1-2- 4 【職業別】年齢

【職業別】問9 年齢

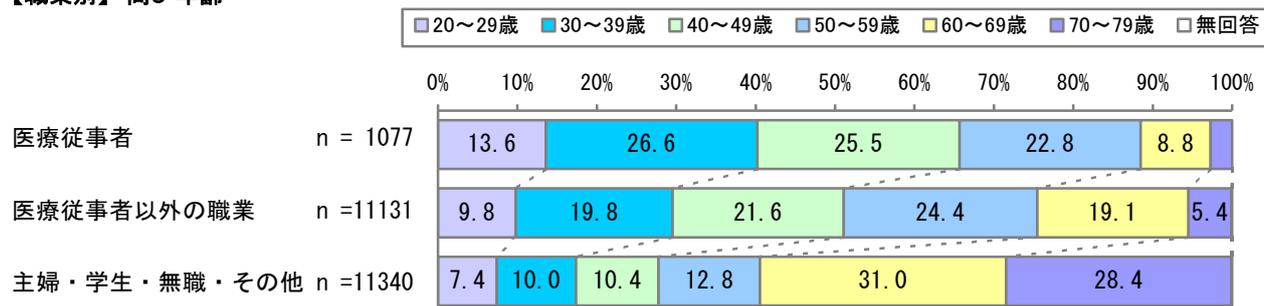


表 3-1-2-1 【性・地域ブロック・職業別】年齢 クロス集計表

		問9. 年齢							無回答
		調査数	20歳	30歳	40歳	50歳	60歳	70歳	
	全体	23720 100.0	2084 8.8	3632 15.3	3876 16.3	4436 18.7	5763 24.3	3863 16.3	66 0.3
性別	男性	10712 100.0	843 7.9	1477 13.8	1602 15.0	2042 19.1	2881 26.9	1863 17.4	4 0.0
	女性	12842 100.0	1238 9.6	2152 16.8	2268 17.7	2383 18.6	2848 22.2	1923 15.0	30 0.2
地域ブロック	北海道	1000 100.0	84 8.4	141 14.1	159 15.9	204 20.4	256 25.6	155 15.5	1 0.1
	東北	1721 100.0	142 8.3	224 13.0	269 15.6	363 21.1	405 23.5	317 18.4	1 0.1
	関東信越	8834 100.0	763 8.6	1404 15.9	1536 17.4	1626 18.4	2130 24.1	1372 15.5	3 0.0
	東海北陸	3576 100.0	289 8.1	549 15.4	592 16.6	654 18.3	916 25.6	574 16.1	2 0.1
	近畿	3736 100.0	333 8.9	604 16.2	624 16.7	672 18.0	860 23.0	640 17.1	3 0.1
	中国	1486 100.0	133 9.0	220 14.8	218 14.7	289 19.4	361 24.3	263 17.7	2 0.1
	四国	762 100.0	63 8.3	87 11.4	113 14.8	141 18.5	205 26.9	153 20.1	- -
	九州	2309 100.0	247 10.7	354 15.3	327 14.2	459 19.9	568 24.6	352 15.2	2 0.1
	職業別	医療従事者	1077 100.0	146 13.6	286 26.6	275 25.5	246 22.8	95 8.8	29 2.7
医療従事者以外の職業		11131 100.0	1088 9.8	2199 19.8	2399 21.6	2713 24.4	2128 19.1	597 5.4	7 0.1
主婦・学生・無職・その他		11340 100.0	837 7.4	1131 10.0	1178 10.4	1455 12.8	3512 31.0	3221 28.4	6 0.1

性別  $(\chi^2=155.590, df=5, p=0.000 < 0.05)$ 地域ブロック  $(\chi^2=87.599, df=35, p=0.000 < 0.05)$ 職業  $(\chi^2=3792.981, df=10, p=0.000 < 0.05)$ 

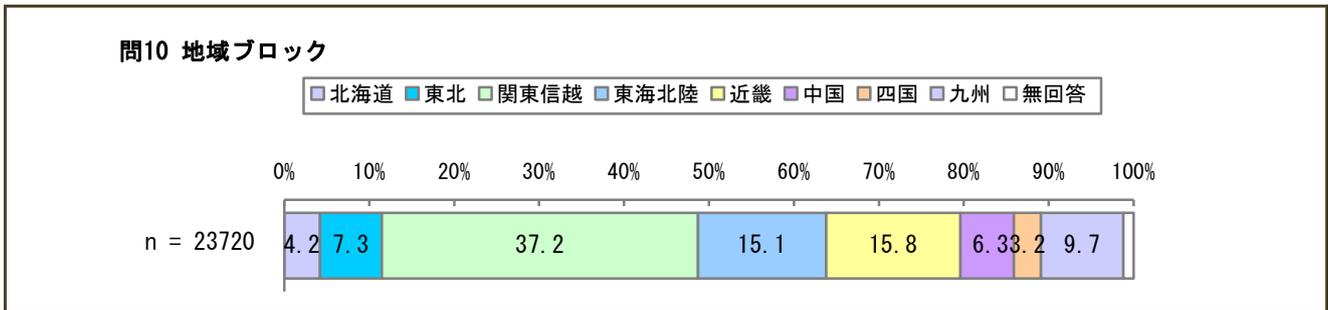
※以降の年代に関するコメントでは、20～29歳は「20代」、30～39歳は「30代」、40～49歳は「40代」、50～59歳は「50代」、60～69歳は「60代」、70～79歳は「70代」としてコメントする。

### 3-1-3. 地域ブロック/人口規模

問10 あなたのお住まいの郵便番号を数字でお答えください。

#### ■地域ブロック

図 3-1-3- 1 地域ブロック

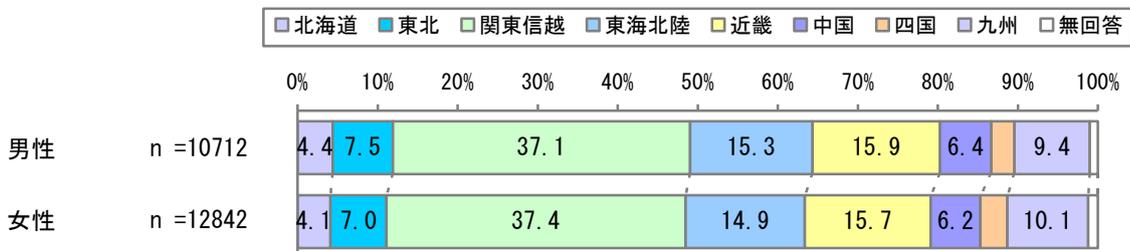


回答者が居住する地域については、「関東信越」(37.2%) が最も高く 4 割弱を占め、以降、「近畿」(15.8%)、「東海北陸」(15.1%)、「中国」(9.7%) と続いている。

性別では特に差はみられていない。

図 3-1-3- 2 【性別】地域ブロック

#### 【性別】問10 地域ブロック



職業別でもあまり差はみられていないが、医療従事者では「東海北陸」(12.8%) がやや少なく、「九州」(12.6%) がやや多くなっている。

図 3-1-3- 3 【職業別】地域ブロック

【職業別】 問10 地域ブロック



表 3-1-3- 1 【性・年代・職業別】地域ブロック クロス集計表

		地域ブロック									
		調査数	北海道	東北	関東信越	東海北陸	近畿	中国	四国	九州	無回答
性別	全体	23720 100.0	1000 4.2	1721 7.3	8834 37.2	3576 15.1	3736 15.8	1486 6.3	762 3.2	2309 9.7	296 1.2
	男性	10712 100.0	470 4.4	808 7.5	3976 37.1	1642 15.3	1704 15.9	681 6.4	313 2.9	1006 9.4	112 1.0
	女性	12842 100.0	525 4.1	901 7.0	4808 37.4	1918 14.9	2010 15.7	794 6.2	443 3.4	1291 10.1	152 1.2
年代	20～29歳	2084 100.0	84 4.0	142 6.8	763 36.6	289 13.9	333 16.0	133 6.4	63 3.0	247 11.9	30 1.4
	30～39歳	3632 100.0	141 3.9	224 6.2	1404 38.7	549 15.1	604 16.6	220 6.1	87 2.4	354 9.7	49 1.3
	40～49歳	3876 100.0	159 4.1	269 6.9	1536 39.6	592 15.3	624 16.1	218 5.6	113 2.9	327 8.4	38 1.0
	50～59歳	4436 100.0	204 4.6	363 8.2	1626 36.7	654 14.7	672 15.1	289 6.5	141 3.2	459 10.3	28 0.6
	60～69歳	5763 100.0	256 4.4	405 7.0	2130 37.0	916 15.9	860 14.9	361 6.3	205 3.6	568 9.9	62 1.1
	70～79歳	3863 100.0	155 4.0	317 8.2	1372 35.5	574 14.9	640 16.6	263 6.8	153 4.0	352 9.1	37 1.0
職業別	医療従事者	1077 100.0	58 5.4	74 6.9	376 34.9	138 12.8	179 16.6	58 5.4	45 4.2	136 12.6	13 1.2
	医療従事者以外の職業	11131 100.0	415 3.7	803 7.2	4234 38.0	1741 15.6	1662 14.9	724 6.5	352 3.2	1099 9.9	101 0.9
	主婦・学生・無職・その他	11340 100.0	524 4.6	837 7.4	4184 36.9	1680 14.8	1871 16.5	699 6.2	361 3.2	1066 9.4	118 1.0

性別 ( $\chi^2=12.436, df=7, p=0.087$  n.s.)

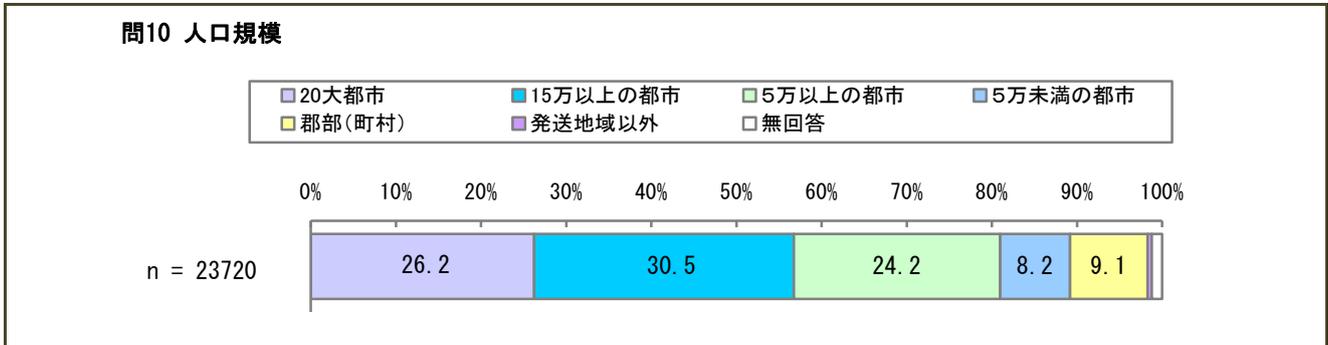
年代 ( $\chi^2=87.599, df=35, p=0.000 <0.05$ )

職業 ( $\chi^2=50.572, df=14, p=0.000 <0.05$ )

問10 あなたのお住まいの郵便番号を数字でお答えください。

■人口規模

図 3-1-3- 4 人口規模

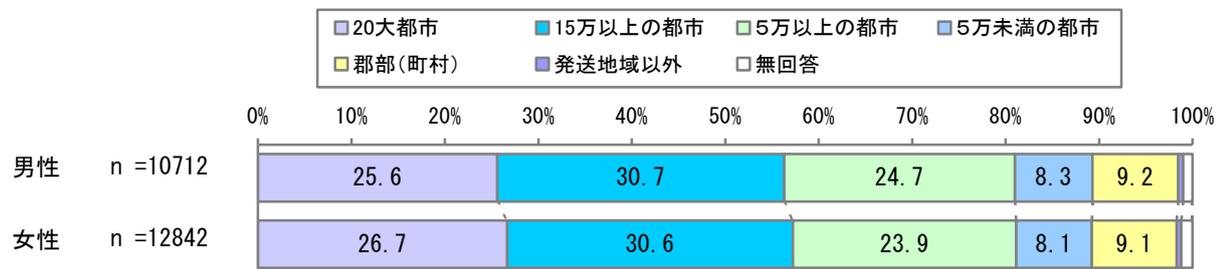


人口規模は、「15万以上の都市」(30.5%)が最も高く3割を占め、以降、「20大都市」(26.2%)、「5万以上の都市」(24.2%)と続いている。

年代別では、20代~40代では「20大都市」が高くなっている(20代:28.1%、30代:30.0%、40代:28.9%)。50代以上では「5万以上の都市」「5万未満の都市」「郡部(町村)」が若干高くなっている。

図 3-1-3- 5 【性別】人口規模

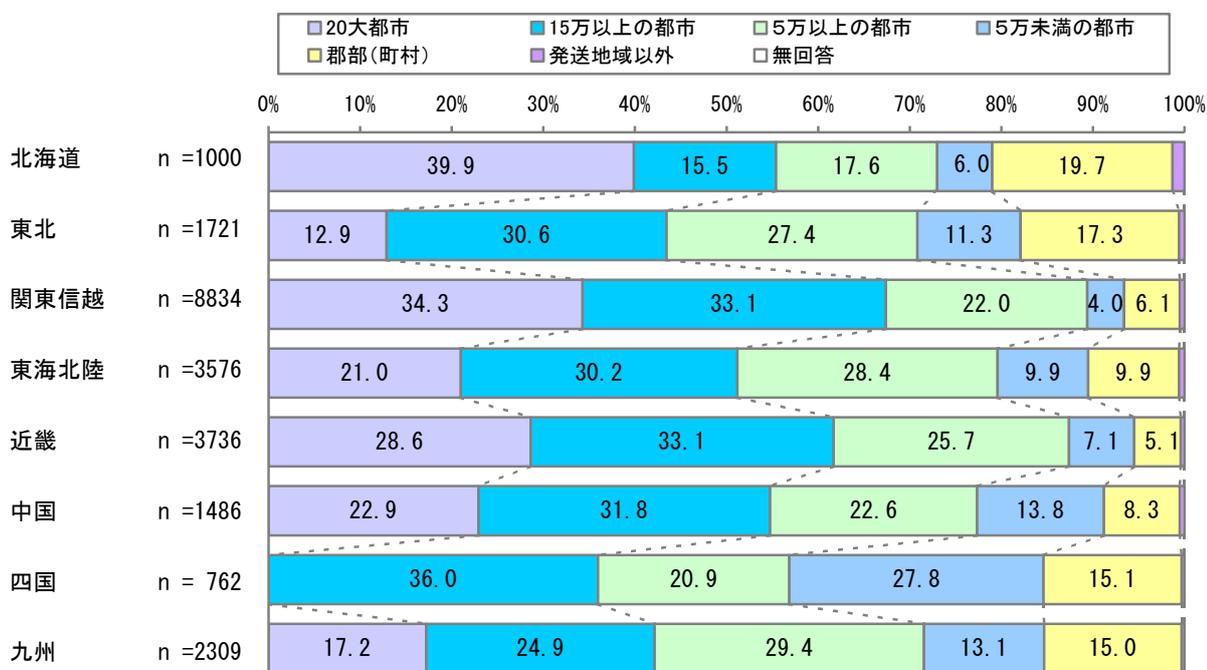
【性別】問10 人口規模



地域ブロック別では、北海道で「20 大都市」(39.9%)と「郡部(町村)」(19.7%)、東北で「郡部(町村)」(17.3%)、関東信越で「20 大都市」(34.3%)、四国で「5 万未満の都市」(27.8%)と「郡部(町村)」(15.1%)、九州で「郡部(町村)」(15.0%)が、それぞれ多くなっている。

図 3-1-3- 6 【地域ブロック別】人口規模

【地域ブロック別】問10 人口規模



職業別では特に差はみられていない。

図 3-1-3- 7 【職業別】人口規模

【職業別】問10 人口規模

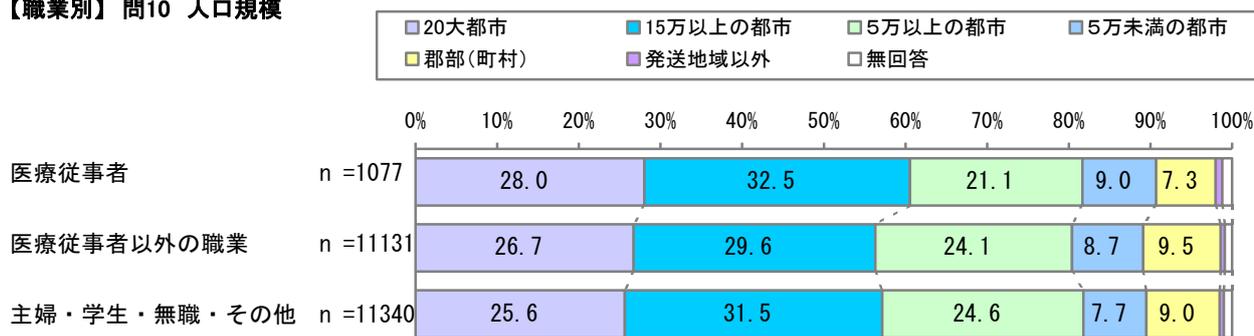


表 3-1-3- 2 【性・年代・地域ブロック・職業別】人口規模 クロス集計表

		人口規模							
		調査数	20 大都市	15 以上の 都市	5 万 以上の 都市	5 万 未満の 都市	郡部 (町村)	発送 地域 以外	無 回答
	全 体	23720 100.0	6206 26.2	7244 30.5	5744 24.2	1944 8.2	2163 9.1	123 0.5	296 1.2
性別	男性	10712 100.0	2745 25.6	3284 30.7	2642 24.7	890 8.3	983 9.2	56 0.5	112 1.0
	女性	12842 100.0	3427 26.7	3926 30.6	3066 23.9	1043 8.1	1163 9.1	65 0.5	152 1.2
年代	20～29歳	2084 100.0	586 28.1	653 31.3	469 22.5	148 7.1	176 8.4	22 1.1	30 1.4
	30～39歳	3632 100.0	1089 30.0	1113 30.6	804 22.1	256 7.0	292 8.0	29 0.8	49 1.3
	40～49歳	3876 100.0	1121 28.9	1243 32.1	877 22.6	296 7.6	288 7.4	13 0.3	38 1.0
	50～59歳	4436 100.0	1067 24.1	1335 30.1	1139 25.7	398 9.0	451 10.2	18 0.4	28 0.6
	60～69歳	5763 100.0	1396 24.2	1779 30.9	1444 25.1	499 8.7	559 9.7	24 0.4	62 1.1
	70～79歳	3863 100.0	945 24.5	1116 28.9	1007 26.1	347 9.0	394 10.2	17 0.4	37 1.0
	地域 ブ ロ ッ ク	北海道	1000 100.0	399 39.9	155 15.5	176 17.6	60 6.0	197 19.7	13 1.3
東北		1721 100.0	222 12.9	526 30.6	471 27.4	194 11.3	297 17.3	11 0.6	-
関東信越		8834 100.0	3029 34.3	2925 33.1	1945 22.0	350 4.0	539 6.1	46 0.5	-
東海北陸		3576 100.0	751 21.0	1081 30.2	1016 28.4	354 9.9	354 9.9	20 0.6	-
近畿		3736 100.0	1067 28.6	1236 33.1	961 25.7	266 7.1	190 5.1	16 0.4	-
中国		1486 100.0	341 22.9	473 31.8	336 22.6	205 13.8	124 8.3	7 0.5	-
四国		762 100.0	-	274 36.0	159 20.9	212 27.8	115 15.1	2 0.3	-
九州		2309 100.0	397 17.2	574 24.9	680 29.4	303 13.1	347 15.0	8 0.3	-
職業	医療従事者	1077 100.0	302 28.0	350 32.5	227 21.1	97 9.0	79 7.3	9 0.8	13 1.2
	医療従事者以外の職業	11131 100.0	2969 26.7	3294 29.6	2686 24.1	968 8.7	1061 9.5	52 0.5	101 0.9
	主婦・学生・無職・その他	11340 100.0	2908 25.6	3571 31.5	2793 24.6	872 7.7	1016 9.0	62 0.5	118 1.0

性別 ( $\chi^2=4.353, df=4, p=0.360$  n.s.)

年代 ( $\chi^2=133.619, df=20, p=0.000 <0.05$ )

地域ブロック ( $\chi^2=106.564, df=4, p=0.000 <0.05$ )

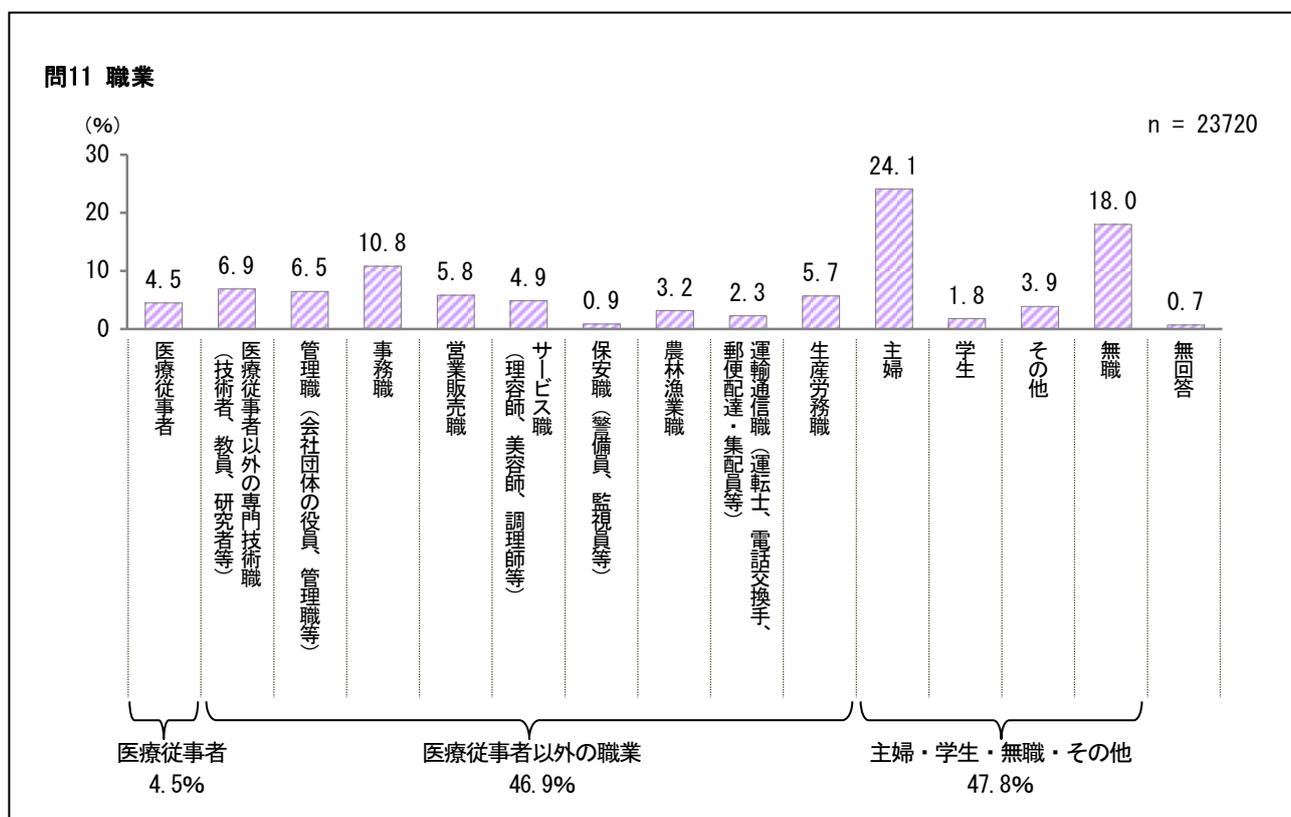
職業 ( $\chi^2=30.601, df=8, p=0.000 <0.05$ )

### 3-1-4. 職業

問11 あなたのご職業についてお答えください(あてはまる番号ひとつに○をつけてください)。

- |  |  |
|--|--|
| <ul style="list-style-type: none"> <li>1. 医療従事者</li> <li>2. 医療従事者以外の専門技術職<br/>(技術者、教員、研究者等)</li> <li>3. 管理職(会社会体の役員、管理職等)</li> <li>4. 事務職</li> <li>5. 営業販売職</li> <li>6. サービス職(理容師、美容師、調理師等)</li> <li>7. 保安職(警備員、監視員等)</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>8. 農林漁業職</li> <li>9. 運輸通信職<br/>(運転士、電話交換手、郵便配達・集配員等)</li> <li>10. 生産労務職</li> <li>11. 主婦</li> <li>12. 学生</li> <li>13. その他</li> <li>14. 無職</li> </ul> |
|--|--|

図 3-1-4- 1 職業



回答者の職業をたずねたところ、「主婦」(24.1%)が最も高く約4分の1を占めている。これに「学生」(1.8%)、「無職」(18.0%)、「その他」(3.9%)を合わせた『主婦・学生・無職・その他』(47.8%)は半数弱となる。『医療従事者以外の職業』(46.9%)は半数弱、『医療従事者』(4.5%)は1割に満たない。

※クロス集計の分析軸の「職業」は、大別した3分類(『医療従事者』『医療従事者以外の職業』『主婦・学生・無職・その他』)を使用する。

年代別では、20代で「学生」(19.6%)、30代と40代で「事務職」(30代:19.5%、40代:17.9%)、50代で「管理職」(12.7%)、60代で「主婦」(30.4%)と「無職」(27.0%)が多くなっている。また、70代では「無職」(55.2%)が半数以上を占めている。

地域ブロック別では特に差はみられていない。

表 3-1-4-1 【性・年代・地域ブロック別】職業 クロス集計表

	調査数	医療従事者	(医療従事者 以外の 専門家・技 術者等)	管理職 (会社 団体の 役員、 管 理職等)	事務職	営業 販売 職	サ ー ビ ス 職 (理 容 師、 調 理 師 等)	問11. 職業									
								保安職 (警備員、 監視員等)	農 林 漁 業 職	運 輸 ・ 通 信 職 (運 転 士、 電 話 交 換 手、 郵 便 配 送 ・ 集 配 員 等)	生 産 労 務 職	主 婦	学 生	そ の 他	無 職	無 回 答	
全 体	23720 100.0	1077 4.5	1628 6.9	1542 6.5	2557 10.8	1371 5.8	1158 4.9	222 0.9	749 3.2	549 2.3	1355 5.7	5725 24.1	425 1.8	929 3.9	4261 18.0	172 0.7	
性別																	
男性	10712 100.0	277 2.6	939 8.8	1339 12.5	951 8.9	890 8.3	470 4.4	216 2.0	536 5.0	470 4.4	1060 9.9	3 0.0	219 2.0	446 4.2	2833 26.4	63 0.6	
女性	12842 100.0	799 6.2	685 5.3	194 1.5	1603 12.5	479 3.7	681 5.3	3 0.0	204 1.6	74 0.6	289 2.3	5714 44.5	205 1.6	478 3.7	1356 10.6	78 0.6	
年代																	
20～29歳	2094 100.0	146 7.0	227 10.9	11 0.5	280 13.4	194 9.3	175 8.4	18 0.9	11 0.5	31 1.5	141 6.8	214 10.3	409 19.6	113 5.4	101 4.8	13 0.6	
30～39歳	3632 100.0	286 7.9	402 11.1	118 3.2	709 19.5	326 9.0	219 6.0	35 1.0	32 0.9	87 2.4	271 7.5	820 22.6	12 0.3	181 5.0	118 3.2	16 0.4	
40～49歳	3876 100.0	275 7.1	384 9.9	333 8.6	694 17.9	306 7.9	206 5.3	29 0.7	37 1.0	109 2.8	301 7.8	903 23.3	1 0.0	153 3.9	121 3.1	24 0.6	
50～59歳	4436 100.0	246 5.5	396 8.9	564 12.7	548 12.4	261 5.9	284 6.4	50 1.1	134 3.0	148 3.3	328 7.4	1013 22.8	1 0.0	207 4.7	234 5.3	22 0.5	
60～69歳	5763 100.0	95 1.6	180 3.1	396 6.9	300 5.2	225 3.9	216 3.7	85 1.5	303 5.3	154 2.7	269 4.7	1754 30.4	2 0.0	202 3.5	1554 27.0	28 0.5	
70～79歳	3863 100.0	29 0.8	39 1.0	120 3.1	25 0.6	58 1.5	56 1.4	5 0.1	231 6.0	20 0.5	43 1.1	1018 26.4	-	72 1.9	2131 55.2	16 0.4	
地域ブロック																	
北海道	1000 100.0	58 5.8	58 5.8	70 7.0	87 8.7	51 5.1	56 5.6	19 1.9	15 1.5	30 3.0	29 2.9	238 23.8	19 1.9	49 4.9	218 21.8	3 0.3	
東北	1721 100.0	74 4.3	87 5.1	107 6.2	186 10.8	74 4.3	80 4.6	18 1.0	110 6.4	33 1.9	108 6.3	373 21.7	28 1.5	76 4.4	382 21.0	7 0.4	
関東信越	8834 100.0	376 4.3	695 7.9	648 7.3	1006 11.4	548 6.2	430 4.9	75 0.8	192 2.2	197 2.2	443 5.0	2232 25.3	153 1.7	341 3.9	1458 16.5	40 0.5	
東海北陸	3576 100.0	138 3.9	227 6.3	256 7.2	389 10.9	188 5.3	170 4.8	32 0.9	108 3.0	85 2.4	286 8.0	859 24.0	66 1.8	124 3.5	631 17.6	17 0.5	
近畿	3736 100.0	179 4.8	241 6.5	238 6.4	416 11.1	257 6.9	178 4.8	29 0.8	29 0.7	92 2.5	184 4.9	932 24.9	71 1.9	153 4.1	715 19.1	24 0.6	
中国	1486 100.0	58 3.9	99 6.7	82 5.5	153 10.3	94 6.3	73 4.9	20 1.3	57 3.8	35 2.4	111 7.5	347 23.4	32 2.2	52 3.5	268 18.0	5 0.3	
四国	762 100.0	45 5.9	59 7.7	28 3.7	69 9.1	36 4.7	35 4.6	7 0.9	58 7.6	19 2.5	41 5.4	164 21.5	8 1.0	20 2.6	169 22.2	4 0.5	
九州	2309 100.0	136 5.9	144 6.2	103 4.5	224 9.7	116 5.0	125 5.4	21 0.9	174 7.5	51 2.2	141 6.1	528 22.9	48 2.1	96 4.2	394 17.1	8 0.3	

性別  $(\chi^2=8668.752, df=13, p=0.000 < 0.05)$

年齢  $(\chi^2=12792.831, df=65, p=0.000 < 0.05)$

地域ブロック  $(\chi^2=636.151, df=91, p=0.000 < 0.05)$

## 3-1-5. 加入している健康保険種別

問12 あなたの加入している健康保険についてお答えください(あてはまる番号ひとつに○をつけてください)。

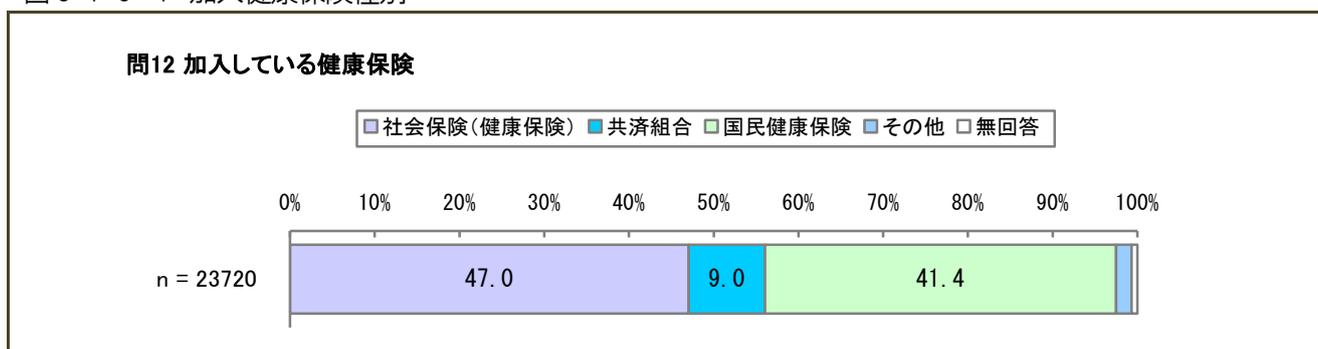
1. 社会保険(健康保険)

2. 共済組合

3. 国民健康保険

4. その他

図 3-1-5- 1 加入健康保険種別



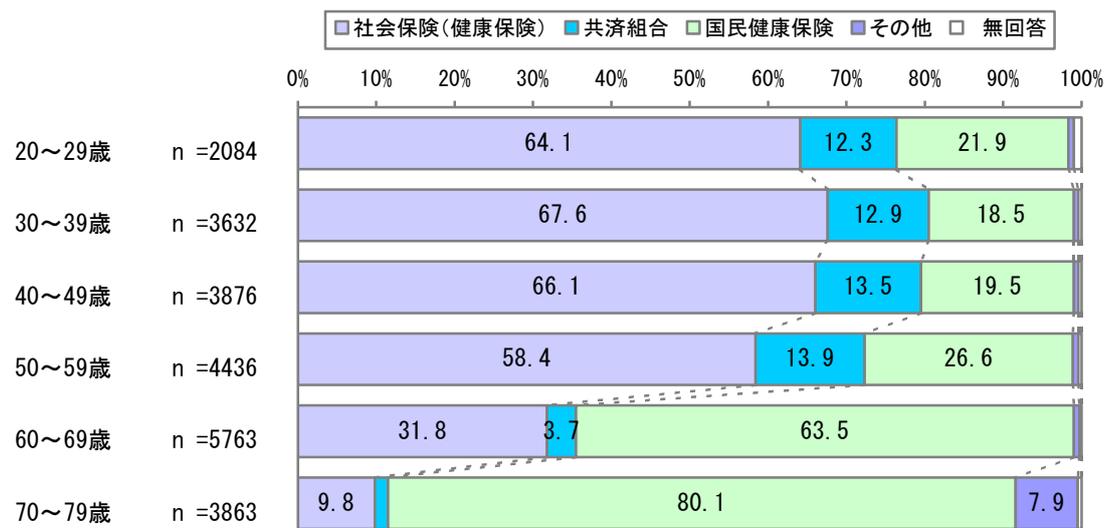
回答者の加入している健康保険についてたずねたところ、「社会保険(健康保険)」(47.0%)が最も高く半数弱を占め、次いで「国民健康保険」(41.1%)、「共済組合」(9.0%)となっている。

その他の内容については、後期高齢者医療保険 242 件であった。

年代別では、20代から40代までは「社会保険(健康保険)」が約3分の2(20代:64.1%、30代:67.6%、40代:66.1%)、50代(58.4%)でも6割弱を占めている。60代以上では「国民健康保険」が主となり、60代(63.5%)で6割強、70代(80.1%)で8割を占めている。

図 3-1-5- 2 【年代別】加入健康保険種別

## 【年代別】問12 加入健康保険種別



地域ブロック別ではあまり差はみられていないが、「共済組合」は北海道（13.2%）と東北（12.0%）で若干高くなっている。

図 3-1-5- 3 【地域ブロック別】加入健康保険種別

【地域ブロック別】 問12 加入健康保険種別

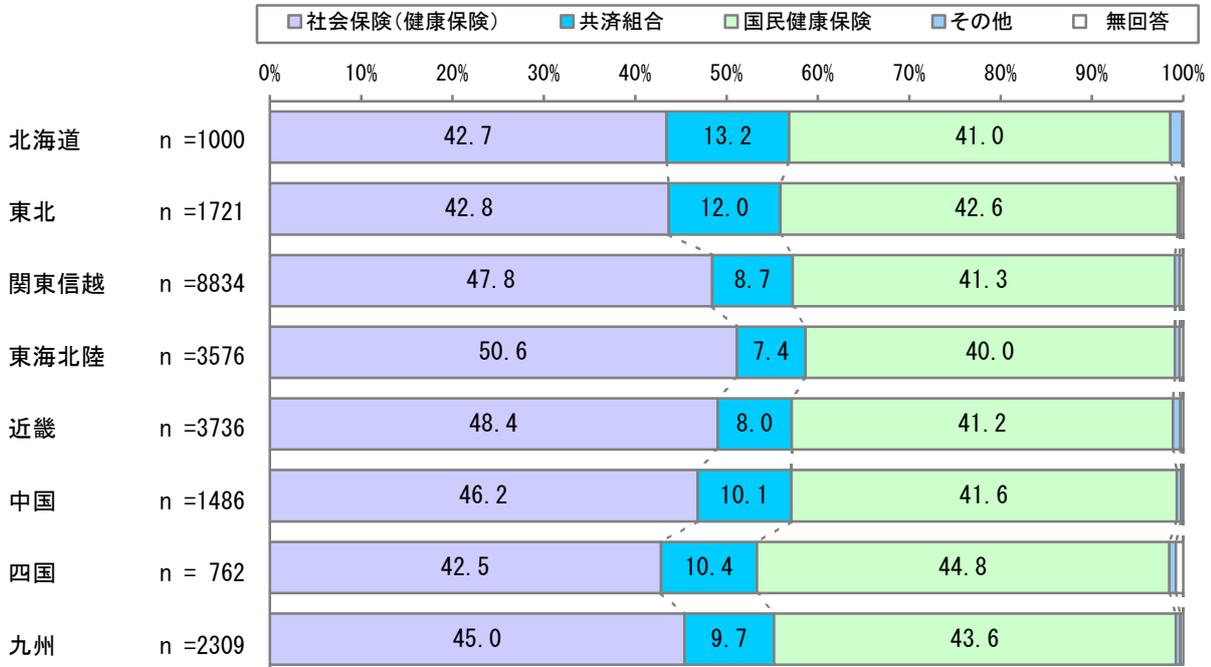


表 3-1-5-1 【性・年代・地域ブロック・職業別】加入健康保険種別 クロス集計表

		問12. 加入している健康保険					
		調査数	社会保険 (健康保険)	共済組合	国民健康保険	その他	無回答
	全体	23720 100.0	11160 47.0	2145 9.0	9825 41.4	434 1.8	156 0.7
性別	男性	10712 100.0	5011 46.8	989 9.2	4452 41.6	207 1.9	53 0.5
	女性	12842 100.0	6123 47.7	1154 9.0	5275 41.1	218 1.7	72 0.6
年代	20～29歳	2084 100.0	1336 64.1	256 12.3	457 21.9	14 0.7	21 1.0
	30～39歳	3632 100.0	2456 67.6	469 12.9	672 18.5	20 0.6	15 0.4
	40～49歳	3876 100.0	2561 66.1	522 13.5	754 19.5	25 0.6	14 0.4
	50～59歳	4436 100.0	2592 58.4	617 13.9	1181 26.6	30 0.7	16 0.4
	60～69歳	5763 100.0	1831 31.8	216 3.7	3658 63.5	39 0.7	19 0.3
	70～79歳	3863 100.0	378 9.8	65 1.7	3095 80.1	306 7.9	19 0.5
	地域ブロック	北海道	1000 100.0	427 42.7	132 13.2	410 41.0	30 3.0
東北		1721 100.0	736 42.8	207 12.0	733 42.6	39 2.3	6 0.3
関東信越		8834 100.0	4227 47.8	770 8.7	3648 41.3	154 1.7	35 0.4
東海北陸		3576 100.0	1808 50.6	263 7.4	1430 40.0	60 1.7	15 0.4
近畿		3736 100.0	1807 48.4	299 8.0	1540 41.2	77 2.1	13 0.3
中国		1486 100.0	686 46.2	150 10.1	618 41.6	29 2.0	3 0.2
四国		762 100.0	324 42.5	79 10.4	341 44.8	12 1.6	6 0.8
九州		2309 100.0	1040 45.0	225 9.7	1007 43.6	31 1.3	6 0.3
職業		医療従事者	1077 100.0	628 58.3	182 16.9	257 23.9	6 0.6
	医療従事者以外の職業	11131 100.0	6902 62.0	1216 10.9	2933 26.3	42 0.4	38 0.3
	主婦・学生・無職・その他	11340 100.0	3581 31.6	739 6.5	6588 58.1	386 3.4	46 0.4

性別  $(\chi^2=3.506, df=3, p=0.320 \text{ n.s.})$ 年代  $(\chi^2=7327.307, df=15, p=0.000 <0.05)$ 地域ブロック  $(\chi^2=106.668, df=21, p=0.000 <0.05)$ 職業  $(\chi^2=3065.709, df=6, p=0.000 <0.05)$ 

その他の主な内容については、以下の通り。

後期高齢者医療保険	242 件
生活保護	61 件

### 3-2. 肝炎ウイルス検査に関係がありそうな既往歴

問2 あなたご自身は、過去、(1)大きな外科手術についてご経験がありますか。

(Ⅰ)それぞれの経験について、お答えください

(Ⅱ)また、経験がある場合はその時期をお答えください

(1)大きな外科手術	1. 1回ある	2. 2回以上ある	3. ない
------------	---------	-----------	-------

図 3-2-1 大きな外科手術の経験

問 2 (1) 大きな外科手術 (全身麻酔での手術) 経験の有無

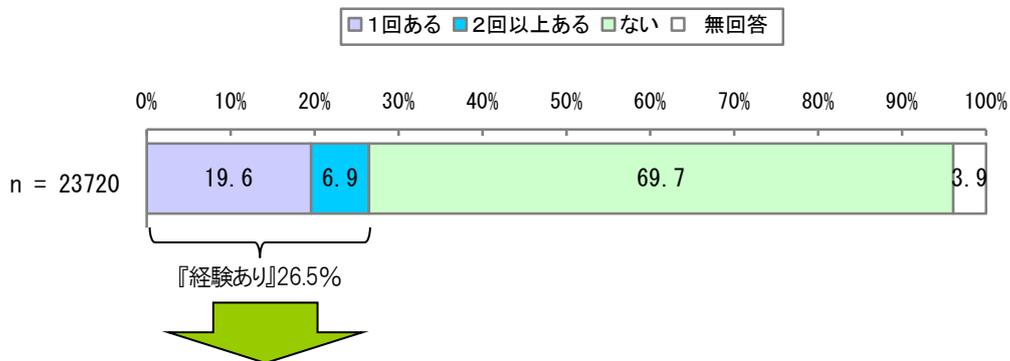
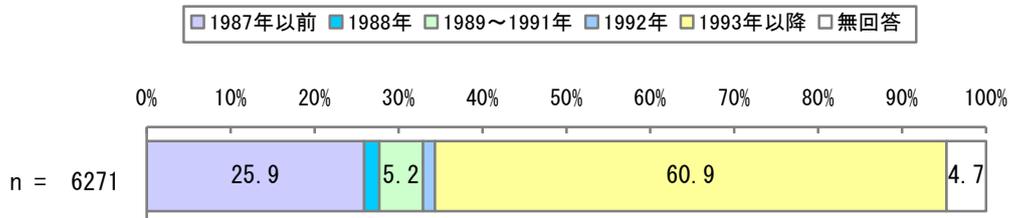


図 3-2-2 大きな外科手術の経験時期

問 2 (1) 大きな外科手術の経験時期



大きな外科手術の経験については、「ない」(69.7%)が7割を占め、「1回ある」(19.6%)と「2回以上ある」(6.9%)を合わせた『経験あり』(26.5%)は約4分の1となっている。

大きな外科手術の経験がある人の経験時期については、「1993年以降」(60.9%)が最も高く、以降、「1987年以前」(25.9%)、「1989～1991年」(5.2%)と続いている。

※【参考】外科手術関連の肝炎対策の経緯

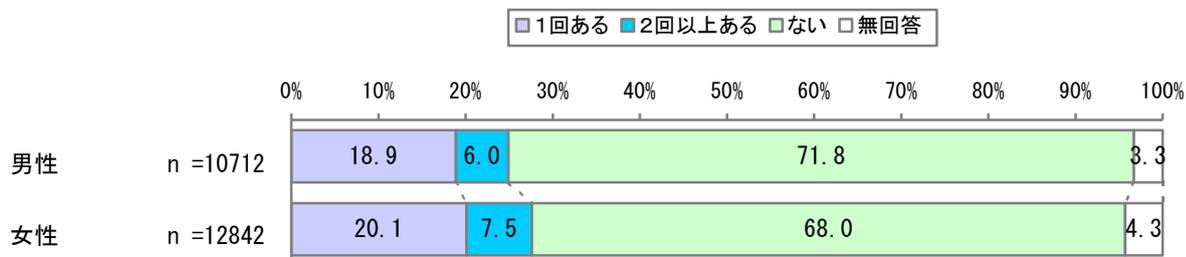
1981年：B型肝炎ウイルス関連検査を保険適用

1992年：C型肝炎ウイルス関連検査を保険適用

大きな外科手術の経験を性別にみると、あまり差はみられていないが、「1回ある」と「2回以上ある」のいずれも男性よりも女性で若干高く、それらを合わせた『経験あり』は女性（27.6%）が男性（24.9%）を3ポイント上回っている。

図 3-2- 3 【性別】大きな外科手術の経験

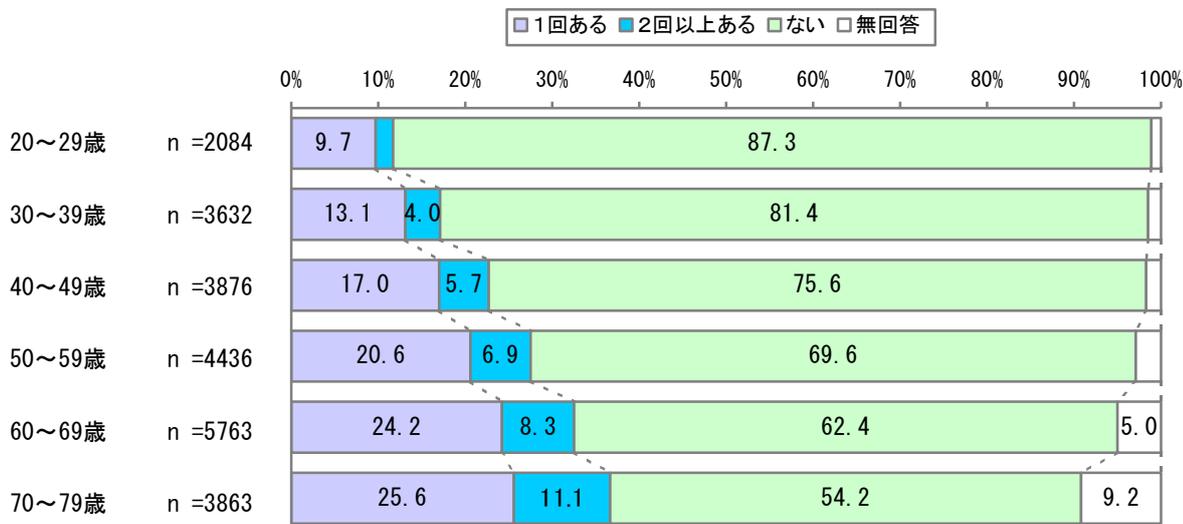
【性別】 問2(1)大きな外科手術経験の有無



年代別にみると、年代が上がるにつれて「1回ある」と「2回以上ある」のいずれも高くなり、それらを合わせた『経験あり』は60代以上では約3分の1を占めている（60代：32.5%、70代：36.7%）。

図 3-2- 4 【年代別】大きな外科手術の経験

【年代別】 問2(1)大きな外科手術経験の有無



地域ブロック別では特に差はみられていない。

図 3-2- 5 【地域ブロック別】大きな外科手術の経験

【地域ブロック別】 問2(1)大きな外科手術経験の有無

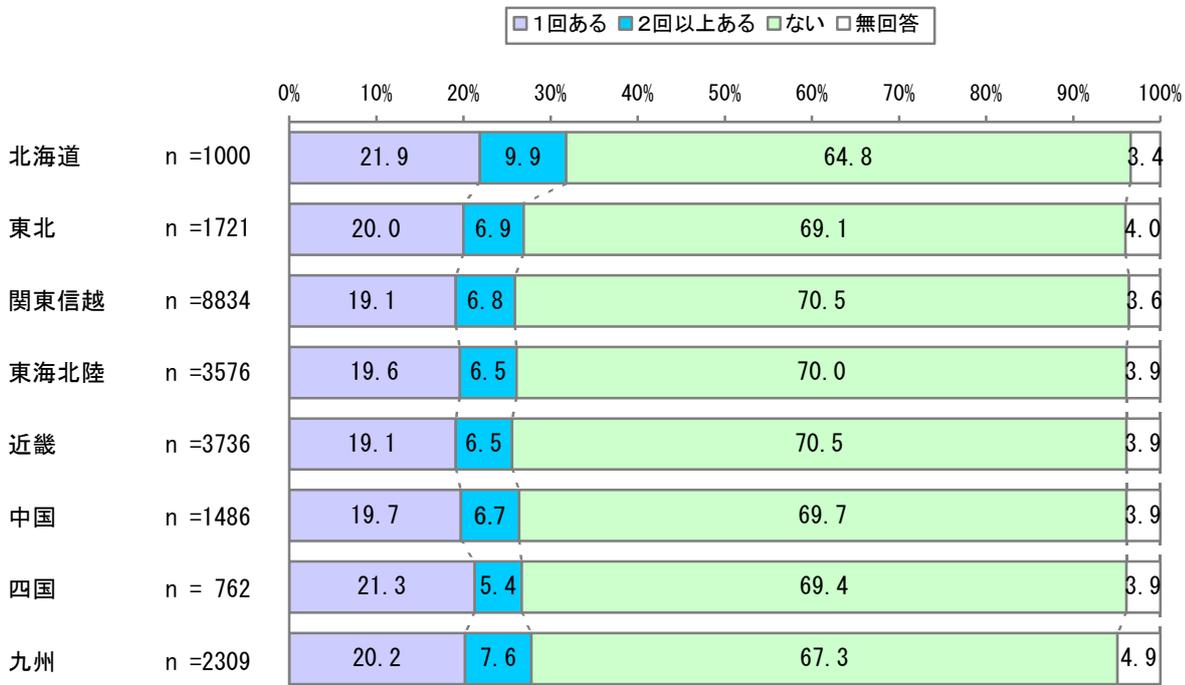


表 3-2-1 【性・年代・地域ブロック別】大きな外科手術の経験 クロス集計表

		問2(1)大きな外科手術(全身麻酔での手術)経験の有無				
		調査数	1 回 ある	2 回 以上 ある	ない	無 回答
	全 体	23720 100.0	4645 19.6	1626 6.9	16525 69.7	924 3.9
性 別	男性	10712 100.0	2025 18.9	645 6.0	7691 71.8	351 3.3
	女性	12842 100.0	2584 20.1	969 7.5	8736 68.0	553 4.3
年 代	20～29歳	2084 100.0	202 9.7	41 2.0	1819 87.3	22 1.1
	30～39歳	3632 100.0	477 13.1	144 4.0	2956 81.4	55 1.5
	40～49歳	3876 100.0	659 17.0	220 5.7	2931 75.6	66 1.7
	50～59歳	4436 100.0	914 20.6	306 6.9	3086 69.6	130 2.9
	60～69歳	5763 100.0	1395 24.2	481 8.3	3597 62.4	290 5.0
	70～79歳	3863 100.0	987 25.6	430 11.1	2092 54.2	354 9.2
	地 域 ブ ロ ッ ク	北海道	1000 100.0	219 21.9	99 9.9	648 64.8
東北		1721 100.0	344 20.0	118 6.9	1190 69.1	69 4.0
関東信越		8834 100.0	1688 19.1	602 6.8	6225 70.5	319 3.6
東海北陸		3576 100.0	702 19.6	234 6.5	2502 70.0	138 3.9
近畿		3736 100.0	712 19.1	244 6.5	2635 70.5	145 3.9
中国		1486 100.0	293 19.7	99 6.7	1036 69.7	58 3.9
四国		762 100.0	162 21.3	41 5.4	529 69.4	30 3.9
九州		2309 100.0	466 20.2	176 7.6	1554 67.3	113 4.9

性別  $(\chi^2=35.459, df=2, p=0.000 < 0.05)$ 年代  $(\chi^2=924.690, df=10, p=0.000 < 0.05)$ 地域ブロック  $(\chi^2=31.142, df=14, p=0.005 < 0.05)$

問2 あなたご自身は、過去、以下の(2)妊娠・出産についてご経験がありますか。

(I)それぞれの経験について、お答えください

(II)また、経験がある場合はその時期をお答えください

(2)妊娠・出産

1. ある

2. ない

図 3-2-6 妊娠・出産の経験

問 2 (2) 妊娠・出産経験の有無【女性のみ記入】

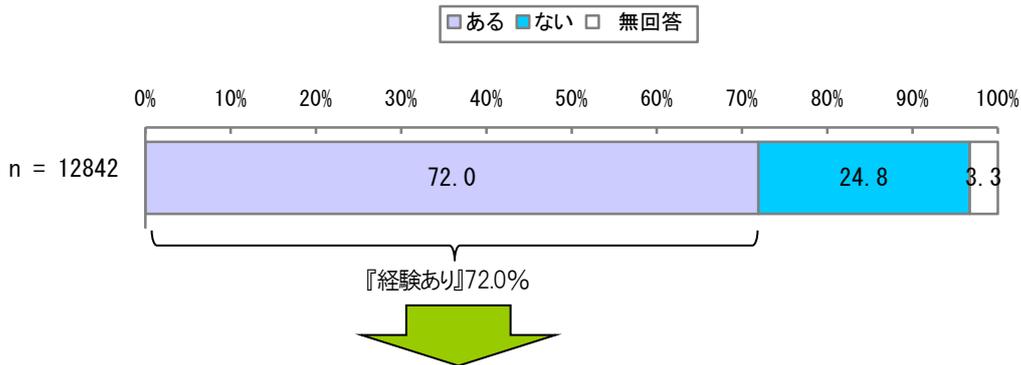
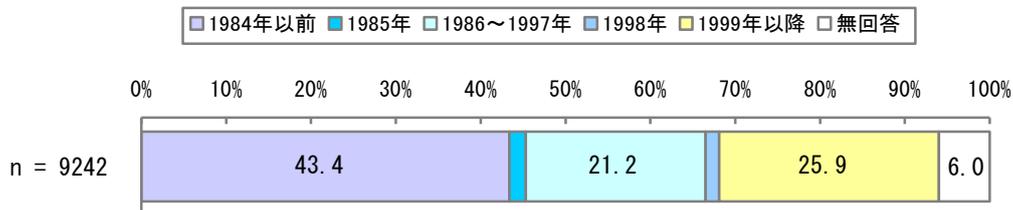


図 3-2-7 妊娠・出産の経験時期

問 2 (2) 妊娠・出産経験の時期



妊娠・出産の経験については、「ある」(72.0%)が7割強を占め、「ない」(24.8%)は約4分の1となっている。

妊娠・出産の経験がある人の経験時期については、「1984年以前」(43.4%)が最も高く、以降、「1999年以降」(25.9%)、「1986~1997年」(21.2%)と続いている。

※【参考】妊娠・出産関連の肝炎対策の経緯

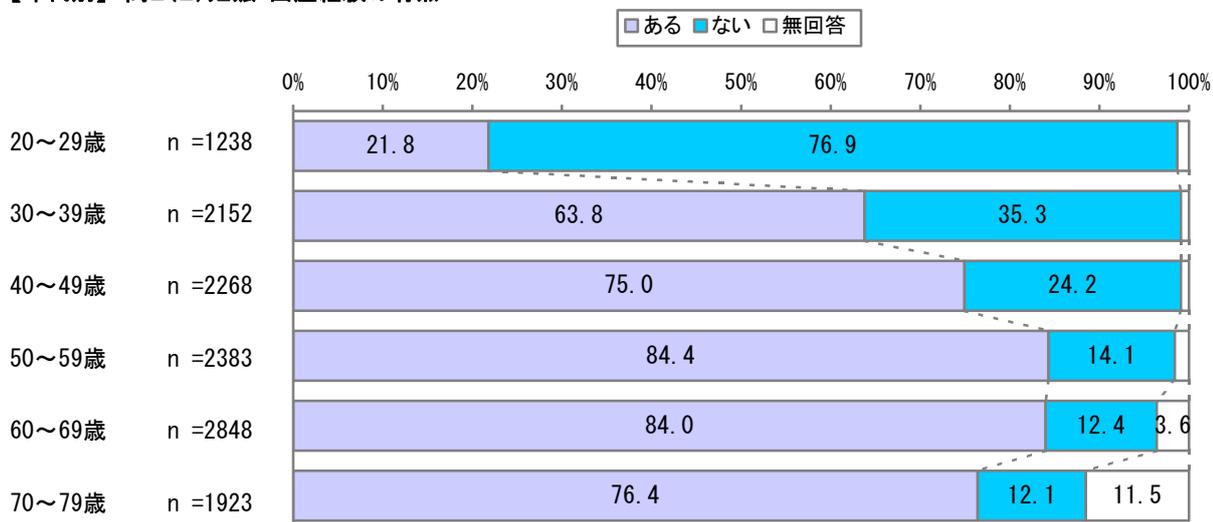
1985年：妊婦HBs抗原検査に関する国庫補助開始

1998年：B型肝炎母子感染防止事業の一般財源化

妊娠・出産の経験を年代別にみると、20代では「ない」(76.9%)が約4分の3を占めている。30代から60代では年代があがるにつれて「ある」が高くなり、50代(84.4%)と60代(84.0%)では8割以上を占めている。

図 3-2-8 【年代別】妊娠・出産の経験

【年代別】問2(2)妊娠・出産経験の有無



地域ブロック別では、「ある」は東海北陸(76.9%)で最も高く、以降、中国(76.2%)、東北(75.7%)、四国(75.2%)と続いている。北海道では「ない」(34.1%)が高くなっている。

図 3-2-9 【地域ブロック別】妊娠・出産の経験

【地域ブロック別】問2(2)妊娠・出産経験の有無

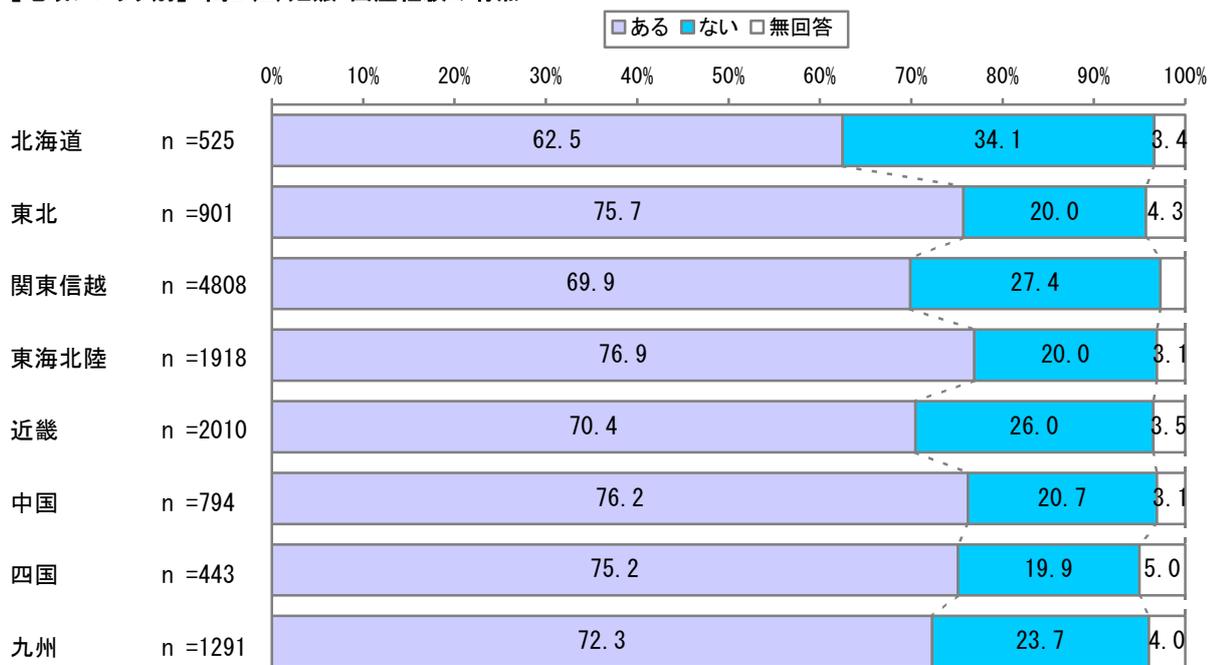


表 3-2- 2 【年代・地域ブロック別】妊娠・出産の経験 クロス集計表

		問2(2)妊娠・出産経験の有無【女性のみ記入】			
		調査数	ある	ない	無回答
	全体	12842 100.0	9242 72.0	3182 24.8	418 3.3
年代	20～29歳	1238 100.0	270 21.8	952 76.9	16 1.3
	30～39歳	2152 100.0	1374 63.8	759 35.3	19 0.9
	40～49歳	2268 100.0	1700 75.0	548 24.2	20 0.9
	50～59歳	2383 100.0	2011 84.4	335 14.1	37 1.6
	60～69歳	2848 100.0	2392 84.0	353 12.4	103 3.6
	70～79歳	1923 100.0	1469 76.4	233 12.1	221 11.5
	地域ブロック	北海道	525 100.0	328 62.5	179 34.1
東北		901 100.0	682 75.7	180 20.0	39 4.3
関東信越		4808 100.0	3363 69.9	1316 27.4	129 2.7
東海北陸		1918 100.0	1474 76.9	384 20.0	60 3.1
近畿		2010 100.0	1416 70.4	523 26.0	71 3.5
中国		794 100.0	605 76.2	164 20.7	25 3.1
四国		443 100.0	333 75.2	88 19.9	22 5.0
九州		1291 100.0	933 72.3	306 23.7	52 4.0

年代 ( $\chi^2=2383.927, df=5, p=0.000 < 0.05$ )

地域ブロック ( $\chi^2=89.294, df=7, p=0.000 < 0.05$ )

問2 あなたご自身は、過去、以下の(3)献血についてご経験がありますか。

(Ⅰ)それぞれの経験について、お答えください

(Ⅱ)また、経験がある場合はその時期をお答えください

(3)献血	1. 1回ある	2. 2回以上ある	3. ない
-------	---------	-----------	-------

図 3-2-10 献血の経験

問 2 (3) 献血経験の有無

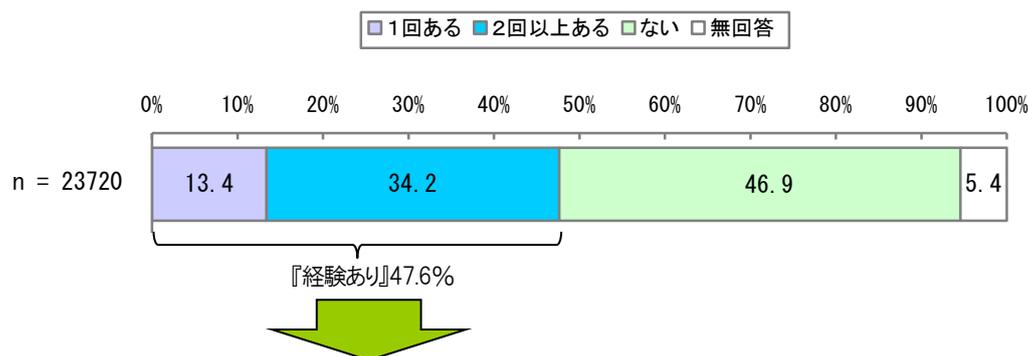
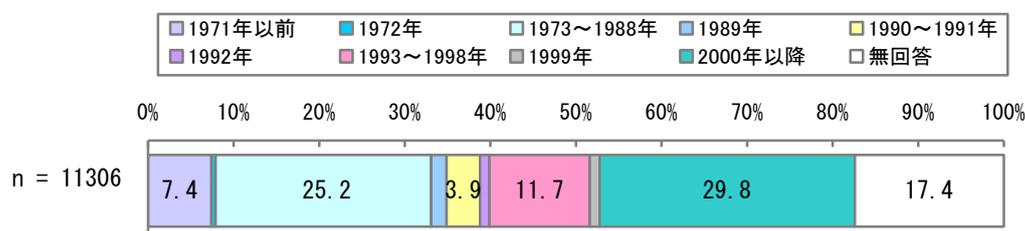


図 3-2-11 献血の経験時期

問 2 (3) 献血経験の時期



献血の経験については、「ない」(46.9%)が5割弱を占め、「1回ある」(13.4%)と「2回以上ある」(34.2%)を合わせた『経験あり』(47.6%)とほぼ同じ割合となっている。

献血の経験がある人の経験時期については、「2000年以降」(29.8%)が最も高く、以降「1973~1988年」(25.2%)、「1993~1998年」(11.7%)と続いている。

#### ※【参考】献血関連の肝炎対策の経緯

1972年：献血血液に対して、B型肝炎ウイルス抗原（HBs抗原）検査導入

1989年：献血血液に対して、C型肝炎ウイルス抗体検査、B型肝炎ウイルス抗体（HBc抗体、HBs抗体）検査導入

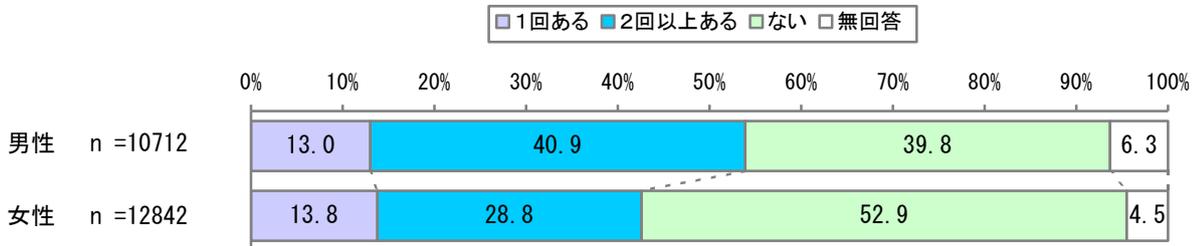
1992年：献血血液に対して、第2世代HCV抗体検査法（PHA法）を導入

1999年：献血血液について、B型肝炎及びC型肝炎ウイルスについて核酸増幅検査（NAT）を導入

献血の経験を性別にみると、女性では「ない」(52.9%)が半数以上を占めている。一方、男性では「2回以上ある」(40.9%)が女性(28.8%)を12ポイント上回っている。

図 3-2- 12 【性別】献血の経験

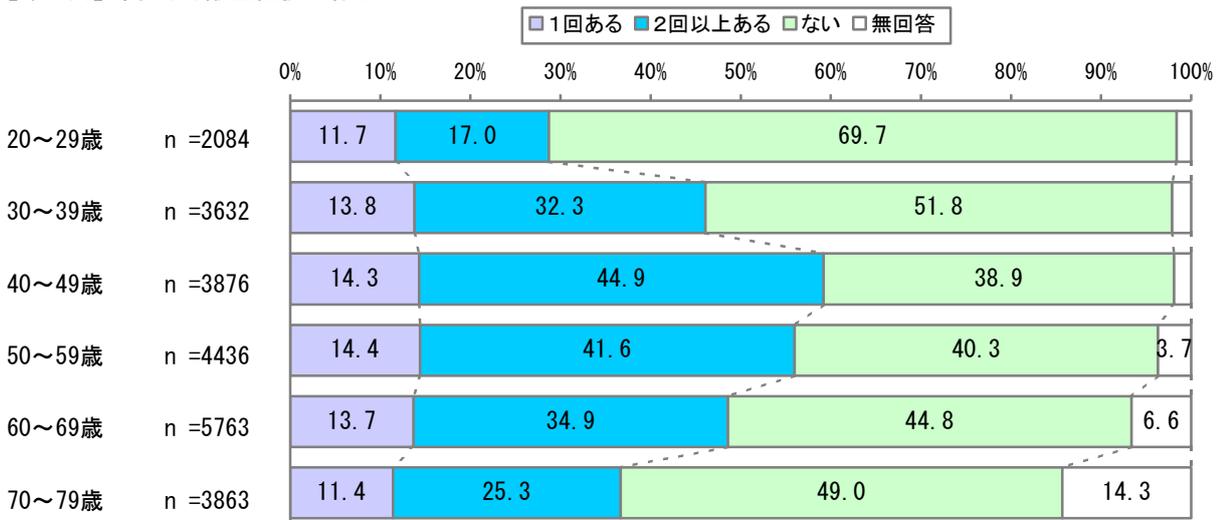
【性別】問2(3)献血経験の有無



年代別では、20代では「ない」(69.7%)が7割を占めている。「2回以上ある」は40代(44.9%)で最も高く、次いで50代(41.6%)でも4割以上となっている。

図 3-2- 13 【年代別】献血の経験

【年代別】問2(3)献血経験の有無



地域ブロック別ではあまり差はみられていないが、「2回以上ある」は北海道（39.3%）と九州（39.2%）、中国（38.6%）で若干高くなっている。

図 3-2- 14 【地域ブロック別】献血の経験

【地域ブロック別】問2(3)献血経験の有無

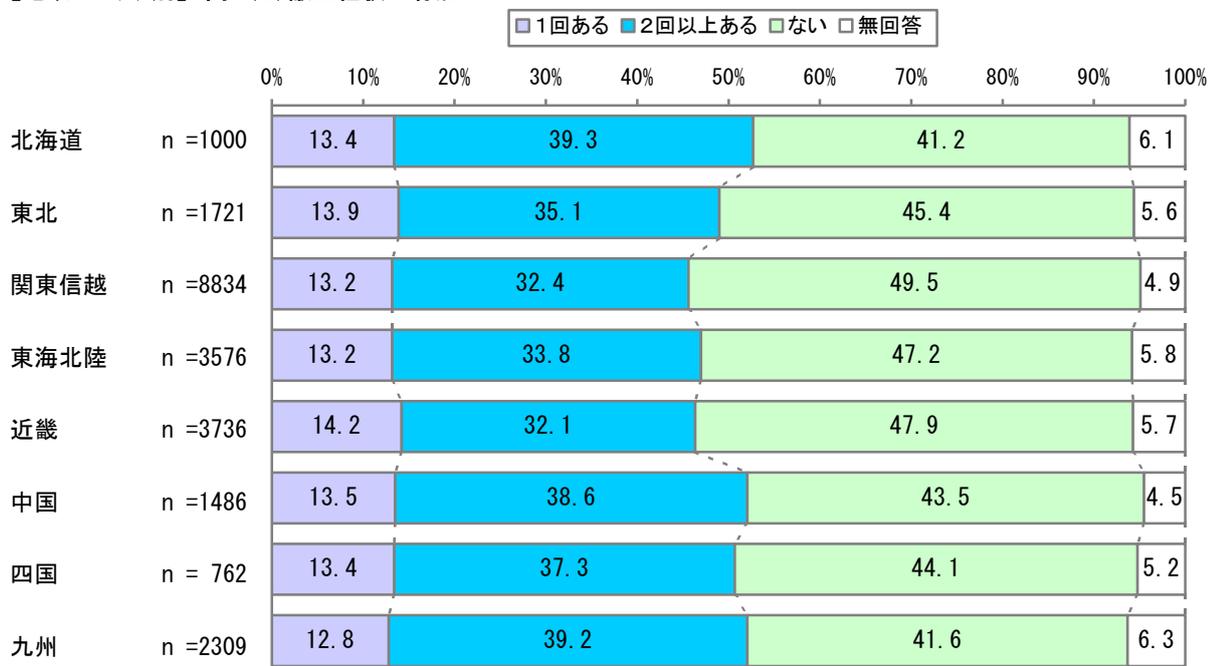


表 3-2-3 【性・年代・地域ブロック別】献血の経験 クロス集計表

		問2(3) 献血経験の有無				
		調査数	1 回 ある	2 回 以上 ある	ない	無 回答
	全 体	23720 100.0	3183 13.4	8123 34.2	11125 46.9	1289 5.4
性 別	男性	10712 100.0	1393 13.0	4377 40.9	4263 39.8	679 6.3
	女性	12842 100.0	1768 13.8	3704 28.8	6797 52.9	573 4.5
年 代	20～29歳	2084 100.0	243 11.7	354 17.0	1453 69.7	34 1.6
	30～39歳	3632 100.0	503 13.8	1172 32.3	1881 51.8	76 2.1
	40～49歳	3876 100.0	554 14.3	1739 44.9	1509 38.9	74 1.9
	50～59歳	4436 100.0	641 14.4	1847 41.6	1786 40.3	162 3.7
	60～69歳	5763 100.0	792 13.7	2014 34.9	2579 44.8	378 6.6
	70～79歳	3863 100.0	440 11.4	978 25.3	1892 49.0	553 14.3
	地 域 ブ ロ ッ ク	北海道	1000 100.0	134 13.4	393 39.3	412 41.2
東北		1721 100.0	240 13.9	604 35.1	781 45.4	96 5.6
関東信越		8834 100.0	1165 13.2	2862 32.4	4376 49.5	431 4.9
東海北陸		3576 100.0	473 13.2	1207 33.8	1688 47.2	208 5.8
近畿		3736 100.0	532 14.2	1201 32.1	1791 47.9	212 5.7
中国		1486 100.0	200 13.5	573 38.6	646 43.5	67 4.5
四国		762 100.0	102 13.4	284 37.3	336 44.1	40 5.2
九州		2309 100.0	296 12.8	906 39.2	961 41.6	146 6.3

性別  $(\chi^2=461.569, df=2, p=0.000 < 0.05)$

年代  $(\chi^2=786.609, df=10, p=0.000 < 0.05)$

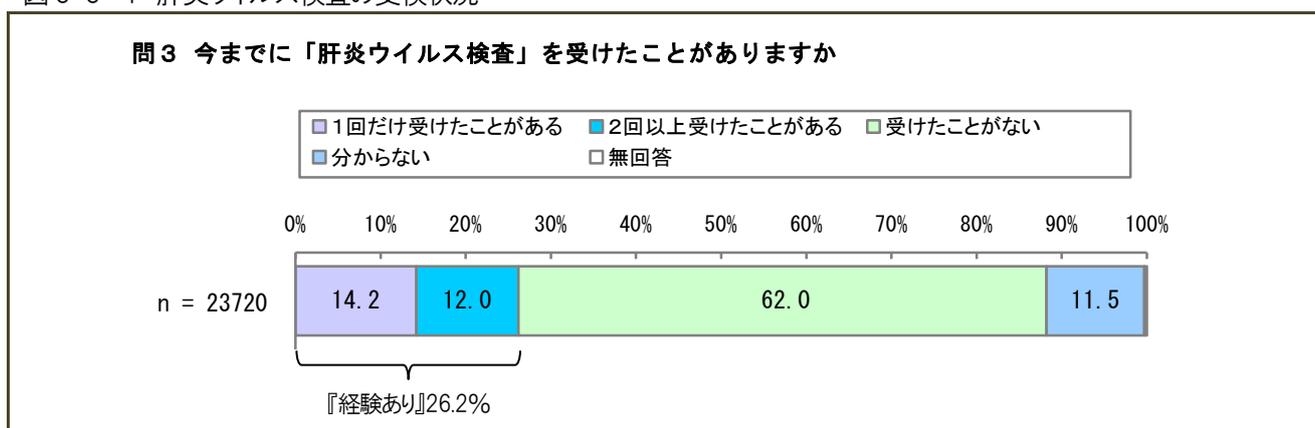
地域ブロック  $(\chi^2=91.830, df=14, p=0.000 < 0.05)$

### 3-3. 肝炎ウイルス検査の受検状況

問3 あなたは今までに「肝炎ウイルス検査」を受けたことがありますか(あてはまる番号ひとつに○をつけてください)。

- 1. 1回だけ受けたことがある
- 2. 2回以上受けたことがある
- 3. 受けたことがない
- 4. 分からない

図 3-3- 1 肝炎ウイルス検査の受検状況

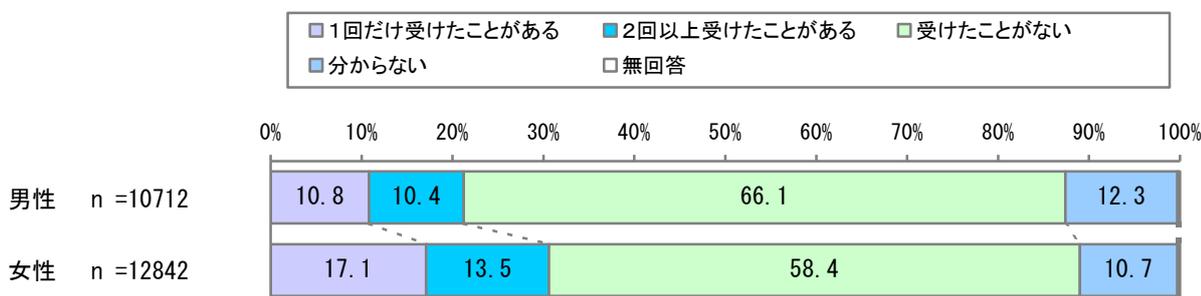


肝炎ウイルス検査の受検経験は、「受けたことがない」(62.0%)が最も高く、6割を占めている。「1回だけ受けたことがある」(14.2%)と「2回以上受けたことがある」(12.0%)を合わせた『経験あり』(26.2%)は約4分の1となっている。

性別では、「1回だけ受けたことがある」と「2回以上受けたことがある」のいずれも男性よりも女性で高く、それらを合わせた『経験あり』は女性(30.6%)が男性(21.2%)を9ポイント上回っている。

図 3-3- 2 【性別】肝炎ウイルス検査の受検状況

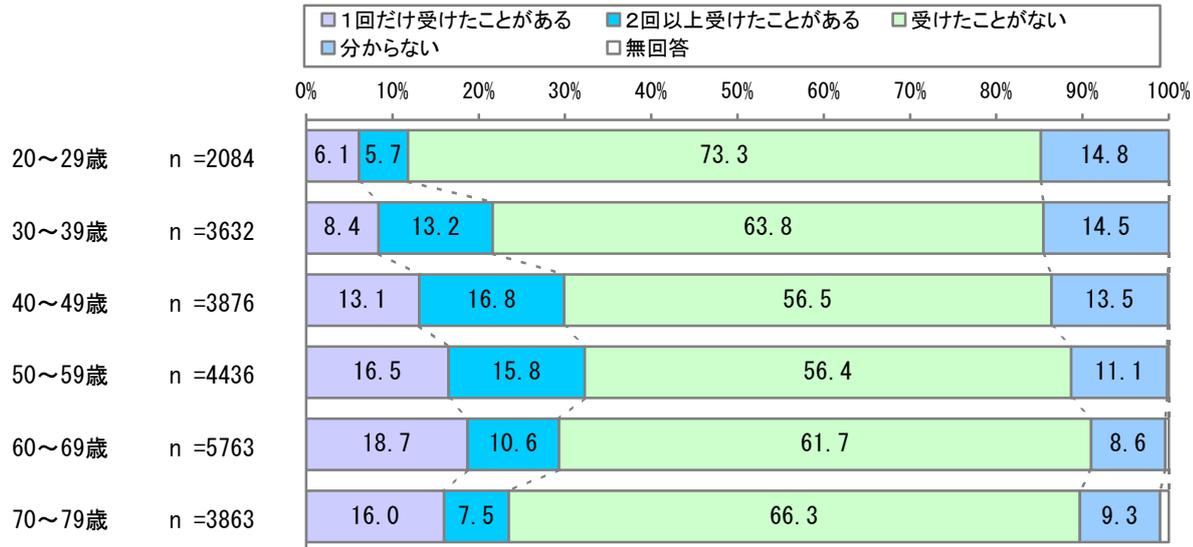
#### 【性別】問3 肝炎ウイルス検査の受検状況



年代別では、20代では「受けたことがない」(73.3%)が7割強を占めている。「2回以上受けたことがある」は40代(16.8%)で最も高く、次いで50代(15.8%)となり、「1回だけ受けたことがある」は60代(18.7%)で最も高くなっている。それらを合わせた『経験あり』は40代から60代で高くなっている(50代:32.3%、40代:29.9%、60代:29.3%)。また、「分からない」は若い年代ほど高くなっている。

図 3-3-3 【年代別】肝炎ウイルス検査の受検状況

【年代別】 問3 肝炎ウイルス検査の受検状況



地域ブロック別では特に差はみられていない。

図 3-3-4 【地域ブロック別】肝炎ウイルス検査の受検状況

【地域ブロック別】 問3 肝炎ウイルス検査の受検状況



加入健康保険種別では、共済組合加入者では「2回以上受けたことがある」(21.6%)が2割強を占めている。その他の保険加入者では「受けたことがない」(66.8%)が3分の2を占めている。

図 3-3- 5 【加入健康保険別】肝炎ウイルス検査の受検状況

【加入健康保険別】 問3 肝炎ウイルス検査の受検状況

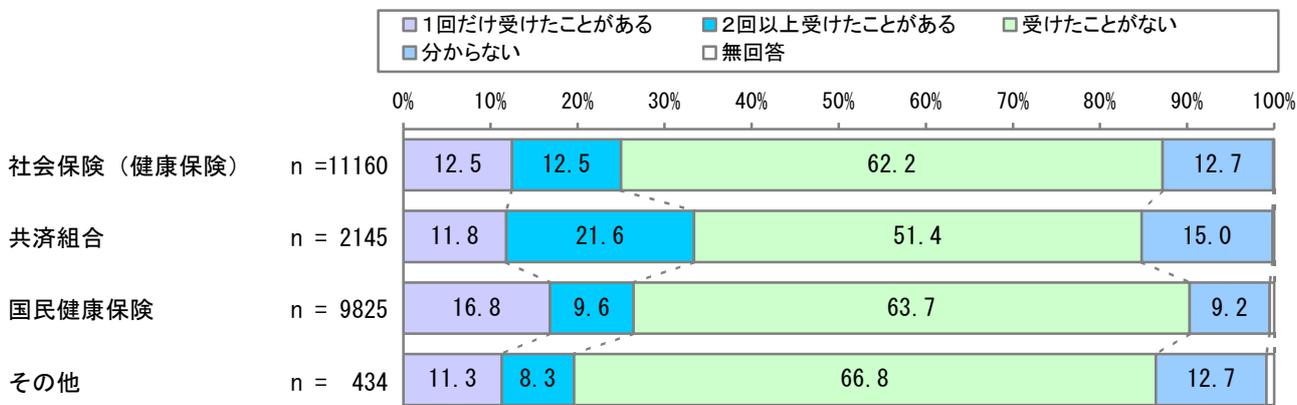


表 3-3- 1 【性・年代・地域ブロック・加入健康保険別】肝炎ウイルス検査の受検状況 クロス集計表

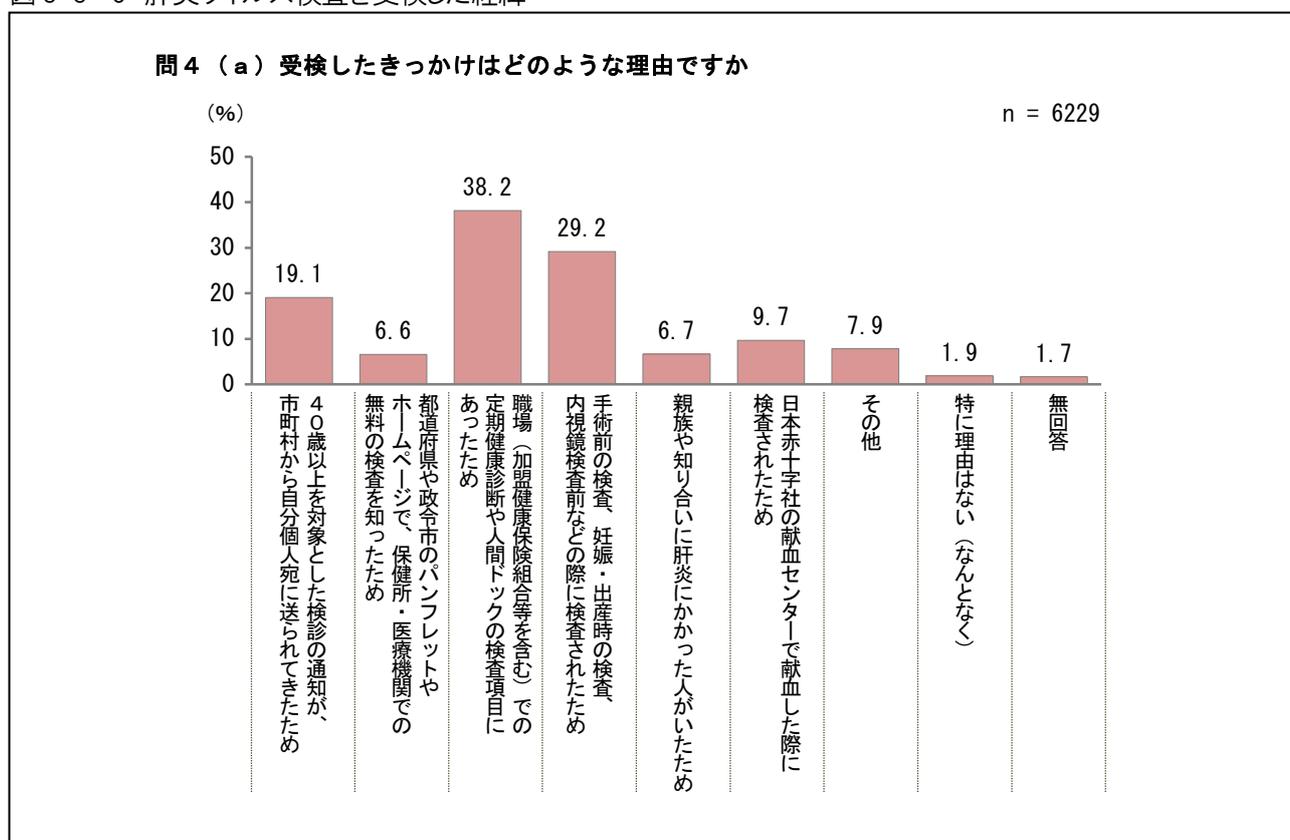
		問3. 今までに「肝炎ウイルス検査」を受けたことがありますか					
		調査数	1 回 だけ 受 け た こ と が あ る	2 回 以 上 受 け た こ と が あ る	受 け た こ と が な い	分 か ら な い	無 回 答
	全 体	23720 100.0	3375 14.2	2854 12.0	14696 62.0	2716 11.5	79 0.3
性別	男性	10712 100.0	1160 10.8	1119 10.4	7080 66.1	1316 12.3	37 0.3
	女性	12842 100.0	2195 17.1	1730 13.5	7506 58.4	1371 10.7	40 0.3
年代	20～29歳	2084 100.0	128 6.1	119 5.7	1528 73.3	309 14.8	- -
	30～39歳	3632 100.0	305 8.4	479 13.2	2319 63.8	528 14.5	1 0.0
	40～49歳	3876 100.0	507 13.1	652 16.8	2190 56.5	525 13.5	2 0.1
	50～59歳	4436 100.0	732 16.5	700 15.8	2500 56.4	493 11.1	11 0.2
	60～69歳	5763 100.0	1075 18.7	613 10.6	3556 61.7	494 8.6	25 0.4
	70～79歳	3863 100.0	618 16.0	288 7.5	2562 66.3	358 9.3	37 1.0
	地域 ブ ロ ッ ク	北海道	1000 100.0	147 14.7	126 12.6	625 62.5	97 9.7
東北		1721 100.0	222 12.9	187 10.9	1091 63.4	214 12.4	7 0.4
関東信越		8834 100.0	1301 14.7	1104 12.5	5387 61.0	1022 11.6	20 0.2
東海北陸		3576 100.0	470 13.1	380 10.6	2302 64.4	414 11.6	10 0.3
近畿		3736 100.0	493 13.2	440 11.8	2368 63.4	417 11.2	18 0.5
中国		1486 100.0	236 15.9	179 12.0	880 59.2	186 12.5	5 0.3
四国		762 100.0	127 16.7	98 12.9	476 62.5	58 7.6	3 0.4
九州		2309 100.0	337 14.6	306 13.3	1378 59.7	280 12.1	8 0.3
加入 健 康 保 険		社会保険(健康保険)	11160 100.0	1399 12.5	1392 12.5	6943 62.2	1414 12.7
	共済組合	2145 100.0	253 11.8	463 21.6	1103 51.4	321 15.0	5 0.2
	国民健康保険	9825 100.0	1654 16.8	948 9.6	6262 63.7	907 9.2	54 0.5
	その他	434 100.0	49 11.3	36 8.3	290 66.8	55 12.7	4 0.9

性別 (χ<sup>2</sup>=273.435,df=3,p=0.000 <0.05)  
 年代 (χ<sup>2</sup>=786.914,df=15,p=0.000 <0.05)  
 地域ブロック (χ<sup>2</sup>=56.069,df=21,p=0.000 <0.05)  
 加入健康保険 (χ<sup>2</sup>=422.194,df=9,p=0.000 <0.05)

問4 検査はどのような経緯で、受けられましたか。これまでに(a)受検したきっかけはどのような理由ですか(あてはまる番号すべてに○をつけてください)。

1. 40歳以上を対象とした検診の通知が、市町村から自分個人宛に送られてきたため
2. 都道府県や政令市のパンフレットやホームページで、保健所・医療機関での無料の検査を知ったため
3. 職場(加盟健康保険組合等を含む)での定期健康診断や人間ドックの検査項目にあったため
4. 手術前の検査、妊娠・出産時の検査、内視鏡検査前などの際に検査されたため
5. 親族や知り合いに肝炎にかかった人がいたため
6. 日本赤十字社の献血センターで献血した際に検査されたため
7. その他
8. 特に理由はない(なんとなく)

図 3-3-6 肝炎ウイルス検査を受検した経緯



肝炎ウイルス検査を受検した経緯は、「職場(加盟健康保険組合等を含む)での定期健康診断や人間ドックの検査項目にあったため」(38.2%)が最も高く、以降「手術前の検査、妊娠・出産時の検査、内視鏡検査前などの際に検査されたため」(29.2%)、「40歳以上を対象とした検診の通知が、市町村から自分個人宛に送られてきたため」(19.1%)と続いている。

性別では、「職場(加盟健康保険組合等を含む)での定期健康診断や人間ドックの検査項目にあったため」は男性(45.6%)が女性(34.0%)を12ポイント、「手術前の検査、妊娠・出産時の検査、内視鏡検査前などの際に検査されたため」は女性(34.1%)が男性(20.9%)を13ポイント、「40歳以上を対象とした検診の通知が、市町村から自分個人宛に送られてきたため」も女性(21.0%)が男性(15.9%)を5ポイント、それぞれ上回っている。

年代別では、年代が上がるにつれて「40 歳以上を対象とした検診の通知が、市町村から自分個人宛に送られてきたため」が高くなり、60 代 (26.2%) と 70 代 (31.0%) では4分の1以上となっている。「職場 (加盟健康保険組合等を含む) での定期健康診断や人間ドックの検査項目にあったため」は30代から50代 (30代: 43.9%、40代: 45.5%、50代: 43.9%) で、「手術前の検査、妊娠・出産時の検査、内視鏡検査前などの際に検査されたため」は30代 (48.0%) と40代 (36.2%) で、それぞれ多くなっている。

地域ブロック別では特に差はみられていない。

加入健康保険種別では、「40 歳以上を対象とした検診の通知が、市町村から自分個人宛に送られてきたため」は国民健康保険加入者 (30.3%) で、「職場 (加盟健康保険組合等を含む) での定期健康診断や人間ドックの検査項目にあったため」は社会保険 (健康保険) 加入者 (46.2%) と共済組合加入者 (46.2%) で、それぞれ多くなっている。

その他については、主な内容は、「業務上 (医療、消防)」(110 件)、「健診結果による再検査」(64 件) となっている。

表 3-3-2 【性・年代・地域ブロック・加入健康保険別】肝炎ウイルス検査を受検した経緯 クロス集計表

※問3で「1」または「2」と回答された方

		問4(a)受検したきっかけはどのような理由ですか												
		調 査 数	人の 宛通 に知 送が られ てら れた ため	40 歳以 上を 対象 とし た検 診	健診 所・ 医療 機関 での 無料 の検 保	都道 府県 や政 令市 のバ ンフ 	た間 ドッ クで の検 査期 間目 にあ つた 人	職場 へ加 盟健 康保 険組 断等 や	際手 術前 の検 査さ れた ため 妊 娠前 ・出 産の 時	か親 族や 人が 知り たい ため に肝 炎に か	めで 日本 赤十 字社 の献 血セ ンタ ーに 検査 され た	そ の 他	く特 に理 由は ない (な んとな	無 回 答
	全 体	6229 100.0	1190 19.1	410 6.6	2377 38.2	1819 29.2	419 6.7	605 9.7	490 7.9	118 1.9	103 1.7			
性 別	男性	2279 100.0	363 15.9	119 5.2	1039 45.6	476 20.9	130 5.7	259 11.4	175 7.7	60 2.6	39 1.7			
	女性	3925 100.0	823 21.0	289 7.4	1335 34.0	1337 34.1	284 7.2	345 8.8	315 8.0	55 1.4	61 1.6			
年 代	20～29歳	247 100.0	-	4 1.6	99 40.1	81 32.8	20 8.1	31 12.6	41 16.6	-	2 0.8			
	30～39歳	784 100.0	4 0.5	28 3.6	344 43.9	376 48.0	50 6.4	121 15.4	85 10.8	13 1.7	4 0.5			
	40～49歳	1159 100.0	173 14.9	41 3.5	527 45.5	419 36.2	63 5.4	138 11.9	87 7.5	6 0.5	20 1.7			
	50～59歳	1432 100.0	288 20.1	92 6.4	628 43.9	341 23.8	106 7.4	144 10.1	106 7.4	18 1.3	17 1.2			
	60～69歳	1688 100.0	443 26.2	148 8.8	576 34.1	364 21.6	115 6.8	113 6.7	117 6.9	45 2.7	35 2.1			
	70～79歳	906 100.0	281 31.0	96 10.6	199 22.0	235 25.9	64 7.1	56 6.2	52 5.7	35 3.9	25 2.8			
地 域 ブ ロ ッ ク	北海道	273 100.0	32 11.7	29 10.6	114 41.8	72 26.4	15 5.5	36 13.2	20 7.3	8 2.9	3 1.1			
	東北	409 100.0	96 23.5	29 7.1	160 39.1	111 27.1	15 3.7	35 8.6	39 9.5	2 0.5	7 1.7			
	関東信越	2405 100.0	534 22.2	147 6.1	867 36.0	712 29.6	140 5.8	211 8.8	201 8.4	42 1.7	33 1.4			
	東海北陸	850 100.0	165 19.4	62 7.3	322 37.9	276 32.5	45 5.3	73 8.6	63 7.4	18 2.1	12 1.4			
	近畿	933 100.0	122 13.1	63 6.8	344 36.9	300 32.2	87 9.3	91 9.8	73 7.8	22 2.4	18 1.9			
	中国	415 100.0	62 14.9	26 6.3	179 43.1	104 25.1	40 9.6	45 10.8	32 7.7	10 2.4	8 1.9			
	四国	225 100.0	43 19.1	11 4.9	92 40.9	56 24.9	17 7.6	20 8.9	14 6.2	2 0.9	11 4.9			
	九州	643 100.0	125 19.4	39 6.1	269 41.8	167 26.0	55 8.6	85 13.2	42 6.5	13 2.0	11 1.7			
	加 入 健 康 保 険	社会保険(健康保険)	2791 100.0	315 11.3	141 5.1	1291 46.3	903 32.4	167 6.0	309 11.1	223 8.0	43 1.5	41 1.5		
共済組合		716 100.0	61 8.5	20 2.8	402 56.1	203 28.4	41 5.7	91 12.7	71 9.9	3 0.4	6 0.8			
国民健康保険		2602 100.0	788 30.3	239 9.2	658 25.3	677 26.0	199 7.6	190 7.3	186 7.1	70 2.7	51 2.0			
その他		85 100.0	20 23.5	6 7.1	14 16.5	29 34.1	10 11.8	9 10.6	6 7.1	1 1.2	4 4.7			

性 別	$\chi^2$	23.502	10.673	83.559	121.060	5.363	11.033	0.222	12.085
	df	1	1	1	1	1	1	1	1
	p	0.000 <0.05	0.001 <0.05	0.000 <0.05	0.000 <0.05	0.021 <0.05	0.001 <0.05	0.638 n.s.	0.001 <0.05
年 代	$\chi^2$	395.729	78.088	163.193	228.432	5.189	66.025	42.250	45.460
	df	5	5	5	5	5	5	5	5
	p	0.000 <0.05	0.000 <0.05	0.000 <0.05	0.000 <0.05	0.393 n.s.	0.000 <0.05	0.000 <0.05	0.000 <0.05
地 域 ブ ロ ッ ク	$\chi^2$	55.701	10.049	17.113	18.393	32.674	17.896	4.903	9.249
	df	7	7	7	7	7	7	7	7
	p	0.000 <0.05	0.186 n.s.	0.017 <0.05	0.010 <0.05	0.000 <0.05	0.012 <0.05	0.672 n.s.	0.235 n.s.
加 入 健 康 保 険	$\chi^2$	380.372	57.410	369.231	27.001	11.347	29.755	5.693	19.704
	df	3	3	3	3	3	3	3	3
	p	0.000 <0.05	0.000 <0.05	0.000 <0.05	0.000 <0.05	0.010 <0.05	0.000 <0.05	0.128 n.s.	0.000 <0.05

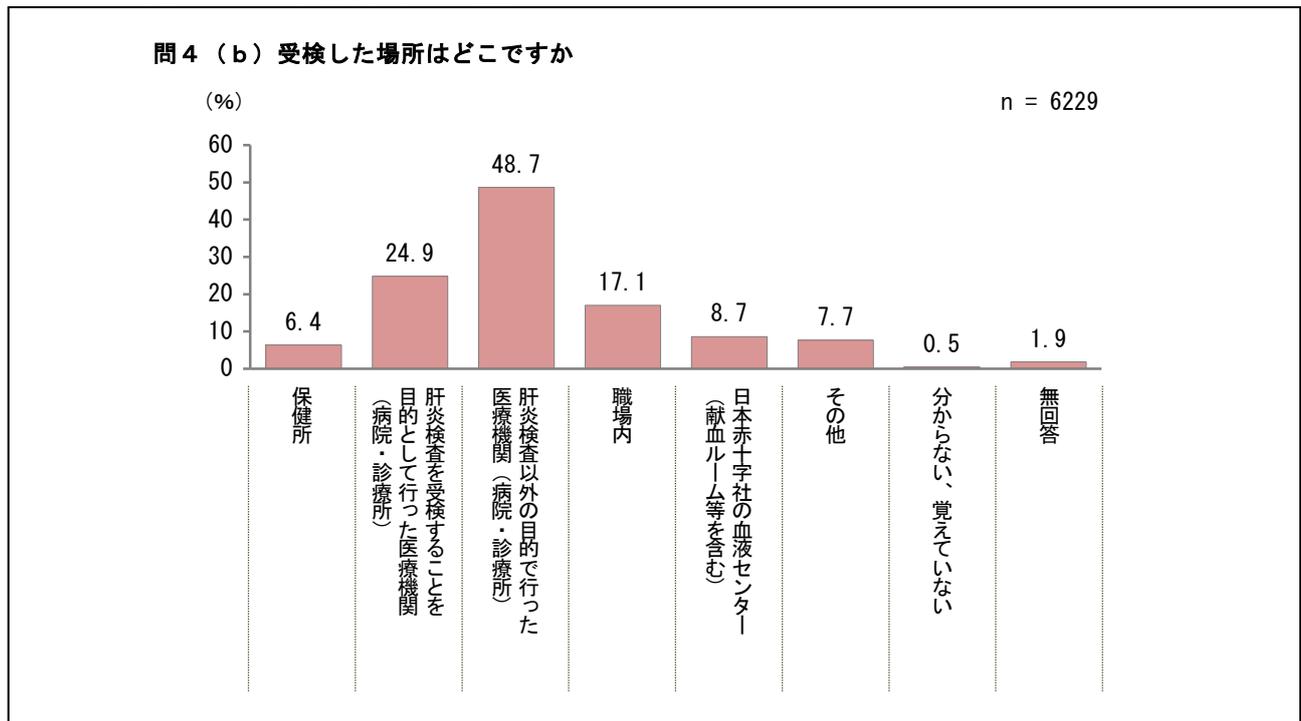
その他の主な内容

業務上(医療、消防)	110件	学校での検査(実習前など)	33件
健診結果による再検査	64件	テレビを見て	22件
輸血等受けた経験により	59件	海外業務等による必要性から	17件
その他健診	48件	予防接種にともない	11件
医療安全(針さし等)	35件		

問4 検査はどのような経緯で、受けられましたか。これまでに (b)受検した場所について、それぞれお答えください。

1. 保健所
2. 肝炎検査を受検することを目的として行った医療機関(病院・診療所)
3. 肝炎検査以外の目的で行った医療機関(病院・診療所)
4. 職場内
5. 日本赤十字社の血液センター(献血ルーム等を含む)
6. その他
7. 分からない、覚えていない

図 3-3- 7 肝炎ウイルス検査を受検した場所



肝炎ウイルス検査を受検した場所は、「肝炎検査以外の目的で行った医療機関(病院・診療所)」(48.7%)が最も高く、以降、「肝炎検査を受検することを目的として行った医療機関(病院・診療所)」(24.9%)、「職場内」(17.1%)と続いている。

性別では特に差はみられていない。

年代別では、年代が上がるにつれて「肝炎検査を受検することを目的として行った医療機関(病院・診療所)」が高くなり、70代(30.8%)では3割となっている。一方、20代から40代といった若い年代では「職場」が高くなっている(20代:27.5%、30代:32.3%、40代:23.7%)。また、30代では「肝炎検査以外の目的で行った医療機関(病院・診療所)」(54.8%)が5割強となっている。

地域ブロック別では特に差はみられていない。

加入健康保険別では、共済組合加入者では「職場内」(30.9%)が高くなっている。

その他については、主な内容は、「公民館等での集団健診」(196件)となっている。

表 3-3-3 【性・年代・地域ブロック・加入健康保険別】肝炎ウイルス検査を受検した場所 クロス集計表

※問3で「1」または「2」と回答された方

		問4(b)受検した場所はどこですか								
		調査数	保健所	院的肝炎検査として行った医療機関(病目)	医療機関検査(病院内・診療所)以外の目的で行った	職場内	(献血ルーム等を含む)	その他	分からない、覚えていない	無回答
	全体	6229 100.0	397 6.4	1553 24.9	3033 48.7	1064 17.1	542 8.7	481 7.7	34 0.5	118 1.9
性別	男性	2279 100.0	114 5.0	635 27.9	1059 46.5	354 15.5	223 9.8	165 7.2	12 0.5	43 1.9
	女性	3925 100.0	282 7.2	912 23.2	1961 50.0	708 18.0	318 8.1	313 8.0	21 0.5	73 1.9
年代	20~29歳	247 100.0	6 2.4	42 17.0	101 40.9	68 27.5	27 10.9	27 10.9	2 0.8	2 0.8
	30~39歳	784 100.0	25 3.2	132 16.8	430 54.8	253 32.3	116 14.8	27 3.4	2 0.3	3 0.4
	40~49歳	1159 100.0	62 5.3	275 23.7	585 50.5	275 23.7	132 11.4	63 5.4	3 0.3	20 1.7
	50~59歳	1432 100.0	101 7.1	363 25.3	680 47.5	251 17.5	121 8.4	104 7.3	8 0.6	23 1.6
	60~69歳	1688 100.0	125 7.4	461 27.3	800 47.4	166 9.8	98 5.8	187 11.1	11 0.7	37 2.2
	70~79歳	906 100.0	76 8.4	279 30.8	431 47.6	48 5.3	47 5.2	70 7.7	7 0.8	33 3.6
地域ブロック	北海道	273 100.0	17 6.2	63 23.1	144 52.7	48 17.6	31 11.4	25 9.2	-	1 0.4
	東北	409 100.0	22 5.4	106 25.9	165 40.3	81 19.8	33 8.1	47 11.5	2 0.5	14 3.4
	関東信越	2405 100.0	133 5.5	638 26.5	1220 50.7	390 16.2	194 8.1	150 6.2	16 0.7	40 1.7
	東海北陸	850 100.0	68 8.0	206 24.2	416 48.9	153 18.0	69 8.1	64 7.5	5 0.6	12 1.4
	近畿	933 100.0	62 6.6	212 22.7	464 49.7	146 15.6	84 9.0	74 7.9	4 0.4	18 1.9
	中国	415 100.0	18 4.3	111 26.7	194 46.7	76 18.3	32 7.7	37 8.9	2 0.5	9 2.2
	四国	225 100.0	18 8.0	39 17.3	110 48.9	39 17.3	18 8.0	20 8.9	1 0.4	8 3.6
	九州	643 100.0	52 8.1	164 25.5	280 43.5	117 18.2	74 11.5	59 9.2	3 0.5	16 2.5
加入健康保険	社会保険(健康保険)	2791 100.0	138 4.9	629 22.5	1430 51.2	591 21.2	281 10.1	176 6.3	9 0.3	40 1.4
	共済組合	716 100.0	25 3.5	165 23.0	335 46.8	221 30.9	87 12.2	22 3.1	4 0.6	8 1.1
	国民健康保険	2602 100.0	227 8.7	723 27.8	1211 46.5	239 9.2	161 6.2	273 10.5	20 0.8	66 2.5
	その他	85 100.0	3 3.5	30 35.3	42 49.4	5 5.9	8 9.4	6 7.1	1 1.2	3 3.5

性別	$\chi^2$	11.491	16.650	7.121	6.379	5.156	1.089	0.002
	df	1	1	1	1	1	1	1
	p	0.001 <0.05	0.000 <0.05	0.008 <0.05	0.012 <0.05	0.023 <0.05	0.297 n.s.	0.965 n.s.
年代	$\chi^2$	33.938	64.900	19.483	324.699	77.240	60.831	4.757
	df	5	5	5	5	5	5	5
	p	0.000 <0.05	0.000 <0.05	0.002 <0.05	0.000 <0.05	0.000 <0.05	0.000 <0.05	0.446 n.s.
地域ブロック	$\chi^2$	14.675	14.194	21.846	7.015	11.363	20.645	2.585
	df	7	7	7	7	7	7	7
	p	0.040 <0.05	0.048 <0.05	0.003 <0.05	0.427 n.s.	0.124 n.s.	0.004 <0.05	0.921 n.s.
加入健康保険	$\chi^2$	46.601	29.275	11.256	245.709	36.527	59.862	5.705
	df	3	3	3	3	3	3	3
	p	0.000 <0.05	0.000 <0.05	0.010 <0.05	0.000 <0.05	0.000 <0.05	0.000 <0.05	0.127 n.s.

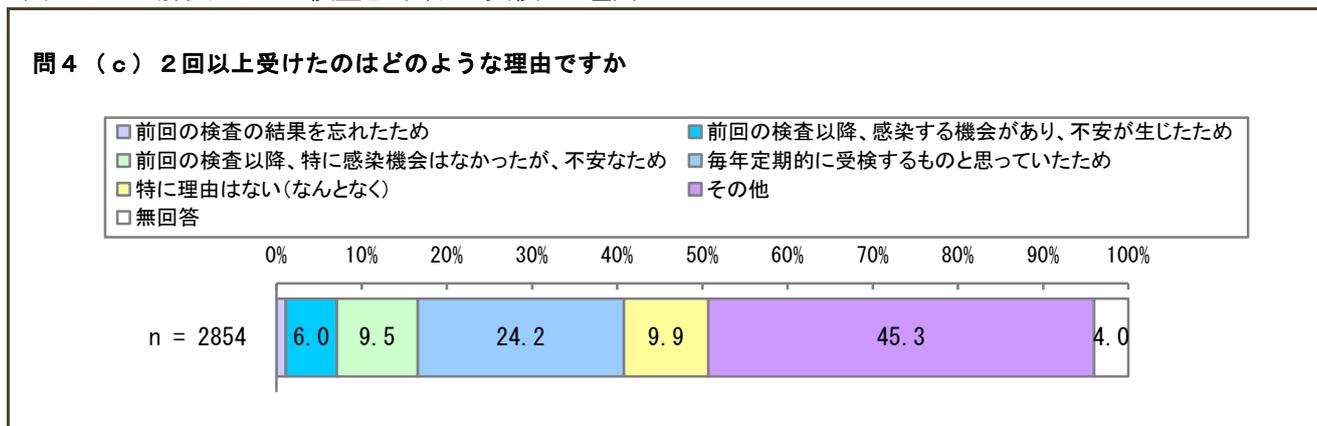
その他の主な内容

公民館等での集団健診	196 件
保健センター等	38 件
学校内	31 件

問4 問3で「2. 2回以上受けたことがある」とお答えいただいた方は(c)2回以上受けたのはどのような理由ですか(あてはまる番号ひとつに○をつけてください)。

1. 前回の検査の結果を忘れたため
2. 前回の検査以降、感染する機会があり、不安が生じたため
3. 前回の検査以降、特に感染機会はなかったが、不安なため
4. 毎年定期的に受検するものと思っていたため
5. 特に理由はない(なんとなく)
6. その他

図 3-3- 8 肝炎ウイルス検査を2回以上受検した理由



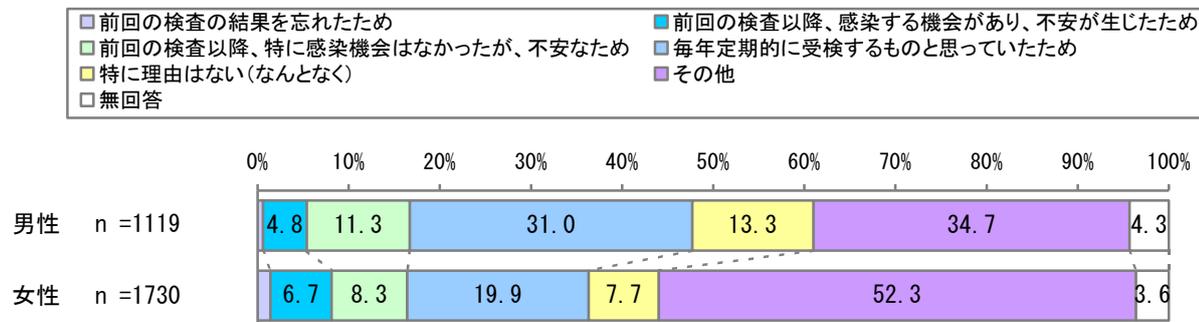
肝炎ウイルス検査を2回以上受検した理由は、選択肢の中では「毎年定期的に受検するものと思っていたため」(24.2%)が最も高く、4分の1を占めている。以降、「特に理由はない(なんとなく)」(9.9%)、「前回の検査以降、特に感染機会はなかったが、不安なため」(9.5%)と続いている。

その他については、主な内容は、「人間ドックの項目に含まれていたため」(282件)、「妊娠・出産したため」(260件)などとなっている。(P38 表 3-3-4 肝炎ウイルス検査を2回以上受検した理由 クロス集計表 参照)。

性別では、「毎年定期的に受検するものと思っていたため」は男性(31.0%)で女性(19.9%)を11ポイント上回っている。

図 3-3- 9 【性別】肝炎ウイルス検査を2回以上受検した理由

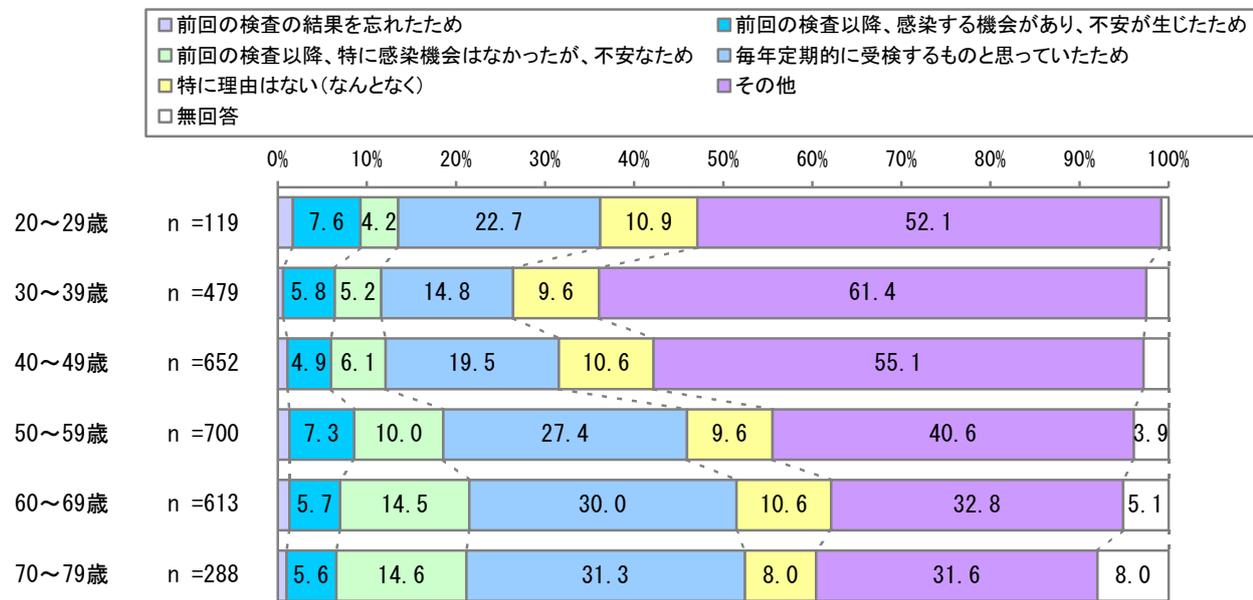
【性別】 問4(c)肝炎ウイルス検査を2回以上受検した理由



年代別では、年代が上がるにつれて「前回の検査以降、特に感染機会はなかったが、不安なため」と「毎年定期的に受検するものと思っていたため」が高くなっている。

図 3-3- 10 【年代別】肝炎ウイルス検査を2回以上受検した理由

【年代別】 問4(c)肝炎ウイルス検査を2回以上受検した理由



地域ブロック別ではあまり差はみられていないが、「前回の検査以降、感染する機会があり、不安が生じたため」は北海道 (11.1%) と中国 (10.6%) で若干高くなっている。

図 3-3- 11 【地域ブロック別】肝炎ウイルス検査を2回以上受検した理由

【地域ブロック別】 問4(c)肝炎ウイルス検査を2回以上受検した理由

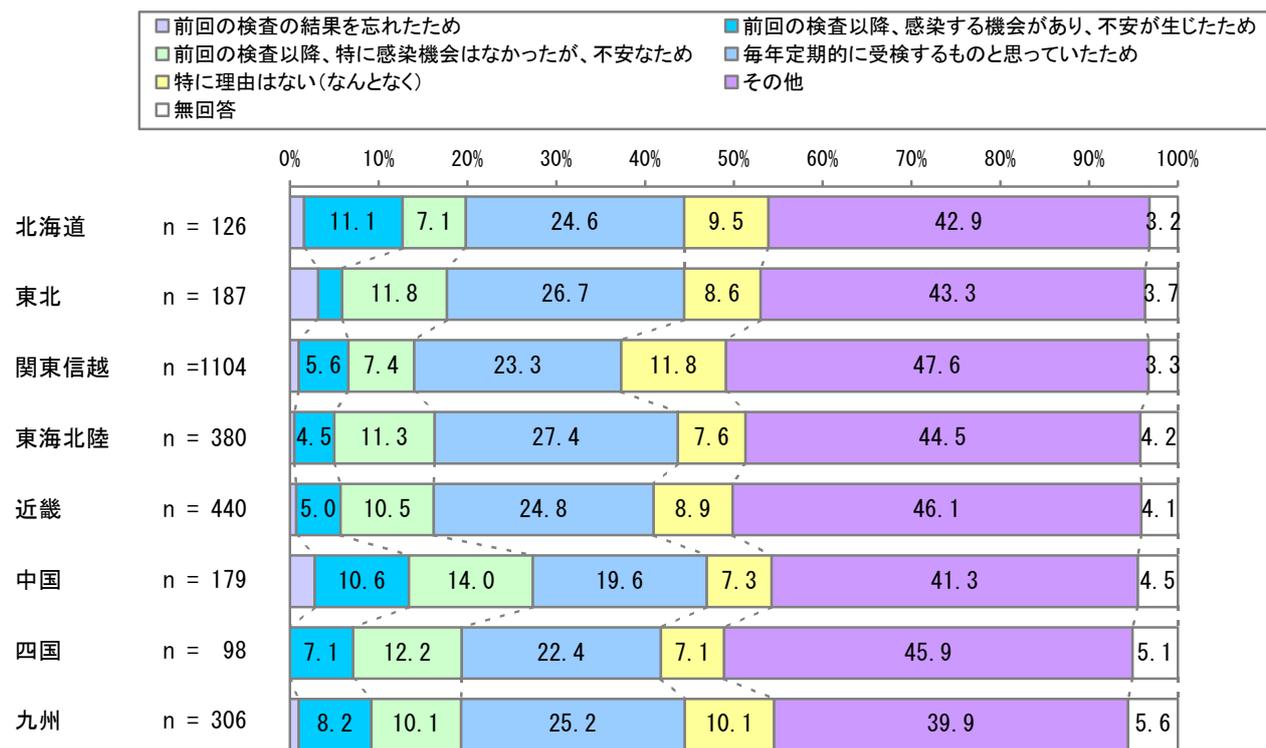


表 3-3-4 【性・年代・地域ブロック・加入健康保険別】肝炎ウイルス検査を2回以上受検した理由 クロス集計表

※問3で「1」または「2」と回答された方

		問4(c)2回以上受けたのはどのような理由ですか							
		調査数	前回の検査の結果を忘れたため	前回あり、不安が生じたため	前回検査したが、特に感染機	思毎年定期的に受検するものと	く特に理由はない(なんとなく)	その他	無回答
	全体	2854 100.0	32 1.1	171 6.0	271 9.5	692 24.2	283 9.9	1292 45.3	113 4.0
性別	男性	1119 100.0	7 0.6	54 4.8	126 11.3	347 31.0	149 13.3	388 34.7	48 4.3
	女性	1730 100.0	25 1.4	116 6.7	144 8.3	344 19.9	134 7.7	904 52.3	63 3.6
年代	20~29歳	119 100.0	2 1.7	9 7.6	5 4.2	27 22.7	13 10.9	62 52.1	1 0.8
	30~39歳	479 100.0	3 0.6	28 5.8	25 5.2	71 14.8	46 9.6	294 61.4	12 2.5
	40~49歳	652 100.0	7 1.1	32 4.9	40 6.1	127 19.5	69 10.6	359 55.1	18 2.8
	50~59歳	700 100.0	9 1.3	51 7.3	70 10.0	192 27.4	67 9.6	284 40.6	27 3.9
	60~69歳	613 100.0	8 1.3	35 5.7	89 14.5	184 30.0	65 10.6	201 32.8	31 5.1
	70~79歳	288 100.0	3 1.0	16 5.6	42 14.6	90 31.3	23 8.0	91 31.6	23 8.0
	地域ブロック	北海道	126 100.0	2 1.6	14 11.1	9 7.1	31 24.6	12 9.5	54 42.9
東北		187 100.0	6 3.2	5 2.7	22 11.8	50 26.7	16 8.6	81 43.3	7 3.7
関東信越		1104 100.0	11 1.0	62 5.6	82 7.4	257 23.3	130 11.8	526 47.6	36 3.3
東海北陸		380 100.0	2 0.5	17 4.5	43 11.3	104 27.4	29 7.6	169 44.5	16 4.2
近畿		440 100.0	3 0.7	22 5.0	46 10.5	109 24.8	39 8.9	203 46.1	18 4.1
中国		179 100.0	5 2.8	19 10.6	25 14.0	35 19.6	13 7.3	74 41.3	8 4.5
四国		98 100.0	-	7 7.1	12 12.2	22 22.4	7 7.1	45 45.9	5 5.1
九州		306 100.0	3 1.0	25 8.2	31 10.1	77 25.2	31 10.1	122 39.9	17 5.6
加入健康保険		社会保険(健康保険)	1392 100.0	13 0.9	73 5.2	115 8.3	343 24.6	145 10.4	651 46.8
	共済組合	463 100.0	6 1.3	26 5.6	34 7.3	106 22.9	38 8.2	246 53.1	7 1.5
	国民健康保険	948 100.0	13 1.4	65 6.9	120 12.7	232 24.5	97 10.2	372 39.2	49 5.2
	その他	36 100.0	-	5 13.9	2 5.6	9 25.0	3 8.3	15 41.7	2 5.6

性別 (χ<sup>2</sup>=116.615,df=5,p=0.000 <0.05)

年代 (χ<sup>2</sup>=171.666,df=25,p=0.000 <0.05)

地域ブロック (χ<sup>2</sup>=65.700,df=35,p=0.001 <0.05)

加入健康保険 (χ<sup>2</sup>=39.561,df=15,p=0.001 <0.05)

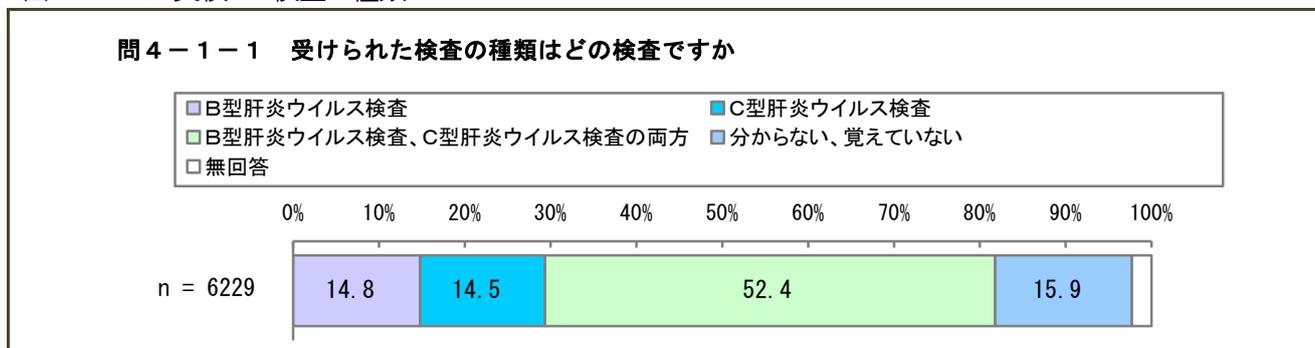
その他の内容で主なものは以下の通り。

人間ドックの項目に含まれていたため	282 件
妊娠・出産したため	260 件
職場の規定により	183 件
手術をしたため	173 件
献血をしたため	95 件
治療・ワクチン投与の経過観察のため	56 件
就職・転職のため	19 件

問4-1-1 受けられた検査の種類はどの検査ですか(あてはまる番号ひとつに○をつけてください)。

1. B型肝炎ウイルス検査      2. C型肝炎ウイルス検査      3. B型肝炎ウイルス検査、C型肝炎ウイルス検査の両方      4. 分からない、覚えていない

図 3-3- 12 受検した検査の種類

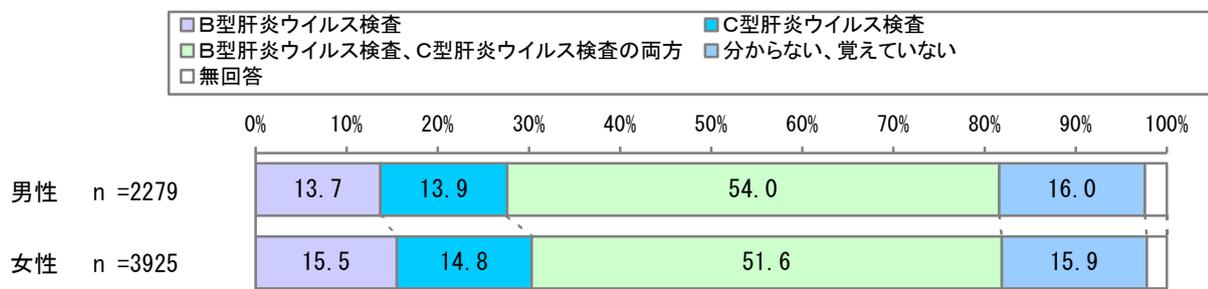


受検した検査の種類は、「B型肝炎ウイルス検査、C型肝炎ウイルス検査の両方」(52.4%)が最も高く、半数以上を占めている。以降、「B型肝炎ウイルス検査」(14.8%)、「C型肝炎ウイルス検査」(14.5%)が同程度で続いている。

性別では特に差はみられていない。

図 3-3- 13 【性別】受検した検査の種類

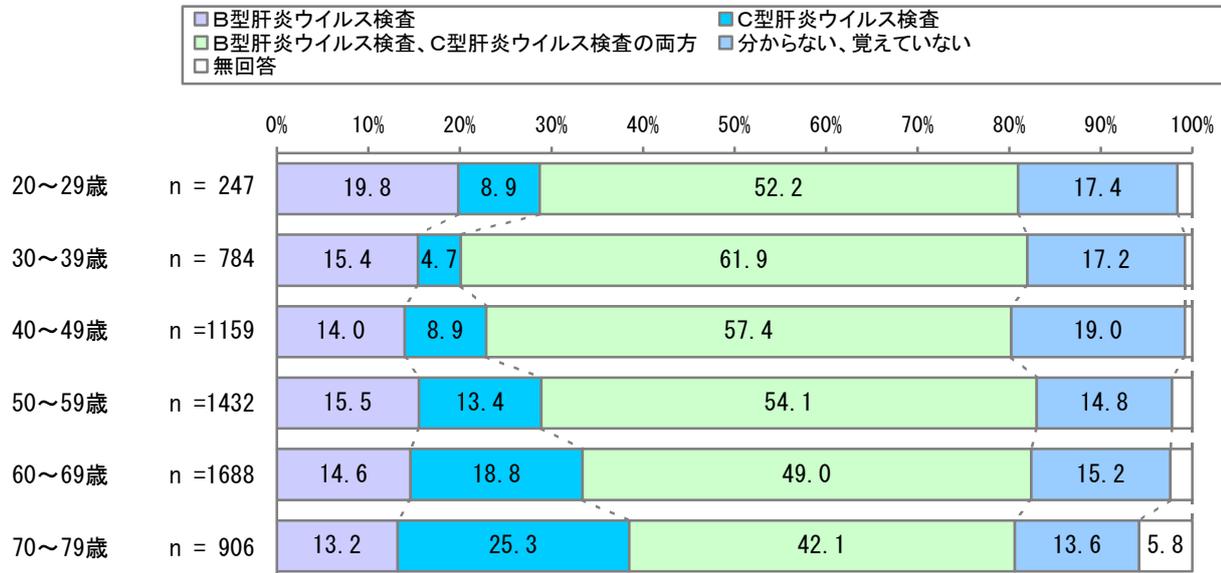
【性別】問4-1-1 受検した検査の種類



年代別では、20代で「B型肝炎ウイルス検査」(19.8%)が2割を占めている。また、30代から70代でみると、年代が上がるにつれて「C型肝炎ウイルス検査」が高くなり、若い年代ほど「B型肝炎ウイルス検査、C型肝炎ウイルス検査の両方」が高くなっている。

図 3-3- 14 【年代別】受検した検査の種類

【年代別】 問4-1-1 受検した検査の種類



地域ブロック別では特に差はみられていない。

図 3-3- 15 【地域ブロック別】受検した検査の種類

【地域ブロック別】 問4-1-1 受検した検査の種類

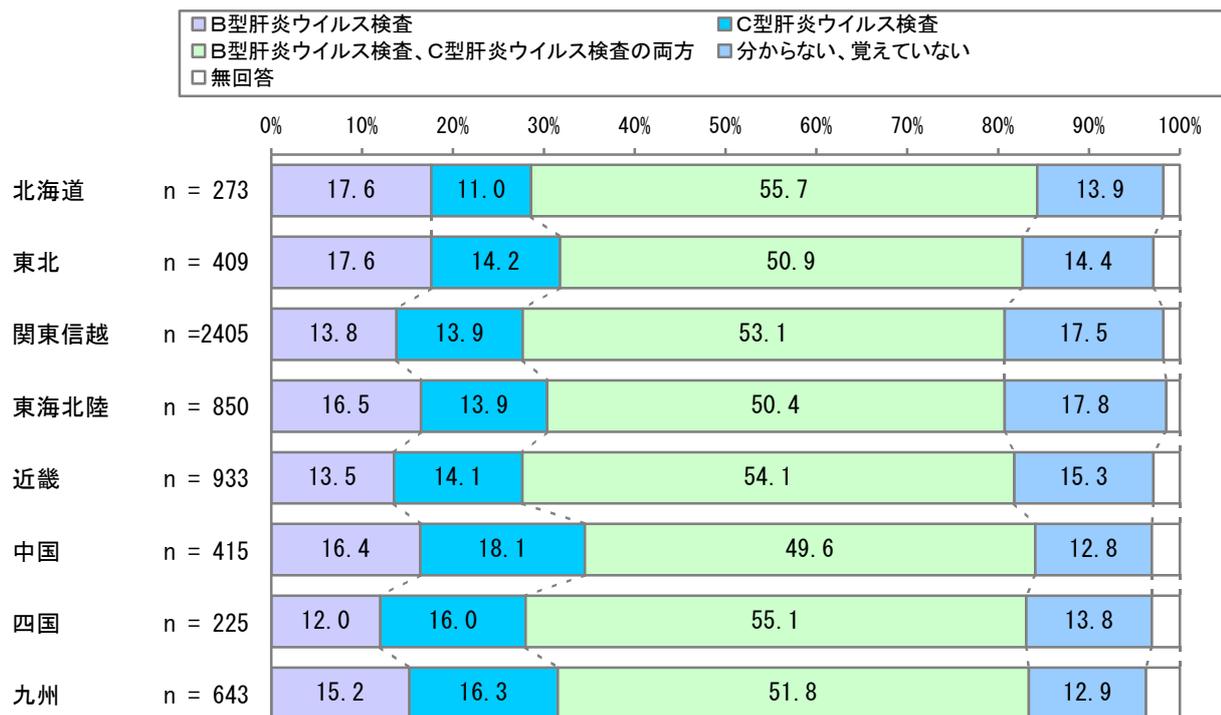


表 3-3-5 【性・年代・地域ブロック・加入健康保険別】受検した検査の種類 クロス集計表

※問3で「1」または「2」と回答された方

		問4-1-1 受けられた検査の種類はどの検査ですか					
		調査数	B型 肝炎ウイルス 検査	C型 肝炎ウイルス 検査	肝B型 肝炎ウイルス 検査の両方、 C型	分 か ら な い、 覚 え て い な い	無 回 答
	全 体	6229 100.0	923 14.8	904 14.5	3263 52.4	993 15.9	146 2.3
性 別	男性	2279 100.0	312 13.7	317 13.9	1231 54.0	364 16.0	55 2.4
	女性	3925 100.0	607 15.5	581 14.8	2027 51.6	623 15.9	87 2.2
年 代	20～29歳	247 100.0	49 19.8	22 8.9	129 52.2	43 17.4	4 1.6
	30～39歳	784 100.0	121 15.4	37 4.7	485 61.9	135 17.2	6 0.8
	40～49歳	1159 100.0	162 14.0	103 8.9	665 57.4	220 19.0	9 0.8
	50～59歳	1432 100.0	222 15.5	192 13.4	774 54.1	212 14.8	32 2.2
	60～69歳	1688 100.0	247 14.6	317 18.8	827 49.0	257 15.2	40 2.4
	70～79歳	906 100.0	120 13.2	229 25.3	381 42.1	123 13.6	53 5.8
	地 域 ブ ロ ッ ク	北海道	273 100.0	48 17.6	30 11.0	152 55.7	38 13.9
東北		409 100.0	72 17.6	58 14.2	208 50.9	59 14.4	12 2.9
関東信越		2405 100.0	332 13.8	334 13.9	1276 53.1	420 17.5	43 1.8
東海北陸		850 100.0	140 16.5	118 13.9	428 50.4	151 17.8	13 1.5
近畿		933 100.0	126 13.5	132 14.1	505 54.1	143 15.3	27 2.9
中国		415 100.0	68 16.4	75 18.1	206 49.6	53 12.8	13 3.1
四国		225 100.0	27 12.0	36 16.0	124 55.1	31 13.8	7 3.1
九州		643 100.0	98 15.2	105 16.3	333 51.8	83 12.9	24 3.7
加 入 健 康 保 険		社会保険(健康保険)	2791 100.0	398 14.3	336 12.0	1544 55.3	464 16.6
	共済組合	716 100.0	131 18.3	59 8.2	416 58.1	98 13.7	12 1.7
	国民健康保険	2602 100.0	380 14.6	484 18.6	1247 47.9	413 15.9	78 3.0
	その他	85 100.0	9 10.6	20 23.5	38 44.7	15 17.6	3 3.5

性別  $(\chi^2=5.657, df=4, p=0.226 \text{ n.s.})$ 年代  $(\chi^2=308.492, df=20, p=0.000 <0.05)$ 地域ブロック  $(\chi^2=50.196, df=28, p=0.006 <0.05)$ 加入健康保険  $(\chi^2=107.491, df=12, p=0.000 <0.05)$

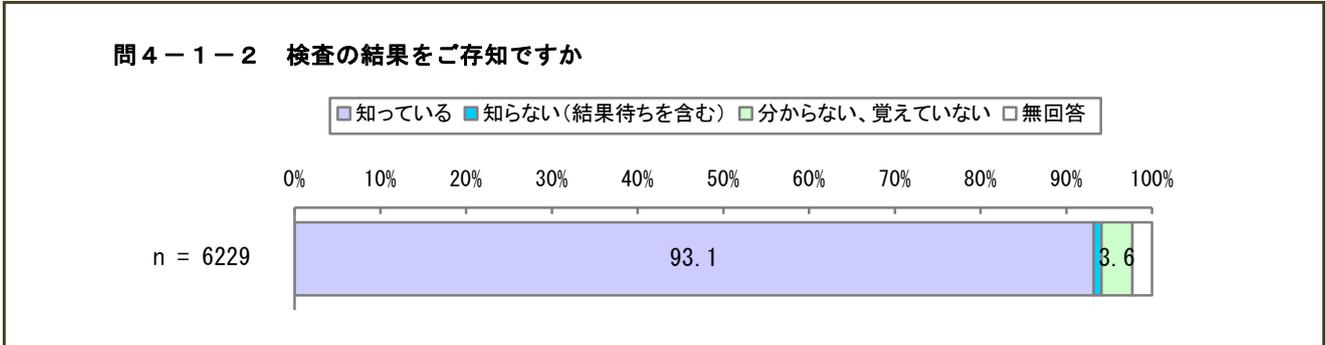
問4-1-2 検査の結果をご存知ですか(あてはまる番号ひとつに○をつけてください)。

1. 知っている

2. 知らない(結果待ちを含む)

3. 分からない、覚えていない

図 3-3- 16 検査結果の認知

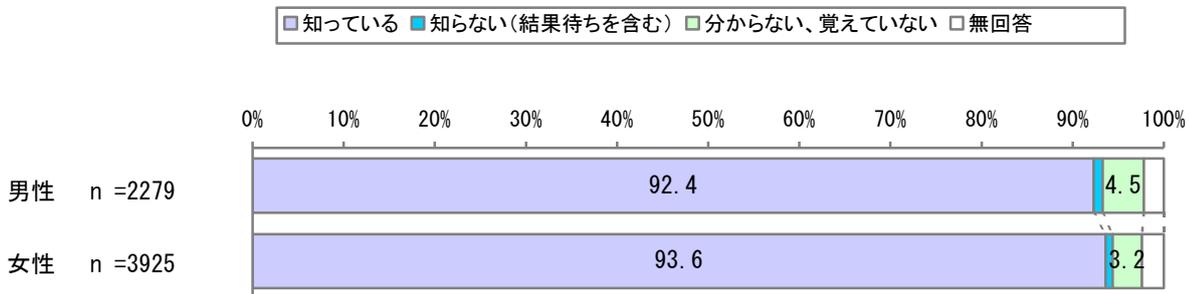


受検した検査の結果の認知は、「知っている」(93.1%)が大半を占め、「分からない、覚えていない」(3.6%)や「知らない(結果待ちを含む)」(0.9%)はごく僅かとなっている。

性別では特に差はみられていない。

図 3-3- 17 【性別】検査結果の認知

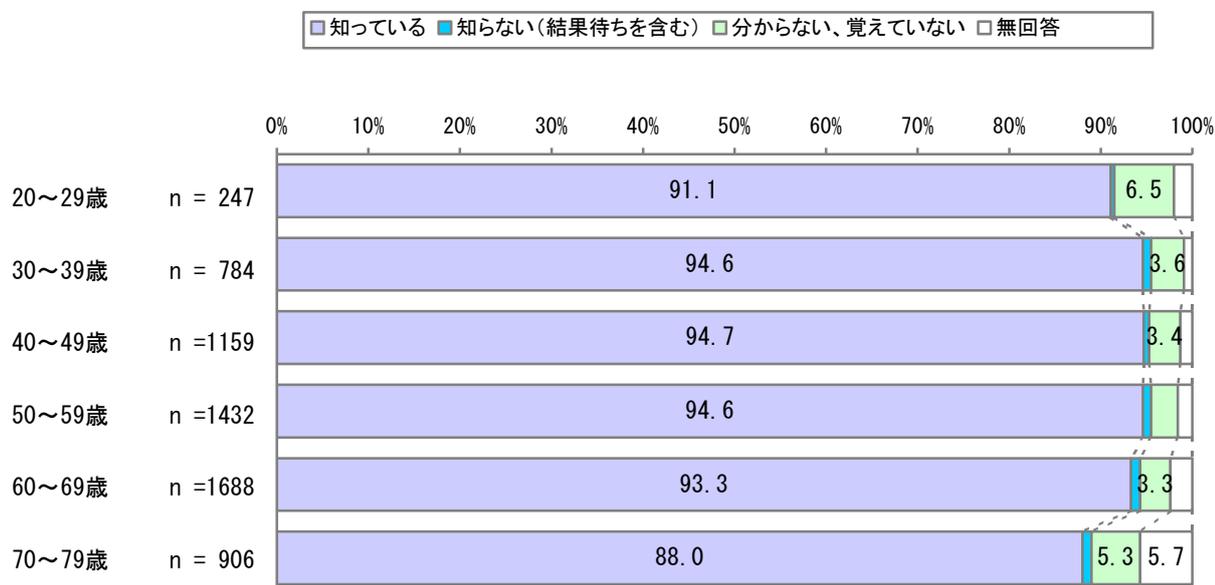
【性別】問4-1-2 検査結果の認知



年代別でもあまり差はみられていないが、「分からない、覚えていない」は、20代(6.5%)と70代(5.3%)で若干高くなっている。

図 3-3- 18 【年代別】検査結果の認知

【年代別】問4-1-2 検査結果の認知



地域ブロック別でもあまり差はみられていないが、「分からない、覚えていない」は、東北(5.1%)で若干高くなっている。

図 3-3- 19 【地域ブロック別】検査結果の認知

【地域ブロック別】問4-1-2 検査結果の認知

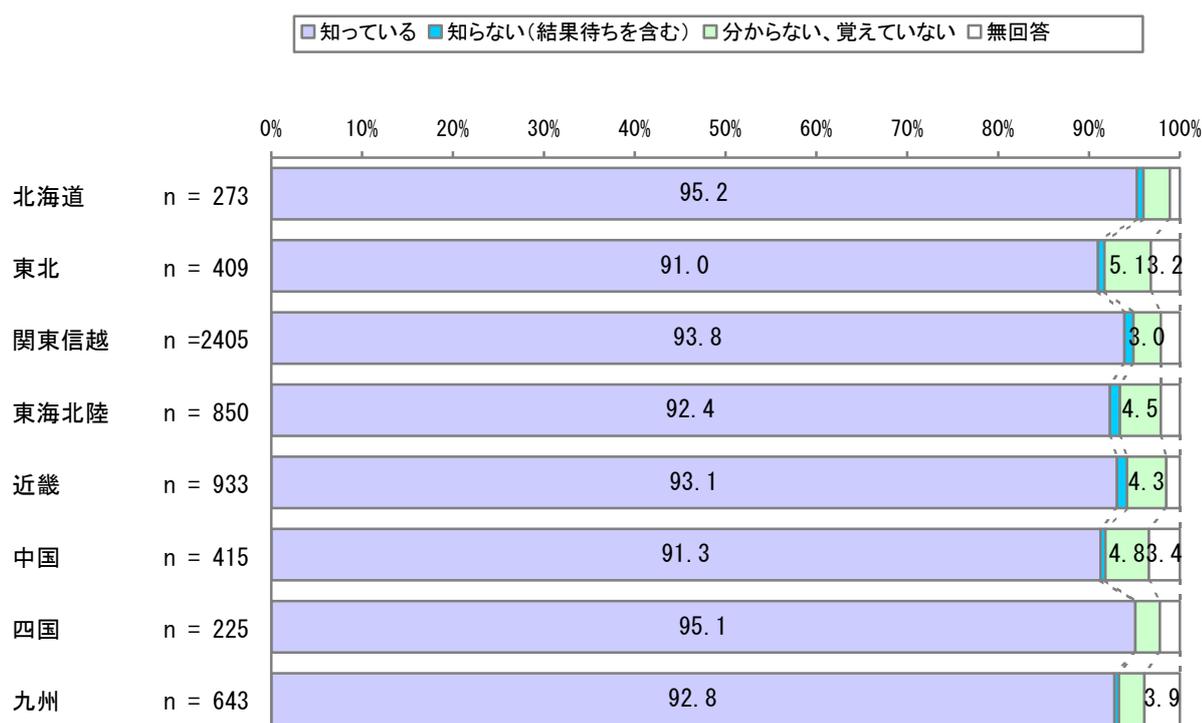


表 3-3-6 【性・年代・地域ブロック・加入健康保険別】検査結果の認知 クロス集計表

※問3で「1」または「2」と回答された方

		問4-1-2 検査の結果をご存知ですか				
		調査数	知っている	知らない (結果待ちを含む)	分からない、覚えていない	無回答
	全体	6229 100.0	5802 93.1	54 0.9	227 3.6	146 2.3
性別	男性	2279 100.0	2105 92.4	23 1.0	102 4.5	49 2.2
	女性	3925 100.0	3675 93.6	30 0.8	125 3.2	95 2.4
年代	20～29歳	247 100.0	225 91.1	1 0.4	16 6.5	5 2.0
	30～39歳	784 100.0	742 94.6	7 0.9	28 3.6	7 0.9
	40～49歳	1159 100.0	1098 94.7	7 0.6	39 3.4	15 1.3
	50～59歳	1432 100.0	1355 94.6	13 0.9	41 2.9	23 1.6
	60～69歳	1688 100.0	1575 93.3	17 1.0	55 3.3	41 2.4
	70～79歳	906 100.0	797 88.0	9 1.0	48 5.3	52 5.7
	地域ブロック	北海道	273 100.0	260 95.2	2 0.7	8 2.9
東北		409 100.0	372 91.0	3 0.7	21 5.1	13 3.2
関東信越		2405 100.0	2257 93.8	25 1.0	73 3.0	50 2.1
東海北陸		850 100.0	785 92.4	9 1.1	38 4.5	18 2.1
近畿		933 100.0	869 93.1	10 1.1	40 4.3	14 1.5
中国		415 100.0	379 91.3	2 0.5	20 4.8	14 3.4
四国		225 100.0	214 95.1	-	6 2.7	5 2.2
九州		643 100.0	597 92.8	3 0.5	18 2.8	25 3.9
加入健康保険		社会保険(健康保険)	2791 100.0	2625 94.1	26 0.9	95 3.4
	共済組合	716 100.0	677 94.6	2 0.3	24 3.4	13 1.8
	国民健康保険	2602 100.0	2390 91.9	25 1.0	103 4.0	84 3.2
	その他	85 100.0	78 91.8	1 1.2	4 4.7	2 2.4

性別  $(\chi^2=7.810, df=2, p=0.020 < 0.05)$

年代  $(\chi^2=20.033, df=10, p=0.029 < 0.05)$

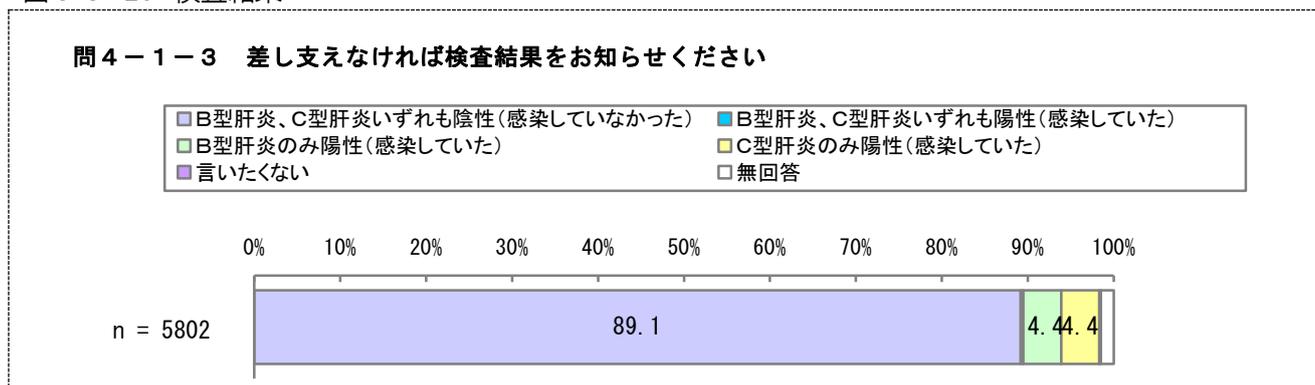
地域ブロック  $(\chi^2=17.422, df=14, p=0.234 \text{ n.s.})$

加入健康保険  $(\chi^2=5.392, df=6, p=0.495 \text{ n.s.})$

問4-1-3 差し支えなければ検査結果をお知らせください(あてはまる番号ひとつに○をつけてください)。

1. B型肝炎、C型肝炎いずれも陰性(感染していなかった)
2. B型肝炎、C型肝炎いずれも陽性(感染していた)
3. B型肝炎のみ陽性(感染していた)
4. C型肝炎のみ陽性(感染していた)
5. 言いたくない

図 3-3- 20 検査結果

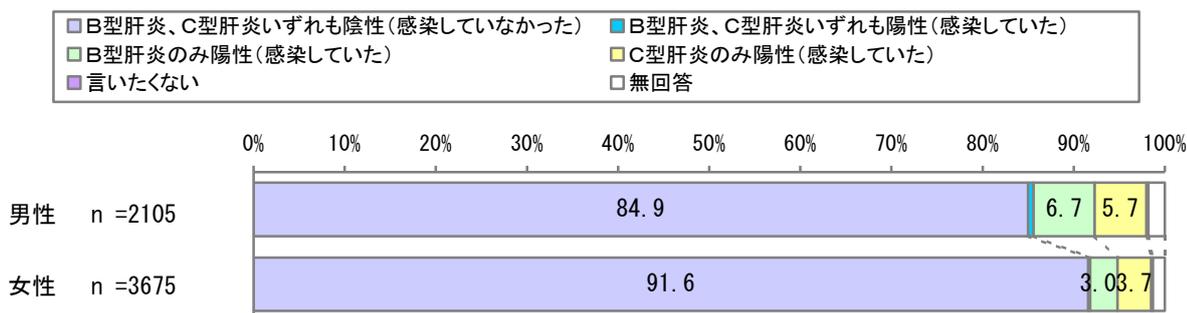


受検した検査の結果は、「B型肝炎、C型肝炎いずれも陰性(感染していなかった)」(89.1%)が最も高く、9割を占めている。次いで「B型肝炎のみ陽性(感染していた)」「C型肝炎のみ陽性(感染していた)」(各4.4%)となっている。

性別では、男性では「B型肝炎、C型肝炎いずれも陽性(感染していた)」「B型肝炎のみ陽性(感染していた)」「C型肝炎のみ陽性(感染していた)」のいずれも、僅かではあるが女性よりも高くなっている。

図 3-3- 21 【性別】検査結果

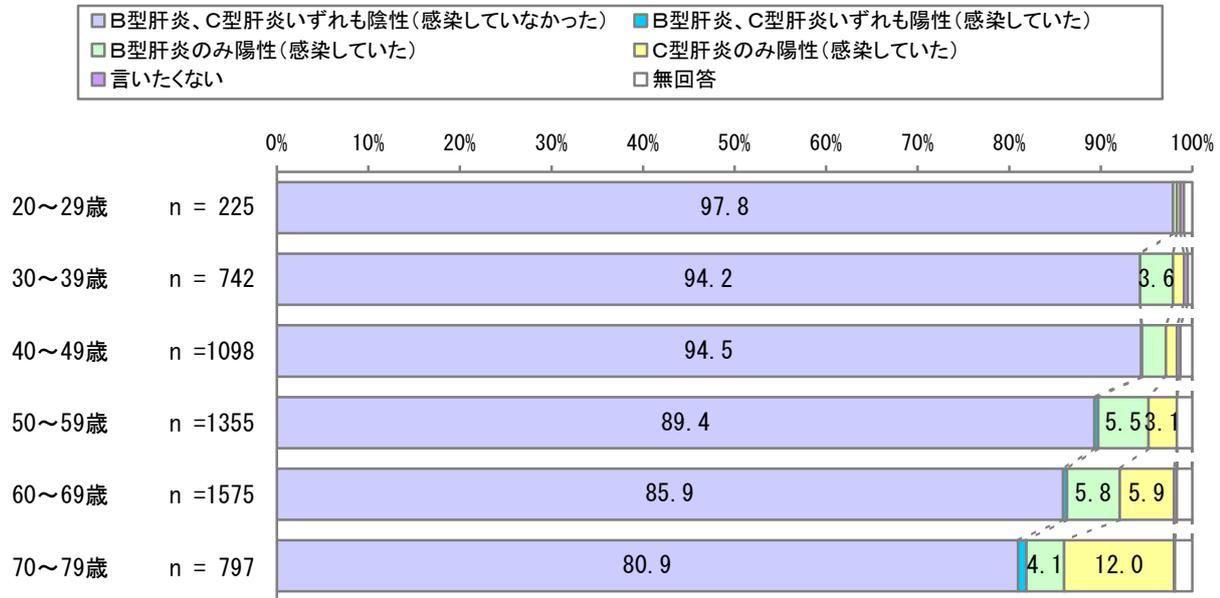
【性別】問4-1-3 検査結果



年代別では、「B型肝炎、C型肝炎いずれも陽性（感染していた）」「B型肝炎のみ陽性（感染していた）」「C型肝炎のみ陽性（感染していた）」のいずれも、年代が上がるにつれて高くなっている。

図 3-3- 22 【年代別】検査結果

【年代別】問4-1-3 検査結果



地域ブロック別ではあまり差はみられていないが、「B型肝炎のみ陽性（感染していた）」は北海道（8.5%）で、「C型肝炎のみ陽性（感染していた）」は中国（7.4%）と九州（7.2%）で若干高くなっている。

図 3-3- 23 【地域ブロック別】検査結果

【地域ブロック別】問4-1-3 検査結果

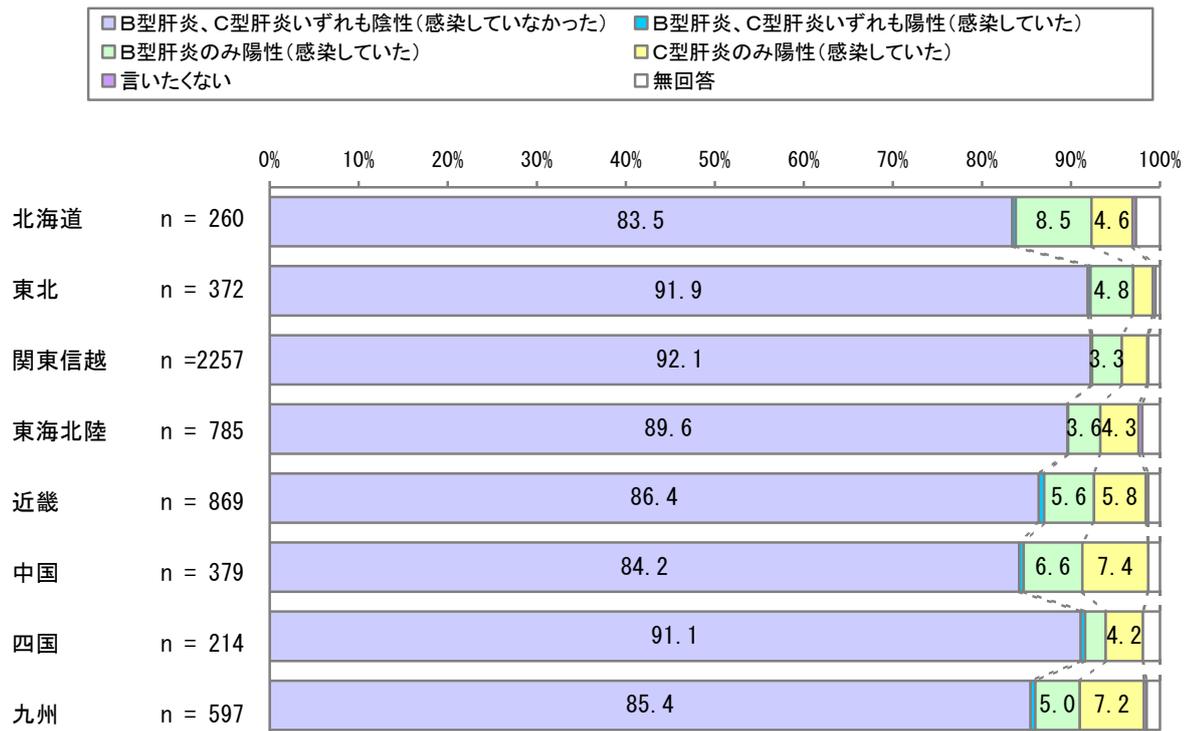


表 3-3-7 【性・年代・地域ブロック・加入健康保険別】検査結果 クロス集計表

※問4-1-2で「1」と回答された方

		問4-1-3 差し支えなければ検査結果をお知らせください						
		調査数	陰性 B型肝炎 (感染して いないか つれも)	陽性 B型肝炎 (感染して いた つれも)	陽性 B型肝炎 (感染して いた)	陽性 C型肝炎 (感染して いた)	陽性 C型肝炎 (感染して いた)	無回答
	全体	5802 100.0	5171 89.1	20 0.3	254 4.4	257 4.4	14 0.2	86 1.5
性別	男性	2105 100.0	1788 84.9	12 0.6	142 6.7	120 5.7	5 0.2	38 1.8
	女性	3675 100.0	3366 91.6	7 0.2	111 3.0	135 3.7	9 0.2	47 1.3
年代	20～29歳	225 100.0	220 97.8	-	1 0.4	1 0.4	1 0.4	2 0.9
	30～39歳	742 100.0	699 94.2	-	27 3.6	9 1.2	3 0.4	4 0.5
	40～49歳	1098 100.0	1038 94.5	1 0.1	28 2.6	13 1.2	4 0.4	14 1.3
	50～59歳	1355 100.0	1211 89.4	5 0.4	74 5.5	42 3.1	-	23 1.7
	60～69歳	1575 100.0	1353 85.9	7 0.4	91 5.8	93 5.9	5 0.3	26 1.7
	70～79歳	797 100.0	645 80.9	7 0.9	33 4.1	96 12.0	1 0.1	15 1.9
	地域 ブ ロ ッ ク	北海道	260 100.0	217 83.5	1 0.4	22 8.5	12 4.6	1 0.4
東北		372 100.0	342 91.9	1 0.3	18 4.8	8 2.2	1 0.3	2 0.5
関東信越		2257 100.0	2079 92.1	5 0.2	74 3.3	66 2.9	3 0.1	30 1.3
東海北陸		785 100.0	703 89.6	1 0.1	28 3.6	34 4.3	3 0.4	16 2.0
近畿		869 100.0	751 86.4	5 0.6	49 5.6	50 5.8	3 0.3	11 1.3
中国		379 100.0	319 84.2	2 0.5	25 6.6	28 7.4	-	5 1.3
四国		214 100.0	195 91.1	1 0.5	5 2.3	9 4.2	-	4 1.9
九州		597 100.0	510 85.4	3 0.5	30 5.0	43 7.2	2 0.3	9 1.5
加入 健康 保 険		社会保険(健康保険)	2625 100.0	2403 91.5	8 0.3	109 4.2	67 2.6	6 0.2
	共済組合	677 100.0	629 92.9	1 0.1	24 3.5	12 1.8	1 0.1	10 1.5
	国民健康保険	2390 100.0	2053 85.9	10 0.4	116 4.9	163 6.8	6 0.3	42 1.8
	その他	78 100.0	59 75.6	1 1.3	4 5.1	12 15.4	1 1.3	1 1.3

性別  $(\chi^2=67.475, df=4, p=0.000 < 0.05)$

年代  $(\chi^2=232.654, df=20, p=0.000 < 0.05)$

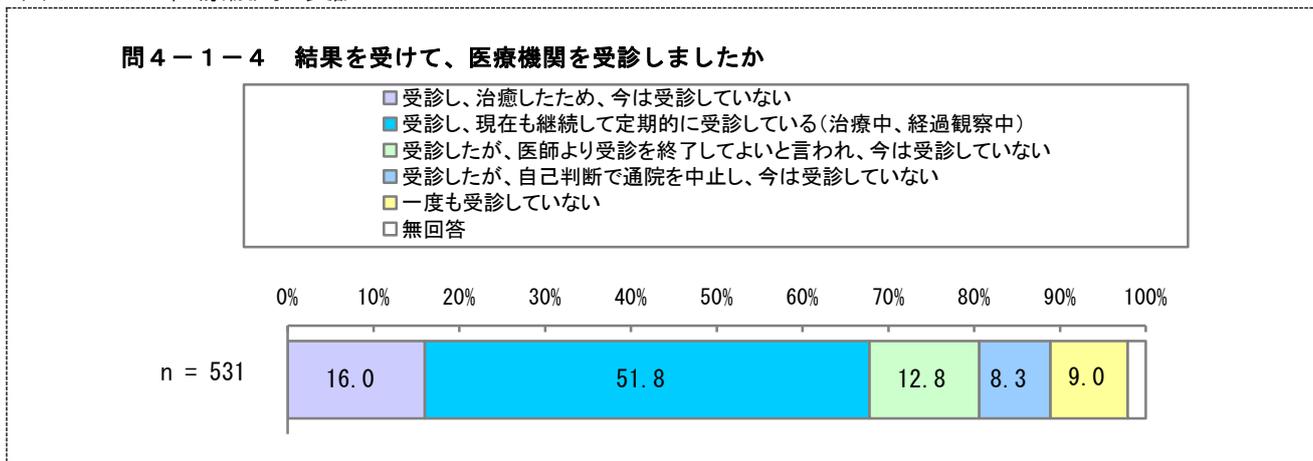
地域ブロック  $(\chi^2=80.291, df=28, p=0.000 < 0.05)$

加入健康保険  $(\chi^2=100.986, df=12, p=0.000 < 0.05)$

問4-1-4 結果を受けて、医療機関を受診しましたか(あてはまる番号ひとつに○をつけてください)。

1. 受診し、治癒したため、今は受診していない
2. 受診し、現在も継続して定期的に受診している(治療中、経過観察中)
3. 受診したが、医師より受診を終了してよいと言われ、今は受診していない
4. 受診したが、自己判断で通院を中止し、今は受診していない
5. 一度も受診していない

図 3-3- 24 医療機関の受診

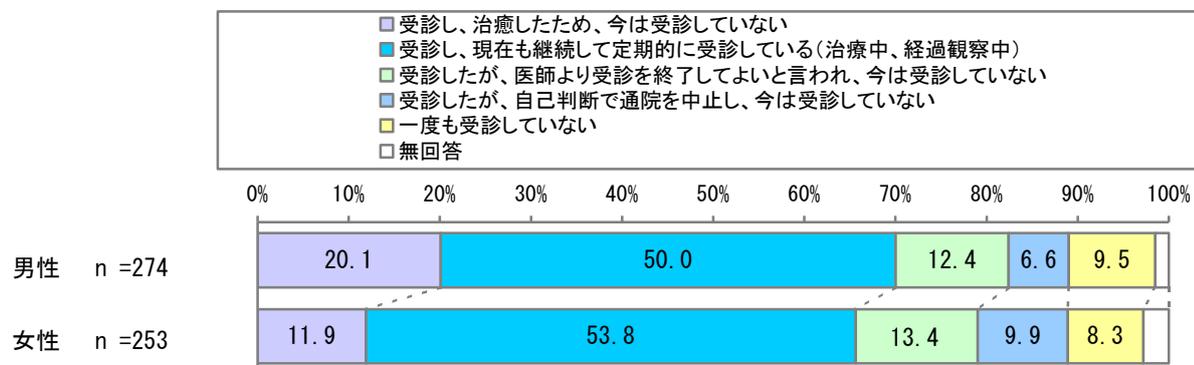


医療機関の受診については、「受診し、現在も継続して定期的に受診している(治療中、経過観察中)」(51.8%)が最も高く、半数以上を占めている。以降、「受診し、治癒したため、今は受診していない」(16.0%)、「受診したが、医師より受診を終了してよいと言われ、今は受診していない」(12.8%)と続いている。

性別では、男性では「受診し、治癒したため、今は受診していない」(20.1%)が女性(11.9%)を8ポイント上回っている。

図 3-3- 25 【性別】医療機関の受診

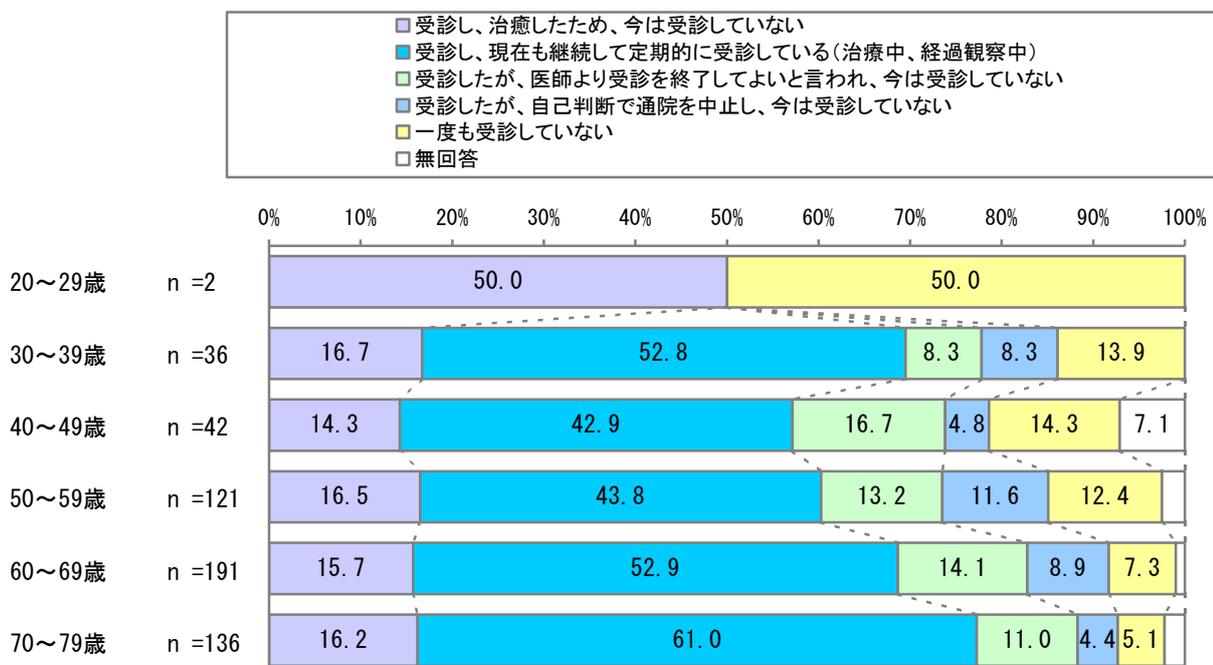
【性別】問4-1-4 医療機関の受診



年代別では、40代から70代についてみると、年代が上がるにつれて「受診し、現在も継続して定期的に受診している（治療中、経過観察中）」が高くなり、「受診したが、医師より受診を終了してよいと言われ、今は受診していない」と「一度も受診していない」は若い年代ほど高くなっている。

図 3-3- 26 【年代別】医療機関の受診

【年代別】 問4-1-4 医療機関の受診



地域ブロック別では、「受診し、治癒したため、今は受診していない」は東北 (33.3%)、「受診し、現在も継続して定期的に受診している（治療中、経過観察中）」は北海道 (60.0%)、「受診したが、医師より受診を終了してよいと言われ、今は受診していない」は東海北陸 (20.6%) で、それぞれ高くなっている。

図 3-3- 27 【地域ブロック別】医療機関の受診

【地域ブロック別】 問4-1-4 医療機関の受診

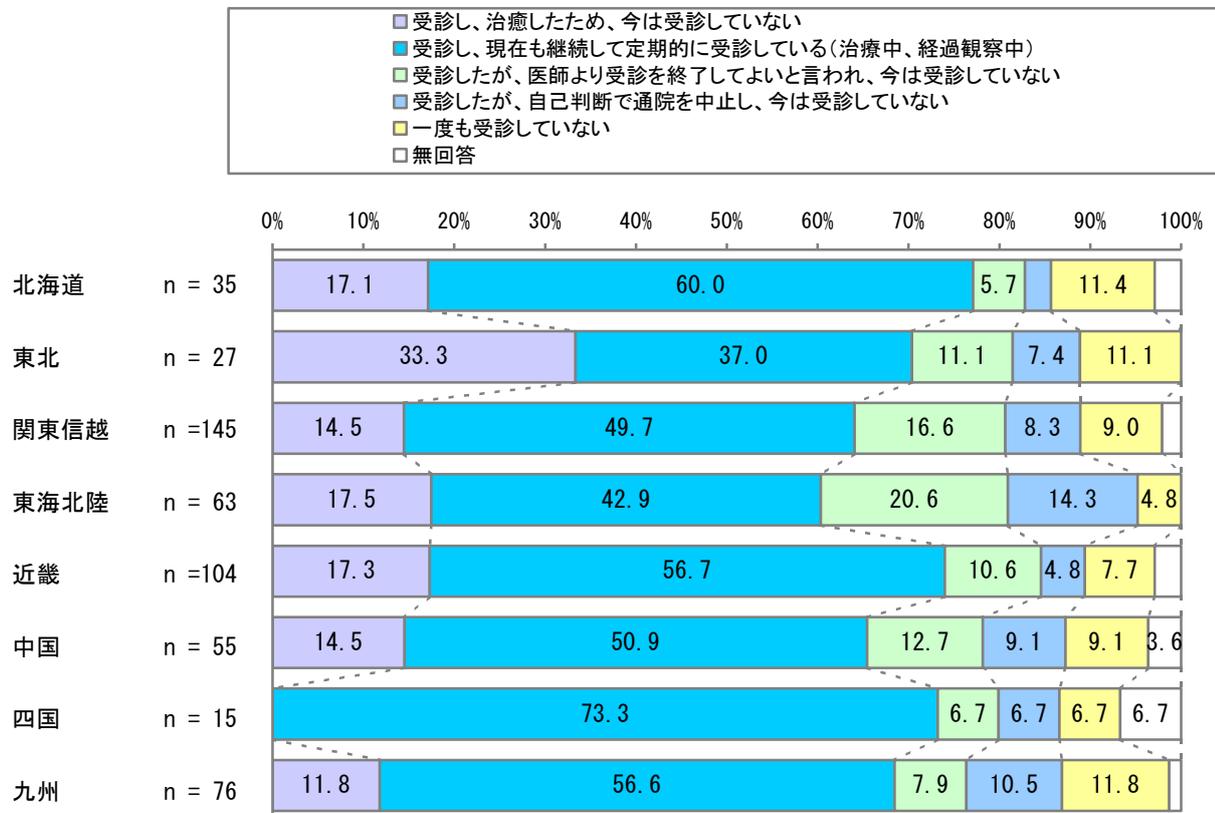


表 3-3-8 【性・年代・地域ブロック・加入健康保険別】医療機関の受診 クロス集計表

※問4-1-3で「2～4」と回答された方

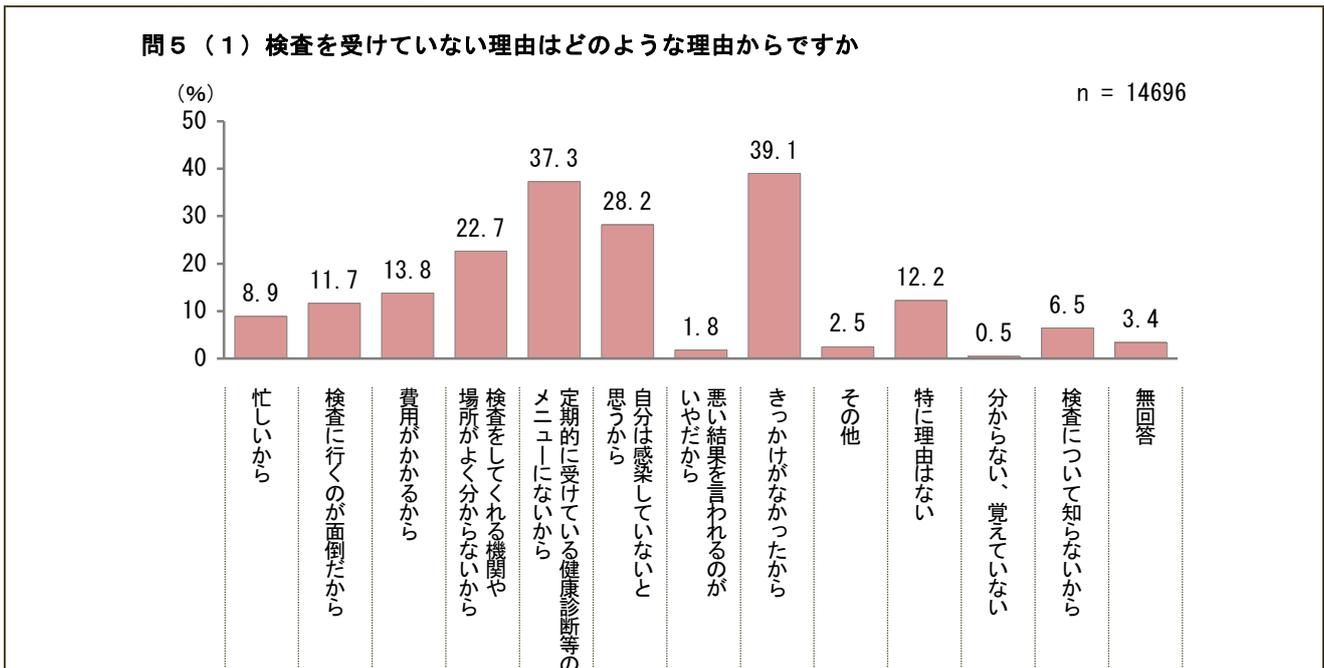
		問4-1-4 結果を受けて、医療機関を受診しましたか						
		調査数	受診して いない （治療 のため、 今は 受診し てい ない）	経過 的に 受診 し、 現在 も 継続 して 定期 診察 中）	受診 した が、 よ い と 医 言 わ れ、 今 診 を 受 診 し て い ない	い を 受 診 し た が、 今、 自 己 判 断 で い 通 な 院	一 度 も 受 診 し て い ない	無 回 答
	全 体	531 100.0	85 16.0	275 51.8	68 12.8	44 8.3	48 9.0	11 2.1
性 別	男性	274 100.0	55 20.1	137 50.0	34 12.4	18 6.6	26 9.5	4 1.5
	女性	253 100.0	30 11.9	136 53.8	34 13.4	25 9.9	21 8.3	7 2.8
年 代	20～29歳	2 100.0	1 50.0	-	-	-	1 50.0	-
	30～39歳	36 100.0	6 16.7	19 52.8	3 8.3	3 8.3	5 13.9	-
	40～49歳	42 100.0	6 14.3	18 42.9	7 16.7	2 4.8	6 14.3	3 7.1
	50～59歳	121 100.0	20 16.5	53 43.8	16 13.2	14 11.6	15 12.4	3 2.5
	60～69歳	191 100.0	30 15.7	101 52.9	27 14.1	17 8.9	14 7.3	2 1.0
	70～79歳	136 100.0	22 16.2	83 61.0	15 11.0	6 4.4	7 5.1	3 2.2
	地 域 ブ ロ ッ ク	北海道	35 100.0	6 17.1	21 60.0	2 5.7	1 2.9	4 11.4
東北		27 100.0	9 33.3	10 37.0	3 11.1	2 7.4	3 11.1	-
関東信越		145 100.0	21 14.5	72 49.7	24 16.6	12 8.3	13 9.0	3 2.1
東海北陸		63 100.0	11 17.5	27 42.9	13 20.6	9 14.3	3 4.8	-
近畿		104 100.0	18 17.3	59 56.7	11 10.6	5 4.8	8 7.7	3 2.9
中国		55 100.0	8 14.5	28 50.9	7 12.7	5 9.1	5 9.1	2 3.6
四国		15 100.0	-	11 73.3	1 6.7	1 6.7	1 6.7	1 6.7
九州		76 100.0	9 11.8	43 56.6	6 7.9	8 10.5	9 11.8	1 1.3
加 入 健 康 保 険	社会保険（健康保険）	184 100.0	29 15.8	91 49.5	18 9.8	16 8.7	24 13.0	6 3.3
	共済組合	37 100.0	6 16.2	19 51.4	5 13.5	3 8.1	4 10.8	-
	国民健康保険	289 100.0	45 15.6	154 53.3	43 14.9	23 8.0	19 6.6	5 1.7
	その他	17 100.0	5 29.4	9 52.9	2 11.8	-	1 5.9	-

性別  $(\chi^2=7.929, df=4, p=0.094 \text{ n.s.})$ 年代  $(\chi^2=24.101, df=20, p=0.238 \text{ n.s.})$ 地域ブロック  $(\chi^2=30.520, df=28, p=0.339 \text{ n.s.})$ 加入健康保険  $(\chi^2=11.421, df=12, p=0.493 \text{ n.s.})$

問5(1)検査を受けていない理由はどのような理由からですか(あてはまる番号すべてに○をつけてください)。

- |                             |                     |
|-----------------------------|---------------------|
| 1. 忙しいから                    | 7. 悪い結果を言われるのがいやだから |
| 2. 検査に行くのが面倒だから             | 8. きっかけがなかったから      |
| 3. 費用がかかるから                 | 9. その他              |
| 4. 検査をしてくれる機関や場所がよく分からないから  | 10. 特に理由はない         |
| 5. 定期的に受けている健康診断等のメニューにないから | 11. 分からない、覚えていない    |
| 6. 自分は感染していないと思うから          | 12. 検査について知らないから    |

図 3-3- 28 検査を受けていない理由



検査を受けていない理由は、「きっかけがなかったから」(39.1%)が最も高く、以降「定期的に受けている健康診断等のメニューにないから」(37.3%)、「自分は感染していないと思うから」(28.2%)、「検査をしてくれる機関や場所がよく分からないから」(22.7%)と続いている。

性別では、男性では「定期的に受けている健康診断等のメニューにないから」(40.3%)が女性(34.8%)を6ポイント、女性では「きっかけがなかったから」(41.7%)が男性(36.5%)を5ポイント、それぞれ上回っている。

年代別では、「費用がかかるから」は20代から40代で2割前後(20代:19.3%、30代:21.1%、40代:19.8%)、「検査をしてくれる機関や場所がよく分からないから」は20代と30代で約3割(20代:30.4%、30代:30.7%)、「定期的に受けている健康診断等のメニューにないから」は50代と60代で4割強(50代:44.1%、60代:43.3%)、「きっかけがなかったから」は20代と30代で5割前後(20代:52.9%、30代:48.6%)と、それぞれ高くなっている。

地域ブロック別では特に差はみられていない。

加入健康保険種別では、その他の保険加入者で「検査について知らないから」(14.9%)が高くなっている。

その他については、主な内容は、「定期検査にあると思っていたため」(107 件)、「通院している病院で勧められないため」(62 件) などとなっている。

表 3-3-9 【性・年代・地域ブロック・加入健康保険別】検査を受けていない理由 クロス集計表

※問3で「3」と回答された方

	問5(1)検査を受けていない理由はどのような理由からですか													
	調査数	忙しいから	検査に行くのが面倒だから	費用がかかるから	検査をしてくれる機関や場所がよく分からないから	定期的メニューにないから	自分は感染していないと思うから	悪い結果を言われるのがいやから	きっかけがなかったから	その他	特に理由はない	分からない、覚えていない	検査について知らないから	無回答
全体	14696 100.0	1303 8.9	1716 11.7	2022 13.8	3338 22.7	5488 37.3	4151 28.2	268 1.8	5744 39.1	373 2.5	1792 12.2	67 0.5	948 6.5	498 3.4
性別														
男性	7080 100.0	760 10.7	970 13.7	973 13.7	1671 23.6	2851 40.3	2106 29.7	131 1.9	2594 36.6	170 2.4	807 11.4	33 0.5	440 6.2	219 3.1
女性	7506 100.0	538 7.2	736 9.8	1039 13.8	1646 21.9	2610 34.8	2014 26.8	135 1.8	3132 41.7	201 2.7	963 12.8	34 0.5	495 6.6	274 3.7
年代														
20～29歳	1528 100.0	177 11.6	239 15.6	295 19.3	464 30.4	283 18.5	302 19.8	19 1.2	809 52.9	26 1.7	183 12.0	7 0.5	152 9.9	45 2.9
30～39歳	2319 100.0	302 13.0	347 15.0	489 21.1	713 30.7	653 28.2	579 25.0	56 2.4	1126 48.6	46 2.0	261 11.3	8 0.3	198 8.5	65 2.8
40～49歳	2190 100.0	276 12.6	334 15.3	433 19.8	584 26.7	910 41.6	551 25.2	43 2.0	958 43.7	38 1.7	213 9.7	6 0.3	143 6.5	88 4.0
50～59歳	2500 100.0	284 11.4	359 14.4	380 15.2	543 21.7	1103 44.1	722 28.9	57 2.3	943 37.7	57 2.3	267 10.7	6 0.2	118 4.7	78 3.1
60～69歳	3556 100.0	180 5.1	312 8.8	284 8.0	624 17.5	1540 43.3	1168 32.8	63 1.8	1216 34.2	107 3.0	467 13.1	18 0.5	170 4.8	112 3.1
70～79歳	2562 100.0	83 3.2	120 4.7	136 5.3	398 15.5	991 38.7	816 31.9	30 1.2	680 26.5	95 3.7	396 15.5	22 0.9	165 6.4	108 4.2
地域ブロック														
北海道	625 100.0	53 8.5	68 10.9	83 13.3	132 21.1	226 36.2	169 27.0	9 1.4	227 36.3	19 3.0	71 11.4	3 0.5	33 5.3	27 4.3
東北	1091 100.0	95 8.8	92 8.4	149 13.7	256 23.5	412 37.8	282 25.8	11 1.0	406 37.2	20 1.8	134 12.3	5 0.5	73 6.7	44 4.0
関東信越	5387 100.0	514 9.5	646 12.0	747 13.9	1313 24.4	2100 39.0	1508 28.0	91 1.7	2260 42.0	131 2.4	612 11.4	17 0.3	353 6.6	180 3.3
東海北陸	2302 100.0	202 8.8	277 12.0	320 13.9	492 21.4	899 39.1	650 28.2	51 2.2	858 37.3	56 2.4	272 11.8	15 0.7	156 6.8	75 3.3
近畿	2368 100.0	193 8.2	269 11.4	310 13.1	497 21.0	853 36.0	745 31.5	42 1.8	907 38.3	62 2.6	287 12.1	13 0.5	154 6.5	69 2.9
中国	880 100.0	89 10.1	125 14.2	130 14.8	184 20.9	296 33.6	248 28.2	16 1.8	307 34.9	33 3.8	126 14.3	4 0.5	55 6.3	28 3.2
四国	476 100.0	38 8.0	63 13.2	65 13.7	87 18.3	170 35.7	135 28.4	9 1.9	170 35.7	9 1.9	66 13.9	2 0.4	27 5.7	17 3.6
九州	1378 100.0	116 8.4	153 11.1	186 13.5	333 24.2	478 34.7	359 26.1	33 2.4	549 39.8	30 2.2	194 14.1	7 0.5	83 6.0	49 3.6
加入健康保険														
社会保険(健康保険)	6943 100.0	734 10.6	900 13.0	1121 16.1	1741 25.1	2703 38.9	1795 25.9	112 1.6	2973 42.8	155 2.2	745 10.7	24 0.3	479 6.9	218 3.1
共済組合	1103 100.0	111 10.1	131 11.9	126 11.4	258 23.4	455 41.3	318 28.8	16 1.5	472 42.8	27 2.4	142 12.9	2 0.2	63 5.7	27 2.4
国民健康保険	6262 100.0	441 7.0	651 10.4	731 11.7	1258 20.1	2213 35.3	1934 30.9	138 2.2	2185 34.9	169 2.7	847 13.5	40 0.6	369 5.9	238 3.8
その他	290 100.0	9 3.1	19 6.6	26 9.0	59 20.3	95 32.8	78 26.9	2 0.7	86 29.7	18 6.2	42 14.5	1 0.3	27 9.3	10 3.4

性別	$\chi^2$	55.724	51.915	0.099	4.978	44.290	13.792	0.035	44.146	1.249	7.739	0.009	1.058
	df	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
	p	<0.005	<0.005	0.754 n.s.	<0.026 <0.05	<0.000 <0.05	<0.000 <0.05	0.853 n.s.	<0.000 <0.05	0.264 n.s.	<0.005 <0.05	0.925 n.s.	0.304 n.s.
年代	$\chi^2$	282.856	240.906	468.337	283.918	452.417	135.396	16.281	435.255	31.852	49.982	14.373	75.870
	df	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5
	p	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	0.006 n.s.	<0.005 <0.05	<0.005 <0.05	<0.005 <0.05	0.013 n.s.	<0.005 <0.05
地域ブロック	$\chi^2$	8.586	19.039	1.991	25.501	21.621	17.504	9.602	35.421	9.922	13.901	4.821	2.839
	df	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7
	p	0.284 n.s.	0.008 n.s.	0.960 n.s.	0.001 n.s.	0.003 n.s.	0.014 n.s.	0.212 n.s.	<0.005 <0.05	0.193 n.s.	0.053 n.s.	0.682 n.s.	0.899 n.s.
加入健康保険	$\chi^2$	62.856	27.377	65.735	45.329	24.605	45.314	10.019	99.234	19.428	27.640	8.522	10.225
	df	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3
	p	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	<0.005	0.018 n.s.	<0.005 <0.05	<0.005 <0.05	<0.005 <0.05	0.036 n.s.	0.017 n.s.

その他のうち主な内容については以下の通り。

定期検査にあると思っていたため	107 件
通院している病院で勧められないため	62 件
献血を受けているため(その後、陽性という通知が来ていないため)	23 件
症状がないため	12 件
輸血等、感染の可能性のある経験がないと思っているため	7 件
費用がわからないため	5 件

問5(2) 今後、機会があれば検査を受けてみたいと思いますか(あてはまる番号ひとつに○をつけてください)。

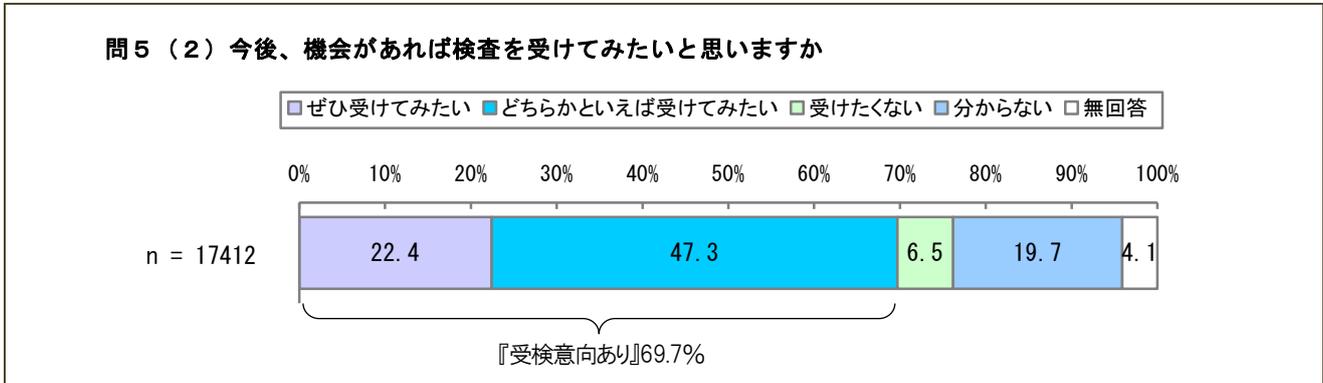
1. ぜひ受けてみたい

2. どちらかといえば受けてみたい

3. 受けたくない

4. 分からない

図 3-3- 29 今後の受検意向

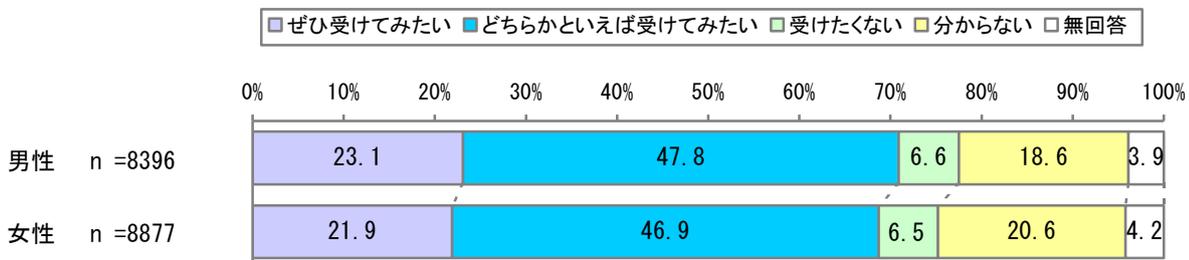


今後の受検意向については、「どちらかといえば受けてみたい」(47.3%) が最も高く半数弱を占めている。「ぜひ受けてみたい」(22.4%) と合わせた『受検意向あり』(69.7%) は3分の2以上を占めている。

性別では特に差はみられていない。

図 3-3- 30 【性別】今後の受検意向

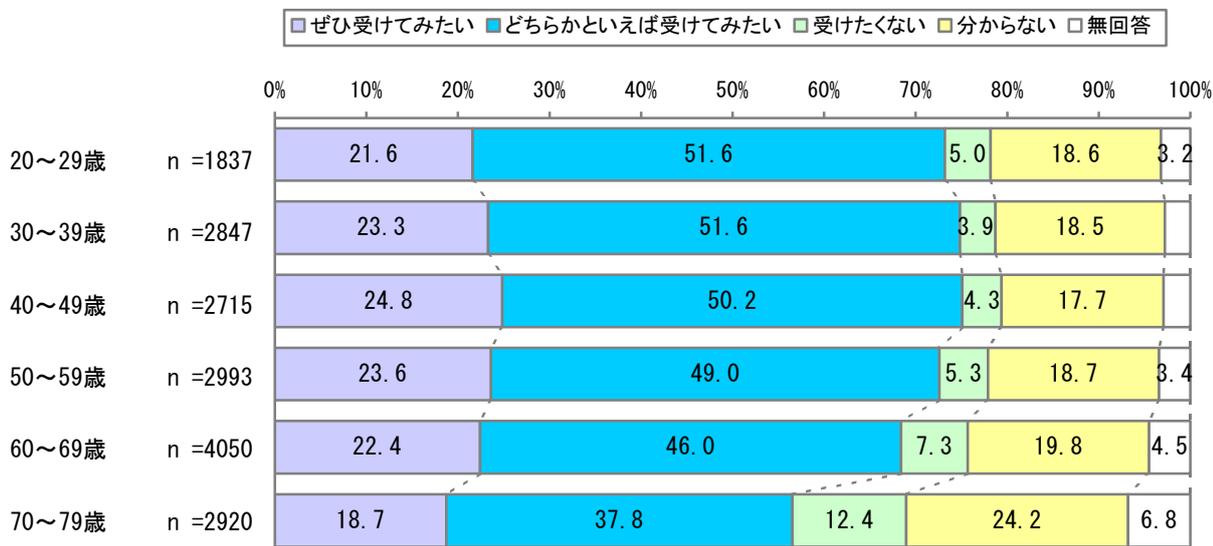
【性別】 問5(2)今後の受検意向



年代別では、70代では「受けたくない」(12.4%)が1割強と高くなっている。また、「ぜひ受けてみたい」と「どちらかといえば受けてみたい」を合わせた『受検意向あり』は、40代(74.9%)と50代(75.0%)で若干高くなっている。

図 3-3- 31 【年代別】今後の受検意向

【年代別】 問5(2)今後の受検意向



地域ブロック別ではあまり差はみられていないが、「ぜひ受けてみたい」と「どちらかといえば受けてみたい」を合わせた『受検意向あり』は、関東信越(72.6%)、東海北陸(72.5%)、九州(72.7%)で若干高くなっている。

図 3-3- 32 【地域ブロック別】今後の受検意向

【地域ブロック別】 問5(2)今後の受検意向

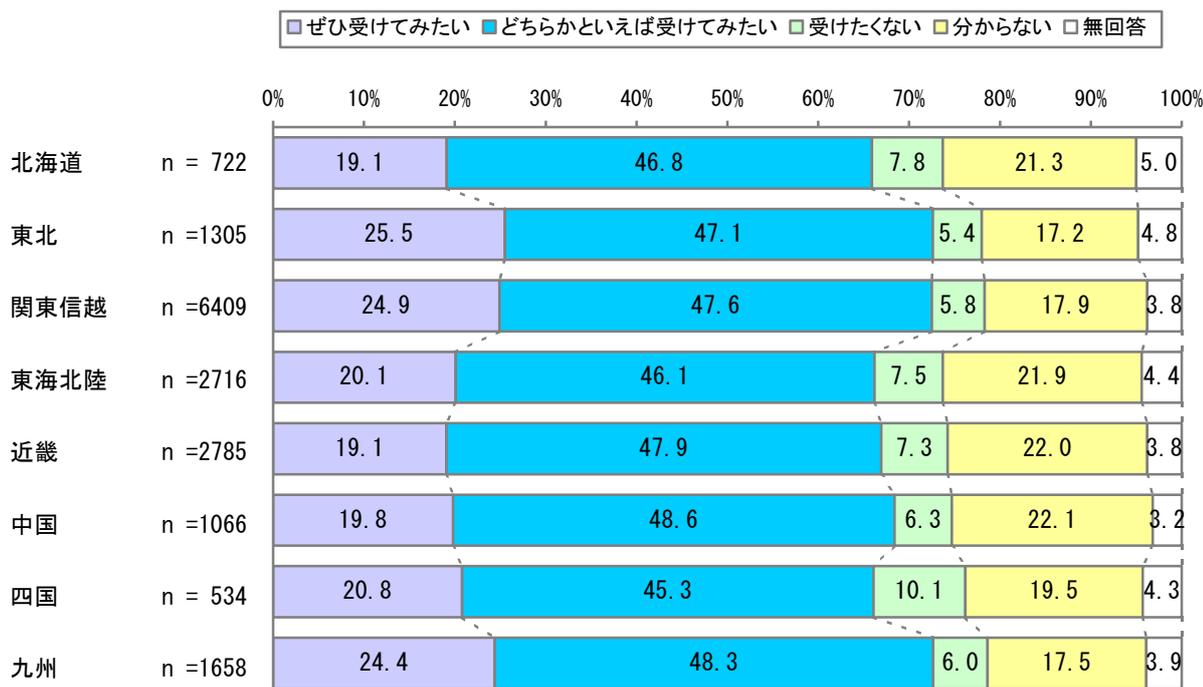


表 3-3- 10 【性・年代・地域ブロック・加入健康保険別】今後の受検意向 クロス集計表

※問3で「3」、または問3で「4」と回答された方

		問5(2)今後、機会があれば検査を受けてみたいと思いますか					
		調査数	ぜひ受けてみたい	どちらかといえば受けてみたい	受けたくない	分からない	無回答
	全 体	17412 100.0	3903 22.4	8232 47.3	1138 6.5	3433 19.7	706 4.1
性別	男性	8396 100.0	1938 23.1	4014 47.8	552 6.6	1564 18.6	328 3.9
	女性	8877 100.0	1943 21.9	4161 46.9	573 6.5	1831 20.6	369 4.2
年代	20～29歳	1837 100.0	397 21.6	948 51.6	92 5.0	342 18.6	58 3.2
	30～39歳	2847 100.0	664 23.3	1468 51.6	110 3.9	526 18.5	79 2.8
	40～49歳	2715 100.0	673 24.8	1364 50.2	117 4.3	481 17.7	80 2.9
	50～59歳	2993 100.0	706 23.6	1466 49.0	160 5.3	559 18.7	102 3.4
	60～69歳	4050 100.0	909 22.4	1861 46.0	295 7.3	801 19.8	184 4.5
	70～79歳	2920 100.0	546 18.7	1105 37.8	363 12.4	708 24.2	198 6.8
	地域ブロック	北海道	722 100.0	138 19.1	338 46.8	56 7.8	154 21.3
東北		1305 100.0	333 25.5	615 47.1	70 5.4	224 17.2	63 4.8
関東信越		6409 100.0	1594 24.9	3050 47.6	370 5.8	1150 17.9	245 3.8
東海北陸		2716 100.0	545 20.1	1252 46.1	203 7.5	596 21.9	120 4.4
近畿		2785 100.0	532 19.1	1333 47.9	203 7.3	612 22.0	105 3.8
中国		1066 100.0	211 19.8	518 48.6	67 6.3	236 22.1	34 3.2
四国		534 100.0	111 20.8	242 45.3	54 10.1	104 19.5	23 4.3
九州		1658 100.0	405 24.4	800 48.3	99 6.0	290 17.5	64 3.9
加入健康保険		社会保険(健康保険)	8357 100.0	2003 24.0	4187 50.1	377 4.5	1502 18.0
	共済組合	1424 100.0	376 26.4	719 50.5	68 4.8	221 15.5	40 2.8
	国民健康保険	7169 100.0	1438 20.1	3161 44.1	639 8.9	1581 22.1	350 4.9
	その他	345 100.0	70 20.3	120 34.8	44 12.8	94 27.2	17 4.9

性別  $(\chi^2=12.369, df=3, p=0.006 < 0.05)$

年代  $(\chi^2=376.752, df=15, p=0.000 < 0.05)$

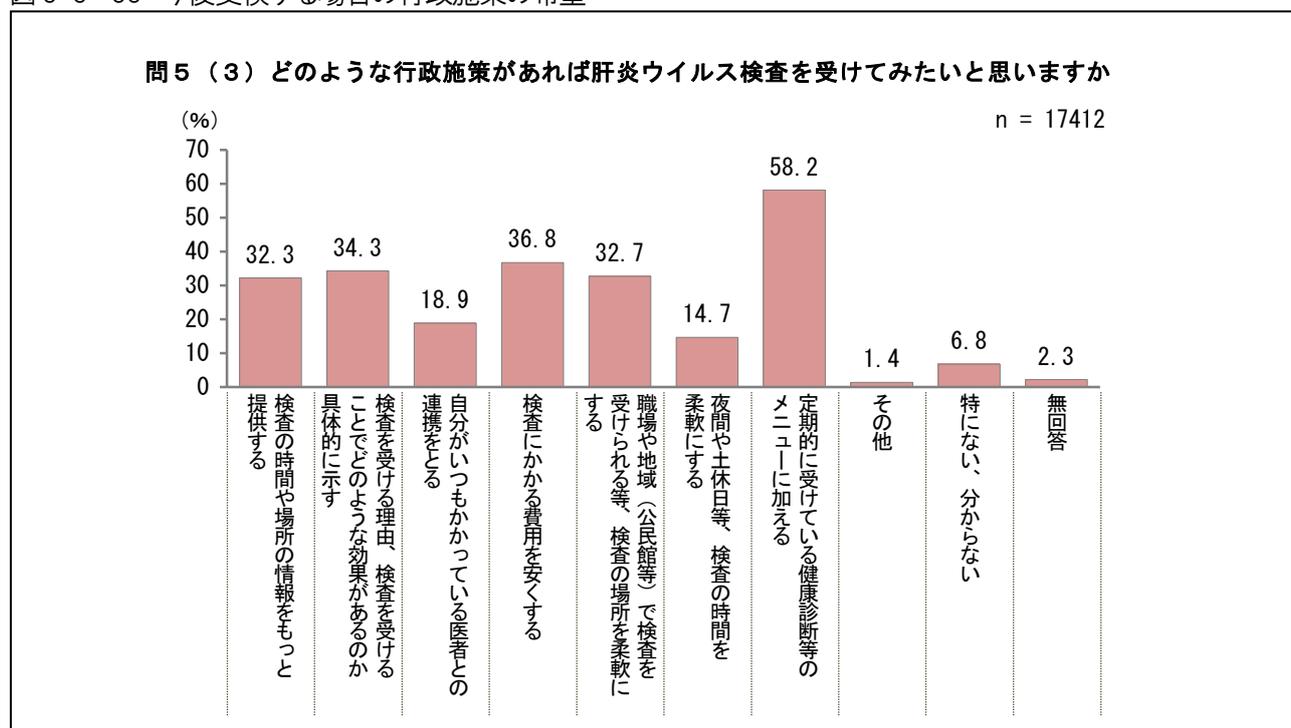
地域ブロック  $(\chi^2=119.891, df=21, p=0.000 < 0.05)$

加入健康保険  $(\chi^2=278.245, df=9, p=0.000 < 0.05)$

問5(3)どのような行政施策があれば肝炎ウイルス検査を受けてみたいと思いますか(あてはまる番号すべてに○をつけてください)。

1. 検査の時間や場所の情報をもっと提供する
2. 検査を受ける理由、検査を受けることでどのような効果があるのか具体的に示す
3. 自分がいつもかかっている医者との連携をとる
4. 検査にかかる費用を安くする
5. 職場や地域(公民館等)で検査を受けられる等、検査の場所を柔軟にする
6. 夜間や土休日等、検査の時間を柔軟にする
7. 定期的を受けている健康診断等のメニューに加える
8. その他
9. 特にない、分からない

図 3-3- 33 今後受検する場合の行政施策の希望



今後受検する場合の行政施策の希望は、「定期的を受けている健康診断等のメニューに加える」(58.2%)が最も高く、以降「検査にかかる費用を安くする」(36.8%)、「検査を受ける理由、検査を受けることでどのような効果があるのか具体的に示す」(34.3%)、「職場や地域(公民館等)で検査を受けられる等、検査の場所を柔軟にする」(32.7%)、「検査の時間や場所の情報をもっと提供する」(32.3%)と続いている。

性別では、女性では「検査にかかる費用を安くする」(41.4%)が男性(32.6%)を8ポイント、「検査を受ける理由、検査を受けることでどのような効果があるのか具体的に示す」(36.7%)が男性(32.2%)を5ポイント、それぞれ上回っている。

年代別では、若い年代ほど「検査の時間や場所の情報をもっと提供する」、「検査を受ける理由、検査を受けることでどのような効果があるのか具体的に示す」、「検査にかかる費用を安くする」、「職場や地域(公民館等)で検査を受けられる等、検査の場所を柔軟にする」、「夜間や土休日等、検査の時間を柔軟にする」が高くなっている。一方、年代が上がるにつれて「自分がいつもかかっている医者との連携をとる」が高くなっている。また、「定期的を受けている健康診断等のメニューに加える」は40代(66.7%)と50代(63.5%)で高くなっている。

地域ブロック別では特に差はみられていない。

加入健康保険種別では、社会保険（健康保険）加入者と共済組合加入者で「定期的を受けている健康診断等のメニューに加える」と「職場や地域（公民館等）で検査を受けられる等、検査の場所を柔軟にする」が高くなっている（「定期的を受けている健康診断等のメニューに加える」社会保険（健康保険）加入者：63.2%、共済組合加入者：65.5%、「職場や地域（公民館等）で検査を受けられる等、検査の場所を柔軟にする」社会保険（健康保険）加入者：40.9%、共済組合加入者：43.8%）。一方、国民健康保険加入者とその他では「自分がいつもかかっている医者との連携をとる」が高くなっている（国民健康保険加入者：26.7%、その他：31.9%）。

その他については、主な内容は、「検査費用を無料にする」（61件）、「義務化する」（22件）などとなっている。

表 3-3- 11 【性・年代・地域ブロック・加入健康保険別】今後受検する場合の行政施策の希望 クロス集計表

※問3で「3」、または問3で「4」と回答された方

		問5(3)どのような行政施策があれば肝炎ウイルス検査を受けてみたいと思いますか										
		調査数	も検査の時間や場所の情報を	あけることでの具体的な示す	検査を受ける理由、検査を受ける	者自分の携もかかっている医	検査にかかる費用を安くする	職場や地域（公民館等）で検査を受けられる等、検査の場	を柔軟にする	夜間や土休日等、検査の時間を柔軟にする	定期的に受けて加える健康診断	その他
	全体	17412 100.0	5630 32.3	5976 34.3	3298 18.9	6408 36.8	5694 32.7	2555 14.7	10128 58.2	243 1.4	1179 6.8	398 2.3
性別	男性	8396 100.0	2617 31.2	2702 32.2	1550 18.5	2738 32.6	2780 33.1	1363 16.2	4960 59.1	129 1.5	542 6.5	179 2.1
	女性	8877 100.0	2993 33.7	3254 36.7	1718 19.4	3647 41.1	2890 32.6	1183 13.3	5121 57.7	113 1.3	610 6.9	210 2.4
年代	20～29歳	1837 100.0	786 42.8	762 41.5	130 7.1	944 51.4	805 43.8	464 25.3	911 49.6	32 1.7	97 5.3	26 1.4
	30～39歳	2847 100.0	1210 42.5	1242 43.6	271 9.5	1492 52.4	1268 44.5	677 23.8	1628 57.2	68 2.4	96 3.4	42 1.5
	40～49歳	2715 100.0	1013 37.3	1052 38.7	285 10.5	1271 46.8	1137 41.9	587 21.6	1811 66.7	36 1.3	92 3.4	38 1.4
	50～59歳	2993 100.0	978 32.7	1060 35.4	475 15.9	1141 38.1	1118 37.4	480 16.0	1902 63.5	25 0.8	132 4.4	55 1.8
	60～69歳	4050 100.0	1073 26.5	1217 30.0	1096 27.1	1077 26.6	991 24.5	266 6.6	2375 58.6	33 0.8	352 8.7	99 2.4
	70～79歳	2920 100.0	562 19.2	636 21.8	1032 35.3	470 16.1	361 12.4	73 2.5	1483 50.8	49 1.7	402 13.8	134 4.6
	地域ブロック	北海道	722 100.0	236 32.7	246 34.1	138 19.1	254 35.2	208 28.8	100 13.9	416 57.6	9 1.2	52 7.2
東北		1305 100.0	404 31.0	460 35.2	247 18.9	469 35.9	443 33.9	183 14.0	730 55.9	11 0.8	95 7.3	39 3.0
関東信越		6409 100.0	2182 34.0	2196 34.3	1171 18.3	2347 36.6	2219 34.6	1001 15.6	3938 61.4	98 1.5	350 5.5	137 2.1
東海北陸		2716 100.0	797 29.3	908 33.4	566 20.8	975 35.9	831 30.6	370 13.6	1591 58.6	43 1.6	194 7.1	65 2.4
近畿		2785 100.0	911 32.7	976 35.0	545 19.6	1064 38.2	871 31.3	455 16.3	1587 57.0	42 1.5	205 7.4	54 1.9
中国		1066 100.0	330 31.0	354 33.2	213 20.0	402 37.7	342 32.1	137 12.9	557 52.3	14 1.3	92 8.6	23 2.2
四国		534 100.0	151 28.3	186 34.8	104 19.5	192 36.0	150 28.1	61 11.4	288 53.9	3 0.6	51 9.6	17 3.2
九州		1658 100.0	566 34.1	580 35.0	274 16.5	629 37.9	560 33.8	218 13.1	911 54.9	18 1.1	115 6.9	37 2.2
加入健康保険		社会保険(健康保険)	8357 100.0	2917 34.9	3112 37.2	1102 13.2	3543 42.4	3414 40.9	1571 18.8	5279 63.2	117 1.4	326 3.9
	共済組合	1424 100.0	503 35.3	561 39.4	157 11.0	552 38.8	624 43.8	248 17.4	933 65.5	14 1.0	38 2.7	29 2.0
	国民健康保険	7169 100.0	2106 29.4	2193 30.6	1911 26.7	2210 30.8	1565 21.8	696 9.7	3721 51.9	102 1.4	737 10.3	220 3.1
	その他	345 100.0	78 22.6	77 22.3	110 31.9	72 20.9	57 16.5	22 6.4	153 44.3	9 2.6	58 16.8	13 3.8

性別	$\chi^2$	13.703	40.146	2.485	137.581	0.449	28.434	2.857	2.114	1.297
	df	1	1	1	1	1	1	1	1	1
	p	0.000 <0.05	0.000 <0.05	0.115 n.s.	0.000 <0.05	0.503 n.s.	0.000 <0.05	0.091 n.s.	0.146 n.s.	0.255 n.s.
年代	$\chi^2$	514.626	380.136	1225.060	1255.847	1047.871	994.839	219.441	40.251	406.631
	df	5	5	5	5	5	5	5	5	5
	p	0.000 <0.05								
地域ブロック	$\chi^2$	26.923	3.312	16.485	5.305	30.659	23.384	58.915	8.585	33.534
	df	7	7	7	7	7	7	7	7	7
	p	0.000 <0.05	0.855 n.s.	0.021 <0.05	0.623 n.s.	0.000 <0.05	0.001 <0.05	0.000 <0.05	0.284 n.s.	0.000 <0.05
加入健康保険	$\chi^2$	64.388	101.691	580.461	241.971	731.076	270.194	232.990	5.731	356.694
	df	3	3	3	3	3	3	3	3	3
	p	0.000 <0.05	0.125 n.s.							

その他の内容のうち主なものは以下の通り。

検査費用を無料にする	61件
義務化する	22件
献血の時に検査されることの広報	12件
個別通知の徹底	9件

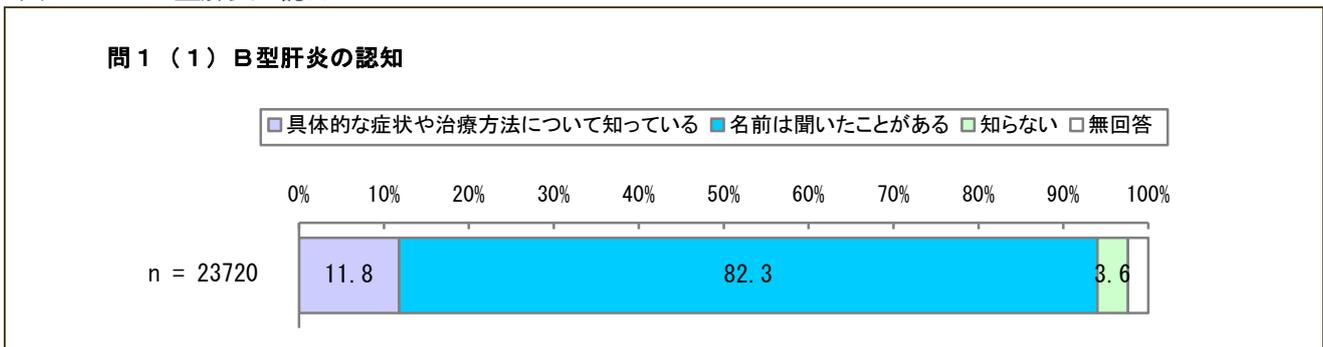
### 3-4. 肝炎ウイルス検査の認知状況

問1. あなたは、B型肝炎、C型肝炎をご存知ですか。

(1)B型肝炎

1. 具体的な症状や治療方法について知っている      2. 名前は聞いたことがある      3. 知らない

図 3-4- 1 B型肝炎の認知

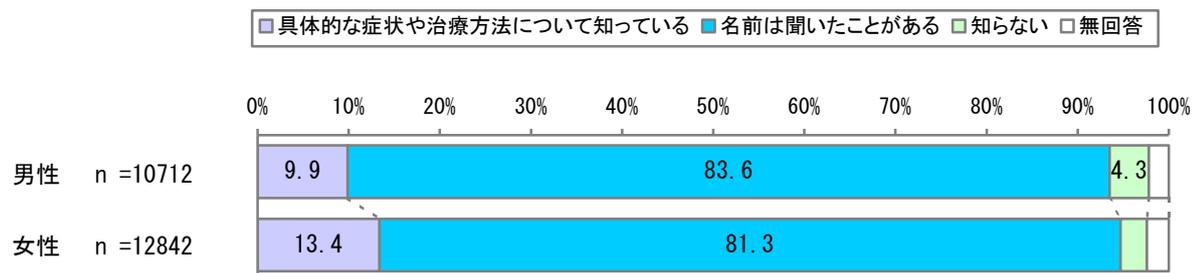


B型肝炎の認知については、「名前は聞いたことがある」(82.3%)が8割以上を占め、「具体的な症状や治療方法について知っている」(11.8%)は1割強にとどまっている。

性別では、女性で「具体的な症状や治療方法について知っている」(13.4%)が男性(9.9%)を4ポイント上回っている。

図 3-4- 2 【性別】B型肝炎の認知

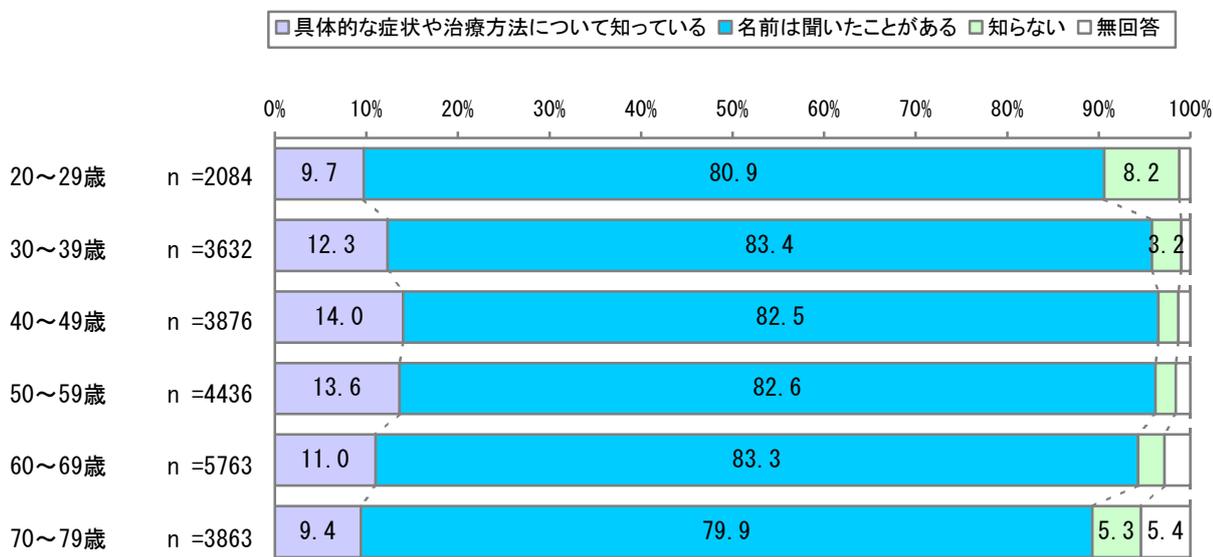
**【性別】 問1(1)B型肝炎の認知**



年代別では、「具体的な症状や治療方法について知っている」は40代（14.0%）と50代（13.6%）でやや高く、20代（9.7%）と70代（9.4%）でやや低くなっている。

図 3-4-3 【年代別】B型肝炎の認知

【年代別】問1(1)B型肝炎の認知



地域ブロック別では、「具体的な症状や治療方法について知っている」は北海道（15.5%）と九州（13.4%）、中国（13.0%）でやや高く、東海北陸（9.8%）でやや低くなっている。

図 3-4-4 【地域ブロック別】B型肝炎の認知

【地域ブロック別】問1(1)B型肝炎の認知

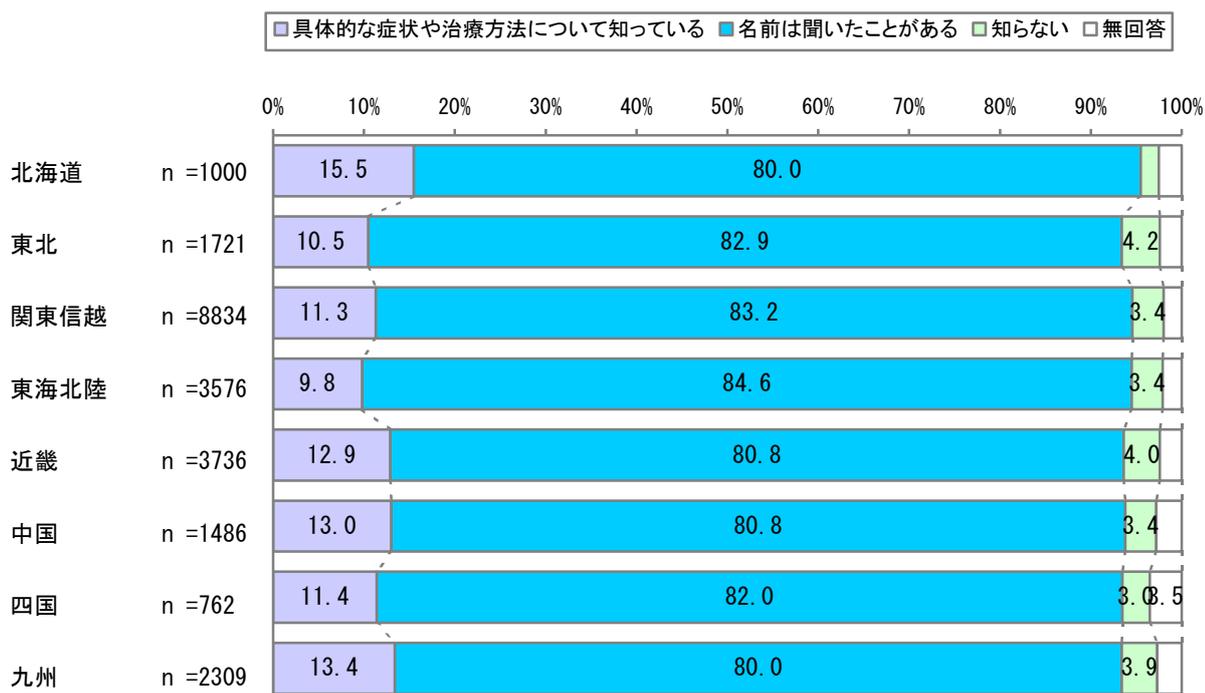


表 3-4- 1 【性・年代・地域ブロック・職業別】B型肝炎の認知 クロス集計表

		(1)B型肝炎				
		調査数	具体的な症状や治療方法について知っている	名前は聞いたことがある	知らない	無回答
全体		23720 100.0	2799 11.8	19517 82.3	843 3.6	561 2.4
性別	男性	10712 100.0	1059 9.9	8950 83.6	463 4.3	240 2.2
	女性	12842 100.0	1727 13.4	10443 81.3	367 2.9	305 2.4
年代	20～29歳	2084 100.0	203 9.7	1685 80.9	171 8.2	25 1.2
	30～39歳	3632 100.0	447 12.3	3030 83.4	117 3.2	38 1.0
	40～49歳	3876 100.0	542 14.0	3199 82.5	85 2.2	50 1.3
	50～59歳	4436 100.0	605 13.6	3662 82.6	96 2.2	73 1.6
	60～69歳	5763 100.0	634 11.0	4803 83.3	167 2.9	159 2.8
	70～79歳	3863 100.0	363 9.4	3085 79.9	206 5.3	209 5.4
	地域ブロック	北海道	1000 100.0	155 15.5	800 80.0	20 2.0
東北		1721 100.0	181 10.5	1426 82.9	72 4.2	42 2.4
関東信越		8834 100.0	999 11.3	7351 83.2	303 3.4	181 2.0
東海北陸		3576 100.0	352 9.8	3027 84.6	122 3.4	75 2.1
近畿		3736 100.0	481 12.9	3018 80.8	148 4.0	89 2.4
中国		1486 100.0	193 13.0	1201 80.8	51 3.4	41 2.8
四国		762 100.0	87 11.4	625 82.0	23 3.0	27 3.5
九州		2309 100.0	309 13.4	1847 80.0	90 3.9	63 2.7
職業	医療従事者	1077 100.0	822 76.3	232 21.5	2 0.2	21 1.9
	医療従事者以外の職業	11131 100.0	943 8.5	9641 86.6	374 3.4	173 1.6
	主婦・学生・無職・その他	11340 100.0	1014 8.9	9514 83.9	455 4.0	357 3.1

性別  $(\chi^2=101.702, df=2, p=0.000 < 0.05)$   
 年代  $(\chi^2=270.786, df=10, p=0.000 < 0.05)$   
 地域ブロック  $(\chi^2=57.147, df=14, p=0.000 < 0.05)$   
 職業  $(\chi^2=4517.518, df=4, p=0.000 < 0.05)$

問1. あなたは、B型肝炎、C型肝炎をご存知ですか。

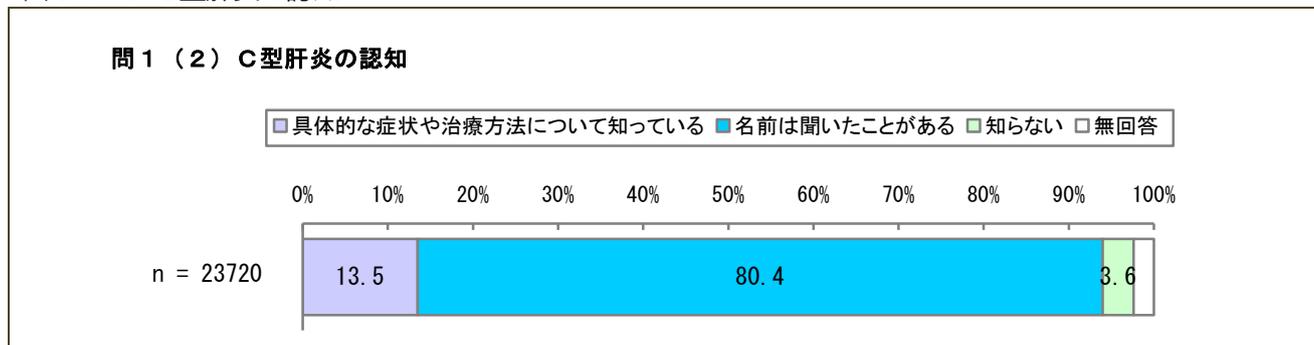
(2)C型肝炎

1. 具体的な症状や治療方法について知っている

2. 名前は聞いたことがある

3. 知らない

図 3-4- 5 C型肝炎の認知

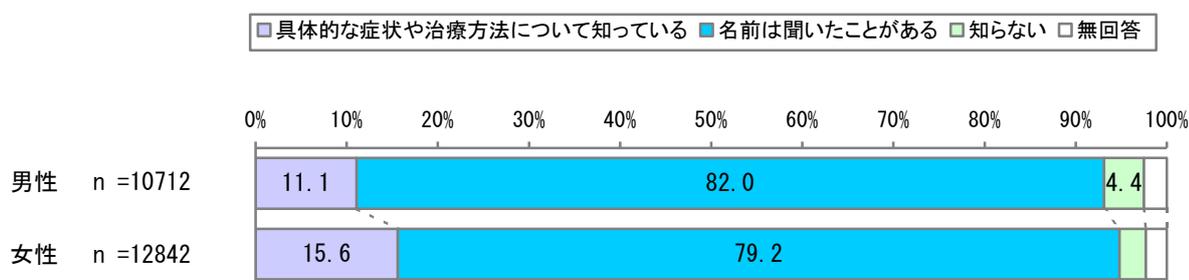


C型肝炎の認知については、「名前は聞いたことがある」(80.4%) が8割を占め、「具体的な症状や治療方法について知っている」(13.5%) は1割強にとどまっている。

性別では、女性で「具体的な症状や治療方法について知っている」(15.6%) が男性(11.1%) を5ポイント上回っている。

図 3-4- 6 【性別】C型肝炎の認知

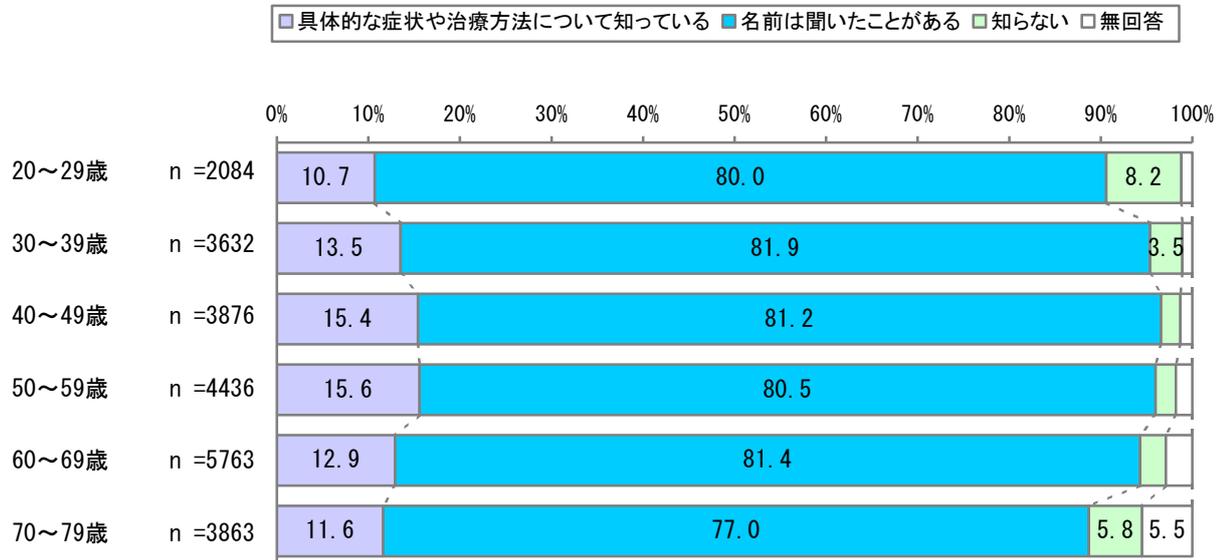
【性別】 問1(2)C型肝炎の認知



年代別では、「具体的な症状や治療方法について知っている」は50代(15.6%)と40代(15.4%)でやや高く、20代(10.7%)と70代(11.6%)でやや低くなっている。

図 3-4-7 【年代別】C型肝炎の認知

【年代別】問1(2)C型肝炎の認知



地域ブロック別では、「具体的な症状や治療方法について知っている」は九州(16.5%)、北海道(16.2%)でやや高く、東海北陸(11.1%)でやや低くなっている。

図 3-4-8 【地域ブロック別】C型肝炎の認知

【地域ブロック別】問1(2)C型肝炎の認知

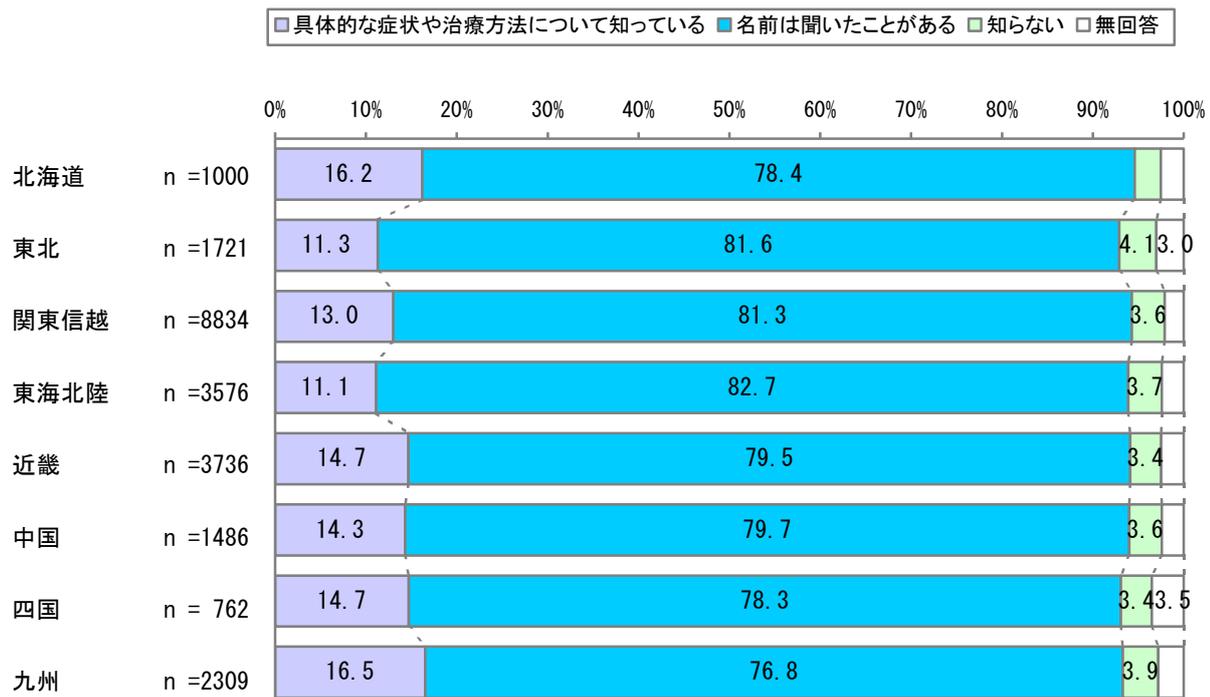


表 3-4-2 【性・年代・地域ブロック・職業別】C型肝炎の認知 クロス集計表

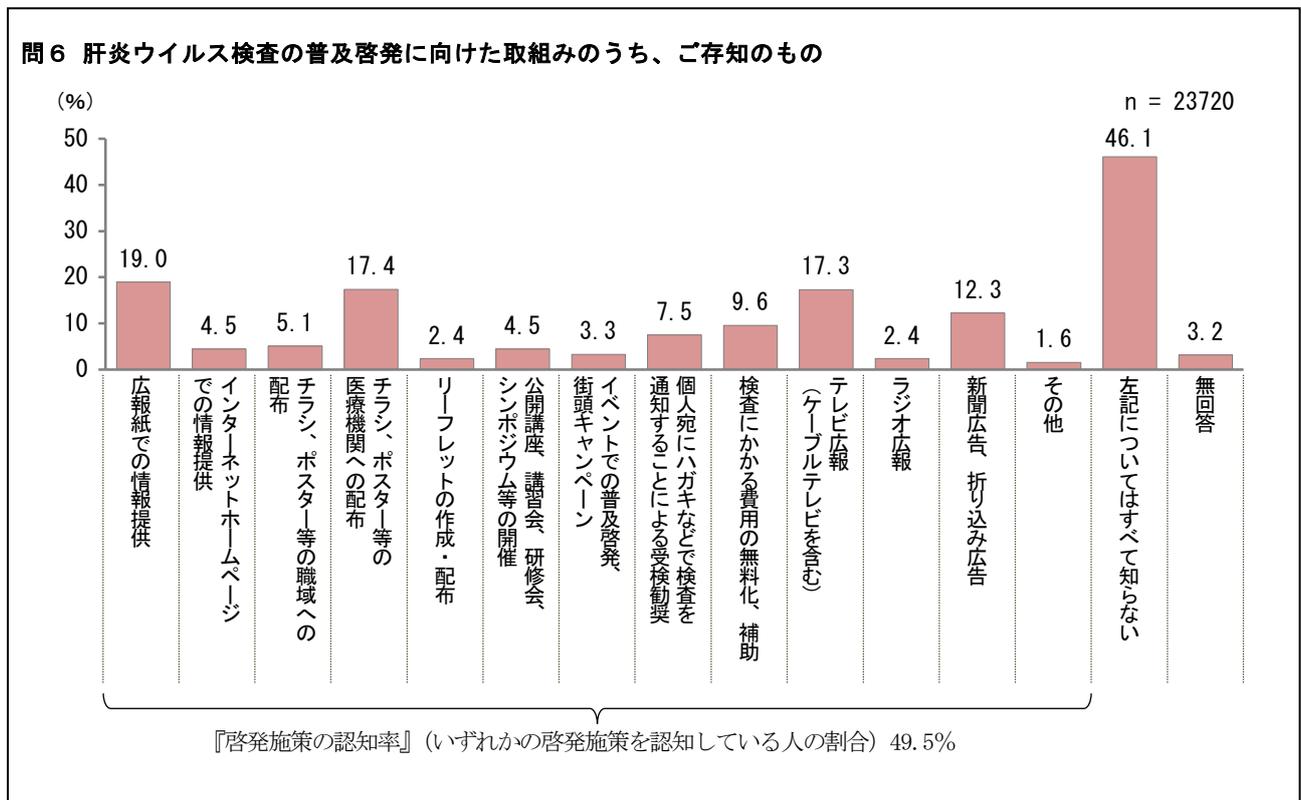
		(2)C型肝炎				
		調査数	具体的な症状や治療方法について知っている	名前は聞いたことがある	知らない	無回答
	全体	23720 100.0	3205 13.5	19076 80.4	859 3.6	580 2.4
性別	男性	10712 100.0	1187 11.1	8782 82.0	474 4.4	269 2.5
	女性	12842 100.0	2006 15.6	10171 79.2	372 2.9	293 2.3
年代	20～29歳	2084 100.0	222 10.7	1668 80.0	170 8.2	24 1.2
	30～39歳	3632 100.0	491 13.5	2974 81.9	126 3.5	41 1.1
	40～49歳	3876 100.0	597 15.4	3147 81.2	82 2.1	50 1.3
	50～59歳	4436 100.0	693 15.6	3569 80.5	96 2.2	78 1.8
	60～69歳	5763 100.0	744 12.9	4691 81.4	161 2.8	167 2.9
	70～79歳	3863 100.0	450 11.6	2976 77.0	223 5.8	214 5.5
	地域ブロック	北海道	1000 100.0	162 16.2	784 78.4	29 2.9
東北		1721 100.0	194 11.3	1405 81.6	71 4.1	51 3.0
関東信越		8834 100.0	1152 13.0	7185 81.3	315 3.6	182 2.1
東海北陸		3576 100.0	397 11.1	2959 82.7	134 3.7	86 2.4
近畿		3736 100.0	548 14.7	2969 79.5	126 3.4	93 2.5
中国		1486 100.0	212 14.3	1184 79.7	54 3.6	36 2.4
四国		762 100.0	112 14.7	597 78.3	26 3.4	27 3.5
九州		2309 100.0	381 16.5	1774 76.8	90 3.9	64 2.8
職業		医療従事者	1077 100.0	829 77.0	224 20.8	3 0.3
	医療従事者以外の職業	11131 100.0	1127 10.1	9447 84.9	371 3.3	186 1.7
	主婦・学生・無職・その他	11340 100.0	1226 10.8	9279 81.8	473 4.2	362 3.2

性別  $(\chi^2=132.372, df=2, p=0.000 < 0.05)$ 年代  $(\chi^2=279.268, df=10, p=0.000 < 0.05)$ 地域ブロック  $(\chi^2=61.719, df=14, p=0.000 < 0.05)$ 職業  $(\chi^2=3897.602, df=4, p=0.000 < 0.05)$

問6 肝炎ウイルス検査の普及啓発に向けて現在、行政では以下の取り組みが行われています。以下の取り組みのうち、ご存知のものをお答えください(あてはまる番号すべてに○をつけてください)

- |                            |                               |
|----------------------------|-------------------------------|
| 1. 広報紙での情報提供               | 8. 個人宛にハガキなどで検査を通知することによる受検勧奨 |
| 2. インターネットホームページでの情報提供     | 9. 検査にかかる費用の無料化、補助            |
| 3. チラシ、ポスター等の職域への配布        | 10. テレビ広報(ケーブルテレビを含む)         |
| 4. チラシ、ポスター等の医療機関への配布      | 11. ラジオ広報                     |
| 5. リーフレットの作成・配布            | 12. 新聞広告、折り込み広告               |
| 6. 公開講座、講習会、研修会、シンポジウム等の開催 | 13. その他                       |
| 7. イベントでの普及啓発、街頭キャンペーン     | 14. 上記についてはすべて知らない            |

図 3-4- 9 肝炎ウイルス検査の普及啓発に向けた取り組みの認知



肝炎ウイルス検査の啓発の認知内容については、「広報紙での情報提供」(19.0%)が最も高く、以降「チラシ、ポスター等の医療機関への配布」(17.4%)、「テレビ広報(ケーブルテレビを含む)」(17.3%)、「新聞広告、折り込み広告」(12.3%)と続いている。一方、「(これらの啓発施策を)すべて知らない」(46.1%)は半数弱を占め、『啓発施策の認知率』(いずれかの啓発施策を認知している人の割合)(49.5%)は半数となっている。

性別ではあまり差はみられていないが、男性では「(これらの啓発施策を) すべて知らない」(48.6%) が女性(44.1%) を5ポイント上回っている。

年代別では、年代が上がるにつれて「広報紙での情報提供」、「個人宛にハガキなどで検査を通知することによる受検勧奨」、「検査にかかる費用の無料化、補助」、「新聞広告、折り込み広告」が高くなっている。一方、若い年代ほど「(それらの啓発を) すべて知らない」が高くなり、20代(59.2%) と30代(59.9%) で6割、40代(52.3%) で半数強となっている。

地域ブロック別ではあまり差はみられていないが、四国で「広報紙での情報提供」(25.7%)、近畿で「(これらの啓発施策を) すべて知らない」(49.7%) が若干高くなっている。

加入健康保険種別では、社会保険(健康保険)加入者で「(これらの啓発施策を) すべて知らない」(51.1%) が若干高くなっている。

その他については、主な内容は、「意識していない・わからない」(100件) となっている。

表 3-4-3 【性・年代・地域ブロック・加入健康保険別】肝炎ウイルス検査の普及啓発に向けた取組みの認知

		問6. 肝炎ウイルス検査の普及啓発に向けた取組みのうち、ご存知のもの																
		調査数	広報紙での情報提供	インターネットホームページでの情報提供	チラシ、ポスター等の職場への配布	チラシ、ポスター等の医療機関への配布	リーフレットの作成・配布	シンポジウム等の開催	公開講座、講習会、研修会	イベントでの普及啓発、街頭	個人死にハガキなどによる受検検査を通知することによる受検検査	補助にかかると費用の無料化、	テレビ広報（ケーブルテレビを含む）	ラジオ広報	新聞広告、折り込み広告	その他	上記についてはすべて知らない	無回答
全体		23720 100.0	4509 19.0	1073 4.5	1218 5.1	4118 17.4	579 2.4	1068 4.5	784 3.3	1783 7.5	2277 9.6	4098 17.3	573 2.4	2915 12.3	383 1.6	10936 46.1	749 3.2	
性別	男性	10712 100.0	1950 18.2	560 5.2	581 5.4	1676 15.6	257 2.4	354 3.3	361 3.4	713 6.7	905 8.4	1910 17.8	333 3.1	1203 12.2	181 1.7	5206 48.6	296 2.8	
	女性	12842 100.0	2535 19.7	510 4.0	627 4.9	2421 18.9	320 2.5	705 5.5	416 3.2	1057 8.2	1353 10.5	2169 16.9	238 1.9	1592 12.4	199 1.5	5665 44.1	424 3.3	
年代	20～29歳	2084 100.0	189 9.1	121 5.8	97 4.7	316 15.2	30 1.4	72 3.5	72 4.1	95 4.6	67 3.2	95 4.6	32 1.5	115 5.5	20 1.0	1233 59.2	25 1.2	
	30～39歳	3632 100.0	421 11.6	211 5.8	156 4.3	531 14.6	101 2.8	136 3.7	118 3.2	123 3.4	215 5.9	559 15.4	73 2.0	252 6.9	30 0.8	2175 59.9	42 1.2	
	40～49歳	3876 100.0	631 16.3	246 6.3	205 5.3	642 16.6	120 3.1	163 4.2	130 3.4	116 3.0	243 6.3	309 8.0	596 15.4	87 2.2	420 10.8	49 1.3	2029 52.3	73 1.9
	50～59歳	4436 100.0	940 21.2	232 5.2	302 6.8	868 19.6	130 2.9	240 5.4	175 3.9	331 7.5	437 9.9	637 14.4	843 19.0	116 2.6	640 14.4	74 1.7	1893 42.7	106 2.4
	60～69歳	5763 100.0	1408 24.4	197 3.4	305 5.3	1102 19.1	132 2.3	275 4.8	177 3.1	568 9.9	711 12.3	1119 19.4	166 2.9	941 16.3	108 1.9	2160 37.5	199 3.5	
	70～79歳	3863 100.0	913 23.6	64 1.7	150 3.9	650 16.8	66 1.7	182 4.7	112 2.9	446 11.5	506 13.1	617 16.0	96 2.5	542 14.0	100 2.6	1420 36.8	286 7.4	
地域ブロック	北海道	1000 100.0	204 20.4	59 5.9	50 5.0	184 18.4	33 3.3	52 5.2	37 3.7	62 6.2	127 12.7	184 18.4	29 2.9	159 15.9	12 1.2	442 44.2	19 1.9	
	東北	1721 100.0	372 21.6	75 4.4	125 7.3	339 19.7	53 3.1	80 4.6	73 4.2	146 8.5	181 10.5	321 18.7	69 4.0	205 11.9	27 1.6	724 42.1	57 3.3	
	関東信越	8634 100.0	1594 18.0	401 4.5	405 4.6	1495 16.8	221 2.5	373 4.2	243 2.8	673 7.6	772 8.7	1469 16.6	192 2.2	1027 11.6	136 1.5	4223 47.8	246 2.8	
	東海北陸	3576 100.0	671 18.8	140 3.9	170 4.8	624 17.4	78 2.2	135 3.8	111 3.1	278 7.8	349 9.8	588 16.4	81 2.3	450 12.6	72 2.0	1693 46.2	124 3.5	
	近畿	3736 100.0	612 16.4	166 4.4	177 4.7	561 15.0	79 2.1	163 4.4	131 3.5	243 6.5	339 9.1	629 16.8	70 1.9	450 12.0	70 1.9	1858 49.7	118 3.2	
	中国	1486 100.0	330 22.2	54 3.6	83 5.6	279 18.8	31 2.1	73 4.9	49 3.3	123 8.3	147 9.9	267 18.0	35 2.4	196 13.2	21 1.4	642 43.2	49 3.3	
	四国	782 100.0	196 25.7	36 4.7	49 6.4	136 17.8	22 2.9	39 5.1	36 4.7	74 9.7	82 10.8	143 18.8	17 2.2	115 15.1	8 1.0	303 39.8	34 4.5	
	九州	2309 100.0	491 21.3	127 5.5	143 6.2	462 20.0	57 2.5	138 6.0	98 4.2	173 7.5	257 11.1	461 20.0	71 3.1	277 12.0	30 1.3	957 41.4	70 3.0	
	加入健康保険	社会保険(健康保険)	11160 100.0	1777 15.9	584 5.2	615 5.5	1871 16.8	253 2.3	442 4.0	363 3.3	581 5.2	886 7.9	1893 17.0	257 2.3	1242 11.1	144 1.3	5703 51.1	230 2.1
共済組合		2145 100.0	445 20.7	158 7.4	182 8.5	416 19.4	116 5.4	155 7.2	114 5.3	126 6.0	189 8.8	390 18.2	44 2.1	282 12.2	28 1.3	987 46.0	43 2.0	
国民健康保険		9825 100.0	2172 22.1	317 3.2	403 4.1	1748 17.8	197 2.0	450 4.6	292 3.0	1020 10.4	1136 11.6	1729 17.6	255 2.6	1332 13.6	194 2.0	3994 40.7	427 4.3	
その他		434 100.0	89 20.5	7 1.6	11 2.5	62 14.3	11 2.5	18 4.1	12 2.8	43 9.9	53 12.2	61 14.1	11 2.5	59 13.6	14 3.2	190 43.8	22 5.1	

性別	$\chi^2$	10.283	20.437	3.162	44.614	0.276	66.501	0.231	22.003	30.962	2.926	38.091	0.493	0.633	43.202
	df	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1
	p	0.001 <0.05	0.000 <0.05	0.075 n.s.	0.000 <0.05	0.599 n.s.	0.000 <0.05	0.631 n.s.	0.000 <0.05	0.000 <0.05	0.000 <0.05	0.087 n.s.	0.000 <0.05	0.482 n.s.	0.426 n.s.
年代	$\chi^2$	510.951	133.290	41.285	62.851	28.138	23.680	11.836	320.194	263.278	53.418	17.944	333.371	55.088	705.330
	df	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	
	p	0.000 <0.05													
地域ブロック	$\chi^2$	73.856	14.950	33.231	37.650	10.047	20.310	26.307	18.236	29.141	21.773	31.300	23.622	10.153	79.326
	df	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	
	p	0.000 <0.05	0.037 <0.05	0.000 <0.05	0.000 <0.05	0.186 n.s.	0.005 <0.05	0.000 <0.05	0.011 <0.05	0.000 <0.05	0.003 <0.05	0.000 <0.05	0.001 <0.05	0.180 n.s.	0.000 <0.05
加入健康保険	$\chi^2$	155.167	93.120	74.388	15.027	85.519	44.589	28.980	229.258	95.756	7.335	4.221	37.146	26.215	190.596
	df	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	
	p	0.000 <0.05	0.000 <0.05	0.000 <0.05	0.002 <0.05	0.000 <0.05	0.000 <0.05	0.000 <0.05	0.000 <0.05	0.000 <0.05	0.000 <0.05	0.062 n.s.	0.239 n.s.	0.000 <0.05	0.000 <0.05

その他の内容のうち、主なものは次の通り。

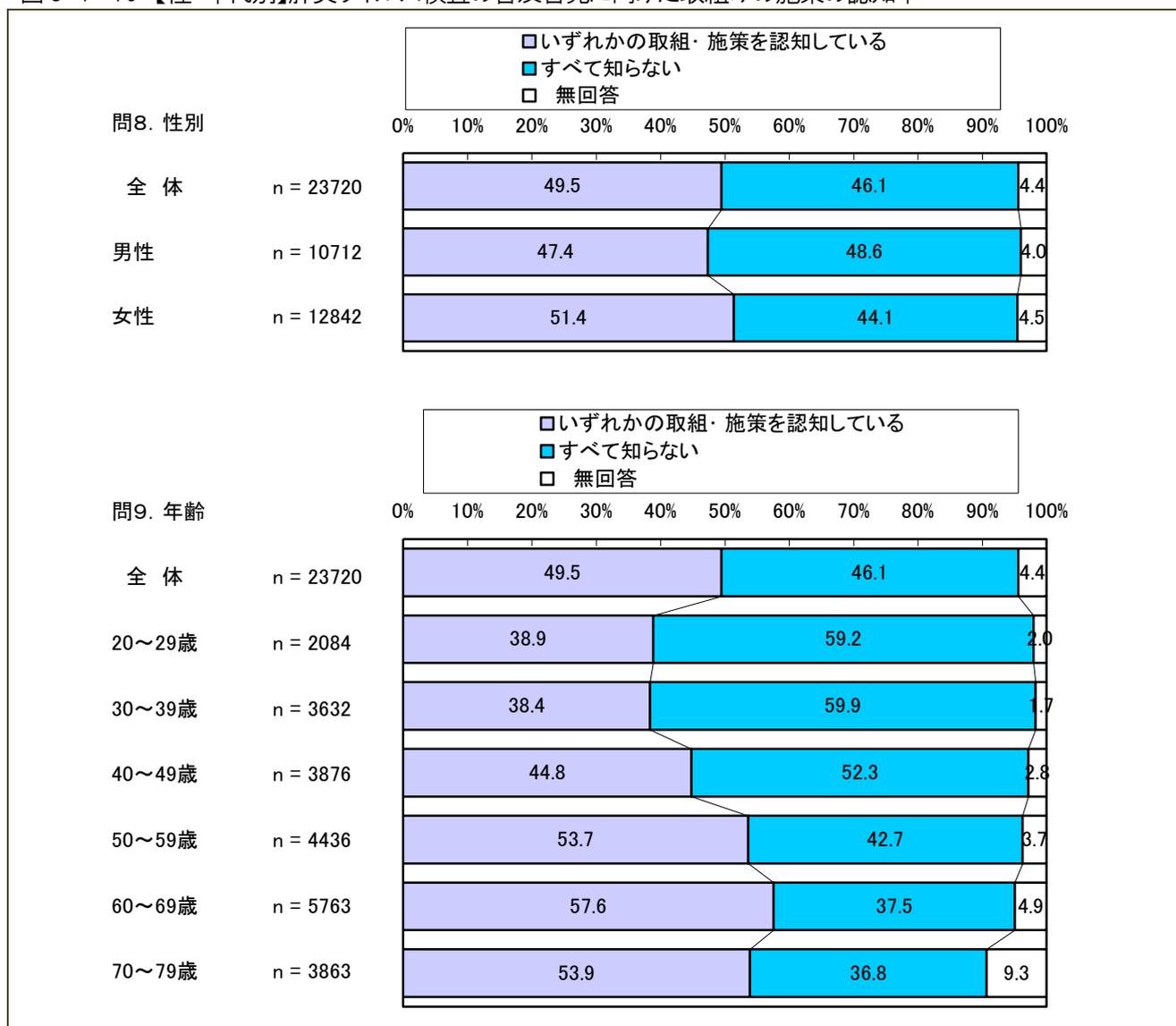
意識していない・わからない	100件
今回のアンケート調査によって知った	20件

『啓発施策の認知率』（いずれかの啓発施策を認知している人の割合）を属性別にみてもみる。

性別では、女性（51.4%）の認知率が男性（47.4%）を4ポイント上回っている。

年代別では、年代が上がるにつれて認知率が高くなり、20代（38.9%）と30代（38.4%）では4割未満だが、60代（57.6%）で6割弱と最も高く、50代（53.7%）と70代（53.9%）でも5割以上となっている。

図 3-4- 10 【性・年代別】肝炎ウイルス検査の普及啓発に向けた取組みの施策の認知率



地域ブロック別では、認知率は四国（55.0%）で最も高く、以降、九州（54.6%）、東北（53.3%）と続いている。一方、近畿（45.7%）では若干低くなっている。

加入健康保険種別では、認知率は国民健康保険加入者（53.5%）で最も高く、次いで共済組合加入者（51.0%）となっている。一方、社会保険（健康保険）加入者（45.8%）では若干低くなっている。

図 3-4- 11 【地域ブロック・加入健康保険別】肝炎ウイルス検査の普及啓発に向けた取組みの施策の認知率

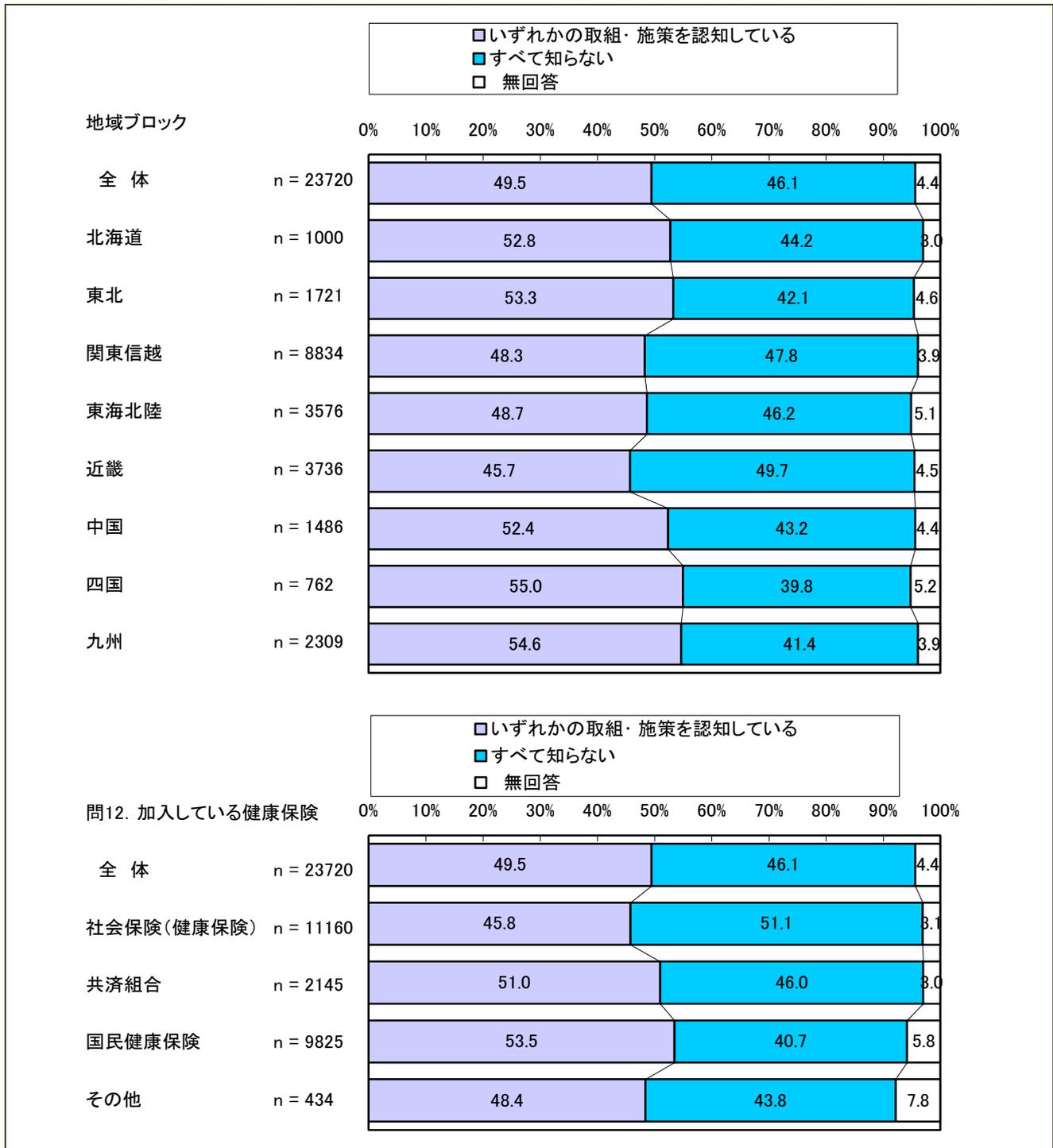


表 3-4-4 【性・年代・地域ブロック・加入健康保険別】肝炎ウイルス検査の普及啓発に向けた取組みの施策の認知率

		問6 啓発施策の認知率			
		調査数	知い し ず て れ か い る の 取 組 ・ 施 策 を 認	す べ て 知 ら な い	無 回 答
	全 体	23720 100.0	11742 49.5	10936 46.1	1042 4.4
性 別	男性	10712 100.0	5074 47.4	5206 48.6	432 4.0
	女性	12842 100.0	6598 51.4	5665 44.1	579 4.5
年 代	20～29歳	2084 100.0	810 38.9	1233 59.2	41 2.0
	30～39歳	3632 100.0	1394 38.4	2175 59.9	63 1.7
	40～49歳	3876 100.0	1737 44.8	2029 52.3	110 2.8
	50～59歳	4436 100.0	2381 53.7	1893 42.7	162 3.7
	60～69歳	5763 100.0	3318 57.6	2160 37.5	285 4.9
	70～79歳	3863 100.0	2082 53.9	1420 36.8	361 9.3
	地 域 ブ ロ ッ ク	北海道	1000 100.0	528 52.8	442 44.2
東北		1721 100.0	918 53.3	724 42.1	79 4.6
関東信越		8834 100.0	4263 48.3	4223 47.8	348 3.9
東海北陸		3576 100.0	1740 48.7	1653 46.2	183 5.1
近畿		3736 100.0	1709 45.7	1858 49.7	169 4.5
中国		1486 100.0	779 52.4	642 43.2	65 4.4
四国		762 100.0	419 55.0	303 39.8	40 5.2
九州		2309 100.0	1261 54.6	957 41.4	91 3.9
加 入 健 康 保 険		社会保険(健康保険)	11160 100.0	5116 45.8	5703 51.1
	共済組合	2145 100.0	1093 51.0	987 46.0	65 3.0
	国民健康保険	9825 100.0	5259 53.5	3994 40.7	572 5.8
	その他	434 100.0	210 48.4	190 43.8	34 7.8

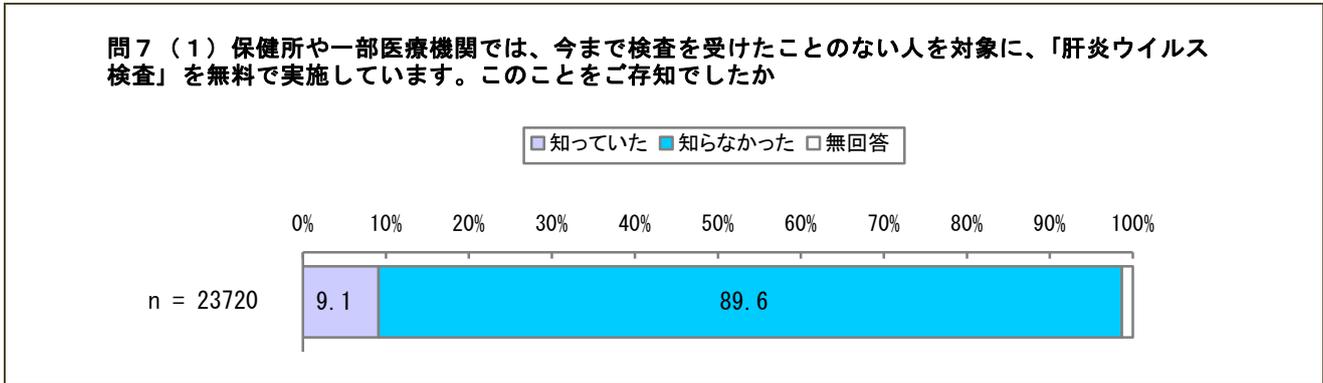
性別  $(\chi^2=44.275, df=1, p=0.000 < 0.05)$ 年代  $(\chi^2=678.519, df=5, p=0.000 < 0.05)$ 地域ブロック  $(\chi^2=83.183, df=7, p=0.000 < 0.05)$ 加入健康保険  $(\chi^2=182.761, df=3, p=0.000 < 0.05)$

問7(1) 保健所や一部医療機関では、今まで検査を受けたことのない人を対象に、「肝炎ウイルス検査」を無料で実施しています。このことをご存知でしたか

1. 知っていた

2. 知らなかった

図 3-4- 12 肝炎ウイルス検査未受検者への無料検査実施の認知

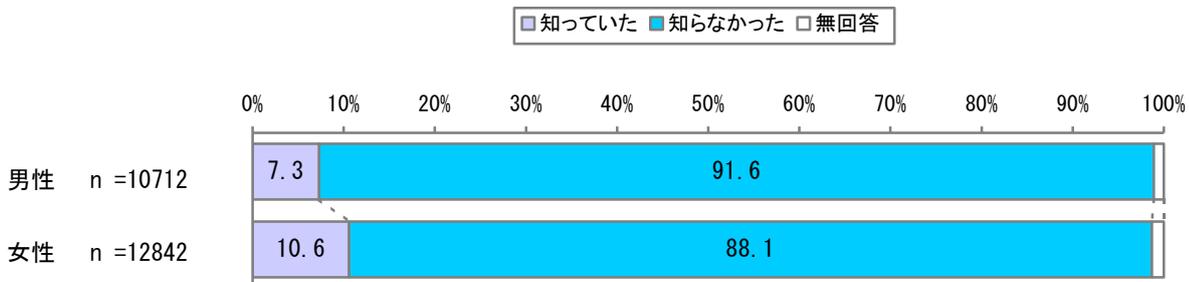


肝炎ウイルス検査未受検者に対する無料検査実施の認知については、「知らなかった」(89.6%)が約9割を占め、「知っていた」(9.1%)は1割未満にとどまっている。

性別では、女性では「知っていた」(10.6%)が男性(7.3%)を3ポイント上回っている。

図 3-4- 13 【性別】肝炎ウイルス検査未受検者への無料検査実施の認知

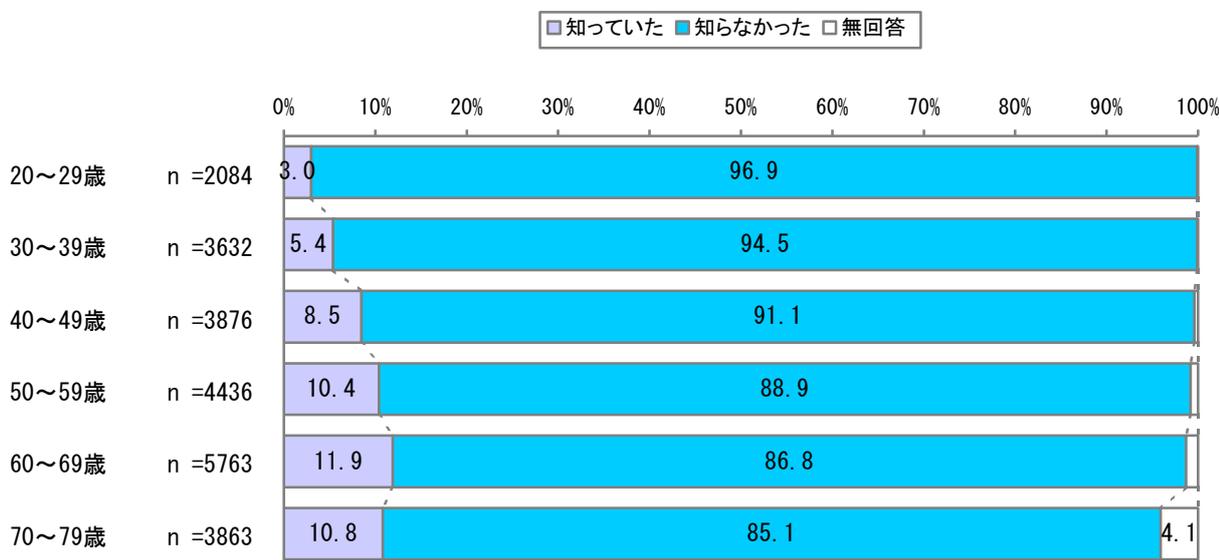
【性別】問7(1)肝炎ウイルス検査未受検者への無料検査実施の認知



年代別では、年代が上がるにつれて「知っていた」が高くなり、20代(3.0%)と30代(5.4%)では5%前後だが、60代(11.9%)、70代(10.8%)、50代(10.4%)では1割以上となっている。

図 3-4- 14 【年代別】肝炎ウイルス検査未受検者への無料検査実施の認知

【年代別】問7(1)肝炎ウイルス検査未受検者への無料検査実施の認知



地域ブロック別では、「知っていた」は四国(13.5%)で最も高く、以降、北海道(13.3%)、九州(11.7%)と続き、これらの地域では1割以上となっている。

図 3-4- 15 【地域ブロック別】肝炎ウイルス検査未受検者への無料検査実施の認知

【地域ブロック別】問7(1)肝炎ウイルス検査未受検者への無料検査実施の認知

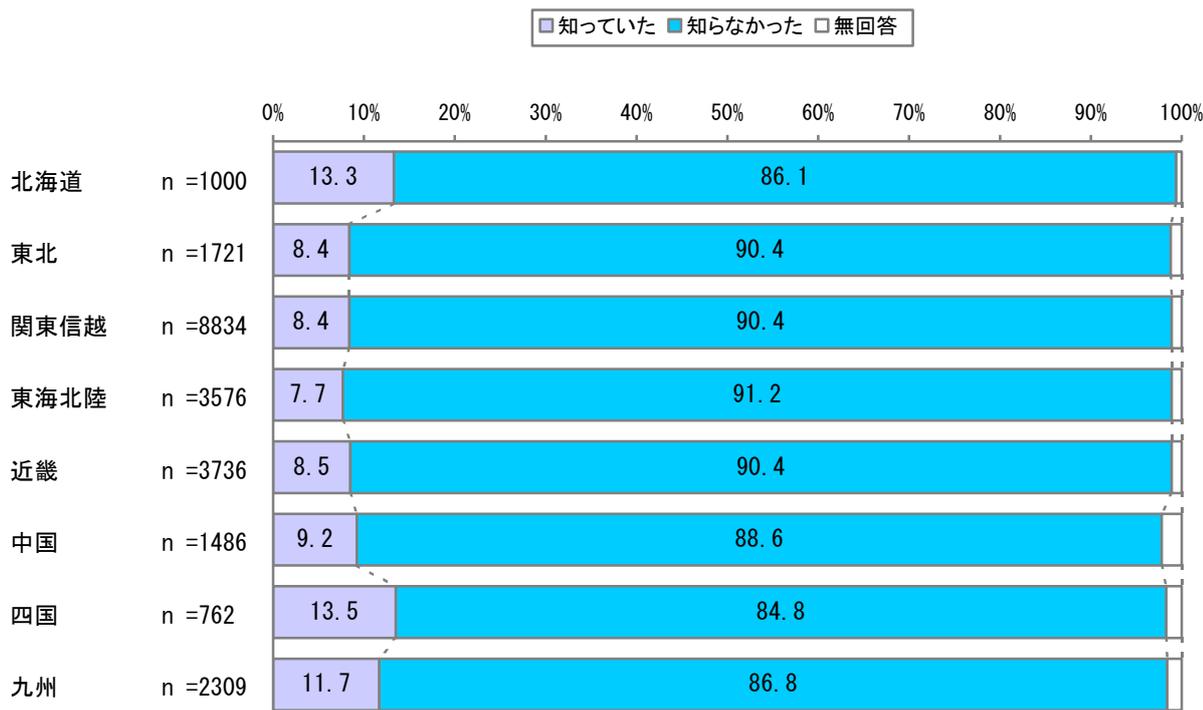


表3-4-5 【性・年代・地域ブロック・加入健康保険別】肝炎ウイルス検査未受検者への無料検査実施の認知 クロス集計表

		このことをご存知でしたか			
		調査数	知っていた	知らなかった	無回答
	全体	23720 100.0	2150 9.1	21264 89.6	306 1.3
性別	男性	10712 100.0	780 7.3	9812 91.6	120 1.1
	女性	12842 100.0	1361 10.6	11310 88.1	171 1.3
年代	20～29歳	2084 100.0	62 3.0	2019 96.9	3 0.1
	30～39歳	3632 100.0	196 5.4	3431 94.5	5 0.1
	40～49歳	3876 100.0	329 8.5	3530 91.1	17 0.4
	50～59歳	4436 100.0	460 10.4	3942 88.9	34 0.8
	60～69歳	5763 100.0	683 11.9	5004 86.8	76 1.3
	70～79歳	3863 100.0	417 10.8	3289 85.1	157 4.1
	地域ブロック	北海道	1000 100.0	133 13.3	861 86.1
東北		1721 100.0	145 8.4	1556 90.4	20 1.2
関東信越		8834 100.0	745 8.4	7989 90.4	100 1.1
東海北陸		3576 100.0	275 7.7	3262 91.2	39 1.1
近畿		3736 100.0	318 8.5	3378 90.4	40 1.1
中国		1486 100.0	136 9.2	1317 88.6	33 2.2
四国		762 100.0	103 13.5	646 84.8	13 1.7
九州		2309 100.0	269 11.7	2004 86.8	36 1.6
加入健康保険		社会保険(健康保険)	11160 100.0	828 7.4	10273 92.1
	共済組合	2145 100.0	228 10.6	1900 88.6	17 0.8
	国民健康保険	9825 100.0	1042 10.6	8580 87.3	203 2.1
	その他	434 100.0	43 9.9	381 87.8	10 2.3

性別  $(\chi^2=78.735, df=1, p=0.000 < 0.05)$

年代  $(\chi^2=241.959, df=5, p=0.000 < 0.05)$

地域ブロック  $(\chi^2=74.229, df=7, p=0.000 < 0.05)$

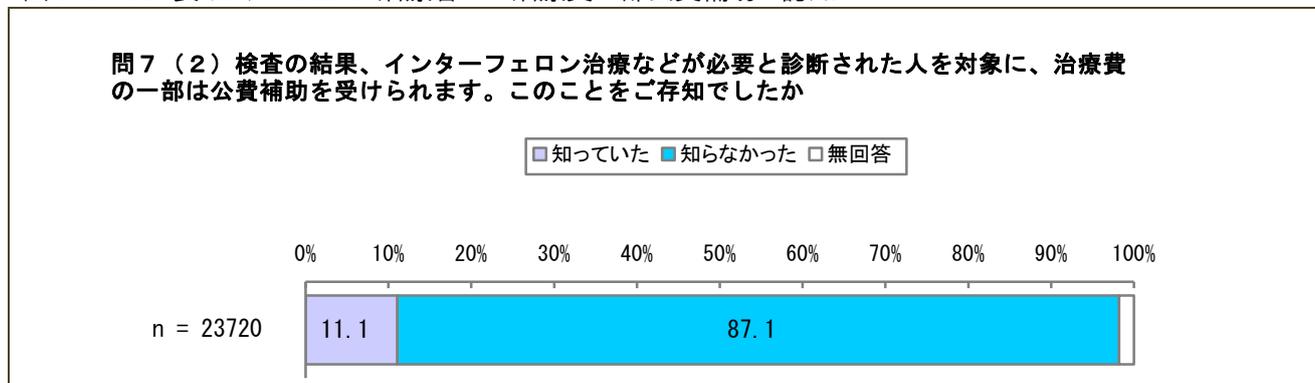
加入健康保険  $(\chi^2=77.169, df=3, p=0.000 < 0.05)$

問7(2) 検査の結果、インターフェロン治療が必要と診断された人を対象に、治療費の一部は公費補助を受けられます。このことをご存知でしたか

1. 知っていた

2. 知らなかった

図 3-4- 16 要インターフェロン治療者への治療費一部公費補助の認知

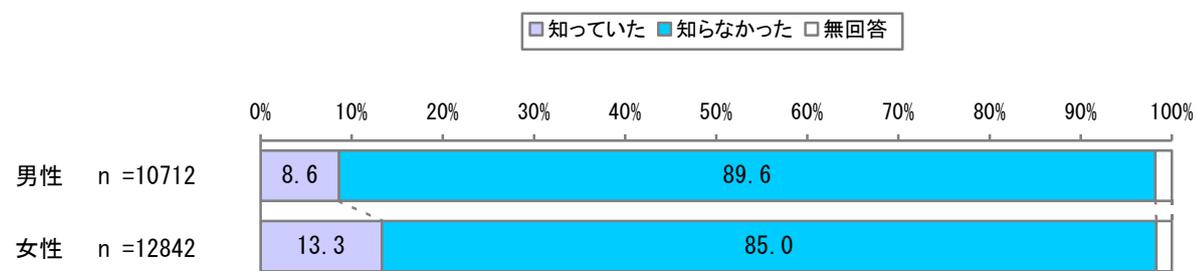


要インターフェロン治療者への治療費の一部公費補助の認知については、「知らなかった」(87.1%)が約9割を占め、「知っていた」(11.1%)は1割強にとどまっている。

性別では、女性では「知っていた」(13.3%)が男性(8.6%)を5ポイント上回っている。

図 3-4- 17 【性別】要インターフェロン治療者への治療費一部公費補助の認知

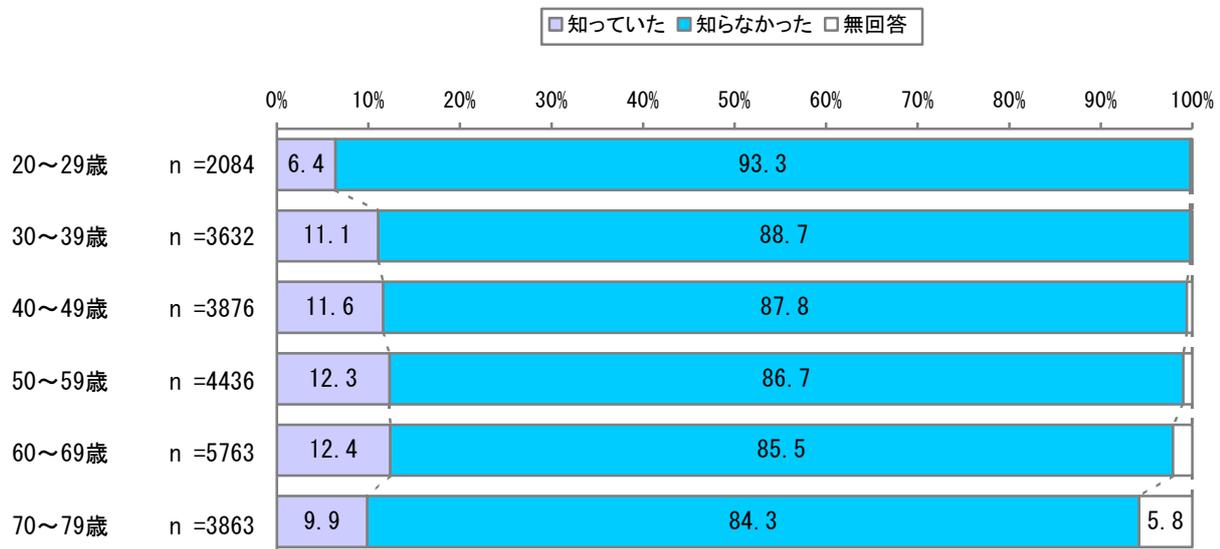
【性別】問7(2)要インターフェロン治療者への治療費一部公費補助の認知



年代別では、20代（6.4%）では1割にも満たないが、30代から60代では1割以上となっている。

図 3-4- 18 【年代別】要インターフェロン治療者への治療費一部公費補助の認知

【年代別】 問7(2)要インターフェロン治療者への治療費一部公費補助の認知



地域ブロック別では、「知っていた」は北海道（14.5%）で最も高く、以降、九州（14.2%）、四国（13.8%）と続いている。

図 3-4- 19 【地域ブロック別】要インターフェロン治療者への治療費一部公費補助の認知

【地域ブロック別】 問7(2)要インターフェロン治療者への治療費一部公費補助の認知

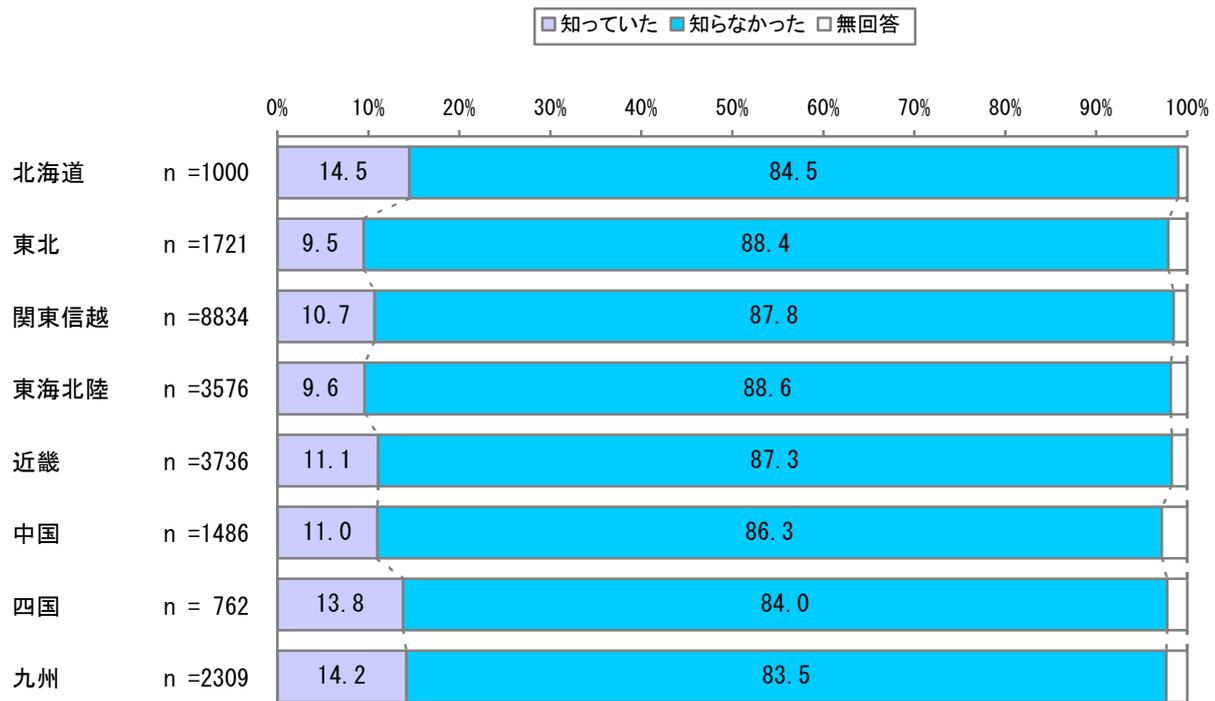


表3-4-6 【性・年代・地域ブロック・加入健康保険別】要インターフェロン治療者への治療費一部公費補助の認知 クロス集計表

		このことをご存知でしたか			
		調査数	知っていた	知らなかった	無回答
	全体	23720 100.0	2634 11.1	20651 87.1	435 1.8
性別	男性	10712 100.0	919 8.6	9595 89.6	198 1.8
	女性	12842 100.0	1706 13.3	10922 85.0	214 1.7
年代	20～29歳	2084 100.0	134 6.4	1945 93.3	5 0.2
	30～39歳	3632 100.0	402 11.1	3223 88.7	7 0.2
	40～49歳	3876 100.0	451 11.6	3402 87.8	23 0.6
	50～59歳	4436 100.0	546 12.3	3845 86.7	45 1.0
	60～69歳	5763 100.0	716 12.4	4927 85.5	120 2.1
	70～79歳	3863 100.0	382 9.9	3258 84.3	223 5.8
	地域ブロック	北海道	1000 100.0	145 14.5	845 84.5
東北		1721 100.0	163 9.5	1522 88.4	36 2.1
関東信越		8834 100.0	943 10.7	7757 87.8	134 1.5
東海北陸		3576 100.0	344 9.6	3168 88.6	64 1.8
近畿		3736 100.0	414 11.1	3260 87.3	62 1.7
中国		1486 100.0	163 11.0	1282 86.3	41 2.8
四国		762 100.0	105 13.8	640 84.0	17 2.2
九州		2309 100.0	328 14.2	1928 83.5	53 2.3
加入健康保険		社会保険(健康保険)	11160 100.0	1149 10.3	9926 88.9
	共済組合	2145 100.0	353 16.5	1773 82.7	19 0.9
	国民健康保険	9825 100.0	1083 11.0	8438 85.9	304 3.1
	その他	434 100.0	36 8.3	386 88.9	12 2.8

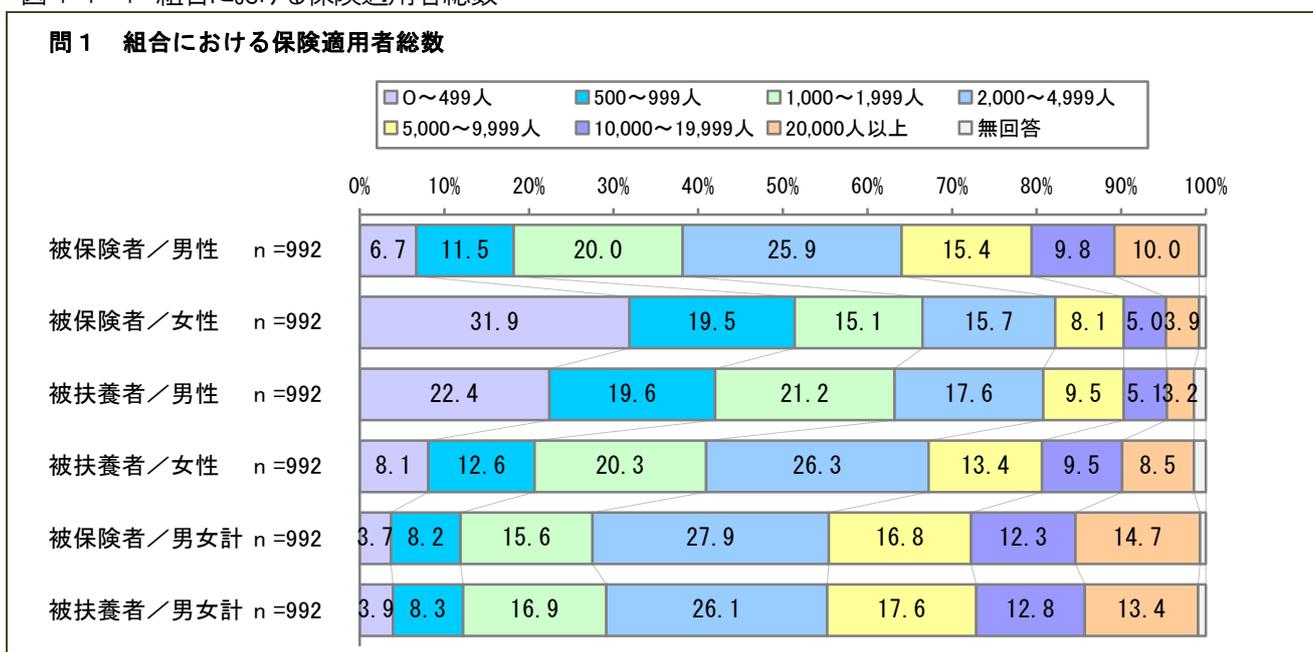
性別  $(\chi^2=129.749, df=1, p=0.000 < 0.05)$ 年代  $(\chi^2=68.371, df=5, p=0.000 < 0.05)$ 地域ブロック  $(\chi^2=54.602, df=7, p=0.000 < 0.05)$ 加入健康保険  $(\chi^2=72.260, df=3, p=0.000 < 0.05)$

## 4. 調査結果：保険者調査

### 4-1. 保険者の基本情報

問1 貴組合における保険適用者数について、以下の表にそれぞれお答えください。

図 4-1-1 組合における保険適用者総数



組合における保険適用者総数は、被保険者／男性では「2,000人～1,999人」(25.9%)が2割台半ば、「1,000人～1,999人」(20.0%)で2割となっている。被保険者／女性では、「0～499人」(31.9%)が最も高く約3割、次いで「500人～999人」(19.5%)で2割弱となっている。

被保険者／男女計にみると、「2,000人～4,999人」(27.9%)が最も高く3割弱、次いで「5,000人～9,999人」(16.8%)、「1,000人～1,999人」(15.6%)、「20,000人以上」(14.7%)がそれぞれ1割台半ばとなっている。

被扶養者／男性では「0～499人」(22.4%)、「1,000人～1,999人」(21.2%)で、それぞれ2割強、次いで「500人～999人」(19.6%)で2割弱となっている。被扶養者／女性では「2,000人～4,999人」(26.3%)が最も高く2割台半ば、次いで「1,000人～1,999人」(20.3%)で約2割となっている。

被扶養者／男女計にみると、「2,000人～4,999人」(26.1%)が最も高く2割台半ば、次いで「5,000人～9,999人」(17.6%)で2割弱、「1,000人～1,999人」(15.6%)が1割台半ばとなっている。

表4-1-1 組合における保険適用者総数

	調査数	0 5 4 9 9 人	5 0 5 9 9 人	1 0 9 9 人	2 0 9 9 人	5 0 9 9 人	1 0 9 9 人	2 0 0 0 人以上	無 回 答
被保険者／男性	992 100.0	66 6.7	114 11.5	198 20.0	257 25.9	153 15.4	97 9.8	99 10.0	8 0.8
被保険者／女性	992 100.0	316 31.9	193 19.5	150 15.1	156 15.7	80 8.1	50 5.0	39 3.9	8 0.8
被扶養者／男性	992 100.0	222 22.4	194 19.6	210 21.2	175 17.6	94 9.5	51 5.1	32 3.2	14 1.4
被扶養者／女性	992 100.0	80 8.1	125 12.6	201 20.3	261 26.3	133 13.4	94 9.5	84 8.5	14 1.4
被保険者／男女計	992 100.0	37 3.7	81 8.2	155 15.6	277 27.9	167 16.8	122 12.3	146 14.7	7 0.7
被扶養者／男女計	992 100.0	39 3.9	82 8.3	168 16.9	259 26.1	175 17.6	127 12.8	133 13.4	9 0.9

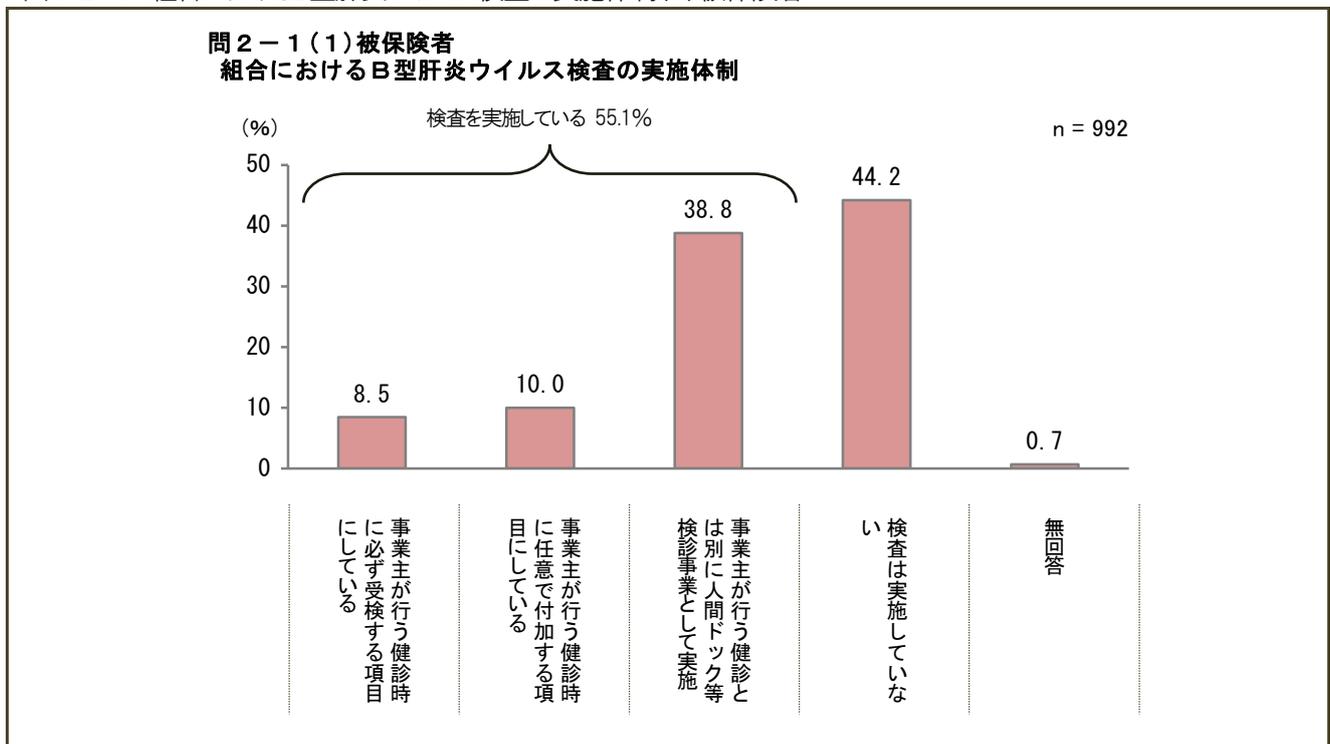
## 4-2. 保険者としての肝炎ウイルス検査の実施状況

問2-1(1) 貴組合におけるB型肝炎ウイルス検査の実施体制について、被保険者についてお答えください(○はあてはまる番号にそれぞれひとつつけてください)。

1. 事業主が行う健診時に必ず受検する項目にしている
2. 事業主が行う健診時に任意で付加する項目にしている
3. 事業主が行う健診とは別に人間ドック等検診事業として実施
4. 検査は実施していない

※調査票では「ひとつ」○をつける指示としたが、保険者の実態として、1.～3.の選択肢は複数回答とすべきであると判断し、この設問については複数回答として扱った。

図4-2-1 組合におけるB型肝炎ウイルス検査の実施体制(1)被保険者



被保険者の実施体制は、「検査は実施していない」(44.2%)が最も高く4割台半ば、次いで「事業主が行なう健診とは別に人間ドック等検診事業として実施」(38.8%)が4割弱、「事業主が行なう健診時に任意で付加する項目にしている」(10.0%)、「事業主が行なう健診時に必ず受検する項目にしている」(8.5%)がそれぞれ1割前後となっている。

表 4-2- 1 組合におけるB型肝炎ウイルス検査の実施体制(1)被保険者

		問2-1 B型肝炎ウイルス検査の実施体制(1)被保険者					
		調査数	検査する 事業主が 行う項目 に して いる 健診 時に 必ず 受	付加 する 事業主 が 行う 項目 に して いる 健診 時に 任意 で	施設 ドック 等 が行 う 健診 事業 とは 別に 実人	検査 は 実 施 し て い な い	無 回 答
	全 体	992 100.0	84 8.5	99 10.0	385 38.8	438 44.2	7 0.7
保険 適用 者 数  被 保 険 者 / 男 女 計	~499人	37 100.0	7 18.9	1 2.7	10 27.0	19 51.4	- -
	500~999人	81 100.0	9 11.1	2 2.5	33 40.7	37 45.7	1 1.2
	1000~1999人	155 100.0	20 12.9	17 11.0	52 33.5	70 45.2	- -
	2000~4999人	277 100.0	18 6.5	32 11.6	113 40.8	117 42.2	- -
	5000~9999人	167 100.0	10 6.0	19 11.4	64 38.3	73 43.7	3 1.8
	10000~19999人	122 100.0	6 4.9	15 12.3	39 32.0	63 51.6	1 0.8
	20000人以上	146 100.0	14 9.6	13 8.9	71 48.6	56 38.4	1 0.7

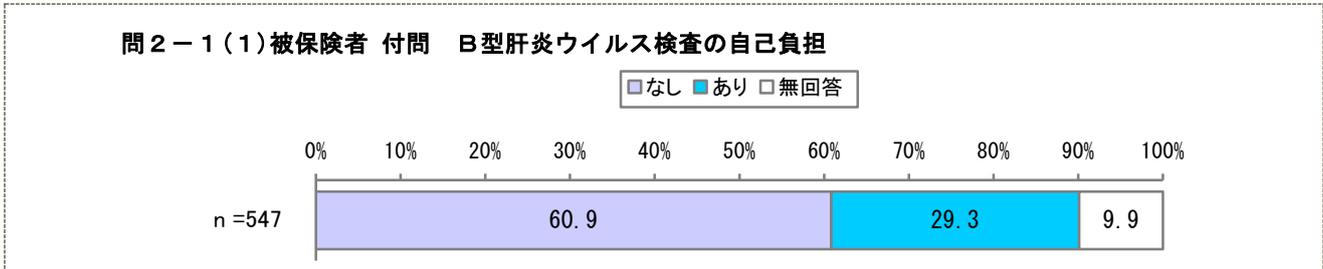
$\chi^2$	14.518	9.387	13.092	6.238
df	6	6	6	6
p	0.024 <0.05	0.153 n.s.	0.042 <0.05	0.397 n.s.

問2-1(1)付問 B型肝炎ウイルス検査の自己負担

1. なし

2. あり

図4-2- 2 B型肝炎ウイルス検査の自己負担(1)被保険者



検査を実施している組合(57.3%)にB型肝炎ウイルス検査の自己負担の有無をたずねたところ、「なし」(60.9%)で約6割を占めた。

表4-2- 2 B型肝炎ウイルス検査の自己負担(1)被保険者

※問2-1(1)で「検査を実施している」と回答された方

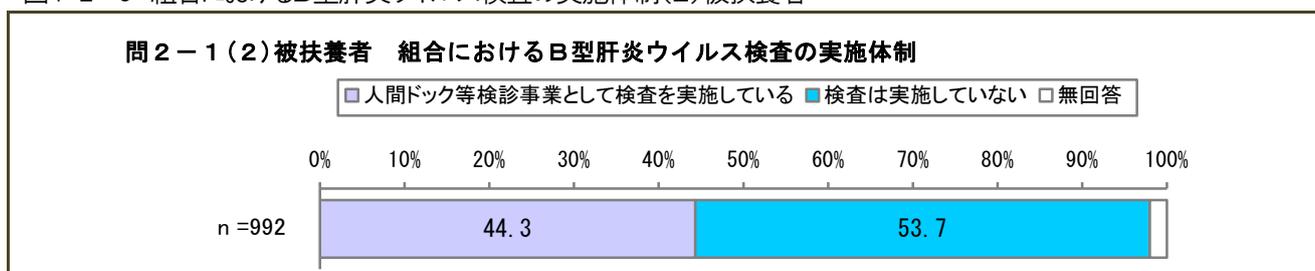
		付問 B型肝炎ウイルス検査の自己負担			
		調査数	なし	あり	無回答
	全体	547	333	160	54
		100.0	60.9	29.3	9.9
保険適用者数 被保険者／男女計	～499人	18	14	3	1
		100.0	77.8	16.7	5.6
	500～999人	43	27	13	3
		100.0	62.8	30.2	7.0
	1000～1999人	85	60	21	4
		100.0	70.6	24.7	4.7
	2000～4999人	160	107	35	18
	100.0	66.9	21.9	11.3	
5000～9999人	91	46	31	14	
	100.0	50.5	34.1	15.4	
10000～19999人	58	28	24	6	
	100.0	48.3	41.4	10.3	
20000人以上	89	49	32	8	
	100.0	55.1	36.0	9.0	

( $\chi^2=15.653, df=6, p=0.016 < 0.05$ )

問2-1(2) 貴組合におけるB型肝炎ウイルス検査の実施体制について、被扶養者についてお答えください(○はあてはまる番号にそれぞれひとつつけてください)。

- 1. 人間ドック等検診事業として検査を実施している
- 2. 検査は実施していない

図4-2-3 組合におけるB型肝炎ウイルス検査の実施体制(2)被扶養者



被扶養者の実施体制は、「人間ドック等検診事業として検査を実施している」(44.3%)、「検査は実施していない」(53.7%)となっており、「検査は実施していない」が「検査を実施している」を9.4ポイント上回っている。

表4-2-3 組合におけるB型肝炎ウイルス検査の実施体制(2)被扶養者

		問2-1 貴組合におけるB型肝炎ウイルス検査の実施体制(2)被扶養者			
		調査数	人間ドック等検診事業として検査を実施している	検査は実施していない	無回答
全体		992	439	533	20
		100.0	44.3	53.7	2.0
保険適用者数	~499人	37	13	24	-
		100.0	35.1	64.9	-
	500~999人	81	34	43	4
	100.0	42.0	53.1	4.9	
	1000~1999人	155	69	84	2
	100.0	44.5	54.2	1.3	
被保険者／男女計	2000~4999人	277	126	147	4
		100.0	45.5	53.1	1.4
	5000~9999人	167	75	88	4
		100.0	44.9	52.7	2.4
	10000~19999人	122	47	72	3
	100.0	38.5	59.0	2.5	
	20000人以上	146	72	72	2
	100.0	49.3	49.3	1.4	

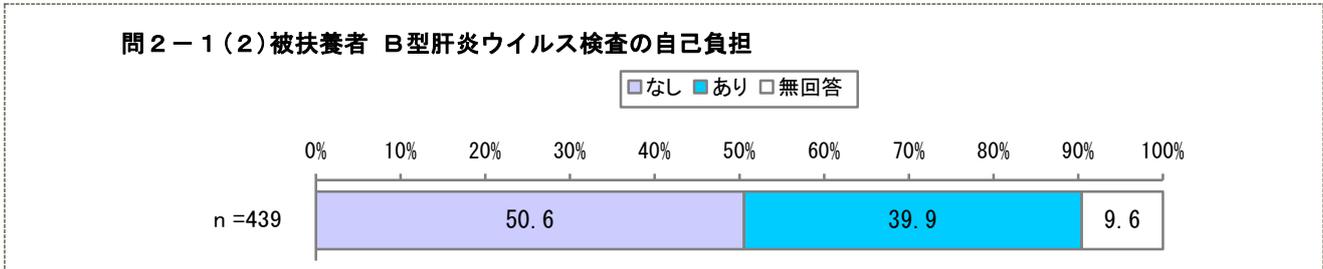
( $\chi^2=4.594, df=6, p=0.597$  n.s.)

問2-1(2)付問 B型肝炎ウイルス検査の自己負担

1. なし

2. あり

図4-2- 4 B型肝炎ウイルス検査の自己負担(2)被扶養者



被扶養者のB型肝炎ウイルス検査を実施している組合に自己負担の有無をたずねたところ、「なし」(50.6%)が約半数を占めた。

表4-2- 4 B型肝炎ウイルス検査の自己負担(2)被扶養者

※問2-1(2)で「人間ドック等検診事業として検査を実施している」と回答された方

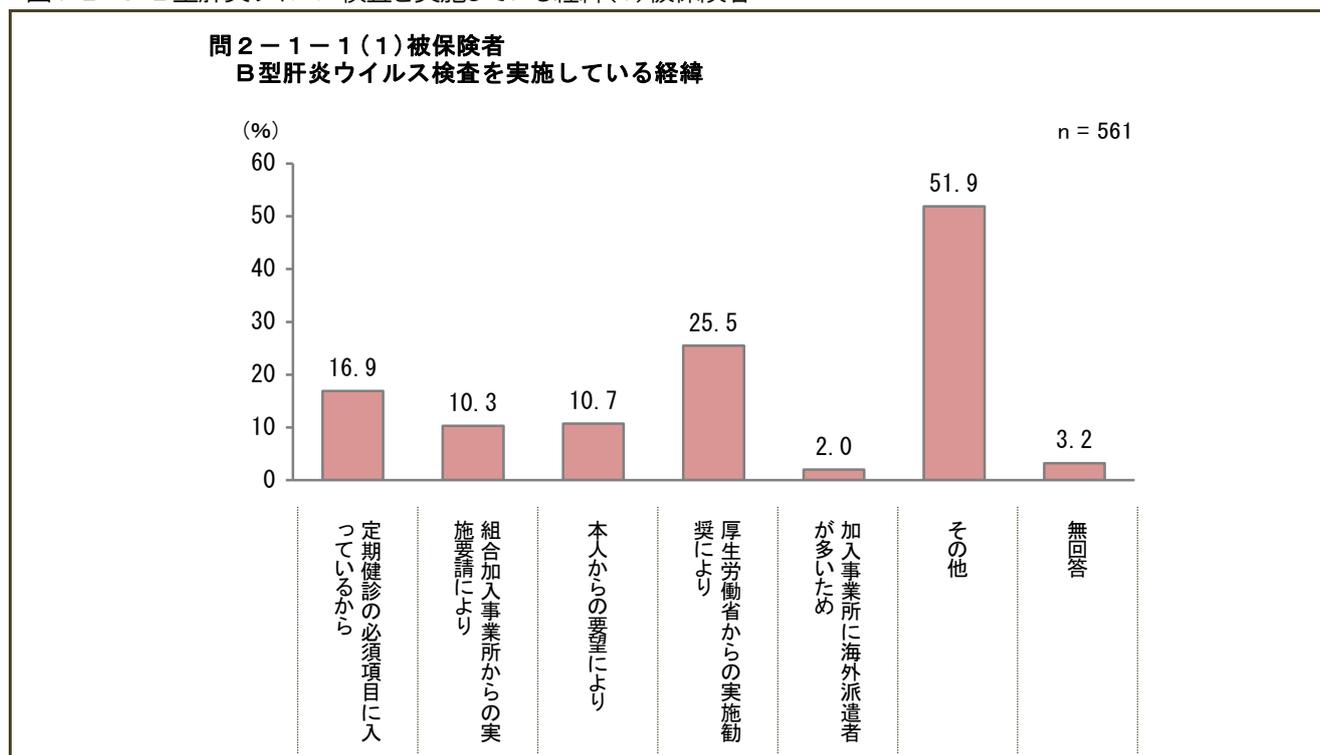
		問2-1(2)被扶養者 付問 B型肝炎ウイルス検査の自己負担			
		調査数	なし	あり	無回答
	全体	439 100.0	222 50.6	175 39.9	42 9.6
保険 適用 者数 被 保 険 者 ／ 男 女 計	～499人	13 100.0	9 69.2	4 30.8	- -
	500～999人	34 100.0	20 58.8	13 38.2	1 2.9
	1000～1999人	69 100.0	33 47.8	29 42.0	7 10.1
	2000～4999人	126 100.0	75 59.5	37 29.4	14 11.1
	5000～9999人	75 100.0	35 46.7	31 41.3	9 12.0
	10000～19999人	47 100.0	15 31.9	26 55.3	6 12.8
	20000人以上	72 100.0	33 45.8	34 47.2	5 6.9

( $\chi^2=14.596, df=6, p=0.024 < 0.05$ )

問2-1-1(1) B型肝炎ウイルス検査を実施している経緯を、被保険者についてお教え下さい(〇はいくつでもあてはまる番号につけてください)。

1. 定期健診の必須項目に入っているから
2. 組合加入事業所からの実施要請により
3. 本人からの要望により
4. 厚生労働省からの実施勧奨により
5. 加入事業所に海外派遣者が多いため
6. その他

図4-2-5 B型肝炎ウイルス検査を実施している経緯(1)被保険者



被保険者に対してB型肝炎ウイルス検査を実施している経緯を、保険者にたずねたところ、「厚生労働省からの実施勧奨により」(25.5%)が最も高くなっており、次いで「定期健診必須項目に入っているから」(16.9%)で1割台半ば、「本人の要望により」(10.7%)、「組合加入事業所からの実施要請により」(10.3%)が約1割となっている。「その他」との回答は51.9%となっている。

表4-2-5 B型肝炎ウイルス検査を実施している経緯(1)被保険者

※問2-1(1)で「1～3」と回答された方

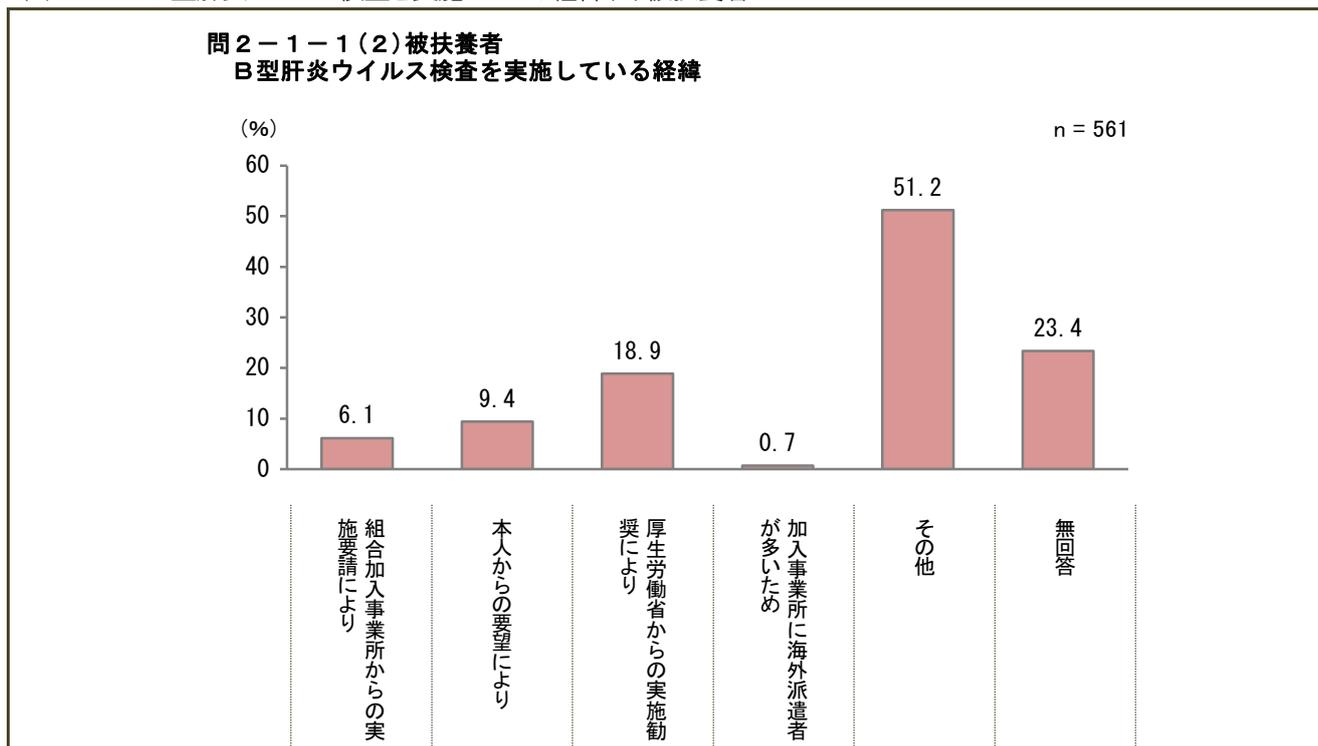
		問2-1-1 B型肝炎ウイルス検査を実施している経緯(1)被保険者							
		調査数	定期健診の必須項目に入っているから	組合により加入事業所からの実施要	本人からの要望により	厚生労働省からの実施勧奨により	加入事業所に海外派遣者が多いため	その他	無回答
	全体	561 100.0	95 16.9	58 10.3	60 10.7	143 25.5	11 2.0	291 51.9	18 3.2
保険適用者数 被保険者／男女計	～499人	18 100.0	4 22.2	2 11.1	1 5.6	7 38.9	- -	5 27.8	- -
	500～999人	45 100.0	7 15.6	3 6.7	4 8.9	16 35.6	3 6.7	22 48.9	3 6.7
	1000～1999人	87 100.0	22 25.3	9 10.3	11 12.6	20 23.0	2 2.3	41 47.1	2 2.3
	2000～4999人	166 100.0	25 15.1	22 13.3	21 12.7	46 27.7	3 1.8	77 46.4	7 4.2
	5000～9999人	91 100.0	16 17.6	7 7.7	7 7.7	21 23.1	1 1.1	51 56.0	2 2.2
	10000～19999人	60 100.0	10 16.7	6 10.0	7 11.7	13 21.7	- -	34 56.7	2 3.3
	20000人以上	91 100.0	11 12.1	9 9.9	8 8.8	19 20.9	2 2.2	60 65.9	2 2.2

$\chi^2$	6.398	2.975	3.101	7.305	7.519	15.457
df	6	6	6	6	6	6
p	0.380	0.812	0.796	0.294	0.275	0.017
	n.s.	n.s.	n.s.	n.s.	n.s.	<0.05

問2-1-1(2) B型肝炎ウイルス検査を実施している経緯を、被扶養者についてお教え下さい(〇はいくつでもあてはまる番号につけてください)。

1. 組合加入事業所からの実施要請により
2. 本人からの要望により
3. 厚生労働省からの実施勧奨により
4. 加入事業所に海外派遣者が多いため
5. その他

図4-2-6 B型肝炎ウイルス検査を実施している経緯(2)被扶養者



被扶養者に対してB型肝炎ウイルス検査を実施している経緯を、保険者にたずねたところ、被保険者と同じく「厚生労働省からの実施勧奨により」が18.9%と最も高くなっている。次いで「本人の要望により」(9.4%)が約1割となっている。「その他」との回答は51.2%となっている。

表4-2-6 B型肝炎ウイルス検査を実施している経緯(2)被扶養者

※問2-1(2)で「1」と回答された方

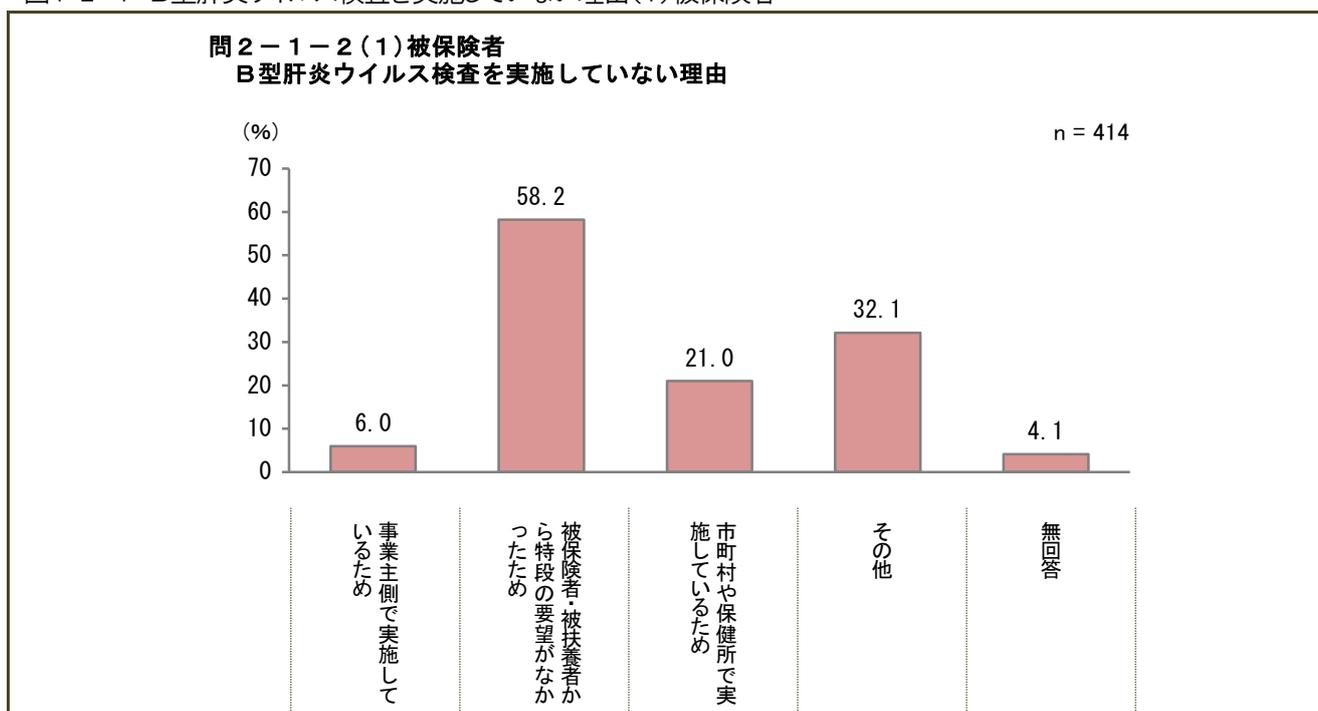
		問2-1-1 B型肝炎ウイルス検査を実施している経緯(2)被扶養者						
		調査数	請組 に合 加入 事業 所か らの 実施 要	本 人 か ら の 要 望 に よ り	厚 生 労 働 省 か ら の 実 施 勧 奨 に よ り	加 入 事 業 所 に 海 外 派 遣 者 が 多 い た め	そ の 他	無 回 答
	全 体	561 100.0	34 6.1	53 9.4	106 18.9	4 0.7	287 51.2	131 23.4
保 険 適 用 者 数  被 保 険 者 ／ 男 女 計	～499人	18 100.0	2 11.1	2 11.1	3 16.7	- -	6 33.3	6 33.3
	500～999人	45 100.0	3 6.7	3 6.7	12 26.7	2 4.4	21 46.7	13 28.9
	1000～1999人	87 100.0	4 4.6	11 12.6	17 19.5	- -	48 55.2	18 20.7
	2000～4999人	166 100.0	15 9.0	16 9.6	32 19.3	2 1.2	71 42.8	44 26.5
	5000～9999人	91 100.0	3 3.3	7 7.7	20 22.0	- -	49 53.8	16 17.6
	10000～19999人	60 100.0	4 6.7	7 11.7	8 13.3	- -	35 58.3	15 25.0
	20000人以上	91 100.0	3 3.3	6 6.6	13 14.3	- -	56 61.5	19 20.9

$\chi^2$	7.969	3.518	6.013	12.965	12.315
df	6	6	6	6	6
p	0.240 n.s.	0.742 n.s.	0.422 n.s.	0.044 <0.05	0.055 n.s.

問2-1-2(1) B型肝炎ウイルス検査を実施していない理由を、被保険者についてお教え下さい(〇はいくつでもあてはまる番号につけてください)。

1. 事業主側で実施しているため
2. 被保険者・被扶養者から特段の要望がなかったため
3. 市町村や保健所で実施しているため
4. その他

図4-2-7 B型肝炎ウイルス検査を実施していない理由(1)被保険者



被保険者に対してB型肝炎ウイルス検査を実施していない理由を、保険者にたずねたところ、「被保険者・被扶養者からの特段の要望が無かったため」(58.2%)が最も高く6割弱を占める。次いで「市町村が実施しているため」(21.0%)が2割強となっている。「その他」との回答は32.1%となっている。

表4-2-7 B型肝炎ウイルス検査を実施していない理由(1)被保険者

※問2-1(1)で「4」と回答された方

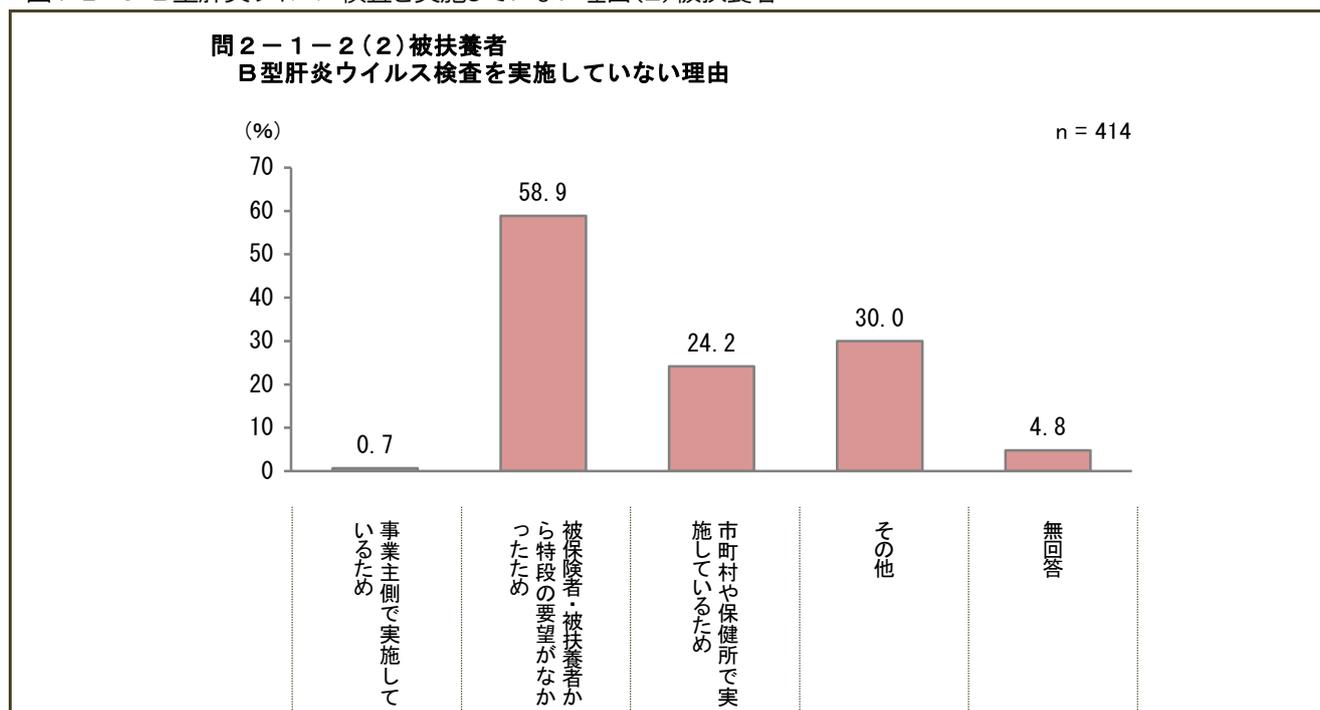
		問2-1-2 B型肝炎ウイルス検査を実施していない理由(1)被保険者					
		調査数	事業主側で実施しているため	の被保険者がなかかったため 被扶養者から特段	る市町村や保健所で実施してい	その他	無回答
	全体	414 100.0	25 6.0	241 58.2	87 21.0	133 32.1	17 4.1
保険適用者数 被保険者／男女計	～499人	19 100.0	– –	15 78.9	3 15.8	3 15.8	– –
	500～999人	34 100.0	– –	19 55.9	6 17.6	16 47.1	1 2.9
	1000～1999人	67 100.0	5 7.5	48 71.6	10 14.9	17 25.4	3 4.5
	2000～4999人	109 100.0	3 2.8	63 57.8	20 18.3	36 33.0	5 4.6
	5000～9999人	70 100.0	7 10.0	38 54.3	15 21.4	24 34.3	4 5.7
	10000～19999人	58 100.0	5 8.6	34 58.6	14 24.1	16 27.6	2 3.4
	20000人以上	54 100.0	5 9.3	24 44.4	18 33.3	21 38.9	– –

$\chi^2$	9.311	14.542	7.091	8.987
df	6	6	6	6
p	0.157 n.s.	0.024 <0.05	0.312 n.s.	0.174 n.s.

問2-1-2(2) B型肝炎ウイルス検査を実施していない理由を、被扶養者についてお教え下さい(〇はいくつでもあてはまる番号につけてください)。

1. 事業主側で実施しているため
2. 被保険者・被扶養者から特段の要望がなかったため
3. 市町村や保健所で実施しているため
4. その他

図4-2-8 B型肝炎ウイルス検査を実施していない理由(2)被扶養者



被扶養者に対してB型肝炎ウイルス検査を実施していない理由を、保険者にたずねたところ、「被保険者・被扶養者からの特段の要望が無かったため」(58.9%)が最も高く6割弱を占める。次いで「市町村が実施しているため」(24.2%)が2割強となっている。「その他」との回答は3割となっている。

表4-2-8 B型肝炎ウイルス検査を実施していない理由(2)被扶養者

※問2-1(2)で「2」と回答された方

		問2-1-2 B型肝炎ウイルス検査を実施していない理由(2)被扶養者					
		調査数	事業主側で実施しているため	の被保険者がなかつたため 被扶養者から特段	る市町村や保健所で実施してい	その他	無回答
	全体	414 100.0	3 0.7	244 58.9	100 24.2	124 30.0	20 4.8
保険適用者数 被保険者／男女計	～499人	19 100.0	- -	14 73.7	4 21.1	3 15.8	- -
	500～999人	34 100.0	- -	18 52.9	8 23.5	14 41.2	1 2.9
	1000～1999人	67 100.0	- -	48 71.6	13 19.4	15 22.4	5 7.5
	2000～4999人	109 100.0	- -	65 59.6	21 19.3	33 30.3	6 5.5
	5000～9999人	70 100.0	2 2.9	41 58.6	18 25.7	23 32.9	4 5.7
	10000～19999人	58 100.0	1 1.7	34 58.6	16 27.6	15 25.9	2 3.4
	20000人以上	54 100.0	- -	24 44.4	19 35.2	21 38.9	- -

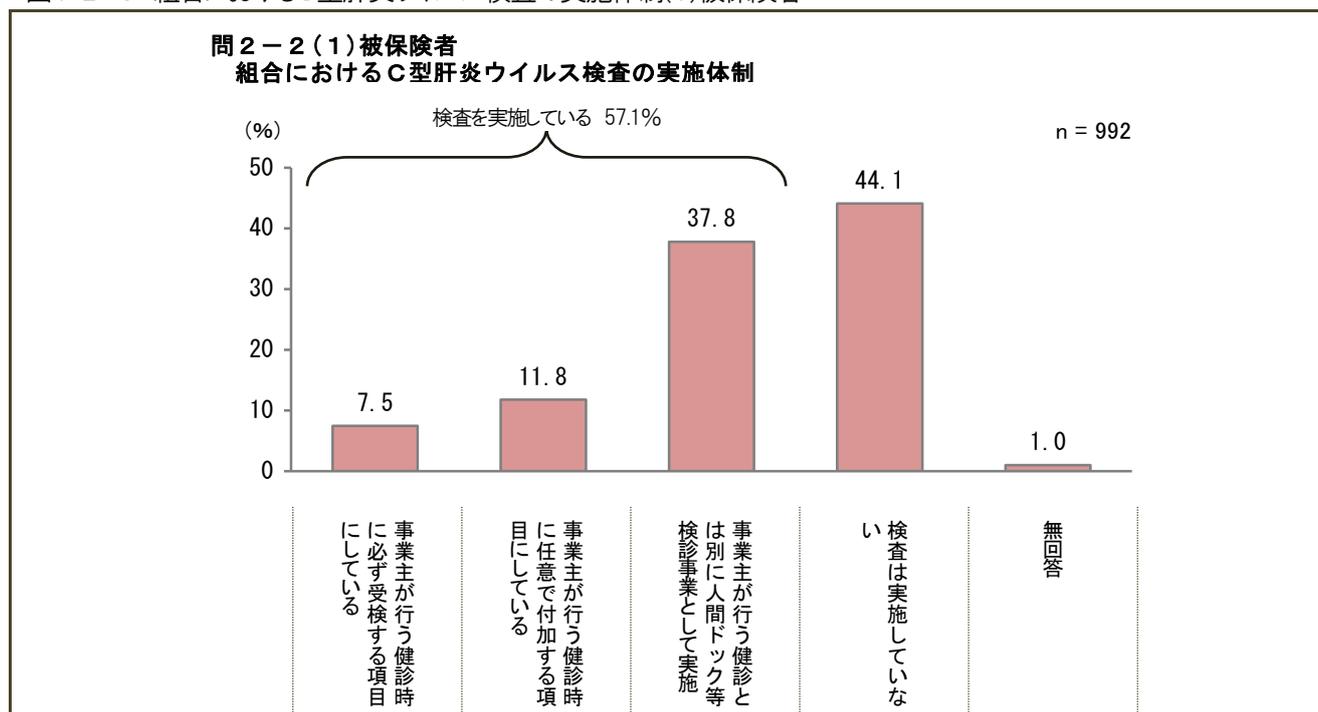
$\chi^2$	7.335	15.306	5.389	7.825
df	6	6	6	6
p	0.291 n.s.	0.018 <0.05	0.495 n.s.	0.251 n.s.

問2-2(1) 貴組合におけるC型肝炎ウイルス検査の実施体制について、被保険者についてお答えください（〇はあてはまる番号にそれぞれひとつつけてください）。

1. 事業主が行う健診時に必ず受検する項目にしている
2. 事業主が行う健診時に任意で付加する項目にしている
3. 事業主が行う健診とは別に人間ドック等検診事業として実施
4. 検査は実施していない

※調査票では「ひとつ」〇をつける指示としたが、保険者の実態として、1.～3.の選択肢は複数回答とするべきであると判断し、この設問については複数回答として扱った。

図4-2-9 組合におけるC型肝炎ウイルス検査の実施体制(1)被保険者



被保険者に対するC型肝炎ウイルス検査の実施体制について、組合にたずねたところ、「事業主が行なう検診とは別に人間ドック等検診事業として実施」(37.8%)が4割弱を占めている。次いで「事業主が行なう検査時に任意で付加する項目にしている」(11.8%)となっていた。一方、「検査は実施していない」との回答は4割強となっている。

表4-2-9 組合におけるC型肝炎ウイルス検査の実施体制(1)被保険者

		問2-2 貴組合におけるC型肝炎ウイルス検査の実施体制 (1)被保険者					
		調査数	検査する主 項目が行 う健診時 に必ず受	付事 加業主 が行 う健診時 に任意で	施間事 ド業主 が行 う健診 事業とは 別に実人	検査は 実施して いない	無 回 答
	全体	992 100.0	74 7.5	117 11.8	375 37.8	437 44.1	10 1.0
保険 適用 者数  被 保 険 者 / 男 女 計	~499人	37 100.0	6 16.2	1 2.7	10 27.0	20 54.1	- -
	500~999人	81 100.0	8 9.9	4 4.9	33 40.7	36 44.4	1 1.2
	1000~1999人	155 100.0	18 11.6	20 12.9	50 32.3	71 45.8	- -
	2000~4999人	277 100.0	16 5.8	33 11.9	106 38.3	123 44.4	1 0.4
	5000~9999人	167 100.0	7 4.2	24 14.4	65 38.9	69 41.3	4 2.4
	10000~19999人	122 100.0	5 4.1	16 13.1	42 34.4	61 50.0	- -
	20000人以上	146 100.0	13 8.9	18 12.3	67 45.9	53 36.3	4 2.7

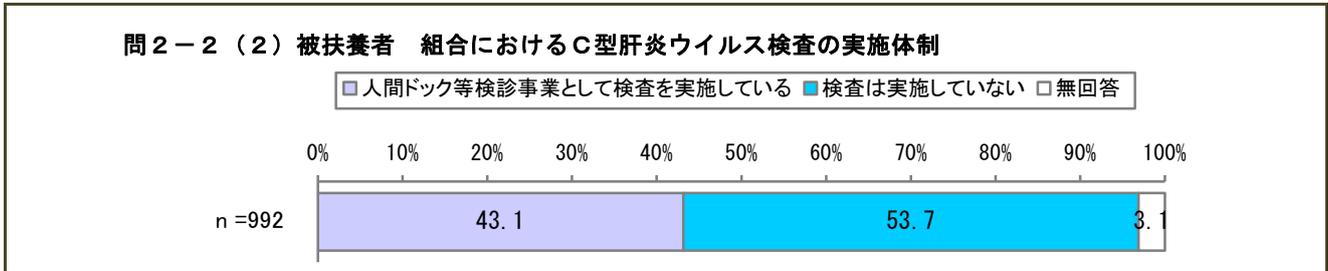
$\chi^2$	14.738	8.263	10.372	6.248
df	6	6	6	6
p	0.022 <0.05	0.219 n.s.	0.110 n.s.	0.396 n.s.



問2-2(2) 貴組合におけるC型肝炎ウイルス検査の実施体制について、被扶養者についてお答えください（〇はあてはまる番号にそれぞれひとつつけてください）。

- 1. 人間ドック等検診事業として実施している
- 2. 検査は実施していない

図4-2- 11 組合におけるC型肝炎ウイルス検査の実施体制(2)被扶養者



被扶養者に対するC型肝炎ウイルス検査の実施体制について、組合にたずねたところ、「人間ドック等検診事業として検査を実施している」が43.1%、「検査は実施していない」が53.7%となっており、「検査は実施していない」が半数を超えている。

表4-2- 11 組合におけるC型肝炎ウイルス検査の実施体制(2)被扶養者

		問2-2 貴組合におけるC型肝炎ウイルス検査の実施体制(2)被扶養者			
		調査数	検人 査間 をド ック 等検 診事 業と して	検 査 は 実 施 し て い な い	無 回 答
	全体	992 100.0	428 43.1	533 53.7	31 3.1
保険 適 用 者 数  被 保 険 者 / 男 女 計	～499人	37 100.0	11 29.7	26 70.3	- -
	500～999人	81 100.0	30 37.0	46 56.8	5 6.2
	1000～1999人	155 100.0	66 42.6	86 55.5	3 1.9
	2000～4999人	277 100.0	124 44.8	148 53.4	5 1.8
	5000～9999人	167 100.0	77 46.1	84 50.3	6 3.6
	10000～19999人	122 100.0	47 38.5	69 56.6	6 4.9
	20000人以上	146 100.0	70 47.9	71 48.6	5 3.4

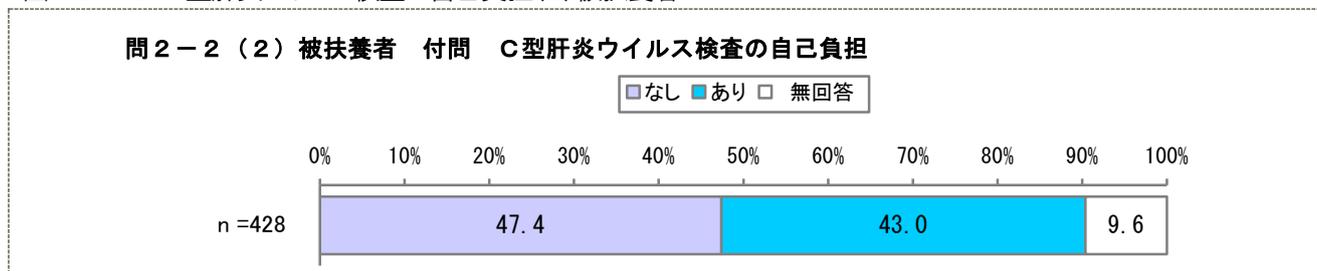
( $\chi^2=7.225, df=6, p=0.301$  n.s.)

問2-2(2)付問 C型肝炎ウイルス検査の自己負担

1. なし

2. あり

図4-2- 12 C型肝炎ウイルス検査の自己負担(2)被扶養者



C型肝炎ウイルス検査の自己負担の有無をたずねたところ、「なし」が47.4%、「あり」が43.0%となっており、その差は4.4ポイントとなっている。

表4-2- 12 C型肝炎ウイルス検査の自己負担(2)被扶養者

※問2-2(2)で「検査を実施している」と回答された方

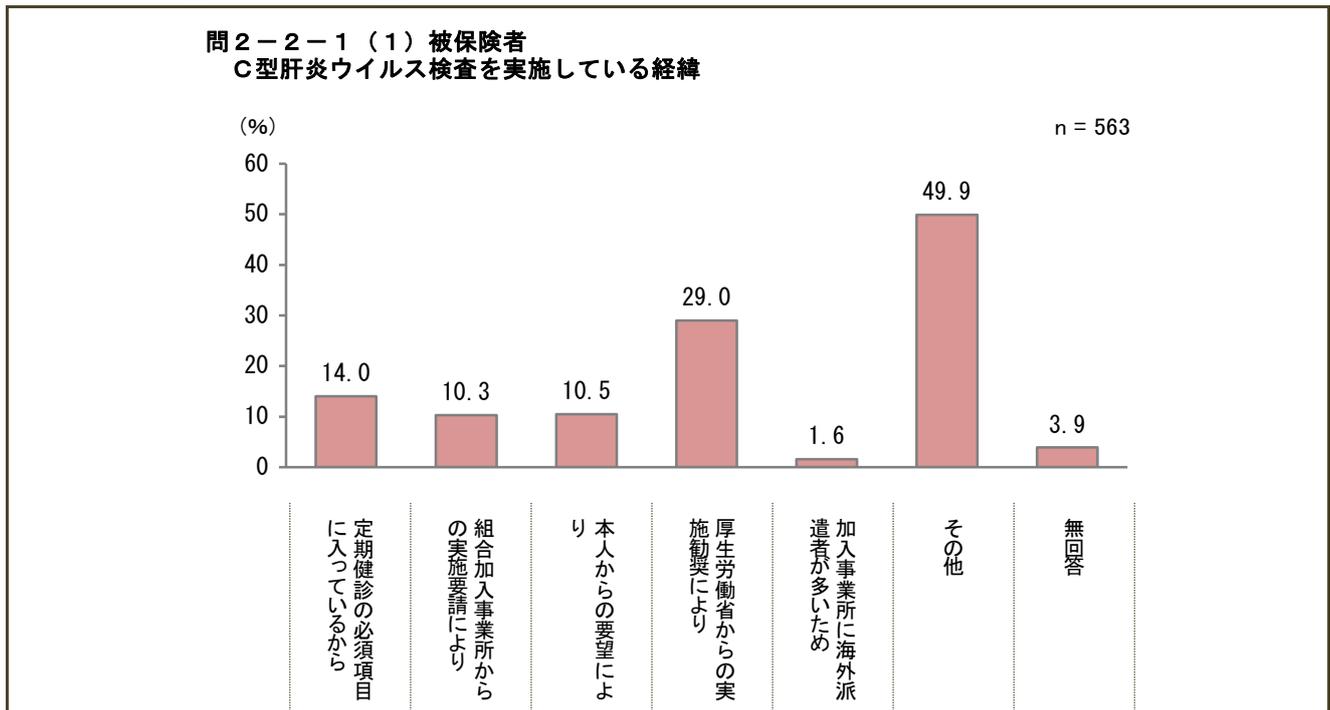
		付問 C型肝炎ウイルス検査の自己負担			
		調査数	なし	あり	無回答
	全体	428	203	184	41
		100.0	47.4	43.0	9.6
保険適用者数 被保険者／男女計	～499人	11	8	2	1
		100.0	72.7	18.2	9.1
	500～999人	30	12	15	3
		100.0	40.0	50.0	10.0
	1000～1999人	66	34	28	4
		100.0	51.5	42.4	6.1
	2000～4999人	124	72	39	13
	100.0	58.1	31.5	10.5	
	5000～9999人	77	34	35	8
		100.0	44.2	45.5	10.4
	10000～19999人	47	14	27	6
		100.0	29.8	57.4	12.8
	20000人以上	70	27	37	6
	100.0	38.6	52.9	8.6	

( $\chi^2=19.222, df=6, p=0.004 < 0.05$ )

問2-2-1(1) C型肝炎ウイルス検査を実施している経緯を、被保険者について教えてください(〇はいくつでもあてはまる番号につけてください)。

1. 定期健診の必須項目に入っているから
2. 組合加入事業所からの実施要請により
3. 本人からの要望により
4. 厚生労働省からの実施勧奨により
5. 加入事業所に海外派遣者が多いため
6. その他

図4-2- 13 C型肝炎ウイルス検査を実施している経緯(1)被保険者



被保険者に対してC型肝炎ウイルス検査を実施している経緯を、保険者にたずねたところ、「厚生労働省からの実施勧奨により」(29.0%)が3割弱、「定期健診の必須項目に入っているから」(14.0%)が1割台半ばとなっている。「その他」との回答は、約半数となっている。

表4-2- 13 C型肝炎ウイルス検査を実施している経緯(1)被保険者

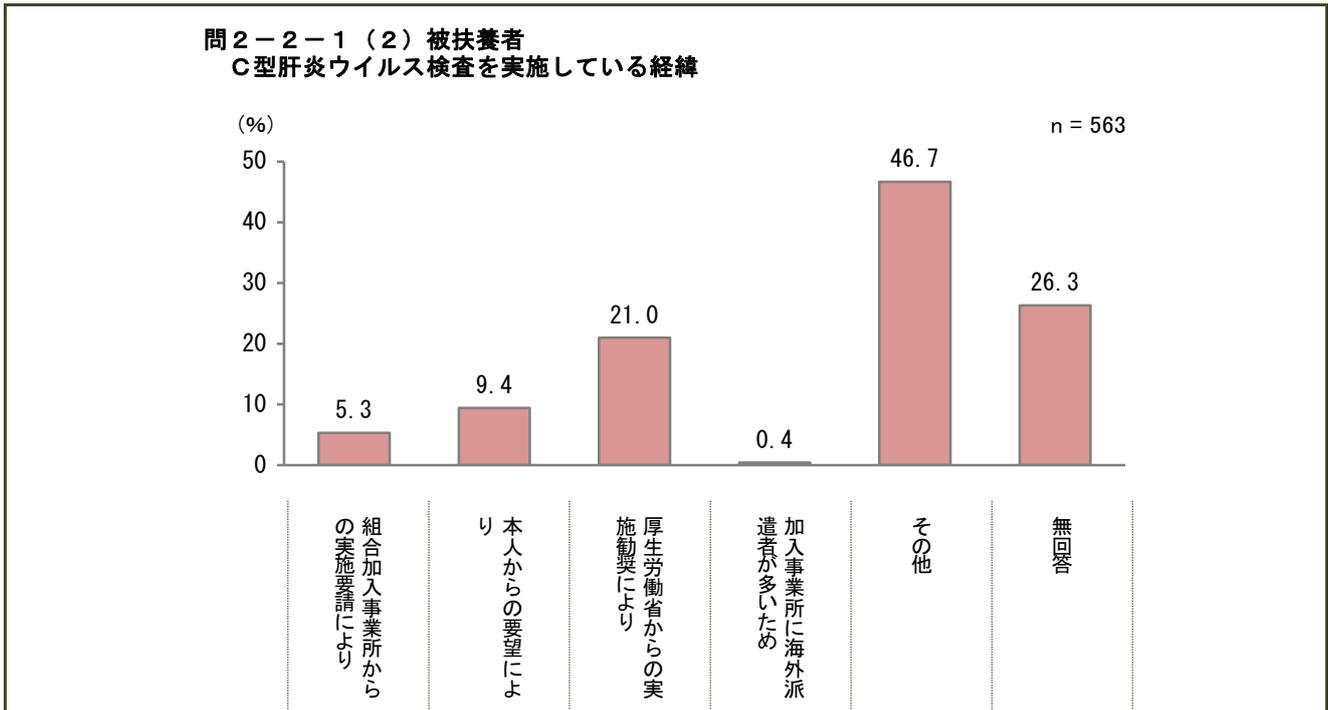
		問2-2-1 C型肝炎ウイルス検査を実施している経緯(1)被保険者							
		調査数	定期健診の必須項目に入っているか	組合により加入事業所からの実施要	本人からの要望により	厚生労働省からの実施勧奨により	加入事業所に海外派遣者が多いため	その他	無回答
	全体	563	79	58	59	163	9	281	22
		100.0	14.0	10.3	10.5	29.0	1.6	49.9	3.9
保険適用者数 被保険者／男女計	～499人	18	3	2	-	7	-	6	1
		100.0	16.7	11.1	-	38.9	-	33.3	5.6
	500～999人	44	5	3	4	15	3	23	2
		100.0	11.4	6.8	9.1	34.1	6.8	52.3	4.5
	1000～1999人	86	20	8	12	22	2	42	2
		100.0	23.3	9.3	14.0	25.6	2.3	48.8	2.3
	2000～4999人	162	22	19	22	49	2	71	8
	100.0	13.6	11.7	13.6	30.2	1.2	43.8	4.9	
5000～9999人	95	12	7	9	27	-	51	3	
	100.0	12.6	7.4	9.5	28.4	-	53.7	3.2	
10000～19999人	64	9	8	6	16	-	34	3	
	100.0	14.1	12.5	9.4	25.0	-	53.1	4.7	
20000人以上	91	8	11	5	25	2	54	3	
	100.0	8.8	12.1	5.5	27.5	2.2	59.3	3.3	

$\chi^2$	8.377	2.699	7.694	3.028	11.112	8.168
df	6	6	6	6	6	6
p	0.212	0.846	0.261	0.805	0.085	0.226
	n.s.	n.s.	n.s.	n.s.	n.s.	n.s.

問2-2-1(2) C型肝炎ウイルス検査を実施している経緯を、被扶養者についてお教え下さい(○はいくつでもあてはまる番号につけてください)。

1. 組合加入事業所からの実施要請により
2. 本人からの要望により
3. 厚生労働省からの実施勧奨により
4. 加入事業所に海外派遣者が多いため
5. その他

図4-2- 14 C型肝炎ウイルス検査を実施している経緯(2)被扶養者



被扶養者に対してC型肝炎ウイルス検査を実施している経緯を、保険者にたずねたところ、「厚生労働省からの実施勧奨により」(21.0%)で2割強、「本人からの要望により」(9.4%)が1割弱となっている。「その他」(46.7%)との回答は5割弱となっている。

表4-2- 14 C型肝炎ウイルス検査を実施している経緯(2)被扶養者

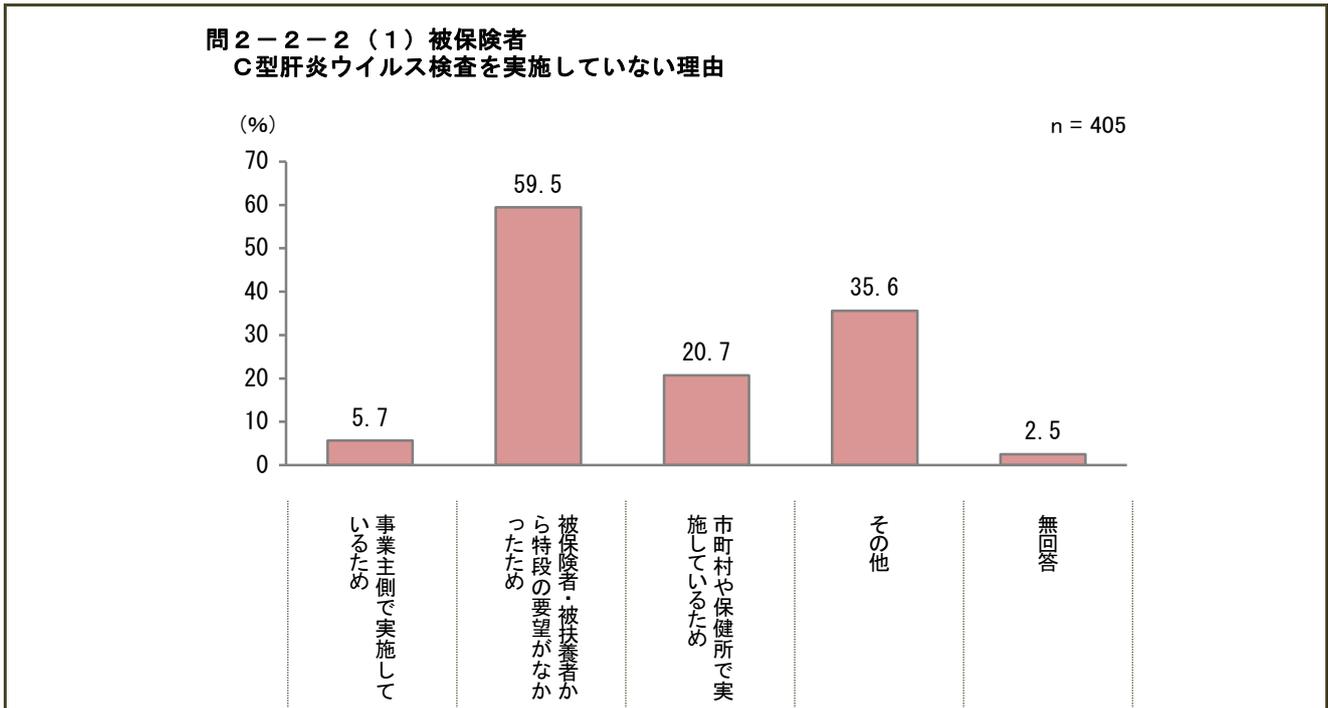
		問2-2-1 C型肝炎ウイルス検査を実施している経緯(2)被扶養者						
		調査数	組合により 請加入 事業所からの 実施要	本人からの 要望により	厚生労働省 からの実施 勧奨に よ	加入事業 所に海外 派遣者が 多	その他	無回答
全体		563	30	53	118	2	263	148
		100.0	5.3	9.4	21.0	0.4	46.7	26.3
保険 適用者 数  被保 険者 ／ 男女 計	～499人	18	2	1	4	-	5	7
		100.0	11.1	5.6	22.2	-	27.8	38.9
	500～999人	44	3	2	11	2	19	15
		100.0	6.8	4.5	25.0	4.5	43.2	34.1
	1000～1999人	86	3	11	18	-	43	21
		100.0	3.5	12.8	20.9	-	50.0	24.4
	2000～4999人	162	12	17	35	-	66	45
	100.0	7.4	10.5	21.6	-	40.7	27.8	
5000～9999人	95	2	9	22	-	46	21	
	100.0	2.1	9.5	23.2	-	48.4	22.1	
10000～19999人	64	4	7	11	-	33	18	
	100.0	6.3	10.9	17.2	-	51.6	28.1	
20000人以上	91	4	4	16	-	51	21	
	100.0	4.4	4.4	17.6	-	56.0	23.1	

$\chi^2$	7.246	5.861	3.364	26.543	8.393
df	6	6	6	6	6
p	0.299 n.s.	0.439 n.s.	0.762 n.s.	0.000 <0.05	0.211 n.s.

問2-2-2(1) C型肝炎ウイルス検査を実施していない理由を、被保険者についてお教え下さい(〇はいくつでもあてはまる番号につけてください)。

1. 事業主側で実施しているため
2. 被保険者・被扶養者から特段の要望がなかったため
3. 市町村や保健所で実施しているため
4. その他

図4-2-15 C型肝炎ウイルス検査を実施していない理由(1)被保険者



被保険者に対してC型肝炎ウイルス検査を実施していない理由を、保険者にたずねたところ、「被保険者・被扶養者から特段の要望がなかったため」(59.5%)が最も高く6割弱、「市町村や保健所で実施しているため」(20.7%)が約2割となっている。

表4-2- 15 C型肝炎ウイルス検査を実施していない理由(1)被保険者

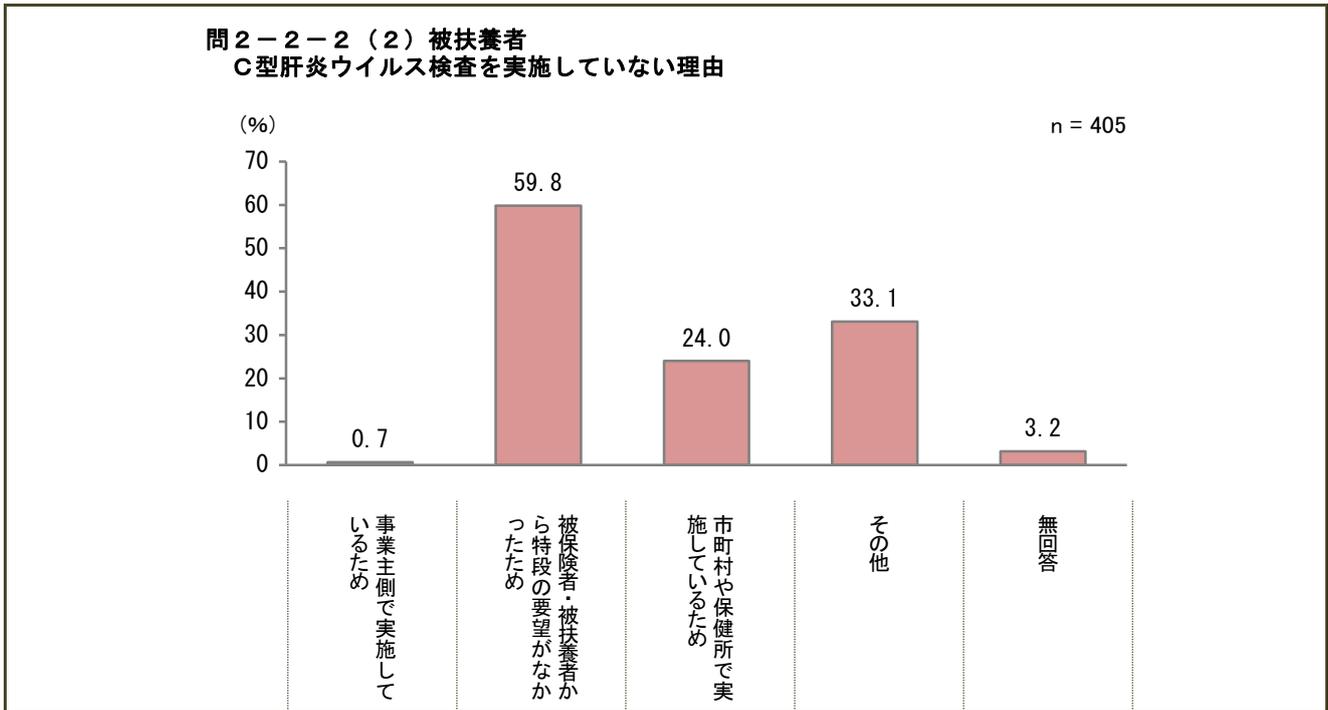
		問2-2-2 C型肝炎ウイルス検査を実施していない理由(1)被保険者					
		調査数	事業主側で実施しているため	の被保険者がなかつたため 被扶養者から特設	る市町村や保健所で実施しているため	その他	無回答
	全体	405 100.0	23 5.7	241 59.5	84 20.7	144 35.6	10 2.5
保険適用者数 被保険者／男女計	～499人	19 100.0	— —	15 78.9	3 15.8	3 15.8	— —
	500～999人	34 100.0	— —	20 58.8	7 20.6	16 47.1	— —
	1000～1999人	67 100.0	4 6.0	49 73.1	11 16.4	18 26.9	1 1.5
	2000～4999人	113 100.0	3 2.7	68 60.2	22 19.5	39 34.5	3 2.7
	5000～9999人	65 100.0	6 9.2	39 60.0	12 18.5	23 35.4	2 3.1
	10000～19999人	53 100.0	5 9.4	30 56.6	12 22.6	18 34.0	2 3.8
	20000人以上	51 100.0	5 9.8	20 39.2	16 31.4	27 52.9	— —

$\chi^2$	9.704	17.856	4.765	13.600
df	6	6	6	6
p	0.138 n.s.	0.007 <0.05	0.574 n.s.	0.034 <0.05

問2-2-2(2) C型肝炎ウイルス検査を実施していない理由を、被扶養者についてお教え下さい(〇はいくつでもあてはまる番号につけてください)。

1. 事業主側で実施しているため
2. 被保険者・被扶養者から特段の要望がなかったため
3. 市町村や保健所で実施しているため
4. その他

図4-2-16 C型肝炎ウイルス検査を実施していない理由(2)被扶養者



被扶養者に対してC型肝炎ウイルス検査を実施していない理由を、保険者にたずねたところ、被保険者と同じく「被保険者・被扶養者から特段の要望がなかったため」(59.8%)が最も高く約6割、「市町村や保健所で実施しているため」(24.0%)が2割台半ばとなっている。

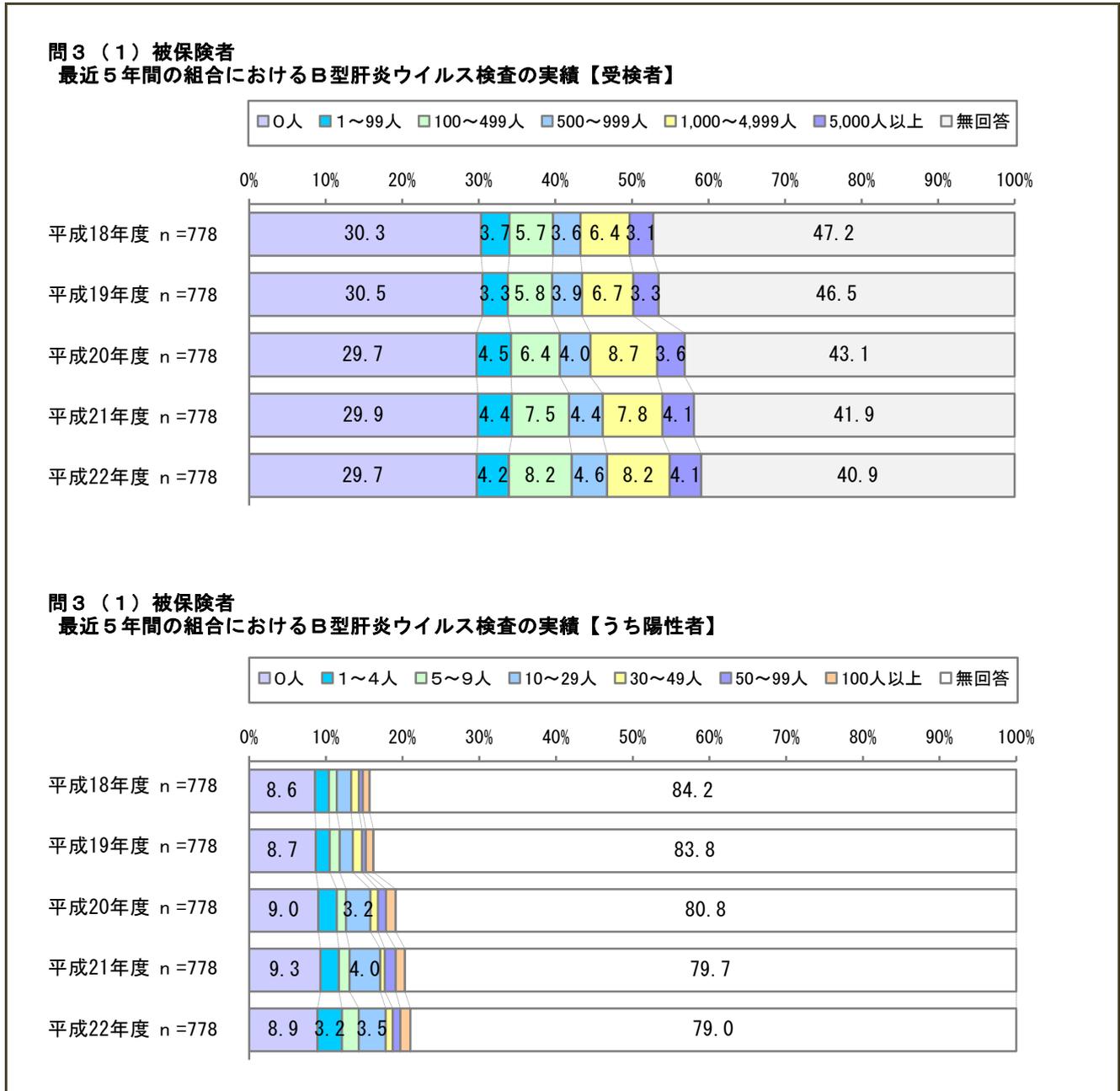
表4-2-16 C型肝炎ウイルス検査を実施していない理由(2)被扶養者

		問2-2-2 C型肝炎ウイルス検査を実施していない理由(2)被扶養者					
		調査数	事業主側で実施しているため	の被保険者がなかつたため の被扶養者から特段	る市町村や保健所で実施してい	その他	無回答
	全体	405 100.0	3 0.7	242 59.8	97 24.0	134 33.1	13 3.2
保険適用者数 被保険者／男女計	～499人	19 100.0	-	14 73.7	4 21.1	3 15.8	-
	500～999人	34 100.0	-	20 58.8	9 26.5	13 38.2	-
	1000～1999人	67 100.0	-	48 71.6	15 22.4	15 22.4	3 4.5
	2000～4999人	113 100.0	-	69 61.1	22 19.5	38 33.6	4 3.5
	5000～9999人	65 100.0	2 3.1	41 63.1	15 23.1	22 33.8	2 3.1
	10000～19999人	53 100.0	1 1.9	30 56.6	14 26.4	17 32.1	2 3.8
	20000人以上	51 100.0	-	20 39.2	17 33.3	26 51.0	-

$\chi^2$	7.891	17.604	3.732	12.823
df	6	6	6	6
p	0.246 n.s.	0.007 <0.05	0.713 n.s.	0.046 <0.05

問3(1) 最近5年間の貴組合におけるB型肝炎ウイルス検査の実績についてうかがいます。事業年度別、被保険者の受検者人数をお答えください。また、そのうち陽性の方の人数もわかる場合はお答えください。

図4-2- 17 最近5年間の組合におけるB型肝炎ウイルス検査の実績(1)被保険者



最近5年間の被保険者に対するB型肝炎ウイルス検査の実績について、組合にたずねたところ、受検者は「0人」との回答が、平成18年度(30.3%)、平成19年度(30.5%)、平成20年度(29.7%)、平成21年度(29.9%)、平成22年度(29.7%)でいずれも3割前後となっている。「1～99人」、「100～499人」、「500～999人」、「1,000～4,999人」、「5,000人以上」においては過去5年、それぞれ1割に満たない。

受検者のうち、陽性者はいずれの年度も1割未満となっている。

表4-2-17 最近5年間の組合におけるB型肝炎ウイルス検査の実績(1)被保険者

## 【受検者】

	調査数	0人	1 ～ 9人	10 ～ 49人	50 ～ 99人	100 ～ 499人	500 人以上	無回答
平成18年度	778 100.0	236 30.3	29 3.7	44 5.7	28 3.6	50 6.4	24 3.1	367 47.2
平成19年度	778 100.0	237 30.5	26 3.3	45 5.8	30 3.9	52 6.7	26 3.3	362 46.5
平成20年度	778 100.0	231 29.7	35 4.5	50 6.4	31 4.0	68 8.7	28 3.6	335 43.1
平成21年度	778 100.0	233 29.9	34 4.4	58 7.5	34 4.4	61 7.8	32 4.1	326 41.9
平成22年度	778 100.0	231 29.7	33 4.2	64 8.2	36 4.6	64 8.2	32 4.1	318 40.9

## 【うち陽性者】

	調査数	0人	1 ～ 4人	5 ～ 9人	10 ～ 29人	30 ～ 49人	50 ～ 99人	100 人以上	無回答
平成18年度	778 100.0	67 8.6	14 1.8	8 1.0	15 1.9	8 1.0	4 0.5	7 0.9	655 84.2
平成19年度	778 100.0	68 8.7	14 1.8	10 1.3	13 1.7	9 1.2	4 0.5	8 1.0	652 83.8
平成20年度	778 100.0	70 9.0	19 2.4	9 1.2	25 3.2	8 1.0	8 1.0	10 1.3	629 80.8
平成21年度	778 100.0	72 9.3	19 2.4	11 1.4	31 4.0	5 0.6	11 1.4	9 1.2	620 79.7
平成22年度	778 100.0	69 8.9	25 3.2	17 2.2	27 3.5	7 0.9	8 1.0	10 1.3	615 79.0

表 4-2- 18 組合の被保険者(男女計)の規模別 平成22年度におけるB型肝炎ウイルス検査の実績(1)被保険者【受検者】

		受検者 平成22年度							
		調査数	0人	1 5 9 9 人	1 0 5 4 9 9 人	5 0 5 9 9 9 人	1 0 4 0 9 9 人	5 0 0 0 人 以上	無回答
	全体	778 100.0	231 29.7	33 4.2	64 8.2	36 4.6	64 8.2	32 4.1	318 40.9
保険適用者数 被保険者／ 男女計	～499人	32 100.0	13 40.6	3 9.4	7 21.9	-	-	-	9 28.1
	500～999人	66 100.0	21 31.8	10 15.2	14 21.2	1 1.5	-	-	20 30.3
	1000～1999人	126 100.0	37 29.4	8 6.3	5 4.0	12 9.5	7 5.6	-	57 45.2
	2000～4999人	216 100.0	69 31.9	8 3.7	19 8.8	13 6.0	24 11.1	-	83 38.4
	5000～9999人	128 100.0	32 25.0	4 3.1	10 7.8	6 4.7	14 10.9	4 3.1	58 45.3
	10000～19999人	97 100.0	29 29.9	-	5 5.2	2 2.1	12 12.4	6 6.2	43 44.3
	20000人以上	107 100.0	28 26.2	-	4 3.7	2 1.9	7 6.5	22 20.6	44 41.1

( $\chi^2=168.690, df=30, p=0.000 < 0.05$ )

【うち陽性者】

		うち陽性者 平成22年度								
		調査数	0人	1 5 4 人	5 5 9 人	1 0 5 2 9 人	3 0 5 4 9 人	5 0 5 9 9 人	1 0 0 0 人 以上	無回答
	全体	778 100.0	69 8.9	25 3.2	17 2.2	27 3.5	7 0.9	8 1.0	10 1.3	615 79.0
保険適用者数 被保険者／ 男女計	～499人	32 100.0	7 21.9	2 6.3	-	-	-	-	-	23 71.9
	500～999人	66 100.0	15 22.7	3 4.5	1 1.5	2 3.0	-	-	-	45 68.2
	1000～1999人	126 100.0	8 6.3	4 3.2	5 4.0	4 3.2	-	-	-	105 83.3
	2000～4999人	216 100.0	18 8.3	6 2.8	5 2.3	8 3.7	-	-	-	179 82.9
	5000～9999人	128 100.0	7 5.5	6 4.7	3 2.3	5 3.9	3 2.3	1 0.8	-	103 80.5
	10000～19999人	97 100.0	3 3.1	1 1.0	2 2.1	5 5.2	2 2.1	3 3.1	3 3.1	78 80.4
	20000人以上	107 100.0	10 9.3	3 2.8	1 0.9	3 2.8	2 1.9	4 3.7	7 6.5	77 72.0

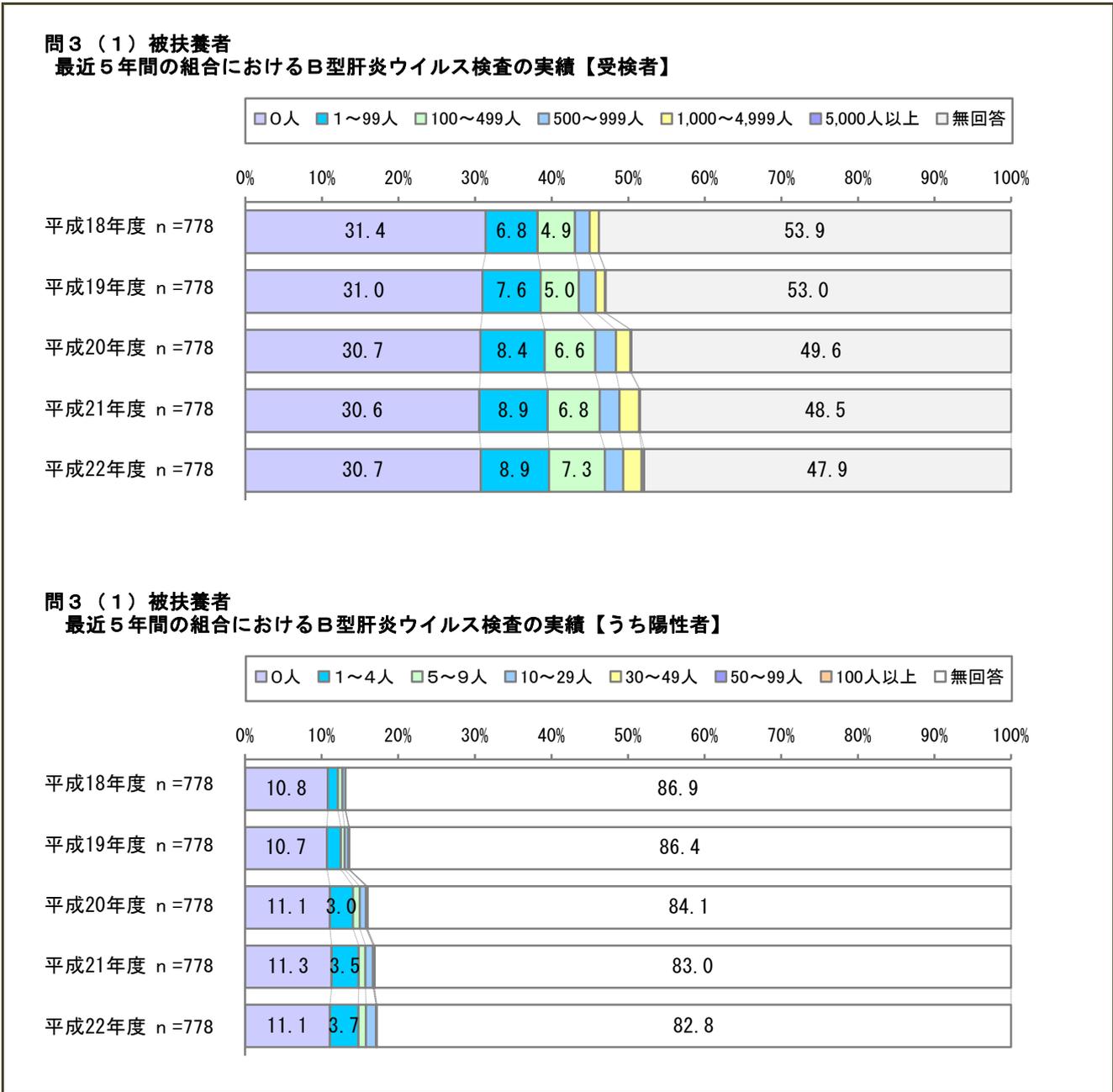
( $\chi^2=74.277, df=36, p=0.000 < 0.05$ )

表 4-2- 19 組合の被保険者(男女計)の規模別 平成22年度におけるB型肝炎ウイルス検査の受検率(1)被保険者

		問3(1)B型肝炎検査受検率 被保険者 平成22年度				
		調査数	平均	標準偏差	最小値	最大値
	全体	458 100.0	15.0	24.8	0.0	100.3
保険 適用者数 被 保 険 者 / 男 女 計	~499人	23 5.0	27.7	39.1	0.0	100.3
	500~999人	46 10.0	16.0	23.5	0.0	82.6
	1000~1999人	69 15.1	17.7	28.1	0.0	96.5
	2000~4999人	133 29.0	14.2	22.9	0.0	100.0
	5000~9999人	70 15.3	14.3	24.9	0.0	99.8
	10000~19999人	54 11.8	10.4	19.8	0.0	91.1
	20000人以上	63 13.8	13.2	20.4	0.0	77.6

問3(1) 最近5年間の貴組合におけるB型肝炎ウイルス検査の実績についてうかがいます。事業年度別、被扶養者別の受検者人数をお答えください。また、そのうち陽性の方の人数もわかる場合はお答えください。

図 4-2- 18 最近5年間の組合におけるB型肝炎ウイルス検査の実績(2)被扶養者



最近5年間の被扶養者に対するB型肝炎ウイルス検査の実績について、組合にたずねたところ、受検者は「0人」との回答が、平成18年度(31.4%)、平成19年度(31.0%)、平成20年度(30.7%)、平成21年度(30.6%)、平成22年度(30.7%)でいずれも3割から3割強となっている。「1～99人」、「100～499人」、「500～999人」、「1,000～4,999人」、「5,000人以上」においては過去5年、それぞれ1割に満たない。受検者のうち、陽性者はいずれの年度も1割未満となっている。

表 4-2- 20 最近5年間の組合におけるB型肝炎ウイルス検査の実績(2)被扶養者

## 【受検者】

	調査数	0人	1 ~ 99人	100 ~ 499人	500 ~ 999人	1,000 ~ 4,999人	5,000人以上	無回答
平成18年度	778 100.0	244 31.4	53 6.8	38 4.9	15 1.9	9 1.2	- -	419 53.9
平成19年度	778 100.0	241 31.0	59 7.6	39 5.0	17 2.2	9 1.2	1 0.1	412 53.0
平成20年度	778 100.0	239 30.7	65 8.4	51 6.6	21 2.7	15 1.9	1 0.1	386 49.6
平成21年度	778 100.0	238 30.6	69 8.9	53 6.8	20 2.6	20 2.6	1 0.1	377 48.5
平成22年度	778 100.0	239 30.7	69 8.9	57 7.3	19 2.4	19 2.4	2 0.3	373 47.9

## 【うち陽性者】

	調査数	0人	1 ~ 4人	5 ~ 9人	10 ~ 29人	30 ~ 49人	50 ~ 99人	100人以上	無回答
平成18年度	778 100.0	84 10.8	10 1.3	5 0.6	3 0.4	- -	- -	- -	676 86.9
平成19年度	778 100.0	83 10.7	14 1.8	4 0.5	4 0.5	1 0.1	- -	- -	672 86.4
平成20年度	778 100.0	86 11.1	23 3.0	7 0.9	6 0.8	1 0.1	- -	1 0.1	654 84.1
平成21年度	778 100.0	88 11.3	27 3.5	7 0.9	8 1.0	1 0.1	- -	1 0.1	646 83.0
平成22年度	778 100.0	86 11.1	29 3.7	8 1.0	10 1.3	- -	1 0.1	- -	644 82.8

表 4-2- 21 組合の被保険者(男女計)の規模別 平成22年度におけるB型肝炎ウイルス検査の実績(2)被扶養者【受検者】

		受検者 平成22年度							
		調査数	0人	1 5 9 9 人	1 0 5 4 9 9 人	5 0 5 9 9 人	1 0 4 0 5 9 9 人	5 0 0 0 人 以上	無回答
	全体	778 100.0	239 30.7	69 8.9	57 7.3	19 2.4	19 2.4	2 0.3	373 47.9
保険適用者数 被保険者／男女計	～499人	32 100.0	15 46.9	6 18.8	-	-	-	-	11 34.4
	500～999人	66 100.0	24 36.4	15 22.7	4 6.1	-	-	-	23 34.8
	1000～1999人	126 100.0	32 25.4	12 9.5	10 7.9	-	-	-	72 57.1
	2000～4999人	216 100.0	67 31.0	21 9.7	21 9.7	7 3.2	-	-	100 46.3
	5000～9999人	128 100.0	37 28.9	7 5.5	12 9.4	3 2.3	4 3.1	-	65 50.8
	10000～19999人	97 100.0	29 29.9	3 3.1	7 7.2	5 5.2	3 3.1	-	50 51.5
	20000人以上	107 100.0	33 30.8	5 4.7	3 2.8	4 3.7	12 11.2	2 1.9	48 44.9

( $\chi^2=92.410, df=30, p=0.000 < 0.05$ )

【うち陽性者】

		うち陽性者 平成22年度								
		調査数	0人	1 5 4 人	5 9 人	1 0 5 2 9 人	3 0 5 4 9 人	5 0 5 9 9 人	1 0 0 人 以上	無回答
	全体	778 100.0	86 11.1	29 3.7	8 1.0	10 1.3	-	1 0.1	-	644 82.8
保険適用者数 被保険者／男女計	～499人	32 100.0	8 25.0	-	-	-	-	-	-	24 75.0
	500～999人	66 100.0	15 22.7	4 6.1	1 1.5	-	-	-	-	46 69.7
	1000～1999人	126 100.0	8 6.3	4 3.2	-	-	-	-	-	114 90.5
	2000～4999人	216 100.0	22 10.2	3 1.4	3 1.4	-	-	-	-	188 87.0
	5000～9999人	128 100.0	10 7.8	8 6.3	1 0.8	1 0.8	-	-	-	108 84.4
	10000～19999人	97 100.0	6 6.2	5 5.2	2 2.1	4 4.1	-	-	-	80 82.5
	20000人以上	107 100.0	16 15.0	5 4.7	1 0.9	5 4.7	-	1 0.9	-	79 73.8

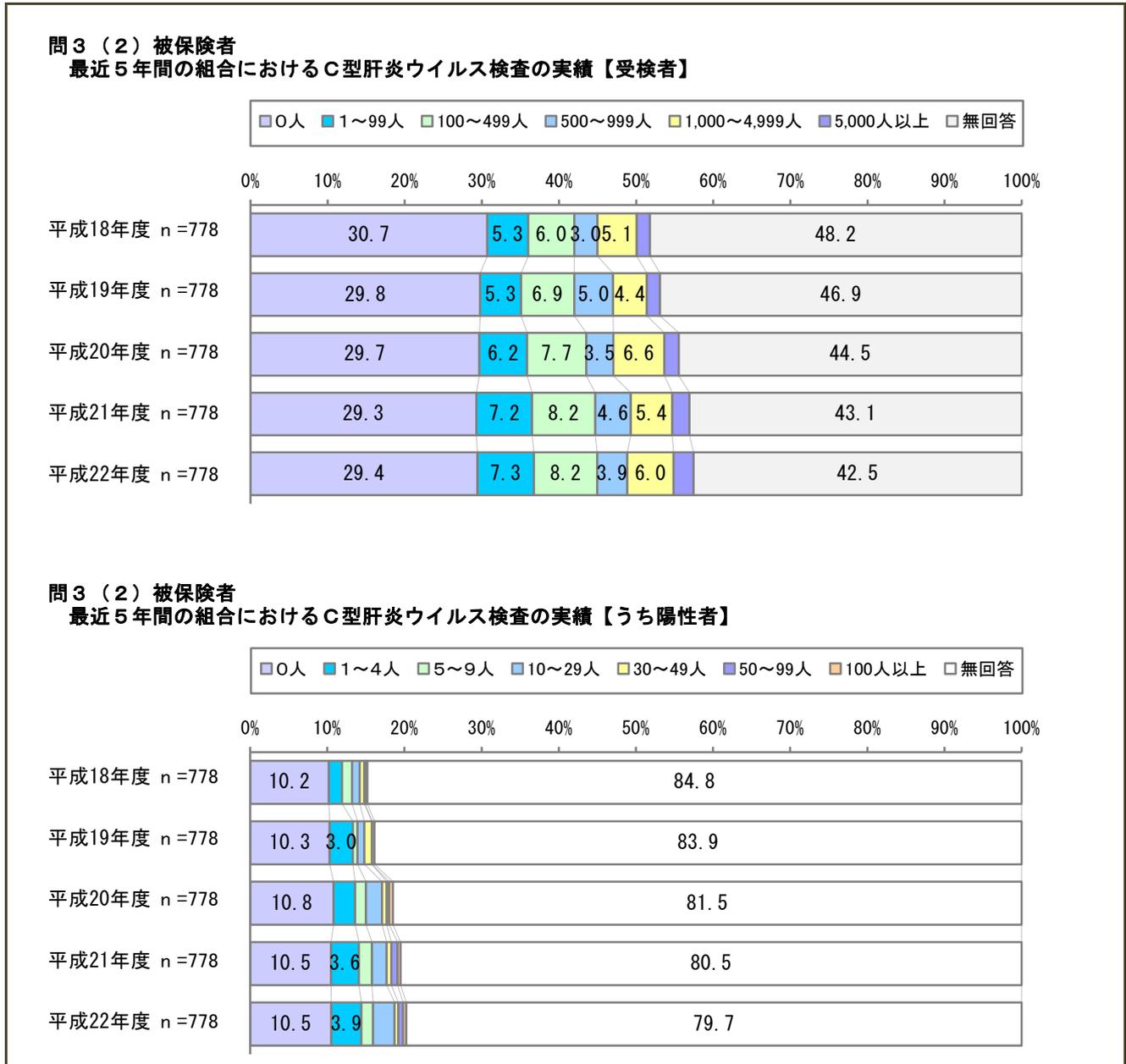
( $\chi^2=36.048, df=24, p=0.054$  n.s.)

表 4-2- 22 組合の被保険者(男女計)の規模別 平成22年度におけるB型肝炎ウイルス検査の受検率(2)被扶養者

		問3(1)B型肝炎検査受検率 被扶養者 平成22年度				
		調査数	平均	標準偏差	最小値	最大値
	全体	403 100.0	2.8	7.0	0.0	100.0
保険 適用者 数  被 保 険 者 / 男 女 計	~499人	21 5.2	7.9	21.9	0.0	100.0
	500~999人	43 10.7	2.5	4.2	0.0	13.8
	1000~1999人	54 13.4	2.7	5.0	0.0	20.4
	2000~4999人	116 28.8	3.1	5.6	0.0	24.8
	5000~9999人	63 15.6	2.5	5.3	0.0	28.5
	10000~19999人	47 11.7	1.5	3.1	0.0	13.1
	20000人以上	59 14.6	2.1	4.3	0.0	16.9

問3(2) 最近5年間の貴組合におけるC型肝炎ウイルス検査の実績についてうかがいます。事業年度別、被保険者の受検者人数をお答えください。また、そのうち陽性の方の人数もわかる場合はお答えください。

図4-2- 19 最近5年間の組合におけるC型肝炎ウイルス検査の実績(1)被保険者



最近5年間の被保険者に対するC型肝炎ウイルス検査の実績について、組合にたずねたところ、受検者は「0人」との回答が、平成18年度(30.7%)、平成19年度(29.8%)、平成20年度(29.7%)、平成21年度(29.3%)、平成22年度(29.4%)でいずれも3割前後となっている。「1~99人」、「100~499人」、「500~999人」、「1,000~4,999人」、「5,000人以上」においては過去5年、それぞれ1割に満たない。

受検者のうち、陽性者はいずれの年度も1割未満となっている。

表4-2- 23 最近5年間の組合におけるC型肝炎ウイルス検査の実績(1)被保険者

## 【受検者】

	調査数	0人	1 ～ 9人	10 ～ 49人	50 ～ 99人	100 ～ 499人	500 人以上	無回答
平成18年度	778 100.0	239 30.7	41 5.3	47 6.0	23 3.0	40 5.1	13 1.7	375 48.2
平成19年度	778 100.0	232 29.8	41 5.3	54 6.9	39 5.0	34 4.4	13 1.7	365 46.9
平成20年度	778 100.0	231 29.7	48 6.2	60 7.7	27 3.5	51 6.6	15 1.9	346 44.5
平成21年度	778 100.0	228 29.3	56 7.2	64 8.2	36 4.6	42 5.4	17 2.2	335 43.1
平成22年度	778 100.0	229 29.4	57 7.3	64 8.2	30 3.9	47 6.0	20 2.6	331 42.5

## 【うち陽性者】

	調査数	0人	1 ～ 4人	5 ～ 9人	10 ～ 29人	30 ～ 49人	50 ～ 99人	100 人以上	無回答
平成18年度	778 100.0	79 10.2	13 1.7	10 1.3	8 1.0	5 0.6	1 0.1	2 0.3	660 84.8
平成19年度	778 100.0	80 10.3	23 3.0	5 0.6	7 0.9	8 1.0	-	2 0.3	653 83.9
平成20年度	778 100.0	84 10.8	22 2.8	11 1.4	16 2.1	5 0.6	2 0.3	4 0.5	634 81.5
平成21年度	778 100.0	82 10.5	28 3.6	13 1.7	15 1.9	5 0.6	6 0.8	3 0.4	626 80.5
平成22年度	778 100.0	82 10.5	30 3.9	12 1.5	22 2.8	4 0.5	5 0.6	3 0.4	620 79.7

表 4-2- 24 組合の被保険者(男女計)の規模別 平成22年度におけるC型肝炎ウイルス検査の実績(1)被保険者【受検者】

		受検者 平成22年度							
		調査数	0人	1 5 9 9 人	1 0 5 4 9 9 人	5 0 5 9 9 9 人	1 0 4 0 9 9 9 人	5 0 0 0 人 以上	無回答
	全体	778 100.0	229 29.4	57 7.3	64 8.2	30 3.9	47 6.0	20 2.6	331 42.5
保険適用者数 被保険者／ 男女計	～499人	32 100.0	15 46.9	6 18.8	1 3.1	-	-	-	10 31.3
	500～999人	66 100.0	21 31.8	15 22.7	9 13.6	1 1.5	-	-	20 30.3
	1000～1999人	126 100.0	36 28.6	16 12.7	7 5.6	5 4.0	4 3.2	-	58 46.0
	2000～4999人	216 100.0	69 31.9	10 4.6	19 8.8	14 6.5	10 4.6	-	94 43.5
	5000～9999人	128 100.0	31 24.2	7 5.5	13 10.2	2 1.6	14 10.9	3 2.3	58 45.3
	10000～19999人	97 100.0	28 28.9	-	9 9.3	1 1.0	10 10.3	4 4.1	45 46.4
	20000人以上	107 100.0	27 25.2	3 2.8	5 4.7	6 5.6	9 8.4	13 12.1	44 41.1

( $\chi^2=126.073, df=30, p=0.000 < 0.05$ )

【うち陽性者】

		うち陽性者 平成22年度								
		調査数	0人	1 5 4 人	5 5 9 人	1 0 5 2 9 人	3 0 5 4 9 人	5 0 5 9 9 人	1 0 0 0 人 以上	無回答
	全体	778 100.0	82 10.5	30 3.9	12 1.5	22 2.8	4 0.5	5 0.6	3 0.4	620 79.7
保険適用者数 被保険者／ 男女計	～499人	32 100.0	9 28.1	-	-	-	-	-	-	23 71.9
	500～999人	66 100.0	15 22.7	6 9.1	-	-	-	-	-	45 68.2
	1000～1999人	126 100.0	11 8.7	2 1.6	2 1.6	2 1.6	-	-	-	109 86.5
	2000～4999人	216 100.0	19 8.8	9 4.2	4 1.9	3 1.4	-	-	-	181 83.8
	5000～9999人	128 100.0	8 6.3	7 5.5	3 2.3	7 5.5	-	-	-	103 80.5
	10000～19999人	97 100.0	5 5.2	4 4.1	2 2.1	5 5.2	-	2 2.1	1 1.0	78 80.4
	20000人以上	107 100.0	13 12.1	2 1.9	1 0.9	5 4.7	4 3.7	3 2.8	2 1.9	77 72.0

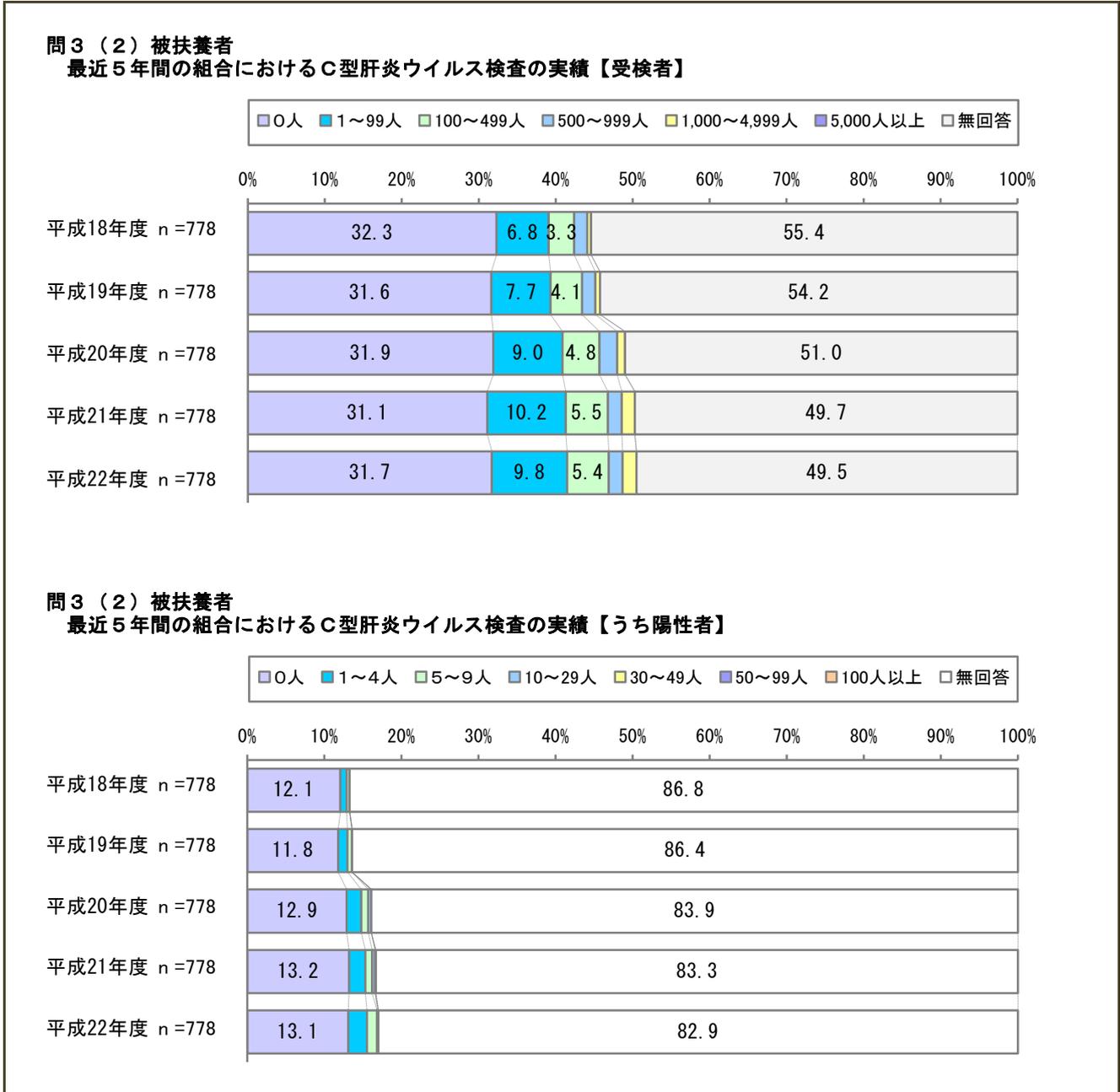
( $\chi^2=68.294, df=36, p=0.001 < 0.05$ )

表 4-2- 25 組合の被保険者(男女計)の規模別 平成22年度におけるC型肝炎ウイルス検査の受検率(1)被保険者

		問3(2)C型肝炎検査受検率 被保険者 平成22年度				
		調査数	平均	標準偏差	最小値	最大値
	全体	443 100.0	9.3	18.1	0.0	95.0
保険 適用者数 被 保 険 者 / 男 女 計	~499人	22 5.0	10.0	23.3	0.0	95.0
	500~999人	46 10.4	11.4	19.4	0.0	84.1
	1000~1999人	68 15.3	10.4	21.2	0.0	90.6
	2000~4999人	122 27.5	9.0	16.7	0.0	82.5
	5000~9999人	70 15.8	10.5	19.3	0.0	92.9
	10000~19999人	52 11.7	7.4	14.2	0.0	57.0
	20000人以上	63 14.2	6.8	14.8	0.0	79.1

問3(2) 最近5年間の貴組合におけるC型肝炎ウイルス検査の実績についてうかがいます。事業年度別、被扶養者の受検者人数をお答えください。また、そのうち陽性の方の人数もわかる場合はお答えください。

図4-2- 20 最近5年間の組合におけるC型肝炎ウイルス検査の実績(2)被扶養者



最近5年間の被扶養者に対するC型肝炎ウイルス検査の実績について、組合にたずねたところ、受検者は「0人」との回答が、平成18年度(32.3%)、平成19年度(31.6%)、平成20年度(31.9%)、平成21年度(31.1%)、平成22年度(31.7%)でいずれも3割強となっている。「1～99人」においては、平成20年度から平成22年度にかけて割合がやや高く、1割前後となっている。「100～499人」、「500～999人」、「1,000～4,999人」、「5,000人以上」においては過去5年、それぞれ1割に満たない。

受検者のうち、陽性者はいずれの年度も1割未満となっている。

表4-2- 26 最近5年間の組合におけるC型肝炎ウイルス検査の実績(2)被扶養者

## 【受検者】

	調査数	0人	1 ~ 99人	100 ~ 499人	500 ~ 999人	1,000 ~ 4,999人	5,000人以上	無回答
平成18年度	778 100.0	251 32.3	53 6.8	26 3.3	13 1.7	4 0.5	-	431 55.4
平成19年度	778 100.0	246 31.6	60 7.7	32 4.1	13 1.7	5 0.6	-	422 54.2
平成20年度	778 100.0	248 31.9	70 9.0	37 4.8	18 2.3	8 1.0	-	397 51.0
平成21年度	778 100.0	242 31.1	79 10.2	43 5.5	14 1.8	13 1.7	-	387 49.7
平成22年度	778 100.0	247 31.7	76 9.8	42 5.4	14 1.8	14 1.8	-	385 49.5

## 【うち陽性者】

	調査数	0人	1 ~ 4人	5 ~ 9人	10 ~ 29人	30 ~ 49人	50 ~ 99人	100人以上	無回答
平成18年度	778 100.0	94 12.1	6 0.8	3 0.4	-	-	-	-	675 86.8
平成19年度	778 100.0	92 11.8	9 1.2	5 0.6	-	-	-	-	672 86.4
平成20年度	778 100.0	100 12.9	15 1.9	7 0.9	3 0.4	-	-	-	653 83.9
平成21年度	778 100.0	103 13.2	16 2.1	7 0.9	3 0.4	-	1 0.1	-	648 83.3
平成22年度	778 100.0	102 13.1	19 2.4	10 1.3	1 0.1	1 0.1	-	-	645 82.9

表 4-2- 27 組合の被保険者(男女計)の規模別 平成22年度におけるC型肝炎ウイルス検査の実績(2)被扶養者【受検者】

		受検者 平成22年度							
		調査数	0人	1 5 9 9 人	1 0 5 4 9 9 人	5 0 5 9 9 9 人	1 0 4 0 9 9 人	5 0 0 0 人 以上	無回答
	全体	778 100.0	247 31.7	76 9.8	42 5.4	14 1.8	14 1.8	-	385 49.5
保険 適用者数 被 保 険 者 / 男 女 計	~499人	32 100.0	16 50.0	5 15.6	-	-	-	-	11 34.4
	500~999人	66 100.0	28 42.4	13 19.7	2 3.0	-	-	-	23 34.8
	1000~1999人	126 100.0	33 26.2	14 11.1	6 4.8	-	-	-	73 57.9
	2000~4999人	216 100.0	69 31.9	20 9.3	17 7.9	2 0.9	-	-	108 50.0
	5000~9999人	128 100.0	37 28.9	10 7.8	9 7.0	4 3.1	3 2.3	-	65 50.8
	10000~19999人	97 100.0	28 28.9	6 6.2	4 4.1	4 4.1	3 3.1	-	52 53.6
	20000人以上	107 100.0	34 31.8	8 7.5	4 3.7	4 3.7	8 7.5	-	49 45.8

( $\chi^2=53.478, df=24, p=0.001 < 0.05$ )

【うち陽性者】

		うち陽性者 平成22年度							
		調査数	0人	1 5 4 人	5 9 人	1 0 2 9 人	3 0 4 9 人	5 0 9 9 人	1 0 0 人 以上
	全体	778 100.0	102 13.1	19 2.4	10 1.3	1 0.1	1 0.1	-	645 82.9
保険 適用者数 被 保 険 者 / 男 女 計	~499人	32 100.0	8 25.0	-	-	-	-	-	24 75.0
	500~999人	66 100.0	18 27.3	2 3.0	-	-	-	-	46 69.7
	1000~1999人	126 100.0	9 7.1	2 1.6	-	-	-	-	115 91.3
	2000~4999人	216 100.0	22 10.2	4 1.9	2 0.9	-	-	-	188 87.0
	5000~9999人	128 100.0	15 11.7	4 3.1	1 0.8	-	-	-	108 84.4
	10000~19999人	97 100.0	9 9.3	4 4.1	3 3.1	1 1.0	-	-	80 82.5
	20000人以上	107 100.0	20 18.7	3 2.8	4 3.7	-	1 0.9	-	79 73.8

( $\chi^2=23.214, df=24, p=0.507$  n.s.)

表 4-2- 28 組合の被保険者(男女計)の規模別 平成22年度におけるC型肝炎ウイルス検査の受検率(2)被扶養者

		問3(2)C型肝炎検査受検率 被扶養者 平成22年度				
		調査数	平均	標準偏差	最小値	最大値
	全 体	391 100.0	1.8	4.3	0.0	28.8
保険適用者数 被保険者／男女計	～499人	21 5.4	2.4	6.6	0.0	28.8
	500～999人	43 11.0	1.4	3.2	0.0	13.8
	1000～1999人	53 13.6	2.0	4.3	0.0	20.4
	2000～4999人	108 27.6	2.1	4.5	0.0	24.8
	5000～9999人	63 16.1	2.0	4.6	0.0	22.4
	10000～19999人	45 11.5	1.6	4.0	0.0	22.3
	20000人以上	58 14.8	1.0	2.7	0.0	16.9

問3(3) <※B型・C型検査を同時に実施>最近5年間の貴組合における肝炎ウイルス検査の実績について  
うかがいます。事業年度別、被保険者の受検者人数をお答えください。また、そのうち陽性の方の人数もわか  
る場合はお答えください。

図4-2- 21 ※B型・C型検査を同時に実施

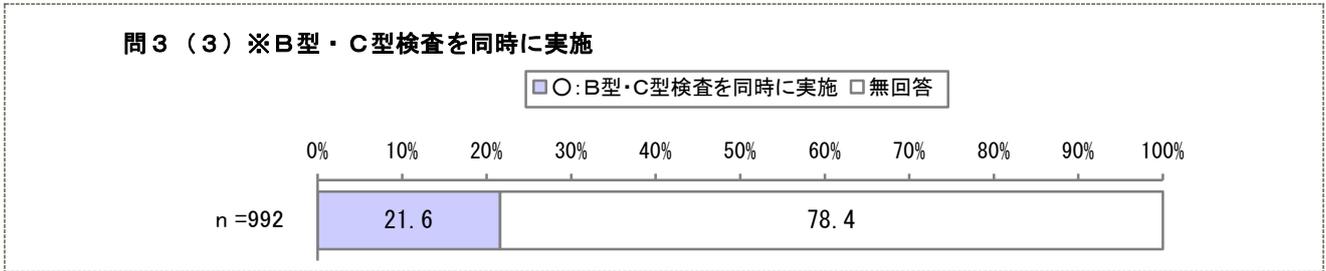
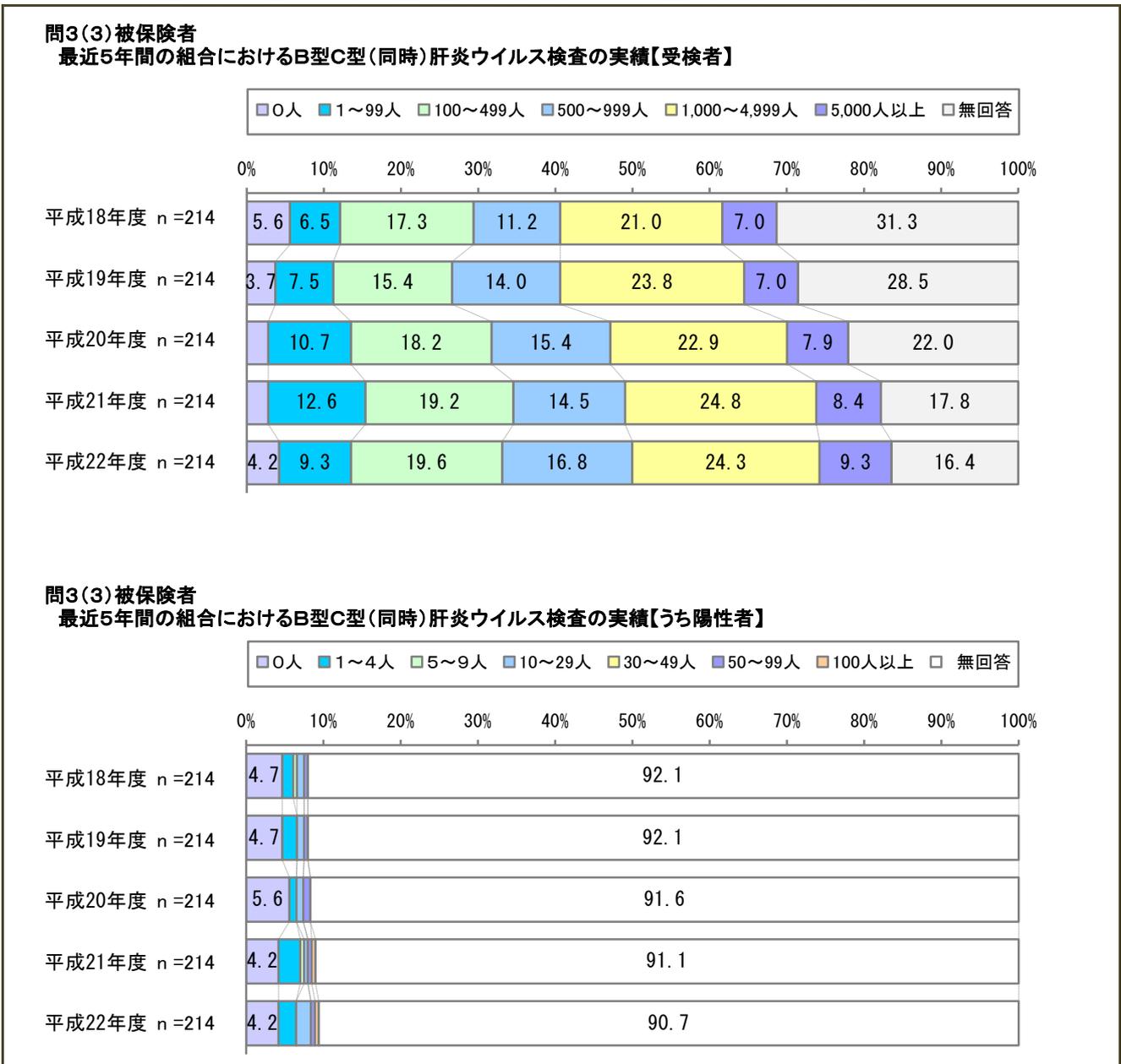


図4-2- 22 最近5年間の組合におけるB型C型(同時)肝炎ウイルス検査の実績(1)被保険者



「B型・C型検査を同時に実施しており、それぞれの検査別の人数が回答できない」(21.6%)との回答は2割強となっている。

最近5年間の被保険者に対するB型C型(同時)肝炎ウイルス検査の実績について、組合にたずねたところ、受検者は年度が上がるにつれて増加する傾向にあり、平成22年度では「1,000～4,999人」(24.3%)、「100～499人」(19.6%)が2割前後、「500～999人」(16.8%)が1割台半ばとなっている。「0人」との回答は過去5年、1割に満たない。

受検者のうち、陽性者はいずれの年度も1割未満となっている。

表4-2-29 最近5年間の組合におけるB型C型(同時)肝炎ウイルス検査の実績(1)被保険者

【受検者】

	調査数	0人	1 ～ 99人	1 0 ～ 999人	5 0 ～ 999人	1 0 ～ 499人	5 0 ～ 999人以上	無回答
平成18年度	214 100.0	12 5.6	14 6.5	37 17.3	24 11.2	45 21.0	15 7.0	67 31.3
平成19年度	214 100.0	8 3.7	16 7.5	33 15.4	30 14.0	51 23.8	15 7.0	61 28.5
平成20年度	214 100.0	6 2.8	23 10.7	39 18.2	33 15.4	49 22.9	17 7.9	47 22.0
平成21年度	214 100.0	6 2.8	27 12.6	41 19.2	31 14.5	53 24.8	18 8.4	38 17.8
平成22年度	214 100.0	9 4.2	20 9.3	42 19.6	36 16.8	52 24.3	20 9.3	35 16.4

【うち陽性者】

	調査数	0人	1 ～ 4人	5 ～ 9人	1 0 ～ 99人	3 0 ～ 49人	5 0 ～ 99人	1 0 ～ 99人以上	無回答
平成18年度	214 100.0	10 4.7	3 1.4	1 0.5	2 0.9	-	1 0.5	-	197 92.1
平成19年度	214 100.0	10 4.7	4 1.9	-	2 0.9	-	1 0.5	-	197 92.1
平成20年度	214 100.0	12 5.6	2 0.9	-	2 0.9	-	2 0.9	-	196 91.6
平成21年度	214 100.0	9 4.2	6 2.8	1 0.5	1 0.5	-	1 0.5	1 0.5	195 91.1
平成22年度	214 100.0	9 4.2	5 2.3	-	4 1.9	-	1 0.5	1 0.5	194 90.7

表 4-2- 30 組合の被保険者(男女計)の規模別 平成22年度におけるB型C型(同時)肝炎検査の実績(1)被保険者【受検者】

		受検者 平成22年度							
		調査数	0人	1 ~ 9 9 人	1 0 ~ 4 9 9 人	5 0 ~ 9 9 9 人	1 0 ~ 4 9 9 人	5 0 ~ 9 9 9 人以上	無回答
	全体	214 100.0	9 4.2	20 9.3	42 19.6	36 16.8	52 24.3	20 9.3	35 16.4
保険 適用 者 数  被 保 険 者 / 男 女 計	~499人	5 100.0	1 20.0	2 40.0	2 40.0	-	-	-	-
	500~999人	15 100.0	1 6.7	5 33.3	5 33.3	2 13.3	-	-	2 13.3
	1000~1999人	29 100.0	2 6.9	3 10.3	7 24.1	12 41.4	1 3.4	-	4 13.8
	2000~4999人	61 100.0	-	8 13.1	14 23.0	12 19.7	16 26.2	-	11 18.0
	5000~9999人	39 100.0	2 5.1	1 2.6	10 25.6	4 10.3	17 43.6	1 2.6	4 10.3
	10000~19999人	25 100.0	2 8.0	-	2 8.0	2 8.0	10 40.0	2 8.0	7 28.0
	20000人以上	39 100.0	1 2.6	1 2.6	1 2.6	4 10.3	8 20.5	17 43.6	7 17.9

( $\chi^2=132.607, df=30, p=0.000 < 0.05$ )

【うち陽性者】

		うち陽性者 平成22年度								
		調査数	0人	1 ~ 4 人	5 ~ 9 人	1 0 ~ 4 9 人	3 0 ~ 4 9 人	5 0 ~ 9 9 人	1 0 ~ 9 9 人以上	無回答
	全体	214 100.0	9 4.2	5 2.3	-	4 1.9	-	1 0.5	1 0.5	194 90.7
保険 適用 者 数  被 保 険 者 / 男 女 計	~499人	5 100.0	2 40.0	1 20.0	-	-	-	-	-	2 40.0
	500~999人	15 100.0	1 6.7	1 6.7	-	-	-	-	-	13 86.7
	1000~1999人	29 100.0	2 6.9	-	-	-	-	-	1 3.4	26 89.7
	2000~4999人	61 100.0	2 3.3	3 4.9	-	1 1.6	-	-	-	55 90.2
	5000~9999人	39 100.0	1 2.6	-	-	-	-	-	-	38 97.4
	10000~19999人	25 100.0	1 4.0	-	-	1 4.0	-	-	-	23 92.0
	20000人以上	39 100.0	-	-	-	2 5.1	-	1 2.6	-	36 92.3

( $\chi^2=24.519, df=24, p=0.432$  n.s.)

表 4-2- 31 組合の被保険者(男女計)の規模別 平成22年度におけるB型C型(同時)肝炎検査の受検率(1)被保険者

		問3 B型・C型同時肝炎検査受検率 被保険者 平成22年度				
		調査数	平均	標準偏差	最小値	最大値
	全体	178 100.0	23.0	21.2	0.0	81.6
	保険適用者数 被保険者／男女計	～499人	5 2.8	31.8	31.1	0.0
500～999人		13 7.3	27.0	25.6	0.0	73.5
1000～1999人		25 14.0	30.5	20.3	0.0	68.0
2000～4999人		50 28.1	27.1	22.8	0.5	68.1
5000～9999人		35 19.7	19.3	17.9	0.0	71.9
10000～19999人		18 10.1	15.7	14.9	0.0	55.4
20000人以上		32 18.0	15.9	16.7	0.0	67.8

問3(3) <※B型・C型検査を同時に実施>最近5年間の貴組合における肝炎ウイルス検査の実績について  
うかがいます。事業年度別、被扶養者の受検者人数をお答えください。また、そのうち陽性の方の人数もわか  
る場合はお答えください。

図4-2- 23 最近5年間の組合におけるB型C型(同時)肝炎ウイルス検査の実績(2)被扶養者



最近5年間の被扶養者に対するB型C型(同時)肝炎ウイルス検査の実績について、組合にたずねたところ、受検者は年度が上がるにつれて増加する傾向にあり、平成22年度では「100~499人」(23.4%)が2割台半ば、「1~99人」(21.0%)が2割強などとなっている。一方、「0人」との回答は年度が上がるにつれて減少し、平成21年度以降は1割未満となっている。

受検者のうち、陽性者はいずれの年度も1割未満となっている。

表4-2- 32 最近5年間の組合におけるB型C型(同時)肝炎ウイルス検査の実績(2)被扶養者

## 【受検者】

	調査数	0人	1 ～ 9人	10 ～ 49人	50 ～ 99人	100 ～ 499人	500 人以上	無回答
平成18年度	214 100.0	25 11.7	36 16.8	37 17.3	9 4.2	10 4.7	-	97 45.3
平成19年度	214 100.0	23 10.7	36 16.8	43 20.1	9 4.2	12 5.6	-	91 42.5
平成20年度	214 100.0	22 10.3	39 18.2	48 22.4	13 6.1	11 5.1	1 0.5	80 37.4
平成21年度	214 100.0	19 8.9	46 21.5	51 23.8	12 5.6	12 5.6	2 0.9	72 33.6
平成22年度	214 100.0	20 9.3	45 21.0	50 23.4	15 7.0	11 5.1	2 0.9	71 33.2

## 【うち陽性者】

	調査数	0人	1 ～ 4人	5 ～ 9人	10 ～ 29人	30 ～ 49人	50 ～ 99人	100 人以上	無回答
平成18年度	214 100.0	12 5.6	-	-	1 0.5	-	-	1 0.5	200 93.5
平成19年度	214 100.0	12 5.6	-	-	1 0.5	-	-	1 0.5	200 93.5
平成20年度	214 100.0	12 5.6	-	-	-	1 0.5	-	1 0.5	200 93.5
平成21年度	214 100.0	13 6.1	-	-	-	1 0.5	-	1 0.5	199 93.0
平成22年度	214 100.0	13 6.1	-	-	1 0.5	-	-	1 0.5	199 93.0

表 4-2- 33 組合の被保険者(男女計)の規模別 平成22年度におけるB型C型(同時)肝炎検査の実績(2)被扶養者【受検者】

		受検者 平成22年度							
		調査数	0人	1 5 9 9 人	1 0 5 4 9 9 人	5 0 5 9 9 9 人	1 0 4 0 9 9 人	5 0 0 0 人 以上	無回答
	全体	214 100.0	20 9.3	45 21.0	50 23.4	15 7.0	11 5.1	2 0.9	71 33.2
保険 適用 者 数  被 保 険 者 / 男 女 計	~499人	5 100.0	1 20.0	3 60.0	- -	- -	- -	- -	1 20.0
	500~999人	15 100.0	1 6.7	6 40.0	3 20.0	- -	- -	- -	5 33.3
	1000~1999人	29 100.0	3 10.3	8 27.6	10 34.5	- -	- -	- -	8 27.6
	2000~4999人	61 100.0	7 11.5	14 23.0	14 23.0	6 9.8	1 1.6	- -	19 31.1
	5000~9999人	39 100.0	3 7.7	8 20.5	14 35.9	3 7.7	1 2.6	- -	10 25.6
	10000~19999人	25 100.0	2 8.0	5 20.0	4 16.0	2 8.0	1 4.0	- -	11 44.0
	20000人以上	39 100.0	3 7.7	1 2.6	4 10.3	4 10.3	8 20.5	2 5.1	17 43.6

( $\chi^2=62.210, df=30, p=0.000 < 0.05$ )

【うち陽性者】

		うち陽性者 平成22年度								
		調査数	0人	1 5 4 人	5 5 9 人	1 0 5 2 9 人	3 0 5 4 9 人	5 0 5 9 9 人	1 0 0 人 以上	無回答
	全体	214 100.0	13 6.1	- -	- -	1 0.5	- -	- -	1 0.5	199 93.0
保険 適用 者 数  被 保 険 者 / 男 女 計	~499人	5 100.0	2 40.0	- -	- -	- -	- -	- -	- -	3 60.0
	500~999人	15 100.0	1 6.7	- -	- -	- -	- -	- -	- -	14 93.3
	1000~1999人	29 100.0	2 6.9	- -	- -	- -	- -	- -	- -	27 93.1
	2000~4999人	61 100.0	4 6.6	- -	- -	- -	- -	- -	- -	57 93.4
	5000~9999人	39 100.0	1 2.6	- -	- -	- -	- -	- -	1 2.6	37 94.9
	10000~19999人	25 100.0	3 12.0	- -	- -	- -	- -	- -	- -	22 88.0
	20000人以上	39 100.0	- -	- -	- -	1 2.6	- -	- -	- -	38 97.4

( $\chi^2=21.923, df=12, p=0.038 < 0.05$ )

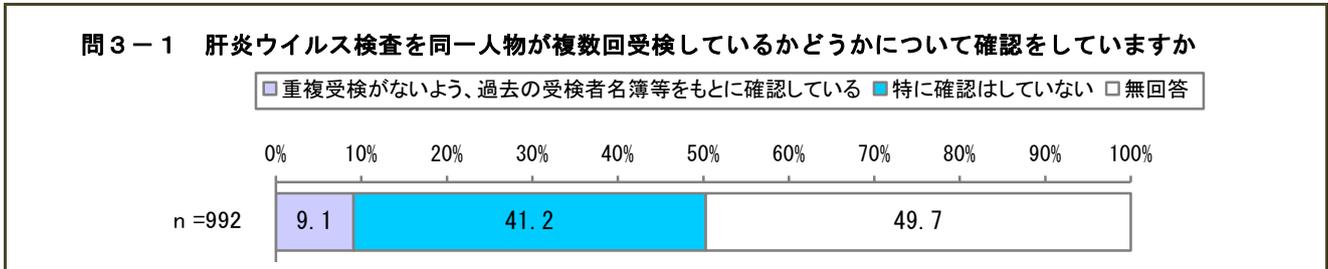
表 4-2- 34 組合の被保険者(男女計)の規模別 平成22年度におけるB型C型(同時)肝炎検査の受検率(2)被扶養者

		問3 B型・C型同時肝炎検査受検率 被扶養者 平成22年度				
		調査数	平均	標準偏差	最小値	最大値
	全体	141 100.0	6.3	7.7	0.0	32.9
保険 適用者 数  被 保 険 者 / 男 女 計	～499人	4 2.8	7.9	9.8	0.0	24.2
	500～999人	10 7.1	8.4	10.3	0.0	31.3
	1000～1999人	21 14.9	7.8	8.2	0.0	32.9
	2000～4999人	42 29.8	7.4	8.3	0.0	30.0
	5000～9999人	29 20.6	4.6	5.4	0.0	21.7
	10000～19999人	13 9.2	3.8	7.7	0.0	29.1
	20000人以上	22 15.6	4.9	5.4	0.0	21.8

問3-1 肝炎ウイルス検査を同一人物が複数回受検しているかどうかについて確認をしていますか。

1. 重複受検がないよう、過去の受検者名簿等をもとに確認している
2. 特に確認はしていない

図4-2- 24 肝炎ウイルス検査を同一人物が複数回受検しているかどうかについて確認をしていますか



肝炎ウイルス検査を同一人物が複数回受検しているかどうかについて確認しているかをたずねたところ「特に確認はしていない」(41.2%)が4割強、「重複回受検がないよう、過去の受検者名簿をもとに確認している」(9.1%)は1割未満にとどまっている。

表4-2- 35 肝炎ウイルス検査を同一人物が複数回受検しているかどうかについて確認をしていますか

		問3-1 肝炎ウイルス検査を同一人物が複数回受検しているかどうかについて確認をしていますか			
		調査数	て受重 い検複 る者受 検名 簿が ない よう に、 確認 過去 の	特 に 確 認 は し て い な い	無 回 答
	全 体	992 100.0	90 9.1	409 41.2	493 49.7
保 険 適 用 者 数	～499人	37 100.0	3 8.1	12 32.4	22 59.5
	500～999人	81 100.0	5 6.2	37 45.7	39 48.1
	1000～1999人	155 100.0	11 7.1	64 41.3	80 51.6
被 保 険 者 ／ 男 女 計	2000～4999人	277 100.0	22 7.9	122 44.0	133 48.0
	5000～9999人	167 100.0	19 11.4	67 40.1	81 48.5
	10000～19999人	122 100.0	9 7.4	44 36.1	69 56.6
	20000人以上	146 100.0	21 14.4	61 41.8	64 43.8

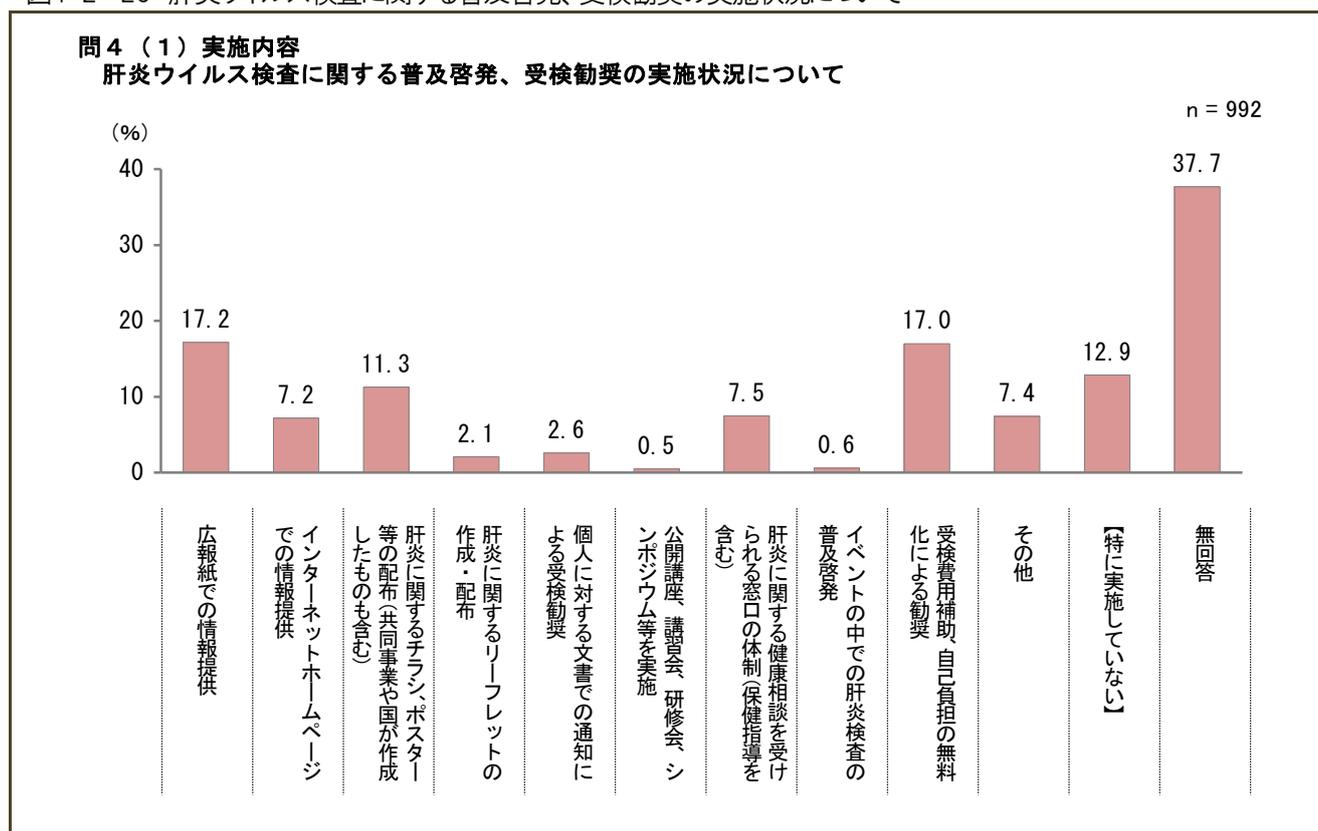
( $\chi^2=6.581, df=6, p=0.361$  n.s.)

## 4-3. 肝炎ウイルス検査に関する普及啓発、受検勧奨の実施状況

問4 貴組合における肝炎ウイルス検査に関する普及啓発、受検勧奨の実施状況について、お答えください（〇はいくつでもあてはまる番号につけてください）。

1. 広報紙での情報提供
2. インターネットホームページでの情報提供
3. 肝炎に関するチラシ、ポスター等の配布（共同事業や国が作成したものも含む）
4. 肝炎に関するリーフレットの作成・配布
5. 個人に対する文書での通知による受検勧奨
6. 公開講座、講習会、研修会、シンポジウム等を実施
7. 肝炎に関する健康相談を受けられる窓口の体制（保健指導を含む）
8. イベントの中での肝炎検査の普及啓発
9. 受検費用補助、自己負担の無料化による勧奨
10. その他

図4-2- 25 肝炎ウイルス検査に関する普及啓発、受検勧奨の実施状況について



肝炎ウイルス検査に関する普及啓発、受検勧奨の実施状況についてたずねたところ、「広報紙での情報提供」（17.2%）と「受検費用補助、自己負担の無料化による勧奨」（17.0%）がほぼ同程度で2割弱となっている。次いで「肝炎に関するチラシ、ポスター等の配布（共同事業や国が作成したものも含む）」（11.3%）が1割強、「肝炎に関する健康相談を受けられる窓口の体制（保健指導を含む）」（7.5%）と「インターネットホームページでの情報提供」（7.2%）が1割弱となっている。「特に実施していない」（12.9%）は1割強となっている。

表4-2- 36 肝炎ウイルス検査に関する普及啓発、受検勧奨の実施状況について

		(1)実施内容												
		調査数	広報紙での情報提供	インターネットホームページでの情報提供	肝炎に関するチラシ、ポスター等作成したもの(共同事業や国)	肝炎に関するリーフレットの作成・配布	個人に対する文書での通知による受検勧奨	公開講座、講習会、研修会、シンポジウム等を実施	肝炎に関する健康相談を受けられる窓口の体制(保健指導を含む)	肝炎に関する健康相談を受けられる窓口の体制(保健指導)	イベントの中での肝炎検査の普及啓発	受検費用補助、自己負担の無料化による勧奨	その他	【特に実施していない】
	全体	992 100.0	171 17.2	71 7.2	112 11.3	21 2.1	26 2.6	5 0.5	74 7.5	6 0.6	169 17.0	73 7.4	128 12.9	374 37.7
保険適用者数 被保険者／男女計	～499人	37 100.0	5 13.5	1 2.7	8 21.6	1 2.7	1 2.7	-	2 5.4	-	7 18.9	1 2.7	5 13.5	15 40.5
	500～999人	81 100.0	14 17.3	3 3.7	14 17.3	1 1.2	1 1.2	1 1.2	6 7.4	-	11 13.6	7 8.6	10 12.3	32 39.5
	1000～1999人	155 100.0	31 20.0	6 3.9	25 16.1	4 2.6	8 5.2	-	14 9.0	1 0.6	27 17.4	11 7.1	16 10.3	49 31.6
	2000～4999人	277 100.0	48 17.3	15 5.4	35 12.6	8 2.9	8 2.9	2 0.7	18 6.5	3 1.1	40 14.4	16 5.8	38 13.7	100 36.1
	5000～9999人	167 100.0	27 16.2	11 6.6	11 6.6	1 0.6	4 2.4	2 1.2	14 8.4	1 0.6	33 19.8	16 9.6	21 12.6	65 38.9
	10000～19999人	122 100.0	17 13.9	10 8.2	9 7.4	3 2.5	2 1.6	-	7 5.7	1 0.8	17 13.9	8 6.6	21 17.2	50 41.0
	20000人以上	146 100.0	27 18.5	24 16.4	9 6.2	3 2.1	2 1.4	-	13 8.9	-	32 21.9	14 9.6	17 11.6	58 39.7
		$\chi^2$	1.503	29.844	20.012	3.023	4.742	5.172	2.167	2.647	8.431	5.823	5.380	
	df	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	6	
	P	0.959 n.s.	0.000 <0.05	0.003 <0.05	0.806 n.s.	0.577 n.s.	0.522 n.s.	0.904 n.s.	0.852 n.s.	0.208 n.s.	0.443 n.s.	0.496 n.s.		

## 5. 調査結果：自治体調査

### 5-1. 自治体における肝炎対策推進にかかる計画・指針等の策定状況

問2 肝炎対策基本法9条1項が策定を義務づけている「肝炎対策基本指針」による、貴自治体における肝炎対策推進にかかる計画・指針等の策定状況について、お答えください。

1. 策定済みである → 策定年月 :平成( )年( )月
2. 策定中である → 策定予定年月:平成( )年( )月
3. 策定していない(都道府県の基本計画・指針等に基づき施策を展開)

図 5-1- 1 肝炎対策推進にかかる計画・指針等の策定状況について

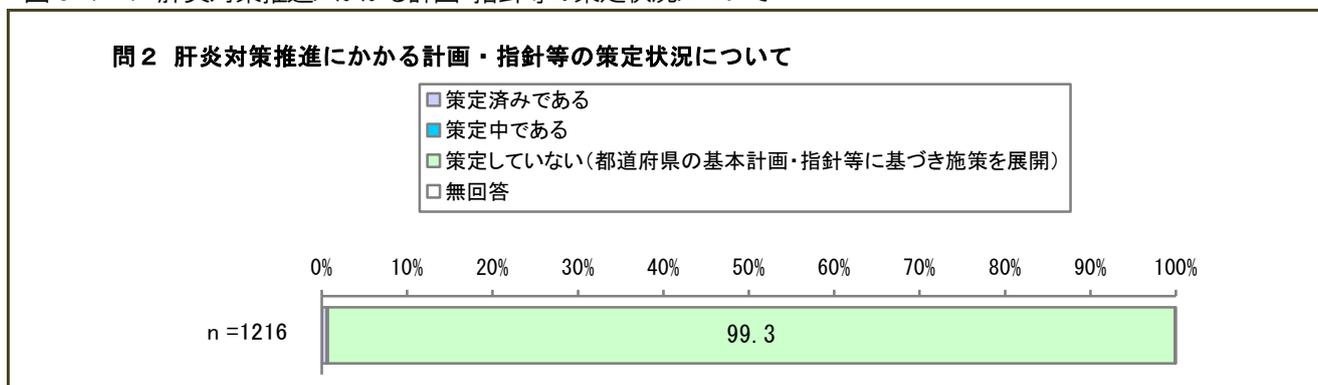
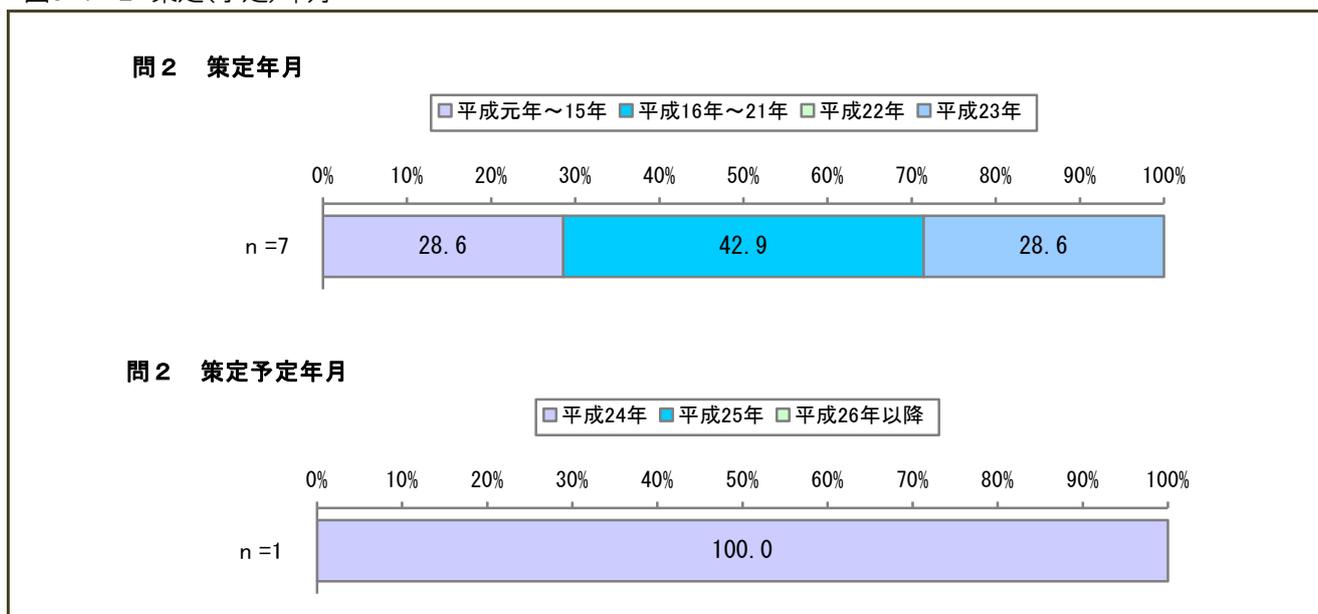


図5-1- 2 策定(予定)年月



自治体における肝炎対策推進にかかる計画・指針等の策定状況についてたずねたところ、「策定していない(都道府県の基本計画・指針等に基づき施策を展開)」が99.3%と大半を占めている。「策定済みである」と「策定中である」は1割未満となっている。

表 5-1-1 肝炎対策推進にかかる計画・指針等の策定状況について クロス集計表

		調査数	策定済みである	策定中である	策定していない(都府県に基本計画(指針等)に基づき実施を展開)	無回答
全 体		1216 100.0	7 0.6	1 0.1	1207 99.3	1 0.1
地域ブロック	北海道	118 100.0	- -	1 0.8	117 99.2	- -
	東北	141 100.0	1 0.7	- -	140 99.3	- -
	関東信越	330 100.0	- -	- -	330 100.0	- -
	東海北陸	154 100.0	2 1.3	- -	152 98.7	- -
	近畿	155 100.0	2 1.3	- -	153 98.7	- -
	中国	75 100.0	- -	- -	75 100.0	- -
	四国	59 100.0	1 1.7	- -	58 98.3	- -
	九州	184 100.0	1 0.5	- -	182 98.9	1 0.5

( $\chi^2=16.443, df=14, p=0.287$  n.s.)

表5-1-2 策定(予定)年月 クロス集計表

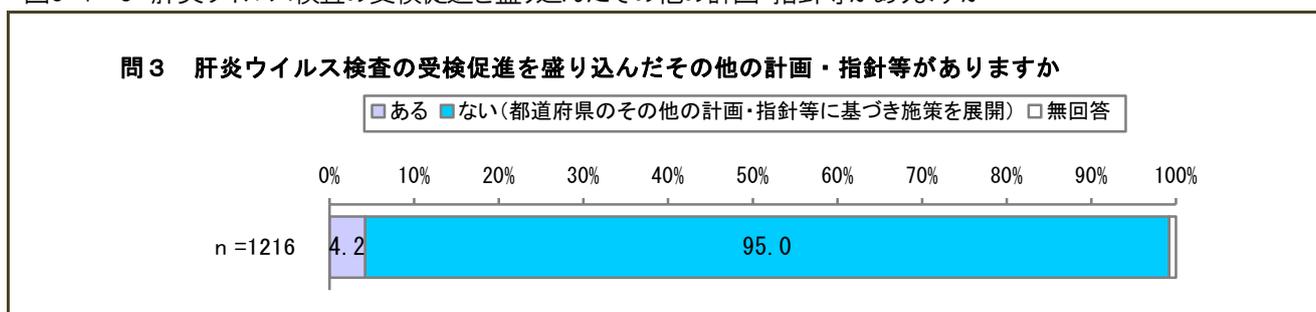
		調査数	平成元年～15年	平成16年～21年	平成22年	平成23年	調査数	平成24年	平成25年	平成26年以降
全 体		7 100.0	2 28.6	3 42.9	- -	2 28.6	1 100.0	1 100.0	- -	- -
地域ブロック	北海道	- -	- -	- -	- -	- -	1 100.0	1 100.0	- -	- -
	東北	1 100.0	1 100.0	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -
	関東信越	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -
	東海北陸	2 100.0	- -	1 50.0	- -	1 50.0	- -	- -	- -	- -
	近畿	2 100.0	1 50.0	- -	- -	1 50.0	- -	- -	- -	- -
	中国	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -	- -
	四国	1 100.0	- -	1 100.0	- -	- -	- -	- -	- -	- -
	九州	1 100.0	- -	1 100.0	- -	- -	- -	- -	- -	- -

( $\chi^2=7.583, df=8, p=0.475$  n.s.)

問3 貴自治体には、肝炎ウイルス検査の受検促進を盛り込んだその他の計画・指針等(例:医療計画・がん対策推進計画等)がありますか。

1. 肝炎ウイルス検査の受検促進を盛り込んだその他の計画・指針等がある
2. 肝炎ウイルス検査の受検促進を盛り込んだその他の計画・指針等はない  
(都道府県のその他の計画・指針等に基づき施策を展開)

図5-1-3 肝炎ウイルス検査の受検促進を盛り込んだその他の計画・指針等がありますか



肝炎ウイルス検査の受検促進を盛り込んだその他の計画・指針等(例:医療計画・がん対策推進計画等)があるかをたずねたところ、「ない」が95.0%と大半を占めている。「ある」は4.2%にとどまっている。

表5-1-3 肝炎ウイルス検査の受検促進を盛り込んだその他の計画・指針等がありますか クロス集計表

		調査数	ある	開にのな ～基他い づのへ き計都 施画道 策・府 展指県 等針の 等そ	無回答
全体		1216	51	1155	10
		100.0	4.2	95.0	0.8
地域 ブ ロ ッ ク	北海道	118	7	111	-
		100.0	5.9	94.1	-
	東北	141	7	132	2
		100.0	5.0	93.6	1.4
	関東信越	330	10	319	1
		100.0	3.0	96.7	0.3
	東海北陸	154	2	150	2
		100.0	1.3	97.4	1.3
	近畿	155	10	144	1
	100.0	6.5	92.9	0.6	
中国	75	1	74	-	
	100.0	1.3	98.7	-	
四国	59	1	57	1	
	100.0	1.7	96.6	1.7	
九州	184	13	168	3	
	100.0	7.1	91.3	1.6	

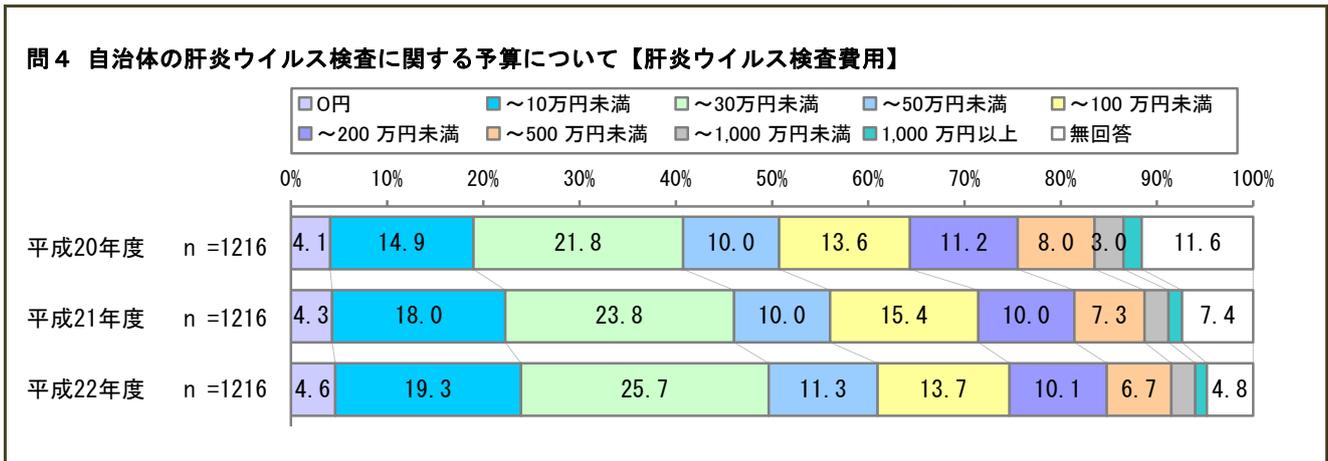
( $\chi^2=13.702, df=7, p=0.057$  n.s.)

## 5-2. 自治体の肝炎ウイルス検査に関する予算

問4 貴自治体の肝炎ウイルス検査に関する予算についてうかがいます。

### ■肝炎ウイルス検査費用

図 5-2- 1 自治体の肝炎ウイルス検査に関する予算について【肝炎ウイルス検査費用】



自治体の肝炎ウイルス検査費用についてたずねたところ、平成20年度では「~30万円未満」(21.8%)が2割強、「~10万円未満」(14.5%)と「~100万円未満」(13.6%)が1割台半ば、「~200万円未満」(11.2%)が1割強となっている。

平成21年度では「~30万円未満」(23.8%)が2割台半ば、「~10万円未満」(18.0%)が2割弱、「~100万円未満」(15.4%)が1割台半ばとなっている。

平成22年度では「~30万円未満」(25.7%)が2割台半ば、「~10万円未満」(19.3%)が2割弱、「~100万円未満」(13.7%)が1割台半ば、「~50万円」(11.3%)が1割強となっている。

表 5-2- 1 自治体の肝炎ウイルス検査に関する予算について【肝炎ウイルス検査費用】

	調査数	0円	10万円未満	30万円未満	50万円未満	100万円未満	200万円未満	500万円未満	1,000万円未満	1,000万円以上	無回答
平成20年度	1216	50	181	265	121	165	136	97	37	23	141
	100.0	4.1	14.9	21.8	10.0	13.6	11.2	8.0	3.0	1.9	11.6
平成21年度	1216	52	219	289	121	187	121	89	31	17	90
	100.0	4.3	18.0	23.8	10.0	15.4	10.0	7.3	2.5	1.4	7.4
平成22年度	1216	56	235	312	138	167	123	81	31	15	58
	100.0	4.6	19.3	25.7	11.3	13.7	10.1	6.7	2.5	1.2	4.8

表5-2-2 自治体の肝炎ウイルス検査に関する予算について【肝炎ウイルス検査費用】クロス集計表

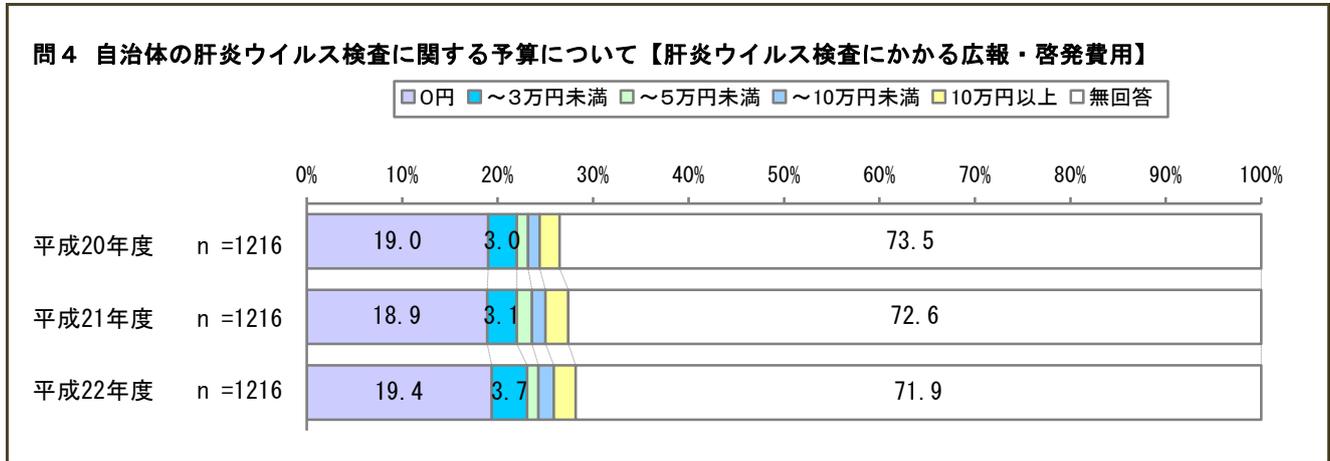
		肝炎ウイルス検査費用										
		調査数	0円	10万円未満	30万円未満	50万円未満	100万円未満	200万円未満	500万円未満	1,000万円未満	1,000万円以上	無回答
【平成20年度】 全 体		1216 100.0	50 4.1	181 14.9	265 21.8	121 10.0	165 13.6	136 11.2	97 8.0	37 3.0	23 1.9	141 11.6
地域ブロック	北海道	118 100.0	5 4.2	33 28.0	51 43.2	8 6.8	6 5.1	6 5.1	1 0.8	-	-	8 6.8
	東北	141 100.0	6 4.3	33 23.4	35 24.8	21 14.9	18 12.8	7 5.0	5 3.5	2 1.4	1 0.7	13 9.2
	関東信越	330 100.0	10 3.0	43 13.0	51 15.5	25 7.6	43 13.0	45 13.6	41 12.4	13 3.9	11 3.3	48 14.5
	東海北陸	154 100.0	3 1.9	14 9.1	31 20.1	19 12.3	27 17.5	20 13.0	15 9.7	8 5.2	6 3.9	11 7.1
	近畿	155 100.0	4 2.6	15 9.7	31 20.0	19 12.3	26 16.8	20 12.9	15 9.7	8 5.2	3 1.9	14 9.0
	中国	75 100.0	3 4.0	10 13.3	12 16.0	10 13.3	11 14.7	6 8.0	6 8.0	2 2.7	1 1.3	14 18.7
	四国	59 100.0	4 6.8	8 13.6	18 30.5	4 6.8	7 11.9	8 13.6	2 3.4	1 1.7	1 1.7	6 10.2
	九州	184 100.0	15 8.2	25 13.6	36 19.6	15 8.2	27 14.7	24 13.0	12 6.5	3 1.6	-	27 14.7
【平成21年度】 全 体		1216 100.0	52 4.3	219 18.0	289 23.8	121 10.0	187 15.4	121 10.0	89 7.3	31 2.5	17 1.4	90 7.4
地域ブロック	北海道	118 100.0	6 5.1	40 33.9	48 40.7	8 6.8	9 7.6	3 2.5	-	-	-	4 3.4
	東北	141 100.0	4 2.8	37 26.2	45 31.9	18 12.8	12 8.5	10 7.1	2 1.4	3 2.1	1 0.7	9 6.4
	関東信越	330 100.0	13 3.9	43 13.0	62 18.8	26 7.9	61 18.5	40 12.1	38 11.5	11 3.3	9 2.7	27 8.2
	東海北陸	154 100.0	2 1.3	18 11.7	28 18.2	18 11.7	38 24.7	16 10.4	14 9.1	7 4.5	4 2.6	9 5.8
	近畿	155 100.0	4 2.6	19 12.3	34 21.9	18 11.6	32 20.6	17 11.0	12 7.7	7 4.5	2 1.3	10 6.5
	中国	75 100.0	5 6.7	16 21.3	10 13.3	7 9.3	9 12.0	9 12.0	8 10.7	-	1 1.3	10 13.3
	四国	59 100.0	4 6.8	12 20.3	16 27.1	10 16.9	2 3.4	5 8.5	3 5.1	1 1.7	-	6 10.2
	九州	184 100.0	14 7.6	34 18.5	46 25.0	16 8.7	24 13.0	21 11.4	12 6.5	2 1.1	-	15 8.2
【平成22年度】 全 体		1216 100.0	56 4.6	235 19.3	312 25.7	138 11.3	167 13.7	123 10.1	81 6.7	31 2.5	15 1.2	58 4.8
地域ブロック	北海道	118 100.0	5 4.2	43 36.4	49 41.5	5 4.2	9 7.6	4 3.4	-	-	-	3 2.5
	東北	141 100.0	5 3.5	43 30.5	46 32.6	13 9.2	15 10.6	8 5.7	3 2.1	2 1.4	1 0.7	5 3.5
	関東信越	330 100.0	14 4.2	50 15.2	64 19.4	38 11.5	52 15.8	45 13.6	32 9.7	13 3.9	7 2.1	15 4.5
	東海北陸	154 100.0	5 3.2	19 12.3	33 21.4	22 14.3	28 18.2	12 7.8	18 11.7	7 4.5	3 1.9	7 4.5
	近畿	155 100.0	3 1.9	21 13.5	38 24.5	26 16.8	22 14.2	20 12.9	9 5.8	7 4.5	3 1.9	6 3.9
	中国	75 100.0	3 4.0	15 20.0	20 26.7	2 2.7	13 17.3	10 13.3	6 8.0	-	-	6 8.0
	四国	59 100.0	6 10.2	12 20.3	12 20.3	14 23.7	2 3.4	5 8.5	2 3.4	1 1.7	1 1.7	4 6.8
	九州	184 100.0	15 8.2	32 17.4	50 27.2	18 9.8	26 14.1	19 10.3	11 6.0	1 0.5	-	12 6.5

平成20年度( $\chi^2=151.363, df=56, p=0.000 < 0.05$ )・平成21年度( $\chi^2=166.898, df=56, p=0.000 < 0.05$ )・平成22年度( $\chi^2=170.265, df=56, p=0.000 < 0.05$ )

問4 貴自治体の肝炎ウイルス検査に関する予算についてうかがいます。

■肝炎ウイルス検査にかかる広報・啓発費用

図5-2-2 自治体の肝炎ウイルス検査に関する予算について【肝炎ウイルス検査にかかる広報・啓発費用】



自治体の肝炎ウイルス検査にかかる広報・啓発費用についてたずねたところ、平成20年度では「0円」(19.0%)が2割弱、「~3万円未満」(3.0%)が1割未満となっている。

平成21年度でも「0円」(18.9%)が2割弱、「~3万円未満」(3.1%)が1割未満となっている。

平成22年度でも「0円」(19.4%)が2割弱、「~3万円未満」(3.7%)が1割未満となっている。

表5-2-3 自治体の肝炎ウイルス検査に関する予算について【肝炎ウイルス検査にかかる広報・啓発費用】

	調査数	0円	~3万円未満	~5万円未満	~10万円未満	10万円以上	無回答
平成20年度	1216	231	37	14	14	26	894
	100.0	19.0	3.0	1.2	1.2	2.1	73.5
平成21年度	1216	230	38	19	17	29	883
	100.0	18.9	3.1	1.6	1.4	2.4	72.6
平成22年度	1216	236	45	14	19	28	874
	100.0	19.4	3.7	1.2	1.6	2.3	71.9

表5-2-4 自治体の肝炎ウイルス検査に関する予算について【肝炎ウイルス検査にかかる広報・啓発費用】クロス集計表

		肝炎ウイルス検査にかかる広報・啓発費用						無回答
		調査数	0円	〽3万円未満	〽5万円未満	〽10万円未満	10万円以上	
【平成20年度】 全 体		1216 100.0	231 19.0	37 3.0	14 1.2	14 1.2	26 2.1	894 73.5
地域ブロック	北海道	118 100.0	24 20.3	2 1.7	1 0.8	1 0.8	-	90 76.3
	東北	141 100.0	34 24.1	4 2.8	1 0.7	2 1.4	-	100 70.9
	関東信越	330 100.0	61 18.5	9 2.7	5 1.5	2 0.6	12 3.6	241 73.0
	東海北陸	154 100.0	24 15.6	8 5.2	5 3.2	2 1.3	4 2.6	111 72.1
	近畿	155 100.0	22 14.2	4 2.6	-	4 2.6	6 3.9	119 76.8
	中国	75 100.0	12 16.0	2 2.7	1 1.3	-	1 1.3	59 78.7
	四国	59 100.0	11 18.6	3 5.1	-	-	-	45 76.3
	九州	184 100.0	43 23.4	5 2.7	1 0.5	3 1.6	3 1.6	129 70.1
【平成21年度】 全 体		1216 100.0	230 18.9	38 3.1	19 1.6	17 1.4	29 2.4	883 72.6
地域ブロック	北海道	118 100.0	24 20.3	1 0.8	2 1.7	1 0.8	-	90 76.3
	東北	141 100.0	33 23.4	4 2.8	1 0.7	2 1.4	1 0.7	100 70.9
	関東信越	330 100.0	62 18.8	11 3.3	6 1.8	5 1.5	12 3.6	234 70.9
	東海北陸	154 100.0	22 14.3	10 6.5	5 3.2	3 1.9	5 3.2	109 70.8
	近畿	155 100.0	21 13.5	4 2.6	3 1.9	2 1.3	6 3.9	119 76.8
	中国	75 100.0	12 16.0	2 2.7	1 1.3	-	2 2.7	58 77.3
	四国	59 100.0	11 18.6	2 3.4	-	1 1.7	-	45 76.3
	九州	184 100.0	45 24.5	4 2.2	1 0.5	3 1.6	3 1.6	128 69.6
【平成22年度】 全 体		1216 100.0	236 19.4	45 3.7	14 1.2	19 1.6	28 2.3	874 71.9
地域ブロック	北海道	118 100.0	25 21.2	2 1.7	2 1.7	-	-	89 75.4
	東北	141 100.0	33 23.4	7 5.0	1 0.7	2 1.4	1 0.7	97 68.8
	関東信越	330 100.0	66 20.0	12 3.6	3 0.9	6 1.8	11 3.3	232 70.3
	東海北陸	154 100.0	22 14.3	12 7.8	1 0.6	5 3.2	3 1.9	111 72.1
	近畿	155 100.0	21 13.5	4 2.6	3 1.9	2 1.3	8 5.2	117 75.5
	中国	75 100.0	13 17.3	3 4.0	1 1.3	-	1 1.3	57 76.0
	四国	59 100.0	12 20.3	2 3.4	-	-	1 1.7	44 74.6
	九州	184 100.0	44 23.9	3 1.6	3 1.6	4 2.2	3 1.6	127 69.0

平成20年度( $\chi^2=37.358, df=28, p=0.111$  n.s.)・平成21年度( $\chi^2=32.101, df=28, p=0.270$  n.s.)・平成22年度( $\chi^2=41.041, df=28, p=0.053$  n.s.)

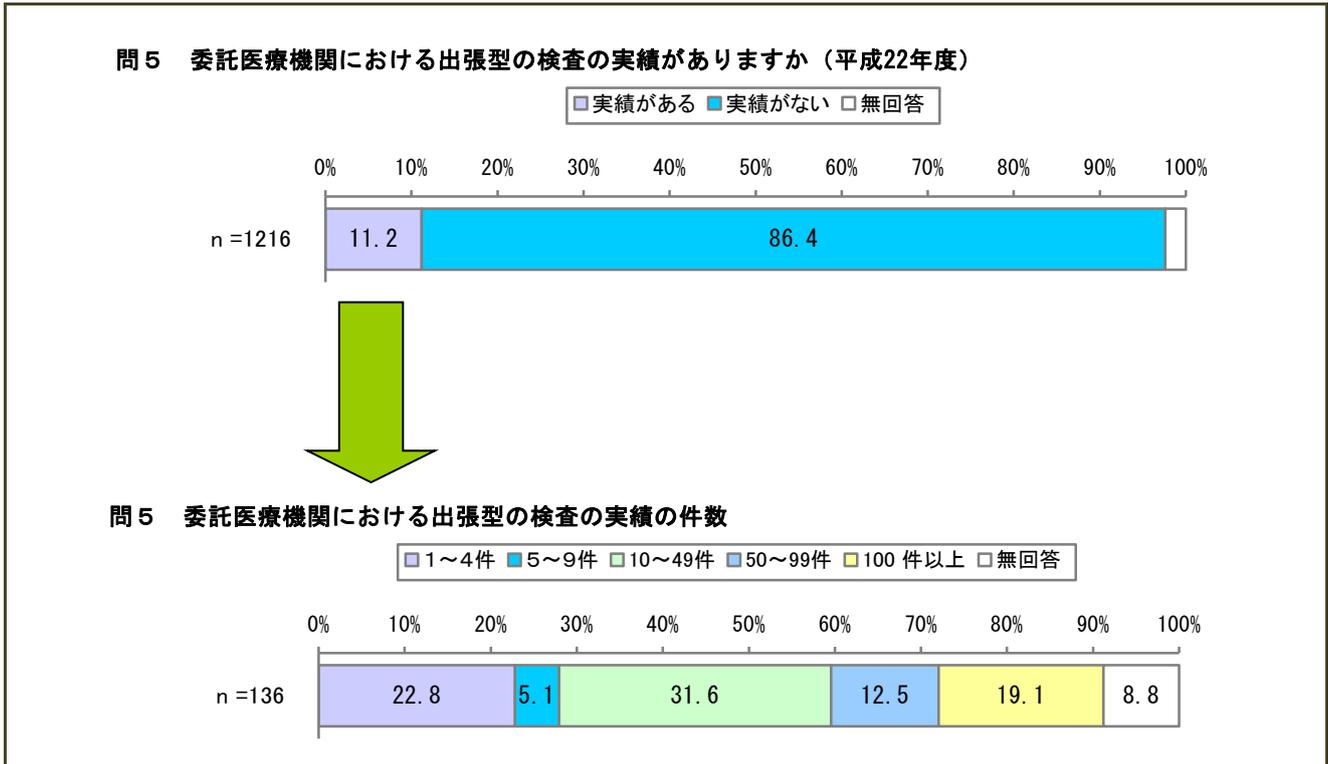
### 5-3. 肝炎ウイルス検査の実績

問5. 貴自治体では、委託医療機関における出張型の検査の実績がありますか。(平成22年度)

1. 実績がある

2. 実績がない

図 5-3-1 委託医療機関における出張型の検査の実績がありますか(平成 22 年度)



委託医療機関における出張型の検査の実績についてたずねたところ、「実績がない」(86.4%)が8割台半ばとなり、「実績がある」(11.2%)を大きく上回っている。

さらに委託医療機関における出張型の検査の実績の件数についてたずねたところ、「10～49件」(31.6%)が3割強、「1～4件」(22.8%)が2割強、「100件以上」(19.1%)が2割弱となっている。

表 5-3- 1 委託医療機関における出張型の検査の実績がありますか(平成 22 年度) クロス集計表

		調査数	実績がある	実績がない	無回答
全 体		1216 100.0	136 11.2	1051 86.4	29 2.4
地域ブロック	北海道	118 100.0	33 28.0	79 66.9	6 5.1
	東北	141 100.0	11 7.8	127 90.1	3 2.1
	関東信越	330 100.0	30 9.1	293 88.8	7 2.1
	東海北陸	154 100.0	16 10.4	136 88.3	2 1.3
	近畿	155 100.0	15 9.7	134 86.5	6 3.9
	中国	75 100.0	5 6.7	68 90.7	2 2.7
	四国	59 100.0	7 11.9	52 88.1	- -
	九州	184 100.0	19 10.3	162 88.0	3 1.6

 $(\chi^2=41.066, df=7, p=0.000 < 0.05)$ 

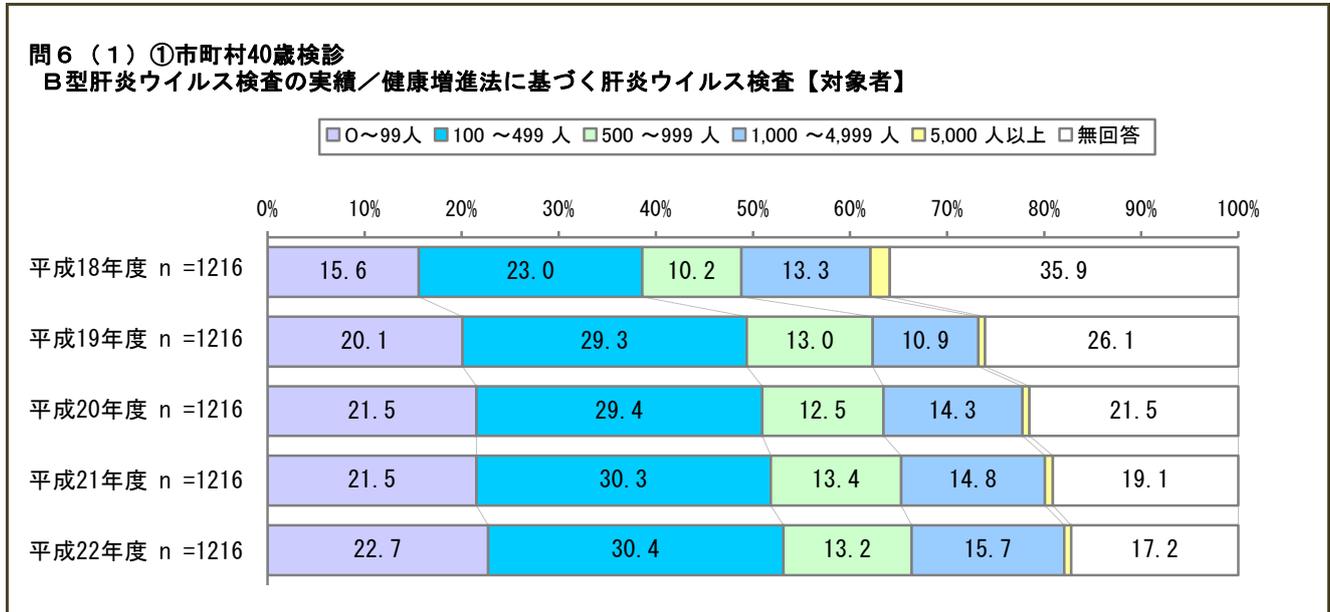
表5-3- 2 委託医療機関における出張型の検査の実績の件数 クロス集計表

		調査数	1 ~ 4 件	5 ~ 9 件	1 0 ~ 4 9 件	5 0 ~ 9 9 件	1 0 0 件 以上	無 回 答
全 体		136 100.0	31 22.8	7 5.1	43 31.6	17 12.5	26 19.1	12 8.8
地域ブロック	北海道	33 100.0	10 30.3	3 9.1	9 27.3	6 18.2	1 3.0	4 12.1
	東北	11 100.0	1 9.1	1 9.1	6 54.5	2 18.2	1 9.1	- -
	関東信越	30 100.0	9 30.0	1 3.3	10 33.3	4 13.3	4 13.3	2 6.7
	東海北陸	16 100.0	2 12.5	- -	1 6.3	3 18.8	8 50.0	2 12.5
	近畿	15 100.0	3 20.0	- -	5 33.3	- -	6 40.0	1 6.7
	中国	5 100.0	- -	- -	3 60.0	- -	2 40.0	- -
	四国	7 100.0	1 14.3	- -	5 71.4	- -	1 14.3	- -
	九州	19 100.0	5 26.3	2 10.5	4 21.1	2 10.5	3 15.8	3 15.8

問6. 貴自治体での肝炎ウイルス検査の受検実績についてうかがいます。  
 (1) B型肝炎ウイルス検査の実績を年度別に記入してください。

■健康増進法に基づく肝炎ウイルス検査 ①市町村40歳検診【対象者】

図5-3-2 B型肝炎ウイルス検査の実績／健康増進法に基づく肝炎ウイルス検査【対象者】



自治体でのB型肝炎ウイルス検査の実績を①市町村40歳検診／対象者についてみると、年度が上がるにつれて増加する傾向にあり、すべての年度において「100～499人」が3割前後で最も高くなっている。次いで「0～99人」の割合が高く、平成19年度以降は2割を超えている。

表5-3-3 B型肝炎ウイルス検査の実績／健康増進法に基づく肝炎ウイルス検査【対象者】

	調査数	0 ～ 9 9 人	1 0 0 5 4 9 9 9 人	5 0 0 5 9 9 9 人	1 0 0 4 0 0 9 9 人	5 0 0 0 0 9 9 人	無 回 答
平成18年度	1216	190	280	124	162	24	436
	100.0	15.6	23.0	10.2	13.3	2.0	35.9
平成19年度	1216	244	356	158	133	8	317
	100.0	20.1	29.3	13.0	10.9	0.7	26.1
平成20年度	1216	261	358	152	174	9	262
	100.0	21.5	29.4	12.5	14.3	0.7	21.5
平成21年度	1216	262	369	163	180	10	232
	100.0	21.5	30.3	13.4	14.8	0.8	19.1
平成22年度	1216	276	370	161	191	9	209
	100.0	22.7	30.4	13.2	15.7	0.7	17.2

表5-3-4 B型肝炎ウイルス検査の実績／健康増進法に基づく肝炎ウイルス検査【対象者】 クロス集計表

		①市町村40歳検診／対象者						無回答
		調査数	0 5 9 9 人	1 0 5 4 9 9 人	5 0 5 9 9 人	1 0 9 9 人	5 0 0 0 人 以上	
【平成18年度】 全 体		1216 100.0	190 15.6	280 23.0	124 10.2	162 13.3	24 2.0	436 35.9
地域ブ ロック	北海道	118 100.0	46 39.0	24 20.3	5 4.2	5 4.2	-	38 32.2
	東北	141 100.0	29 20.6	43 30.5	13 9.2	11 7.8	3 2.1	42 29.8
	関東信越	330 100.0	38 11.5	58 17.6	37 11.2	63 19.1	13 3.9	121 36.7
	東海北陸	154 100.0	15 9.7	33 21.4	22 14.3	27 17.5	4 2.6	53 34.4
	近畿	155 100.0	16 10.3	44 28.4	19 12.3	32 20.6	3 1.9	41 26.5
	中国	75 100.0	9 12.0	20 26.7	6 8.0	10 13.3	-	30 40.0
	四国	59 100.0	13 22.0	11 18.6	5 8.5	3 5.1	-	27 45.8
	九州	184 100.0	24 13.0	47 25.5	17 9.2	11 6.0	1 0.5	84 45.7
【平成19年度】 全 体		1216 100.0	244 20.1	356 29.3	158 13.0	133 10.9	8 0.7	317 26.1
地域ブ ロック	北海道	118 100.0	56 47.5	26 22.0	4 3.4	3 2.5	-	29 24.6
	東北	141 100.0	42 29.8	52 36.9	13 9.2	6 4.3	-	28 19.9
	関東信越	330 100.0	45 13.6	77 23.3	48 14.5	61 18.5	7 2.1	92 27.9
	東海北陸	154 100.0	15 9.7	55 35.7	29 18.8	18 11.7	-	37 24.0
	近畿	155 100.0	22 14.2	53 34.2	26 16.8	27 17.4	1 0.6	26 16.8
	中国	75 100.0	16 21.3	24 32.0	8 10.7	6 8.0	-	21 28.0
	四国	59 100.0	13 22.0	17 28.8	5 8.5	2 3.4	-	22 37.3
	九州	184 100.0	35 19.0	52 28.3	25 13.6	10 5.4	-	62 33.7
【平成20年度】 全 体		1216 100.0	261 21.5	358 29.4	152 12.5	174 14.3	9 0.7	262 21.5
地域ブ ロック	北海道	118 100.0	65 55.1	25 21.2	2 1.7	4 3.4	-	22 18.6
	東北	141 100.0	44 31.2	57 40.4	14 9.9	9 6.4	-	17 12.1
	関東信越	330 100.0	51 15.5	73 22.1	43 13.0	80 24.2	6 1.8	77 23.3
	東海北陸	154 100.0	17 11.0	55 35.7	30 19.5	24 15.6	1 0.6	27 17.5
	近畿	155 100.0	16 10.3	52 33.5	22 14.2	39 25.2	2 1.3	24 15.5
	中国	75 100.0	15 20.0	24 32.0	8 10.7	7 9.3	-	21 28.0
	四国	59 100.0	12 20.3	17 28.8	7 11.9	2 3.4	-	21 35.6
	九州	184 100.0	41 22.3	55 29.9	26 14.1	9 4.9	-	53 28.8

平成18年度( $\chi^2=118.077, df=28, p=0.000 < 0.05$ )・平成19年度( $\chi^2=152.602, df=28, p=0.000 < 0.05$ )・平成20年度( $\chi^2=196.409, df=28, p=0.000 < 0.05$ )

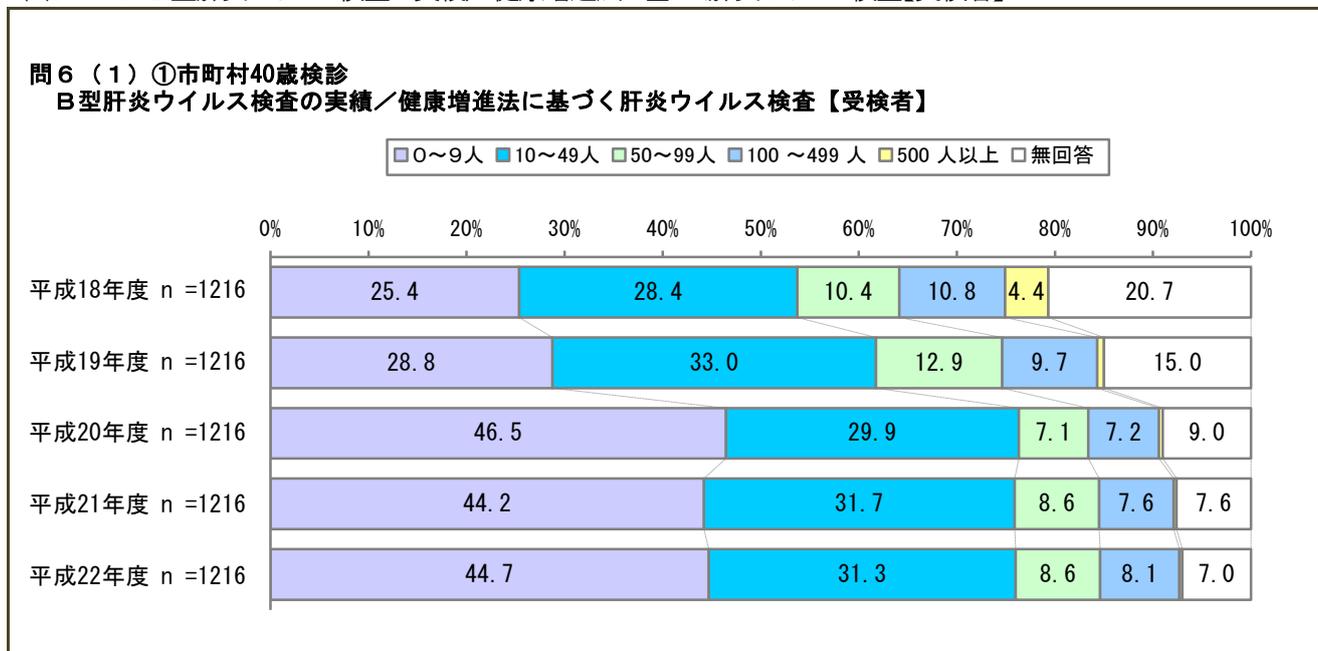
		①市町村40歳検診／対象者						
		調査数	0 5 9 人	1 0 5 4 9 9 人	5 0 5 9 9 人	1 0 4 0 9 9 人	5 0 0 0 人 以上	無 回 答
【平成21年度】 全 体		1216 100.0	262 21.5	369 30.3	163 13.4	180 14.8	10 0.8	232 19.1
地域 ブ ロ ッ ク	北海道	118 100.0	65 55.1	25 21.2	4 3.4	3 2.5	-	21 17.8
	東北	141 100.0	43 30.5	57 40.4	17 12.1	8 5.7	-	16 11.3
	関東信越	330 100.0	53 16.1	77 23.3	46 13.9	83 25.2	6 1.8	65 19.7
	東海北陸	154 100.0	19 12.3	52 33.8	30 19.5	28 18.2	1 0.6	24 15.6
	近畿	155 100.0	16 10.3	54 34.8	21 13.5	39 25.2	3 1.9	22 14.2
	中国	75 100.0	15 20.0	25 33.3	9 12.0	7 9.3	-	19 25.3
	四国	59 100.0	11 18.6	22 37.3	6 10.2	2 3.4	-	18 30.5
	九州	184 100.0	40 21.7	57 31.0	30 16.3	10 5.4	-	47 25.5
【平成22年度】 全 体		1216 100.0	276 22.7	370 30.4	161 13.2	191 15.7	9 0.7	209 17.2
地域 ブ ロ ッ ク	北海道	118 100.0	69 58.5	22 18.6	4 3.4	3 2.5	-	20 16.9
	東北	141 100.0	48 34.0	57 40.4	14 9.9	11 7.8	-	11 7.8
	関東信越	330 100.0	56 17.0	79 23.9	45 13.6	84 25.5	6 1.8	60 18.2
	東海北陸	154 100.0	17 11.0	51 33.1	33 21.4	29 18.8	1 0.6	23 14.9
	近畿	155 100.0	18 11.6	53 34.2	19 12.3	44 28.4	2 1.3	19 12.3
	中国	75 100.0	15 20.0	24 32.0	11 14.7	7 9.3	-	18 24.0
	四国	59 100.0	13 22.0	21 35.6	6 10.2	3 5.1	-	16 27.1
	九州	184 100.0	40 21.7	63 34.2	29 15.8	10 5.4	-	42 22.8

平成21年度( $\chi^2=196.871, df=28, p=0.000 < 0.05$ )・平成22年度( $\chi^2=211.995, df=28, p=0.000 < 0.05$ )

問6. 貴自治体での肝炎ウイルス検査の受検実績についてうかがいます。  
 (1) B型肝炎ウイルス検査の実績を年度別に記入してください。

■健康増進法に基づく肝炎ウイルス検査 ①市町村40歳検診【受検者】

図5-3-3 B型肝炎ウイルス検査の実績／健康増進法に基づく肝炎ウイルス検査【受検者】



自治体でのB型肝炎ウイルス検査の実績を①市町村40歳検診／受検者についてみると、平成18年度、平成19年度においては「10～49人」の割合が最も高かったが、平成20年度から「0～9人」が急増し4割台半ばと最も高く、次いで「10～49人」が3割前後となっている。

表5-3-5 B型肝炎ウイルス検査の実績／健康増進法に基づく肝炎ウイルス検査【受検者】

	調査数	0～9人	10～49人	50～99人	100～499人	500人以上	無回答
平成18年度	1216	309	345	126	131	53	252
	100.0	25.4	28.4	10.4	10.8	4.4	20.7
平成19年度	1216	350	401	157	118	8	182
	100.0	28.8	33.0	12.9	9.7	0.7	15.0
平成20年度	1216	565	363	86	87	5	110
	100.0	46.5	29.9	7.1	7.2	0.4	9.0
平成21年度	1216	538	386	104	92	4	92
	100.0	44.2	31.7	8.6	7.6	0.3	7.6
平成22年度	1216	543	380	105	99	4	85
	100.0	44.7	31.3	8.6	8.1	0.3	7.0

表5-3-6 B型肝炎ウイルス検査の実績／健康増進法に基づく肝炎ウイルス検査【受検者】

		①市町村40歳検診／受検者						無回答
		調査数	0 5 9 人	1 0 5 4 9 人	5 0 5 9 9 人	1 0 0 5 4 9 9 人	5 0 0 人 以上	
【平成18年度】 全 体		1216 100.0	309 25.4	345 28.4	126 10.4	131 10.8	53 4.4	252 20.7
地域ブ ロッ ク	北海道	118 100.0	61 51.7	20 16.9	9 7.6	7 5.9	-	21 17.8
	東北	141 100.0	40 28.4	46 32.6	11 7.8	10 7.1	7 5.0	27 19.1
	関東信越	330 100.0	48 14.5	91 27.6	48 14.5	47 14.2	27 8.2	69 20.9
	東海北陸	154 100.0	27 17.5	46 29.9	23 14.9	22 14.3	11 7.1	25 16.2
	近畿	155 100.0	35 22.6	48 31.0	19 12.3	23 14.8	4 2.6	26 16.8
	中国	75 100.0	27 36.0	21 28.0	4 5.3	5 6.7	-	18 24.0
	四国	59 100.0	16 27.1	19 32.2	6 10.2	4 6.8	1 1.7	13 22.0
	九州	184 100.0	55 29.9	54 29.3	6 3.3	13 7.1	3 1.6	53 28.8
【平成19年度】 全 体		1216 100.0	350 28.8	401 33.0	157 12.9	118 9.7	8 0.7	182 15.0
地域ブ ロッ ク	北海道	118 100.0	71 60.2	27 22.9	1 0.8	2 1.7	-	17 14.4
	東北	141 100.0	46 32.6	52 36.9	16 11.3	7 5.0	-	20 14.2
	関東信越	330 100.0	51 15.5	106 32.1	65 19.7	56 17.0	6 1.8	46 13.9
	東海北陸	154 100.0	25 16.2	61 39.6	30 19.5	20 13.0	-	18 11.7
	近畿	155 100.0	43 27.7	56 36.1	20 12.9	19 12.3	2 1.3	15 9.7
	中国	75 100.0	35 46.7	19 25.3	5 6.7	1 1.3	-	15 20.0
	四国	59 100.0	20 33.9	19 32.2	4 6.8	6 10.2	-	10 16.9
	九州	184 100.0	59 32.1	61 33.2	16 8.7	7 3.8	-	41 22.3
【平成20年度】 全 体		1216 100.0	565 46.5	363 29.9	86 7.1	87 7.2	5 0.4	110 9.0
地域ブ ロッ ク	北海道	118 100.0	88 74.6	14 11.9	-	-	-	16 13.6
	東北	141 100.0	73 51.8	48 34.0	7 5.0	5 3.5	-	8 5.7
	関東信越	330 100.0	111 33.6	124 37.6	33 10.0	37 11.2	3 0.9	22 6.7
	東海北陸	154 100.0	44 28.6	59 38.3	18 11.7	23 14.9	2 1.3	8 5.2
	近畿	155 100.0	78 50.3	39 25.2	14 9.0	14 9.0	-	10 6.5
	中国	75 100.0	49 65.3	13 17.3	2 2.7	-	-	11 14.7
	四国	59 100.0	31 52.5	12 20.3	3 5.1	3 5.1	-	10 16.9
	九州	184 100.0	91 49.5	54 29.3	9 4.9	5 2.7	-	25 13.6

平成18年度( $\chi^2=127.257,df=28,p=0.000 <0.05$ )・平成19年度( $\chi^2=179.032,df=28,p=0.000 <0.05$ )・平成20年度( $\chi^2=154.301,df=28,p=0.000 <0.05$ )

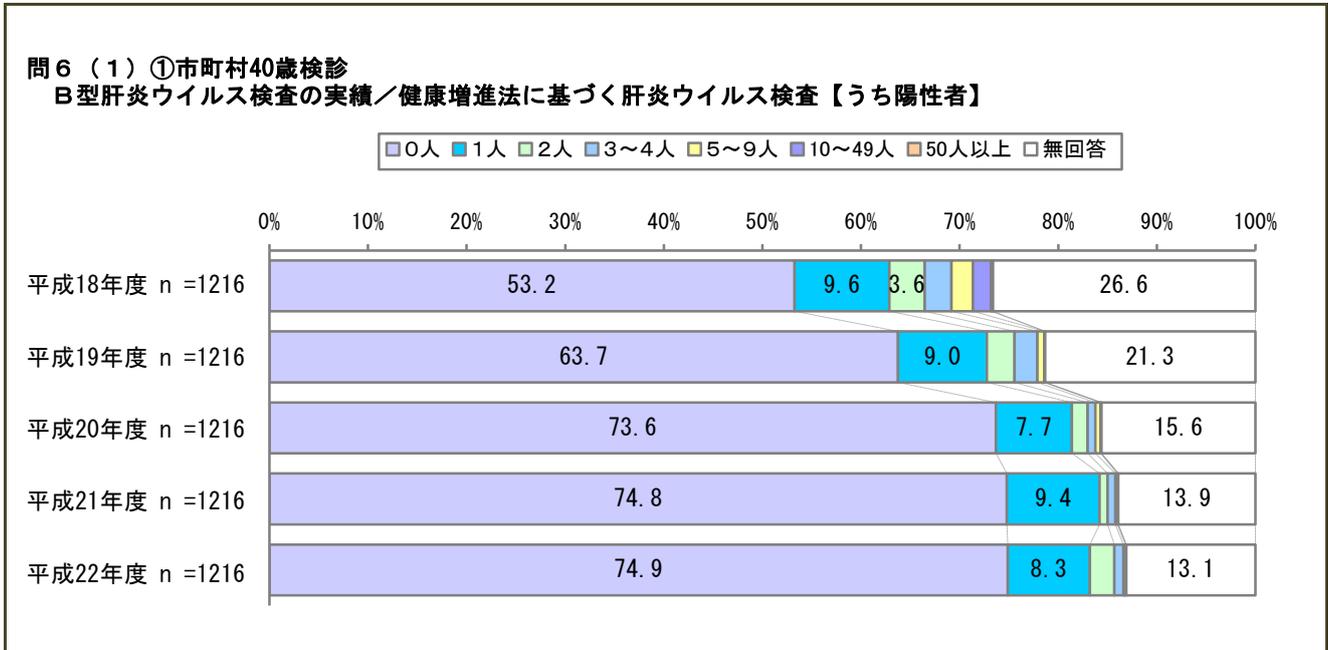
		①市町村40歳検診／受検者						
		調査数	0 5 9 人	1 0 5 4 9 人	5 0 5 9 9 人	1 0 0 5 4 9 9 人	5 0 0 0 人 以上	無 回 答
【平成21年度】 全 体		1216 100.0	538 44.2	386 31.7	104 8.6	92 7.6	4 0.3	92 7.6
地域ブ ロッ ク	北海道	118 100.0	84 71.2	16 13.6	2 1.7	- -	- -	16 13.6
	東北	141 100.0	65 46.1	51 36.2	11 7.8	8 5.7	- -	6 4.3
	関東信越	330 100.0	107 32.4	124 37.6	37 11.2	40 12.1	3 0.9	19 5.8
	東海北陸	154 100.0	40 26.0	59 38.3	27 17.5	22 14.3	1 0.6	5 3.2
	近畿	155 100.0	71 45.8	51 32.9	8 5.2	16 10.3	- -	9 5.8
	中国	75 100.0	54 72.0	10 13.3	3 4.0	- -	- -	8 10.7
	四国	59 100.0	26 44.1	17 28.8	6 10.2	2 3.4	- -	8 13.6
	九州	184 100.0	91 49.5	58 31.5	10 5.4	4 2.2	- -	21 11.4
【平成22年度】 全 体		1216 100.0	543 44.7	380 31.3	105 8.6	99 8.1	4 0.3	85 7.0
地域ブ ロッ ク	北海道	118 100.0	87 73.7	12 10.2	4 3.4	- -	- -	15 12.7
	東北	141 100.0	71 50.4	44 31.2	13 9.2	9 6.4	- -	4 2.8
	関東信越	330 100.0	98 29.7	129 39.1	42 12.7	40 12.1	3 0.9	18 5.5
	東海北陸	154 100.0	37 24.0	61 39.6	23 14.9	25 16.2	1 0.6	7 4.5
	近畿	155 100.0	78 50.3	45 29.0	10 6.5	16 10.3	- -	6 3.9
	中国	75 100.0	51 68.0	14 18.7	2 2.7	1 1.3	- -	7 9.3
	四国	59 100.0	25 42.4	20 33.9	3 5.1	2 3.4	- -	9 15.3
	九州	184 100.0	96 52.2	55 29.9	8 4.3	6 3.3	- -	19 10.3

平成21年度( $\chi^2=163.320, df=28, p=0.000 < 0.05$ )・平成22年度( $\chi^2=172.815, df=28, p=0.000 < 0.05$ )

問6. 貴自治体での肝炎ウイルス検査の受検実績についてうかがいます。  
 (1) B型肝炎ウイルス検査の実績を年度別に記入してください。

■健康増進法に基づく肝炎ウイルス検査 ①市町村40歳検診【うち陽性者】

図5-3-4 B型肝炎ウイルス検査の実績／健康増進法に基づく肝炎ウイルス検査【うち陽性者】



自治体でのB型肝炎ウイルス検査の実績を①市町村40歳検診／うち陽性者についてみると、年度が上がるにつれて「0人」が増加しており、平成20年度以降は7割を超えている。

陽性者の人数は、どの年代においても「1人」が最も多く、その割合は1割未満にとどまっている。

表5-3-7 B型肝炎ウイルス検査の実績／健康増進法に基づく肝炎ウイルス検査【うち陽性者】

	調査数	0人	1人	2人	3 ~ 4 人	5 ~ 9 人	10 ~ 49 人	50 人 以上	無回答
平成18年度	1216	647	117	44	33	27	22	2	324
	100.0	53.2	9.6	3.6	2.7	2.2	1.8	0.2	26.6
平成19年度	1216	775	110	34	28	9	1	0	259
	100.0	63.7	9.0	2.8	2.3	0.7	0.1	0.0	21.3
平成20年度	1216	895	94	20	10	6	1	0	190
	100.0	73.6	7.7	1.6	0.8	0.5	0.1	0.0	15.6
平成21年度	1216	910	114	10	10	2	1	0	169
	100.0	74.8	9.4	0.8	0.8	0.2	0.1	0.0	13.9
平成22年度	1216	911	101	30	11	3	1	0	159
	100.0	74.9	8.3	2.5	0.9	0.2	0.1	0.0	13.1

表5-3-8 B型肝炎ウイルス検査の実績／健康増進法に基づく肝炎ウイルス検査【うち陽性者】クロス集計表

		①市町村40歳検診／うち陽性者								
		調査数	0人	1人	2人	3 ～ 4人	5 ～ 9人	10 ～ 49人	50人以上	無回答
【平成18年度】 全 体		1216 100.0	647 53.2	117 9.6	44 3.6	33 2.7	27 2.2	22 1.8	2 0.2	324 26.6
地域ブ ロック	北海道	118 100.0	62 52.5	8 6.8	7 5.9	2 1.7	2 1.7	1 0.8	-	36 30.5
	東北	141 100.0	75 53.2	19 13.5	4 2.8	2 1.4	-	5 3.5	1 0.7	35 24.8
	関東信越	330 100.0	166 50.3	34 10.3	16 4.8	11 3.3	10 3.0	4 1.2	1 0.3	88 26.7
	東海北陸	154 100.0	87 56.5	16 10.4	2 1.3	7 4.5	6 3.9	7 4.5	-	29 18.8
	近畿	155 100.0	83 53.5	19 12.3	8 5.2	6 3.9	3 1.9	2 1.3	-	34 21.9
	中国	75 100.0	42 56.0	4 5.3	3 4.0	-	1 1.3	-	-	25 33.3
	四国	59 100.0	37 62.7	3 5.1	-	1 1.7	1 1.7	-	-	17 28.8
	九州	184 100.0	95 51.6	14 7.6	4 2.2	4 2.2	4 2.2	3 1.6	-	60 32.6
【平成19年度】 全 体		1216 100.0	775 63.7	110 9.0	34 2.8	28 2.3	9 0.7	1 0.1	-	259 21.3
地域ブ ロック	北海道	118 100.0	80 67.8	4 3.4	2 1.7	2 1.7	-	-	-	30 25.4
	東北	141 100.0	95 67.4	5 3.5	7 5.0	1 0.7	3 2.1	-	-	30 21.3
	関東信越	330 100.0	205 62.1	32 9.7	9 2.7	12 3.6	3 0.9	1 0.3	-	68 20.6
	東海北陸	154 100.0	103 66.9	22 14.3	6 3.9	3 1.9	2 1.3	-	-	18 11.7
	近畿	155 100.0	105 67.7	15 9.7	3 1.9	5 3.2	1 0.6	-	-	26 16.8
	中国	75 100.0	46 61.3	4 5.3	1 1.3	2 2.7	-	-	-	22 29.3
	四国	59 100.0	39 66.1	5 8.5	1 1.7	1 1.7	-	-	-	13 22.0
	九州	184 100.0	102 55.4	23 12.5	5 2.7	2 1.1	-	-	-	52 28.3
【平成20年度】 全 体		1216 100.0	895 73.6	94 7.7	20 1.6	10 0.8	6 0.5	1 0.1	-	190 15.6
地域ブ ロック	北海道	118 100.0	84 71.2	5 4.2	-	-	-	-	-	29 24.6
	東北	141 100.0	106 75.2	10 7.1	1 0.7	1 0.7	1 0.7	-	-	22 15.6
	関東信越	330 100.0	247 74.8	30 9.1	5 1.5	5 1.5	3 0.9	-	-	40 12.1
	東海北陸	154 100.0	119 77.3	16 10.4	4 2.6	2 1.3	2 1.3	-	-	11 7.1
	近畿	155 100.0	116 74.8	15 9.7	5 3.2	1 0.6	-	-	-	18 11.6
	中国	75 100.0	54 72.0	1 1.3	1 1.3	-	-	-	-	19 25.3
	四国	59 100.0	45 76.3	1 1.7	1 1.7	-	-	-	-	12 20.3
	九州	184 100.0	124 67.4	16 8.7	3 1.6	1 0.5	-	1 0.5	-	39 21.2

平成18年度( $\chi^2=46.278, df=42, p=0.300$  n.s.)・平成19年度( $\chi^2=38.561, df=35, p=0.312$  n.s.)・平成20年度( $\chi^2=32.117, df=35, p=0.608$  n.s.)

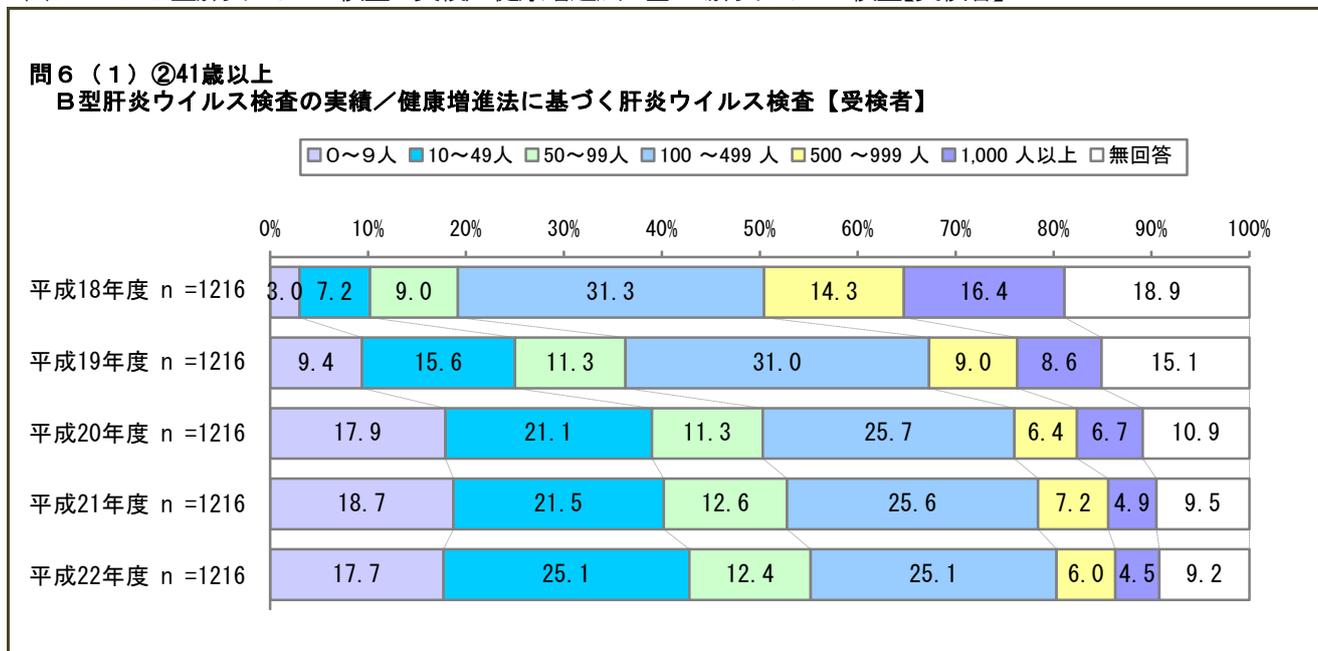
		①市町村40歳検診のうち陽性者								
		調査数	0人	1人	2人	3 ~ 4人	5 ~ 9人	10 ~ 49人	50人以上	無回答
【平成21年度】		1216	910	114	10	10	2	1	-	169
全体		100.0	74.8	9.4	0.8	0.8	0.2	0.1	-	13.9
地域ブロック	北海道	118	79	5	3	1	-	-	-	30
		100.0	66.9	4.2	2.5	0.8	-	-	-	25.4
	東北	141	110	12	-	3	-	-	-	16
		100.0	78.0	8.5	-	2.1	-	-	-	11.3
	関東信越	330	250	35	5	1	2	-	-	37
		100.0	75.8	10.6	1.5	0.3	0.6	-	-	11.2
	東海北陸	154	124	19	2	3	-	-	-	6
		100.0	80.5	12.3	1.3	1.9	-	-	-	3.9
近畿	155	118	20	-	-	-	-	-	17	
	100.0	76.1	12.9	-	-	-	-	-	11.0	
中国	75	59	-	-	-	-	-	-	16	
	100.0	78.7	-	-	-	-	-	-	21.3	
四国	59	42	1	-	2	-	1	-	13	
	100.0	71.2	1.7	-	3.4	-	1.7	-	22.0	
九州	184	128	22	-	-	-	-	-	34	
	100.0	69.6	12.0	-	-	-	-	-	18.5	
【平成22年度】		1216	911	101	30	11	3	1	-	159
全体		100.0	74.9	8.3	2.5	0.9	0.2	0.1	-	13.1
地域ブロック	北海道	118	85	5	-	1	-	-	-	27
		100.0	72.0	4.2	-	0.8	-	-	-	22.9
	東北	141	108	15	4	-	1	-	-	13
		100.0	76.6	10.6	2.8	-	0.7	-	-	9.2
	関東信越	330	247	31	10	6	-	1	-	35
		100.0	74.8	9.4	3.0	1.8	-	0.3	-	10.6
	東海北陸	154	117	19	8	2	-	-	-	8
		100.0	76.0	12.3	5.2	1.3	-	-	-	5.2
近畿	155	124	10	4	2	-	-	-	15	
	100.0	80.0	6.5	2.6	1.3	-	-	-	9.7	
中国	75	58	1	1	-	-	-	-	15	
	100.0	77.3	1.3	1.3	-	-	-	-	20.0	
四国	59	42	4	1	-	-	-	-	12	
	100.0	71.2	6.8	1.7	-	-	-	-	20.3	
九州	184	130	16	2	-	2	-	-	34	
	100.0	70.7	8.7	1.1	-	1.1	-	-	18.5	

平成21年度( $\chi^2=72.071, df=35, p=0.000 < 0.05$ )・平成22年度( $\chi^2=38.642, df=35, p=0.308$  n.s.)

問6. 貴自治体での肝炎ウイルス検査の受検実績についてうかがいます。  
 (1) B型肝炎ウイルス検査の実績を年度別に記入してください。

■健康増進法に基づく肝炎ウイルス検査 ②41歳以上【受検者】

図5-3-5 B型肝炎ウイルス検査の実績／健康増進法に基づく肝炎ウイルス検査【受検者】



自治体でのB型肝炎ウイルス検査の実績を②41歳以上／受検者についてみると、平成18年度では「100～499人」(31.3%)の割合が最も高かったが、年度が上がるにつれて徐々に減少し、平成22年度では「10～49人」(25.1%)と同じ割合となっている。また、「500～999人」、「1,000人以上」の割合も平成18年度では1割台半ばであったが、平成19年度以降は1割未満となっている。

表5-3-9 B型肝炎ウイルス検査の実績／健康増進法に基づく肝炎ウイルス検査【受検者】

	調査数	0人	1人	5人	1人	5人	1人	無回答
平成18年度	1216	37	87	109	380	174	199	230
平成19年度	1216	114	190	137	377	110	104	184
平成20年度	1216	218	256	138	312	78	82	132
平成21年度	1216	227	262	153	311	88	60	115
平成22年度	1216	215	305	151	305	73	55	112
	100.0	3.0	7.2	9.0	31.3	14.3	16.4	18.9
	100.0	9.4	15.6	11.3	31.0	9.0	8.6	15.1
	100.0	17.9	21.1	11.3	25.7	6.4	6.7	10.9
	100.0	18.7	21.5	12.6	25.6	7.2	4.9	9.5
	100.0	17.7	25.1	12.4	25.1	6.0	4.5	9.2

表5-3- 10 B型肝炎ウイルス検査の実績／健康増進法に基づく肝炎ウイルス検査【受検者】 クロス集計表

		②41歳以上／受検者							無回答
		調査数	0 5 9 人	1 0 5 4 9 人	5 0 5 9 9 人	1 0 5 4 9 9 人	5 0 5 9 9 9 人	1 0 0 0 0 人 以上	
【平成18年度】 全 体		1216 100.0	37 3.0	87 7.2	109 9.0	380 31.3	174 14.3	199 16.4	230 18.9
地域ブ ロッ ク	北海道	118 100.0	11 9.3	26 22.0	22 18.6	37 31.4	3 2.5	1 0.8	18 15.3
	東北	141 100.0	7 5.0	14 9.9	14 9.9	48 34.0	15 10.6	14 9.9	29 20.6
	関東信越	330 100.0	9 2.7	13 3.9	21 6.4	84 25.5	49 14.8	92 27.9	62 18.8
	東海北陸	154 100.0	2 1.3	5 3.2	9 5.8	53 34.4	27 17.5	34 22.1	24 15.6
	近畿	155 100.0	3 1.9	15 9.7	10 6.5	48 31.0	31 20.0	27 17.4	21 13.5
	中国	75 100.0	- -	2 2.7	10 13.3	27 36.0	9 12.0	8 10.7	19 25.3
	四国	59 100.0	1 1.7	6 10.2	10 16.9	20 33.9	10 16.9	6 10.2	6 10.2
	九州	184 100.0	4 2.2	6 3.3	13 7.1	63 34.2	30 16.3	17 9.2	51 27.7
【平成19年度】 全 体		1216 100.0	114 9.4	190 15.6	137 11.3	377 31.0	110 9.0	104 8.6	184 15.1
地域ブ ロッ ク	北海道	118 100.0	16 13.6	33 28.0	28 23.7	24 20.3	1 0.8	2 1.7	14 11.9
	東北	141 100.0	27 19.1	23 16.3	19 13.5	28 19.9	4 2.8	9 6.4	31 22.0
	関東信越	330 100.0	28 8.5	46 13.9	30 9.1	103 31.2	38 11.5	38 11.5	47 14.2
	東海北陸	154 100.0	14 9.1	23 14.9	17 11.0	46 29.9	18 11.7	17 11.0	19 12.3
	近畿	155 100.0	14 9.0	27 17.4	15 9.7	50 32.3	17 11.0	18 11.6	14 9.0
	中国	75 100.0	4 5.3	12 16.0	7 9.3	26 34.7	7 9.3	5 6.7	14 18.7
	四国	59 100.0	4 6.8	11 18.6	6 10.2	24 40.7	4 6.8	3 5.1	7 11.9
	九州	184 100.0	7 3.8	15 8.2	15 8.2	76 41.3	21 11.4	12 6.5	38 20.7
【平成20年度】 全 体		1216 100.0	218 17.9	256 21.1	138 11.3	312 25.7	78 6.4	82 6.7	132 10.9
地域ブ ロッ ク	北海道	118 100.0	24 20.3	39 33.1	22 18.6	17 14.4	5 4.2	- -	11 9.3
	東北	141 100.0	40 28.4	32 22.7	18 12.8	21 14.9	5 3.5	5 3.5	20 14.2
	関東信越	330 100.0	49 14.8	56 17.0	40 12.1	95 28.8	19 5.8	39 11.8	32 9.7
	東海北陸	154 100.0	34 22.1	30 19.5	20 13.0	32 20.8	8 5.2	17 11.0	13 8.4
	近畿	155 100.0	26 16.8	35 22.6	12 7.7	47 30.3	11 7.1	10 6.5	14 9.0
	中国	75 100.0	11 14.7	15 20.0	5 6.7	27 36.0	7 9.3	2 2.7	8 10.7
	四国	59 100.0	8 13.6	20 33.9	5 8.5	13 22.0	4 6.8	2 3.4	7 11.9
	九州	184 100.0	26 14.1	29 15.8	16 8.7	60 32.6	19 10.3	7 3.8	27 14.7

平成18年度( $\chi^2=177.266,df=35,p=0.000 <0.05$ )・平成19年度( $\chi^2=118.026,df=35,p=0.000 <0.05$ )・平成20年度( $\chi^2=108.023,df=35,p=0.000 <0.05$ )

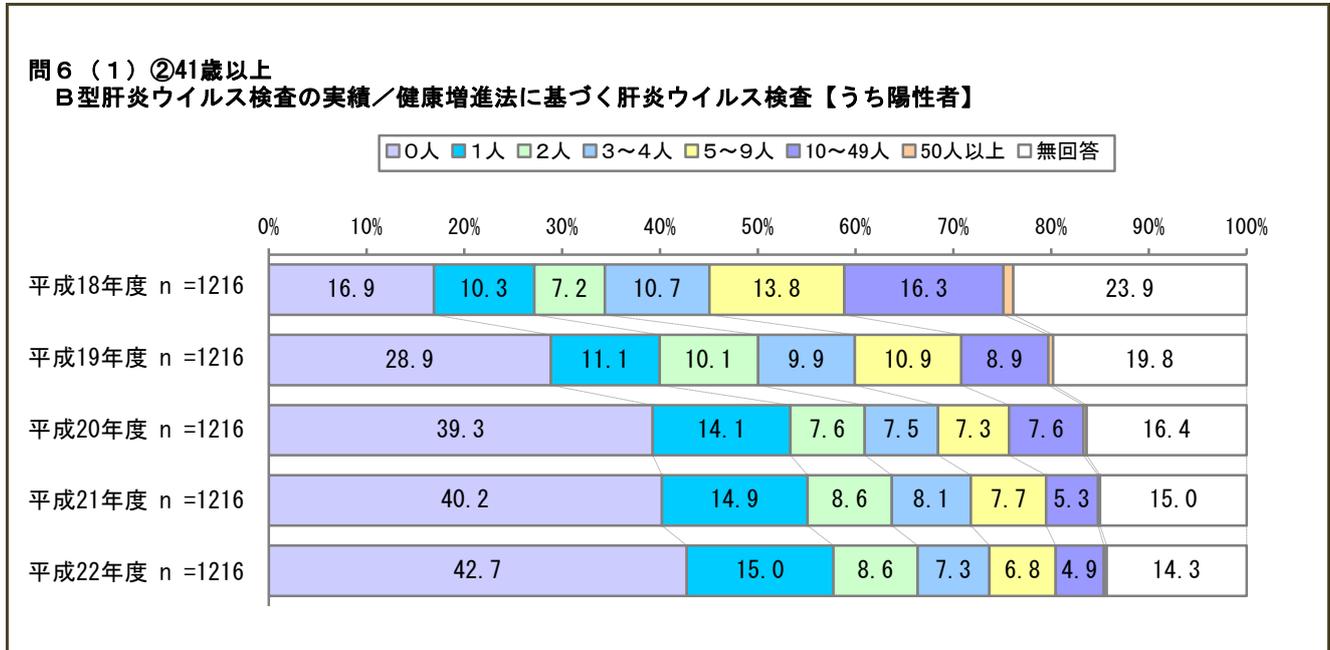
		②41歳以上／受検者							無回答
		調査数	0 5 9 人	1 0 5 4 9 人	5 0 5 9 9 人	1 0 0 5 4 9 9 人	5 0 0 5 9 9 人	1 0 0 0 0 人 以上	
【平成21年度】 全 体		1216 100.0	227 18.7	262 21.5	153 12.6	311 25.6	88 7.2	60 4.9	115 9.5
地域ブロック	北海道	118 100.0	23 19.5	41 34.7	22 18.6	18 15.3	1 0.8	1 0.8	12 10.2
	東北	141 100.0	40 28.4	36 25.5	17 12.1	22 15.6	7 5.0	4 2.8	15 10.6
	関東信越	330 100.0	50 15.2	55 16.7	34 10.3	105 31.8	34 10.3	26 7.9	26 7.9
	東海北陸	154 100.0	34 22.1	34 22.1	19 12.3	31 20.1	12 7.8	14 9.1	10 6.5
	近畿	155 100.0	26 16.8	35 22.6	18 11.6	44 28.4	9 5.8	9 5.8	14 9.0
	中国	75 100.0	14 18.7	17 22.7	9 12.0	21 28.0	4 5.3	2 2.7	8 10.7
	四国	59 100.0	14 23.7	12 20.3	5 8.5	15 25.4	5 8.5	1 1.7	7 11.9
	九州	184 100.0	26 14.1	32 17.4	29 15.8	55 29.9	16 8.7	3 1.6	23 12.5
【平成22年度】 全 体		1216 100.0	215 17.7	305 25.1	151 12.4	305 25.1	73 6.0	55 4.5	112 9.2
地域ブロック	北海道	118 100.0	21 17.8	48 40.7	22 18.6	16 13.6	1 0.8	1 0.8	9 7.6
	東北	141 100.0	36 25.5	42 29.8	11 7.8	27 19.1	5 3.5	5 3.5	15 10.6
	関東信越	330 100.0	53 16.1	68 20.6	40 12.1	94 28.5	26 7.9	22 6.7	27 8.2
	東海北陸	154 100.0	35 22.7	39 25.3	16 10.4	30 19.5	10 6.5	14 9.1	10 6.5
	近畿	155 100.0	21 13.5	39 25.2	17 11.0	47 30.3	10 6.5	7 4.5	14 9.0
	中国	75 100.0	16 21.3	15 20.0	12 16.0	17 22.7	8 10.7	1 1.3	6 8.0
	四国	59 100.0	11 18.6	12 20.3	8 13.6	14 23.7	4 6.8	1 1.7	9 15.3
	九州	184 100.0	22 12.0	42 22.8	25 13.6	60 32.6	9 4.9	4 2.2	22 12.0

平成21年度( $\chi^2=91.811, df=35, p=0.000 < 0.05$ )・平成22年度( $\chi^2=85.858, df=35, p=0.000 < 0.05$ )

問6. 貴自治体での肝炎ウイルス検査の受検実績についてうかがいます。  
 (1) B型肝炎ウイルス検査の実績を年度別に記入してください。

■健康増進法に基づく肝炎ウイルス検査 ②41歳以上【うち陽性者】

図5-3-6 B型肝炎ウイルス検査の実績／健康増進法に基づく肝炎ウイルス検査【うち陽性者】



自治体でのB型肝炎ウイルス検査の実績を②41歳以上／うち陽性者についてみると、「0人」の割合は平成18年度（16.9%）では1割台半ばであったが、平成22年度（42.7%）では4割強にまで増加している。

陽性者の人数は、「1人」が微増しており、平成22年度（15.0%）では1割台半ばとなっている。一方、「10～49人」においては、平成18年度（16.3%）は1割台半ばであったが、平成22年度では4.9%にまで減少している。

表5-3-11 B型肝炎ウイルス検査の実績／健康増進法に基づく肝炎ウイルス検査【うち陽性者】

	調査数	0人	1人	2人	3 ~ 4人	5 ~ 9人	10 ~ 49人	50人以上	無回答
平成18年度	1216	205	125	87	130	168	198	12	291
	100.0	16.9	10.3	7.2	10.7	13.8	16.3	1.0	23.9
平成19年度	1216	351	135	123	120	132	108	6	241
	100.0	28.9	11.1	10.1	9.9	10.9	8.9	0.5	19.8
平成20年度	1216	478	171	92	91	89	92	4	199
	100.0	39.3	14.1	7.6	7.5	7.3	7.6	0.3	16.4
平成21年度	1216	489	181	104	99	94	64	3	182
	100.0	40.2	14.9	8.6	8.1	7.7	5.3	0.2	15.0
平成22年度	1216	519	183	104	89	83	60	4	174
	100.0	42.7	15.0	8.6	7.3	6.8	4.9	0.3	14.3

表5-3- 12 B型肝炎ウイルス検査の実績／健康増進法に基づく肝炎ウイルス検査【うち陽性者】クロス集計表

		②41歳以上／うち陽性者								
		調査数	0人	1人	2人	3 ～ 4人	5 ～ 9人	10 ～ 49人	50人以上	無回答
【平成18年度】	全体	1216	205	125	87	130	168	198	12	291
		100.0	16.9	10.3	7.2	10.7	13.8	16.3	1.0	23.9
地域ブロック	北海道	118	29	18	13	11	12	6	1	28
		100.0	24.6	15.3	11.0	9.3	10.2	5.1	0.8	23.7
	東北	141	34	13	3	7	25	23	1	35
		100.0	24.1	9.2	2.1	5.0	17.7	16.3	0.7	24.8
	関東信越	330	43	38	18	35	38	72	4	82
		100.0	13.0	11.5	5.5	10.6	11.5	21.8	1.2	24.8
	東海北陸	154	24	16	12	26	19	27	2	28
		100.0	15.6	10.4	7.8	16.9	12.3	17.5	1.3	18.2
近畿	155	31	13	16	19	24	23	2	27	
	100.0	20.0	8.4	10.3	12.3	15.5	14.8	1.3	17.4	
中国	75	7	5	9	12	8	11	1	22	
	100.0	9.3	6.7	12.0	16.0	10.7	14.7	1.3	29.3	
四国	59	18	7	2	6	8	9	-	9	
	100.0	30.5	11.9	3.4	10.2	13.6	15.3	-	15.3	
九州	184	19	15	14	14	34	27	1	60	
	100.0	10.3	8.2	7.6	7.6	18.5	14.7	0.5	32.6	
【平成19年度】	全体	1216	351	135	123	120	132	108	6	241
		100.0	28.9	11.1	10.1	9.9	10.9	8.9	0.5	19.8
地域ブロック	北海道	118	43	12	9	14	11	5	1	23
		100.0	36.4	10.2	7.6	11.9	9.3	4.2	0.8	19.5
	東北	141	56	11	13	9	5	11	1	35
		100.0	39.7	7.8	9.2	6.4	3.5	7.8	0.7	24.8
	関東信越	330	87	43	34	39	27	31	1	68
		100.0	26.4	13.0	10.3	11.8	8.2	9.4	0.3	20.6
	東海北陸	154	54	11	17	13	18	20	1	20
		100.0	35.1	7.1	11.0	8.4	11.7	13.0	0.6	13.0
近畿	155	46	22	17	13	20	12	2	23	
	100.0	29.7	14.2	11.0	8.4	12.9	7.7	1.3	14.8	
中国	75	21	9	8	4	11	5	-	17	
	100.0	28.0	12.0	10.7	5.3	14.7	6.7	-	22.7	
四国	59	21	5	8	9	4	3	-	9	
	100.0	35.6	8.5	13.6	15.3	6.8	5.1	-	15.3	
九州	184	23	22	17	19	36	21	-	46	
	100.0	12.5	12.0	9.2	10.3	19.6	11.4	-	25.0	
【平成20年度】	全体	1216	478	171	92	91	89	92	4	199
		100.0	39.3	14.1	7.6	7.5	7.3	7.6	0.3	16.4
地域ブロック	北海道	118	52	17	10	5	6	6	-	22
		100.0	44.1	14.4	8.5	4.2	5.1	5.1	-	18.6
	東北	141	62	15	10	9	9	8	1	27
		100.0	44.0	10.6	7.1	6.4	6.4	5.7	0.7	19.1
	関東信越	330	126	51	26	26	24	26	2	49
		100.0	38.2	15.5	7.9	7.9	7.3	7.9	0.6	14.8
	東海北陸	154	77	17	11	6	10	16	1	16
		100.0	50.0	11.0	7.1	3.9	6.5	10.4	0.6	10.4
近畿	155	61	27	15	12	8	12	-	20	
	100.0	39.4	17.4	9.7	7.7	5.2	7.7	-	12.9	
中国	75	28	12	2	10	4	5	-	14	
	100.0	37.3	16.0	2.7	13.3	5.3	6.7	-	18.7	
四国	59	26	8	3	5	5	2	-	10	
	100.0	44.1	13.6	5.1	8.5	8.5	3.4	-	16.9	
九州	184	46	24	15	18	23	17	-	41	
	100.0	25.0	13.0	8.2	9.8	12.5	9.2	-	22.3	

平成18年度( $\chi^2=82.863, df=42, p=0.000 < 0.05$ )・平成19年度( $\chi^2=82.737, df=42, p=0.000 < 0.05$ )・平成20年度( $\chi^2=51.456, df=42, p=0.150$  n.s.)

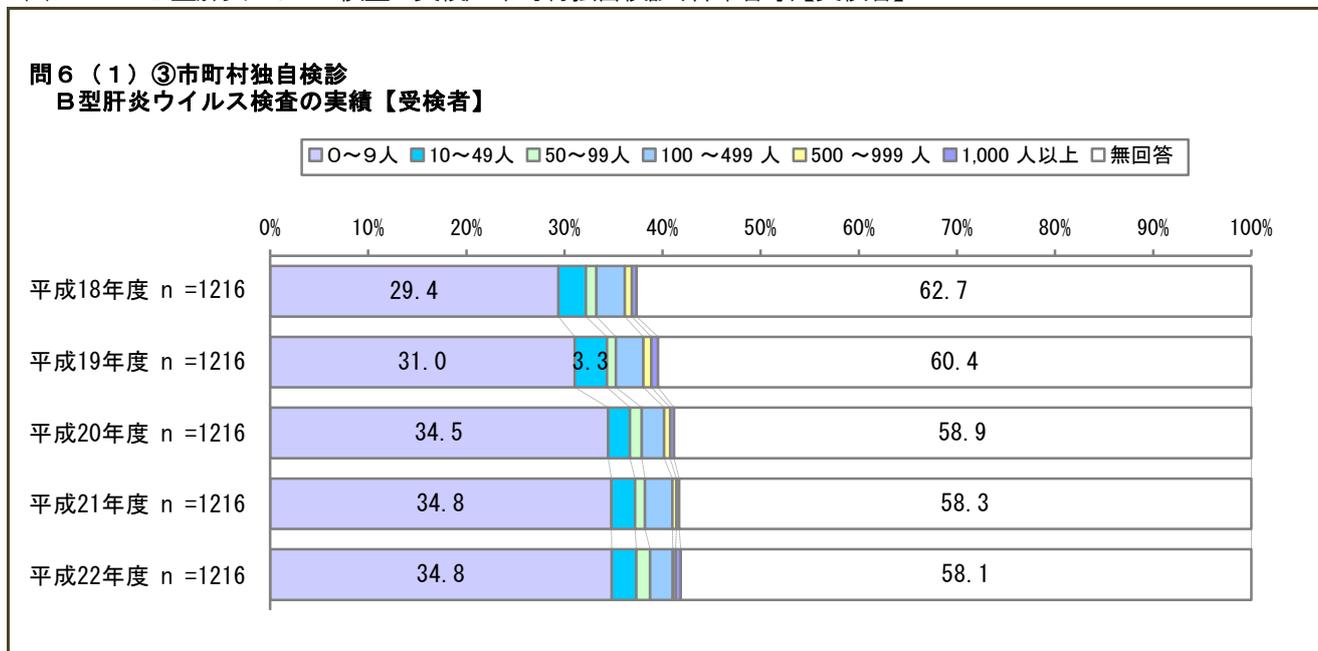
		②41歳以上／うち陽性者								
		調査数	0人	1人	2人	3 ～ 4人	5 ～ 9人	10 ～ 49人	50人以上	無回答
【平成21年度】 全 体		1216 100.0	489 40.2	181 14.9	104 8.6	99 8.1	94 7.7	64 5.3	3 0.2	182 15.0
地域ブロック	北海道	118 100.0	49 41.5	20 16.9	10 8.5	6 5.1	9 7.6	1 0.8	- -	23 19.5
	東北	141 100.0	70 49.6	22 15.6	3 2.1	9 6.4	7 5.0	7 5.0	1 0.7	22 15.6
	関東信越	330 100.0	126 38.2	46 13.9	34 10.3	30 9.1	30 9.1	16 4.8	1 0.3	47 14.2
	東海北陸	154 100.0	77 50.0	20 13.0	11 7.1	14 9.1	8 5.2	12 7.8	- -	12 7.8
	近畿	155 100.0	62 40.0	31 20.0	12 7.7	16 10.3	7 4.5	5 3.2	1 0.6	21 13.5
	中国	75 100.0	30 40.0	13 17.3	4 5.3	6 8.0	7 9.3	3 4.0	- -	12 16.0
	四国	59 100.0	24 40.7	10 16.9	7 11.9	3 5.1	2 3.4	4 6.8	- -	9 15.3
	九州	184 100.0	51 27.7	19 10.3	23 12.5	15 8.2	24 13.0	16 8.7	- -	36 19.6
【平成22年度】 全 体		1216 100.0	519 42.7	183 15.0	104 8.6	89 7.3	83 6.8	60 4.9	4 0.3	174 14.3
地域ブロック	北海道	118 100.0	50 42.4	26 22.0	11 9.3	8 6.8	3 2.5	2 1.7	- -	18 15.3
	東北	141 100.0	69 48.9	18 12.8	11 7.8	7 5.0	7 5.0	8 5.7	1 0.7	20 14.2
	関東信越	330 100.0	132 40.0	49 14.8	34 10.3	32 9.7	20 6.1	17 5.2	2 0.6	44 13.3
	東海北陸	154 100.0	83 53.9	15 9.7	12 7.8	8 5.2	15 9.7	8 5.2	- -	13 8.4
	近畿	155 100.0	70 45.2	26 16.8	14 9.0	8 5.2	12 7.7	5 3.2	- -	20 12.9
	中国	75 100.0	32 42.7	11 14.7	4 5.3	5 6.7	7 9.3	5 6.7	- -	11 14.7
	四国	59 100.0	28 47.5	4 6.8	4 6.8	6 10.2	2 3.4	3 5.1	- -	12 20.3
	九州	184 100.0	55 29.9	34 18.5	14 7.6	15 8.2	17 9.2	12 6.5	1 0.5	36 19.6

平成21年度( $\chi^2=67.790, df=42, p=0.007 < 0.05$ )・平成22年度( $\chi^2=51.880, df=42, p=0.141$  n.s.)

問6. 貴自治体での肝炎ウイルス検査の受検実績についてうかがいます。  
 (1) B型肝炎ウイルス検査の実績を年度別に記入してください。

■市町村独自検診(若年者等)【受検者】

図5-3-7 B型肝炎ウイルス検査の実績／市町村独自検診(若年者等)【受検者】



自治体でのB型肝炎ウイルス検査の実績を市町村独自検診(若年者等)／受検者についてみると、すべての年度において「0～9人」の割合が最も高く、平成18年度(29.4%)、平成19年度(31.0%)では3割前後、平成20年度以降は3割台半ばとなっている。

表5-3-13 B型肝炎ウイルス検査の実績／市町村独自検診(若年者等)【受検者】

	調査数	0 ～ 9 人	1 0 ～ 4 9 人	5 0 ～ 9 9 人	1 0 ～ 4 9 9 人	5 0 ～ 9 9 人	1 0 0 0 ～ 9 9 9 人 以上	無 回 答
平成18年度	1216	357	34	13	35	9	6	762
	100.0	29.4	2.8	1.1	2.9	0.7	0.5	62.7
平成19年度	1216	377	40	11	34	10	9	735
	100.0	31.0	3.3	0.9	2.8	0.8	0.7	60.4
平成20年度	1216	419	27	14	28	7	5	716
	100.0	34.5	2.2	1.2	2.3	0.6	0.4	58.9
平成21年度	1216	423	29	12	34	5	4	709
	100.0	34.8	2.4	1.0	2.8	0.4	0.3	58.3
平成22年度	1216	423	31	17	28	4	6	707
	100.0	34.8	2.5	1.4	2.3	0.3	0.5	58.1

表5-3- 14 B型肝炎ウイルス検査の実績／市町村独自検診(若年者等)【受検者】クロス集計表

		③市町村独自検診(若年者等)／受検者							無回答
		調査数	0 5 9 人	1 0 5 4 9 人	5 0 5 9 人	1 0 5 4 9 9 人	5 0 5 9 9 9 人	1 0 0 0 0 人 以上	
【平成18年度】 全 体		1216 100.0	362 29.8	36 3.0	13 1.1	35 2.9	6 0.5	4 0.3	760 62.5
地域 ブ ロ ッ ク	北海道	118 100.0	43 36.4	4 3.4	1 0.8	3 2.5	-	-	67 56.8
	東北	141 100.0	41 29.1	3 2.1	2 1.4	7 5.0	-	-	88 62.4
	関東信越	330 100.0	95 28.8	8 2.4	3 0.9	5 1.5	3 0.9	3 0.9	213 64.5
	東海北陸	154 100.0	53 34.4	3 1.9	1 0.6	3 1.9	1 0.6	-	93 60.4
	近畿	155 100.0	57 36.8	3 1.9	2 1.3	5 3.2	-	1 0.6	87 56.1
	中国	75 100.0	16 21.3	2 2.7	-	3 4.0	1 1.3	-	53 70.7
	四国	59 100.0	13 22.0	3 5.1	-	1 1.7	-	-	42 71.2
	九州	184 100.0	44 23.9	10 5.4	4 2.2	8 4.3	1 0.5	-	117 63.6
【平成19年度】 全 体		1216 100.0	380 31.3	41 3.4	12 1.0	34 2.8	7 0.6	5 0.4	737 60.6
地域 ブ ロ ッ ク	北海道	118 100.0	36 30.5	9 7.6	-	3 2.5	-	-	70 59.3
	東北	141 100.0	44 31.2	3 2.1	2 1.4	4 2.8	-	-	88 62.4
	関東信越	330 100.0	100 30.3	8 2.4	3 0.9	6 1.8	5 1.5	3 0.9	205 62.1
	東海北陸	154 100.0	56 36.4	2 1.3	1 0.6	4 2.6	1 0.6	-	90 58.4
	近畿	155 100.0	61 39.4	5 3.2	1 0.6	4 2.6	-	1 0.6	83 53.5
	中国	75 100.0	19 25.3	4 5.3	1 1.3	1 1.3	1 1.3	1 1.3	48 64.0
	四国	59 100.0	17 28.8	-	1 1.7	-	-	-	41 69.5
	九州	184 100.0	47 25.5	10 5.4	3 1.6	12 6.5	-	-	112 60.9
【平成20年度】 全 体		1216 100.0	417 34.3	30 2.5	14 1.2	28 2.3	7 0.6	3 0.2	717 59.0
地域 ブ ロ ッ ク	北海道	118 100.0	45 38.1	3 2.5	-	3 2.5	1 0.8	-	66 55.9
	東北	141 100.0	48 34.0	4 2.8	2 1.4	6 4.3	-	-	81 57.4
	関東信越	330 100.0	111 33.6	6 1.8	-	7 2.1	3 0.9	2 0.6	201 60.9
	東海北陸	154 100.0	56 36.4	2 1.3	1 0.6	4 2.6	-	-	91 59.1
	近畿	155 100.0	61 39.4	3 1.9	2 1.3	1 0.6	2 1.3	-	86 55.5
	中国	75 100.0	21 28.0	4 5.3	1 1.3	2 2.7	1 1.3	1 1.3	45 60.0
	四国	59 100.0	17 28.8	1 1.7	1 1.7	-	-	-	40 67.8
	九州	184 100.0	58 31.5	7 3.8	7 3.8	5 2.7	-	-	107 58.2

平成18年度( $\chi^2=31.952,df=35,p=0.616$  n.s.)・平成19年度( $\chi^2=46.194,df=35,p=0.098$  n.s.)・平成20年度( $\chi^2=42.561,df=35,p=0.178$  n.s.)

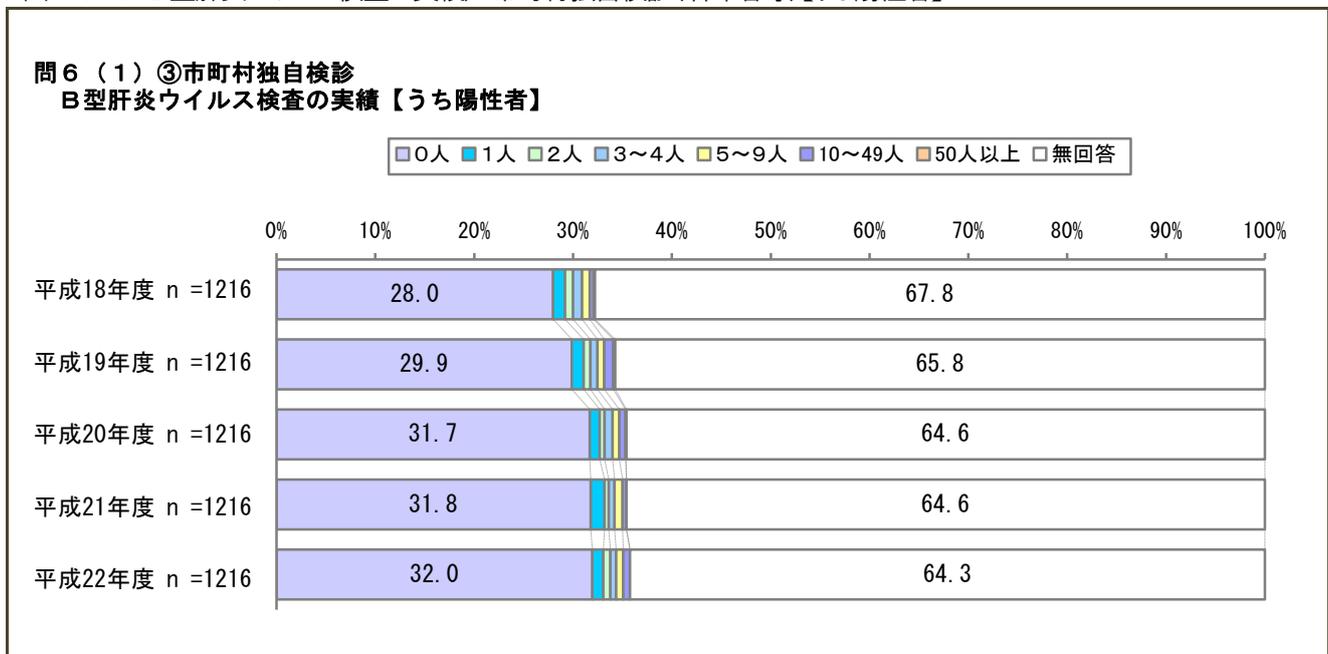
		③市町村独自検診(若年者等)／受検者							無回答
		調査数	0 5 9 人	1 0 5 4 9 人	5 0 5 9 9 人	1 0 5 4 9 9 人	5 0 5 9 9 人	1 0 0 0 人 以上	
【平成21年度】 全 体		1216 100.0	422 34.7	31 2.5	11 0.9	35 2.9	4 0.3	2 0.2	711 58.5
地域 ブ ロ ッ ク	北海道	118 100.0	47 39.8	3 2.5	4 3.4	- -	- -	- -	64 54.2
	東北	141 100.0	45 31.9	4 2.8	2 1.4	7 5.0	1 0.7	- -	82 58.2
	関東信越	330 100.0	112 33.9	6 1.8	- -	7 2.1	2 0.6	1 0.3	202 61.2
	東海北陸	154 100.0	57 37.0	2 1.3	- -	6 3.9	- -	- -	89 57.8
	近畿	155 100.0	61 39.4	6 3.9	- -	2 1.3	1 0.6	- -	85 54.8
	中国	75 100.0	21 28.0	3 4.0	1 1.3	5 6.7	- -	1 1.3	44 58.7
	四国	59 100.0	17 28.8	1 1.7	- -	- -	- -	- -	41 69.5
	九州	184 100.0	62 33.7	6 3.3	4 2.2	8 4.3	- -	- -	104 56.5
【平成22年度】 全 体		1216 100.0	427 35.1	31 2.5	17 1.4	27 2.2	3 0.2	4 0.3	707 58.1
地域 ブ ロ ッ ク	北海道	118 100.0	44 37.3	4 3.4	2 1.7	- -	- -	- -	68 57.6
	東北	141 100.0	48 34.0	2 1.4	4 2.8	5 3.5	1 0.7	1 0.7	80 56.7
	関東信越	330 100.0	113 34.2	6 1.8	2 0.6	6 1.8	1 0.3	2 0.6	200 60.6
	東海北陸	154 100.0	59 38.3	1 0.6	- -	5 3.2	- -	- -	89 57.8
	近畿	155 100.0	61 39.4	6 3.9	- -	1 0.6	1 0.6	- -	86 55.5
	中国	75 100.0	22 29.3	3 4.0	3 4.0	4 5.3	- -	1 1.3	42 56.0
	四国	59 100.0	18 30.5	1 1.7	- -	- -	- -	- -	40 67.8
	九州	184 100.0	62 33.7	8 4.3	6 3.3	6 3.3	- -	- -	102 55.4

平成21年度( $\chi^2=41.071, df=35, p=0.222$  n.s.)・平成22年度( $\chi^2=45.494, df=35, p=0.110$  n.s.)

問6. 貴自治体での肝炎ウイルス検査の受検実績についてうかがいます。  
 (1) B型肝炎ウイルス検査の実績を年度別に記入してください。

■市町村独自検診(若年者等)【うち陽性者】

図5-3-8 B型肝炎ウイルス検査の実績／市町村独自検診(若年者等)【うち陽性者】



自治体でのB型肝炎ウイルス検査の実績を市町村独自検診(若年者等)／うち陽性者についてみると、すべての年度において「0人」の割合が最も高く、平成18年度(28.0%)・平成19年度(29.9%)では2割台、平成20年度以降は3割強と増加傾向にある。

表5-3-15 B型肝炎ウイルス検査の実績／市町村独自検診(若年者等)【うち陽性者】

	調査数	0人	1人	2人	3 ~ 4人	5 ~ 9人	10 ~ 49人	50人以上	無回答
平成18年度	1216	341	14	10	11	10	5	1	824
	100.0	28.0	1.2	0.8	0.9	0.8	0.4	0.1	67.8
平成19年度	1216	363	15	8	9	8	11	2	800
	100.0	29.9	1.2	0.7	0.7	0.7	0.9	0.2	65.8
平成20年度	1216	386	12	6	10	8	7	1	786
	100.0	31.7	1.0	0.5	0.8	0.7	0.6	0.1	64.6
平成21年度	1216	387	17	5	7	10	5	0	785
	100.0	31.8	1.4	0.4	0.6	0.8	0.4	0.0	64.6
平成22年度	1216	389	13	8	7	9	8	0	782
	100.0	32.0	1.1	0.7	0.6	0.7	0.7	0.0	64.3

表5-3-16 B型肝炎ウイルス検査の実績／市町村独自検診(若年者等)【うち陽性者】クロス集計表

		③市町村独自検診(若年者等)／うち陽性者								無回答
		調査数	0人	1人	2人	3 ～ 4人	5 ～ 9人	10 ～ 49人	50人以上	
【平成18年度】 全体		1216 100.0	341 28.0	14 1.2	10 0.8	11 0.9	10 0.8	5 0.4	1 0.1	824 67.8
地域ブロック	北海道	118 100.0	44 37.3	2 1.7	-	1 0.8	-	1 0.8	-	70 59.3
	東北	141 100.0	34 24.1	3 2.1	2 1.4	2 1.4	2 1.4	-	-	98 69.5
	関東信越	330 100.0	90 27.3	3 0.9	1 0.3	2 0.6	3 0.9	2 0.6	-	229 69.4
	東海北陸	154 100.0	48 31.2	1 0.6	1 0.6	-	1 0.6	-	1 0.6	102 66.2
	近畿	155 100.0	51 32.9	2 1.3	1 0.6	3 1.9	2 1.3	-	-	96 61.9
	中国	75 100.0	13 17.3	-	1 1.3	2 2.7	1 1.3	-	-	58 77.3
	四国	59 100.0	14 23.7	-	-	-	-	-	-	45 76.3
	九州	184 100.0	47 25.5	3 1.6	4 2.2	1 0.5	1 0.5	2 1.1	-	126 68.5
【平成19年度】 全体		1216 100.0	363 29.9	15 1.2	8 0.7	9 0.7	8 0.7	11 0.9	2 0.2	800 65.8
地域ブロック	北海道	118 100.0	43 36.4	-	2 1.7	-	-	1 0.8	1 0.8	71 60.2
	東北	141 100.0	38 27.0	4 2.8	-	1 0.7	1 0.7	1 0.7	-	96 68.1
	関東信越	330 100.0	95 28.8	3 0.9	1 0.3	2 0.6	3 0.9	3 0.9	-	223 67.6
	東海北陸	154 100.0	52 33.8	2 1.3	-	1 0.6	-	3 1.9	-	96 62.3
	近畿	155 100.0	55 35.5	2 1.3	-	2 1.3	1 0.6	1 0.6	-	94 60.6
	中国	75 100.0	17 22.7	-	1 1.3	-	1 1.3	1 1.3	1 1.3	54 72.0
	四国	59 100.0	15 25.4	-	-	-	-	-	-	44 74.6
	九州	184 100.0	48 26.1	4 2.2	4 2.2	3 1.6	2 1.1	1 0.5	-	122 66.3
【平成20年度】 全体		1216 100.0	386 31.7	12 1.0	6 0.5	10 0.8	8 0.7	7 0.6	1 0.1	786 64.6
地域ブロック	北海道	118 100.0	43 36.4	3 2.5	-	-	1 0.8	1 0.8	-	70 59.3
	東北	141 100.0	46 32.6	1 0.7	-	3 2.1	2 1.4	1 0.7	-	88 62.4
	関東信越	330 100.0	101 30.6	1 0.3	1 0.3	1 0.3	4 1.2	2 0.6	-	220 66.7
	東海北陸	154 100.0	52 33.8	-	1 0.6	2 1.3	-	-	-	99 64.3
	近畿	155 100.0	56 36.1	2 1.3	-	-	-	2 1.3	-	95 61.3
	中国	75 100.0	18 24.0	1 1.3	-	3 4.0	1 1.3	-	1 1.3	51 68.0
	四国	59 100.0	15 25.4	-	1 1.7	-	-	-	-	43 72.9
	九州	184 100.0	55 29.9	4 2.2	3 1.6	1 0.5	-	1 0.5	-	120 65.2

平成18年度( $\chi^2=37.543, df=42, p=0.667$  n.s.)・平成19年度( $\chi^2=45.775, df=42, p=0.318$  n.s.)・平成20年度( $\chi^2=64.613, df=42, p=0.014 < 0.05$ )

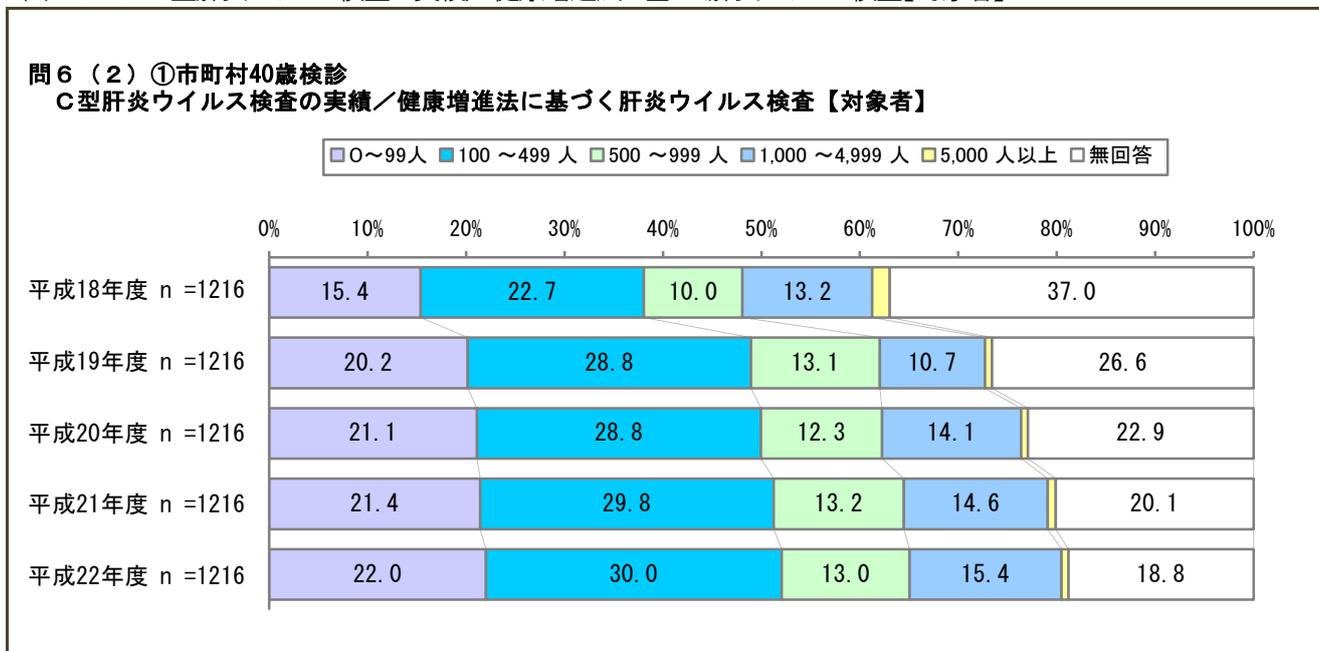
		③市町村独自検診(若年者等)のうち陽性者								
		調査数	0人	1人	2人	3 ~ 4人	5 ~ 9人	10 ~ 49人	50人以上	無回答
【平成21年度】 全 体		1216 100.0	387 31.8	17 1.4	5 0.4	7 0.6	10 0.8	5 0.4	-	785 64.6
地域 ブ ロ ッ ク	北海道	118 100.0	45 38.1	2 1.7	1 0.8	-	-	1 0.8	-	69 58.5
	東北	141 100.0	43 30.5	4 2.8	1 0.7	1 0.7	3 2.1	1 0.7	-	88 62.4
	関東信越	330 100.0	97 29.4	3 0.9	2 0.6	1 0.3	3 0.9	1 0.3	-	223 67.6
	東海北陸	154 100.0	53 34.4	-	-	1 0.6	1 0.6	1 0.6	-	98 63.6
	近畿	155 100.0	56 36.1	2 1.3	-	-	2 1.3	-	-	95 61.3
	中国	75 100.0	19 25.3	1 1.3	1 1.3	2 2.7	1 1.3	1 1.3	-	50 66.7
	四国	59 100.0	15 25.4	-	-	-	-	-	-	44 74.6
	九州	184 100.0	59 32.1	5 2.7	-	2 1.1	-	-	-	118 64.1
【平成22年度】 全 体		1216 100.0	389 32.0	13 1.1	8 0.7	7 0.6	9 0.7	8 0.7	-	782 64.3
地域 ブ ロ ッ ク	北海道	118 100.0	44 37.3	2 1.7	-	-	-	1 0.8	-	71 60.2
	東北	141 100.0	45 31.9	1 0.7	1 0.7	2 1.4	3 2.1	3 2.1	-	86 61.0
	関東信越	330 100.0	100 30.3	3 0.9	1 0.3	2 0.6	1 0.3	2 0.6	-	221 67.0
	東海北陸	154 100.0	52 33.8	2 1.3	2 1.3	-	-	1 0.6	-	97 63.0
	近畿	155 100.0	58 37.4	1 0.6	-	-	1 0.6	-	-	95 61.3
	中国	75 100.0	20 26.7	1 1.3	1 1.3	2 2.7	1 1.3	1 1.3	-	49 65.3
	四国	59 100.0	16 27.1	-	-	-	-	-	-	43 72.9
	九州	184 100.0	54 29.3	3 1.6	3 1.6	1 0.5	3 1.6	-	-	120 65.2

平成21年度( $\chi^2=33.539, df=35, p=0.539$  n.s.)・平成22年度( $\chi^2=36.932, df=35, p=0.380$  n.s.)

問6. 貴自治体での肝炎ウイルス検査の受検実績についてうかがいます。  
 (1)C型肝炎ウイルス検査の実績を年度別に記入してください。

■健康増進法に基づく肝炎ウイルス検査 ①市町村40歳検診【対象者】

図5-3-9 C型肝炎ウイルス検査の実績／健康増進法に基づく肝炎ウイルス検査【対象者】



自治体でのC型肝炎ウイルス検査の実績を①市町村40歳検診／対象者についてみると、すべての年度において「100～499人」の割合が最も高く、平成18年度では22.7%、平成19年度・平成20年度では28.8%、平成21年度以降は約3割となっている。次いで「0～99人」の割合が高く、平成19年度以降は2割を超えている。

表 5-3- 17 C型肝炎ウイルス検査の実績／健康増進法に基づく肝炎ウイルス検査【対象者】

	調査数	0 ～ 9 9 人	1 0 0 ～ 4 9 9 人	5 0 0 ～ 9 9 9 人	1 0 0 ～ 4 0 9 9 人	5 0 0 ～ 9 9 9 人 以上	無 回 答
平成18年度	1216	187	276	121	160	22	450
	100.0	15.4	22.7	10.0	13.2	1.8	37.0
平成19年度	1216	246	350	159	130	8	323
	100.0	20.2	28.8	13.1	10.7	0.7	26.6
平成20年度	1216	257	350	150	172	9	278
	100.0	21.1	28.8	12.3	14.1	0.7	22.9
平成21年度	1216	260	362	161	178	10	245
	100.0	21.4	29.8	13.2	14.6	0.8	20.1
平成22年度	1216	268	365	158	187	9	229
	100.0	22.0	30.0	13.0	15.4	0.7	18.8

表 5-3- 18 C型肝炎ウイルス検査の実績／健康増進法に基づく肝炎ウイルス検査【対象者】クロス集計表

		①市町村40歳検診／対象者						無回答
		調査数	0 5 9 9 人	1 0 5 4 9 9 人	5 0 5 9 9 9 人	1 0 4 0 5 9 9 人	5 0 0 0 0 人 以上	
【平成18年度】 全 体		1216 100.0	187 15.4	276 22.7	121 10.0	160 13.2	22 1.8	450 37.0
地域ブ ロッ ク	北海道	118 100.0	46 39.0	24 20.3	5 4.2	5 4.2	-	38 32.2
	東北	141 100.0	29 20.6	42 29.8	13 9.2	11 7.8	3 2.1	43 30.5
	関東信越	330 100.0	37 11.2	58 17.6	37 11.2	61 18.5	12 3.6	125 37.9
	東海北陸	154 100.0	14 9.1	33 21.4	21 13.6	27 17.5	4 2.6	55 35.7
	近畿	155 100.0	15 9.7	45 29.0	19 12.3	31 20.0	2 1.3	43 27.7
	中国	75 100.0	9 12.0	19 25.3	5 6.7	10 13.3	-	32 42.7
	四国	59 100.0	13 22.0	11 18.6	5 8.5	3 5.1	-	27 45.8
	九州	184 100.0	24 13.0	44 23.9	16 8.7	12 6.5	1 0.5	87 47.3
【平成19年度】 全 体		1216 100.0	246 20.2	350 28.8	159 13.1	130 10.7	8 0.7	323 26.6
地域ブ ロッ ク	北海道	118 100.0	58 49.2	25 21.2	4 3.4	3 2.5	-	28 23.7
	東北	141 100.0	42 29.8	51 36.2	13 9.2	6 4.3	-	29 20.6
	関東信越	330 100.0	44 13.3	77 23.3	49 14.8	60 18.2	7 2.1	93 28.2
	東海北陸	154 100.0	15 9.7	53 34.4	29 18.8	17 11.0	-	40 26.0
	近畿	155 100.0	22 14.2	53 34.2	27 17.4	26 16.8	1 0.6	26 16.8
	中国	75 100.0	16 21.3	23 30.7	7 9.3	6 8.0	-	23 30.7
	四国	59 100.0	13 22.0	17 28.8	5 8.5	2 3.4	-	22 37.3
	九州	184 100.0	36 19.6	51 27.7	25 13.6	10 5.4	-	62 33.7
【平成20年度】 全 体		1216 100.0	257 21.1	350 28.8	150 12.3	172 14.1	9 0.7	278 22.9
地域ブ ロッ ク	北海道	118 100.0	63 53.4	24 20.3	2 1.7	4 3.4	-	25 21.2
	東北	141 100.0	44 31.2	56 39.7	14 9.9	9 6.4	-	18 12.8
	関東信越	330 100.0	49 14.8	73 22.1	44 13.3	79 23.9	6 1.8	79 23.9
	東海北陸	154 100.0	18 11.7	52 33.8	30 19.5	23 14.9	1 0.6	30 19.5
	近畿	155 100.0	15 9.7	51 32.9	22 14.2	38 24.5	2 1.3	27 17.4
	中国	75 100.0	15 20.0	24 32.0	7 9.3	7 9.3	-	22 29.3
	四国	59 100.0	12 20.3	17 28.8	7 11.9	2 3.4	-	21 35.6
	九州	184 100.0	41 22.3	53 28.8	24 13.0	10 5.4	-	56 30.4

平成18年度( $\chi^2=114.464,df=28,p=0.000 <0.05$ )・平成19年度( $\chi^2=155.939,df=28,p=0.000 <0.05$ )・平成20年度( $\chi^2=189.704,df=28,p=0.000 <0.05$ )

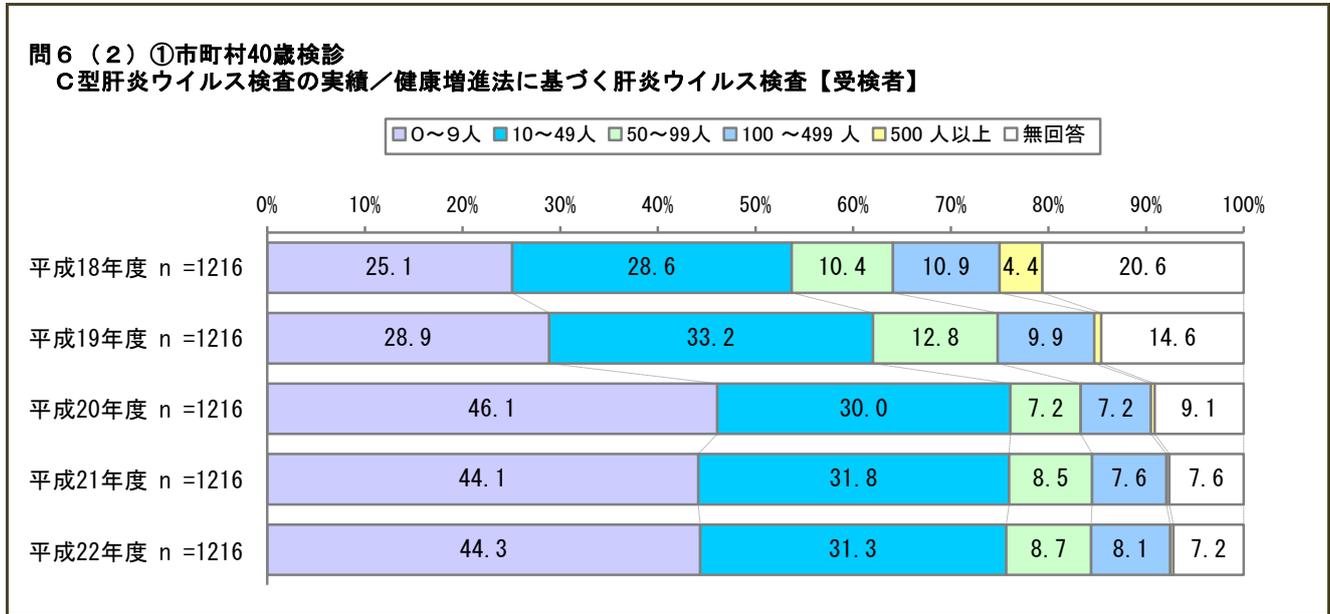
		①市町村40歳検診／対象者						無回答
		調査数	0 5 9 9 人	1 0 0 5 4 9 9 9 人	5 0 0 5 9 9 9 人	1 0 0 4 0 5 9 9 9 人	5 0 0 0 0 人 以上	
【平成21年度】 全 体		1216 100.0	260 21.4	362 29.8	161 13.2	178 14.6	10 0.8	245 20.1
地域ブ ロッ ク	北海道	118 100.0	63 53.4	24 20.3	4 3.4	3 2.5	-	24 20.3
	東北	141 100.0	43 30.5	55 39.0	17 12.1	8 5.7	-	18 12.8
	関東信越	330 100.0	52 15.8	77 23.3	47 14.2	82 24.8	6 1.8	66 20.0
	東海北陸	154 100.0	21 13.6	49 31.8	30 19.5	27 17.5	1 0.6	26 16.9
	近畿	155 100.0	15 9.7	54 34.8	21 13.5	38 24.5	3 1.9	24 15.5
	中国	75 100.0	15 20.0	25 33.3	8 10.7	7 9.3	-	20 26.7
	四国	59 100.0	11 18.6	22 37.3	6 10.2	2 3.4	-	18 30.5
	九州	184 100.0	40 21.7	56 30.4	28 15.2	11 6.0	-	49 26.6
【平成22年度】 全 体		1216 100.0	268 22.0	365 30.0	158 13.0	187 15.4	9 0.7	229 18.8
地域ブ ロッ ク	北海道	118 100.0	66 55.9	21 17.8	4 3.4	3 2.5	-	24 20.3
	東北	141 100.0	47 33.3	56 39.7	14 9.9	11 7.8	-	13 9.2
	関東信越	330 100.0	53 16.1	79 23.9	46 13.9	83 25.2	6 1.8	63 19.1
	東海北陸	154 100.0	17 11.0	48 31.2	31 20.1	27 17.5	1 0.6	30 19.5
	近畿	155 100.0	17 11.0	53 34.2	19 12.3	43 27.7	2 1.3	21 13.5
	中国	75 100.0	15 20.0	24 32.0	10 13.3	7 9.3	-	19 25.3
	四国	59 100.0	13 22.0	21 35.6	6 10.2	3 5.1	-	16 27.1
	九州	184 100.0	40 21.7	63 34.2	28 15.2	10 5.4	-	43 23.4

平成21年度( $\chi^2=188.203, df=28, p=0.000 < 0.05$ )・平成22年度( $\chi^2=204.739, df=28, p=0.000 < 0.05$ )

問6. 貴自治体での肝炎ウイルス検査の受検実績についてうかがいます。  
 (1)C型肝炎ウイルス検査の実績を年度別に記入してください。

■健康増進法に基づく肝炎ウイルス検査 ①市町村40歳検診【受検者】

図5-3- 10 C型肝炎ウイルス検査の実績／健康増進法に基づく肝炎ウイルス検査【受検者】



自治体でのC型肝炎ウイルス検査の実績を①市町村40歳検診／受検者についてみると、「0～9人」は平成18年度（25.1%）・平成19年度（28.9%）では2割台であったが、平成20年度から急増し、平成20年度では46.1%、平成21年度では44.1%、平成22年度では44.3%となっている。「10～49人」は平成18年度（28.6%）・平成19年度（33.2%）では「0～9人」を上回る割合であったが、平成20年度以降は3割台にとどまっている。

表 5-3- 19 C型肝炎ウイルス検査の実績／健康増進法に基づく肝炎ウイルス検査【受検者】

	調査数	0 ～ 9 人	1 0 ～ 4 9 人	5 0 ～ 9 9 人	1 0 ～ 4 9 9 人	5 0 ～ 9 9 人 以上	無 回 答
平成18年度	1216	305	348	127	133	53	250
	100.0	25.1	28.6	10.4	10.9	4.4	20.6
平成19年度	1216	351	404	156	120	8	177
	100.0	28.9	33.2	12.8	9.9	0.7	14.6
平成20年度	1216	560	365	87	88	5	111
	100.0	46.1	30.0	7.2	7.2	0.4	9.1
平成21年度	1216	536	387	103	93	4	93
	100.0	44.1	31.8	8.5	7.6	0.3	7.6
平成22年度	1216	539	381	106	99	4	87
	100.0	44.3	31.3	8.7	8.1	0.3	7.2

表 5-3- 20 C型肝炎ウイルス検査の実績／健康増進法に基づく肝炎ウイルス検査【受検者】クロス集計表

		①市町村40歳検診／受検者						無回答
		調査数	0 5 9 人	1 0 5 4 9 人	5 0 5 9 9 人	1 0 0 5 4 9 9 人	5 0 0 人 以 上	
【平成18年度】 全 体		1216 100.0	305 25.1	348 28.6	127 10.4	133 10.9	53 4.4	250 20.6
地域ブ ロッ ク	北海道	118 100.0	58 49.2	24 20.3	9 7.6	7 5.9	-	20 16.9
	東北	141 100.0	39 27.7	47 33.3	11 7.8	10 7.1	7 5.0	27 19.1
	関東信越	330 100.0	47 14.2	91 27.6	47 14.2	47 14.2	27 8.2	71 21.5
	東海北陸	154 100.0	26 16.9	46 29.9	23 14.9	23 14.9	11 7.1	25 16.2
	近畿	155 100.0	33 21.3	49 31.6	21 13.5	24 15.5	4 2.6	24 15.5
	中国	75 100.0	27 36.0	21 28.0	4 5.3	5 6.7	-	18 24.0
	四国	59 100.0	17 28.8	18 30.5	6 10.2	4 6.8	1 1.7	13 22.0
	九州	184 100.0	58 31.5	52 28.3	6 3.3	13 7.1	3 1.6	52 28.3
【平成19年度】 全 体		1216 100.0	351 28.9	404 33.2	156 12.8	120 9.9	8 0.7	177 14.6
地域ブ ロッ ク	北海道	118 100.0	70 59.3	29 24.6	1 0.8	2 1.7	-	16 13.6
	東北	141 100.0	47 33.3	51 36.2	16 11.3	7 5.0	-	20 14.2
	関東信越	330 100.0	51 15.5	105 31.8	65 19.7	56 17.0	6 1.8	47 14.2
	東海北陸	154 100.0	24 15.6	60 39.0	32 20.8	20 13.0	-	18 11.7
	近畿	155 100.0	44 28.4	56 36.1	21 13.5	19 12.3	2 1.3	13 8.4
	中国	75 100.0	35 46.7	19 25.3	5 6.7	1 1.3	-	15 20.0
	四国	59 100.0	20 33.9	20 33.9	3 5.1	6 10.2	-	10 16.9
	九州	184 100.0	60 32.6	64 34.8	13 7.1	9 4.9	-	38 20.7
【平成20年度】 全 体		1216 100.0	560 46.1	365 30.0	87 7.2	88 7.2	5 0.4	111 9.1
地域ブ ロッ ク	北海道	118 100.0	85 72.0	16 13.6	1 0.8	-	-	16 13.6
	東北	141 100.0	73 51.8	48 34.0	7 5.0	5 3.5	-	8 5.7
	関東信越	330 100.0	110 33.3	124 37.6	32 9.7	38 11.5	3 0.9	23 7.0
	東海北陸	154 100.0	44 28.6	59 38.3	18 11.7	23 14.9	2 1.3	8 5.2
	近畿	155 100.0	77 49.7	39 25.2	14 9.0	14 9.0	-	11 7.1
	中国	75 100.0	48 64.0	12 16.0	3 4.0	-	-	12 16.0
	四国	59 100.0	31 52.5	12 20.3	3 5.1	3 5.1	-	10 16.9
	九州	184 100.0	92 50.0	55 29.9	9 4.9	5 2.7	-	23 12.5

平成18年度( $\chi^2=124.166, df=28, p=0.000 < 0.05$ )・平成19年度( $\chi^2=179.988, df=28, p=0.000 < 0.05$ )・平成20年度( $\chi^2=146.114, df=28, p=0.000 < 0.05$ )

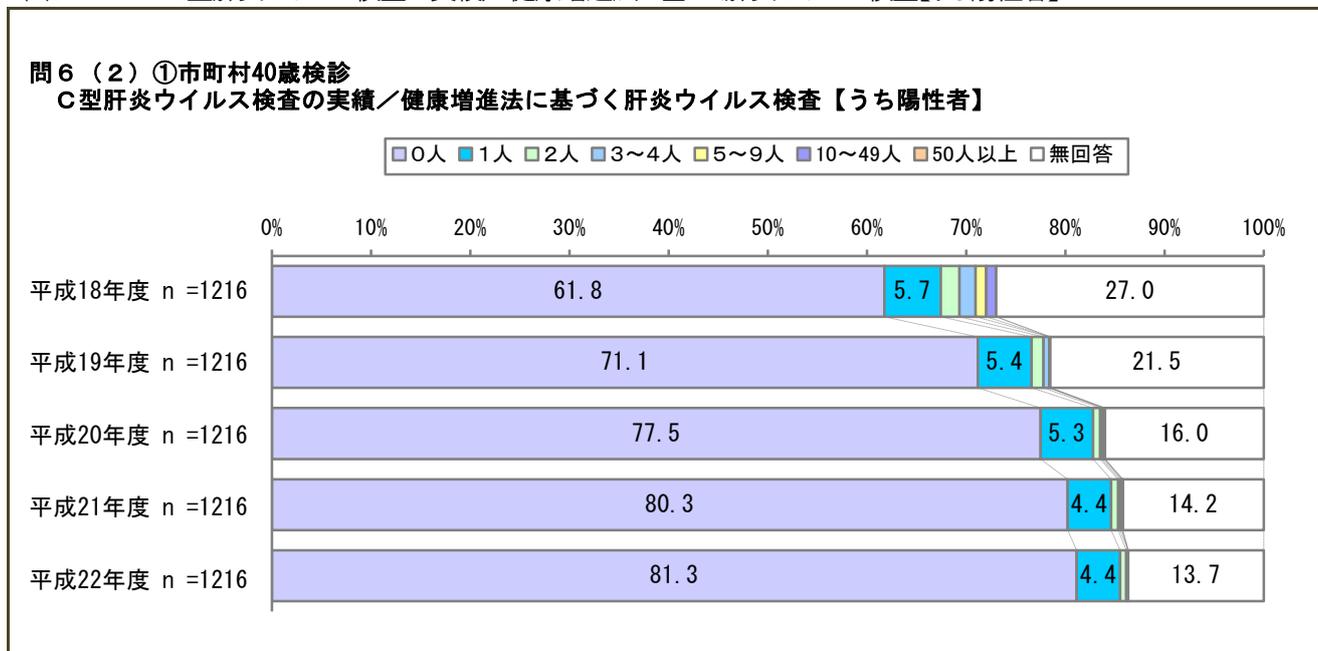
		①市町村40歳検診／受検者						
		調査数	0 5 9 人	1 0 5 4 9 人	5 0 5 9 9 人	1 0 5 4 9 9 人	5 0 0 0 人 以上	無 回 答
【平成21年度】 全 体		1216 100.0	536 44.1	387 31.8	103 8.5	93 7.6	4 0.3	93 7.6
地域ブ ロ ッ ク	北海道	118 100.0	84 71.2	16 13.6	2 1.7	- -	- -	16 13.6
	東北	141 100.0	65 46.1	51 36.2	11 7.8	8 5.7	- -	6 4.3
	関東信越	330 100.0	103 31.2	127 38.5	35 10.6	41 12.4	3 0.9	21 6.4
	東海北陸	154 100.0	41 26.6	57 37.0	28 18.2	22 14.3	1 0.6	5 3.2
	近畿	155 100.0	71 45.8	51 32.9	8 5.2	16 10.3	- -	9 5.8
	中国	75 100.0	53 70.7	10 13.3	3 4.0	- -	- -	9 12.0
	四国	59 100.0	25 42.4	17 28.8	6 10.2	2 3.4	- -	9 15.3
	九州	184 100.0	94 51.1	58 31.5	10 5.4	4 2.2	- -	18 9.8
【平成22年度】 全 体		1216 100.0	539 44.3	381 31.3	106 8.7	99 8.1	4 0.3	87 7.2
地域ブ ロ ッ ク	北海道	118 100.0	87 73.7	12 10.2	4 3.4	- -	- -	15 12.7
	東北	141 100.0	70 49.6	45 31.9	13 9.2	9 6.4	- -	4 2.8
	関東信越	330 100.0	97 29.4	128 38.8	42 12.7	40 12.1	3 0.9	20 6.1
	東海北陸	154 100.0	38 24.7	60 39.0	23 14.9	25 16.2	1 0.6	7 4.5
	近畿	155 100.0	75 48.4	46 29.7	11 7.1	16 10.3	- -	7 4.5
	中国	75 100.0	50 66.7	14 18.7	2 2.7	1 1.3	- -	8 10.7
	四国	59 100.0	24 40.7	20 33.9	3 5.1	2 3.4	- -	10 16.9
	九州	184 100.0	98 53.3	56 30.4	8 4.3	6 3.3	- -	16 8.7

平成21年度( $\chi^2=167.383,df=28,p=0.000 <0.05$ )・平成22年度( $\chi^2=170.349,df=28,p=0.000 <0.05$ )

問6. 貴自治体での肝炎ウイルス検査の受検実績についてうかがいます。  
 (1)C型肝炎ウイルス検査の実績を年度別に記入してください。

■健康増進法に基づく肝炎ウイルス検査 ①市町村40歳検診【うち陽性者】

図5-3- 11 C型肝炎ウイルス検査の実績／健康増進法に基づく肝炎ウイルス検査【うち陽性者】



自治体でのC型肝炎ウイルス検査の実績を①市町村40歳検診／うち陽性者についてみると、すべての年度において「0人」の割合が最も高く、平成18年度 (61.8%) では6割台、平成19年度 (71.1%)・平成20年度 (77.5%) では7割台、平成21年度 (80.3%)・平成22年度 (81.3%) では8割台と平成18年度に比べて大幅に増加している。

表5-3- 21 C型肝炎ウイルス検査の実績／健康増進法に基づく肝炎ウイルス検査【うち陽性者】

	調査数	0人	1人	2人	3 人	4 人	5 人	6 人	7 人	8 人	9 人	10 人以上	無回答
平成18年度	1216	751	69	23	20	13	12	0	0	0	0	0	328
	100.0	61.8	5.7	1.9	1.6	1.1	1.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	27.0
平成19年度	1216	865	66	15	7	0	1	0	0	0	0	0	262
	100.0	71.1	5.4	1.2	0.6	0.0	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	21.5
平成20年度	1216	943	64	9	2	2	1	0	0	0	0	0	195
	100.0	77.5	5.3	0.7	0.2	0.2	0.1	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	16.0
平成21年度	1216	976	54	8	2	2	0	0	0	0	0	1	173
	100.0	80.3	4.4	0.7	0.2	0.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.1	0.1	14.2
平成22年度	1216	988	53	7	2	0	0	0	0	0	0	0	166
	100.0	81.3	4.4	0.6	0.2	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	13.7

表 5-3- 22 C型肝炎ウイルス検査の実績／健康増進法に基づく肝炎ウイルス検査【うち陽性者】 クロス集計表

		①市町村40歳検診／うち陽性者								
		調査数	0人	1人	2人	3 ～ 4人	5 ～ 9人	10 ～ 49人	50人以上	無回答
【平成18年度】 全 体		1216 100.0	751 61.8	69 5.7	23 1.9	20 1.6	13 1.1	12 1.0	-	328 27.0
地域ブロック	北海道	118 100.0	79 66.9	3 2.5	2 1.7	1 0.8	-	-	-	33 28.0
	東北	141 100.0	89 63.1	5 3.5	4 2.8	2 1.4	2 1.4	1 0.7	-	38 27.0
	関東信越	330 100.0	197 59.7	21 6.4	6 1.8	8 2.4	3 0.9	4 1.2	-	91 27.6
	東海北陸	154 100.0	105 68.2	8 5.2	1 0.6	2 1.3	3 1.9	6 3.9	-	29 18.8
	近畿	155 100.0	103 66.5	10 6.5	7 4.5	2 1.3	3 1.9	-	-	30 19.4
	中国	75 100.0	44 58.7	3 4.0	2 2.7	1 1.3	-	-	-	25 33.3
	四国	59 100.0	34 57.6	5 8.5	-	2 3.4	1 1.7	-	-	17 28.8
	九州	184 100.0	100 54.3	14 7.6	1 0.5	2 1.1	1 0.5	1 0.5	-	65 35.3
【平成19年度】 全 体		1216 100.0	865 71.1	66 5.4	15 1.2	7 0.6	-	1 0.1	-	262 21.5
地域ブロック	北海道	118 100.0	84 71.2	4 3.4	1 0.8	-	-	-	-	29 24.6
	東北	141 100.0	102 72.3	7 5.0	1 0.7	-	-	-	-	31 22.0
	関東信越	330 100.0	222 67.3	28 8.5	3 0.9	3 0.9	-	1 0.3	-	73 22.1
	東海北陸	154 100.0	124 80.5	9 5.8	2 1.3	1 0.6	-	-	-	18 11.7
	近畿	155 100.0	120 77.4	7 4.5	5 3.2	2 1.3	-	-	-	21 13.5
	中国	75 100.0	51 68.0	1 1.3	-	-	-	-	-	23 30.7
	四国	59 100.0	42 71.2	2 3.4	1 1.7	1 1.7	-	-	-	13 22.0
	九州	184 100.0	120 65.2	8 4.3	2 1.1	-	-	-	-	54 29.3
【平成20年度】 全 体		1216 100.0	943 77.5	64 5.3	9 0.7	2 0.2	2 0.2	1 0.1	-	195 16.0
地域ブロック	北海道	118 100.0	87 73.7	3 2.5	1 0.8	-	-	-	-	27 22.9
	東北	141 100.0	115 81.6	5 3.5	-	-	-	-	-	21 14.9
	関東信越	330 100.0	256 77.6	24 7.3	6 1.8	-	-	1 0.3	-	43 13.0
	東海北陸	154 100.0	127 82.5	12 7.8	1 0.6	-	2 1.3	-	-	12 7.8
	近畿	155 100.0	125 80.6	10 6.5	-	-	-	-	-	20 12.9
	中国	75 100.0	51 68.0	3 4.0	-	-	-	-	-	21 28.0
	四国	59 100.0	45 76.3	1 1.7	-	1 1.7	-	-	-	12 20.3
	九州	184 100.0	137 74.5	6 3.3	1 0.5	1 0.5	-	-	-	39 21.2

平成18年度( $\chi^2=41.321,df=35,p=0.214$  n.s.)・平成19年度( $\chi^2=24.877,df=28,p=0.635$  n.s.)・平成20年度( $\chi^2=44.108,df=35,p=0.139$  n.s.)

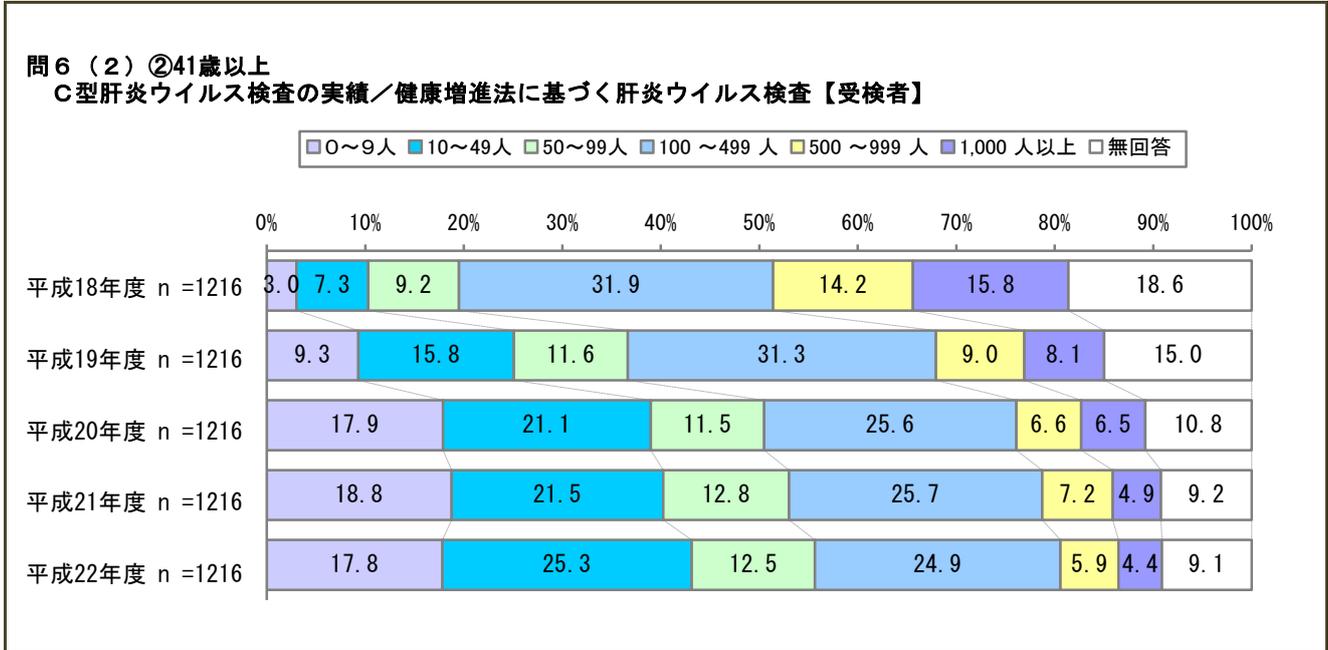
		①市町村40歳検診のうち陽性者								
		調査数	0人	1人	2人	3 ~ 4人	5 ~ 9人	10 ~ 49人	50人以上	無回答
【平成21年度】 全体		1216 100.0	976 80.3	54 4.4	8 0.7	2 0.2	2 0.2	-	1 0.1	173 14.2
地域ブロック	北海道	118 100.0	88 74.6	2 1.7	1 0.8	-	-	-	-	27 22.9
	東北	141 100.0	117 83.0	8 5.7	-	-	-	-	-	16 11.3
	関東信越	330 100.0	270 81.8	15 4.5	4 1.2	1 0.3	-	-	-	40 12.1
	東海北陸	154 100.0	130 84.4	15 9.7	1 0.6	-	-	-	-	8 5.2
	近畿	155 100.0	129 83.2	7 4.5	1 0.6	-	-	-	-	18 11.6
	中国	75 100.0	56 74.7	1 1.3	-	-	-	-	-	18 24.0
	四国	59 100.0	43 72.9	1 1.7	1 1.7	1 1.7	1 1.7	-	-	12 20.3
	九州	184 100.0	143 77.7	5 2.7	-	-	-	1 0.5	-	1 0.5
【平成22年度】 全体		1216 100.0	988 81.3	53 4.4	7 0.6	2 0.2	-	-	-	166 13.7
地域ブロック	北海道	118 100.0	91 77.1	2 1.7	-	-	-	-	-	25 21.2
	東北	141 100.0	118 83.7	7 5.0	1 0.7	-	-	-	-	15 10.6
	関東信越	330 100.0	271 82.1	18 5.5	1 0.3	-	-	-	-	40 12.1
	東海北陸	154 100.0	130 84.4	13 8.4	2 1.3	-	-	-	-	9 5.8
	近畿	155 100.0	132 85.2	6 3.9	1 0.6	1 0.6	-	-	-	15 9.7
	中国	75 100.0	56 74.7	2 2.7	-	-	-	-	-	17 22.7
	四国	59 100.0	47 79.7	1 1.7	-	-	-	-	-	11 18.6
	九州	184 100.0	143 77.7	4 2.2	2 1.1	1 0.5	-	-	-	34 18.5

平成21年度( $\chi^2=47.663,df=35,p=0.075$  n.s.)・平成22年度( $\chi^2=19.530,df=21,p=0.551$  n.s.)

問6. 貴自治体での肝炎ウイルス検査の受検実績についてうかがいます。  
 (1)C型肝炎ウイルス検査の実績を年度別に記入してください。

■健康増進法に基づく肝炎ウイルス検査 ②41歳以上【受検者】

図5-3- 12 C型肝炎ウイルス検査の実績／健康増進法に基づく肝炎ウイルス検査【受検者】



自治体でのC型肝炎ウイルス検査の実績を②41歳以上／受検者についてみると、「100～499人」は平成18年度では31.9%と最も高い割合であったが、徐々に減少し、平成20年度以降は2割台半ばにとどまっている。一方、「10～49人」は平成18年度では7.3%であったが、平成20年度以降は2割を超えており大幅に増加している。「0～9人」においても同様で、平成18年度(3.0%)・平成19年度(9.3%)は1割未満であったが、平成20年度以降は2割弱にまで増加している。

表 5-3- 23 C型肝炎ウイルス検査の実績／健康増進法に基づく肝炎ウイルス検査【受検者】

	調査数	0 人	1 0 人	5 0 人	1 0 人	5 0 人	1 0 人 以上	無 回 答
平成18年度	1216	36	89	112	388	173	192	226
	100.0	3.0	7.3	9.2	31.9	14.2	15.8	18.6
平成19年度	1216	113	192	141	380	109	98	183
	100.0	9.3	15.8	11.6	31.3	9.0	8.1	15.0
平成20年度	1216	218	257	140	311	80	79	131
	100.0	17.9	21.1	11.5	25.6	6.6	6.5	10.8
平成21年度	1216	228	261	156	312	88	59	112
	100.0	18.8	21.5	12.8	25.7	7.2	4.9	9.2
平成22年度	1216	216	308	152	303	72	54	111
	100.0	17.8	25.3	12.5	24.9	5.9	4.4	9.1

表 5-3- 24 C型肝炎ウイルス検査の実績／健康増進法に基づく肝炎ウイルス検査【受検者】クロス集計表

		②41歳以上／受検者							無回答
		調査数	0 5 9 人	1 0 5 4 9 人	5 0 5 9 9 人	1 0 5 4 9 9 人	5 0 5 9 9 9 人	1 0 0 0 0 0 人 以上	
【平成18年度】	全体	1216	36	89	112	388	173	192	226
		100.0	3.0	7.3	9.2	31.9	14.2	15.8	18.6
地域ブロック	北海道	118	11	26	25	36	4	1	15
		100.0	9.3	22.0	21.2	30.5	3.4	0.8	12.7
	東北	141	7	14	14	49	16	12	29
		100.0	5.0	9.9	9.9	34.8	11.3	8.5	20.6
	関東信越	330	9	13	21	82	50	90	65
		100.0	2.7	3.9	6.4	24.8	15.2	27.3	19.7
	東海北陸	154	2	5	9	53	27	34	24
		100.0	1.3	3.2	5.8	34.4	17.5	22.1	15.6
近畿	155	2	16	10	50	31	26	20	
	100.0	1.3	10.3	6.5	32.3	20.0	16.8	12.9	
中国	75	-	2	8	29	10	8	18	
	100.0	-	2.7	10.7	38.7	13.3	10.7	24.0	
四国	59	1	6	11	20	9	6	6	
	100.0	1.7	10.2	18.6	33.9	15.3	10.2	10.2	
九州	184	4	7	14	69	26	15	49	
	100.0	2.2	3.8	7.6	37.5	14.1	8.2	26.6	
【平成19年度】	全体	1216	113	192	141	380	109	98	183
		100.0	9.3	15.8	11.6	31.3	9.0	8.1	15.0
地域ブロック	北海道	118	14	35	28	24	1	2	14
		100.0	11.9	29.7	23.7	20.3	0.8	1.7	11.9
	東北	141	27	22	20	29	4	8	31
		100.0	19.1	15.6	14.2	20.6	2.8	5.7	22.0
	関東信越	330	26	47	31	101	38	38	49
		100.0	7.9	14.2	9.4	30.6	11.5	11.5	14.8
	東海北陸	154	14	23	17	46	18	17	19
		100.0	9.1	14.9	11.0	29.9	11.7	11.0	12.3
近畿	155	15	28	15	50	17	16	14	
	100.0	9.7	18.1	9.7	32.3	11.0	10.3	9.0	
中国	75	4	12	7	26	7	5	14	
	100.0	5.3	16.0	9.3	34.7	9.3	6.7	18.7	
四国	59	4	10	7	25	4	3	6	
	100.0	6.8	16.9	11.9	42.4	6.8	5.1	10.2	
九州	184	9	15	16	79	20	9	36	
	100.0	4.9	8.2	8.7	42.9	10.9	4.9	19.6	
【平成20年度】	全体	1216	218	257	140	311	80	79	131
		100.0	17.9	21.1	11.5	25.6	6.6	6.5	10.8
地域ブロック	北海道	118	23	40	22	17	5	-	11
		100.0	19.5	33.9	18.6	14.4	4.2	-	9.3
	東北	141	41	32	17	22	5	4	20
		100.0	29.1	22.7	12.1	15.6	3.5	2.8	14.2
	関東信越	330	46	58	40	95	19	39	33
		100.0	13.9	17.6	12.1	28.8	5.8	11.8	10.0
	東海北陸	154	35	30	19	31	8	18	13
		100.0	22.7	19.5	12.3	20.1	5.2	11.7	8.4
近畿	155	26	35	11	49	10	10	14	
	100.0	16.8	22.6	7.1	31.6	6.5	6.5	9.0	
中国	75	11	15	6	27	6	2	8	
	100.0	14.7	20.0	8.0	36.0	8.0	2.7	10.7	
四国	59	8	20	6	12	4	2	7	
	100.0	13.6	33.9	10.2	20.3	6.8	3.4	11.9	
九州	184	28	27	19	58	23	4	25	
	100.0	15.2	14.7	10.3	31.5	12.5	2.2	13.6	

平成18年度( $\chi^2=185.044, df=35, p=0.000 < 0.05$ )・平成19年度( $\chi^2=120.687, df=35, p=0.000 < 0.05$ )・平成20年度( $\chi^2=121.749, df=35, p=0.000 < 0.05$ )

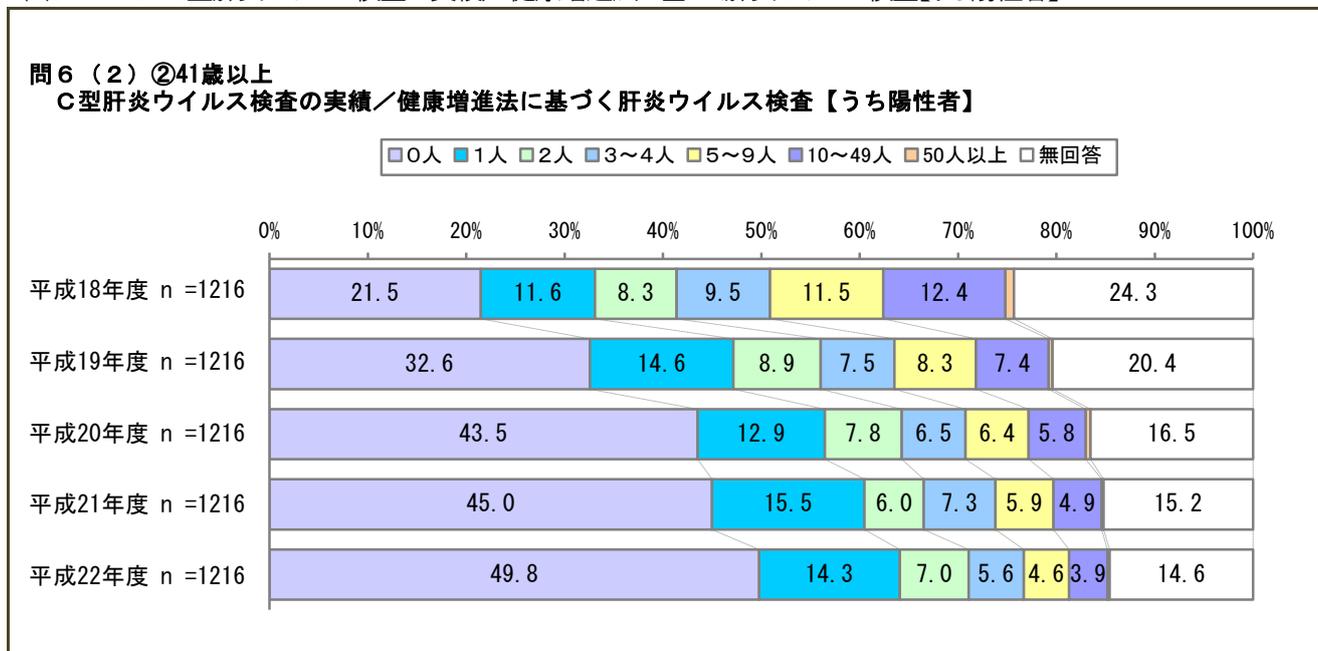
		②41歳以上／受検者							無回答
		調査数	0 5 9 人	1 0 5 4 9 人	5 0 5 9 9 人	1 0 5 4 9 9 人	5 0 5 9 9 人	1 0 0 0 人 以上	
【平成21年度】 全 体		1216 100.0	228 18.8	261 21.5	156 12.8	312 25.7	88 7.2	59 4.9	112 9.2
地域ブ ロッ ク	北海道	118 100.0	24 20.3	41 34.7	23 19.5	18 15.3	1 0.8	1 0.8	10 8.5
	東北	141 100.0	41 29.1	36 25.5	17 12.1	22 15.6	7 5.0	3 2.1	15 10.6
	関東信越	330 100.0	49 14.8	55 16.7	34 10.3	105 31.8	34 10.3	26 7.9	27 8.2
	東海北陸	154 100.0	34 22.1	33 21.4	18 11.7	33 21.4	12 7.8	14 9.1	10 6.5
	近畿	155 100.0	25 16.1	35 22.6	18 11.6	45 29.0	9 5.8	9 5.8	14 9.0
	中国	75 100.0	14 18.7	18 24.0	9 12.0	20 26.7	4 5.3	2 2.7	8 10.7
	四国	59 100.0	14 23.7	12 20.3	5 8.5	15 25.4	5 8.5	1 1.7	7 11.9
	九州	184 100.0	27 14.7	31 16.8	32 17.4	54 29.3	16 8.7	3 1.6	21 11.4
【平成22年度】 全 体		1216 100.0	216 17.8	308 25.3	152 12.5	303 24.9	72 5.9	54 4.4	111 9.1
地域ブ ロッ ク	北海道	118 100.0	21 17.8	49 41.5	21 17.8	16 13.6	1 0.8	1 0.8	9 7.6
	東北	141 100.0	36 25.5	44 31.2	11 7.8	27 19.1	4 2.8	4 2.8	15 10.6
	関東信越	330 100.0	52 15.8	68 20.6	40 12.1	94 28.5	26 7.9	22 6.7	28 8.5
	東海北陸	154 100.0	35 22.7	38 24.7	17 11.0	30 19.5	10 6.5	14 9.1	10 6.5
	近畿	155 100.0	21 13.5	39 25.2	17 11.0	46 29.7	10 6.5	7 4.5	15 9.7
	中国	75 100.0	16 21.3	15 20.0	12 16.0	17 22.7	8 10.7	1 1.3	6 8.0
	四国	59 100.0	11 18.6	12 20.3	8 13.6	14 23.7	4 6.8	1 1.7	9 15.3
	九州	184 100.0	24 13.0	43 23.4	26 14.1	59 32.1	9 4.9	4 2.2	19 10.3

平成21年度( $\chi^2=96.715, df=35, p=0.000 < 0.05$ )・平成22年度( $\chi^2=86.828, df=35, p=0.000 < 0.05$ )

問6. 貴自治体での肝炎ウイルス検査の受検実績についてうかがいます。  
 (1)C型肝炎ウイルス検査の実績を年度別に記入してください。

■健康増進法に基づく肝炎ウイルス検査 ②41歳以上【うち陽性者】

図5-3- 13 C型肝炎ウイルス検査の実績／健康増進法に基づく肝炎ウイルス検査【うち陽性者】



自治体でのC型肝炎ウイルス検査の実績を②41歳以上／うち陽性者についてみると、「0人」は年度が上がるにつれて増加しており、平成18年度(21.5%)では2割強、平成19年度(32.6%)では3割強、平成20年度(43.5%)・平成21年度(45.0%)では4割台半ば、平成22年度では約半数となっている。

陽性者の人数は、平成18年度では「10~49人」の割合が12.4%とやや高かったが、年度が下がるにつれて1割未満まで減少している。平成19年度以降は「1人」の割合が最も高く、約1割台半ばとなっている。

表 5-3- 25 C型肝炎ウイルス検査の実績／健康増進法に基づく肝炎ウイルス検査【うち陽性者】

	調査数	0人	1人	2人	3 ~ 4人	5 ~ 9人	10 ~ 49人	50人以上	無回答
平成18年度	1216	261	141	101	115	140	151	11	296
	100.0	21.5	11.6	8.3	9.5	11.5	12.4	0.9	24.3
平成19年度	1216	396	177	108	91	101	90	5	248
	100.0	32.6	14.6	8.9	7.5	8.3	7.4	0.4	20.4
平成20年度	1216	529	157	95	79	78	71	6	201
	100.0	43.5	12.9	7.8	6.5	6.4	5.8	0.5	16.5
平成21年度	1216	547	189	73	89	72	59	2	185
	100.0	45.0	15.5	6.0	7.3	5.9	4.9	0.2	15.2
平成22年度	1216	606	174	85	68	56	48	2	177
	100.0	49.8	14.3	7.0	5.6	4.6	3.9	0.2	14.6

表 5-3- 26 C型肝炎ウイルス検査の実績／健康増進法に基づく肝炎ウイルス検査【うち陽性者】 クロス集計表

	調査数	②41歳以上／うち陽性者								
		0人	1人	2人	3 ～ 4人	5 ～ 9人	10 ～ 49人	50人以上	無回答	
【平成18年度】 全 体	1216 100.0	261 21.5	141 11.6	101 8.3	115 9.5	140 11.5	151 12.4	11 0.9	296 24.3	
地域ブ ロッ ク	北海道	118 100.0	58 49.2	18 15.3	7 5.9	3 2.5	3 2.5	2 1.7	- -	27 22.9
	東北	141 100.0	45 31.9	22 15.6	9 6.4	14 9.9	8 5.7	8 5.7	- -	35 24.8
	関東信越	330 100.0	51 15.5	35 10.6	22 6.7	29 8.8	41 12.4	61 18.5	4 1.2	87 26.4
	東海北陸	154 100.0	31 20.1	10 6.5	16 10.4	13 8.4	33 21.4	19 12.3	3 1.9	29 18.8
	近畿	155 100.0	23 14.8	23 14.8	20 12.9	19 12.3	19 12.3	25 16.1	2 1.3	24 15.5
	中国	75 100.0	9 12.0	7 9.3	10 13.3	9 12.0	7 9.3	12 16.0	- -	21 28.0
	四国	59 100.0	18 30.5	10 16.9	4 6.8	8 13.6	5 8.5	4 6.8	- -	10 16.9
	九州	184 100.0	26 14.1	16 8.7	13 7.1	20 10.9	24 13.0	20 10.9	2 1.1	63 34.2
【平成19年度】 全 体	1216 100.0	396 32.6	177 14.6	108 8.9	91 7.5	101 8.3	90 7.4	5 0.4	248 20.4	
地域ブ ロッ ク	北海道	118 100.0	65 55.1	13 11.0	7 5.9	4 3.4	2 1.7	1 0.8	- -	26 22.0
	東北	141 100.0	59 41.8	19 13.5	12 8.5	4 2.8	6 4.3	6 4.3	- -	35 24.8
	関東信越	330 100.0	92 27.9	46 13.9	28 8.5	27 8.2	30 9.1	33 10.0	1 0.3	73 22.1
	東海北陸	154 100.0	49 31.8	26 16.9	15 9.7	12 7.8	17 11.0	14 9.1	2 1.3	19 12.3
	近畿	155 100.0	50 32.3	21 13.5	15 9.7	15 9.7	19 12.3	15 9.7	1 0.6	19 12.3
	中国	75 100.0	21 28.0	12 16.0	8 10.7	6 8.0	4 5.3	6 8.0	- -	18 24.0
	四国	59 100.0	22 37.3	14 23.7	4 6.8	5 8.5	3 5.1	3 5.1	- -	8 13.6
	九州	184 100.0	38 20.7	26 14.1	19 10.3	18 9.8	20 10.9	12 6.5	1 0.5	50 27.2
【平成20年度】 全 体	1216 100.0	529 43.5	157 12.9	95 7.8	79 6.5	78 6.4	71 5.8	6 0.5	201 16.5	
地域ブ ロッ ク	北海道	118 100.0	75 63.6	9 7.6	9 7.6	3 2.5	1 0.8	- -	- -	21 17.8
	東北	141 100.0	80 56.7	13 9.2	8 5.7	7 5.0	3 2.1	4 2.8	- -	26 18.4
	関東信越	330 100.0	128 38.8	39 11.8	26 7.9	27 8.2	24 7.3	30 9.1	1 0.3	55 16.7
	東海北陸	154 100.0	74 48.1	21 13.6	10 6.5	10 6.5	6 3.9	14 9.1	2 1.3	17 11.0
	近畿	155 100.0	54 34.8	26 16.8	17 11.0	11 7.1	17 11.0	9 5.8	1 0.6	20 12.9
	中国	75 100.0	32 42.7	10 13.3	5 6.7	2 2.7	10 13.3	1 1.3	- -	15 20.0
	四国	59 100.0	30 50.8	8 13.6	1 1.7	5 8.5	3 5.1	2 3.4	- -	10 16.9
	九州	184 100.0	56 30.4	31 16.8	19 10.3	14 7.6	14 7.6	11 6.0	2 1.1	37 20.1

平成18年度( $\chi^2=154.757,df=42,p=0.000 <0.05$ )・平成19年度( $\chi^2=82.995,df=42,p=0.000 <0.05$ )・平成20年度( $\chi^2=102.114,df=42,p=0.000 <0.05$ )

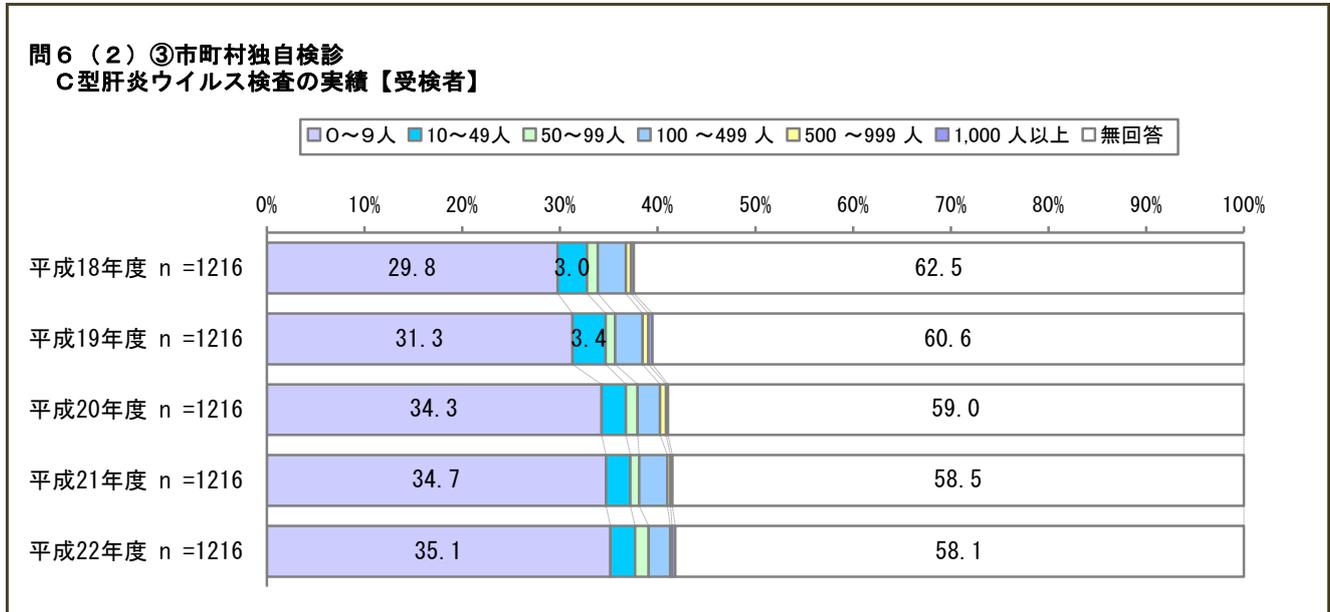
		②41歳以上／うち陽性者								
		調査数	0人	1人	2人	3 ～ 4人	5 ～ 9人	10 ～ 49人	50人以上	無回答
【平成21年度】 全体		1216 100.0	547 45.0	189 15.5	73 6.0	89 7.3	72 5.9	59 4.9	2 0.2	185 15.2
地域ブロック	北海道	118 100.0	72 61.0	16 13.6	4 3.4	2 1.7	1 0.8	1 0.8	-	22 18.6
	東北	141 100.0	85 60.3	17 12.1	5 3.5	5 3.5	5 3.5	4 2.8	-	20 14.2
	関東信越	330 100.0	117 35.5	58 17.6	29 8.8	32 9.7	23 7.0	21 6.4	1 0.3	49 14.8
	東海北陸	154 100.0	77 50.0	28 18.2	7 4.5	9 5.8	7 4.5	13 8.4	-	13 8.4
	近畿	155 100.0	69 44.5	25 16.1	9 5.8	8 5.2	15 9.7	7 4.5	1 0.6	21 13.5
	中国	75 100.0	34 45.3	5 6.7	5 6.7	13 17.3	3 4.0	1 1.3	-	14 18.7
	四国	59 100.0	28 47.5	9 15.3	4 6.8	2 3.4	5 8.5	1 1.7	-	10 16.9
	九州	184 100.0	65 35.3	31 16.8	10 5.4	18 9.8	13 7.1	11 6.0	-	36 19.6
【平成22年度】 全体		1216 100.0	606 49.8	174 14.3	85 7.0	68 5.6	56 4.6	48 3.9	2 0.2	177 14.6
地域ブロック	北海道	118 100.0	75 63.6	12 10.2	6 5.1	3 2.5	-	2 1.7	-	20 16.9
	東北	141 100.0	85 60.3	17 12.1	8 5.7	8 5.7	2 1.4	2 1.4	-	19 13.5
	関東信越	330 100.0	146 44.2	45 13.6	34 10.3	23 7.0	17 5.2	15 4.5	2 0.6	48 14.5
	東海北陸	154 100.0	89 57.8	20 13.0	8 5.2	4 2.6	9 5.8	11 7.1	-	13 8.4
	近畿	155 100.0	75 48.4	22 14.2	8 5.2	15 9.7	6 3.9	8 5.2	-	21 13.5
	中国	75 100.0	37 49.3	15 20.0	1 1.3	4 5.3	3 4.0	3 4.0	-	12 16.0
	四国	59 100.0	28 47.5	7 11.9	6 10.2	4 6.8	2 3.4	1 1.7	-	11 18.6
	九州	184 100.0	71 38.6	36 19.6	14 7.6	7 3.8	17 9.2	6 3.3	-	33 17.9

平成21年度( $\chi^2=95.707, df=42, p=0.000 < 0.05$ )・平成22年度( $\chi^2=80.158, df=42, p=0.000 < 0.05$ )

問6. 貴自治体での肝炎ウイルス検査の受検実績についてうかがいます。  
 (1)C型肝炎ウイルス検査の実績を年度別に記入してください。

■健康増進法に基づく肝炎ウイルス検査 ③市町村独自検診(若年者等)【受検者】

図5-3- 14 C型肝炎ウイルス検査の実績／市町村独自検診(若年者等)【受検者】



自治体でのC型肝炎ウイルス検査の実績を③市町村独自検診(若年者等)／受検者についてみると、すべての年度において「0～9人」の割合が最も高く、平成18年度(29.8%)・平成19年度(31.3%)では3割前後、平成20年度以降は3割台半ばと増加している。

表 5-3- 27 C型肝炎ウイルス検査の実績／市町村独自検診(若年者等)【受検者】

	調査数	0 5 9 人	1 0 5 4 9 人	5 0 5 9 9 人	1 0 5 4 9 9 人	5 0 5 9 9 人	1 0 0 0 0 人 以上	無 回 答
平成18年度	1216	362	36	13	35	6	4	760
	100.0	29.8	3.0	1.1	2.9	0.5	0.3	62.5
平成19年度	1216	380	41	12	34	7	5	737
	100.0	31.3	3.4	1.0	2.8	0.6	0.4	60.6
平成20年度	1216	417	30	14	28	7	3	717
	100.0	34.3	2.5	1.2	2.3	0.6	0.2	59.0
平成21年度	1216	422	31	11	35	4	2	711
	100.0	34.7	2.5	0.9	2.9	0.3	0.2	58.5
平成22年度	1216	427	31	17	27	3	4	707
	100.0	35.1	2.5	1.4	2.2	0.2	0.3	58.1

表 5-3- 28 C型肝炎ウイルス検査の実績／市町村独自検診(若年者等)【受検者】クロス集計表

		③市町村独自検診(若年者等)／受検者							無回答
		調査数	0 5 9 人	1 0 5 4 9 人	5 0 5 9 9 人	1 0 5 4 9 9 人	5 0 5 9 9 9 人	1 0 0 0 0 人 以上	
【平成18年度】 全 体		1216 100.0	362 29.8	36 3.0	13 1.1	35 2.9	6 0.5	4 0.3	760 62.5
地域ブ ロック	北海道	118 100.0	43 36.4	4 3.4	1 0.8	3 2.5	-	-	67 56.8
	東北	141 100.0	41 29.1	3 2.1	2 1.4	7 5.0	-	-	88 62.4
	関東信越	330 100.0	95 28.8	8 2.4	3 0.9	5 1.5	3 0.9	3 0.9	213 64.5
	東海北陸	154 100.0	53 34.4	3 1.9	1 0.6	3 1.9	1 0.6	-	93 60.4
	近畿	155 100.0	57 36.8	3 1.9	2 1.3	5 3.2	-	1 0.6	87 56.1
	中国	75 100.0	16 21.3	2 2.7	-	3 4.0	1 1.3	-	53 70.7
	四国	59 100.0	13 22.0	3 5.1	-	1 1.7	-	-	42 71.2
	九州	184 100.0	44 23.9	10 5.4	4 2.2	8 4.3	1 0.5	-	117 63.6
【平成19年度】 全 体		1216 100.0	380 31.3	41 3.4	12 1.0	34 2.8	7 0.6	5 0.4	737 60.6
地域ブ ロック	北海道	118 100.0	36 30.5	9 7.6	-	3 2.5	-	-	70 59.3
	東北	141 100.0	44 31.2	3 2.1	2 1.4	4 2.8	-	-	88 62.4
	関東信越	330 100.0	100 30.3	8 2.4	3 0.9	6 1.8	5 1.5	3 0.9	205 62.1
	東海北陸	154 100.0	56 36.4	2 1.3	1 0.6	4 2.6	1 0.6	-	90 58.4
	近畿	155 100.0	61 39.4	5 3.2	1 0.6	4 2.6	-	1 0.6	83 53.5
	中国	75 100.0	19 25.3	4 5.3	1 1.3	1 1.3	1 1.3	1 1.3	48 64.0
	四国	59 100.0	17 28.8	-	1 1.7	-	-	-	41 69.5
	九州	184 100.0	47 25.5	10 5.4	3 1.6	12 6.5	-	-	112 60.9
【平成20年度】 全 体		1216 100.0	417 34.3	30 2.5	14 1.2	28 2.3	7 0.6	3 0.2	717 59.0
地域ブ ロック	北海道	118 100.0	45 38.1	3 2.5	-	3 2.5	1 0.8	-	66 55.9
	東北	141 100.0	48 34.0	4 2.8	2 1.4	6 4.3	-	-	81 57.4
	関東信越	330 100.0	111 33.6	6 1.8	-	7 2.1	3 0.9	2 0.6	201 60.9
	東海北陸	154 100.0	56 36.4	2 1.3	1 0.6	4 2.6	-	-	91 59.1
	近畿	155 100.0	61 39.4	3 1.9	2 1.3	1 0.6	2 1.3	-	86 55.5
	中国	75 100.0	21 28.0	4 5.3	1 1.3	2 2.7	1 1.3	1 1.3	45 60.0
	四国	59 100.0	17 28.8	1 1.7	1 1.7	-	-	-	40 67.8
	九州	184 100.0	58 31.5	7 3.8	7 3.8	5 2.7	-	-	107 58.2

平成18年度( $\chi^2=34.631, df=35, p=0.486$  n.s.)・平成19年度( $\chi^2=51.333, df=35, p=0.037 < 0.05$ )・平成20年度( $\chi^2=43.330, df=35, p=0.158$  n.s.)

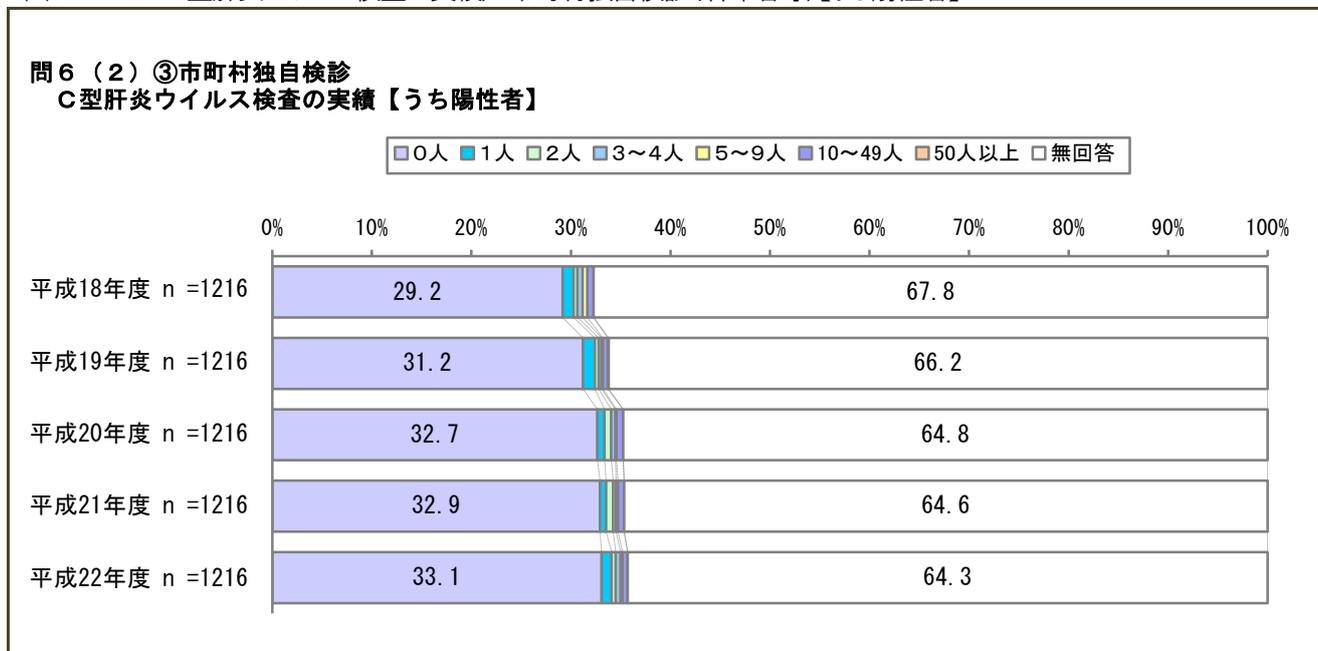
		③市町村独自検診(若年者等)／受検者							無回答
		調査数	0 5 9 人	1 0 5 4 9 人	5 0 5 9 9 人	1 0 5 4 9 9 人	5 0 5 9 9 人	1 0 0 0 人 以上	
【平成21年度】 全 体		1216 100.0	422 34.7	31 2.5	11 0.9	35 2.9	4 0.3	2 0.2	711 58.5
地域ブ ロッ ク	北海道	118 100.0	47 39.8	3 2.5	4 3.4	- -	- -	- -	64 54.2
	東北	141 100.0	45 31.9	4 2.8	2 1.4	7 5.0	1 0.7	- -	82 58.2
	関東信越	330 100.0	112 33.9	6 1.8	- -	7 2.1	2 0.6	1 0.3	202 61.2
	東海北陸	154 100.0	57 37.0	2 1.3	- -	6 3.9	- -	- -	89 57.8
	近畿	155 100.0	61 39.4	6 3.9	- -	2 1.3	1 0.6	- -	85 54.8
	中国	75 100.0	21 28.0	3 4.0	1 1.3	5 6.7	- -	1 1.3	44 58.7
	四国	59 100.0	17 28.8	1 1.7	- -	- -	- -	- -	41 69.5
	九州	184 100.0	62 33.7	6 3.3	4 2.2	8 4.3	- -	- -	104 56.5
【平成22年度】 全 体		1216 100.0	427 35.1	31 2.5	17 1.4	27 2.2	3 0.2	4 0.3	707 58.1
地域ブ ロッ ク	北海道	118 100.0	44 37.3	4 3.4	2 1.7	- -	- -	- -	68 57.6
	東北	141 100.0	48 34.0	2 1.4	4 2.8	5 3.5	1 0.7	1 0.7	80 56.7
	関東信越	330 100.0	113 34.2	6 1.8	2 0.6	6 1.8	1 0.3	2 0.6	200 60.6
	東海北陸	154 100.0	59 38.3	1 0.6	- -	5 3.2	- -	- -	89 57.8
	近畿	155 100.0	61 39.4	6 3.9	- -	1 0.6	1 0.6	- -	86 55.5
	中国	75 100.0	22 29.3	3 4.0	3 4.0	4 5.3	- -	1 1.3	42 56.0
	四国	59 100.0	18 30.5	1 1.7	- -	- -	- -	- -	40 67.8
	九州	184 100.0	62 33.7	8 4.3	6 3.3	6 3.3	- -	- -	102 55.4

平成21年度( $\chi^2=48.412, df=35, p=0.065$  n.s.)・平成22年度( $\chi^2=45.703, df=35, p=0.106$  n.s.)

問6. 貴自治体での肝炎ウイルス検査の受検実績についてうかがいます。  
 (1)C型肝炎ウイルス検査の実績を年度別に記入してください。

■健康増進法に基づく肝炎ウイルス検査 ③市町村独自検診(若年者等)【うち陽性者】

図5-3- 15 C型肝炎ウイルス検査の実績／市町村独自検診(若年者等)【うち陽性者】



自治体でのC型肝炎ウイルス検査の実績を③市町村独自検診(若年者等)／うち陽性者についてみると、「0人」は平成18年度で29.2%、平成19年度で31.2%、平成20年度で32.7%、平成21年度で32.9%、平成22年度で33.1%と微増している。

表 5-3- 29 C型肝炎ウイルス検査の実績／市町村独自検診(若年者等)【うち陽性者】

	調査数	0人	1人	2人	3 ~ 4 人	5 ~ 9 人	10 ~ 49 人	50 人 以上	無回答
平成18年度	1216	355	13	5	6	6	7	0	824
	100.0	29.2	1.1	0.4	0.5	0.5	0.6	0.0	67.8
平成19年度	1216	379	15	5	4	1	6	1	805
	100.0	31.2	1.2	0.4	0.3	0.1	0.5	0.1	66.2
平成20年度	1216	398	8	8	5	1	8	0	788
	100.0	32.7	0.7	0.7	0.4	0.1	0.7	0.0	64.8
平成21年度	1216	400	7	9	4	3	7	0	786
	100.0	32.9	0.6	0.7	0.3	0.2	0.6	0.0	64.6
平成22年度	1216	403	12	5	6	2	6	0	782
	100.0	33.1	1.0	0.4	0.5	0.2	0.5	0.0	64.3

表 5-3- 30 C型肝炎ウイルス検査の実績／市町村独自検診(若年者等)【うち陽性者】 クロス集計表

		③市町村独自検診(若年者等)／うち陽性者								
		調査数	0人	1人	2人	3 4人	5 9人	10 49人	50人以上	無回答
【平成18年度】 全 体		1216 100.0	355 29.2	13 1.1	5 0.4	6 0.5	6 0.5	7 0.6	-	824 67.8
地域ブ ロッ ク	北海道	118 100.0	44 37.3	2 1.7	-	1 0.8	-	-	-	71 60.2
	東北	141 100.0	41 29.1	1 0.7	1 0.7	1 0.7	1 0.7	-	-	96 68.1
	関東信越	330 100.0	89 27.0	1 0.3	1 0.3	1 0.3	2 0.6	4 1.2	-	232 70.3
	東海北陸	154 100.0	51 33.1	-	-	-	1 0.6	1 0.6	-	101 65.6
	近畿	155 100.0	53 34.2	1 0.6	1 0.6	2 1.3	2 1.3	1 0.6	-	95 61.3
	中国	75 100.0	15 20.0	2 2.7	-	-	-	1 1.3	-	57 76.0
	四国	59 100.0	12 20.3	1 1.7	-	-	-	-	-	46 78.0
	九州	184 100.0	50 27.2	5 2.7	2 1.1	1 0.5	-	-	-	126 68.5
	【平成19年度】 全 体		1216 100.0	379 31.2	15 1.2	5 0.4	4 0.3	1 0.1	6 0.5	1 0.1
地域ブ ロッ ク	北海道	118 100.0	42 35.6	1 0.8	1 0.8	-	-	-	-	74 62.7
	東北	141 100.0	42 29.8	2 1.4	-	-	-	-	-	97 68.8
	関東信越	330 100.0	97 29.4	3 0.9	2 0.6	-	-	4 1.2	-	224 67.9
	東海北陸	154 100.0	56 36.4	1 0.6	-	1 0.6	-	-	-	96 62.3
	近畿	155 100.0	56 36.1	2 1.3	1 0.6	1 0.6	1 0.6	1 0.6	-	93 60.0
	中国	75 100.0	16 21.3	3 4.0	-	-	-	1 1.3	1 1.3	54 72.0
	四国	59 100.0	14 23.7	-	-	-	-	-	-	45 76.3
	九州	184 100.0	56 30.4	3 1.6	1 0.5	2 1.1	-	-	-	122 66.3
	【平成20年度】 全 体		1216 100.0	398 32.7	8 0.7	8 0.7	5 0.4	1 0.1	8 0.7	-
地域ブ ロッ ク	北海道	118 100.0	48 40.7	-	-	-	-	1 0.8	-	69 58.5
	東北	141 100.0	47 33.3	2 1.4	1 0.7	2 1.4	-	-	-	89 63.1
	関東信越	330 100.0	99 30.0	1 0.3	3 0.9	1 0.3	1 0.3	3 0.9	-	222 67.3
	東海北陸	154 100.0	56 36.4	-	-	-	-	-	-	98 63.6
	近畿	155 100.0	55 35.5	1 0.6	1 0.6	-	-	2 1.3	-	96 61.9
	中国	75 100.0	18 24.0	3 4.0	1 1.3	-	-	2 2.7	-	51 68.0
	四国	59 100.0	16 27.1	-	-	-	-	-	-	43 72.9
	九州	184 100.0	59 32.1	1 0.5	2 1.1	2 1.1	-	-	-	120 65.2

平成18年度( $\chi^2=31.762,df=35,p=0.625$  n.s.)・平成19年度( $\chi^2=50.936,df=42,p=0.162$  n.s.)・平成20年度( $\chi^2=44.576,df=35,p=0.129$  n.s.)

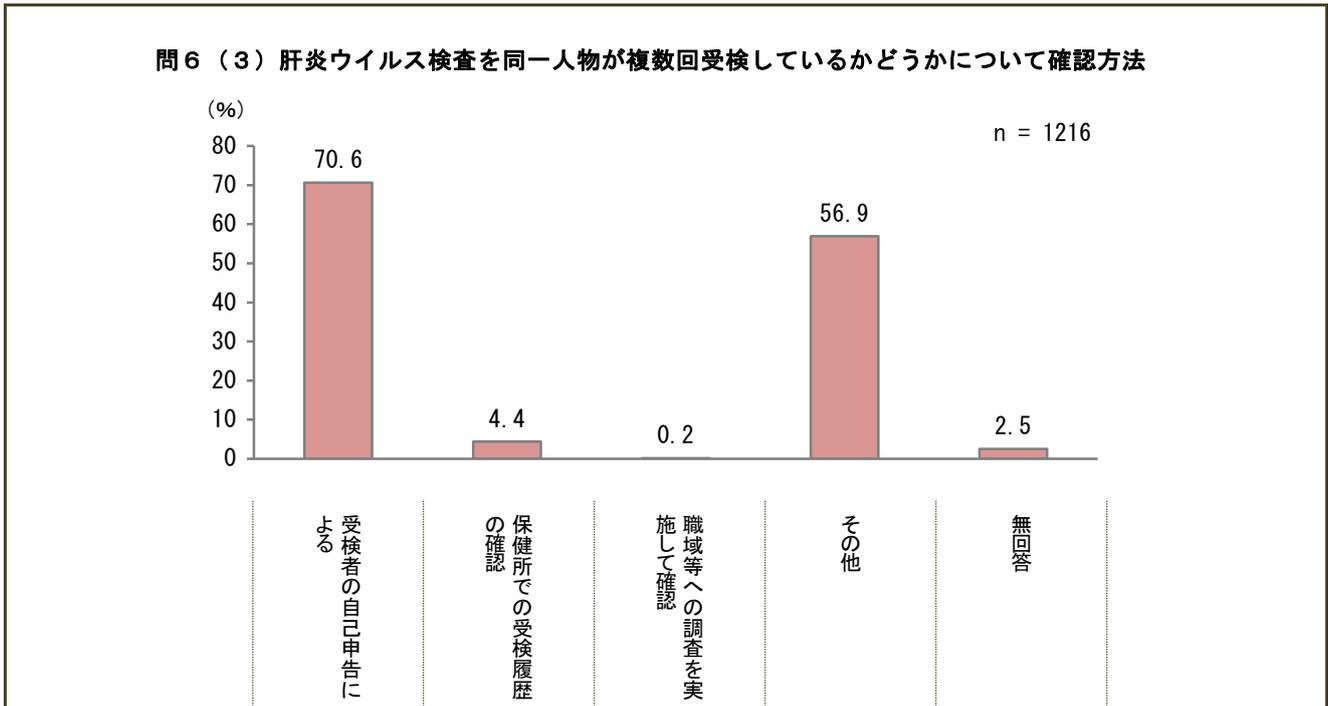
		③市町村独自検診(若年者等)のうち陽性者								
		調査数	0人	1人	2人	3 ~ 4人	5 ~ 9人	10 ~ 49人	50人以上	無回答
【平成21年度】 全体		1216 100.0	400 32.9	7 0.6	9 0.7	4 0.3	3 0.2	7 0.6	-	786 64.6
地域ブロック	北海道	118 100.0	48 40.7	-	1 0.8	-	-	-	-	69 58.5
	東北	141 100.0	47 33.3	2 1.4	2 1.4	1 0.7	-	-	-	89 63.1
	関東信越	330 100.0	97 29.4	1 0.3	2 0.6	1 0.3	3 0.9	2 0.6	-	224 67.9
	東海北陸	154 100.0	56 36.4	1 0.6	1 0.6	-	-	-	-	96 62.3
	近畿	155 100.0	55 35.5	2 1.3	1 0.6	-	-	2 1.3	-	95 61.3
	中国	75 100.0	21 28.0	1 1.3	-	-	-	2 2.7	-	51 68.0
	四国	59 100.0	15 25.4	-	-	-	-	-	-	44 74.6
	九州	184 100.0	61 33.2	-	2 1.1	2 1.1	-	1 0.5	-	118 64.1
【平成22年度】 全体		1216 100.0	403 33.1	12 1.0	5 0.4	6 0.5	2 0.2	6 0.5	-	782 64.3
地域ブロック	北海道	118 100.0	43 36.4	2 1.7	1 0.8	-	-	-	-	72 61.0
	東北	141 100.0	48 34.0	3 2.1	1 0.7	-	1 0.7	1 0.7	-	87 61.7
	関東信越	330 100.0	101 30.6	1 0.3	1 0.3	4 1.2	-	2 0.6	-	221 67.0
	東海北陸	154 100.0	57 37.0	1 0.6	-	-	-	-	-	96 62.3
	近畿	155 100.0	58 37.4	-	-	-	-	1 0.6	-	96 61.9
	中国	75 100.0	21 28.0	2 2.7	1 1.3	-	-	2 2.7	-	49 65.3
	四国	59 100.0	16 27.1	-	-	-	-	-	-	43 72.9
	九州	184 100.0	59 32.1	3 1.6	1 0.5	2 1.1	1 0.5	-	-	118 64.1

平成21年度( $\chi^2=33.779, df=35, p=0.527$  n.s.)・平成22年度( $\chi^2=38.273, df=35, p=0.323$  n.s.)

問6(3)上記、肝炎ウイルス検査を同一人物が複数回受検しているかどうかについて、貴自治体における確認方法をお答えください(あてはまる番号すべてに○をつけてください)。

1. 受検者の自己申告による
2. 保健所での受検履歴の確認
3. 職域等への調査を実施して確認
4. その他

図5-3- 16 肝炎ウイルス検査を同一人物が複数回受検しているかどうかについて確認方法



肝炎ウイルス検査を同一人物が複数回受検しているかどうかについて、自治体における確認方法をたずねたところ、「受検者の自己申告による」(70.6%)が約7割で突出している。次いで「保健所での受検履歴の確認」(4.4%)の割合が高くなっているが、1割に満たない。「その他」との回答は5割台半ばとなっている。

表 5-3- 31 肝炎ウイルス検査を同一人物が複数回受検しているかどうかについて確認方法 クロス集計表

	調査数	受検者の自己申告による	保健所での受検履歴の確認	職域等への調査を実施して確認	その他	無回答	
全体	1216 100.0	859 70.6	54 4.4	2 0.2	692 56.9	30 2.5	
地域ブロック	北海道	118 100.0	81 68.6	1 0.8	1 0.8	77 65.3	1 0.8
	東北	141 100.0	111 78.7	2 1.4	-	79 56.0	1 0.7
	関東信越	330 100.0	234 70.9	11 3.3	-	175 53.0	11 3.3
	東海北陸	154 100.0	109 70.8	12 7.8	-	96 62.3	1 0.6
	近畿	155 100.0	110 71.0	16 10.3	-	88 56.8	2 1.3
	中国	75 100.0	54 72.0	2 2.7	-	43 57.3	-
	四国	59 100.0	34 57.6	1 1.7	-	38 64.4	3 5.1
	九州	184 100.0	126 68.5	9 4.9	1 0.5	96 52.2	11 6.0

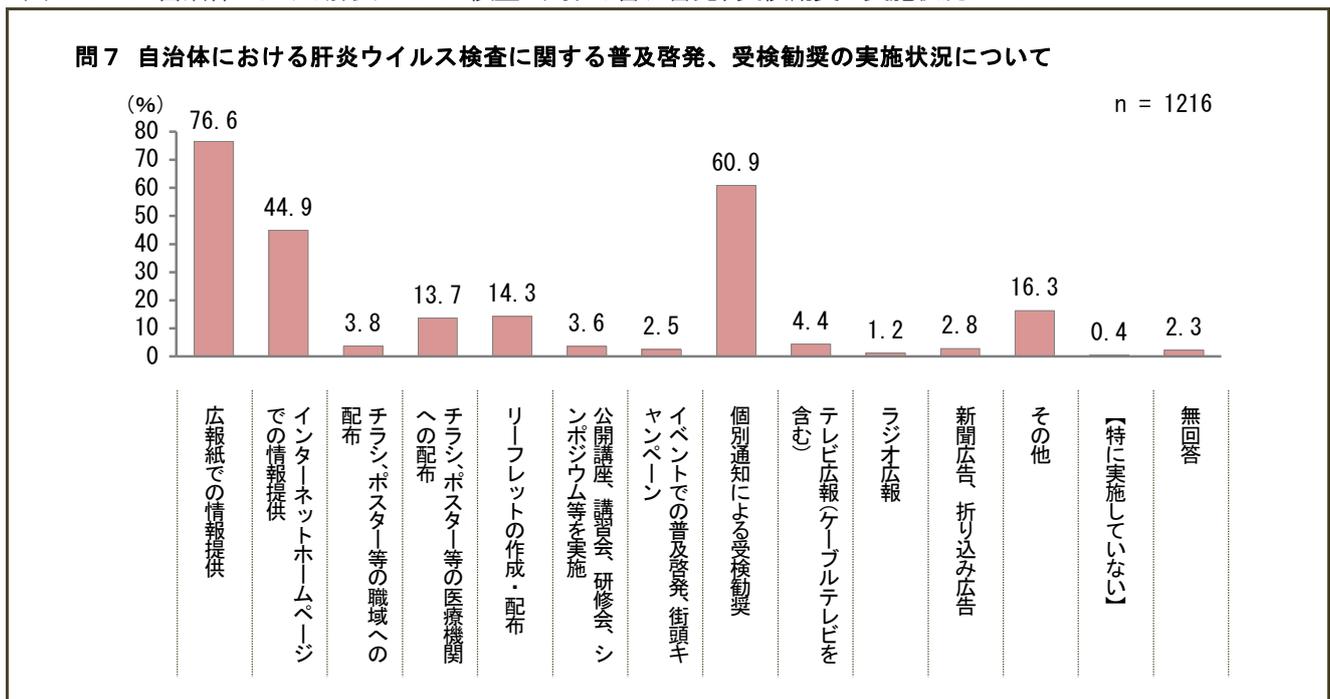
$\chi^2$	8.031	25.577	6.507	8.449
df	7	7	7	7
p	0.330 n.s.	0.001 <0.05	0.482 n.s.	0.295 n.s.

#### 5-4. 肝炎ウイルス検査に関する普及啓発、受検勧奨の実施状況

問7. 貴自治体における肝炎ウイルス検査に関する普及啓発、受検勧奨の実施状況についてお答えください（あてはまる番号すべてに○をつけてください）。

1. 広報紙での情報提供
2. インターネットホームページでの情報提供
3. チラシ、ポスター等の職域への配布
4. チラシ、ポスター等の医療機関への配布
5. リーフレットの作成・配布
6. 公開講座、講習会、研修会、シンポジウム等を実施
7. イベントでの普及啓発、街頭キャンペーン
8. 個別通知による受検勧奨
9. テレビ広報（ケーブルテレビを含む）
10. ラジオ広報
11. 新聞広告、折り込み広告
12. その他

図 5-4-1 自治体における肝炎ウイルス検査に関する普及啓発、受検勧奨の実施状況について



自治体における肝炎ウイルス検査に関する普及啓発、受検勧奨の実施状況についてたずねたところ「広報紙での情報提供」(76.6%)が7割台半ば、次いで「個別通知による受検勧奨」(60.9%)が約6割、「インターネットホームページでの情報提供」(44.9%)が4割台半ばとなっている。

自治体における肝炎ウイルス検査に関する普及啓発、受検勧奨の実施状況の回答について、○印をつけた反応数を「実施状況反応数」として平均の値を表5-4-1、表5-4-2の右側に示す。地域ブロック別にみると、実施状況反応数の平均値は中国が2.78、次いで近畿2.77、東海北陸2.74となっている。また、人口規模別にみると、実施状況反応数の平均値は、郡部（町村）が2.20で最も小さく、都市規模が大きくなるにつれ大きくなり、15万以上の都市が3.31となっている。

表 5-4- 1 自治体における肝炎ウイルス検査に関する普及啓発、受検勧奨の実施状況について 地域別クロス集計表

		問7. 貴自治体における肝炎ウイルス検査に関する普及啓発、受検勧奨の実施状況について														実施状況反応数 (「特に実施していない」を除く)	
		調査数	広報紙での情報提供	インターネットホームページでの情報提供	チラシ、ポスター等の職域への配布	関チラシ、ポスター等の医療機関への配布	リーフレットの作成・配布	公開講座、講習会、研修会、シンポジウム等を実施	イベントでの普及啓発、街頭	個別通知による受検勧奨	テレビ広報(ケーブルテレビを含む)	ラジオ広報	新聞広告、折り込み広告	その他	「特に実施していない」	無回答	
	全体	1216 100.0	931 76.6	546 44.9	46 3.8	167 13.7	174 14.3	44 3.6	30 2.5	740 60.9	53 4.4	15 1.2	34 2.8	198 16.3	5 0.4	28 2.3	2.52
地域ブロック	北海道	118 100.0	91 77.1	40 33.9	5 4.2	5 4.2	18 15.3	-	1 0.8	70 59.3	1 0.8	2 1.7	17 14.4	21 17.8	-	1 0.8	2.32
	東北	141 100.0	98 69.5	42 29.8	2 1.4	7 5.0	23 16.3	3 2.1	3 2.1	87 61.7	2 1.4	1 0.7	-	33 23.4	1 0.7	3 2.1	2.20
	関東信越	330 100.0	257 77.9	176 53.3	7 2.1	49 14.8	54 16.4	7 2.1	11 3.3	197 59.7	9 2.7	3 0.9	3 0.9	49 14.8	1 0.3	10 3.0	2.58
	東海北陸	154 100.0	117 76.0	80 51.9	7 4.5	33 21.4	23 14.9	5 3.2	5 3.2	107 69.5	17 11.0	2 1.3	4 2.6	16 10.4	1 0.6	1 0.6	2.74
	近畿	155 100.0	131 84.5	90 58.1	7 4.5	36 23.2	23 14.8	7 4.5	4 2.6	89 57.4	6 3.9	3 1.9	3 1.9	27 17.4	-	1 0.6	2.77
	中国	75 100.0	61 81.3	38 50.7	5 6.7	17 22.7	11 14.7	6 8.0	3 4.0	43 57.3	6 8.0	-	1 1.3	15 20.0	-	1 1.3	2.78
	四国	59 100.0	49 83.1	19 32.2	2 3.4	6 10.2	8 13.6	2 3.4	-	38 64.4	5 8.5	1 1.7	5 8.5	5 8.5	-	2 3.4	2.46
	九州	184 100.0	127 69.0	61 33.2	11 6.0	14 7.6	14 7.6	14 7.6	3 1.6	109 59.2	7 3.8	3 1.6	3 0.5	1 17.4	2 1.1	9 4.9	2.29
			$\chi^2$	15.668	55.787	9.471	47.897	8.005	20.943	5.471	6.556	29.419	2.705	77.193	13.689	4.467	
		df	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7	7		
		p	0.028 <0.05	0.000 <0.05	0.221 n.s.	0.000 <0.05	0.332 n.s.	0.004 <0.05	0.603 n.s.	0.477 n.s.	0.000 <0.05	0.911 n.s.	0.000 <0.05	0.057 n.s.	0.725 n.s.		

表 5-4- 2 自治体における肝炎ウイルス検査に関する普及啓発、受検勧奨の実施状況について 人口規模別クロス集計表

		問7. 貴自治体における肝炎ウイルス検査に関する普及啓発、受検勧奨の実施状況について														実施状況反応数 (「特に実施していない」を除く)	
		調査数	広報紙での情報提供	インターネットホームページでの情報提供	チラシ、ポスター等の職域への配布	関チラシ、ポスター等の医療機関への配布	リーフレットの作成・配布	公開講座、講習会、研修会、シンポジウム等を実施	イベントでの普及啓発、街頭	個別通知による受検勧奨	テレビ広報(ケーブルテレビを含む)	ラジオ広報	新聞広告、折り込み広告	その他	「特に実施していない」	無回答	
	全体	1216 100.0	931 76.6	546 44.9	46 3.8	167 13.7	174 14.3	44 3.6	30 2.5	740 60.9	53 4.4	15 1.2	34 2.8	198 16.3	5 0.4	28 2.3	2.52
人口規模	15万以上の都市	84 100.0	68 81.0	66 78.6	5 6.0	36 42.9	18 21.4	8 9.5	4 4.8	47 56.0	5 6.0	3 3.6	2 2.4	13 15.5	1 1.2	-	3.31
	5万以上の都市	329 100.0	267 81.2	218 66.3	12 3.6	66 20.1	58 17.6	11 3.3	13 4.0	201 61.1	15 4.6	4 1.2	6 1.8	45 13.7	2 0.6	8 2.4	2.87
	5万未満の都市	200 100.0	164 82.0	93 46.5	7 3.5	20 10.0	21 10.5	9 4.5	3 1.5	126 63.0	8 4.0	3 1.5	8 4.0	31 15.5	1 0.5	3 3.5	2.57
	郡部(町村)	603 100.0	432 71.6	169 28.0	22 3.6	45 7.5	77 12.8	16 2.7	10 1.7	366 60.7	25 4.1	5 0.8	18 3.0	109 18.1	1 0.2	13 2.2	2.20
			$\chi^2$	18.901	169.867	1.056	91.281	9.488	10.173	7.130	2.204	0.587	4.540	2.427	3.146	2.433	
		df	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3		
		p	0.000 <0.05	0.000 <0.05	0.788 n.s.	0.000 <0.05	0.023 <0.05	0.017 <0.05	0.069 n.s.	0.531 n.s.	0.899 n.s.	0.209 n.s.	0.489 n.s.	0.370 n.s.	0.487 n.s.		

## 6. 結果の特徴

### 6-1. 肝炎検査の受検状況

肝炎ウイルス検査は、本人が自覚的に受検する場合と大きな外科手術や妊娠・出産、献血時に無自覚に受検する場合があります。本調査では、自覚的に受検した場合は「自己申告受検」、無自覚に受検した場合は「非認識受検」とし、以下の基準で受検の有無を判定した。

「自己申告受検」「非認識受検」両方に該当する場合、「自己申告受検」に分類した。

表 6-1-1 肝炎検査受検状況の判定

	自己申告受検 ■問 3 で「1 回だけ受けたことがある」または「2 回以上受けたことがある」と回答	非認識受検 ■問 3 で「受けたことがない」または「分からない」と回答
B 型 肝 炎	■問 4-1-1 で以下の回答をした者 「B型肝炎ウイルス検査を受けた」または 「B型肝炎ウイルス検査、C型肝炎ウイルス検査 の両方を受けた」	■問 2 で以下の回答をした者 ■ 大きな外科手術 1982 年以降 または ■ 妊娠・出産 1986 年以降 または ■ 献血 1973 年以降 に経験あり*
C 型 肝 炎	■問 4-1-1 で以下の回答をした者 「C型肝炎ウイルス検査を受けた」または 「B型肝炎ウイルス検査、C型肝炎ウイルス検査 の両方を受けた」	■問 2 で以下の回答をした者 ■ 大きな外科手術 1993 年以降 または ■ 妊娠・出産 1993 年以降 または ■ 献血 1990 年以降 に経験あり*

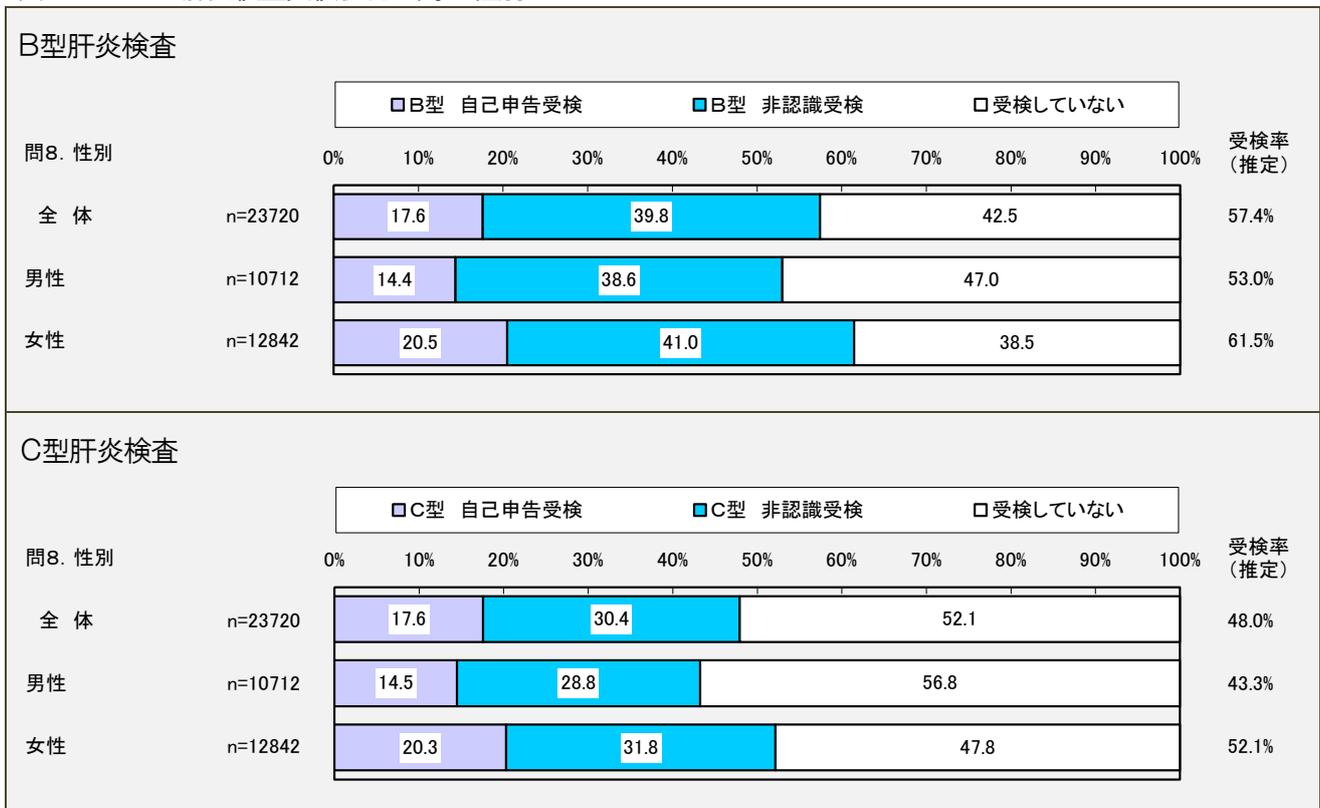
#### 補足 非認識受検の判定基準年次について

\* 各現場で、肝炎ウイルス検査が導入された時期に基づき、次頁の表のように、非認識受検者として抽出する時期（基準年次）を設定した。基準年次は、それぞれ保険適用等の対策が導入された翌年とし、一つでも該当する時期に当てはまれば非認識受検者として集計している。ただし、この判定は、あくまでも「基準年次以降に当該の医療行為を受けていれば肝炎ウイルス検査を受けている可能性が高い」という目安であり、確実に検査を受けていることを保証するものではない点に留意が必要である。

検査種別	医療行為	検査が導入された時期	非認識受検者として抽出する時期
B型肝炎ウイルス検査 (HBs抗原検査)	大きな外科手術	1981年6月 保険適用	1982年以降に経験
	妊娠・出産	1985年6月 妊婦HBs抗原検査に 国庫補助開始	1986年以降に経験
	献血	1972年4月 献血に対する検査導入	1973年以降に経験
C型肝炎ウイルス検査 (HCV抗体検査)	大きな外科手術	1992年4月 保険適用	1993年以降に経験
	妊娠・出産	国庫補助なし 1992年4月 保険適用	1993年以降に経験
	献血	1989年12月 献血に対する検査導入	1990年以降に経験

### 6-1-1. 肝炎検査受検状況×問8 性別

図 6-1-1- 1 肝炎検査受検状況×問8 性別



#### B型肝炎ウイルス検査について

自己申告受検は全体で 17.6%、非認識受検は 39.8%となっていた。約 6 割が B型肝炎ウイルス検査を受検したと推定される。

男性の自己申告受検は 14.4%、女性の自己申告受検は 20.5%となっていた。非認識受検についても女性の方が高い比率となっていた。推定される受検率も男性が 53.0%に比べ女性の方が高く 61.5%となっていた。

#### C型肝炎ウイルス検査について

自己申告受検は全体で 17.6%、非認識受検は 30.4%となっていた。B型検査同様に、約半数 (48.0%) は C型肝炎ウイルス検査を受検したと推定される。

男性の自己申告受検は 14.5%、女性の自己申告受検は 20.3%となっていた。非認識受検についても女性の方が高い比率となっていた。推定される受検率も男性 43.3%に比べ女性の方が高く 52.1%となっていた。

**B型肝炎ウイルス検査受検状況との関連について**

B型肝炎ウイルス検査の受検状況については、表 6-1-1-1 の通り、男女の違いにおいて 0.1%水準で有意な差がみられた。

具体的にみると、女性は男性に比べ、自己申告受検者で 6.1 ポイント、非認識受検者で 2.4 ポイントと、「受検した」と推定される割合がいずれも高いという結果が得られた。これは妊婦健診といった女性特有の検査によるものと考えられる。

表 6-1-1-1 肝炎検査受検状況×問8 性別(B型肝炎ウイルス検査)

		肝炎検査受検状況			
		調査数	B型 自己申告受検	B型 非認識受検	受検していない
	全体	23720 100.0	4186 17.6	9449 39.8	10085 42.5
	問8性別				
	男性	10712 100.0	1543 14.4	4135 38.6	5034 47.0
	女性	12842 100.0	2634 20.5	5268 41.0	4940 38.5

$$(\chi^2=231.643, df=2, p=0.000 < 0.05)$$

**B型自己申告受検:**

■問 3 で「1 回だけ受けたことがある」または「2 回以上受けたことがある」と回答かつ

■問 4-1-1 で、「B型肝炎ウイルス検査を受けた」または「B型肝炎ウイルス検査、C型肝炎ウイルス検査の両方を受けた」と回答

**B型非認識受検:**

■問 3 で「受けたことがない」または「分からない」と回答かつ

■問 2 で以下の回答をした者

- 大きな外科手術→1982 年以降に経験あり または
- 妊娠・出産→1986 年以降に経験あり または
- 献血→1973 年以降に経験あり

**C型肝炎ウイルス検査受検状況との関連について**

同様に、C型肝炎ウイルス検査の受検状況については、表 6-1-1-2 の通り、男女の違いにおいて 0.1%水準で有意な差がみられた。

具体的にみると、B型肝炎と同様、女性は男性に比べ、自己申告受検者で 5.8 ポイント、非認識受検者で 3.0 ポイントと、「受検した」と推定される割合がいずれも高いという結果が得られた。こちらも女性特有の検査取組みによるものと考えられ、B型肝炎ウイルス検査・C型肝炎ウイルス検査での受検率の大きな差はなかった。

表 6-1-1-2 肝炎検査受検状況×問8 性別(C型肝炎ウイルス検査)

		肝炎検査受検状況			
		調査数	C型自己申告受検	C型非認識受検	受検していない
	全体	23720 100.0	4167 17.6	7200 30.4	12353 52.1
問8性別	男性	10712 100.0	1548 14.5	3080 28.8	6084 56.8
	女性	12842 100.0	2608 20.3	4090 31.8	6144 47.8

$$(\chi^2=222.123, df=2, p=0.000 < 0.05)$$

**C型自己申告受検:**

■問 3 で「1 回だけ受けたことがある」または「2 回以上受けたことがある」と回答かつ

■問 4-1-1 で、「C型肝炎ウイルス検査を受けた」または「B型肝炎ウイルス検査、C型肝炎ウイルス検査の両方を受けた」と回答

**C型非認識受検:**

■問 3 で「受けたことがない」または「分からない」と回答かつ

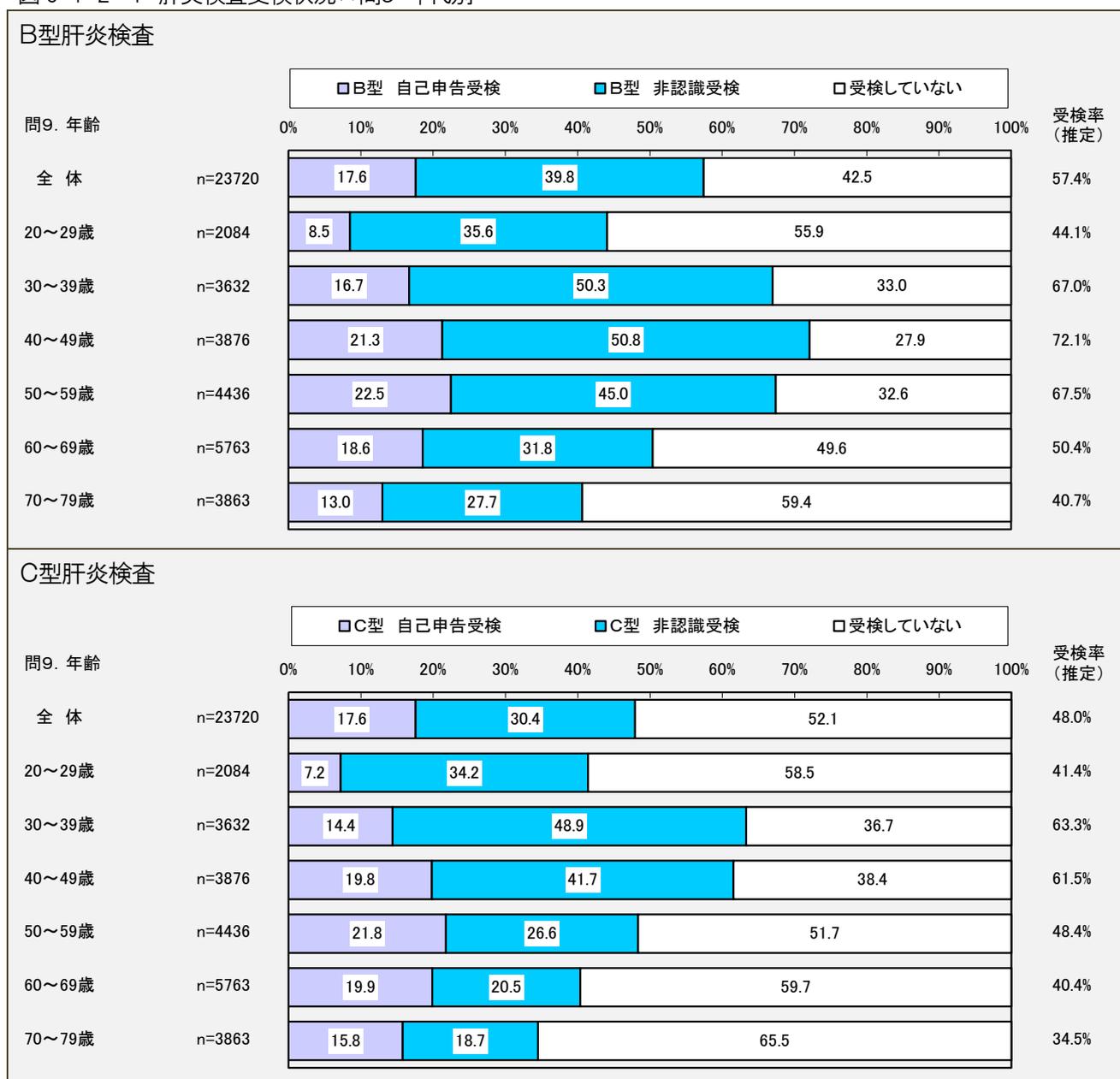
■問 2 で以下の回答をした者

- 大きな外科手術→1993 年以降に経験あり または
- 妊娠・出産→1993 年以降に経験あり または
- 献血→1990 年以降に経験あり

 B型肝炎検査、C型肝炎検査ともに、男性に比べて女性の方が受検率(推定)は高かった。

## 6-1-2. 肝炎検査受検状況×問9 年代別

図 6-1-2- 1 肝炎検査受検状況×問9 年代別

**B型肝炎ウイルス検査について**

自己申告受検については40代、50代では高い比率となっていた。非認識受検については30代、40代で高い比率となっていた。

推定される受検率は、30代67.0%、40代72.1%と他の年代に比べ高くなっており、もっとも低かったのは70代(40.7%)となっていた。

**C型肝炎ウイルス検査について**

自己申告受検については50代で最も高い比率となっており21.8%であった。非認識受検について比率が高かったのが30代で48.9%、次いで40代(41.7%)となっていた。

推定される受検率は30代の63.3%がもっとも高く、次いで40代61.5%となっていた。もっとも低かったのは70代(34.5%)となっていた。

### B型肝炎ウイルス検査受検状況との関連について

B型肝炎ウイルス検査の受検状況については、表 6-1-2-1 の通り、年代の違いにおいて 0.1%水準で有意な差がみられた。

具体的にみると、自己申告受検者については、50代(22.5%)が最も高い比率で、最も低い比率の20代8.5%より14.0ポイント高かった。非認識受検者については、最も高い比率は30代50.3%で、最も低い比率であったのは70代27.7%で22.6ポイントの差があった。推定される受検率(自己申告受検+非認識受検)については、最も高い比率であったのは40代で72.1%、最も低い比率の70代40.7%に比べ31.4ポイント高かった。

高い比率であったのが40代、次いで50代(67.5%)、30代(67.0%)であることは、自己申告受検に関しては節目検診や人間ドック等を受けることの多い年代であることや、非認識受検に関しては妊娠・出産の機会を有する年代であることによると考えられる。

表 6-1-2- 1 肝炎検査受検状況×問9 年代別(B型肝炎ウイルス検査)

		肝炎検査受検状況			
		調査数	B型 自己申告受検	B型 非認識受検	受検していない
問9 年齢	全 体	23720 100.0	4186 17.6	9449 39.8	10085 42.5
	20～29歳	2084 100.0	178 8.5	741 35.6	1165 55.9
	30～39歳	3632 100.0	606 16.7	1828 50.3	1198 33.0
	40～49歳	3876 100.0	827 21.3	1968 50.8	1081 27.9
	50～59歳	4436 100.0	996 22.5	1994 45.0	1446 32.6
	60～69歳	5763 100.0	1074 18.6	1832 31.8	2857 49.6
	70～79歳	3863 100.0	501 13.0	1069 27.7	2293 59.4

$(\chi^2=1520.274, df=10, p=0.000 < 0.05)$

### C型肝炎ウイルス検査受検状況との関連について

C型肝炎ウイルス検査の受検状況については、表 6-1-2-2 の通り、年代の違いにおいて 0.1%水準で有意な差がみられた。

具体的にみると、自己申告受検者については最も高い比率であったのは 50 代 21.8%で、最も低い比率の 20 代 7.2%より 14.6 ポイント高かった。非認識受検者については、最も高い比率は 30 代 48.9%、最も低い比率は 70 代 18.7%で 30.2 ポイント高かった。推定される受検率については、最も高い比率であったのは 30 代 63.3%、最も低い比率であったのは 70 代 34.5%で 28.8 ポイントの差があった。

最も高い比率であったのが 30 代、次いで 40 代であることは、自己申告受検に関しては節目検診や人間ドック等を受けはじめることの多い年代であることや、非認識受検に関しては妊娠・出産の機会を有する年代であることによると考えられる。

年代別にみて、B型肝炎ウイルス検査・C型肝炎ウイルス検査での受検率の大きな差はなかった。

表 6-1-2- 2 肝炎検査受検状況×問9 年代別(C型肝炎ウイルス検査)

		肝炎検査受検状況			
		調査数	C型 自己申告受検	C型 非認識受検	受検していない
問9 年齢	全 体	23720 100.0	4167 17.6	7200 30.4	12353 52.1
	20～29歳	2084 100.0	151 7.2	713 34.2	1220 58.5
	30～39歳	3632 100.0	522 14.4	1776 48.9	1334 36.7
	40～49歳	3876 100.0	768 19.8	1618 41.7	1490 38.4
	50～59歳	4436 100.0	966 21.8	1178 26.6	2292 51.7
	60～69歳	5763 100.0	1144 19.9	1179 20.5	3440 59.7
	70～79歳	3863 100.0	610 15.8	723 18.7	2530 65.5

$$(\chi^2=1710.612, df=10, p=0.000 < 0.05)$$

 B型肝炎検査、C型肝炎検査ともに、年代別で見ると推定される受検率は 30 代、40 代での比率が高く、特に非認識受検の比率が高かった。

6-1-3. 肝炎検査受検状況×問8.性別×問9 年代別

図 6-1-3- 1 肝炎検査受検状況×問8.性別×問9 年代別



**B型肝炎ウイルス検査について**

推定される受検率は、女性・40代（80.5%）と女性・30代（76.9%）が高い比率となっていた。男性・20代の自己申告受検は低く、4.4%であった。

### C型肝炎ウイルス検査について

推定される受検率は、女性・30代（73.6%）と女性・40代（69.2%）が高い比率となっていた。男性・20代の自己申告受検は低く、3.9%であった。

### B型肝炎ウイルス検査受検状況との関連について

B型肝炎ウイルス検査の受検状況については、表 6-1-3-1 の通り、性・年代の違いにおいて 0.1%水準で有意な差がみられた。

具体的にみると、男性の自己申告受検者について最も高い比率は50代 18.3%で、最も低い比率の20代 4.4%より 13.9ポイント高かった。男性の非認識受検者については、最も高い比率は50代 45.0%で、最も低い比率の70代 30.7%より 14.3ポイント高かった。男性の推定される受検率については、最も高い比率は50代 63.3%で、最も低い比率の20代 37.7%より 25.6ポイント高かった。

女性の自己申告受検者についても最も高い比率は50代 26.1%で、最も低い比率の20代 11.4%より 14.7ポイント高かった。女性の非認識受検者については、最も高い比率は30代と40代でともに 55.6%、最も低い比率は70代 24.8%で 30.8ポイントの差があった。女性の推定される受検率については、最も高い比率は40代 80.5%、最も低い比率であったのは70代 37.3%で 43.2ポイントの差があった。

全体として、推定される受検率について最も高い比率であったのが女性・40代、次いで女性・30代であり、同年代の男性と比べ約 20ポイント程度の差があった。このことは、妊娠・出産の機会を有する年代であることによると考えられる。また、自己申告受検で最も比率が高かったのは女性・50代の 26.1%、非認識受検で最も比率が高かったのは女性・30代、女性・40代の 55.6%であった。

表 6-1-3-1 肝炎検査受検状況×問8.性別×問9 年代別(B型肝炎ウイルス検査)

		肝炎検査受検状況			
		調査数	B型 自己申告受検	B型 非認識受検	受検していない
全体		23720 100.0	4186 17.6	9449 39.8	10085 42.5
性別・年代	男性・20～29歳	843 100.0	37 4.4	281 33.3	525 62.3
	男性・30～39歳	1477 100.0	148 10.0	630 42.7	699 47.3
	男性・40～49歳	1602 100.0	261 16.3	704 43.9	637 39.8
	男性・50～59歳	2042 100.0	374 18.3	919 45.0	749 36.7
	男性・60～69歳	2881 100.0	465 16.1	1028 35.7	1388 48.2
	男性・70～79歳	1863 100.0	258 13.8	572 30.7	1033 55.4
	女性・20～29歳	1238 100.0	141 11.4	460 37.2	637 51.5
	女性・30～39歳	2152 100.0	458 21.3	1197 55.6	497 23.1
	女性・40～49歳	2268 100.0	564 24.9	1262 55.6	442 19.5
	女性・50～59歳	2383 100.0	621 26.1	1070 44.9	692 29.0
	女性・60～69歳	2848 100.0	608 21.3	796 27.9	1444 50.7
	女性・70～79歳	1923 100.0	241 12.5	477 24.8	1205 62.7

男性 ( $\chi^2=327.998, df=10, p=0.000 < 0.05$ )

女性 ( $\chi^2=1511.906, df=10, p=0.000 < 0.05$ )

**C型肝炎ウイルス検査受検状況との関連について**

C型肝炎ウイルス検査の受検状況については、表 6-1-3-2 の通り、性・年代の違いにおいて 0.1%水準で有意な差がみられた。

具体的にみると、男性の自己申告受検者について最も高い比率は 50 代と 60 代ともに 16.9%で、最も低い比率 20 代 3.9%に比べ 13.0 ポイント高かった。男性の非認識受検者については、最も高い比率は 30 代 40.1%、最も低い比率 70 代 21.5%より 18.6 ポイント高かった。男性の推定される受検率については、最も高い比率は 40 代 50.9%で、最も低い比率の 20 代 35.2%より 15.7 ポイント高かった。

女性の自己申告受検者についても最も高い比率は 50 代 25.9%で、最も低い比率 20 代 9.5%より 16.4 ポイント高かった。女性の非認識受検者については、最も高い比率は 30 代 55.0%で、最も低い比率は 70 代 16.0%より 39.0 ポイント高かった。女性の推定される受検率については、最も高い比率であったのは 30 代 73.6%、最も低い比率 70 代 32.0%より 41.6 ポイント高かった。

全体として、B型肝炎の結果と同様であった。

表 6-1-3- 2 肝炎検査受検状況×問8.性別×問9 年代別(C型肝炎ウイルス検査)

		肝炎検査受検状況			
		調査数	C型自己申告受検	C型非認識受検	受検していない
全 体		23720 100.0	4167 17.6	7200 30.4	12353 52.1
性別・年代	男性・20～29歳	843 100.0	33 3.9	264 31.3	546 64.8
	男性・30～39歳	1477 100.0	122 8.3	592 40.1	763 51.7
	男性・40～49歳	1602 100.0	262 16.4	552 34.5	788 49.2
	男性・50～59歳	2042 100.0	345 16.9	601 29.4	1096 53.7
	男性・60～69歳	2881 100.0	486 16.9	669 23.2	1726 59.9
	男性・70～79歳	1863 100.0	300 16.1	401 21.5	1162 62.4
	女性・20～29歳	1238 100.0	118 9.5	449 36.3	671 54.2
	女性・30～39歳	2152 100.0	400 18.6	1183 55.0	569 26.4
	女性・40～49歳	2268 100.0	504 22.2	1065 47.0	699 30.8
	女性・50～59歳	2383 100.0	618 25.9	576 24.2	1189 49.9
	女性・60～69歳	2848 100.0	657 23.1	506 17.8	1685 59.2
	女性・70～79歳	1923 100.0	307 16.0	308 16.0	1308 68.0

男性 ( $\chi^2= 333.588,df=10,p=0.000 <0.05$ )

女性 ( $\chi^2=1643.058,df=10,p=0.000 <0.05$ )

 B型肝炎検査、C型肝炎検査ともに、性・年代別で見ると女性・30代、女性・40代の非認識受検の比率が高く、約半数となっていた。

### 6-1-4. 肝炎検査受検状況×問10 地域ブロック別

図 6-1-4- 1 肝炎検査受検状況×問10 地域ブロック別



#### B型肝炎ウイルス検査について

自己申告受検については「北海道」「四国」の比率が高かった。非認識受検については「中国」「東北」の比率が高かった。

推定される受検率で最も比率が高かったのは「北海道」62.2%、次いで「中国」が61.3%となっていた。最も比率が低かったのは「関東信越」(56.3%)となっていた。

### C型肝炎ウイルス検査について

自己申告受検については「四国」の比率が最も高く、次いで「中国」となっていた。非認識受検については「北海道」、次いで「九州」の比率が高かった。

推定される受検率は「北海道」が 53.2%、次いで「九州」が 52.4%と高かった。もっとも低かったのは「東海北陸」(46.1%)となっていた。

### B型肝炎ウイルス検査受検状況との関連について

B型肝炎ウイルス検査の受検状況については、表 6-1-4-1 の通り、地域ブロックの違いにおいて 0.1%水準で有意な差がみられた。

具体的にみると、自己申告受検者については最も高い比率であったのは北海道 20.0%、最も低い比率であったのは東海北陸 15.9%で 4.1 ポイントの差があった。非認識受検者については、最も高い比率であったのは中国 42.9%、最も低い比率であったのは四国 37.0%で 5.9 ポイントの差があった。推定される受検率（自己申告受検+非認識受検）については、最も高い比率であったのは北海道 62.2%、最も低い比率であったのは関東信越 56.3%で 5.9 ポイントの差があった。

表 6-1-4- 1 肝炎検査受検状況×問10 地域ブロック別(B型肝炎ウイルス検査)

		肝炎検査受検状況			
		調査数	B型 自己申告受検	B型 非認識受検	受検していない
	全 体	23720 100.0	4186 17.6	9449 39.8	10085 42.5
	地域 ブ ロ ッ ク	北海道	1000 100.0	200 20.0	422 42.2
東北		1721 100.0	280 16.3	734 42.6	707 41.1
関東信越		8834 100.0	1608 18.2	3365 38.1	3861 43.7
東海北陸		3576 100.0	568 15.9	1467 41.0	1541 43.1
近畿		3736 100.0	631 16.9	1479 39.6	1626 43.5
中国		1486 100.0	274 18.4	637 42.9	575 38.7
四国		762 100.0	151 19.8	282 37.0	329 43.2
九州		2309 100.0	431 18.7	967 41.9	911 39.5

$$(\chi^2=58.497, df=14, p=0.000 < 0.05)$$

### C型肝炎ウイルス検査受検状況との関連について

C型肝炎ウイルス検査の受検状況については、表 6-1-4-2 の通り、地域ブロックの違いにおいて 0.1%水準で有意な差がみられた。

具体的にみると、自己申告受検者については最も高い比率であったのは四国 21.0%、最も低い比率であったのは東北 15.5%で 5.5ポイントの差があった。非認識受検者については、最も高い比率であったのは北海道 35.0%、最も低い比率であったのは四国 25.6%で 9.4ポイントの差があった。推定される受検率（自己申告受検+非認識受検）については、最も高い比率であったのは北海道 53.2%、最も低い比率であったのは東海北陸 46.1%で 7.1ポイントの差があった。

表 6-1-4-2 肝炎検査受検状況×問10 地域ブロック別(C型肝炎ウイルス検査)

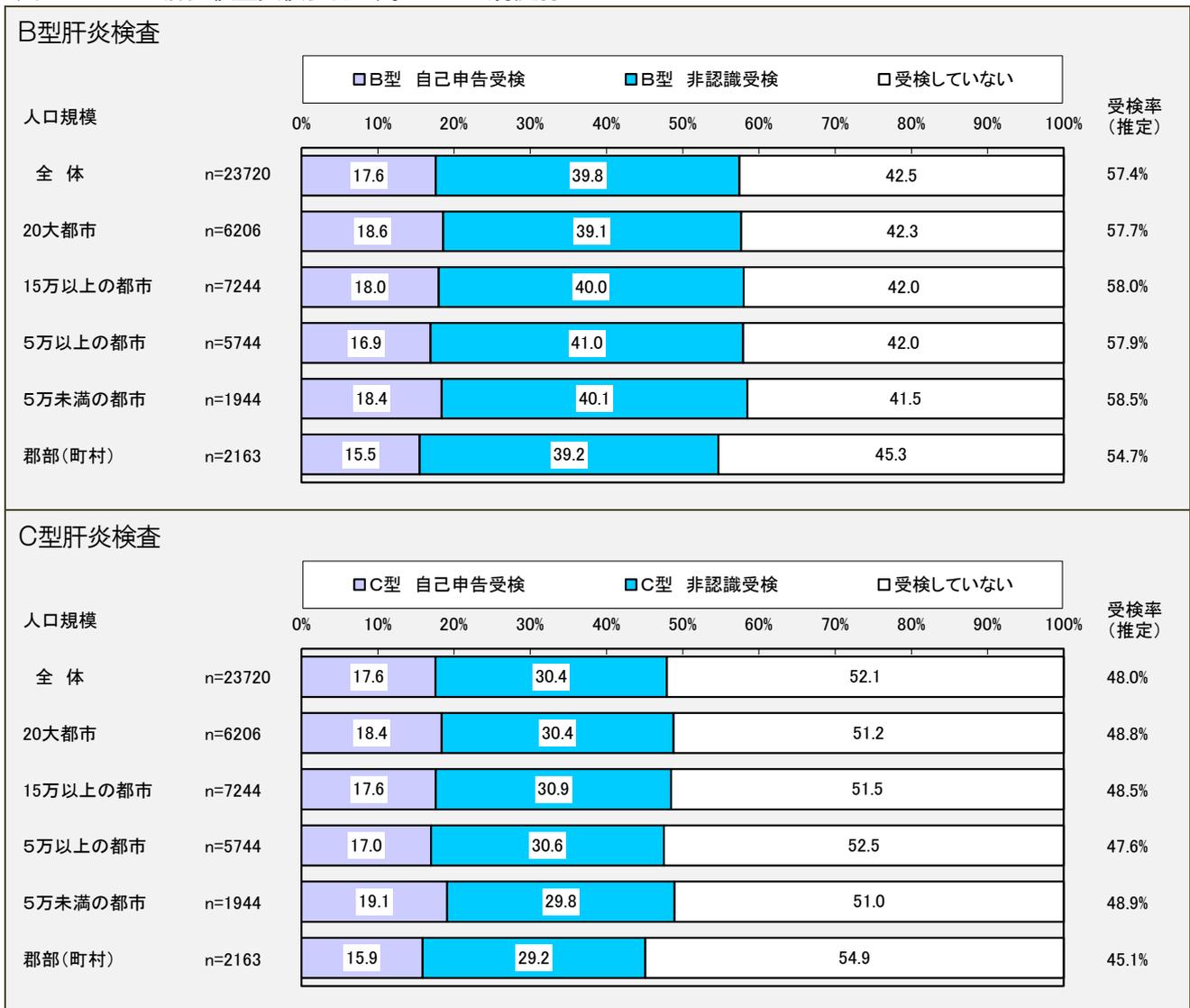
		肝炎検査受検状況			
		調査数	C型自己申告受検	C型非認識受検	受検していない
全体		23720	4167	7200	12353
		100.0	17.6	30.4	52.1
地域ブロック	北海道	1000	182	350	468
		100.0	18.2	35.0	46.8
	東北	1721	266	546	909
		100.0	15.5	31.7	52.8
	関東信越	8834	1610	2519	4705
		100.0	18.2	28.5	53.3
	東海北陸	3576	546	1101	1929
		100.0	15.3	30.8	53.9
	近畿	3736	637	1158	1941
	100.0	17.1	31.0	52.0	
中国	1486	281	487	718	
	100.0	18.9	32.8	48.3	
四国	762	160	195	407	
	100.0	21.0	25.6	53.4	
九州	2309	438	772	1099	
	100.0	19.0	33.4	47.6	

$$(\chi^2=85.167, df=14, p=0.000 < 0.05)$$

 B型肝炎検査、C型肝炎検査ともに、推定される受検率は、「北海道」、「中国」、「九州」が高かった。

### 6-1-5. 肝炎検査受検状況×問10 人口規模別

図 6-1-5- 1 肝炎検査受検状況×問10 人口規模別



#### B型肝炎ウイルス検査について

自己申告受検について、郡部（町村）以外はほとんど差がなかった。

推定される受検率では人口5万未満の都市58.5%がもっとも高く、もっとも低かったのは郡部(町村)で54.7%となっていた。

#### C型肝炎ウイルス検査について

自己申告受検について、郡部（町村）以外はほとんど差がなかった。

推定される受検率では人口5万未満の都市48.9%がもっとも高く、もっとも低かったのは郡部(町村)で45.1%となっていた。

## B型肝炎ウイルス検査受検状況との関連について

B型肝炎ウイルス検査の受検状況については、表 6-1-5-1 の通り、人口規模の違いにおいて 5%水準で有意な差がみられた。

具体的にみると、自己申告受検者については最も高い比率であったのは 20 大都市 18.6%、最も低い比率であったのは郡部(町村)15.5%で 3.1 ポイントの差があった。非認識受検者については、最も高い比率であったのは 5 万以上の都市 41.0%、最も低い比率であったのは 20 大都市 39.1%で 1.9 ポイントの差であった。推定される受検率(自己申告受検+非認識受検)については、最も高い比率であったのは 5 万未満の都市 58.5%、最も低い比率であったのは郡部(町村)54.7%で 3.8 ポイントの差があった。

表 6-1-5-1 肝炎検査受検状況×問10 人口規模別(B型肝炎ウイルス検査)

		肝炎検査受検状況			
		調査数	B型 自己申告受検	B型 非認識受検	受検していない
	全体	23720	4186	9449	10085
		100.0	17.6	39.8	42.5
人口規模	20大都市	6206	1152	2427	2627
		100.0	18.6	39.1	42.3
	15万以上の都市	7244	1305	2895	3044
		100.0	18.0	40.0	42.0
	5万以上の都市	5744	973	2356	2415
	100.0	16.9	41.0	42.0	
	5万未満の都市	1944	357	780	807
	100.0	18.4	40.1	41.5	
	郡部(町村)	2163	335	848	980
	100.0	15.5	39.2	45.3	

( $\chi^2=19.515, df=8, p=0.012 < 0.05$ )

### C型肝炎ウイルス検査受検状況との関連について

C型肝炎ウイルス検査の受検状況については、表 6-1-5-2 の通り、人口規模の違いにおいて 5%水準で有意な差がみられた。

具体的にみると、自己申告受検者については最も高い比率であったのは人口 5 万未満の都市 19.1%、最も低い比率であったのは郡部(町村) 15.9%で 3.2 ポイントの差があった。非認識受検者については、最も高い比率であったのは 15 万以上の都市 30.9%、最も低い比率であったのは郡部(町村) 29.2%で 1.7 ポイントの差であった。推定される受検率(自己申告受検+非認識受検)については、最も高い比率であったのは 5 万未満の都市 48.9%、最も低い比率であったのは郡部(町村) 45.1%で 3.8 ポイントの差があった。

表 6-1-5- 2 肝炎検査受検状況×問10 人口規模別(C型肝炎ウイルス検査)

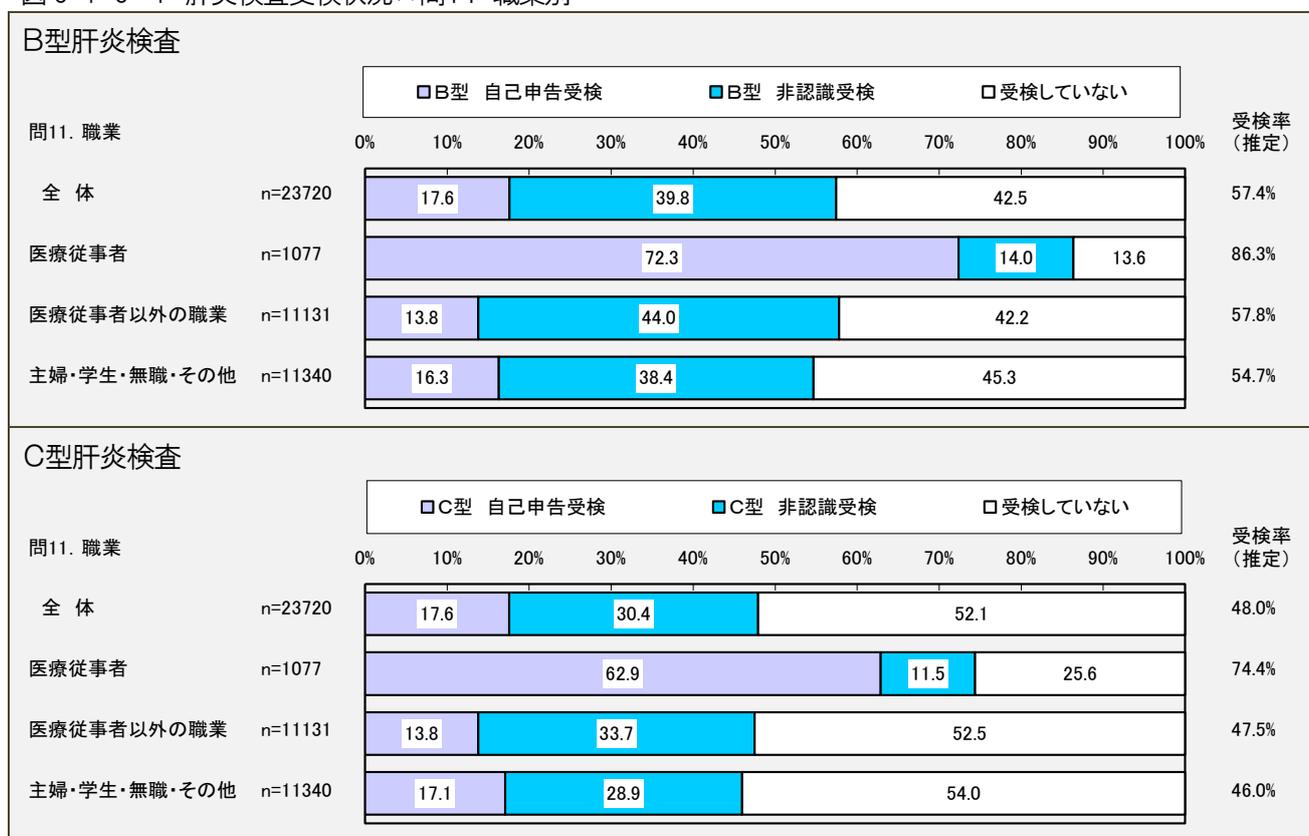
		肝炎検査受検状況			
		調査数	C型 自己申告受検	C型 非認識受検	受検していない
	全 体	23720	4167	7200	12353
		100.0	17.6	30.4	52.1
人口規模	20大都市	6206	1141	1885	3180
		100.0	18.4	30.4	51.2
	15万以上の都市	7244	1274	2236	3734
		100.0	17.6	30.9	51.5
	5万以上の都市	5744	974	1755	3015
	100.0	17.0	30.6	52.5	
	5万未満の都市	1944	372	580	992
	100.0	19.1	29.8	51.0	
	郡部(町村)	2163	343	632	1188
	100.0	15.9	29.2	54.9	

$(\chi^2 = 16.758, df=8, p=0.033 < 0.05)$

 B型肝炎検査、C型肝炎検査ともに、人口規模別では、郡部(町村)の推定される受検率が低かった。

### 6-1-6. 肝炎検査受検状況×問11 職業別

図 6-1-6- 1 肝炎検査受検状況×問11 職業別



#### B型肝炎ウイルス検査について

自己申告受検については医療従事者の比率が群を抜いて高かった (72.3%)。非認識受検については医療従事者以外の職業が 44.0% で高い比率となっていた。

推定される受検率は医療従事者が最も高く 86.3% となっていた。

#### C型肝炎ウイルス検査について

自己申告受検については医療従事者の比率が群を抜いて高かった (62.9%)。非認識受検については医療従事者以外の職業が 33.7% で高い比率となっていた。

推定される受検率は医療従事者が最も高く 74.4% となっていた。

**B型肝炎ウイルス検査受検状況との関連について**

B型肝炎ウイルス検査の受検状況については、表 6-1-6-1 の通り、職業の違いにおいて 0.1%水準で有意な差がみられた。

具体的にみると、自己申告受検者については最も高い比率は医療従事者 72.3%、最も低い比率の医療従事者以外の職業 13.8%より 58.5 ポイント高かった。非認識受検者については、最も高い比率は医療従事者以外の職業 44.0%、最も低い比率の医療従事者 14.0%より 30.0 ポイント高かった。推定される受検率（自己申告受検+非認識受検）については、最も高い比率は医療従事者 86.3%、最も低い比率の主婦・学生・無職・その他 54.7%より 31.6 ポイント高かった。

これは、医療従事者として、感染する機会が医療従事者以外に比べて多いことや、医療機関等では感染対策を行っている場合もあることから、肝炎検査の受検を自覚していることを示しているといえる。

表 6-1-6- 1 肝炎検査受検状況×問11 職業別(B型肝炎ウイルス検査)

		肝炎検査受検状況			
		調査数	B型 自己申告受検	B型 非認識受検	受検していない
	全 体	23720 100.0	4186 17.6	9449 39.8	10085 42.5
	問 1 1 職 業	医療従事者	1077 100.0	779 72.3	151 14.0
	医療従事者以外の職業	11131 100.0	1539 13.8	4895 44.0	4697 42.2
	主婦・学生・無職・その他	11340 100.0	1850 16.3	4354 38.4	5136 45.3

$(\chi^2=2388.658, df=4, p=0.000 < 0.05)$

### C型肝炎ウイルス検査受検状況との関連について

C型肝炎ウイルス検査の受検状況については、表 6-1-6-2 の通り、職業の違いにおいて 0.1%水準で有意な差がみられた。

具体的にみると、自己申告受検者については最も高い比率は医療従事者 62.9%、最も低い比率の医療従事者以外の職業 13.8%より 49.1 ポイント高かった。非認識受検者については、最も高い比率であったのは医療従事者以外の職業 33.7%で、最も低い比率の医療従事者 11.5%より 22.2 ポイント高かった。推定される受検率については、最も高い比率は医療従事者 74.4%、最も低い比率の主婦・学生・無職・その他 46.0%より 28.4 ポイント高かった。

医療従事者の自己申告受検者の比率について、B型肝炎ウイルス検査の 72.3%と比べると、C型肝炎ウイルス検査は 62.9%と約 10 ポイント低かった。

表 6-1-6-2 肝炎検査受検状況×問11 職業別(C型肝炎ウイルス検査)

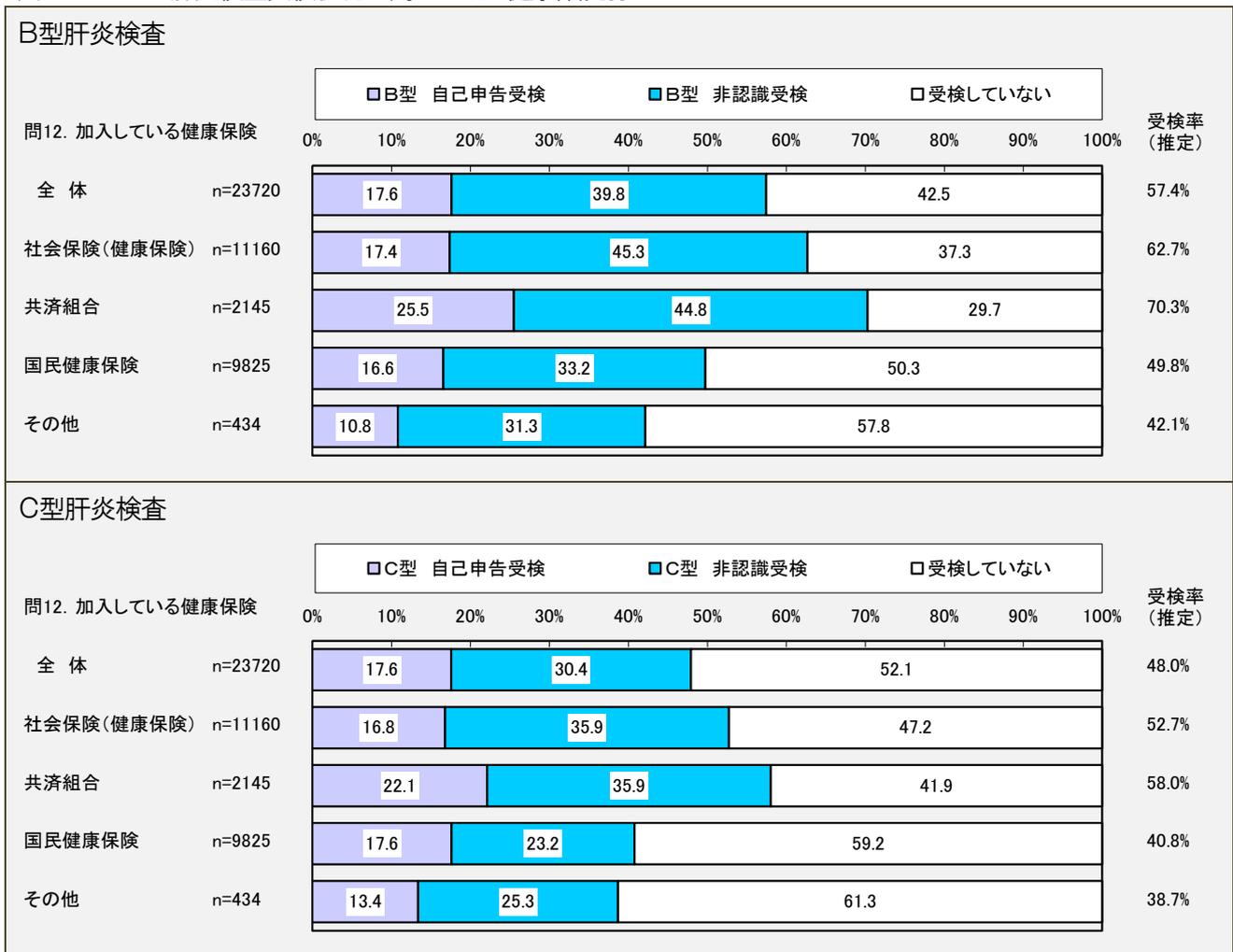
		肝炎検査受検状況			
		調査数	C型 自己申告受検	C型 非認識受検	受検していない
	全体	23720 100.0	4167 17.6	7200 30.4	12353 52.1
問 1 1 職業	医療従事者	1077 100.0	677 62.9	124 11.5	276 25.6
	医療従事者以外の職業	11131 100.0	1536 13.8	3756 33.7	5839 52.5
	主婦・学生・無職・その他	11340 100.0	1934 17.1	3278 28.9	6128 54.0

( $\chi^2=1675.191, df=4, p=0.000 < 0.05$ )

 B型肝炎検査、C型肝炎検査ともに、「医療従事者」は、B型 72.3%、C型 62.9%と自己申告受検の比率が高かった。

### 6-1-7. 肝炎検査受検状況×問12 加入健康保険別

図 6-1-7- 1 肝炎検査受検状況×問12 加入健康保険別



#### B型肝炎ウイルス検査について

自己申告受検については共済組合が高い比率となっていた。非認識受検についても共済組合が高い比率となっていた。

推定される受検率は共済組合がもっとも高く 70.3%となっており、次いで社会保険(健康保険) 62.7%となっていた。

#### C型肝炎ウイルス検査について

自己申告受検については共済組合が高い比率となっていた。非認識受検についても共済組合が高い比率となっていた。

推定される受検率は共済組合がもっとも高く 58.0%となっており、次いで社会保険(健康保険) 52.7%となっていた。

## B型肝炎ウイルス検査受検状況との関連について

B型肝炎ウイルス検査の受検状況については、表 6-1-7-1 の通り、加入している健康保険種類の違いにおいて 0.1%水準で有意な差がみられた。

具体的にみると、自己申告受検者については最も高い比率であったのは共済組合 25.5%で、最も低い比率の国民健康保険 16.6%より 8.9 ポイント高かった。非認識受検者については、最も高い比率が共済組合 44.8%、最も低い比率の国民健康保険 33.2%より 11.6 ポイント高かった。推定される受検率（自己申告受検+非認識受検）については、最も高い比率であったのは共済組合 70.3%で、最も低い比率の国民健康保険 49.8%より 20.5 ポイント高かった。

表 6-1-7-1 肝炎検査受検状況×問12 加入健康保険別(B型肝炎ウイルス検査)

		肝炎検査受検状況			
		調査数	B型 自己申告受検	B型 非認識受検	受検していない
問 1 2 の 健 康 加 保 入 保 険 し て い	全 体	23720 100.0	4186 17.6	9449 39.8	10085 42.5
	社会保険(健康保険)	11160 100.0	1942 17.4	5051 45.3	4167 37.3
	共済組合	2145 100.0	547 25.5	960 44.8	638 29.7
	国民健康保険	9825 100.0	1627 16.6	3259 33.2	4939 50.3
	その他	434 100.0	47 10.8	136 31.3	251 57.8

( $\chi^2=621.921, df=6, p=0.000 < 0.05$ )

### C型肝炎ウイルス検査受検状況との関連について

C型肝炎ウイルス検査の受検状況については、表 6-1-7-2 の通り、加入している健康保険種類の違いにおいて 0.1%水準で有意な差がみられた。

具体的にみると、自己申告受検者については最も高い比率であったのは共済組合 22.1%で、最も低い比率の社会保険(健康保険) 16.8%より 5.3ポイント高かった。非認識受検者についても、最も高い比率が共済組合 35.9%、最も低い比率の国民健康保険 23.2%より 12.7ポイント高かった。推定される受検率については、最も高い比率であったのは共済組合 58.0%、最も低い比率の国民健康保険 40.8%より 17.2ポイント高かった。

表 6-1-7-2 肝炎検査受検状況×問12 加入健康保険別(C型肝炎ウイルス検査)

		肝炎検査受検状況			
		調査数	C型 自己申告受検	C型 非認識受検	受検していない
問 1 2 健康加入 している	全 体	23720 100.0	4167 17.6	7200 30.4	12353 52.1
	社会保険(健康保険)	11160 100.0	1880 16.8	4007 35.9	5273 47.2
	共済組合	2145 100.0	475 22.1	771 35.9	899 41.9
	国民健康保険	9825 100.0	1731 17.6	2279 23.2	5815 59.2
	その他	434 100.0	58 13.4	110 25.3	266 61.3

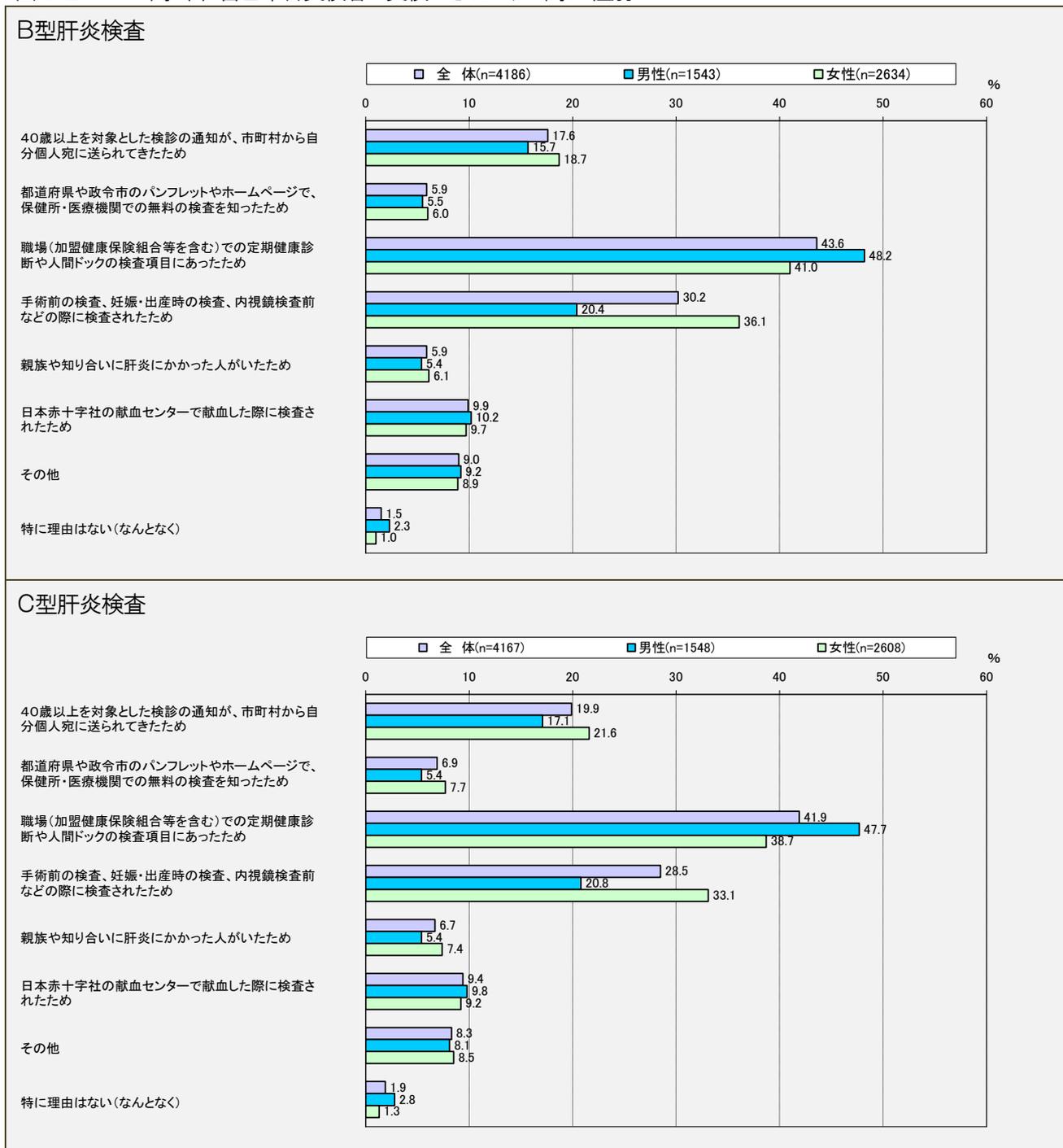
( $\chi^2=532.586, df=6, p=0.000 < 0.05$ )

 B型肝炎検査、C型肝炎検査ともに、「共済組合」は自己申告受検、非認識受検の比率がともに高かった。

## 6-2. 自己申告受検者の状況

### 6-2-1. 問4(a) 自己申告受検者の受検のきっかけ×問8 性別

図 6-2-1-1 問4(a) 自己申告受検者の受検のきっかけ×問8 性別



**B型肝炎ウイルス検査について**

受検のきっかけで多いのは、「職場での定期健康診断や人間ドックの検査項目にあったため」で、全体で 43.6%、男性 48.2%、女性 41.0%であった。次に「手術前の検査、妊娠・出産時の検査、内視鏡検査前などの際に検査されたため」となっており、全体で 30.2%、男性 20.4%、女性 36.1%となっていた。

**C型肝炎ウイルス検査について**

受検のきっかけで多いのは、「職場での定期健康診断や人間ドックの検査項目にあったため」で、全体で 41.9%、男性 47.7%、女性 38.7%であった。次に「手術前の検査、妊娠・出産時の検査、内視鏡検査前などの際に検査されたため」となっており、全体で 28.5%、男性 20.8%、女性 33.1%となっていた。

**B型肝炎ウイルス検査を受検したきっかけとの関連について**

B型肝炎ウイルス検査を受検したきっかけについては、表 6-2-1-1 の通り、性別の違いにおいて一部の選択肢の反応に、5%水準で有意な差がみられた。

具体的にみると、「手術前の検査、妊娠・出産時の検査、内視鏡検査前などの際に検査されたため」は、男性 20.4%であるのに対し、女性は 36.1%で 15.7 ポイント高かった。また、「職場（加盟健康保険組合等を含む）での定期健康診断や人間ドックの検査項目にあったため」では男性 48.2%であるのに対し、女性は 41.0%で 7.2 ポイント低かった。

これらは、女性は妊娠・出産時の検査の機会があることと、男性の方が女性よりも職場での定期健康診断や人間ドックを受ける機会が多いことによるものと思われる。

表 6-2-1-1 問4(a) 自己申告受検者の受検のきっかけ×問8 性別(B型肝炎ウイルス検査)

		問4(a) 受検したきっかけはどのような理由ですか								
		調査数	人の4宛通に知送が以上れ市をて町対きたらした分検個診	査健し都を所ツ道を知・ト府医や県や療ホやた機ム令でべの無ジパ料でんの、フ検保	た間合職めドむ場ツ〜ヘクでの盟検定期健康保険に診組あ断合つや等を	際の手に検術検査前、の検査、内視鏡、妊娠・出産の時	か親族や人がり合いたに肝炎にか	めで日本献血した際に献血された	その他	くに理由はない（なんと
	全体	4186 100.0	735 17.6	245 5.9	1827 43.6	1266 30.2	247 5.9	413 9.9	376 9.0	63 1.5
問8性別	男性	1543 100.0	242 15.7	85 5.5	744 48.2	315 20.4	84 5.4	157 10.2	142 9.2	36 2.3
	女性	2634 100.0	492 18.7	159 6.0	1081 41.0	950 36.1	160 6.1	256 9.7	234 8.9	27 1.0
		$\chi^2$	5.949	0.478	20.944	113.014	0.686	0.241	0.131	11.249
		df	1	1	1	1	1	1	1	1
		p	0.015 <0.05	0.489 n.s.	0.000 <0.05	0.000 <0.05	0.407 n.s.	0.623 n.s.	0.718 n.s.	0.001 <0.05

## C型肝炎ウイルス検査を受検したきっかけとの関連について

C型肝炎ウイルス検査を受検したきっかけについては、表 6-2-1-2 の通り、性別の違いにおいて一部の選択肢の反応に、5%水準で有意な差がみられた。

具体的にみると、「手術前の検査、妊娠・出産時の検査、内視鏡検査前などの際に検査されたため」は、男性 20.8%であるのに対し、女性は 33.1%で 12.3 ポイント高かった。また、「職場（加盟健康保険組合等を含む）での定期健康診断や人間ドックの検査項目にあったため」では男性 47.7%であるのに対し、女性は 38.7%で 9.0 ポイント低かった。

これらについてもB型肝炎ウイルス検査同様、女性は妊娠・出産時の検査の機会があることと、男性の方が女性よりも職場での定期健康診断や人間ドックを受ける機会が多いことによるものと思われる。

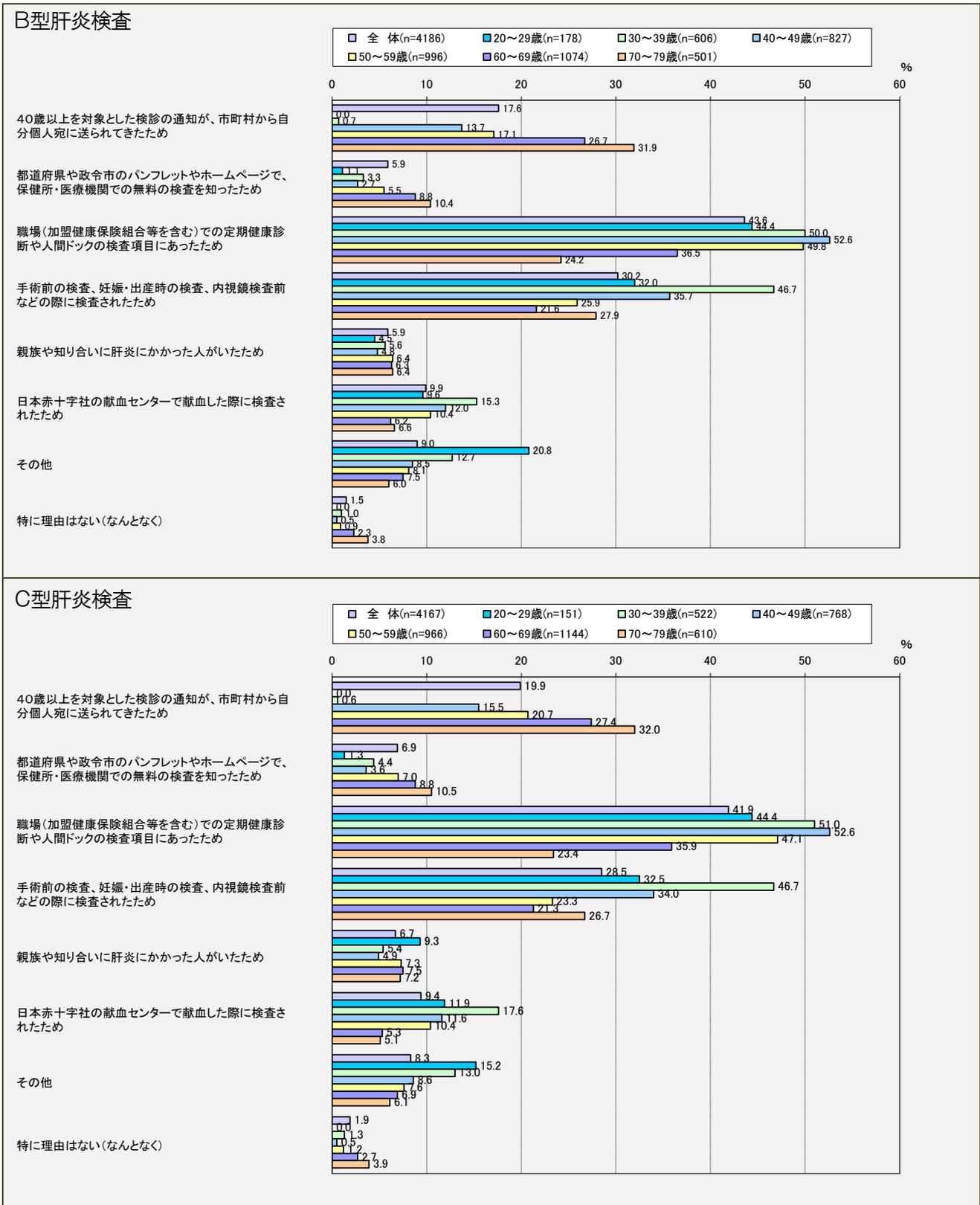
表 6-2-1-2 問4(a) 自己申告受検者の受検のきっかけ×問8 性別(C型肝炎ウイルス検査)

		問4(a) 受検したきっかけはどのような理由ですか								
		調査数	人の4宛通に知送が以上を町対象としたため 分個診	健康を所を 知つた た機 め の 無 料 の 検 保	都道府県 や政 令 市 の ジ バ ン の フ	間含め ドム ツヘ ク の 健 康 保 険 組 合 等 の 人	職 場 加 盟 健 康 保 険 組 合 等 の 人	際 に 検 査 さ れ た た め	か親 つた や 人 が い 合 い た た め	め で 日 献 血 し た 際 に の 献 血 さ れ た
	全体	4167 100.0	831 19.9	286 6.9	1748 41.9	1188 28.5	281 6.7	392 9.4	347 8.3	79 1.9
問 8 性 別	男性	1548 100.0	265 17.1	84 5.4	738 47.7	322 20.8	84 5.4	151 9.8	125 8.1	43 2.8
	女性	2608 100.0	564 21.6	201 7.7	1009 38.7	863 33.1	194 7.4	241 9.2	222 8.5	35 1.3
	$\chi^2$		12.541	7.978	32.171	72.84	6.36	0.287	0.255	10.837
	df		1	1	1	1	1	1	1	1
	p		0.000 <0.05	0.005 <0.05	0.000 <0.05	0.000 <0.05	0.012 <0.05	0.592 n.s.	0.614 n.s.	0.001 <0.05

 B型肝炎検査、C型肝炎検査ともに、受検したきっかけは、男性は「職場での定期健康診断や人間ドックの検査項目にあったため」の比率が高かった、女性は「手術前の検査、妊娠・出産時の検査、内視鏡検査前などの際に検査されたため」の比率も高かった。

6-2-2. 問4(a) 自己申告受検者の受検のきっかけ×問9 年代別

図 6-2-2- 1 問4(a) 自己申告受検者の受検のきっかけ×問9 年代別



### B型肝炎ウイルス検査について

全体として「手術前の検査、妊娠・出産時の検査、内視鏡検査前などの際に検査されたため」が 43.6%と最も多くなっていた。次に、「職場（加盟健康保険組合等を含む）での定期健康診断や人間ドックの検査項目にあったため」が多く 30.2%であった。

年代別にみると、20代から50代は全体とほぼ同じ傾向であったが、60代、70代については、「40歳以上を対象とした検診の通知が、市町村から自分個人宛に送られてきたため」の割合が高くなっていた。

### C型肝炎ウイルス検査について

全体として「手術前の検査、妊娠・出産時の検査、内視鏡検査前などの際に検査されたため」が 41.9%と最も多くなっていた。次に、「職場（加盟健康保険組合等を含む）での定期健康診断や人間ドックの検査項目にあったため」が多く 28.5%であった。

年代別にみると、20代から50代は全体とほぼ同じ傾向であったが、60代、70代については、「40歳以上を対象とした検診の通知が、市町村から自分個人宛に送られてきたため」の割合が高くなっていた。

### B型肝炎ウイルス検査を受検したきっかけとの関連について

B型肝炎ウイルス検査を受検したきっかけについては、表 6-2-2-1 の通り、年代の違いにおいて一部の選択肢の反応に、5%水準で有意な差がみられた。

具体的にみると、「職場（加盟健康保険組合等を含む）での定期健康診断や人間ドックの検査項目にあったため」では 40代 52.6%が最も比率が高く、最も比率が低い 70代 24.2%に比べて 28.4ポイント高かった。また、「手術前の検査、妊娠・出産時の検査、内視鏡検査前などの際に検査されたため」では、30代 46.7%が最も比率が高く、最も比率が低い 60代 21.6%に比べて 25.1ポイント高かった。

これらは、職場にいる年代の中心が 40代前後であることや、30代前後に妊娠・出産による検査の機会が多いことによるものと思われる。

表 6-2-2-1 問4(a) 自己申告受検者の受検のきっかけ×問9 年代別(B型肝炎ウイルス検査)

		問4(a) 受検したきっかけはどのような理由ですか								
		調査数	人の4宛通に送が以上れ市を対きたかとしたら自分検査	健康所・医療機関での無料の検査	都道府県や市町村の保健センター等の健康診断や人間ドックの検査項目にあったため	職場（加盟健康保険組合等を含む）での定期健康診断や人間ドックの検査項目にあったため	手術前の検査、妊娠・出産時の検査、内視鏡検査前などの際に検査されたため	家族や人がいたため	献血した際に献血されたため	その他
	全体	4186 100.0	735 17.6	245 5.9	1827 43.6	1266 30.2	247 5.9	413 9.9	376 9.0	63 1.5
問9 年齢	20～29歳	178 100.0	-	2 1.1	79 44.4	57 32.0	8 4.5	17 9.6	37 20.8	-
	30～39歳	606 100.0	4 0.7	20 3.3	303 50.0	283 46.7	34 5.6	93 15.3	77 12.7	6 1.0
	40～49歳	827 100.0	113 13.7	22 2.7	435 52.6	295 35.7	40 4.8	99 12.0	70 8.5	4 0.5
	50～59歳	996 100.0	170 17.1	55 5.5	496 49.8	258 25.9	64 6.4	104 10.4	81 8.1	9 0.9
	60～69歳	1074 100.0	287 26.7	94 8.8	392 36.5	232 21.6	68 6.3	67 6.2	81 7.5	25 2.3
	70～79歳	501 100.0	160 31.9	52 10.4	121 24.2	140 27.9	32 6.4	33 6.6	30 6.0	19 3.8
		$\chi^2$	303.418	65.44	151.58	135.233	3.552	46.032	49.272	34.764
		df	5	5	5	5	5	5	5	5
		p	0.000 <0.05	0.000 <0.05	0.000 <0.05	0.000 <0.05	0.616 n.s.	0.000 <0.05	0.000 <0.05	0.000 <0.05

**C型肝炎ウイルス検査を受検したきっかけとの関連について**

C型肝炎ウイルス検査を受検したきっかけについては、表 6-2-2-2 の通り、年代の違いにおいて一部の選択肢の反応に、5%水準で有意な差がみられた。

具体的にみると、「職場(加盟健康保険組合等を含む)での定期健康診断や人間ドックの検査項目にあったため」では 40 代 52.6%が最も比率が高く、最も比率が低い 70 代 23.4%に比べて 29.2 ポイント高かった。また、「手術前の検査、妊娠・出産時の検査、内視鏡検査前などの際に検査されたため」では、30 代 46.7%が最も比率が高く、最も比率が低い 60 代 21.3%に比べて 25.4 ポイント高かった。

これらについても、職場にいる年代の中心が 40 代前後であることや、30 代前後に妊娠・出産による検査の機会が多いことによるものと思われる。

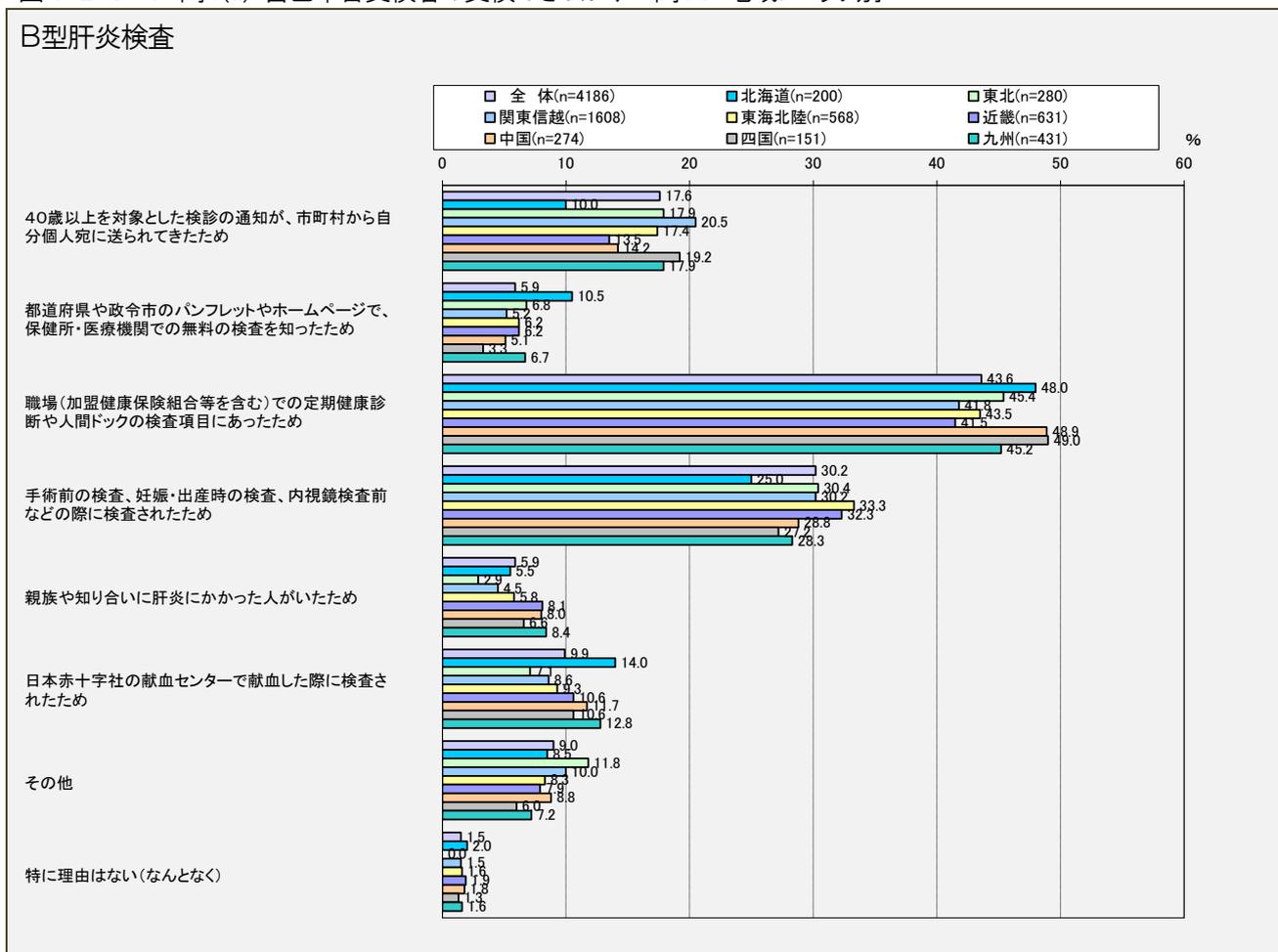
表 6-2-2-2 問4(a) 自己申告受検者の受検のきっかけ×問8 性別(C型肝炎ウイルス検査)

		問4(a)受検したきっかけはどのような理由ですか								
		調査数	人の4宛通0に知歳送が以ら、上れ市を町対き村象としたらため自た分検個診	査健レ都を所ッ道知・ト府っ医や県た療ホやた機ム令でべの無ジバの、フ検保	た間含職めドむ場ッ)(加盟の検定期健康項目に診あ断合っや等た	際の手術に検査前検査、の内検査、の視鏡、たた検査前・出産の時	か親つ族たや人がり合いたいに肝炎にか	めで日献本血赤した字際社にの献血されたタ	その他	く特に理由はない(なんと
	全体	4167 100.0	831 19.9	286 6.9	1748 41.9	1188 28.5	281 6.7	392 9.4	347 8.3	79 1.9
問9 年齢	20~29歳	151 100.0	- -	2 1.3	67 44.4	49 32.5	14 9.3	18 11.9	23 15.2	- -
	30~39歳	522 100.0	3 0.6	23 4.4	266 51.0	244 46.7	28 5.4	92 17.6	68 13.0	7 1.3
	40~49歳	768 100.0	119 15.5	28 3.6	404 52.6	261 34.0	38 4.9	89 11.6	66 8.6	4 0.5
	50~59歳	966 100.0	200 20.7	68 7.0	455 47.1	225 23.3	71 7.3	100 10.4	73 7.6	12 1.2
	60~69歳	1144 100.0	314 27.4	101 8.8	411 35.9	244 21.3	86 7.5	61 5.3	79 6.9	31 2.7
	70~79歳	610 100.0	195 32.0	64 10.5	143 23.4	163 26.7	44 7.2	31 5.1	37 6.1	24 3.9
	$\chi^2$	268.26	44.397	168.116	138.925	8.831	82.608	31.642	31.986	
	df	5	5	5	5	5	5	5	5	5
	p	0.000 <0.05	0.000 <0.05	0.000 <0.05	0.000 <0.05	0.116 n.s.	0.000 <0.05	0.000 <0.05	0.000 <0.05	0.000 <0.05

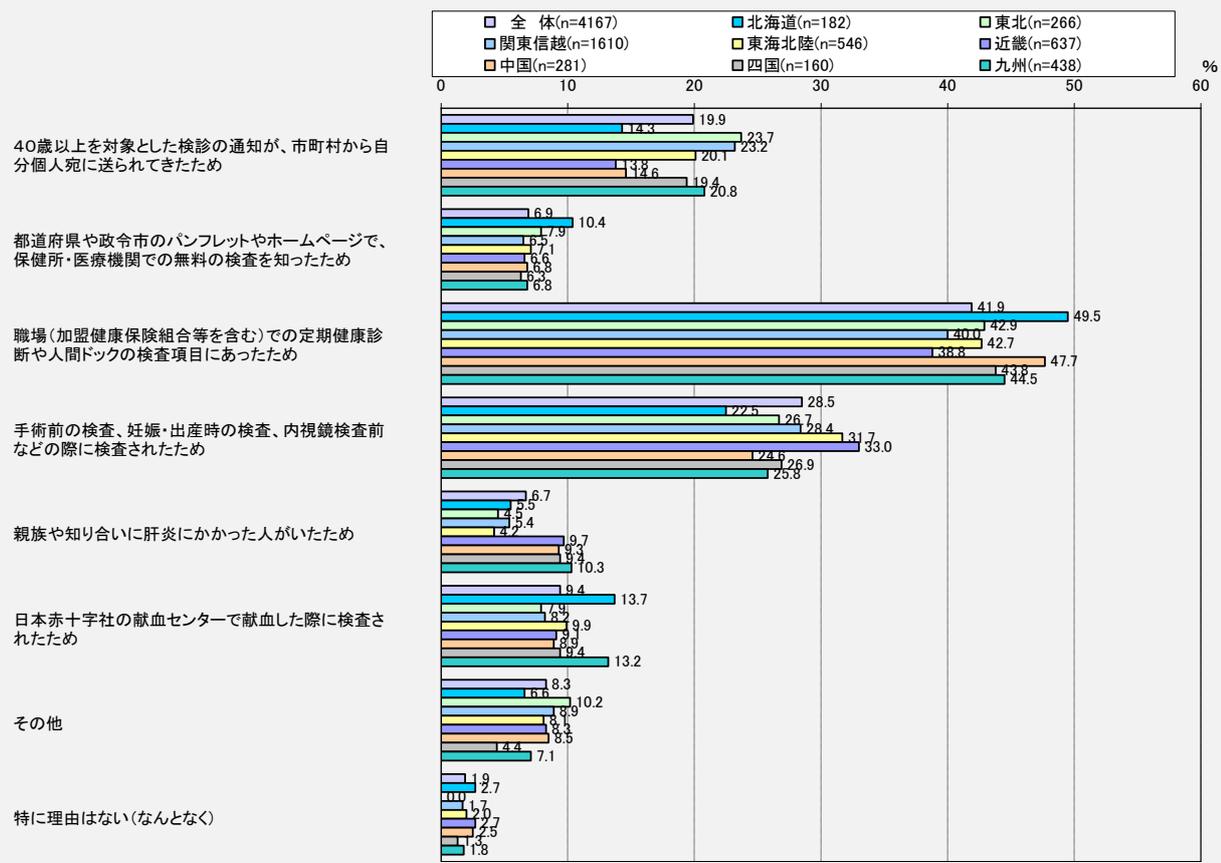
 B型肝炎検査、C型肝炎検査ともに、年代別で見ると「40歳以上を対象とした検診の通知が、市町村から個人宛に送られてきたため」、「都道府県や政令市のパンフレットやホームページで、保健所・医療機関での無料の検査を知ったため」は年代が高くなるほど比率が高い傾向であった。

6-2-3. 問4(a) 自己申告受検者の受検のきっかけ×問10 地域ブロック別

図 6-2-3- 1 問4(a) 自己申告受検者の受検のきっかけ×問10 地域ブロック別



### C型肝炎検査



### B型肝炎ウイルス検査

全ての地域ブロックで「職場 (加盟健康保険組合等を含む) での定期健康診断や人間ドックの検査項目にあったため」が最も比率が高く、四国が最も高かった。次に「手術前の検査、妊娠・出産時の検査、内視鏡検査前などの際に検査されたため」となっており、東海北陸の比率が高かった。

### C型肝炎ウイルス検査

全ての地域ブロックで「職場 (加盟健康保険組合等を含む) での定期健康診断や人間ドックの検査項目にあったため」が最も比率が高く、北海道が最も高かった。次に「手術前の検査、妊娠・出産時の検査、内視鏡検査前などの際に検査されたため」となっており、近畿の比率が高かった。

**B型肝炎ウイルス検査を受検したきっかけとの関連について**

B型肝炎ウイルス検査を受検したきっかけについては、表 6-2-3-1 の通り、地域ブロックの違いにおいて一部の選択肢の反応に、5%水準で有意な差がみられた。

具体的にみると、「40 歳以上を対象とした検診の通知が、市町村から自分個人宛に送られてきたため」では関東信越 20.5%が最も比率が高く、最も比率が低い北海道 10.0%に比べて 10.5 ポイント高かった。

表 6-2-3- 1 問4(a) 自己申告受検者の受検のきっかけ×問10 地域ブロック別(B型肝炎ウイルス検査)

		問4(a) 受検したきっかけはどのような理由ですか									
		調査数	人の40歳以上を知らせてきたため	保健所・医師の勧め	都道府県や市町村の通知	職場・加入の健康保険組合等	間ドックでの検診	職場の健康診断	手術前の検査、内視鏡検査、妊娠・出産時の検査	家族や知り合いの勧め	献血した際に献血センターで献血された
	全体	4186 100.0	735 17.6	245 5.9	1827 43.6	1266 30.2	247 5.9	413 9.9	376 9.0	63 1.5	
地域 ブ ロ ッ ク	北海道	200 100.0	20 10.0	21 10.5	96 48.0	50 25.0	11 5.5	28 14.0	17 8.5	4 2.0	
	東北	280 100.0	50 17.9	19 6.8	127 45.4	85 30.4	8 2.9	20 7.1	33 11.8	-	
	関東信越	1608 100.0	329 20.5	83 5.2	672 41.8	485 30.2	72 4.5	139 8.6	161 10.0	24 1.5	
	東海北陸	568 100.0	99 17.4	35 6.2	247 43.5	189 33.3	33 5.8	53 9.3	47 8.3	9 1.6	
	近畿	631 100.0	85 13.5	39 6.2	262 41.5	204 32.3	51 8.1	67 10.6	50 7.9	12 1.9	
	中国	274 100.0	39 14.2	14 5.1	134 48.9	79 28.8	22 8.0	32 11.7	24 8.8	5 1.8	
	四国	151 100.0	29 19.2	5 3.3	74 49.0	41 27.2	10 6.6	16 10.6	9 6.0	2 1.3	
	九州	431 100.0	77 17.9	29 6.7	195 45.2	122 28.3	36 8.4	55 12.8	31 7.2	7 1.6	
		$\chi^2$	26.974	12.15	10.623	8.468	23.337	14.41	9.38	5.485	
	df	7	7	7	7	7	7	7	7		
	p	0.000 <0.05	0.096 n.s.	0.156 n.s.	0.293 n.s.	0.001 <0.05	0.044 <0.05	0.227 n.s.	0.601 n.s.		

C型肝炎ウイルス検査を受検したきっかけとの関連について

C型肝炎ウイルス検査を受検したきっかけについては、表 6-2-3-2 の通り、地域ブロックの違いにおいて一部の選択肢の反応に、5%水準で有意な差がみられた。

具体的にみると、「職場(加盟健康保険組合等を含む)での定期健康診断や人間ドックの検査項目にあったため」では北海道 49.5%が最も比率が高く、最も比率が低い近畿 38.8%に比べて 10.7 ポイント高かった。また、「手術前の検査、妊娠・出産時の検査、内視鏡検査前などの際に検査されたため」では、近畿 33.0%が最も比率が高く、最も比率が低い北海道 22.5%に比べて 10.5 ポイント高かった。

表 6-2-3- 2 問4(a) 自己申告受検者の受検のきっかけ×問10 地域ブロック別(C型肝炎ウイルス検査)

		問4(a)受検したきっかけはどのような理由ですか								
		調査数	人の40歳以上の市町村を対象とした検診	健康診断を受けた機関	職場(加入健康保険組合等)での検診	人間ドック(検定期間)に検査されたため	手術前の検査、内視鏡検査、妊娠・出産時の検査	家族や知り合いに検査されたため	献血した際に献血されたため	その他
	全体	4167	831	286	1748	1188	281	392	347	79
		100.0	19.9	6.9	41.9	28.5	6.7	9.4	8.3	1.9
地域ブロック	北海道	182	26	19	90	41	10	25	12	5
		100.0	14.3	10.4	49.5	22.5	5.5	13.7	6.6	2.7
	東北	266	63	21	114	71	12	21	27	-
		100.0	23.7	7.9	42.9	26.7	4.5	7.9	10.2	-
	関東信越	1610	373	104	644	457	87	132	144	28
		100.0	23.2	6.5	40.0	28.4	5.4	8.2	8.9	1.7
	東海北陸	546	110	39	233	173	23	54	44	11
		100.0	20.1	7.1	42.7	31.7	4.2	9.9	8.1	2.0
	近畿	637	88	42	247	210	62	58	53	17
	100.0	13.8	6.6	38.8	33.0	9.7	9.1	8.3	2.7	
中国	281	41	19	134	69	26	25	24	7	
	100.0	14.6	6.8	47.7	24.6	9.3	8.9	8.5	2.5	
四国	160	31	10	70	43	15	15	7	2	
	100.0	19.4	6.3	43.8	26.9	9.4	9.4	4.4	1.3	
九州	438	91	30	195	113	45	58	31	8	
	100.0	20.8	6.8	44.5	25.8	10.3	13.2	7.1	1.8	

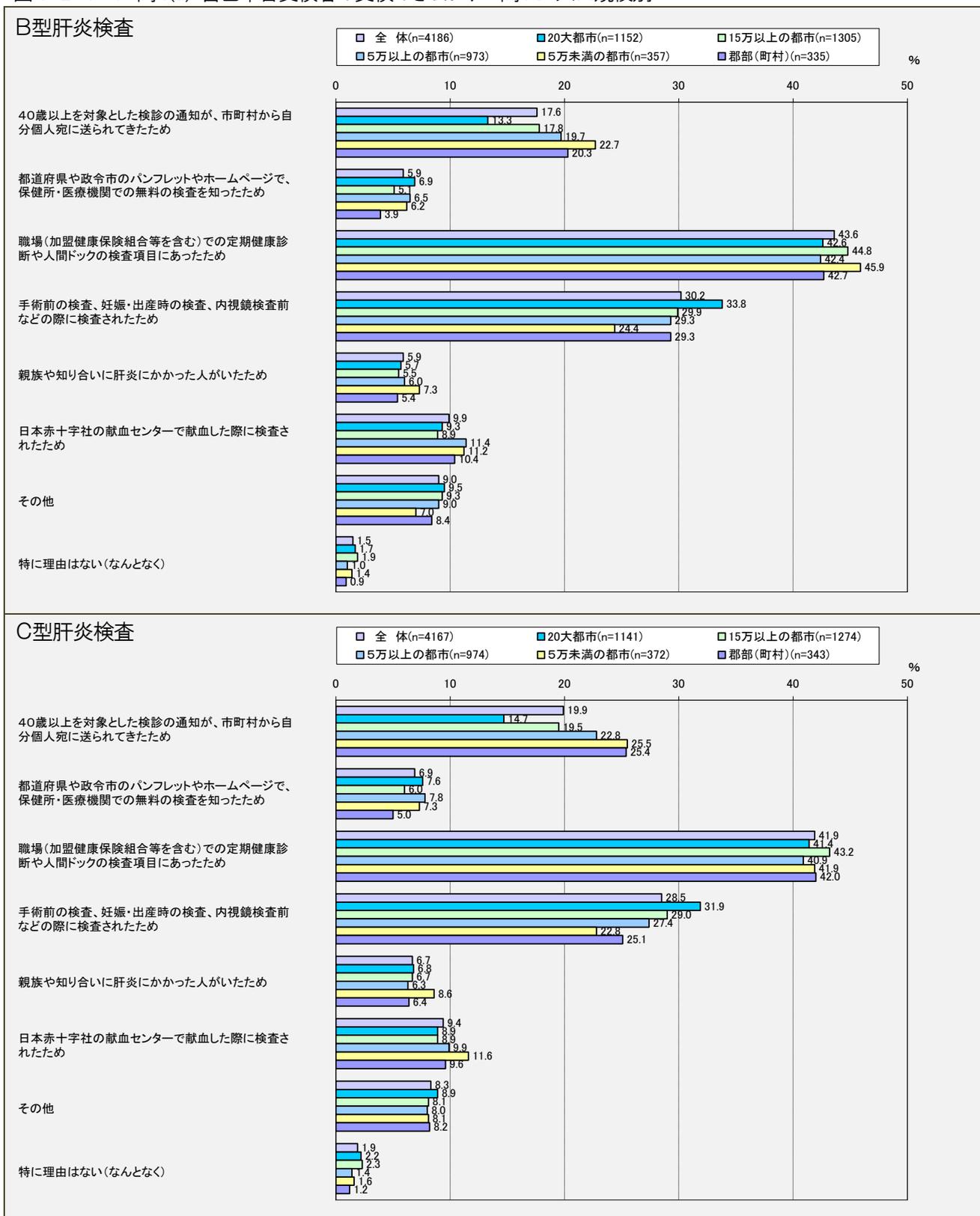
  

$\chi^2$	36.033	4.540	14.747	17.320	35.440	15.124	6.763	9.080
df	7	7	7	7	7	7	7	7
p	0.000	0.716	0.039	0.015	0.000	0.034	0.454	0.247
	<0.05	n.s.	<0.05	<0.05	<0.05	<0.05	n.s.	n.s.

 B型肝炎検査、C型肝炎検査ともに、どの地域ブロックでも「職場(加盟健康保険組合等を含む)での定期健康診断や人間ドックの検査項目にあったため」「手術前の検査、妊娠・出産時の検査、内視鏡検査前などの際に検査されたため」の比率が高かった。

6-2-4. 問4(a) 自己申告受検者の受検のきっかけ×問10 人口規模別

図 6-2-4-1 問4(a) 自己申告受検者の受検のきっかけ×問10 人口規模別



### B型肝炎ウイルス検査

全ての人口規模で、最も比率が高かったのは「職場（加盟健康保険組合等を含む）での定期健康診断や人間ドックの検査項目にあったため」で、次に「手術前の検査、妊娠・出産時の検査、内視鏡検査前などの際に検査されたため」となっていた。

### C型肝炎ウイルス検査

5万未満の都市と郡部(町村)では、全体の傾向とは異なり、「40歳以上を対象とした検診の通知が、市町村から自分個人宛に送られてきたため」が高くなる傾向であった。

### B型肝炎ウイルス検査を受検したきっかけとの関連について

B型肝炎ウイルス検査を受検したきっかけについては、表6-2-4-1の通り、人口規模の違いにおいて一部の選択肢の反応に、5%水準で有意な差がみられた。

具体的にみると、「40歳以上を対象とした検診の通知が、市町村から自分個人宛に送られてきたため」では5万未満の都市22.7%が最も比率が高く、ここから人口規模が大きくなればなるほど比率が低下し、最も比率が低い20大都市13.3%に比べると9.4ポイント高かった。「手術前の検査、妊娠・出産時の検査、内視鏡検査前などの際に検査されたため」では、20大都市33.8%が最も比率が高く、順に人口規模が小さくなると比率が低下し、最も比率が低い5万未満の都市24.4%に比べて9.4ポイント高かった。

表6-2-4-1 問4(a) 自己申告受検者の受検のきっかけ×問10 人口規模別(B型肝炎ウイルス検査)

		問4(a) 受検したきっかけはどのような理由ですか								
		調査数	人の4宛通に知送が以ら、上れ市をて町対き村象とたらしめ自た分検個診	査健し都を所ツ道知・ト府つ医や県た療ホやた機 政め関ム令べのジパ料で、フ検保	た間含職めドむ場ツ(加のの盟検定健康項目健康に診あつた人を	際の手に検術前検査、の内検査、妊娠・出産の時	か親つ族たや人知りが合いたに肝炎にか	めで日献本血赤した字社の献血センタ	その他	く特に理由はない(なんと
人口規模	全体	4186 100.0	735 17.6	245 5.9	1827 43.6	1266 30.2	247 5.9	413 9.9	376 9.0	63 1.5
	20大都市	1152 100.0	153 13.3	80 6.9	491 42.6	389 33.8	66 5.7	107 9.3	109 9.5	20 1.7
	15万以上の都市	1305 100.0	232 17.8	67 5.1	584 44.8	390 29.9	72 5.5	116 8.9	121 9.3	25 1.9
	5万以上の都市	973 100.0	192 19.7	63 6.5	413 42.4	285 29.3	58 6.0	111 11.4	88 9.0	10 1.0
	5万未満の都市	357 100.0	81 22.7	22 6.2	164 45.9	87 24.4	26 7.3	40 11.2	25 7.0	5 1.4
	郡部(町村)	335 100.0	68 20.3	13 3.9	143 42.7	98 29.3	18 5.4	35 10.4	28 8.4	3 0.9
		$\chi^2$	27.106	6.707	2.705	12.367	1.946	5.665	2.149	4.079
		df	4	4	4	4	4	4	4	4
		p	0.000 <0.05	0.152 n.s.	0.608 n.s.	0.015 <0.05	0.746 n.s.	0.226 n.s.	0.708 n.s.	0.395 n.s.

C型肝炎ウイルス検査を受検したきっかけとの関連について

C型肝炎ウイルス検査を受検したきっかけについては、表 6-2-4-2 の通り、人口規模の違いにおいて一部の選択肢の反応に、5%水準で有意な差がみられた。

具体的にみると、「40 歳以上を対象とした検診の通知が、市町村から自分個人宛に送られてきたため」では5万未満の都市 25.5%が最も比率が高く、最も比率が低い 20 大都市 14.7%に比べて 10.8 ポイント高かった。また、「手術前の検査、妊娠・出産時の検査、内視鏡検査前などの際に検査されたため」では、20 大都市 31.9%が最も比率が高く、最も比率が低い 5 万未満の都市 22.8%に比べて 9.1 ポイント高かった。

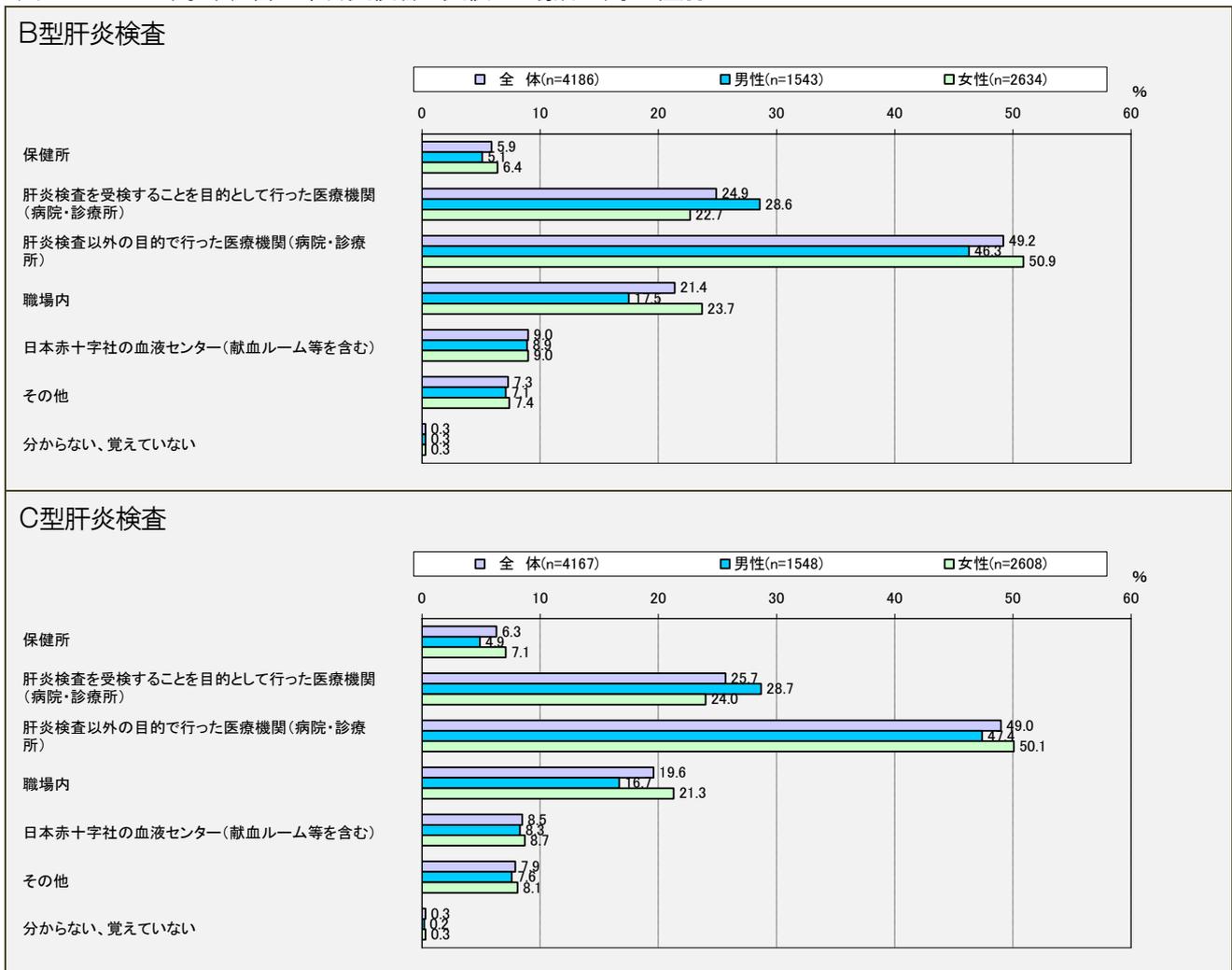
表 6-2-4-2 問4(a) 自己申告受検者の受検のきっかけ×問10 人口規模別(C型肝炎ウイルス検査)

		問4(a)受検したきっかけはどのような理由ですか								
		調査数	人の40歳以上を対象とした検診	保健所・医師の検診	都道府県や市町村の通知	職場・学校・加入の健康保険組合等	手術前の検査、内視鏡検査、妊娠・出産時の検査	家族や知り合いに勧められたため	献血した際に献血されたため	その他
人口規模	全体	4167 100.0	831 19.9	286 6.9	1748 41.9	1188 28.5	281 6.7	392 9.4	347 8.3	79 1.9
	20大都市	1141 100.0	168 14.7	87 7.6	472 41.4	364 31.9	78 6.8	102 8.9	102 8.9	25 2.2
	15万以上の都市	1274 100.0	248 19.5	76 6.0	550 43.2	369 29.0	85 6.7	114 8.9	103 8.1	29 2.3
	5万以上の都市	974 100.0	222 22.8	76 7.8	398 40.9	267 27.4	61 6.3	96 9.9	78 8.0	14 1.4
	5万未満の都市	372 100.0	95 25.5	27 7.3	156 41.9	85 22.8	32 8.6	43 11.6	30 8.1	6 1.6
	郡部(町村)	343 100.0	87 25.4	17 5.0	144 42.0	86 25.1	22 6.4	33 9.6	28 8.2	4 1.2
		$\chi^2$	40.063	5.973	1.424	13.751	2.564	3.152	0.715	3.645
		df	4	4	4	4	4	4	4	4
		p	0.000 <0.05	0.201 n.s.	0.840 n.s.	0.008 <0.05	0.633 n.s.	0.533 n.s.	0.949 n.s.	0.456 n.s.

 B型肝炎検査の受検のきっかけは、ほぼ全体と同じ傾向にあるが、C型肝炎検査の受検のきっかけは、5万未満の都市と郡部(町村)については、他の人口規模の都市と比べ「40歳以上を対象とした検診の通知が、市町村から自分個人宛に送られてきたため」の比率が高い傾向にあった。

6-2-5. 問4(b) 自己申告受検者の受検した場所×問8 性別

図 6-2-5- 1 問4(b) 自己申告受検者の受検した場所×問8 性別



**B型肝炎ウイルス検査について**

全体としては、「肝炎検査以外の目的で行った医療機関(病院・診療所)」が最も比率が高く、49.2%であった。次に「肝炎検査を受検することを目的として行った医療機関(病院・診療所)」24.9%となっていた。男女ともに全体とほぼ同じ傾向であった。

**C型肝炎ウイルス検査について**

全体としては、「肝炎検査以外の目的で行った医療機関(病院・診療所)」が最も比率が高く、49.0%であった。次に「肝炎検査を受検することを目的として行った医療機関(病院・診療所)」25.7%となっていた。男女ともに全体とほぼ同じ傾向であった。

## B型肝炎ウイルス検査を受検した場所との関連について

B型肝炎ウイルス検査を受検した場所については、表 6-2-5-1 の通り、性別の違いにおいて一部の選択肢の反応に、5%水準で有意な差がみられた。

具体的にみると、「職場内」については男性 17.5%に比べて女性が 23.7%と 6.2 ポイント高かった。また、「肝炎検査以外の目的で行った医療機関（病院・診療所）」は、男性が 28.6%で、女性 22.7%に比べ 5.9 ポイント高かった。

表 6-2-5-1 問4(b) 自己申告受検者の受検した場所×問8 性別(B型肝炎ウイルス検査)

		問4(b)受検した場所はどこですか							
		調査数	保健所	院的 肝炎 検査 として 行っ た医 療機 関 (病 目	医 肝 炎 機 関 以 外 の 目 的 で 行 っ た	職 場 内	(日 本 赤 血 球 中 心 の 血 液 セ ン タ ー 等 を 含 む)	そ の 他	分 か ら な い 、 覚 え て い な い
	全体	4186 100.0	246 5.9	1043 24.9	2059 49.2	895 21.4	375 9.0	306 7.3	12 0.3
	問 8 性 別	男性	1543 100.0	78 5.1	442 28.6	714 46.3	270 17.5	138 8.9	110 7.1
	女性	2634 100.0	168 6.4	598 22.7	1341 50.9	624 23.7	237 9.0	196 7.4	8 0.3

$\chi^2$	3.001	18.926	8.000	21.849	0.001	0.122	0.065
df	1	1	1	1	1	1	1
p	0.083 n.s.	0.000 <0.05	0.005 <0.05	0.000 <0.05	0.975 n.s.	0.727 n.s.	0.799 n.s.

### C型肝炎ウイルス検査を受検した場所との関連について

C型肝炎ウイルス検査を受検した場所については、表 6-2-5-2 の通り、性別の違いにおいて一部の選択肢の反応に、5%水準で有意な差がみられた。

具体的にみると、「肝炎検査以外の目的で行った医療機関（病院・診療所）」は、男性が 28.7%で、女性 24.0% に比べ 4.7 ポイント高かった。また、「職場内」については男性 16.7%に比べて女性が 21.3%と 4.6 ポイント高かった。

表 6-2-5- 2 問4(b) 自己申告受検者の受検した場所×問8 性別(C型肝炎ウイルス検査)

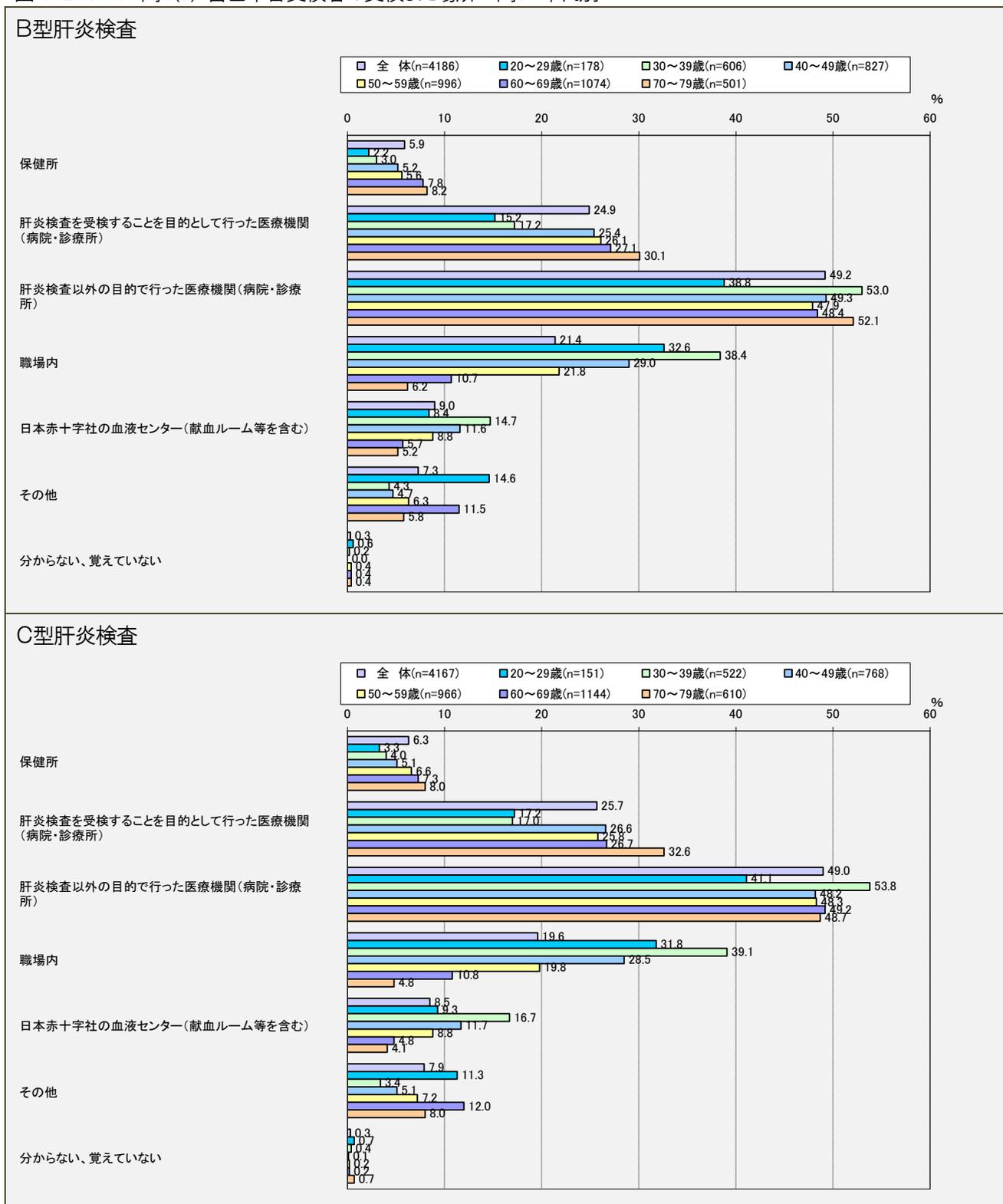
		問4(b)受検した場所はどこですか							
		調査数	保健所	院的肝炎検査として行つた医療機関（病目	医療機関検査（病院・診療所）以外の目的で行つた	職場内	（献血ルーム社の血液センターを含む）	その他	分からない、覚えていない
	全体	4167 100.0	261 6.3	1073 25.7	2042 49.0	815 19.6	356 8.5	331 7.9	13 0.3
問8性別	男性	1548 100.0	76 4.9	444 28.7	733 47.4	258 16.7	129 8.3	118 7.6	3 0.2
	女性	2608 100.0	185 7.1	625 24.0	1306 50.1	556 21.3	227 8.7	212 8.1	9 0.3

$\chi^2$	8.004	11.025	3.239	13.716	0.194	0.372	0.780
df	1	1	1	1	1	1	1
p	0.005 <0.05	0.001 <0.05	0.072 n.s.	0.000 <0.05	0.660 n.s.	0.542 n.s.	0.377 n.s.

 B型肝炎検査、C型肝炎検査ともに、男女とも受検場所で多いのは、「肝炎検査以外の目的で行った医療機関」であった。

6-2-6. 問4(b) 自己申告受検者の受検した場所×問9 年代別

図 6-2-6- 1 問4(b) 自己申告受検者の受検した場所×問9 年代別



### B型肝炎ウイルス検査について

年代別にみると、どの年代においても、「肝炎検査以外の目的で行った医療機関（病院・診療所）」が最も比率が高かったが、20代、30代、40代については、全体の傾向とは違い、「肝炎検査を受検することを目的として行った医療機関（病院・診療所）」よりも「職場内」の比率が高くなっていった。

### C型肝炎ウイルス検査について

年代別にみると、どの年代においても、「肝炎検査以外の目的で行った医療機関（病院・診療所）」が最も比率が高かったが、20代、30代、40代については、全体の傾向とは違い、「肝炎検査を受検することを目的として行った医療機関（病院・診療所）」よりも「職場内」の比率が高くなっていった。

### B型肝炎ウイルス検査を受検した場所との関連について

B型肝炎ウイルス検査を受検した場所については、表6-2-6-1の通り、年代の違いにおいて「分からない、覚えていない」以外の選択肢の反応に、5%水準で有意な差がみられた。

具体的にみると、「肝炎検査を受検することを目的として行った医療機関（病院・診療所）」は、20代15.2%であるのに対し、年代が高くなるほど比率は高くなり、70代は30.1%で20代に比べ14.9ポイント高かった。また、「肝炎検査以外の目的で行った医療機関（病院・診療所）」では、最も比率の高かったのは30代53.0%で、最も比率が低かった20代38.8%に比べ14.2ポイント高かった。

表 6-2-6-1 問4(b) 自己申告受検者の受検した場所×問9 年代別(B型肝炎ウイルス検査)

		問4(b) 受検した場所はどこですか							
		調査数	保健所	院的肝・と診し検査受検した医療機関（病目	医肝療機検査（以外の目的で行った	職場内	（日本赤十字社の血液センターを含む）	その他	分からない、覚えていない
	全 体	4186 100.0	246 5.9	1043 24.9	2059 49.2	895 21.4	375 9.0	306 7.3	12 0.3
問 9 年 齢	20～29歳	178 100.0	4 2.2	27 15.2	69 38.8	58 32.6	15 8.4	26 14.6	1 0.6
	30～39歳	606 100.0	18 3.0	104 17.2	321 53.0	233 38.4	89 14.7	26 4.3	1 0.2
	40～49歳	827 100.0	43 5.2	210 25.4	408 49.3	240 29.0	96 11.6	39 4.7	- -
	50～59歳	996 100.0	56 5.6	260 26.1	477 47.9	217 21.8	88 8.8	63 6.3	4 0.4
	60～69歳	1074 100.0	84 7.8	291 27.1	520 48.4	115 10.7	61 5.7	123 11.5	4 0.4
	70～79歳	501 100.0	41 8.2	151 30.1	261 52.1	31 6.2	26 5.2	29 5.8	2 0.4
	$\chi^2$	27.037	41.362	13.377	284.900	53.181	61.199	4.139	
	df	5	5	5	5	5	5	5	
	p	0.000 <0.05	0.000 <0.05	0.020 <0.05	0.000 <0.05	0.000 <0.05	0.000 <0.05	0.000 <0.05	0.530 n.s.

## C型肝炎ウイルス検査を受検した場所との関連について

C型肝炎ウイルス検査を受検した場所については、表 6-2-6-2 の通り、年代の違いにおいて一部の選択肢の反応に、5%水準で有意な差がみられた。

具体的にみると、「職場内」では、最も比率の高かったのは30代39.1%で、最も比率が低かった70代4.8%に比べ34.3ポイント高かった。また、「肝炎検査を受検することを目的として行った医療機関（病院・診療所）」では、最も比率が低かったのは30代17.0%で、最も比率が高かった70代32.6%に比べ15.6ポイント低くなっていた。

表 6-2-6-2 問4(b) 自己申告受検者の受検した場所×問9 年代別(C型肝炎ウイルス検査)

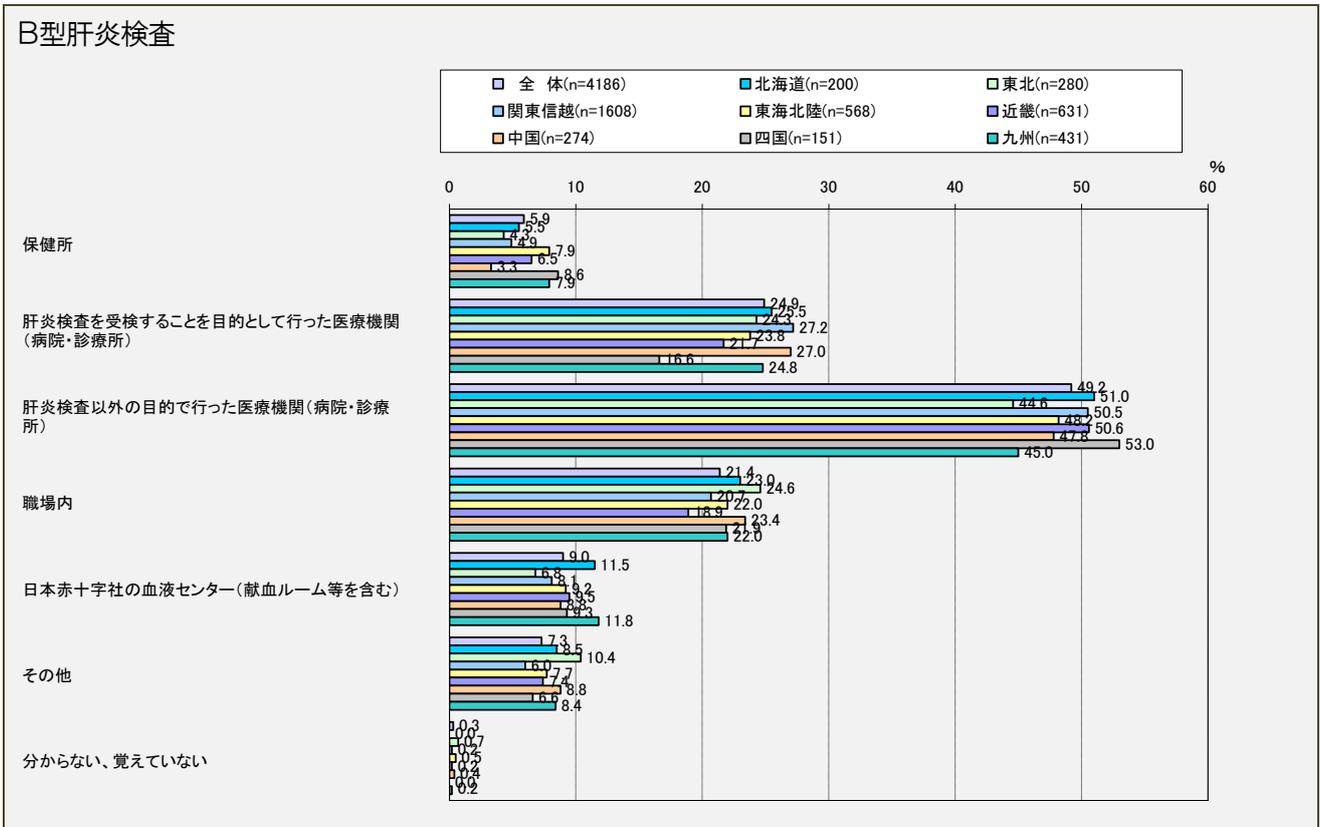
		問4(b)受検した場所はどこですか							
		調査数	保健所	院的・診療所として行った医療機関（病	医 療 機 関（病 院・診 療 所）	職 場 内	（日本赤十字社の血液センター等を含む）	その他	分からない、覚えていない
問 9 年 齢	全 体	4167 100.0	261 6.3	1073 25.7	2042 49.0	815 19.6	356 8.5	331 7.9	13 0.3
	20～29歳	151 100.0	5 3.3	26 17.2	62 41.1	48 31.8	14 9.3	17 11.3	1 0.7
	30～39歳	522 100.0	21 4.0	89 17.0	281 53.8	204 39.1	87 16.7	18 3.4	2 0.4
	40～49歳	768 100.0	39 5.1	204 26.6	370 48.2	219 28.5	90 11.7	39 5.1	1 0.1
	50～59歳	966 100.0	64 6.6	249 25.8	467 48.3	191 19.8	85 8.8	70 7.2	2 0.2
	60～69歳	1144 100.0	83 7.3	305 26.7	563 49.2	123 10.8	55 4.8	137 12.0	2 0.2
	70～79歳	610 100.0	49 8.0	199 32.6	297 48.7	29 4.8	25 4.1	49 8.0	4 0.7

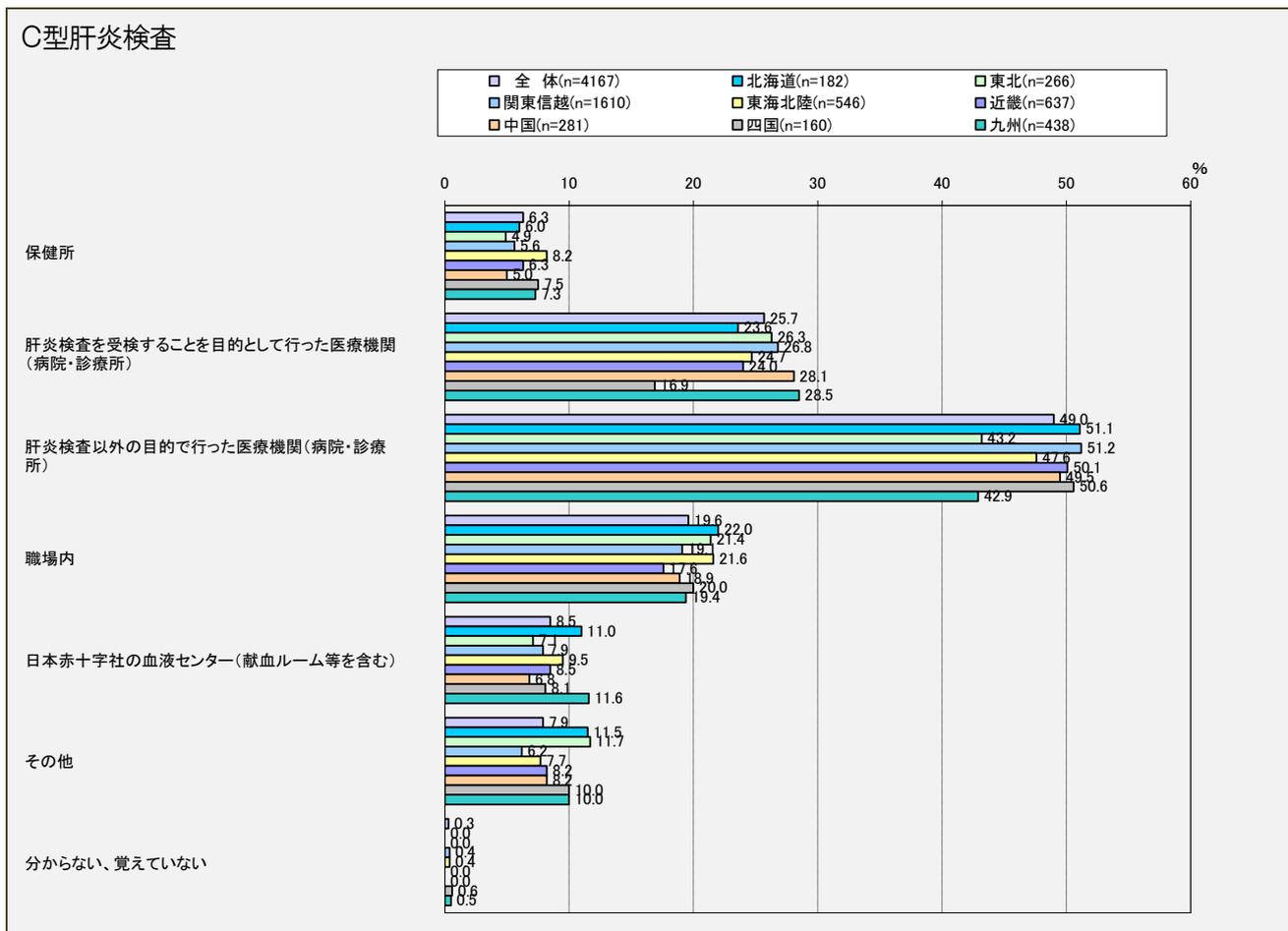
$\chi^2$	14.313	44.813	8.445	318.025	88.599	51.514	5.170
df	5	5	5	5	5	5	5
p	0.014 <0.05	0.000 <0.05	0.133 n.s.	0.000 <0.05	0.000 <0.05	0.000 <0.05	0.395 n.s.

 B型肝炎検査、C型肝炎検査ともに、受検した場所について年代別でみると、「保健所」、「肝炎検査を受検することを目的として行った医療機関（病院・診療所）」では年齢が高いほど多い傾向であった。

6-2-7. 問4(b) 自己申告受検者の受検した場所×問10 地域ブロック別

図 6-2-7- 1 問4(b) 自己申告受検者の受検した場所×問10 地域ブロック別





### B型肝炎ウイルス検査

全ての地域ブロックで「肝炎検査以外の目的で行った医療機関（病院・診療所）」が最も比率が高く、次に「肝炎検査を受検することを目的として行った医療機関（病院・診療所）」となっていた。

### C型肝炎ウイルス検査

全ての地域ブロックで「肝炎検査以外の目的で行った医療機関（病院・診療所）」が最も比率が高く、次に「肝炎検査を受検することを目的として行った医療機関（病院・診療所）」となっていた。

### B型肝炎ウイルス検査を受検した場所との関連について

B型肝炎ウイルス検査を受検した場所については、表 6-2-7-1 の通り、地域ブロックの違いにおいて一部の選択肢の反応に、5%水準で有意な差がみられた。

具体的にみると、「肝炎検査を受検することを目的として行った医療機関（病院・診療所）」では、最も比率の高かったのは関東信越 27.2%で、最も比率が低かった四国 16.6%に比べ 10.6 ポイント高かった。

表 6-2-7-1 問4(b) 自己申告受検者の受検した場所×問10 地域ブロック別(B型肝炎ウイルス検査)

		問4(b) 受検した場所はどこですか							
		調査数	保健所	院・診療所 （行った医療機関 （病	医 療 機 関 （ 病 院 ・ 診 療 所 ）	職 場 内	（ 献 血 ル ーム 社 の 血 液 セ ン タ ー ）	そ の 他	分 か ら な い 、 覚 え て い な い
全 体		4186	246	1043	2059	895	375	306	12
		100.0	5.9	24.9	49.2	21.4	9.0	7.3	0.3
地 域 ブ ロ ッ ク	北海道	200	11	51	102	46	23	17	-
		100.0	5.5	25.5	51.0	23.0	11.5	8.5	-
	東北	280	12	68	125	69	19	29	2
		100.0	4.3	24.3	44.6	24.6	6.8	10.4	0.7
	関東信越	1608	78	437	812	333	130	97	4
		100.0	4.9	27.2	50.5	20.7	8.1	6.0	0.2
	東海北陸	568	45	135	274	125	52	44	3
		100.0	7.9	23.8	48.2	22.0	9.2	7.7	0.5
近畿	631	41	137	319	119	60	47	1	
	100.0	6.5	21.7	50.6	18.9	9.5	7.4	0.2	
中国	274	9	74	131	64	24	24	1	
	100.0	3.3	27.0	47.8	23.4	8.8	8.8	0.4	
四国	151	13	25	80	33	14	10	-	
	100.0	8.6	16.6	53.0	21.9	9.3	6.6	-	
九州	431	34	107	194	95	51	36	1	
	100.0	7.9	24.8	45.0	22.0	11.8	8.4	0.2	

$\chi^2$	17.913	14.131	7.368	5.896	9.410	10.273	4.498
df	7	7	7	7	7	7	7
p	0.012	0.049	0.392	0.552	0.225	0.174	0.721
	<0.05	<0.05	n.s.	n.s.	n.s.	n.s.	n.s.

## C型肝炎ウイルス検査を受検した場所との関連について

C型肝炎ウイルス検査を受検した場所については、表 6-2-7-2 の通り、地域ブロックの違いにおいて「その他」以外の選択肢の反応には、5%水準で有意な差がみられなかった。

表 6-2-7-2 問4(b) 自己申告受検者の受検した場所×問10 地域ブロック別(C型肝炎ウイルス検査)

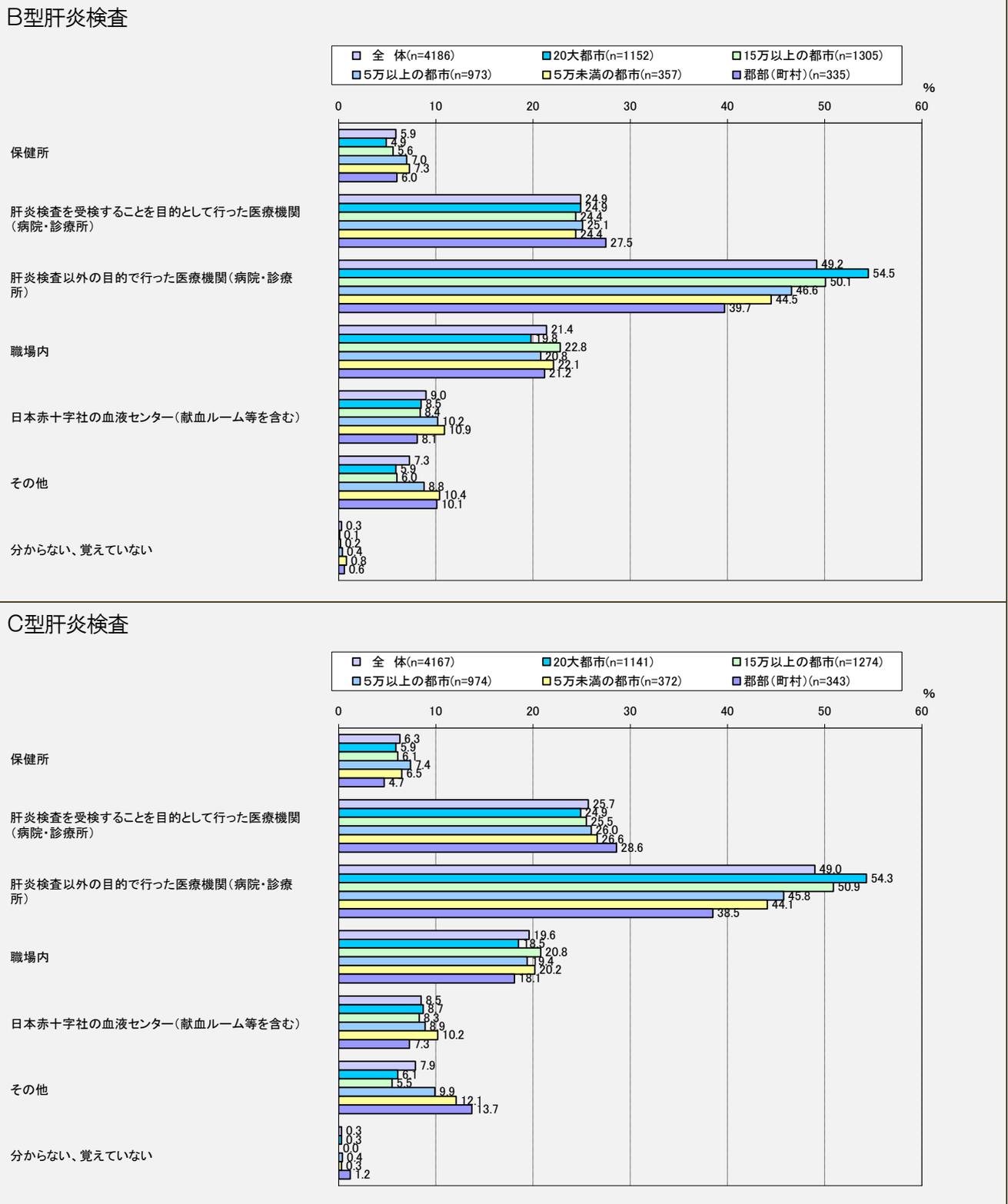
		問4(b) 受検した場所はどこですか							
		調査数	保健所	院的 ・と 診 療 所 ） 行 つ た 医 療 機 関 （ 病 目	肝 炎 検 査 を 受 検 す る こ と を 目	医 療 機 関 （ 病 院 ・ 診 療 所 ） 以 外 の 目 的 で 行 つ た	職 場 内	日 本 赤 十 字 社 の 血 液 セ ン タ ー （ 献 血 ル ーム 等 を 含 む ）	そ の 他
全体		4167	261	1073	2042	815	356	331	13
		100.0	6.3	25.7	49.0	19.6	8.5	7.9	0.3
地域 ブ ロ ッ ク	北海道	182	11	43	93	40	20	21	-
		100.0	6.0	23.6	51.1	22.0	11.0	11.5	-
	東北	266	13	70	115	57	19	31	-
		100.0	4.9	26.3	43.2	21.4	7.1	11.7	-
	関東信越	1610	90	431	824	308	127	100	7
		100.0	5.6	26.8	51.2	19.1	7.9	6.2	0.4
	東海北陸	546	45	135	260	118	52	42	2
		100.0	8.2	24.7	47.6	21.6	9.5	7.7	0.4
近畿	637	40	153	319	112	54	52	-	
	100.0	6.3	24.0	50.1	17.6	8.5	8.2	-	
中国	281	14	79	139	53	19	23	-	
	100.0	5.0	28.1	49.5	18.9	6.8	8.2	-	
四国	160	12	27	81	32	13	16	1	
	100.0	7.5	16.9	50.6	20.0	8.1	10.0	0.6	
九州	438	32	125	188	85	51	44	2	
	100.0	7.3	28.5	42.9	19.4	11.6	10.0	0.5	

$\chi^2$	7.745	11.783	12.817	4.623	9.831	19.109	6.232
df	7	7	7	7	7	7	7
p	0.356	0.108	0.077	0.706	0.198	0.008	0.513
	n.s.	n.s.	n.s.	n.s.	n.s.	<0.05	n.s.

 B型肝炎検査、C型肝炎検査ともに、地域ブロック別にみると、全体とほぼ同じ傾向であった。

6-2-8. 問4(b) 自己申告受検者の受検した場所×問10 人口規模別

図 6-2-8- 1 問4(b) 自己申告受検者の受検した場所×問10 人口規模別



### B型肝炎ウイルス検査について

人口規模別にみるとほぼ全体と同じ傾向であったが、郡部(町村)については「肝炎検査以外の目的で行った医療機関(病院・診療所)」の比率が全体に比べ低い傾向にあった。

### C型肝炎ウイルス検査について

人口規模別にみるとほぼ全体と同じ傾向であったが、郡部(町村)については「肝炎検査以外の目的で行った医療機関(病院・診療所)」の比率が全体に比べ低い傾向にあった。

### B型肝炎ウイルス検査を受検した場所との関連について

B型肝炎ウイルス検査を受検した場所については、表6-2-8-1の通り、人口規模の違いにおいて一部の選択肢の反応に、0.1%水準で有意な差がみられた。

具体的にみると、「肝炎検査以外の目的で行った医療機関(病院・診療所)」では、最も比率の高かったのは20大都市54.5%で、人口規模が小さくなるにつれ比率は漸減し、最も比率が低かったのは郡部(町村)39.7%であった。その差は14.8ポイントとなっていた。

これらは、居住市町村における医療機関への行きやすさに関係すると思われる。

表6-2-8-1 問4(b) 自己申告受検者の受検した場所×問10 人口規模別(B型肝炎ウイルス検査)

		問4(b)受検した場所はどこですか							
		調査数	保健所	院的・診療所として受検した医療機関(病目)	医療機関(肝炎検査以外の目的で行った)	職場内	(献血ルーム等を含む)	その他	分からない、覚えていない
	全体	4186 100.0	246 5.9	1043 24.9	2059 49.2	895 21.4	375 9.0	306 7.3	12 0.3
人口規模	20大都市	1152 100.0	56 4.9	287 24.9	628 54.5	228 19.8	98 8.5	68 5.9	1 0.1
	15万以上の都市	1305 100.0	73 5.6	319 24.4	654 50.1	298 22.8	110 8.4	78 6.0	2 0.2
	5万以上の都市	973 100.0	68 7.0	244 25.1	453 46.6	202 20.8	99 10.2	86 8.8	4 0.4
	5万未満の都市	357 100.0	26 7.3	87 24.4	159 44.5	79 22.1	39 10.9	37 10.4	3 0.8
	郡部(町村)	335 100.0	20 6.0	92 27.5	133 39.7	71 21.2	27 8.1	34 10.1	2 0.6

$\chi^2$	6.109	1.694	28.295	3.933	4.729	19.903	7.944
df	4	4	4	4	4	4	4
p	0.191 n.s.	0.792 n.s.	0.000 <0.05	0.415 n.s.	0.316 n.s.	0.001 <0.05	0.094 n.s.

**C型肝炎ウイルス検査を受検した場所との関連について**

C型肝炎ウイルス検査を受検した場所については、表 6-2-8-2 の通り、人口規模の違いにおいて一部の選択肢の反応に、0.1%水準で有意な差がみられた。

具体的にみると、「肝炎検査以外の目的で行った医療機関（病院・診療所）」では、最も比率の高かったのは20大都市 54.3%で、人口規模が小さくなるにつれ比率は漸減し、最も比率が低かったのは郡部(町村) 38.5%であった。その差は 15.8 ポイントとなっていた。

これらも、B型肝炎ウイルス検査と同様、居住市町村における医療機関への行きやすさに関係すると思われる。

表 6-2-8- 2 問4(b) 自己申告受検者の受検した場所×問10 人口規模別(C型肝炎ウイルス検査)

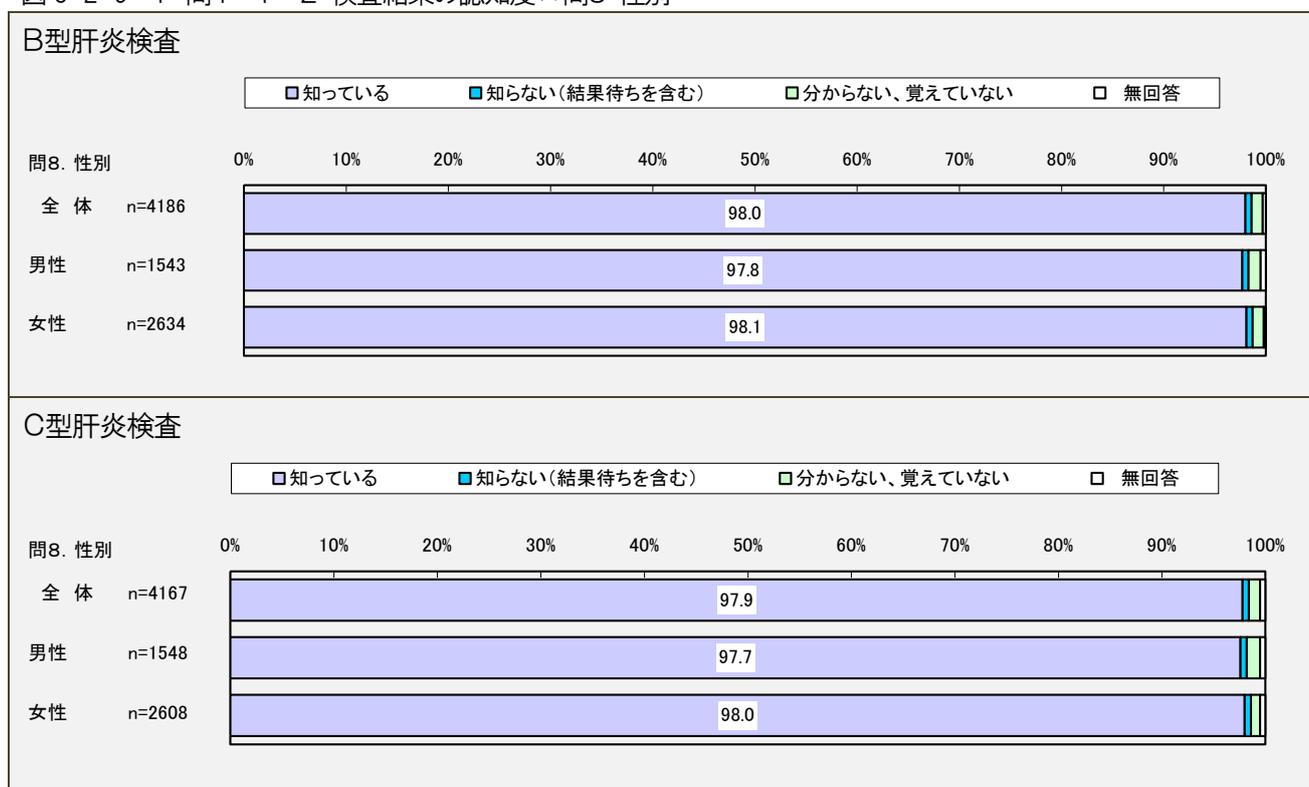
		問4(b) 受検した場所はどこですか							
		調査数	保健所	院的 ・と 診し 療所 行 つ た 医 療 機 関 （病 院 ・ 診 療 所 ）	医 肝 炎 機 関 検 査 以 外 の 目 的 で 行 っ た （病 院 ・ 診 療 所 ）	職 場 内	（日 本 赤 十 字 会 の 血 液 セ ン タ ー 等 を 含 む ）	そ の 他	分 か ら な い 、 覚 え て い な い
	全 体	4167 100.0	261 6.3	1073 25.7	2042 49.0	815 19.6	356 8.5	331 7.9	13 0.3
人口 規 模	20大都市	1141 100.0	67 5.9	284 24.9	620 54.3	211 18.5	99 8.7	70 6.1	3 0.3
	15万以上の都市	1274 100.0	78 6.1	325 25.5	648 50.9	265 20.8	106 8.3	70 5.5	- -
	5万以上の都市	974 100.0	72 7.4	253 26.0	446 45.8	189 19.4	87 8.9	96 9.9	4 0.4
	5万未満の都市	372 100.0	24 6.5	99 26.6	164 44.1	75 20.2	38 10.2	45 12.1	1 0.3
	郡部(町村)	343 100.0	16 4.7	98 28.6	132 38.5	62 18.1	25 7.3	47 13.7	4 1.2

$\chi^2$	3.957	2.574	35.204	2.867	2.201	45.488	13.367
df	4	4	4	4	4	4	4
p	0.412 n.s.	0.631 n.s.	0.000 <0.05	0.580 n.s.	0.699 n.s.	0.000 <0.05	0.010 <0.05

 B型肝炎検査、C型肝炎検査ともに、人口規模別で見ると、「肝炎検査以外の目的で行った医療機関(病院・診療所)」については人口規模が小さくなればなるほど比率が小さくなる傾向にあった。

### 6-2-9. 問4-1-2 検査結果の認知度×問8 性別

図 6-2-9-1 問4-1-2 検査結果の認知度×問8 性別



#### B型肝炎ウイルス検査について

全体の98.0%が検査の結果を「知っている」と回答していた。男女別にみても、傾向はほぼ同じであった。

#### C型肝炎ウイルス検査について

全体の97.9%が検査の結果を「知っている」と回答していた。男女別にみても、傾向はほぼ同じであった。

**B型肝炎ウイルス検査の検査結果の認知度との関連について**

B型肝炎ウイルス検査の検査結果の認知度については、表 6-2-9-1 の通り、性別の違いにおいて、有意な差がみられなかった。

表 6-2-9- 1 検査結果の認知度×問8 性別(B型肝炎ウイルス検査)

		問4-1-2 検査の結果をご存知ですか				
		調査数	知っている	知らない (結果待ちを含む)	分からない、覚えていない	無回答
	全 体	4186 100.0	4101 98.0	25 0.6	47 1.1	13 0.3
問 8 性 別	男性	1543 100.0	1509 97.8	9 0.6	18 1.2	7 0.5
	女性	2634 100.0	2583 98.1	16 0.6	29 1.1	6 0.2

( $\chi^2=0.049,df=2,p=0.976$  n.s.)

**C型肝炎ウイルス検査の検査結果の認知度との関連について**

C型肝炎ウイルス検査の検査結果の認知度については、表 6-2-9-2 の通り、性別の違いにおいて、有意な差がみられなかった。

表 6-2-9- 2 問4-1-2 検査結果の認知度×問8 性別(C型肝炎ウイルス検査)

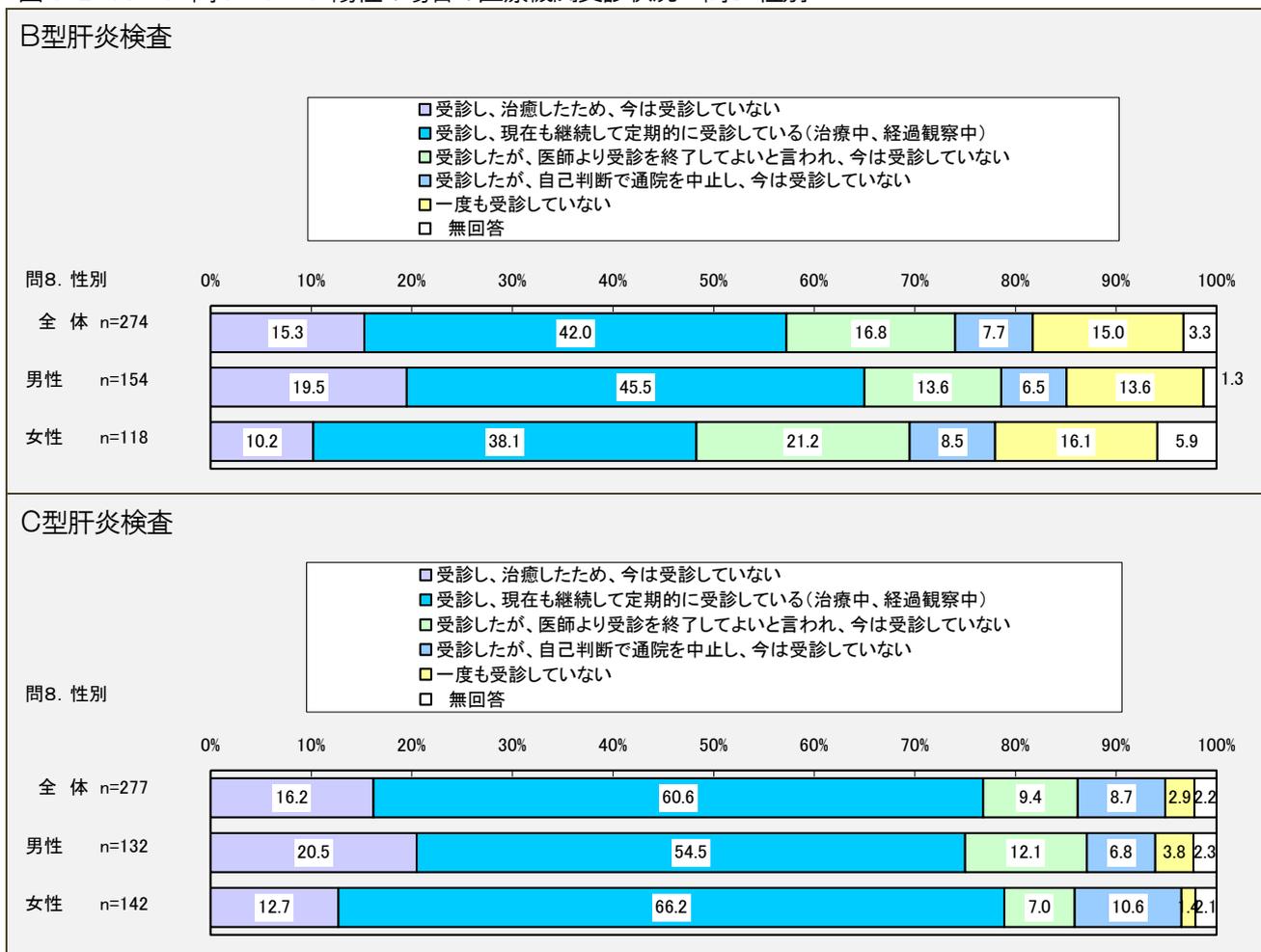
		問4-1-2 検査の結果をご存知ですか				
		調査数	知っている	知らない (結果待ちを含む)	分からない、覚えていない	無回答
	全 体	4167 100.0	4078 97.9	24 0.6	44 1.1	21 0.5
問 8 性 別	男性	1548 100.0	1512 97.7	9 0.6	20 1.3	7 0.5
	女性	2608 100.0	2556 98.0	15 0.6	24 0.9	13 0.5

( $\chi^2=1.279,df=2,p=0.528$  n.s.)

 B型肝炎検査、C型肝炎検査ともに、全体、性別ともに検査の結果を「知っている」比率は 98%程度であった。

### 6-2-10. 問4-1-4 陽性の場合の医療機関受診状況×問8 性別

図 6-2-10-1 問4-1-4 陽性の場合の医療機関受診状況×問8 性別



#### B型肝炎ウイルス検査

全体では、陽性の場合の医療機関受診状況は「受診し、現在も継続して定期的に受診している(治療中、経過観察中)」が最も多く、42.0%であった。男性では45.5%、女性では38.1%となっており、男性の比率の方が高かった。

#### C型肝炎ウイルス検査

全体では、陽性の場合の医療機関受診状況は「受診し、現在も継続して定期的に受診している(治療中、経過観察中)」が最も多く、60.6%であった。男性では54.5%、女性では66.2%となっており、女性の比率の方が高かった。

**B型肝炎ウイルス検査の陽性の場合の医療機関受診状況との関連について**

B型肝炎ウイルス検査の陽性の場合の医療機関受診状況については、表 6-2-10-1 の通り、性別の違いにおいて有意な差がみられなかった。

表 6-2-10- 1 問4-1-4 陽性の場合の医療機関受診状況×問8 性別(B型肝炎ウイルス検査)

		問4-1-4 結果を受けて、医療機関を受診しましたか						
		調査数	受診して、 治療したため、 今は	経過観察中 （観察中）	受診して、 現在も継続して いる（治療中、 定期	受診して、 医師より受診を 勧められたが、 今は	いを中診止したが、 今は自己判断で 通院	一度も受診して いない
	全体	274 100.0	42 15.3	115 42.0	46 16.8	21 7.7	41 15.0	9 3.3
問8 性別	男性	154 100.0	30 19.5	70 45.5	21 13.6	10 6.5	21 13.6	2 1.3
	女性	118 100.0	12 10.2	45 38.1	25 21.2	10 8.5	19 16.1	7 5.9

( $\chi^2=7.385b,df=4,p=0.117$  n.s.)

**C型肝炎ウイルス検査の陽性の場合の医療機関受診状況との関連について**

C型肝炎ウイルス検査の受検状況については、表 6-2-10-2 の通り、性別の違いにおいて有意な差がみられなかった。

表 6-2-10- 2 問4-1-4 陽性の場合の医療機関受診状況×問8 性別(C型肝炎ウイルス検査)

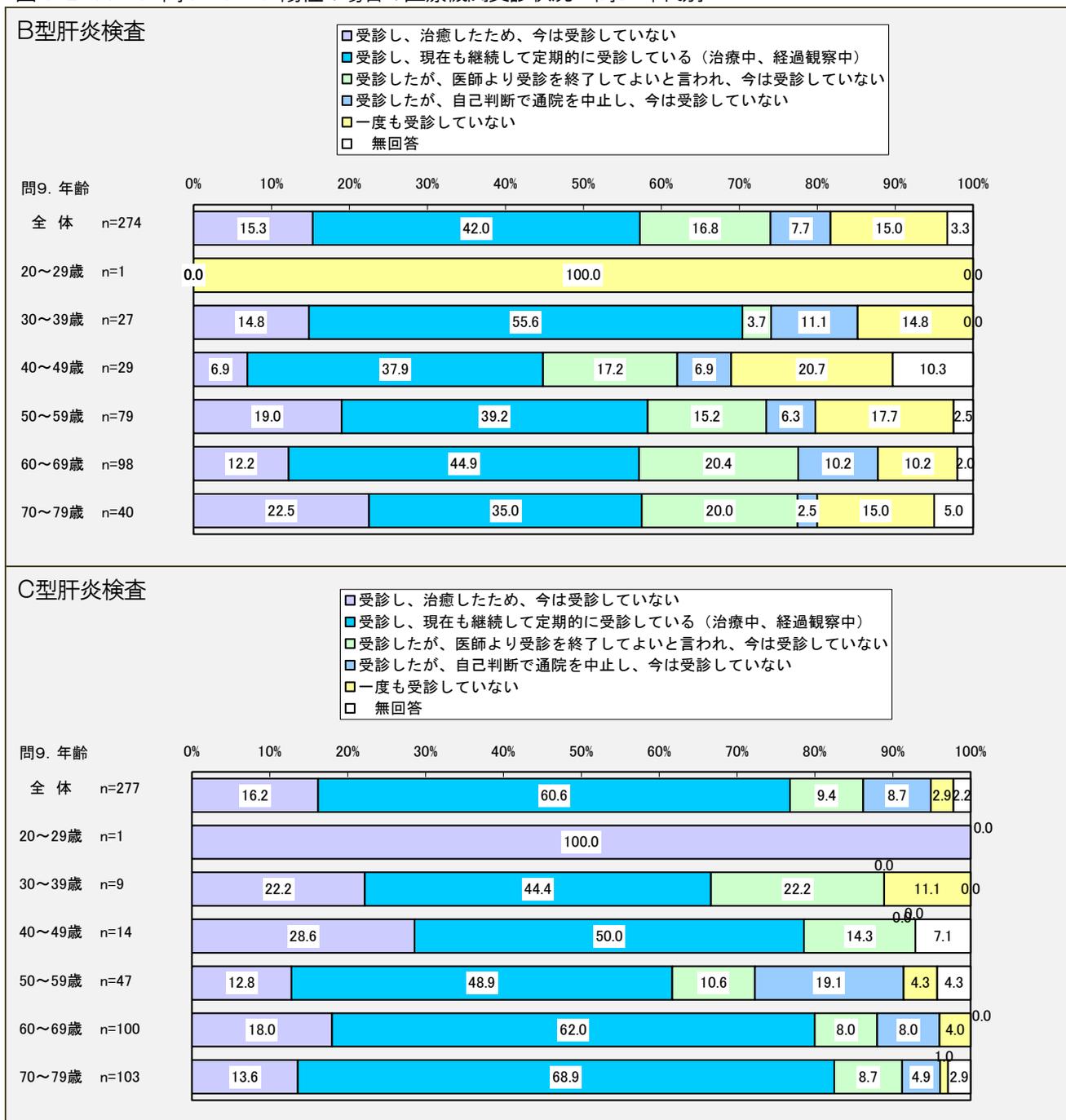
		問4-1-4 結果を受けて、医療機関を受診しましたか						
		調査数	受診して、 治療したため、 今は	経過観察中 （観察中）	受診して、 現在も継続して いる（治療中、 定期	受診して、 医師より受診を 勧められたが、 今は	いを中診止したが、 今は自己判断で 通院	一度も受診して いない
	全体	277 100.0	45 16.2	168 60.6	26 9.4	24 8.7	8 2.9	6 2.2
問8 性別	男性	132 100.0	27 20.5	72 54.5	16 12.1	9 6.8	5 3.8	3 2.3
	女性	142 100.0	18 12.7	94 66.2	10 7.0	15 10.6	2 1.4	3 2.1

( $\chi^2=8.525b,df=4,p=0.074$  n.s.)

-  B型肝炎検査について、陽性であることを覚えている場合、「受診したが、自己判断で通院を中止し、今は受診していない」7.7%、「一度も受診していない」15.0%となっており、男女別にみてもほぼ同様の傾向にあった。
-  C型肝炎検査については、「一度も受診していない」2.9%となっており、B型と比較すると少ない傾向にあった。

### 6-2-11. 問4-1-4 陽性の場合の医療機関受診状況×問9 年代別

図 6-2-11-1 問4-1-4 陽性の場合の医療機関受診状況×問9 年代別



#### B型肝炎ウイルス検査

30代では「受診し、現在も継続して定期的に受診している（治療中、経過観察中）」が55.6%となっており、他の年代に比べ比率が高かった。

#### C型肝炎ウイルス検査

70代では「受診し、現在も継続して定期的に受診している（治療中、経過観察中）」が68.9%となっており、他の年代に比べ比率が高かった。

**B型肝炎ウイルス検査の陽性の場合の医療機関受診状況との関連について**

B型肝炎ウイルス検査の陽性の場合の医療機関受診状況については、表 6-2-11-1 の通り、性別の違いにおいて有意な差がみられなかった。

表 6-2-11-1 問4-1-4 陽性の場合の医療機関受診状況×問9 年代別(B型肝炎ウイルス検査)

		問4-1-4 結果を受けて、医療機関を受診しましたか						
		調査数	受診して いない ため、 今は	経過 観察 中 （ 現在 も 継続 して 定期	受診 した が、 医師 より 受診 を	受診 した が、 医師 より 受診 を	い を 中 止 し た が、 今 は 自 己 判 断 し て 通 院	一 度 も 受 診 し て い な い
	全 体	274 100.0	42 15.3	115 42.0	46 16.8	21 7.7	41 15.0	9 3.3
問 9 年 齢	20～29歳	1 100.0	-	-	-	-	1 100.0	-
	30～39歳	27 100.0	4 14.8	15 55.6	1 3.7	3 11.1	4 14.8	-
	40～49歳	29 100.0	2 6.9	11 37.9	5 17.2	2 6.9	6 20.7	3 10.3
	50～59歳	79 100.0	15 19.0	31 39.2	12 15.2	5 6.3	14 17.7	2 2.5
	60～69歳	98 100.0	12 12.2	44 44.9	20 20.4	10 10.2	10 10.2	2 2.0
	70～79歳	40 100.0	9 22.5	14 35.0	8 20.0	1 2.5	6 15.0	2 5.0

( $\chi^2=20.609b, df=20, p=0.420$  n.s.)

## C型肝炎ウイルス検査の陽性の場合の医療機関受診状況との関連について

C型肝炎ウイルス検査の陽性の場合の医療機関受診状況については、表 6-2-11-2 の通り、性別の違いにおいて有意な差がみられなかった。

表 6-2-11- 2 問4-1-4 陽性の場合の医療機関受診状況×問9 年代別(C型肝炎ウイルス検査)

		問4-1-4 結果を受けて、医療機関を受診しましたか						
		調査数	受診して いない ため、 今は	経過 観察 中 （ 現在 も 継続 して 定期 、	受診 した が、 医師 より 受診 を	受診 した が、 医師 より 受診 を	い を 中 止 し た が、 今 は 自 己 判 断 で い 通 院	一 度 も 受 診 し て い な い
	全 体	277 100.0	45 16.2	168 60.6	26 9.4	24 8.7	8 2.9	6 2.2
問 9 年 齢	20～29歳	1 100.0	1 100.0	- -	- -	- -	- -	- -
	30～39歳	9 100.0	2 22.2	4 44.4	2 22.2	- -	1 11.1	- -
	40～49歳	14 100.0	4 28.6	7 50.0	2 14.3	- -	- -	1 7.1
	50～59歳	47 100.0	6 12.8	23 48.9	5 10.6	9 19.1	2 4.3	2 4.3
	60～69歳	100 100.0	18 18.0	62 62.0	8 8.0	8 8.0	4 4.0	- -
	70～79歳	103 100.0	14 13.6	71 68.9	9 8.7	5 4.9	1 1.0	3 2.9

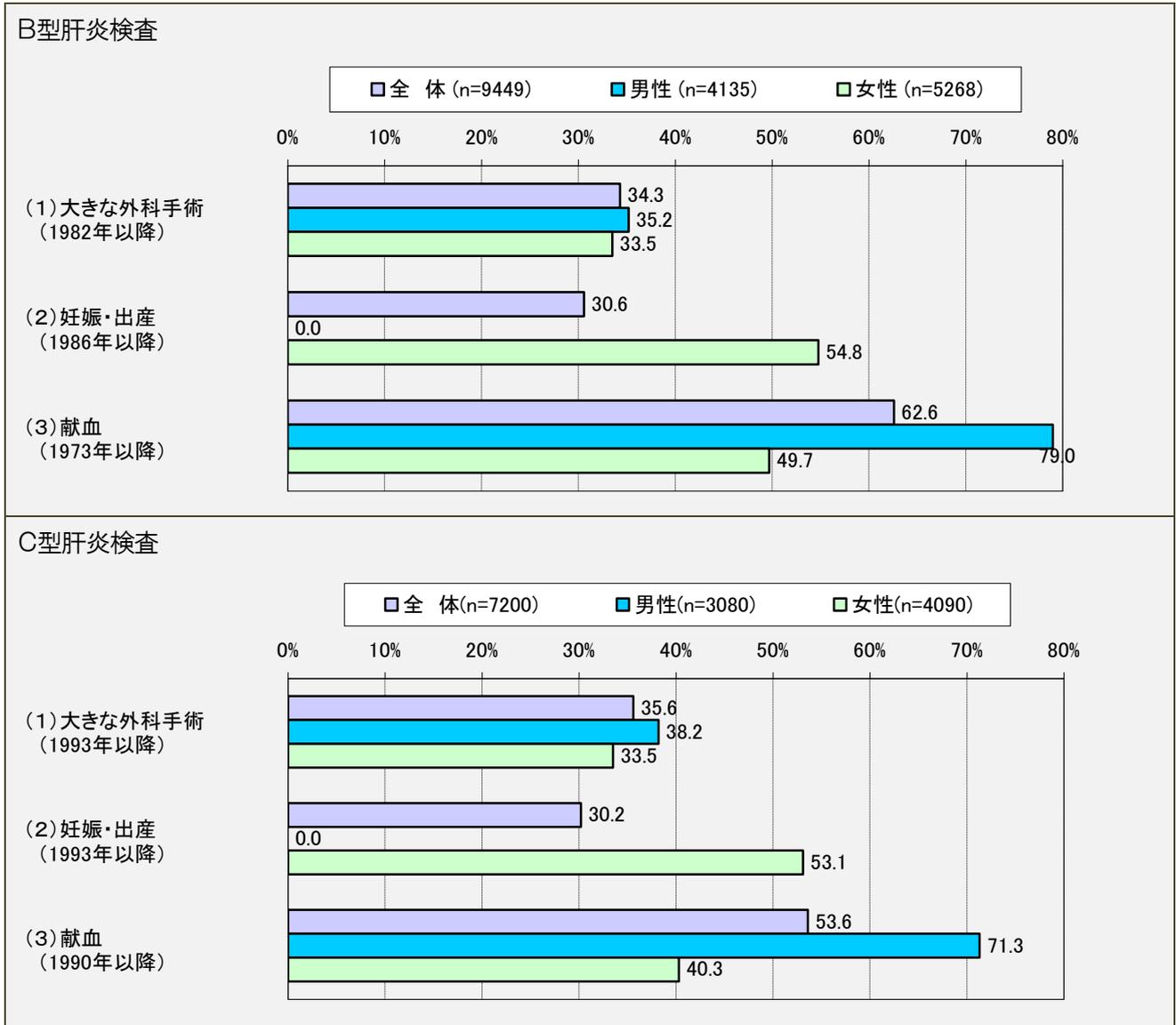
( $\chi^2=27.608b, df=20, p=0.119$  n.s.)

 B型肝炎検査の方がC型肝炎検査に比べ「30代では「受診し、現在も継続して定期的に受診している(治療中、経過観察中)」比率が高かった。

### 6-3. 非認識受検者の状況

#### 6-3-1. 問2 受検の種類×問8 性別

図 6-3-1-1 問2 受検の種類×問8 性別



#### B型肝炎ウイルス検査

全体では、非認識の受検経験としては、献血が最も比率が高く 62.6%であった。男性の方が献血による非認識の受検率は 79.0%となっており、女性の 49.7%に比べ高い比率となっていた。女性だけに限ると、最も高い比率は妊娠・出産の経験で 54.8%であった。

#### C型肝炎ウイルス検査

全体では、非認識の受検経験としては、献血が最も比率が高く 53.6%であった。男性の方が献血による非認識の受検率は 71.3%となっており、女性の 40.3%に比べ高い比率となっていた。女性だけに限ると、最も高い比率は妊娠・出産の経験で 53.1%であった。

## B型肝炎ウイルス検査の非認識受検状況との関連について

B型肝炎ウイルス検査の非認識受検状況については、表 6-3-1-1 の通り、性別の違いにおいて一部の選択肢の反応に、0.1%水準で有意な差がみられるものがあった。

具体的にみると、献血の非認識受検については、男性が 79.0%で、女性 49.7%より 29.3 ポイント高かった。

表 6-3-1-1 問2 受検の種類×問8 性別(B型肝炎ウイルス検査)

		(B型)非認識受検経験			
		調査数	(1) 9 大きな 2 年外科 以降手術 ( )	(2) 9 妊娠 8 6・ 年出産 降 ( )	(3) 9 献 7 血 3 年 以降 ( )
	全 体	9449 100.0	3241 34.3	2889 30.6	5917 62.6
問 8 性 別	男性	4135 100.0	1455 35.2	- -	3268 79.0
	女性	5268 100.0	1763 33.5	2889 54.8	2620 49.7

$\chi^2$	3.049	3273.377	849.537
df	1	1	1
p	0.081 n.s.	0.000 <0.05	0.000 <0.05

## C型肝炎ウイルス検査の非認識受検状況との関連について

C型肝炎ウイルス検査の非認識受検状況については、表 6-3-1-2 の通り、性別の違いにおいて全ての選択肢の反応に、0.1%水準で有意な差がみられた。

具体的にみると、献血の非認識受検については、男性が 71.3%で、女性 40.3%より 31.0 ポイント高かった。

表 6-3-1-2 問2 受検の種類×問8 性別(C型肝炎ウイルス検査)

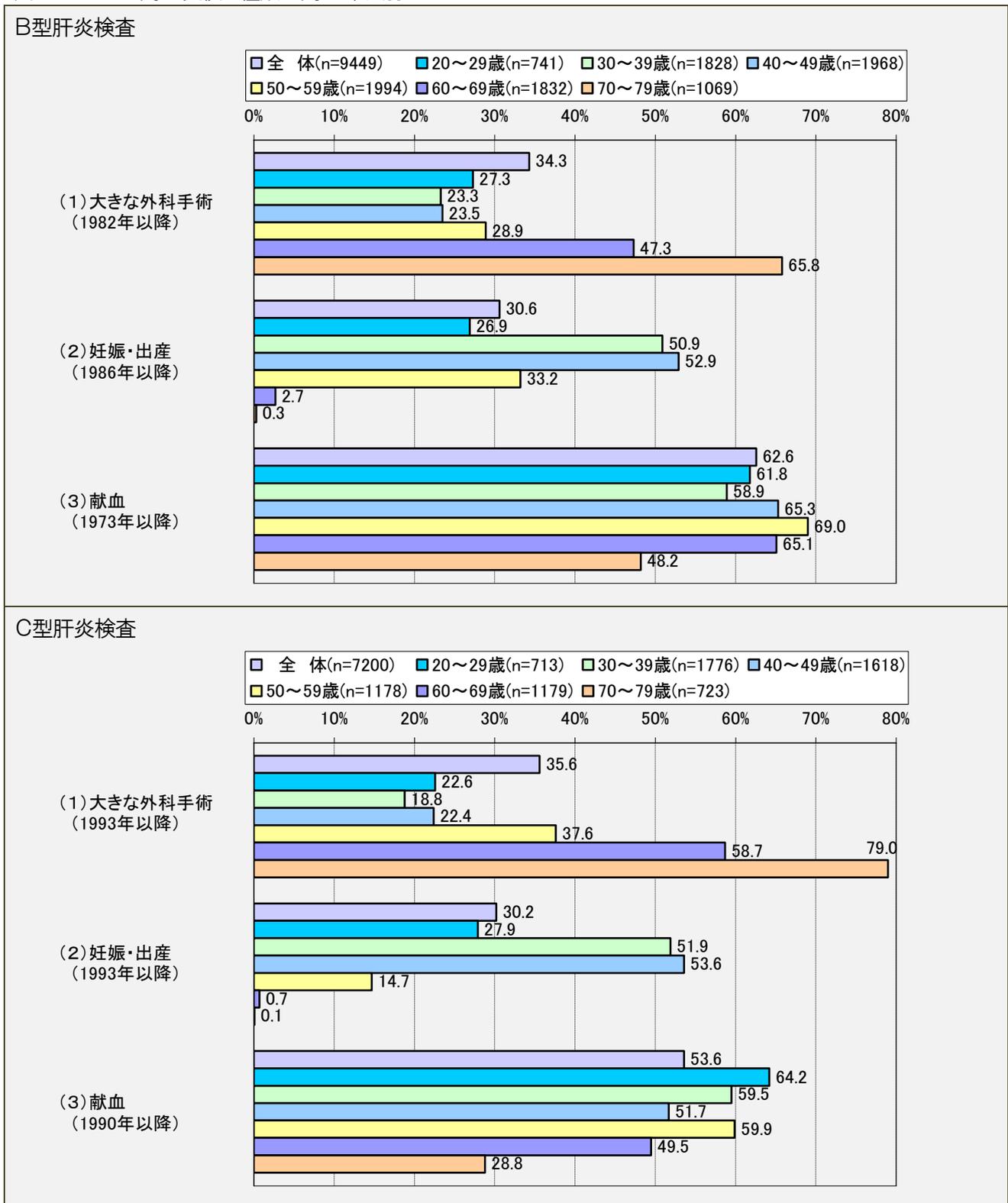
		(C型)非認識受検経験			
		調査数	(1) 9 大きな 3 年外科 以降手術 ( )	(2) 9 妊娠 9 3・ 年出産 降 ( )	(3) 9 献 9 血 0 年 以降 ( )
	全 体	7200 100.0	2566 35.6	2172 30.2	3860 53.6
問 8 性 別	男性	3080 100.0	1177 38.2	- -	2197 71.3
	女性	4090 100.0	1371 33.5	2172 53.1	1649 40.3

$\chi^2$	16.895	2346.444	679.547
df	1	1	1
p	0.000 <0.05	0.000 <0.05	0.000 <0.05

 B型肝炎検査、C型肝炎検査ともに、男性は献血経験比率が高かった。

### 6-3-2. 問2 受検の種類×問9 年代別

図 6-3-2- 1 問2 受検の種類×問9 年代別



#### B型肝炎ウイルス検査

大きな外科手術による非認識受検経験については、30代以上は年代が高くなるほど経験率が高くなっていった。また、献血による非認識受検は40代、50代、60代の比率が高かった。

### C型肝炎ウイルス検査

大きな外科手術による非認識受検経験については、30代以上は年代が高くなるほど経験率が高くなっていった。また、献血による非認識受検は20代、30代、50代の比率が高かった。

### B型肝炎ウイルス検査の非認識受検状況との関連について

B型肝炎ウイルス検査の非認識受検状況については、表6-3-2-1の通り、年代の違いにおいて全ての選択肢の反応に、0.1%水準で有意な差がみられた。

具体的にみると、大きな外科手術の非認識受検については、最も比率が高かったのは70代で65.8%、最も比率が低かった30代23.3%に比べ42.5ポイント高かった。また、献血の非認識受検については、50代が69.0%で最も比率が高く、70代48.2%で最も低く20.8ポイントの差であった。妊娠・出産の非認識受検については、最も比率が高かったのが40代52.9%、次に30代50.9%、50代33.2%と続いていた。

表6-3-2-1 問2 受検の種類×問9 年代別(B型肝炎ウイルス検査)

		(B型)非認識受検経験			
		調査数	(1) (1) 大きな外科手術以降	(2) (1) 妊娠・出産以降	(3) (1) 献血3年以上以降
	全 体	9449 100.0	3241 34.3	2889 30.6	5917 62.6
問 9 ・ 年 齢	20～29歳	741 100.0	202 27.3	199 26.9	458 61.8
	30～39歳	1828 100.0	426 23.3	930 50.9	1077 58.9
	40～49歳	1968 100.0	462 23.5	1041 52.9	1285 65.3
	50～59歳	1994 100.0	577 28.9	663 33.2	1376 69.0
	60～69歳	1832 100.0	867 47.3	50 2.7	1192 65.1
	70～79歳	1069 100.0	703 65.8	3 0.3	515 48.2

$\chi^2$	849.414	1958.951	151.584
df	5	5	5
p	0.000 <0.05	0.000 <0.05	0.000 <0.05

### C型肝炎ウイルス検査の非認識受検状況との関連について

C型肝炎ウイルス検査の非認識受検状況については、表 6-3-2-2 の通り、年代の違いにおいて全ての選択肢の反応に、0.1%水準で有意な差がみられた。

具体的にみると、大きな外科手術での非認識受検については、最も比率が高かったのが 70 代で 79.0%、最も比率が低かった 30 代 18.8%に比べて 60.2 ポイント高かった。また、献血の非認識受検については、20 代が 64.2%で最も比率が高く、70 代 28.8%で最も低く 35.4 ポイントの差であった。妊娠・出産での非認識受検については、最も比率が高かったのが 40 代 53.6%、次に 30 代 51.9%、20 代 27.9%と続いていた。

表 6-3-2- 2 問2 受検の種類×問9 年代別(C型肝炎ウイルス検査)

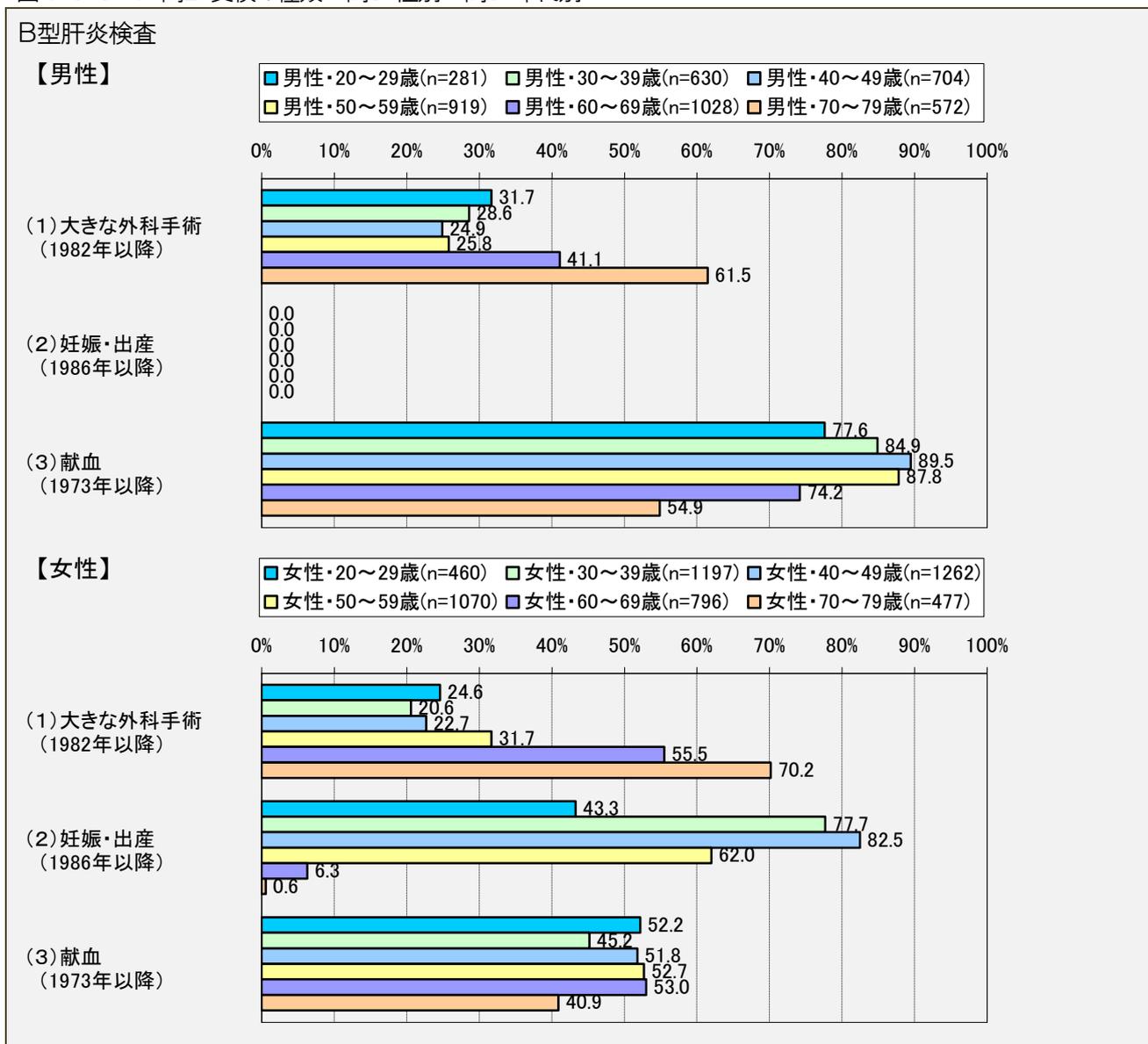
		(C型)非認識受検経験			
		調査数	(1) 9 大きな外科手術以降	(2) 9 妊娠・3年以上以降	(3) 9 献血0年以上以降
問9 年齢	全体	7200 100.0	2566 35.6	2172 30.2	3860 53.6
	20~29歳	713 100.0	161 22.6	199 27.9	458 64.2
	30~39歳	1776 100.0	334 18.8	922 51.9	1057 59.5
	40~49歳	1618 100.0	362 22.4	867 53.6	837 51.7
	50~59歳	1178 100.0	443 37.6	173 14.7	706 59.9
	60~69歳	1179 100.0	692 58.7	8 0.7	584 49.5
	70~79歳	723 100.0	571 79.0	1 0.1	208 28.8

$\chi^2$	1263.349	1750.899	265.741
df	5	5	5
p	0.000 <0.05	0.000 <0.05	0.000 <0.05

 B型肝炎検査、C型肝炎検査ともに、年代別でみると、「大きな外科手術の経験」については、30 代以降、年代が高くなるにつれ比率が大きくなる傾向であった。

6-3-3. 問2 受検の種類×問8 性別×問9 年代別

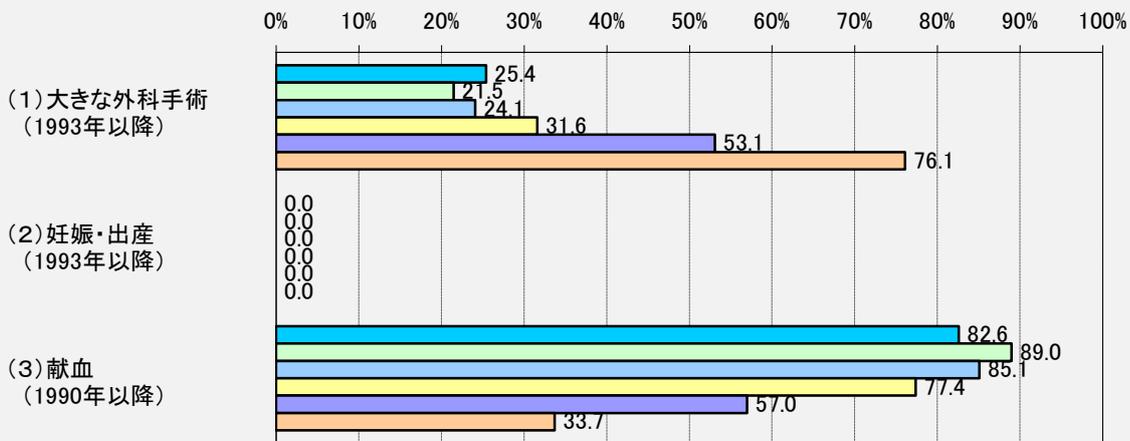
図 6-3-3- 1 問2 受検の種類×問8 性別×問9 年代別



### C型肝炎検査

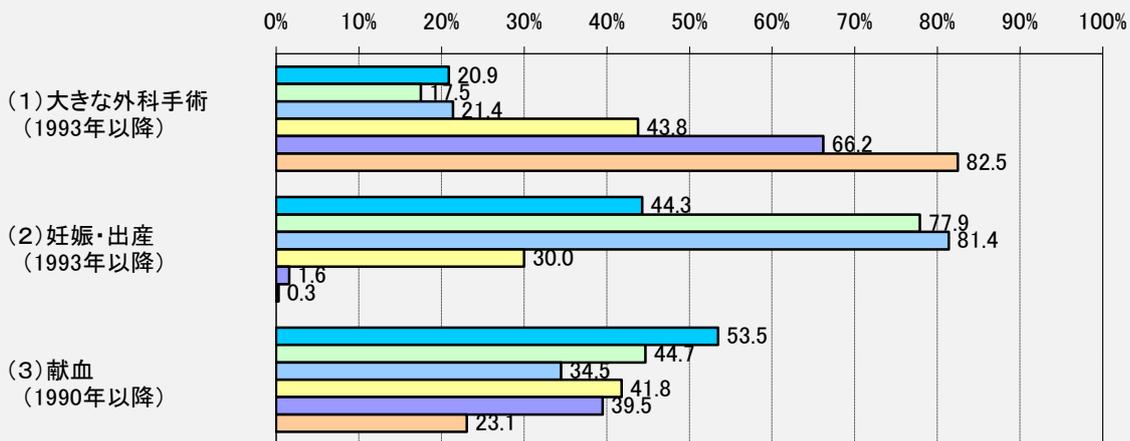
#### 【男性】

■ 男性・20～29歳(n=264) ■ 男性・30～39歳(n=592) ■ 男性・40～49歳(n=552)  
 ■ 男性・50～59歳(n=601) ■ 男性・60～69歳(n=669) ■ 男性・70～79歳(n=401)



#### 【女性】

■ 女性・20～29歳(n=449) ■ 女性・30～39歳(n=1183) ■ 女性・40～49歳(n=1065)  
 ■ 女性・50～59歳(n=576) ■ 女性・60～69歳(n=506) ■ 女性・70～79歳(n=308)



### B型肝炎ウイルス検査

非認識受検経験について、男性・70代、女性・70代、男性・60代、女性・60代は大きな外科手術の比率が高かった。男性・20代から男性・60代は献血経験の比率が高かった。女性・30代、女性・40代は妊娠・出産経験の比率が高かった。

### C型肝炎ウイルス検査

非認識受検経験について、男性・70代、女性・70代、男性・60代、女性・60代は大きな外科手術の比率が高かった。男性・20代から男性・50代は献血経験の比率が高かった。女性・30代、女性・40代は妊娠・出産経験の比率が高かった。

### B型肝炎ウイルス検査の非認識受検状況との関連について

B型肝炎ウイルス検査の非認識受検状況については、表 6-3-3-1 の通り、性・年代の違いにおいて全ての選択肢の反応に、0.1%水準で有意な差がみられた。

具体的にみると、男性・年代別の献血での非認識受検については、男性・40代が89.5%で、男性・70代54.9%と比べると34.6ポイント高かった。また、男性で大きな外科手術での非認識受検については、最も比率が高かったのは男性・70代で61.5%、最も比率が低かった男性・40代24.9%に比べ36.6ポイント高かった。

女性・年代別の大きな外科手術での非認識受検については、女性・70代が70.2%で、女性・30代20.6%と比べると49.6ポイント高かった。また、女性の献血での非認識受検については、最も比率が高かったのは女性・60代で53.0%、最も比率が低かった女性・70代40.9%に比べ12.1ポイント高かった。妊娠・出産での非認識受検については、40代82.5%、次に30代77.7%、50代62.0%と続いていた。

表 6-3-3-1 問2 受検の種類×問8 性別×問9 年代別(B型肝炎ウイルス検査)

		(B型)非認識受検経験			
		調査数	(1) 9 大きな外科手術以降	(2) 9 妊娠・6年以降	(3) 9 献血3年以上以降
全体		9449 100.0	3241 34.3	2889 30.6	5917 62.6
性別・年代	男性・20~29歳	281 100.0	89 31.7	-	218 77.6
	男性・30~39歳	630 100.0	180 28.6	-	535 84.9
	男性・40~49歳	704 100.0	175 24.9	-	630 89.5
	男性・50~59歳	919 100.0	237 25.8	-	807 87.8
	男性・60~69歳	1028 100.0	422 41.1	-	763 74.2
	男性・70~79歳	572 100.0	352 61.5	-	314 54.9
	女性・20~29歳	460 100.0	113 24.6	199 43.3	240 52.2
	女性・30~39歳	1197 100.0	246 20.6	930 77.7	541 45.2
	女性・40~49歳	1262 100.0	286 22.7	1041 82.5	654 51.8
	女性・50~59歳	1070 100.0	339 31.7	663 62.0	564 52.7
	女性・60~69歳	796 100.0	442 55.5	50 6.3	422 53.0
	女性・70~79歳	477 100.0	335 70.2	3 0.6	195 40.9

男性	$\chi^2$	271.770	-	318.149
	df	5	-	5
	p	0.000 <0.05	-	0.000 <0.05
女性	$\chi^2$	637.259	2012.751	35.331
	df	5	5	5
	p	0.000 <0.05	0.000 <0.05	0.000 <0.05

### C型肝炎ウイルス検査の非認識受検状況との関連について

C型肝炎ウイルス検査の非認識受検状況については、表 6-3-3-2 の通り、性・年代の違いにおいて全ての選択肢の反応に、0.1%水準で有意な差がみられた。

具体的にみると、男性・年代別の献血での非認識受検については、男性・30代が89.0%で、男性・70代33.7%と比べると55.3ポイント高かった。また、男性の大きな外科手術での非認識受検については、最も比率が高かったのは男性・70代で76.1%、最も比率が低かった男性・30代21.5%に比べ54.6ポイント高かった。

女性・年代別の大きな外科手術での非認識受検については、女性・70代が82.5%で、女性・30代17.5%と比べると65.0ポイント高かった。また、女性の献血での非認識受検については、最も比率が高かったのは女性・20代で53.5%、最も比率が低かった女性・70代23.1%に比べ30.4ポイント高かった。妊娠・出産での非認識受検については、40代81.4%、次に30代77.9%、20代44.3%と続いていた。

表 6-3-3- 2 問2 受検の種類×問8 性別×問9 年代別(C型肝炎ウイルス検査)

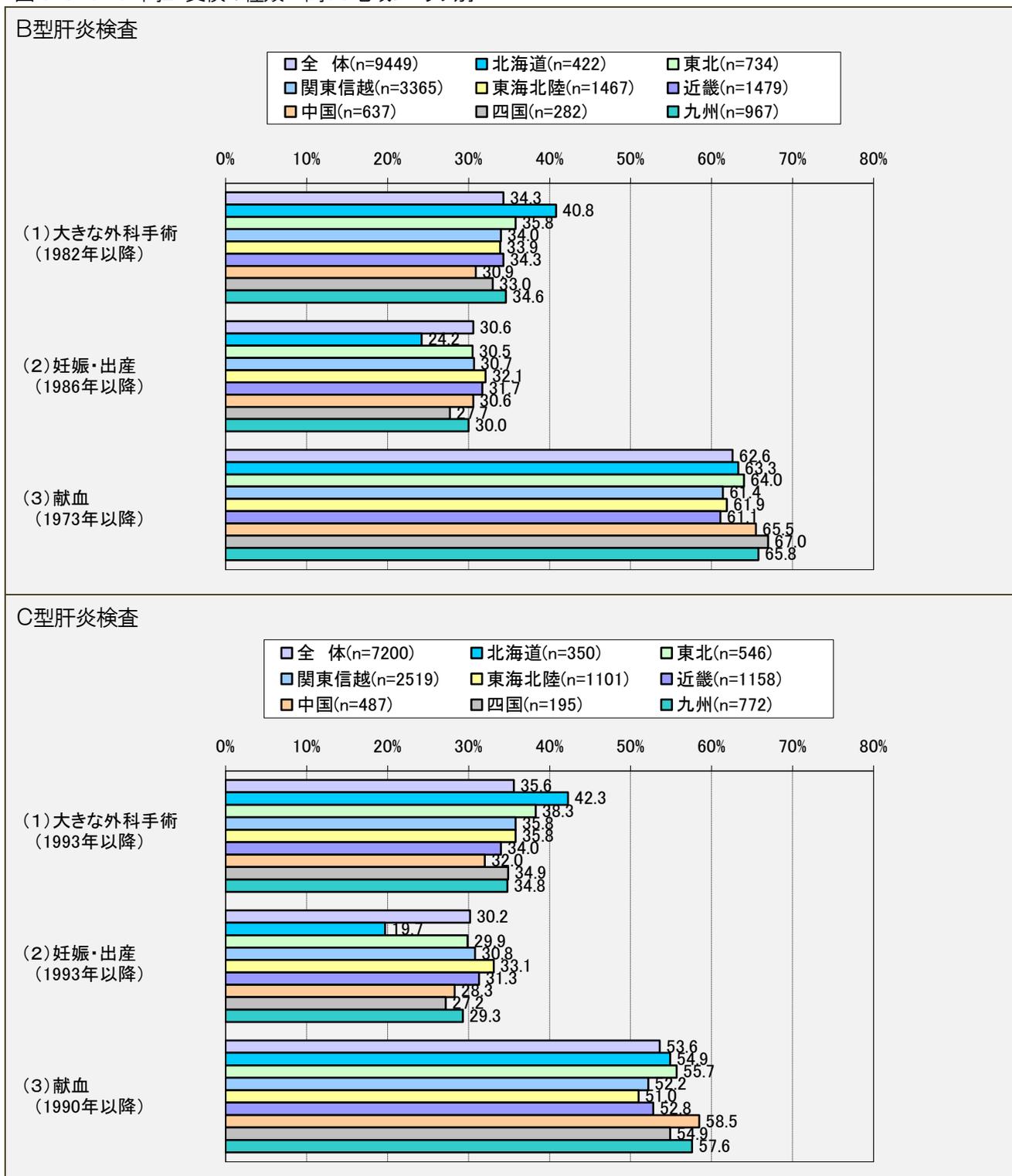
		(C型)非認識受検経験			
		調査数	(1) 9 大 9 き 3 な 年 外 以 科 降 手 術 )	(2) 1 ) 9 妊 9 娠 3 ) 年 出 以 産 降 )	(3) 1 ) 9 献 9 血 0 ) 年 以 降 )
全 体		7200 100.0	2566 35.6	2172 30.2	3860 53.6
性別・年代	男性・20～29歳	264 100.0	67 25.4	-	218 82.6
	男性・30～39歳	592 100.0	127 21.5	-	527 89.0
	男性・40～49歳	552 100.0	133 24.1	-	470 85.1
	男性・50～59歳	601 100.0	190 31.6	-	465 77.4
	男性・60～69歳	669 100.0	355 53.1	-	381 57.0
	男性・70～79歳	401 100.0	305 76.1	-	135 33.7
	女性・20～29歳	449 100.0	94 20.9	199 44.3	240 53.5
	女性・30～39歳	1183 100.0	207 17.5	922 77.9	529 44.7
	女性・40～49歳	1065 100.0	228 21.4	867 81.4	367 34.5
	女性・50～59歳	576 100.0	252 43.8	173 30.0	241 41.8
	女性・60～69歳	506 100.0	335 66.2	8 1.6	200 39.5
	女性・70～79歳	308 100.0	254 82.5	1 0.3	71 23.1

男性	$\chi^2$	452.247	-	514.875
	df	5	-	5
	p	0.000 <0.05	-	0.000 <0.05
女性	$\chi^2$	839.065	1656.416	95.731
	df	5	5	5
	p	0.000 <0.05	0.000 <0.05	0.000 <0.05

 B型肝炎検査、C型肝炎検査ともに、性・年代別でみると、男性・60代以上、女性・60代以上は大きな外科手術経験の比率が高かった。男性・20代～50代の献血経験の比率が高かった。

### 6-3-4. 問2 受検の種類×問10地域ブロック別

図 6-3-4- 1 問2 受検の種類×問10地域ブロック別



#### B型肝炎ウイルス検査

地域ブロック別にみると、献血での非認識受検が最も多く、どの地域ブロックでも同じ傾向であった。

#### C型肝炎ウイルス検査

地域ブロック別にみると、献血での非認識受検が最も多く、どの地域も全体とほぼ同じ傾向であった。

**B型肝炎ウイルス検査の非認識受検状況との関連について**

B型肝炎ウイルス検査の非認識受検状況については、表 6-3-4-1 の通り、地域ブロックの違いにおいて 5%水準で有意な差がみられるものはなかった。

表 6-3-4- 1 問2 受検の種類×問10地域ブロック別(B型肝炎ウイルス検査)

		(B型)非認識受検経験			
		調査数	(1) 9 8 2 年 外 科 降 手 術	(2) 1 9 8 6 年 出 産 降	(3) 1 9 7 3 年 以 降
	全 体	9449 100.0	3241 34.3	2889 30.6	5917 62.6
地域 ブ ロ ッ ク	北海道	422 100.0	172 40.8	102 24.2	267 63.3
	東北	734 100.0	263 35.8	224 30.5	470 64.0
	関東信越	3365 100.0	1144 34.0	1034 30.7	2066 61.4
	東海北陸	1467 100.0	497 33.9	471 32.1	908 61.9
	近畿	1479 100.0	507 34.3	469 31.7	904 61.1
	中国	637 100.0	197 30.9	195 30.6	417 65.5
	四国	282 100.0	93 33.0	78 27.7	189 67.0
	九州	967 100.0	335 34.6	290 30.0	636 65.8

$\chi^2$	12.314	11.984	13.234
df	7	7	7
p	0.091 n.s.	0.101 n.s.	0.067 n.s.

### C型肝炎ウイルス検査の非認識受検状況との関連について

C型肝炎ウイルス検査の非認識受検状況については、表 6-3-4-2 の通り、地域ブロックの違いにおいて一部の選択肢の反応に、0.1%水準で有意な差がみられるものがあった。

具体的にみると、地域ブロック別の妊娠・出産での非認識受検については、東海北陸が 33.1%で最も比率が高く、最も比率が低い北海道 19.7%と比べると 13.4 ポイント高かった。また、献血での非認識受検については、中国が 58.5%で最も比率が高く、最も比率が低い東海北陸 51.0%と比べると 7.5 ポイント高かった。

表 6-3-4- 2 問2 受検の種類×問10地域ブロック別(C型肝炎ウイルス検査)

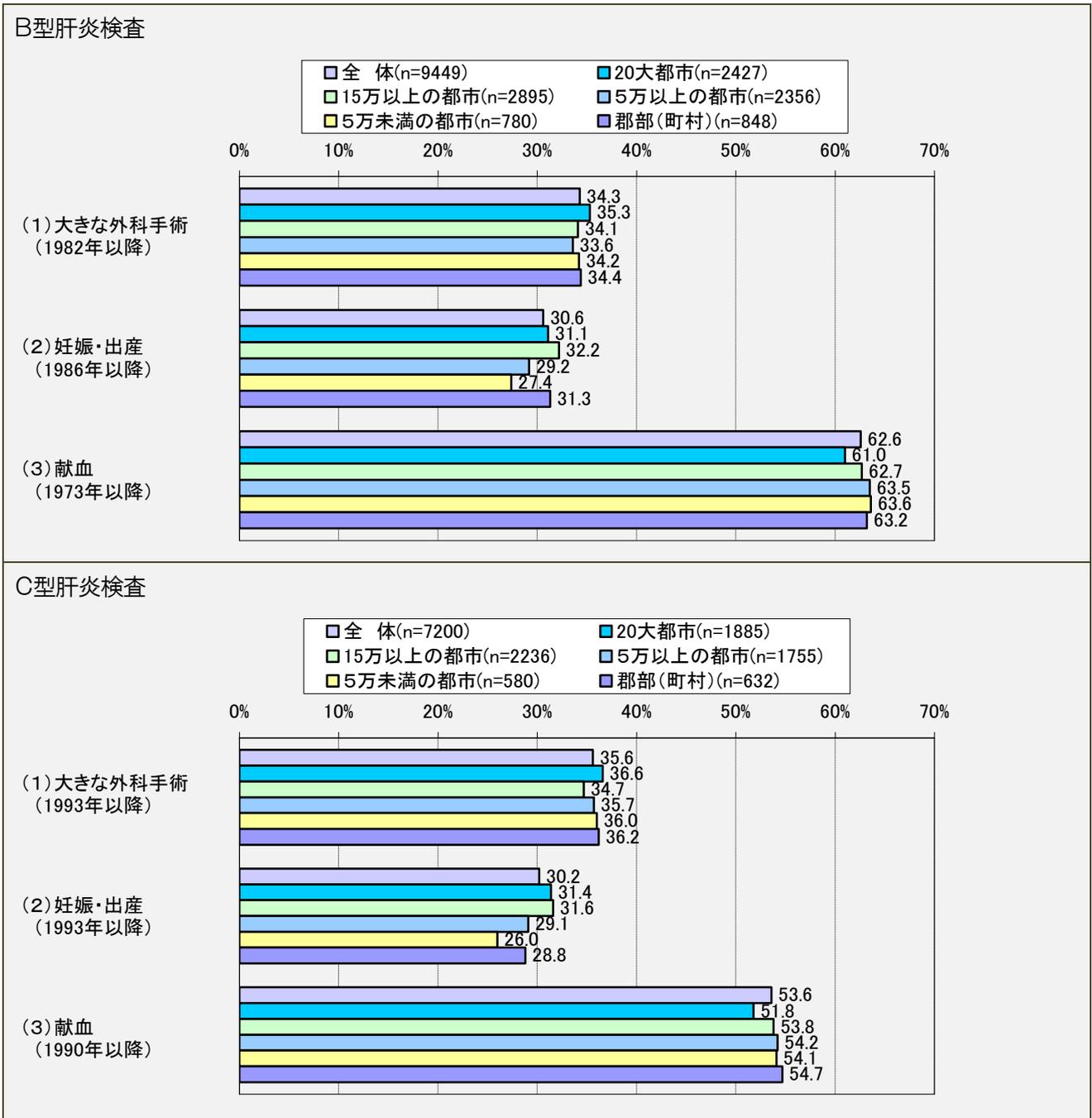
		(C型)非認識受検経験			
		調査数	(1) 9 大きな 3 年外科 以降手術	(2) 1 9 妊娠 3 年 出 産以降	(3) 1 9 献 血 0 年 以降
	全 体	7200 100.0	2566 35.6	2172 30.2	3860 53.6
地域 ブ ロ ッ ク	北海道	350 100.0	148 42.3	69 19.7	192 54.9
	東北	546 100.0	209 38.3	163 29.9	304 55.7
	関東信越	2519 100.0	901 35.8	775 30.8	1314 52.2
	東海北陸	1101 100.0	394 35.8	364 33.1	562 51.0
	近畿	1158 100.0	394 34.0	363 31.3	612 52.8
	中国	487 100.0	156 32.0	138 28.3	285 58.5
	四国	195 100.0	68 34.9	53 27.2	107 54.9
	九州	772 100.0	269 34.8	226 29.3	445 57.6

$\chi^2$	12.770	25.637	16.356
df	7	7	7
p	0.078 n.s.	0.001 <0.05	0.022 <0.05

 B型肝炎検査、C型肝炎検査ともに、非認識受検状況について地域ブロック別でみると「献血経験」が最も比率が高く、全体とほぼ同じ傾向であった。

6-3-5. 問2 受検の種類×問10 人口規模別

図 6-3-5- 1 問2 受検の種類×問10 人口規模別



**B型肝炎ウイルス検査**

人口規模別にみると、非認識の受検経験者についてはどの人口規模においても全体とほぼ同じ傾向であった。

**C型肝炎ウイルス検査**

人口規模別にみると、非認識の受検経験者についてはどの人口規模においても全体とほぼ同じ傾向であった。

**B型肝炎ウイルス検査の非認識受検状況との関連について**

B型肝炎ウイルス検査の非認識受検状況については、表 6-3-5-1 の通り、人口規模の違いにおいて一部の選択肢の反応に、5%水準で有意な差がみられるものがあった。

具体的にみると、人口規模別の妊娠・出産での非認識受検については、15万以上の都市が32.2%で最も比率が高く、最も比率が低い5万未満の都市27.4%と比べると4.8ポイント高かった。

表 6-3-5- 1 問2 受検の種類×問10 人口規模別(B型肝炎ウイルス検査)

		(B型)非認識受検経験			
		調査数	(1) 982 大きな 年外科 以降手術	(2) 986 妊娠・ 年出産 以降	(3) 973 献血 3年 以降
	全 体	9449 100.0	3241 34.3	2889 30.6	5917 62.6
	人口 規模	20大都市	2427 100.0	857 35.3	755 31.1
15万以上の都市		2895 100.0	987 34.1	932 32.2	1815 62.7
5万以上の都市		2356 100.0	792 33.6	687 29.2	1495 63.5
5万未満の都市		780 100.0	267 34.2	214 27.4	496 63.6
郡部(町村)		848 100.0	292 34.4	265 31.3	536 63.2
		$\chi^2$	1.648	9.879	3.918
		df	4	4	4
		p	0.800 n.s.	0.043 <0.05	0.417 n.s.

### C型肝炎ウイルス検査の非認識受検状況との関連について

C型肝炎ウイルス検査の非認識受検状況については、表 6-3-5-2 の通り、人口規模の違いにおいて一部の選択肢の反応に、5%水準で有意な差がみられるものがあった。

具体的にみると、人口規模別の妊娠・出産での非認識受検については、15 万以上の都市が 31.6%で最も比率が高く、最も比率が低い5 万未満の都市 26.0%と比べると 5.6 ポイント高かった。

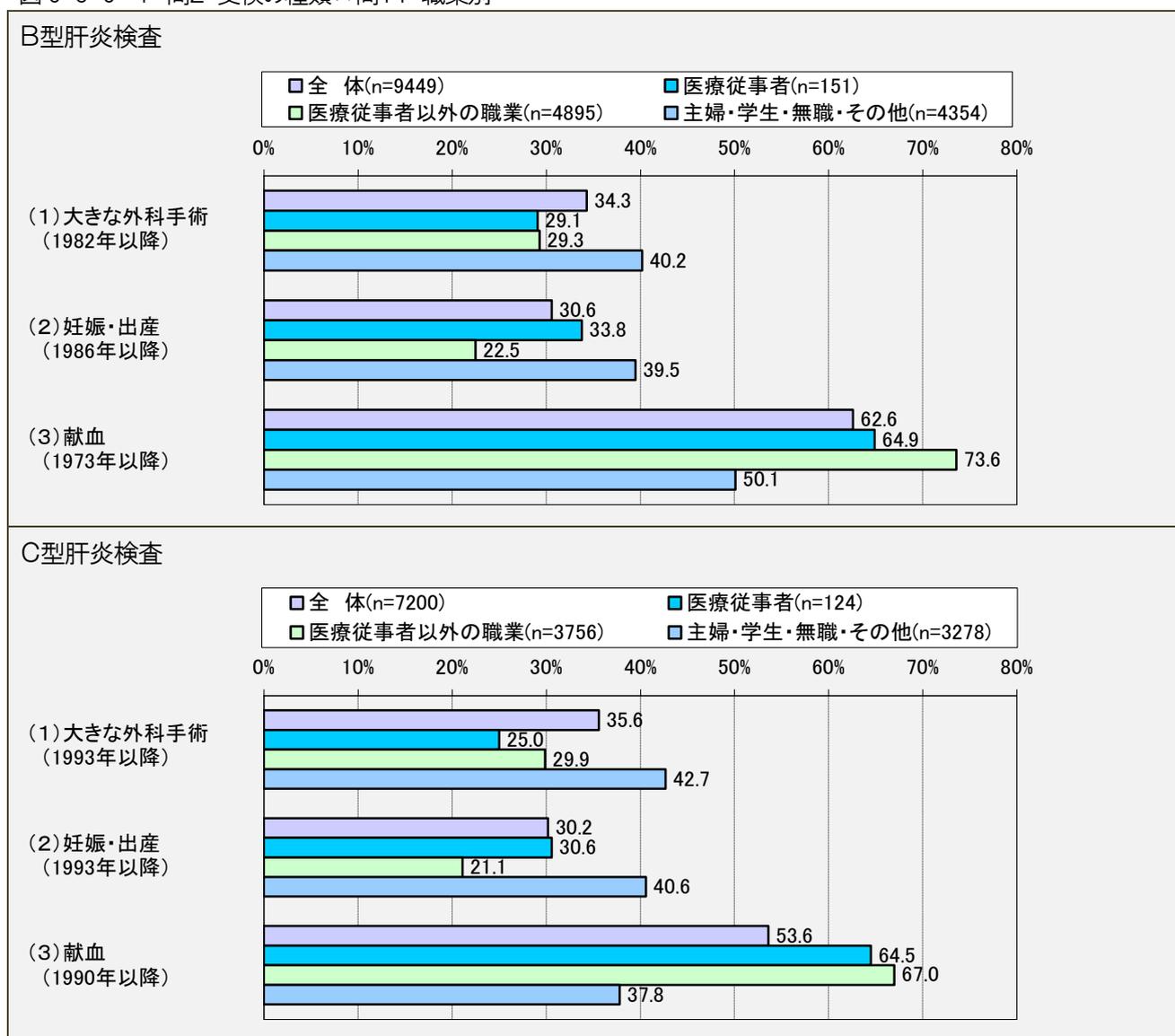
表 6-3-5- 2 問2 受検の種類×問10 人口規模別(C型肝炎ウイルス検査)

		(C型)非認識受検経験			
		調査数	(1) 9 大きな 3 年外科 以降手術	(2) 9 妊娠 3 年 出 産 降	(3) 9 献 血 0 年 以降
	全 体	7200 100.0	2566 35.6	2172 30.2	3860 53.6
	人口規模	20大都市	1885 100.0	689 36.6	592 31.4
15万以上の都市		2236 100.0	776 34.7	707 31.6	1203 53.8
5万以上の都市		1755 100.0	626 35.7	510 29.1	952 54.2
5万未満の都市		580 100.0	209 36.0	151 26.0	314 54.1
郡部(町村)		632 100.0	229 36.2	182 28.8	346 54.7
		$\chi^2$	1.667	9.877	3.211
		df	4	4	4
		p	0.797 n.s.	0.043 <0.05	0.523 n.s.

 B型肝炎検査、C型肝炎検査ともに、人口規模別で見ると非認識受検経験者は献血での比率が最も高く、全体とほぼ同じ傾向であった。

## 6-3-6. 問2 受検の種類×問1 職業別

図 6-3-6- 1 問2 受検の種類×問1 職業別

**B型肝炎ウイルス検査について**

非認識の受検経験については、職業別では、「医療従事者」「医療従事者以外の職業」が献血での比率が高くなっていた。

**C型肝炎ウイルス検査について**

非認識の受検経験については、職業別では、「医療従事者」「医療従事者以外の職業」が献血での比率が高くなっていた。

**B型肝炎ウイルス検査の非認識受検状況との関連について**

B型肝炎ウイルス検査の非認識受検状況については、表 6-3-6-1 の通り、職業の違いにおいて全ての選択肢の反応に、0.1%水準で有意な差がみられた。

具体的にみると、職業別の献血での非認識受検については、医療従事者以外の職業が 73.6%で最も比率が高く、最も比率が低い主婦・学生・無職・その他 50.1%と比べると 23.5 ポイント高かった。また、妊娠・出産での非認識受検については、主婦・学生・無職・その他が 39.5%で最も比率が高く、最も比率が低い医療従事者以外の職業 22.5%と比べると 17.0 ポイント高かった。

表 6-3-6- 1 問2 受検の種類×問11 職業別(B型肝炎ウイルス検査)

		(B型)非認識受検経験			
		調査数	(1) 9 大きな 2 年外科以降手術	(2) 9 妊娠 6 年以降	(3) 9 献血 3 年以降
	全 体	9449 100.0	3241 34.3	2889 30.6	5917 62.6
問 1 職業	医療従事者	151 100.0	44 29.1	51 33.8	98 64.9
	医療従事者以外の職業	4895 100.0	1432 29.3	1101 22.5	3604 73.6
	主婦・学生・無職・その他	4354 100.0	1752 40.2	1722 39.5	2181 50.1

$\chi^2$	125.153	316.604	545.397
df	2	2	2
p	0.000 <0.05	0.000 <0.05	0.000 <0.05

## C型肝炎ウイルス検査の非認識受検状況との関連について

C型肝炎ウイルス検査の非認識受検状況については、表 6-3-6-2 の通り、職業の違いにおいて全ての選択肢の反応に、0.1%水準で有意な差がみられた。

具体的にみると、職業別の献血での非認識受検については、医療従事者以外の職業が 67.0%で最も比率が高く、最も比率が低い主婦・学生・無職・その他 37.8%と比べると 29.2 ポイント高かった。また、妊娠・出産での非認識受検については、主婦・学生・無職・その他が 40.6%で最も比率が高く、最も比率が低い医療従事者以外の職業 21.1%と比べると 19.5 ポイント高かった。

表 6-3-6-2 問2 受検の種類×問11 職業別(C型肝炎ウイルス検査)

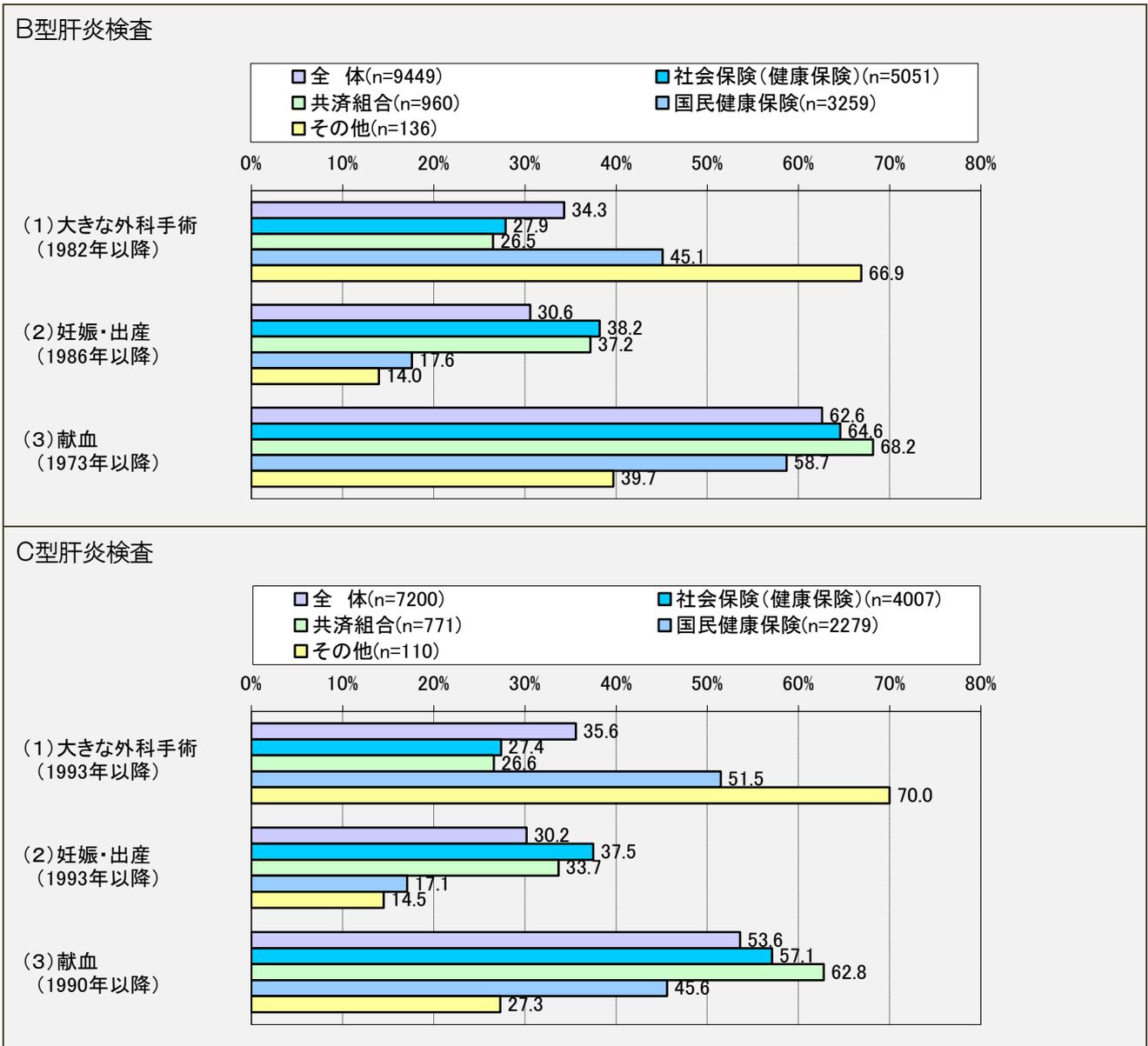
		(C型)非認識受検経験			
		調査数	(1) 9 大きな 3 年外科 以降手術	(2) 9 妊娠 3 年出産 以降	(3) 9 献血 0 年以降
	全 体	7200 100.0	2566 35.6	2172 30.2	3860 53.6
問 1 職 業	医療従事者	124 100.0	31 25.0	38 30.6	80 64.5
	医療従事者以外の職業	3756 100.0	1123 29.9	791 21.1	2517 67.0
	主婦・学生・無職・その他	3278 100.0	1400 42.7	1331 40.6	1239 37.8

$\chi^2$	131.433	317.342	606.759
df	2	2	2
p	0.000 <0.05	0.000 <0.05	0.000 <0.05

 B型肝炎検査、C型肝炎検査ともに、職業別で見ると「医療従事者」「医療従事者以外の職業」は献血での非認識受検の比率が高くなっていた。

6-3-7. 問2 受検の種類×問12 加入健康保険別

図 6-3-7- 1 問2 受検の種類×問12 加入健康保険別



**B型肝炎ウイルス検査**

加入している社会保険種別にみると、非認識の受検経験については、社会保険(健康保険)と共済組合が献血と妊娠・出産での比率が高かった。

**C型肝炎ウイルス検査**

加入している社会保険種別にみると、非認識の受検経験については、社会保険(健康保険)と共済組合が献血と妊娠・出産での比率が高かった。

## B型肝炎ウイルス検査の非認識受検状況との関連について

B型肝炎ウイルス検査の非認識受検状況については、表 6-3-7-1 の通り、加入している健康保険の違いにおいて全ての選択肢の反応に、0.1%水準で有意な差がみられた。

具体的にみると、大きな外科手術での非認識受検については、国民健康保険が 45.1%で最も比率が高く、最も比率が低い共済組合 26.5%と比べると 18.6 ポイント高かった。また、妊娠・出産での非認識受検については、社会保険（健康保険）が 38.2%で最も比率が高く、最も比率が低い国民健康保険 17.6%と比べると 20.6 ポイント高かった。

表 6-3-7-1 問2 受検の種類×問12 加入健康保険別(B型肝炎ウイルス検査)

		(B型)非認識受検経験			
		調査数	(1) 9 大きな 2 年外科 降手術 ( )	(2) 9 妊娠 8 年 6 年 出 産 降 ( )	(3) 9 献 7 血 3 年 以 降 ( )
	全 体	9449 100.0	3241 34.3	2889 30.6	5917 62.6
問 1 2 の 健 康 加 保 入 し て い	社会保険(健康保険)	5051 100.0	1411 27.9	1932 38.2	3265 64.6
	共済組合	960 100.0	254 26.5	357 37.2	655 68.2
	国民健康保険	3259 100.0	1471 45.1	572 17.6	1912 58.7
	その他	136 100.0	91 66.9	19 14.0	54 39.7
	$\chi^2$	350.972	437.659	73.921	
	df	3	3	3	
	p	0.000 <0.05	0.000 <0.05	0.000 <0.05	

### C型肝炎ウイルス検査の非認識受検状況との関連について

C型肝炎ウイルス検査の非認識受検状況については、表 6-3-7-2 の通り、加入している健康保険の違いにおいて全ての選択肢の反応に、0.1%水準で有意な差がみられた。

具体的にみると、大きな外科手術での非認識受検については、国民健康保険が 51.5%で最も比率が高く、最も比率が低い共済組合 26.6%と比べると 24.9 ポイント高かった。また、妊娠・出産での非認識受検については、社会保険（健康保険）が 37.5%で最も比率が高く、最も比率が低い国民健康保険 17.1%と比べると 20.4 ポイント高かった。

表 6-3-7-2 問2 受検の種類×問12 加入健康保険別(C型肝炎ウイルス検査)

		(C型)非認識受検経験			
		調査数	(1) 9 大きな 3 年外科 以降手術	(2) 9 妊娠 3 年 以降	(3) 9 献血 0 年 以降
	全 体	7200 100.0	2566 35.6	2172 30.2	3860 53.6
問 1 2 の 健 康 加 保 入 者	社会保険(健康保険)	4007 100.0	1097 27.4	1501 37.5	2287 57.1
	共済組合	771 100.0	205 26.6	260 33.7	484 62.8
	国民健康保険	2279 100.0	1174 51.5	389 17.1	1039 45.6
	その他	110 100.0	77 70.0	16 14.5	30 27.3
		$\chi^2$	453.880	303.793	134.995
		df	3	3	3
		p	0.000 <0.05	0.000 <0.05	0.000 <0.05

 B型肝炎検査、C型肝炎検査ともに、加入している健康保険別でみると、社会保険(健康保険)、共済組合加入者の献血経験、妊娠・出産経験の比率が高かった。

## 6-4. 市町村事業における重複受検

### 6-4-1. 問3 受検の状況

■国民調査 問3の集計(単一回答)

■問3で「1回だけ受けたことがある」又は「2回以上受けたことがある」

かつ問4-1-1で「B型肝炎ウイルス検査」又は「B型肝炎ウイルス検査、C型肝炎ウイルス検査の両方」が母集団(中段)

■問3で「1回だけ受けたことがある」又は「2回以上受けたことがある」

かつ問4-1-1で「C型肝炎ウイルス検査」又は「B型肝炎ウイルス検査、C型肝炎ウイルス検査の両方」が母集団(下段)

図 6-4-1-1 問3 受検の状況

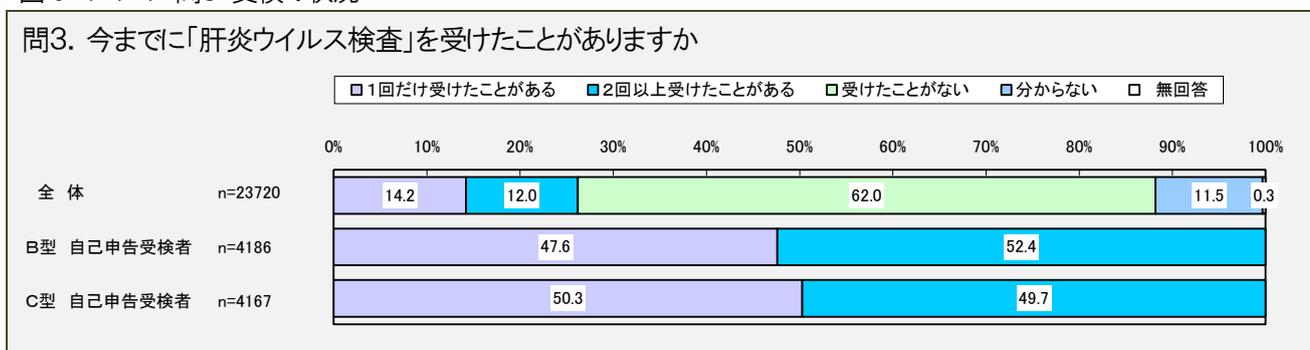


表 6-4-1-1 問3 受検の状況

受検状況	調査数	問3. 今までに「肝炎ウイルス検査」を受けたことがありますか				
		1回だけ受けたことがある	2回以上受けたことがある	受けたことがない	分からない	無回答
全体	23720	3375	2854	14696	2716	79
	100.0	14.2	12.0	62.0	11.5	0.3
B型 自己申告受検	4186	1993	2193	-	-	-
	100.0	47.6	52.4	-	-	-
C型 自己申告受検	4167	2095	2072	-	-	-
	100.0	50.3	49.7	-	-	-

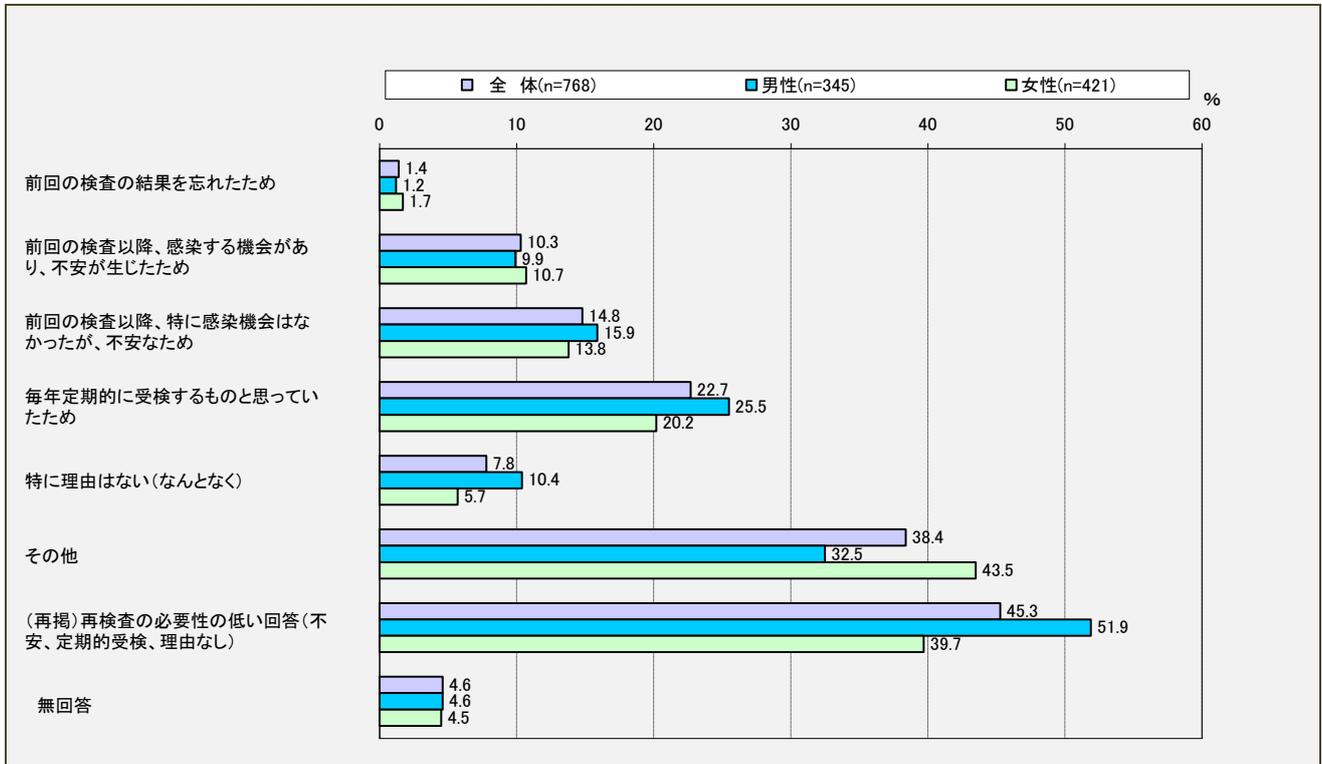
肝炎ウイルス検査の受検の状況について、全体では、「受けたことがない」が62.0%、「1回だけ受けたことがある」14.2%、「2回以上受けたことがある」12.0%となっていた。肝炎ウイルス検査を受検したと認識している比率は、24.2%程度であった。そのうち、B型、C型肝炎ウイルス検査の自己申告受検者受検者については、「1回だけ受けたことがある」、「2回以上受けたことがある」がほぼ半数ずつであった。

B型、C型肝炎検査の自己申告受検者受検者については、「1回だけ受けたことがある」、「2回以上受けたことがある」ほぼ半数ずつであった。

## 6-4-2. 問4(c) 2回以上受検した理由×問8 性別

■国民調査 問3で「2回以上受けたことがある」かつ問4(b)で「保健所」「肝炎検査を受検することを目的とした医療機関(病院・診療所)」を回答した者を母集団として集計した。

図 6-4-2- 1 問4(c) 2回以上受検した理由×問8 性別



肝炎ウイルス検査を2回以上受検した理由について、「保健所」「肝炎検査を受検することを目的とした医療機関(病院・診療所)」で受検したと回答した者に限定した場合での肝炎ウイルス検査を2回以上受けた理由は、「毎年定期的を受検するものと思っていたため」と回答した比率が最も高かった。

2回以上受検した理由状況については、表 6-4-2-1 の通り、性別の違いにおいて5%水準で有意な差がみられた。

具体的にみると、「毎年定期的を受検するものと思っていたため」について、男性が25.5%で、女性20.2%より5.3ポイント高かった。

男性の方が、再検査の必要性の低い回答(不安、定期的受検、理由なし)を選ぶ傾向にあった。

表 6-4-2- 1 問4(c) 2回以上受検した理由×問8 性別

		問4(c) 2回以上受けたのはどのような理由ですか								
		調査数	前回の検査の結果を忘れたため	前回の検査以降、感染したため	前回の検査以降、特に感染したため	毎年定期的に受検するものと思っていたため	特に理由はない（なんとなく）	その他	（再掲）再検査の必要性の低い回答（不安、定期的受検、低	無回答
問8 性別	全体	768 100.0	11 1.4	79 10.3	114 14.8	174 22.7	60 7.8	295 38.4	348 45.3	35 4.6
	男性	345 100.0	4 1.2	34 9.9	55 15.9	88 25.5	36 10.4	112 32.5	179 51.9	16 4.6
	女性	421 100.0	7 1.7	45 10.7	58 13.8	85 20.2	24 5.7	183 43.5	167 39.7	19 4.5

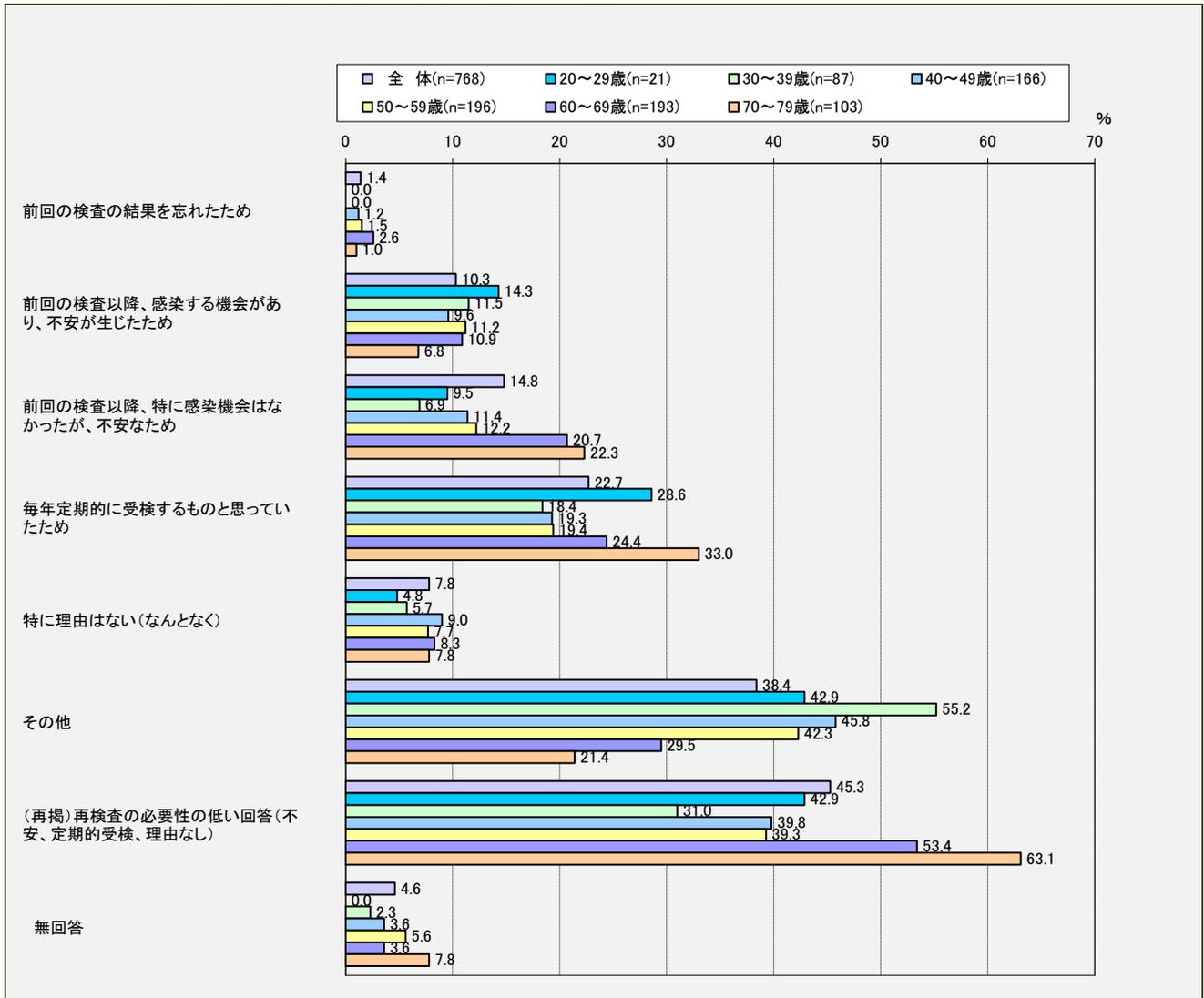
 $(\chi^2=14.827, df=5, p=0.011 < 0.05)$ 

「保健所」「肝炎検査を受検することを目的とした医療機関(病院・診療所)」で受検した者に限定した場合での肝炎検査を2回以上受けた理由は、「毎年定期的に受検するものと思っていたため」と回答した比率が最も高く、男性 25.5%、女性 20.2%であった。

6-4-3. 問4(c) 2回以上受検した理由×問9 年代別

■国民調査 問3で「2回以上受けたことがある」かつ問4(b)で「保健所」「肝炎検査を受検することを目的とした医療機関(病院・診療所)」を回答した者を母集団として集計した。

図 6-4-3- 1 問4(c) 2回以上受検した理由×問9 年代別



肝炎ウイルス検査を2回以上受検した理由について、「保健所」「肝炎検査を受検することを目的とした医療機関(病院・診療所)」で受検した者に限定した場合での肝炎ウイルス検査を2回以上受けた理由は、「毎年定期的を受検するものと思っていたため」と回答した比率がどの年代でも最も高かった(その他は除く)。また、40代以降では年代が高くなるほど「前回の検査以降、特に感染機会はなかったが、不安なため」と回答する比率が高くなっていった。

2回以上受検した理由状況については、表6-4-3-1の通り、年代の違いにおいて5%水準で有意な差がみられた。

具体的にみると、「毎年定期的を受検するものと思っていたため」について、最も比率が高かったのは70代の33.0%で、最も比率が低かった30代18.4%より14.6ポイント高かった。また、「前回の検査以降、特に感染機会はなかったが、不安なため」について、最も比率が高かったのは70代の22.3%で、年代が下がるにつれ比率が下がっており、20代9.5%と12.8ポイントの差があった。

表 6-4-3- 1 問4(c) 2回以上受検した理由×問9 年代別

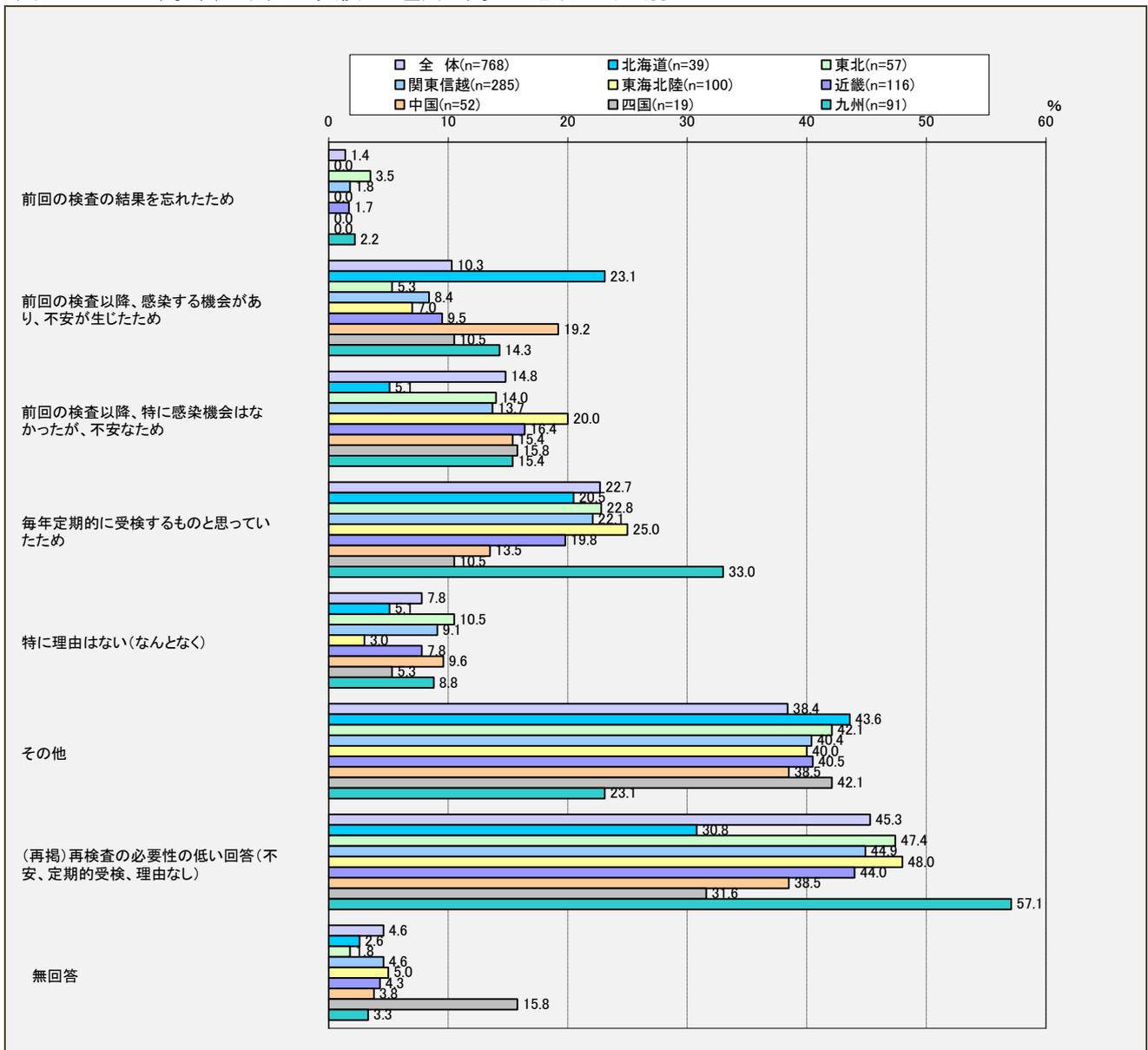
		問4(c)2回以上受けたのはどのような理由ですか								
		調査数	前回の検査の結果を忘れたため	前回の検査以降、不安が生じたため	前回の検査以降、特に感染機会	毎年定期的に受検するものと思っていたため	特に理由はない（なんとなく）	その他	（再掲）理由なし（不安、定期的受検の必要性の低	無回答
	全体	768 100.0	11 1.4	79 10.3	114 14.8	174 22.7	60 7.8	295 38.4	348 45.3	35 4.6
問9 年齢	20～29歳	21 100.0	-	3 14.3	2 9.5	6 28.6	1 4.8	9 42.9	9 42.9	-
	30～39歳	87 100.0	-	10 11.5	6 6.9	16 18.4	5 5.7	48 55.2	27 31.0	2 2.3
	40～49歳	166 100.0	2 1.2	16 9.6	19 11.4	32 19.3	15 9.0	76 45.8	66 39.8	6 3.6
	50～59歳	196 100.0	3 1.5	22 11.2	24 12.2	38 19.4	15 7.7	83 42.3	77 39.3	11 5.6
	60～69歳	193 100.0	5 2.6	21 10.9	40 20.7	47 24.4	16 8.3	57 29.5	103 53.4	7 3.6
	70～79歳	103 100.0	1 1.0	7 6.8	23 22.3	34 33.0	8 7.8	22 21.4	65 63.1	8 7.8

 $(\chi^2=50.453, df=25, p=0.002 < 0.05)$ 

「保健所」「肝炎検査を受検することを目的とした医療機関(病院・診療所)」で受検した者に限定した場合での肝炎検査を2回以上受けた理由は、「毎年定期的に受検するものと思っていたため」と回答した比率がどの年代でも最も高かった(「その他」を除く)。

6-4-4. 問4(c) 2回以上受検した理由×問10 地域ブロック別

図 6-4-4- 1 問4(c) 2回以上受検した理由×問10 地域ブロック別



肝炎ウイルス検査を2回以上受検した理由について、「保健所」「肝炎検査を受検することを目的とした医療機関(病院・診療所)」で受検した者に限定した場合での肝炎ウイルス検査を2回以上受けた理由は、「毎年定期的を受検するものと思っていたため」と回答した比率が全体では最も高かった(その他は除く)が、「北海道」と「中国」については、「前回の検査以降、感染する機会があり、不安が生じたため」を回答する比率が最も高くなっていた。「九州」は「毎年定期的を受検するものと思っていたため」の比率が顕著に高くなっていた。

2回以上受検した理由状況については、表6-4-4-1の通り、地域ブロックの違いにおいて5%水準で有意な差がみられなかった。

表 6-4-4- 1 問4(c) 2回以上受検した理由×問10 地域ブロック別

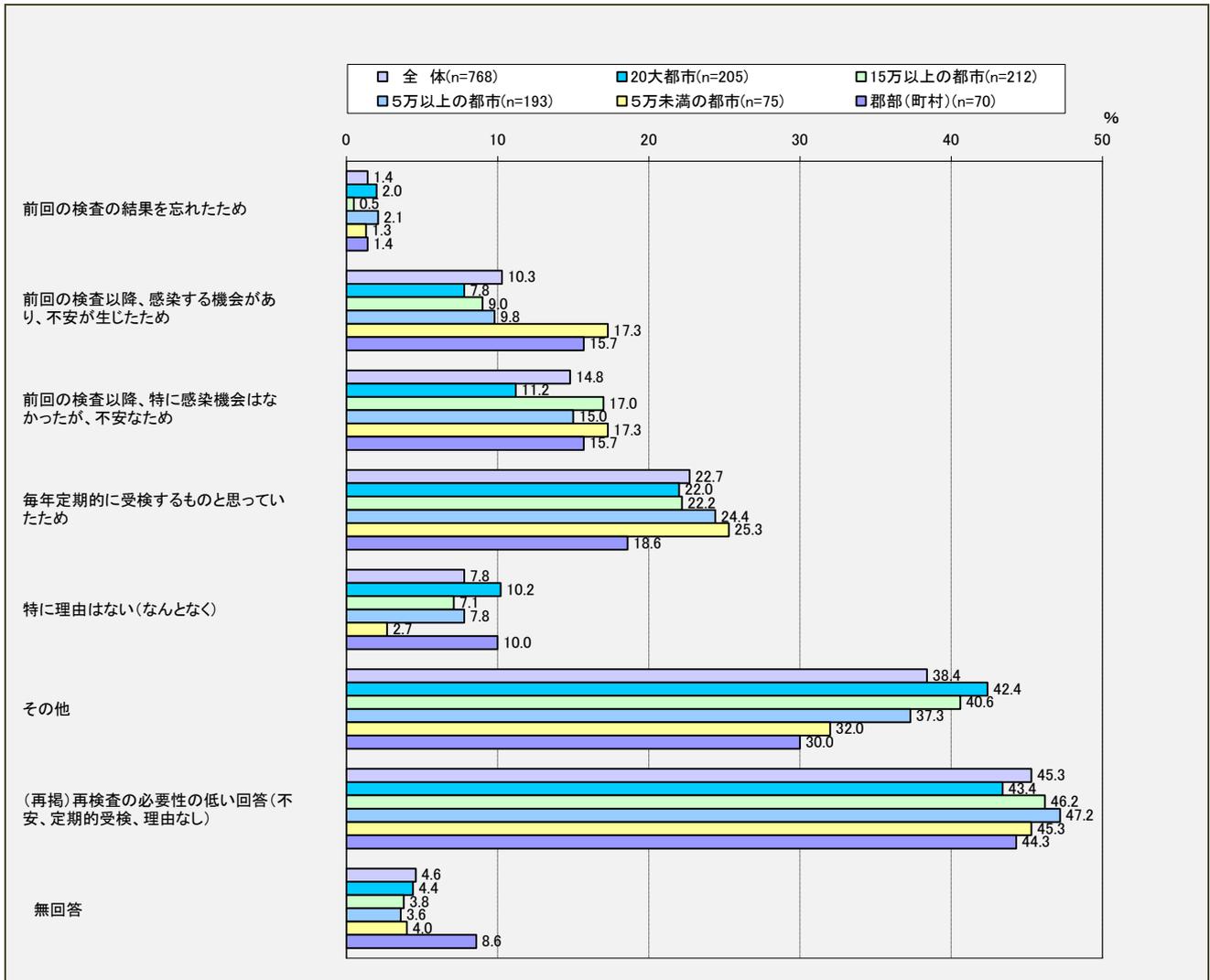
		問4(c) 2回以上受けたのはどのような理由ですか								
		調査数	前回の検査の結果を忘れたため	前回の検査以降、感染する機会があり、不安が生じたため	前回の検査以降、特に感染機会があったが、不安なため	毎年定期的に受検するものと思っていたため	特に理由はない（なんとなく）	その他	（再掲）再検査の必要性の低い回答（不安、定期的受検の低	無回答
	全体	768 100.0	11 1.4	79 10.3	114 14.8	174 22.7	60 7.8	295 38.4	348 45.3	35 4.6
地域ブロック	北海道	39 100.0	-	9 23.1	2 5.1	8 20.5	2 5.1	17 43.6	12 30.8	1 2.6
	東北	57 100.0	2 3.5	3 5.3	8 14.0	13 22.8	6 10.5	24 42.1	27 47.4	1 1.8
	関東信越	285 100.0	5 1.8	24 8.4	39 13.7	63 22.1	26 9.1	115 40.4	128 44.9	13 4.6
	東海北陸	100 100.0	-	7 7.0	20 20.0	25 25.0	3 3.0	40 40.0	48 48.0	5 5.0
	近畿	116 100.0	2 1.7	11 9.5	19 16.4	23 19.8	9 7.8	47 40.5	51 44.0	5 4.3
	中国	52 100.0	-	10 19.2	8 15.4	7 13.5	5 9.6	20 38.5	20 38.5	2 3.8
	四国	19 100.0	-	2 10.5	3 15.8	2 10.5	1 5.3	8 42.1	6 31.6	3 15.8
	九州	91 100.0	2 2.2	13 14.3	14 15.4	30 33.0	8 8.8	21 23.1	52 57.1	3 3.3

( $\chi^2=44.258, df=35, p=0.136$  n.s.)

「保健所」「肝炎検査を受検することを目的とした医療機関(病院・診療所)」で受検した者に限定した場合での肝炎検査を2回以上受けた理由は、「毎年定期的に受検するものと思っていたため」と回答した比率が全体では最も高かった(その他は除く)が、「北海道」と「中国」については、「前回の検査以降、感染する機会があり、不安が生じたため」を回答する比率が最も高くなっていた。

6-4-5. 問4(c) 2回以上受検した理由×問10 人口規模別

図 6-4-5- 1 問4(c) 2回以上受検した理由×問10 人口規模別



肝炎ウイルス検査を2回以上受検した理由について、「保健所」「肝炎検査を受検することを目的とした医療機関(病院・診療所)」で受検した者に限定した場合での肝炎ウイルス検査を2回以上受けた理由は、「毎年定期的に受検するものと思っていたため」と回答した比率が全体では最も高かった(その他は除く)が、「5万未満の都市」と「郡部(町村)」については、「前回の検査以降、感染する機会があり、不安が生じたため」を回答する比率が他の人口規模の都市より高い傾向であった。

2回以上受検した理由状況については、表6-4-5-1の通り、人口規模の違いにおいて5%水準で有意な差がみられなかった。

表 6-4-5- 1 問4(c) 2回以上受検した理由×問10 人口規模別

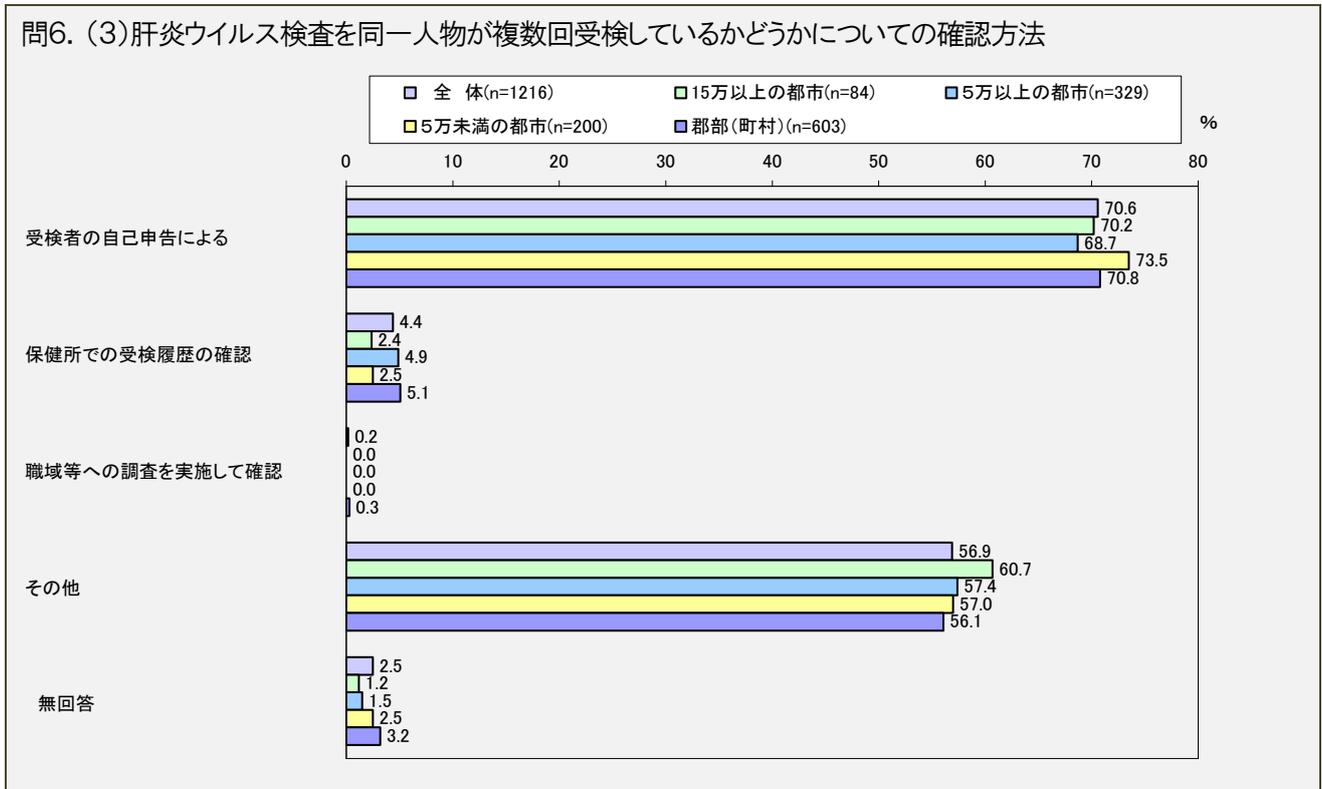
		問4(c) 2回以上受けたのはどのような理由ですか								
		調査数	前回の検査の結果を忘れたため	前回の検査以降、感染する機会があり、不安が生じたため	前回の検査以降、特に感染機	前回は検査したが、不安なため	毎年定期的に受検するものと思っていたため	特に理由はない（なんとなく）	その他	（再掲）再検査の必要性の低い回答（不安、定期的受検の低
全体		768	11	79	114	174	60	295	348	35
		100.0	1.4	10.3	14.8	22.7	7.8	38.4	45.3	4.6
人口規模	20大都市	205	4	16	23	45	21	87	89	9
		100.0	2.0	7.8	11.2	22.0	10.2	42.4	43.4	4.4
	15万以上の都市	212	1	19	36	47	15	86	98	8
		100.0	0.5	9.0	17.0	22.2	7.1	40.6	46.2	3.8
	5万以上の都市	193	4	19	29	47	15	72	91	7
	100.0	2.1	9.8	15.0	24.4	7.8	37.3	47.2	3.6	
5万未満の都市	75	1	13	13	19	2	24	34	3	
	100.0	1.3	17.3	17.3	25.3	2.7	32.0	45.3	4.0	
郡部(町村)	70	1	11	11	13	7	21	31	6	
	100.0	1.4	15.7	15.7	18.6	10.0	30.0	44.3	8.6	

 $(\chi^2=21.204, df=20, p=0.385 \text{ n.s.})$ 

👉 「5万未満の都市」と「郡部(町村)」については、「前回の検査以降、感染する機会があり、不安が生じたため」を回答する比率が他の人口規模の都市より高い傾向であった。

### 6-4-6. 市町村での重複受検確認状況×人口規模別（自治体調査）

図 6-4-6- 1 市町村での重複受検確認状況×人口規模別(自治体調査)



自治体調査において、肝炎ウイルス検査を同一人物が複数回受検しているかどうかの確認方法は、「受検者の自己申告による」比率が最も高く、どの人口規模も7割程度であった。

自治体での肝炎ウイルス検査を同一人物が複数回受検しているかどうかの確認方法は、表 6-4-6-1 の通り、人口規模の違いにおいて5%水準で有意な差がみられなかった。

表 6-4-6- 1 市町村での重複受検確認状況×人口規模別(自治体調査)

		問6. (3)肝炎ウイルス検査を同一人物が複数回受検しているかどうか についての確認方法					
		調査数	受検者の自己申告による	保健所での受検履歴の確認	職域等への調査を実施して確認	その他	無回答
	全 体	1216 100.0	859 70.6	54 4.4	2 0.2	692 56.9	30 2.5
	人口規模	15万以上の都市	84 100.0	59 70.2	2 2.4	-	51 60.7
5万以上の都市		329 100.0	226 68.7	16 4.9	-	189 57.4	5 1.5
5万未満の都市		200 100.0	147 73.5	5 2.5	-	114 57.0	5 2.5
郡部(町村)		603 100.0	427 70.8	31 5.1	2 0.3	338 56.1	19 3.2

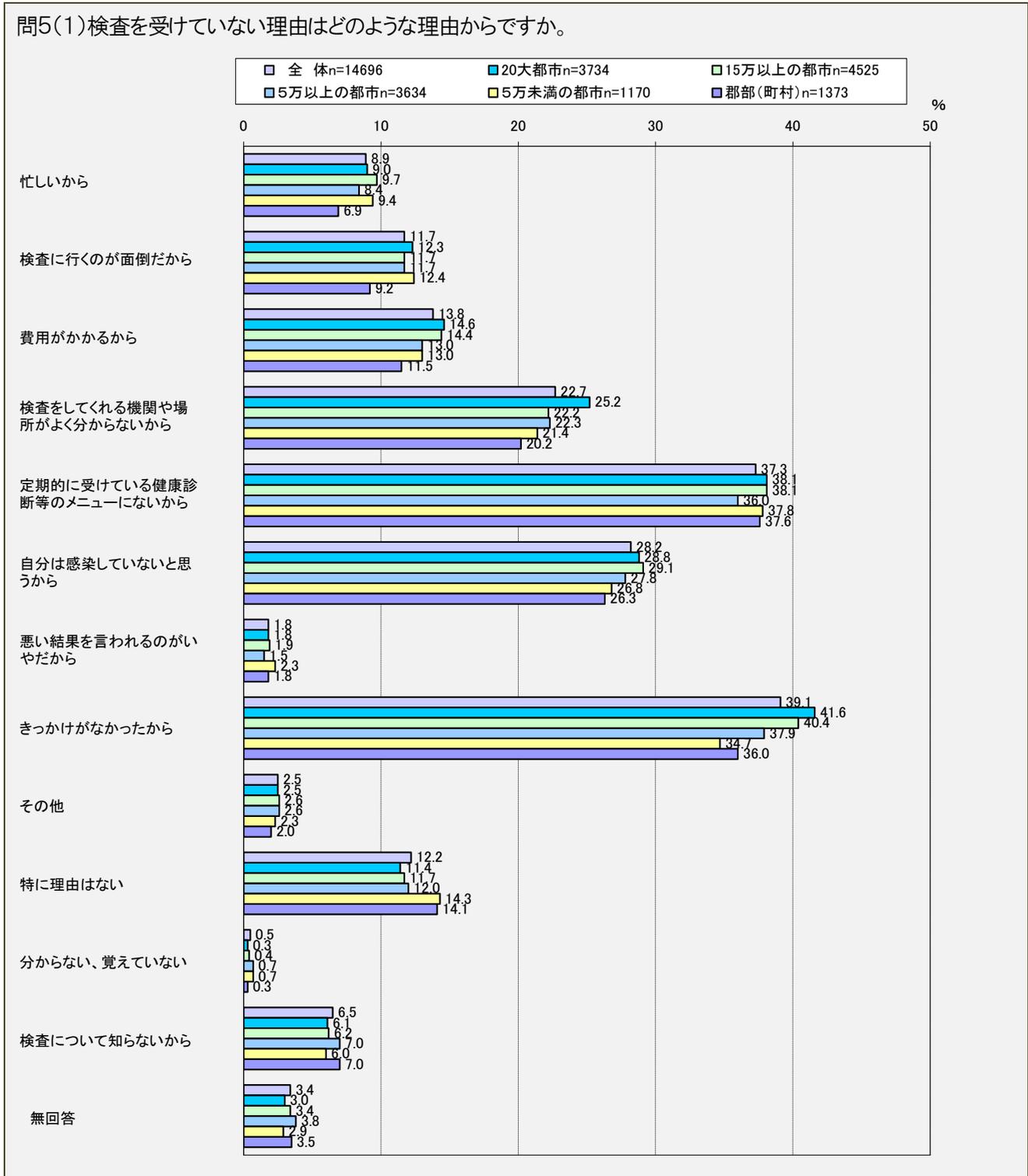
$\chi^2$	2.228	3.529	2.065	0.382
df	3	3	3	3
p	0.526 n. s.	0.317 n. s.	0.559 n. s.	0.944 n. s.

 自治体調査において、肝炎ウイルス検査を同一人物が複数回受検しているかどうかの確認方法は、「受検者の自己申告による」比率が最も高く、どの人口規模の都市も7割程度であった。

## 6-5. 未受検者の実態

### 6-5-1. 問5（1）受検しない理由×問10 人口規模別

図 6-5-1-1 問5(1)受検しない理由×問10 人口規模別



肝炎ウイルス検査を受けていない理由について、どの人口規模においても全体とほぼ同じ傾向であり、「きっかけがなかったから」が最も比率が高く、次に「検査をしてくれる機関や場所がよく分からないから」となっていた。

肝炎ウイルス検査を受けていない理由については、表 6-5-1-1 の通り、人口規模の違いにおいて一部の選択肢の反応に、5%水準で有意な差がみられるものがあった。

具体的にみると、人口規模別の「きっかけがなかったから」については、20 大都市が 41.6%で最も比率が高く、最も比率が低かった 5 万未満の都市 34.7%と比べると 6.9 ポイント高かった。また、「検査をしてくれる機関や場所がよく分からないから」については、20 大都市が 25.2%で最も比率が高く、最も比率が低かった郡部(町村) 20.2%と比べると 5.0 ポイント高かった。

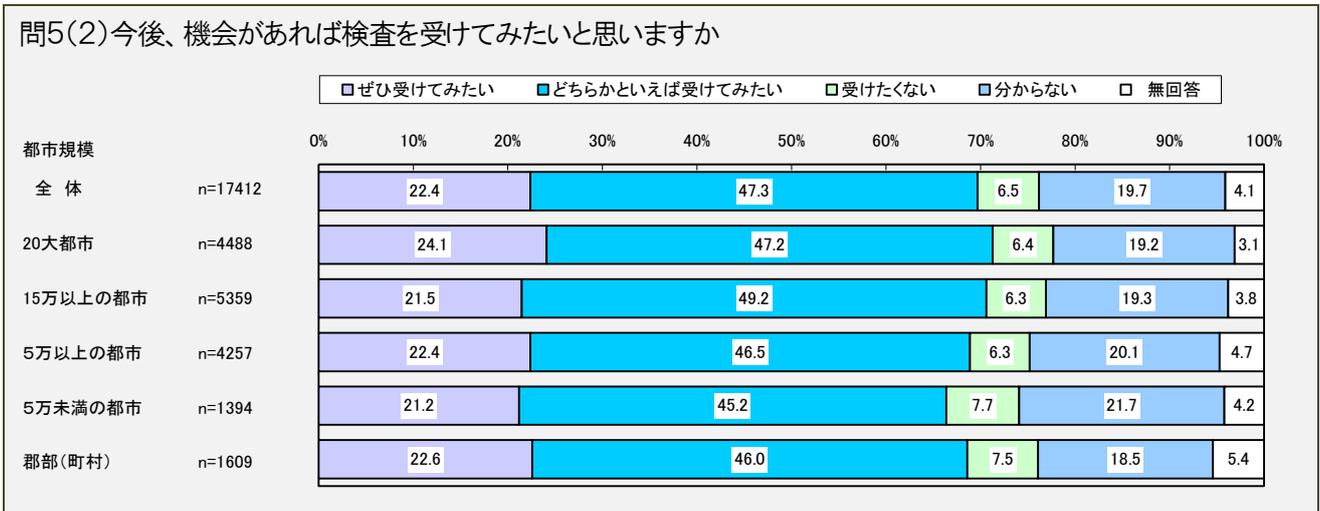
表 6-5-1-1 問5(1)受検しない理由×問10 人口規模別

		問5(1)検査を受けていない理由はどのような理由からですか													
		調査数	忙しいから	検査に行くのが面倒だから	費用がかかるから	が検査をよく分らないから	定期的メニユーにないから	か自分は感染してないと思う	だ悪から結果を言われるのがいや	きっかけがなかったから	その他	特に理由はない	分からない、覚えていない	検査について知らないから	無回答
全体		14696 100.0	1303 8.9	1716 11.7	2022 13.8	3338 22.7	5488 37.3	4151 28.2	268 1.8	5744 39.1	373 2.5	1792 12.2	67 0.5	948 6.5	498 3.4
人口規模	20大都市	3734 100.0	335 9.0	460 12.3	547 14.6	941 25.2	1423 38.1	1077 28.8	66 1.8	1555 41.6	94 2.5	426 11.4	13 0.3	228 6.1	111 3.0
	15万以上の都市	4525 100.0	437 9.7	529 11.7	652 14.4	1003 22.2	1723 38.1	1315 29.1	88 1.9	1826 40.4	117 2.6	529 11.7	17 0.4	280 6.2	155 3.4
	5万以上の都市	3634 100.0	305 8.4	425 11.7	474 13.0	810 22.3	1307 36.0	1012 27.8	56 1.5	1376 37.9	94 2.6	437 12.0	24 0.7	253 7.0	139 3.8
	5万未満の都市	1170 100.0	110 9.4	145 12.4	152 13.0	250 21.4	442 37.8	313 26.8	27 2.3	406 34.7	27 2.3	167 14.3	8 0.7	70 6.0	34 2.9
	郡部(町村)	1373 100.0	95 6.9	127 9.2	158 11.5	277 20.2	516 37.6	361 26.3	25 1.8	494 36.0	27 2.0	193 14.1	4 0.3	96 7.0	48 3.5
	χ <sup>2</sup>		11.158	9.583	11.667	19.612	3.990	6.194	3.475	29.995	2.074	12.549	7.160	4.305	
df		4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4
p		0.025 <0.05	0.048 <0.05	0.020 <0.05	0.001 <0.05	0.407 n.s.	0.185 n.s.	0.482 n.s.	0.000 <0.05	0.722 n.s.	0.014 <0.05	0.128 n.s.	0.366 n.s.		

 どの人口規模においても全体とほぼ同じ傾向であり、「きっかけがなかったから」が最も比率が高かった。

6-5-2. 問5（2）今後の受検意向×問10 人口規模別

図 6-5-2- 1 問5(2)今後の受検意向×問10 人口規模別



今後の受検意向について、人口規模別にみると全体の傾向とほぼ同様であった。最も高い比率なのは「どちらかといえば受けてみたい」、次に「ぜひ受けてみたい」となっていた。

今後の受検意向については、表 6-5-2-1 の通り、人口規模の違いにおいて 5%水準で有意な差がみられた。

具体的にみると、人口規模別の「どちらかといえば受けてみたい」については、15 万以上の都市が 49.2%で最も比率が高く、最も比率が低かった 5 万未満の都市 45.2%と比べると 4.0 ポイント高かった。また、「ぜひ受けてみたい」については、20 大都市が 24.1%で最も比率が高く、最も比率が低かった 5 万未満の都市 21.2%と比べると 2.9 ポイント高かった。

表 6-5-2- 1 問5(2)今後の受検意向×問10 人口規模別

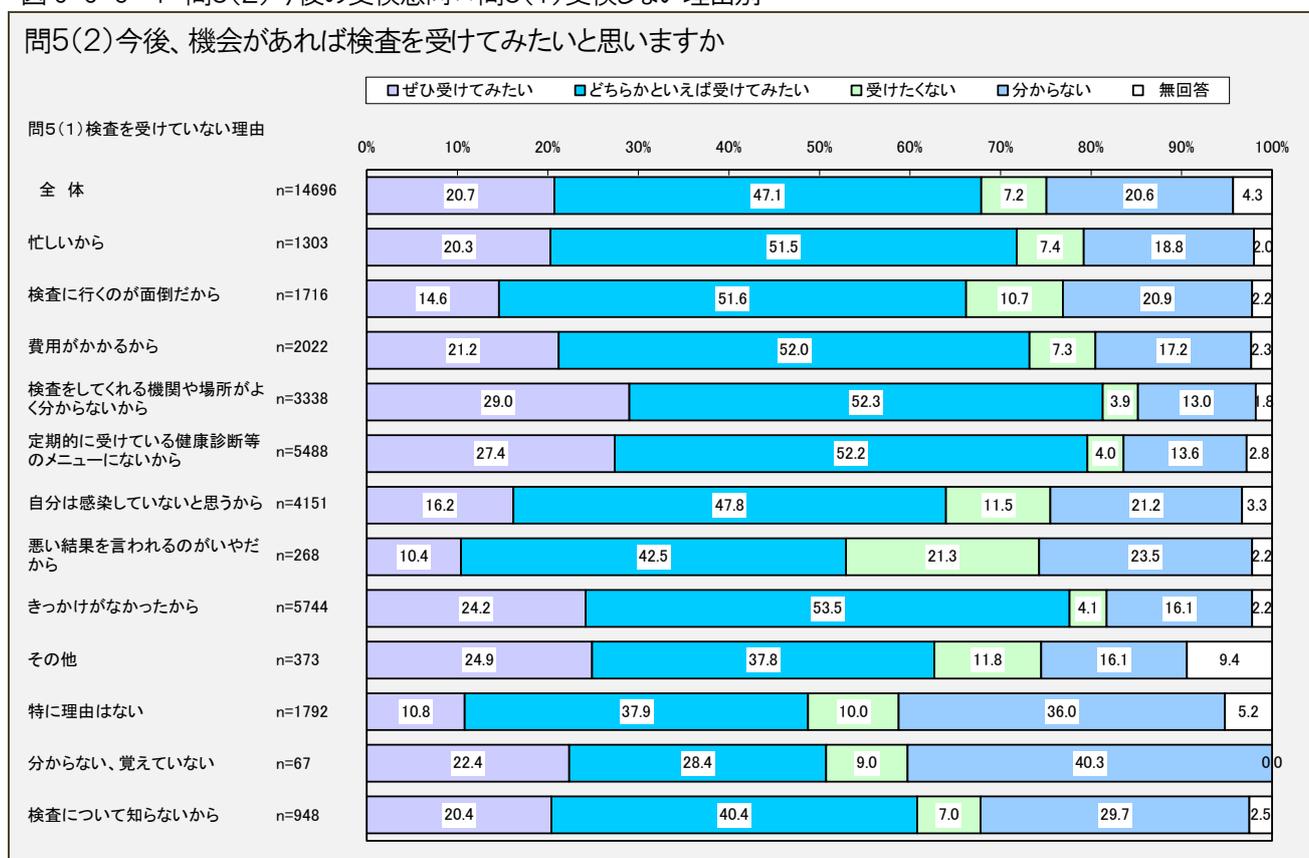
		問5(2)今後、機会があれば検査を受けてみたいと思いますか					
		調査数	ぜひ受けてみたい	どちらかといえば受けてみたい	受けたくない	分からない	無回答
人口規模	全体	17412	3903	8232	1138	3433	706
		100.0	22.4	47.3	6.5	19.7	4.1
	20大都市	4488	1083	2119	285	860	141
		100.0	24.1	47.2	6.4	19.2	3.1
	15万以上の都市	5359	1150	2638	335	1035	201
		100.0	21.5	49.2	6.3	19.3	3.8
	5万以上の都市	4257	954	1978	268	857	200
	100.0	22.4	46.5	6.3	20.1	4.7	
5万未満の都市	1394	296	630	107	302	59	
	100.0	21.2	45.2	7.7	21.7	4.2	
郡部(町村)	1609	364	740	121	297	87	
	100.0	22.6	46.0	7.5	18.5	5.4	

$(\chi^2=26.503, df=12, p=0.009 < 0.05)$

今後の受検意向について、全体として「どちらかといえば受けてみたい」2割、「ぜひ受けてみたい」5割程度で人口規模別にみてもほぼ同様の傾向であった。

## 6-5-3. 問5（2）今後の受検意向×問5（1）受検しない理由別

図 6-5-3- 1 問5(2)今後の受検意向×問5(1)受検しない理由別



検査を受けていない理由で「検査をしてくれる機関や場所がよく分からないから」、「定期的に受けている健康診断等のメニューにないから」「きっかけがなかったから」の回答者については、今後の受検意向が「ぜひ受けてみたい」+「どちらかといえば受けてみたい」の比率が全体を上回った。また、検査を受けていない理由で「悪い結果を言われるのがいやだから」の回答者は「受けたくない」の比率が全体より高い傾向であった。

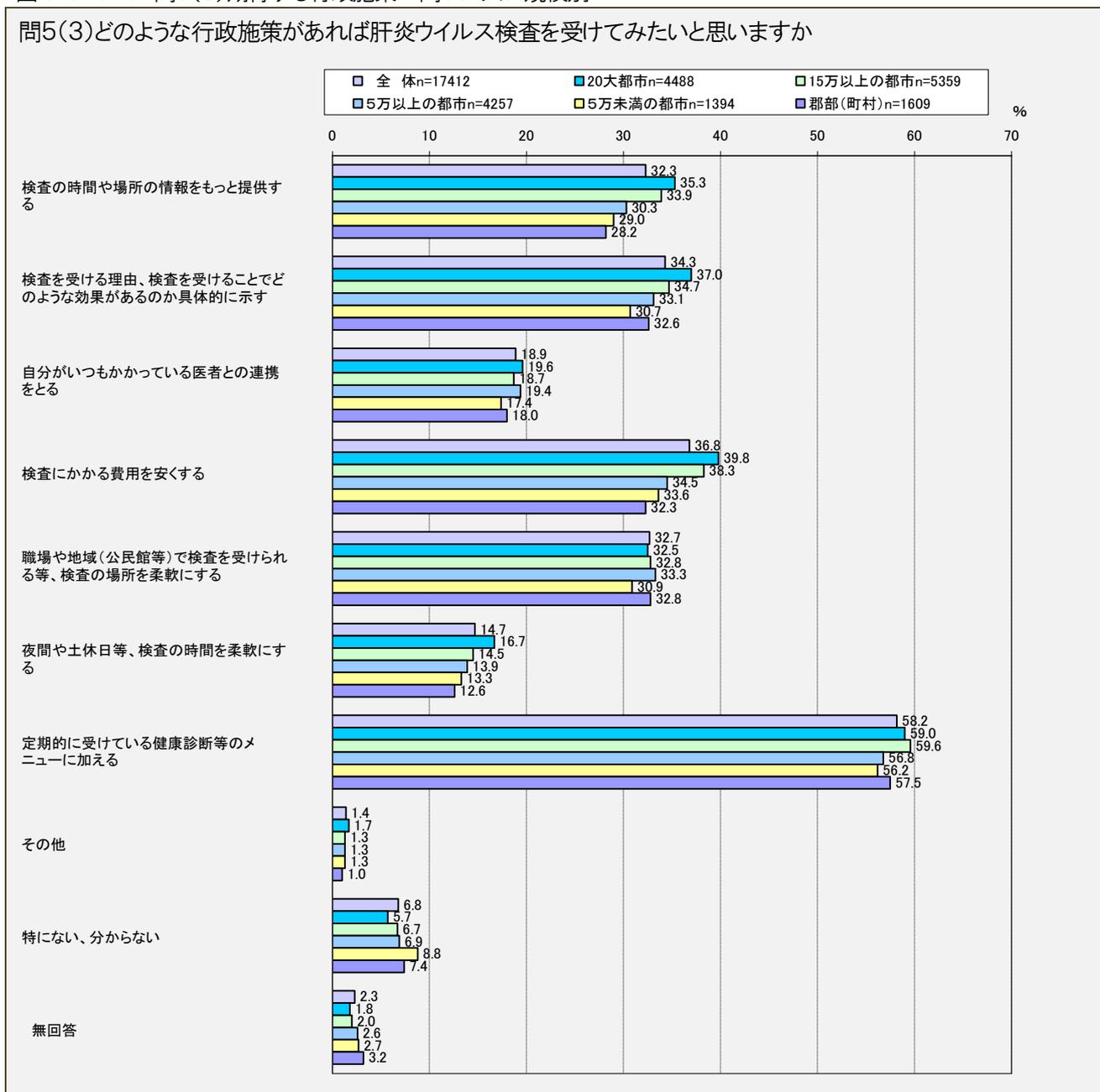
表 6-5-3- 1 問5(2)今後の受検意向×問5(1)受検しない理由別

		問5(2)今後、機会があれば検査を受けてみたいと思いますか					
		調査数	ぜひ受けてみたい	どちらかといえば受けてみたい	受けたくない	分からない	無回答
	全 体	14696 100.0	3045 20.7	6929 47.1	1061 7.2	3027 20.6	634 4.3
問5(1)検査を受けていない理由はそのような理由からですか	忙しいから	1303 100.0	265 20.3	671 51.5	96 7.4	245 18.8	26 2.0
	検査に行くのが面倒だから	1716 100.0	250 14.6	886 51.6	183 10.7	359 20.9	38 2.2
	費用がかかるから	2022 100.0	428 21.2	1052 52.0	148 7.3	347 17.2	47 2.3
	検査をしてくれる機関や場所がよく分からないから	3338 100.0	968 29.0	1746 52.3	130 3.9	434 13.0	60 1.8
	定期的に受けている健康診断等のメニューにないから	5488 100.0	1505 27.4	2867 52.2	219 4.0	746 13.6	151 2.8
	自分は感染していないと思うから	4151 100.0	672 16.2	1986 47.8	479 11.5	878 21.2	136 3.3
	悪い結果を言われるのがいやだから	268 100.0	28 10.4	114 42.5	57 21.3	63 23.5	6 2.2
	きっかけがなかったから	5744 100.0	1389 24.2	3074 53.5	233 4.1	923 16.1	125 2.2
	その他	373 100.0	93 24.9	141 37.8	44 11.8	60 16.1	35 9.4
	特に理由はない	1792 100.0	193 10.8	680 37.9	180 10.0	646 36.0	93 5.2
	分からない、覚えていない	67 100.0	15 22.4	19 28.4	6 9.0	27 40.3	-
	検査について知らないから	948 100.0	193 20.4	383 40.4	66 7.0	282 29.7	24 2.5

 検査を受けていない理由で「検査をしてくれる機関や場所がよく分からないから」、「定期的に受けている健康診断等のメニューにないから」「きっかけがなかったから」の回答者については、今後の受検意向が「ぜひ受けてみたい」+「どちらかといえば受けてみたい」の比率が全体を上回った。

6-5-4. 問5（3）期待する行政施策×問10 人口規模別

図 6-5-4- 1 問5(3)期待する行政施策×問10 人口規模別



どのような行政施策があれば肝炎ウイルス検査を受けてみたいと思うかについて、「定期的を受けている健康診断等のメニューに加える」が全体では最も比率が高く、人口規模別にみてもほぼ同じ傾向であった。

「検査の時間や場所の情報をもっと提供する」「検査にかかる費用を安くする」「夜間や土休日等、検査の時間を柔軟にする」の回答者については、人口規模が大きいほど比率が高くなっていった。

期待する行政施策については、表 6-5-4-1 の通り、人口規模の違いにおいて一部の選択肢の反応に、5%水準で有意な差がみられるものがあった。

具体的にみると、人口規模別の「検査にかかる費用を安くする」については、20 大都市が 35.3%で最も比率が高く、最も比率が低かった郡部（町村）32.3%と比べると 7.5 ポイント高かった。また、「検査の時間や場所の情報をもっと提供する」については、20 大都市が 35.3%で最も比率が高く、最も比率が低かった郡部（町村）28.2%と比べると 7.1 ポイント高かった。

表 6-5-4-1 問5(3)期待する行政施策×問10 人口規模別

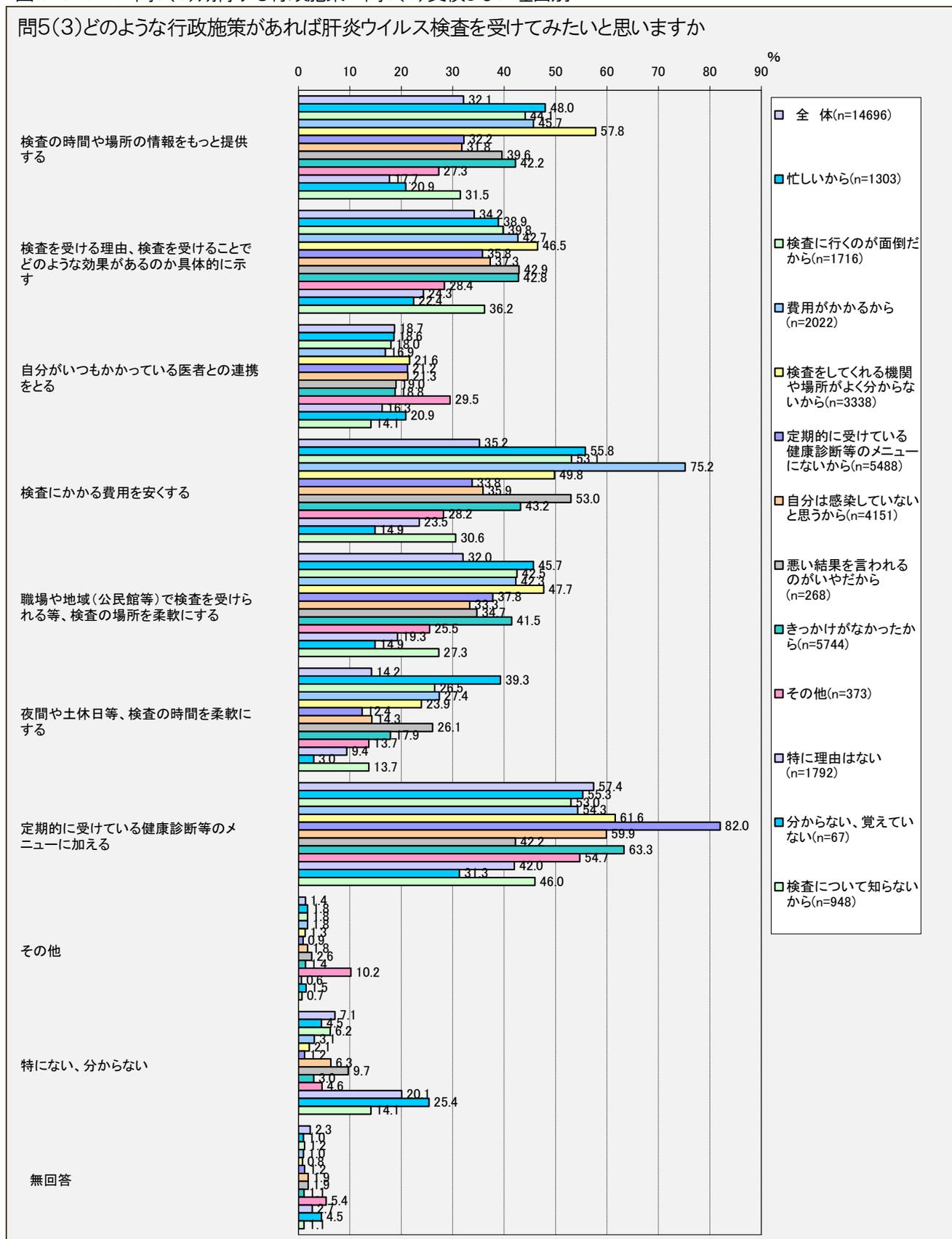
		問5(3)どのような行政施策があれば肝炎ウイルス検査を受けてみたいと思いますか										
		調査数	も検査の時間や場所の情報を	検査を受ける理由、検査効果が	自分とのかかる費用を安くする	検査にかかる費用を安くする	職場や地域（公民館等）で検査を受けられる等、検査の場	を柔軟にする	夜間や土休日等、検査の時間を柔軟にする	定期的メニューに受けている健康診断	その他	特になし、分からない
	全体	17412 100.0	5630 32.3	5976 34.3	3298 18.9	6408 36.8	5694 32.7	2555 14.7	10128 58.2	243 1.4	1179 6.8	398 2.3
人口規模	20大都市	4488 100.0	1583 35.3	1659 37.0	881 19.6	1786 39.8	1458 32.5	749 16.7	2649 59.0	76 1.7	258 5.7	79 1.8
	15万以上の都市	5359 100.0	1816 33.9	1857 34.7	1000 18.7	2052 38.3	1759 32.8	779 14.5	3195 59.6	69 1.3	361 6.7	106 2.0
	5万以上の都市	4257 100.0	1290 30.3	1409 33.1	826 19.4	1467 34.5	1417 33.3	593 13.9	2417 56.8	54 1.3	292 6.9	111 2.6
	5万未満の都市	1394 100.0	404 29.0	428 30.7	242 17.4	468 33.6	431 30.9	186 13.3	783 56.2	18 1.3	122 8.8	38 2.7
	郡部(町村)	1609 100.0	454 28.2	524 32.6	290 18.0	519 32.3	527 32.8	202 12.6	925 57.5	16 1.0	119 7.4	52 3.2
	$\chi^2$	45.691	23.617	4.809	46.935	3.076	22.125	8.571	5.554	18.324		
	df	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4
	p	0.000 <0.05	0.000 <0.05	0.307 n.s.	0.000 <0.05	0.545 n.s.	0.000 <0.05	0.073 n.s.	0.235 n.s.	0.001 <0.05		

「検査の時間や場所の情報をもっと提供する」「検査にかかる費用を安くする」「夜間や土休日等、検査の時間を柔軟にする」の回答者については、人口規模が大きいほど比率が高くなっていた。

6-5-5. 問5（3）期待する行政施策×問5（1）受検しない理由別

図 6-5-5- 1 問5(3)期待する行政施策×問5(1)受検しない理由別

問5(3)どのような行政施策があれば肝炎ウイルス検査を受けてみたいと思いますか



どのような行政施策があれば肝炎ウイルス検査を受けてみたいと思うかについて、検査を受けていない理由別にみると、全体では「定期的を受けている健康診断等のメニューに加える」が最も比率が高く、次に「検査にかかる費用を安くする」となっていた。

検査を受けていない理由別にみていくと、「費用がかかるから」が理由の場合の期待する施策は「検査にかかる費用を安くする」75.2%で最も比率が高くなった。「検査をしてくれる機関や場所がよく分からないから」が理由の場合の期待する施策は、2番目に「検査の時間や場所の情報をもっと提供する」57.8%、「定期的を受けている健康診断等のメニューにないから」が理由の場合の期待する施策は「定期的を受けている健康診断等のメニューに加える」82.0%が最も高い比率となっていた。

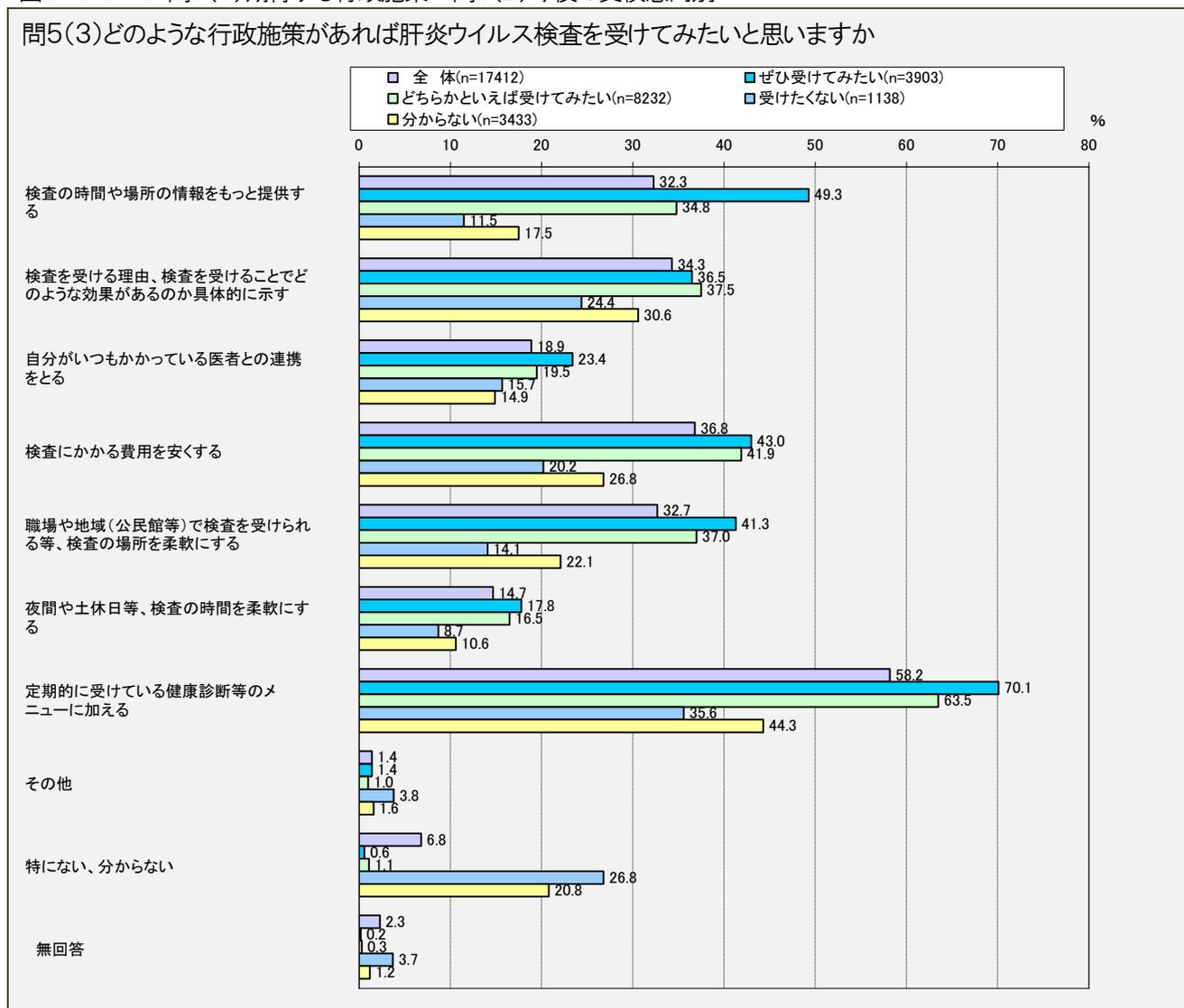
表 6-5-5- 1 問5(3)期待する行政施策×問5(1)受検しない理由別

		問5(3)どのような行政施策があれば肝炎ウイルス検査を受けてみたいと思いますか										
		調査数	検査の時間や場所の情報をもっと提供する	検査を受ける理由、検査結果が分かることなどの具体的な理由を示す	自分がかかっている医師	検査にかかる費用を安くする	職場や地域（公民館等）で検査を受けられる等、検査の場	夜間や土休日等、検査の時間を柔軟にする	定期的メニューに加える健康診断	その他	特になし、分からない	無回答
全体		14696 100.0	4716 32.1	5033 34.2	2746 18.7	5174 35.2	4701 32.0	2085 14.2	8440 57.4	200 1.4	1042 7.1	332 2.3
問5(1)検査を受けていない理由はそのような理由からですか	忙しいから	1303 100.0	626 48.0	507 38.9	243 18.6	727 55.8	596 45.7	512 39.3	720 55.3	24 1.8	58 4.5	13 1.0
	検査に行くのが面倒だから	1716 100.0	757 44.1	683 39.8	309 18.0	912 53.1	730 42.5	455 26.5	910 53.0	31 1.8	106 6.2	21 1.2
	費用がかかるから	2022 100.0	924 45.7	863 42.7	342 16.9	1520 75.2	856 42.3	555 27.4	1097 54.3	37 1.8	63 3.1	21 1.0
	検査をしてくれる機関や場所がよく分からないから	3338 100.0	1931 57.8	1551 46.5	720 21.6	1662 49.8	1592 47.7	798 23.9	2057 61.6	45 1.3	70 2.1	26 0.8
	定期的を受けている健康診断等のメニューにないから	5488 100.0	1769 32.2	1965 35.8	1166 21.2	1856 33.8	2075 37.8	678 12.4	4499 82.0	49 0.9	67 1.2	64 1.2
	自分は感染していないと思うから	4151 100.0	1320 31.8	1549 37.3	884 21.3	1490 35.9	1384 33.3	594 14.3	2487 59.9	75 1.8	260 6.3	77 1.9
	悪い結果を言われるのがいやだから	268 100.0	106 39.6	115 42.9	51 19.0	142 53.0	93 34.7	70 26.1	113 42.2	7 2.6	26 9.7	5 1.9
	きっかけがなかったから	5744 100.0	2426 42.2	2461 42.8	1080 18.8	2480 43.2	2384 41.5	1030 17.9	3635 63.3	80 1.4	175 3.0	63 1.1
	その他	373 100.0	102 27.3	106 28.4	110 29.5	105 28.2	95 25.5	51 13.7	204 54.7	38 10.2	17 4.6	20 5.4
	特に理由はない	1792 100.0	317 17.7	435 24.3	292 16.3	421 23.5	345 19.3	168 9.4	753 42.0	10 0.6	361 20.1	48 2.7
	分からない、覚えていない	67 100.0	14 20.9	15 22.4	14 20.9	10 14.9	10 14.9	2 3.0	21 31.3	1 1.5	17 25.4	3 4.5
	検査について知らないから	948 100.0	299 31.5	343 36.2	134 14.1	290 30.6	259 27.3	130 13.7	436 46.0	7 0.7	134 14.1	10 1.1

👉 どのような行政施策があれば肝炎ウイルス検査を受けてみたいと思うかについて、検査を受けていない理由別にみると、全体では「定期的を受けている健康診断等のメニューに加える」が最も比率が高く、次に「検査にかかる費用を安くする」となっていた。

### 6-5-6. 問5（3）期待する行政施策×問5（2）今後の受検意向別

図 6-5-6- 1 問5(3)期待する行政施策×問5(2)今後の受検意向別



どのような行政施策があれば肝炎ウイルス検査を受けてみたいと思うかについて、全体では「定期的を受けている健康診断等のメニューに加える」が最も比率が高く、次に「検査にかかる費用を安くする」となっていたが、今後検査を受けてみたいかどうかの回答別にみると、「ぜひ受けてみたい」の回答者は、「定期的を受けている健康診断等のメニューに加える」(70.1%)が最も比率が高く、次に「検査の時間や場所の情報をもっと提供する」が49.3%となっていた。「受けたくない」の回答者は、「定期的を受けている健康診断等のメニューに加える」35.6%が最も比率が高かったが、次に「特にない・分からない」26.8%となっていた。

期待する行政施策については、表 6-5-6-1 の通り、今後の肝炎ウイルス検査の受検意向の違いにおいて全ての選択肢の反応に、5%水準で有意な差がみられるものがあった。

具体的にみると、今後の肝炎ウイルス検査の受検意向別の「検査の時間や場所の情報をもっと提供する」については、「ぜひ受けてみたい」回答者が35.3%で最も比率が高く、最も比率が低かった「受けたくない」回答者11.5%と比べると37.8ポイント高かった。また、「定期的を受けている健康診断等のメニューに加える」については、「ぜひ受けてみたい」回答者が70.1%で最も比率が高く、最も比率が低かった「受けたくない」回答者35.6%と比べると34.5ポイント高かった。

表 6-5-6- 1 問5(3)期待する行政施策×問5(2)今後の受検意向別

	問5(3)どのような行政施策があれば肝炎ウイルス検査を受けてみたいと思いますか											
	調査数	検査の時間や場所の情報を	検査を受ける理由、検査を受けることでの具体的な効果を示す	自分がかかっている医師の連携をとる	検査にかかる費用を安くする	職場や地域（公民館等）で検査を受けられる等、検査の場	夜間や土日等、検査の時間を柔軟にする	定期的メニューに加える	その他	特にない、分からない	無回答	
問5(2)今後の受検意向が	全体	17412 100.0	5630 32.3	5976 34.3	3298 18.9	6408 36.8	5694 32.7	2555 14.7	10128 58.2	243 1.4	1179 6.8	398 2.3
「ぜひ受けてみたい」		3903 100.0	1924 49.3	1423 36.5	915 23.4	1677 43.0	1611 41.3	695 17.8	2735 70.1	55 1.4	24 0.6	7 0.2
「どちらかといえば受けてみたい」		8232 100.0	2866 34.8	3083 37.5	1603 19.5	3447 41.9	3049 37.0	1356 16.5	5230 63.5	79 1.0	94 1.1	27 0.3
「受けたくない」		1138 100.0	131 11.5	278 24.4	179 15.7	230 20.2	160 14.1	99 8.7	405 35.6	43 3.8	305 26.8	42 3.7
「分からない」		3433 100.0	602 17.5	1049 30.6	511 14.9	919 26.8	758 22.1	363 10.6	1521 44.3	54 1.6	715 20.8	42 1.2

$\chi^2$	1057.558	96.840	89.132	404.267	520.916	118.038	780.122	63.152	2485.077
df	3	3	3	3	3	3	3	3	3
p	0.000 <0.05								

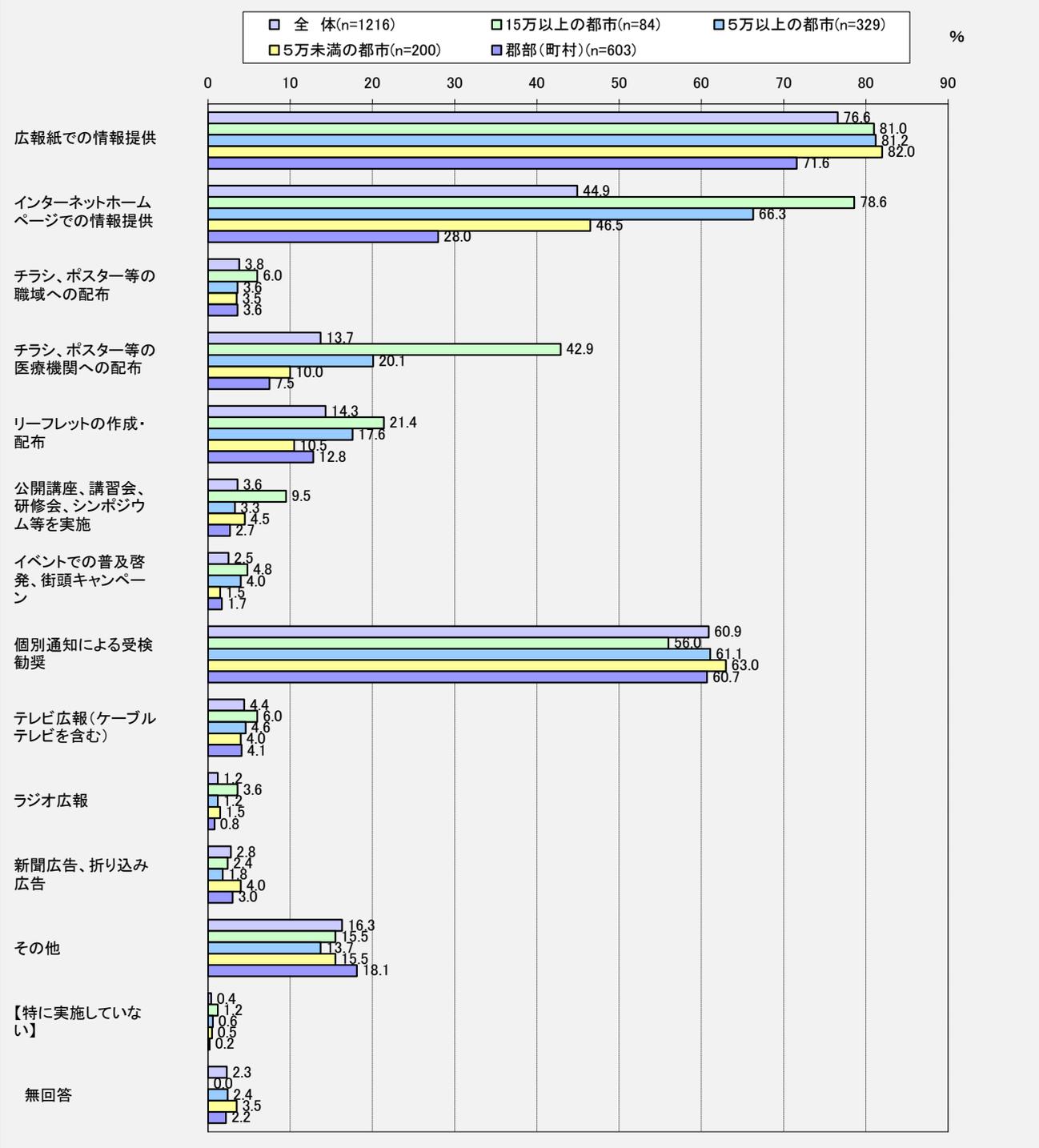
「ぜひ受けてみたい」の回答者は、「定期的を受けている健康診断等のメニューに加える」(70.1%)が最も比率が高く、次に「検査の時間や場所の情報をもっと提供する」が 49.3%となっていた。

## 6-6. 現在の各種施策の効果

### 6-6-1. 肝炎ウイルス検査の普及啓発に向けた市町村の取組み×人口規模別（自治体調査）

図 6-6-1-1 肝炎ウイルス検査の普及啓発に向けた市町村の取組み×人口規模別(自治体調査)

問7. 貴自治体における肝炎ウイルス検査に関する普及啓発、受検勧奨の実施状況について



自治体調査での肝炎ウイルス検査の普及啓発に向けた取組み内容について、全体では「広報誌での情報提供」76.6%が最も比率が高く、次に「個別通知による受検勧奨」60.9%となっていた。人口規模別にみると、どの人口規模においても「広報誌での情報提供」は最も比率が高いが、「15 万以上の都市」と「5 万以上の都市」については、2 番目は「インターネットホームページでの情報提供」となっていた。

肝炎ウイルス検査普及啓発に向けた市町村の取組みについては、表 6-6-1-1 の通り、人口規模の違いにおいて一部の選択肢の反応に、5%水準で有意な差がみられるものがあった。

具体的にみると、人口規模別の「インターネットホームページでの情報提供」については、15 万以上の都市が 78.6%で最も比率が高く、最も比率が低かった郡部（町村）28.0%と比べると 50.6 ポイント高かった。また、「チラシ、ポスター等の医療機関への配布」については、15 万以上の都市が 42.9%で最も比率が高く、最も比率が低かった郡部（町村）7.5%と比べると 35.4 ポイント高かった。

これは、自治体の人口規模によって、実施する項目の予算配分に影響があることを示しているといえる。

表 6-6-1-1 肝炎ウイルス検査の普及啓発に向けた市町村の取組み×人口規模別(自治体調査)

		問7. 貴自治体における肝炎ウイルス検査に関する普及啓発、受検勧奨の実施状況について														
		調査数	広報紙での情報提供	インターネットホームページでの情報提供	チラシ、ポスター等の職域への配布	チラシ、ポスター等の医療機関への配布	リーフレットの作成・配布	公開講座、講習会、研修会、シンポジウム等を実施	イベントでの普及啓発、街頭	個別通知による受検勧奨	テレビ広報（ケーブルテレビを含む）	ラジオ広報	新聞広告、折り込み広告	その他	特に実施していない	無回答
	全体	1216 100.0	931 76.6	546 44.9	46 3.8	167 13.7	174 14.3	44 3.6	30 2.5	740 60.9	53 4.4	15 1.2	34 2.8	198 16.3	5 0.4	28 2.3
人口規模	15万以上の都市	84 100.0	68 81.0	66 78.6	5 6.0	36 42.9	18 21.4	8 9.5	4 4.8	47 56.0	5 6.0	3 3.6	2 2.4	13 15.5	1 1.2	-
	5万以上の都市	329 100.0	267 81.2	218 66.3	12 3.6	66 20.1	58 17.6	11 3.3	13 4.0	201 61.1	15 4.6	4 1.2	6 1.8	45 13.7	2 0.6	8 2.4
	5万未満の都市	200 100.0	164 82.0	93 46.5	7 3.5	20 10.0	21 10.5	9 4.5	3 1.5	126 63.0	8 4.0	3 1.5	8 4.0	31 15.5	1 0.5	7 3.5
	郡部(町村)	603 100.0	432 71.6	169 28.0	22 3.6	45 7.5	77 12.8	16 2.7	10 1.7	366 60.7	25 4.1	5 0.8	18 3.0	109 18.1	1 0.2	13 2.2
	$\chi^2$	18.901	169.867	1.056	91.281	9.488	10.173	7.130	2.204	0.587	4.540	2.427	3.146	2.433		
	df	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3		
	p	0.000 <0.05	0.000 <0.05	0.788 n.s.	0.000 <0.05	0.023 <0.05	0.017 <0.05	0.068 n.s.	0.531 n.s.	0.899 n.s.	0.209 n.s.	0.489 n.s.	0.370 n.s.	0.487 n.s.		

 人口規模別にみると、どの人口規模においても「広報誌での情報提供」は最も比率が高かった。「5 万以上の都市」と「15 万以上の都市」については、2 番目は「インターネットホームページでの情報提供」となっていた。

## 6-6-2. 肝炎ウイルス検査の普及啓発に向けた市町村の取組みの効果の検証

### (1) 取組みの効果検証の方法

集計対象：国民調査のデータのうち、以下の条件を満たすもの

①居住市町村が特定できるデータ

②居住市町村から自治体調査の回答が回収できているデータ→居住市町村の回答を国民調査データに突合

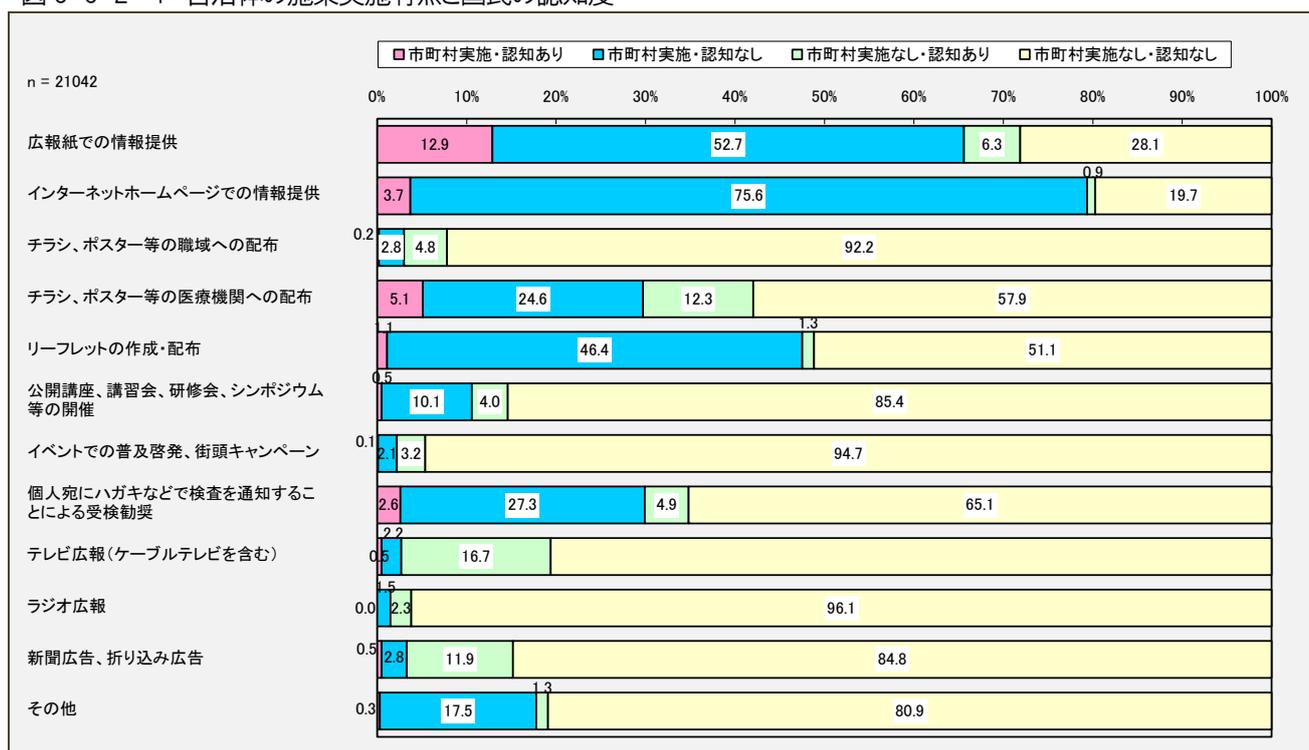
集計内容：自治体の施策実施有無と国民の認知度の検証

行政の取組み内容(1 広報誌での情報提供～12 その他)別に以下の集計を行う。

表 6-6-2- 1 自治体の施策実施有無と国民の認知度の有無の対応

		自治体調査 問 7	
		実施あり	実施なし
国民調査 問 6	知っている	効果あり	—
	知らない	課題あり	—

図 6-6-2- 1 自治体の施策実施有無と国民の認知度



国民調査の回答者が居住している自治体で肝炎ウイルス検査の普及啓発に向けた取組みが実施されているものは、「インターネットホームページでの情報提供」79.3%、「広報誌での情報提供」65.6%となっていた（「市町村実施・認知あり」+「市町村実施・認知なし」の数値）。

自治体で肝炎ウイルス検査の普及啓発に向けた取組みが実施され、それを認知しているという国民調査の回答は、「広報誌での情報提供」は12.9%、「チラシ、ポスター等の医療機関への配布」は5.1%となっていた。

また、自治体で肝炎ウイルス検査の普及啓発に向けた取組みが実施され、それを認知していないという国民調査の回答で最も比率の高かった「検査にかかる費用の無料化、補助」で90.4%、次いで「インターネットホームページでの情報提供」75.6%、「広報誌での情報提供」52.7%となっていた。

表 6-6-2- 2 自治体の施策実施有無と国民の認知度

	調査数	市町村実施・認知あり	市町村実施・認知なし	市町村実施なし・認知あり	市町村実施なし・認知なし
広報紙での情報提供	21042 100.0	2704 12.9	11097 52.7	1322 6.3	5919 28.1
インターネットホームページでの情報提供	21042 100.0	784 3.7	15917 75.6	187 0.9	4154 19.7
チラシ、ポスター等の職域への配布	21042 100.0	45 0.2	584 2.8	1012 4.8	19401 92.2
チラシ、ポスター等の医療機関への配布	21042 100.0	1083 5.1	5175 24.6	2598 12.3	12186 57.9
リーフレットの作成・配布	21042 100.0	233 1.1	9765 46.4	284 1.3	10760 51.1
公開講座、講習会、研修会、シンポジウム等の開催	21042 100.0	100 0.5	2132 10.1	833 4.0	17977 85.4
イベントでの普及啓発、街頭キャンペーン	21042 100.0	12 0.1	433 2.1	667 3.2	19930 94.7
個人宛にハガキなどで検査を通知することによる受検勧奨	21042 100.0	555 2.6	5751 27.3	1036 4.9	13700 65.1
テレビ広報（ケーブルテレビを含む）	21042 100.0	114 0.5	464 2.2	3522 16.7	16942 80.5
ラジオ広報	21042 100.0	6 0.0	320 1.5	490 2.3	20226 96.1
新聞広告、折り込み広告	21042 100.0	102 0.5	584 2.8	2507 11.9	17849 84.8
その他	21042 100.0	65 0.3	3686 17.5	267 1.3	17024 80.9

(2) 取組みの効果検証×性・年代別との関連について

(1) において取組みの効果を検証した項目を、それぞれ属性別のクロス集計を行ない、特徴がみられるものを以下①～⑤に示した。

① 広報紙での情報提供×問9. 年齢

広報紙での情報提供について年代別でみると、20代は6.1%で最も認知率が低く、年代が高くなるにつれ比率は上昇し、60代、70代でともに16.7%となっていた。

図 6-6-2-2 自治体における普及啓発取組みの効果・広報紙での情報提供×問9. 年齢

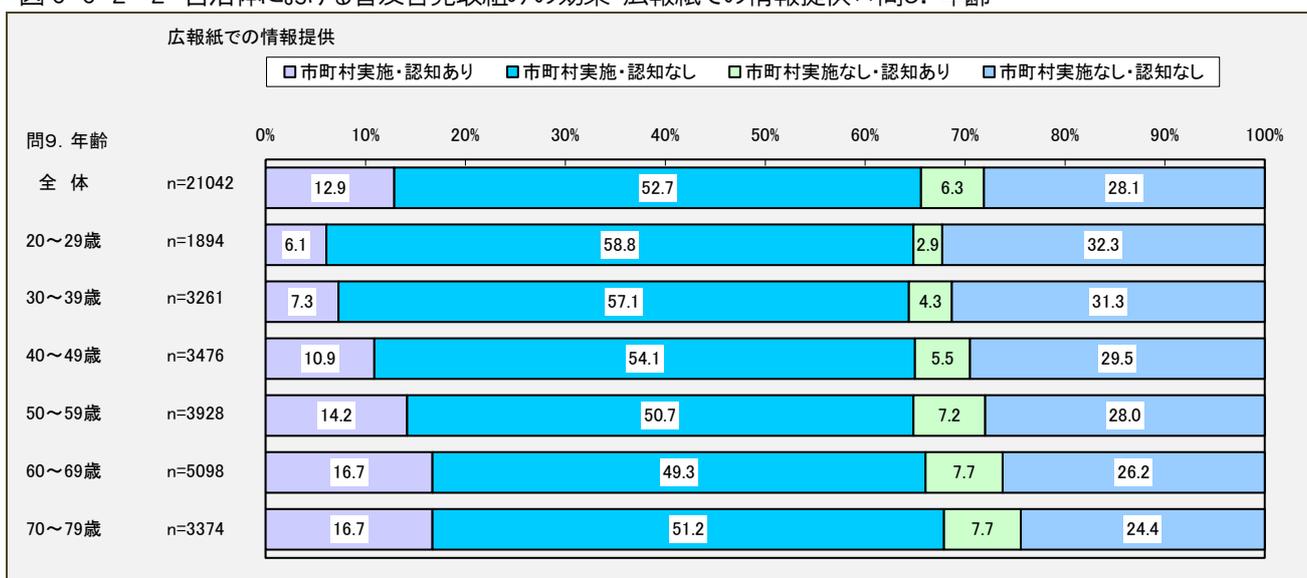


表 6-6-2-3 自治体における普及啓発取組みの効果・広報紙での情報提供×問9. 年齢

		広報紙での情報提供				
		調査数	市町村実施・認知あり	市町村実施・認知なし	市町村実施なし・認知あり	市町村実施なし・認知なし
問9 年齢	全体	21042	2704	11097	1322	5919
		100.0	12.9	52.7	6.3	28.1
	20～29歳	1894	115	1113	55	611
		100.0	6.1	58.8	2.9	32.3
	30～39歳	3261	238	1863	140	1020
		100.0	7.3	57.1	4.3	31.3
	40～49歳	3476	380	1880	190	1026
		100.0	10.9	54.1	5.5	29.5
50～59歳	3928	556	1991	281	1100	
	100.0	14.2	50.7	7.2	28.0	
60～69歳	5098	853	2515	395	1335	
	100.0	16.7	49.3	7.7	26.2	
70～79歳	3374	562	1727	261	824	
	100.0	16.7	51.2	7.7	24.4	

$(\chi^2=441.653, df=15, p=0.000 < 0.05)$

②新聞広告、折り込み広告

新聞広告、折り込み広告などの紙媒体を使用した広報については、あまり取組みは実施されていないが、20代、30代は比率が低い、年齢が高くなるほど認知度が高くなる傾向にあった。

①で述べた広報紙や、ここで述べた新聞広告、折り込み広告などの紙媒体を使用した広報については、年齢が高くなるほど認知度が高くなっているといえる。

図 6-6-2- 3 自治体における普及啓発取組みの効果・新聞広告、折り込み広告×問9. 年齢

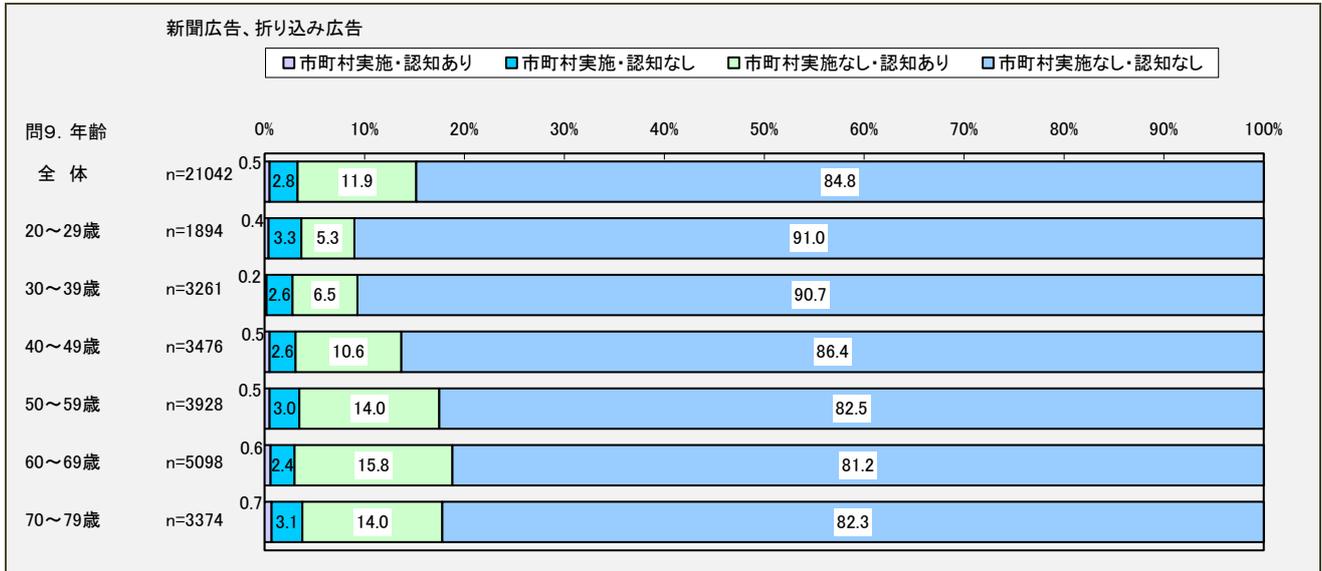


表 6-6-2- 4 自治体における普及啓発取組みの効果・新聞広告、折り込み広告×問9. 年齢

	調査数	新聞広告、折り込み広告				
		市町村実施・認知あり	市町村実施・認知なし	市町村実施なし・認知あり	市町村実施なし・認知なし	
全体	21042	102	584	2507	17849	
	100.0	0.5	2.8	11.9	84.8	
問9 年齢	20~29歳	1894	8	63	100	1723
		100.0	0.4	3.3	5.3	91.0
	30~39歳	3261	6	85	213	2957
		100.0	0.2	2.6	6.5	90.7
	40~49歳	3476	16	91	367	3002
		100.0	0.5	2.6	10.6	86.4
	50~59歳	3928	19	118	551	3240
	100.0	0.5	3.0	14.0	82.5	
60~69歳	5098	31	121	805	4141	
	100.0	0.6	2.4	15.8	81.2	
70~79歳	3374	22	105	471	2776	
	100.0	0.7	3.1	14.0	82.3	

$(\chi^2=298.472, df=15, p=0.000 < 0.05)$

③テレビ広報（ケーブルテレビを含む）

テレビ広報（ケーブルテレビを含む）について年代別にみると、自治体での取組みはあまり実施されていないが、自治体以外での取組みの認知が全体的にやや高くなっており、そのうち 30 代（14.7%）と 40 代（14.8%）の認知度がやや低い傾向にあった。

図 6-6-2- 4 自治体における普及啓発取組みの効果・テレビ広報（ケーブルテレビを含む）×問9. 年齢

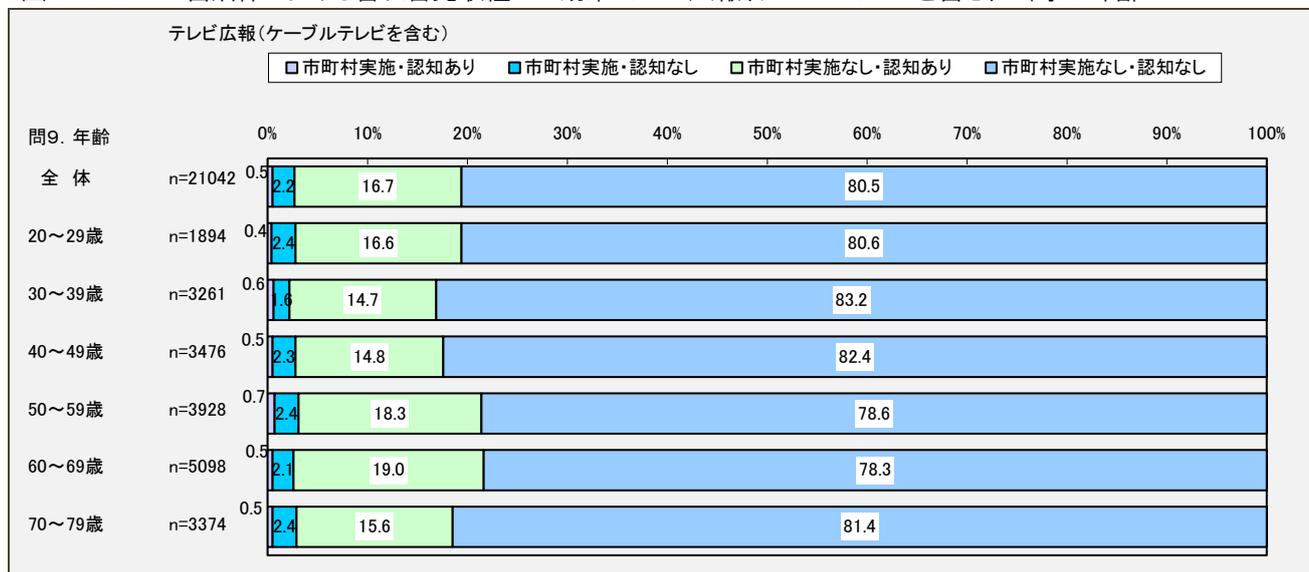


表 6-6-2- 5 自治体における普及啓発取組みの効果・テレビ広報（ケーブルテレビを含む）×問9. 年齢

		テレビ広報（ケーブルテレビを含む）				
		調査数	市町村実施・認知あり	市町村実施・認知なし	市町村実施なし・認知あり	市町村実施なし・認知なし
問9 年齢	全体	21042	114	464	3522	16942
		100.0	0.5	2.2	16.7	80.5
	20～29歳	1894	8	46	314	1526
		100.0	0.4	2.4	16.6	80.6
	30～39歳	3261	19	52	478	2712
		100.0	0.6	1.6	14.7	83.2
	40～49歳	3476	19	79	513	2865
		100.0	0.5	2.3	14.8	82.4
50～59歳	3928	27	95	719	3087	
	100.0	0.7	2.4	18.3	78.6	
60～69歳	5098	24	109	971	3994	
	100.0	0.5	2.1	19.0	78.3	
70～79歳	3374	17	82	527	2748	
	100.0	0.5	2.4	15.6	81.4	

( $\chi^2=61.075, df=15, p=0.000 < 0.05$ )

④インターネットホームページでの情報提供

インターネットホームページでの情報提供については、認知度は全体的に低いものの男性の場合は年齢が若いほど認知度が高くなっており、男性・70代1.5%が最も比率が低く、男性・20代が6.3%で最も高くなっていました。一方、女性の場合、20代(3.7%)、30代(3.9%)、50代(3.8%)はほとんど違いがない中、40代(4.9%)のみがやや認知度が高いことがわかった。

図 6-6-2- 5 自治体における普及啓発取組みの効果・インターネットホームページでの情報提供×問8. 性別×問9. 年齢

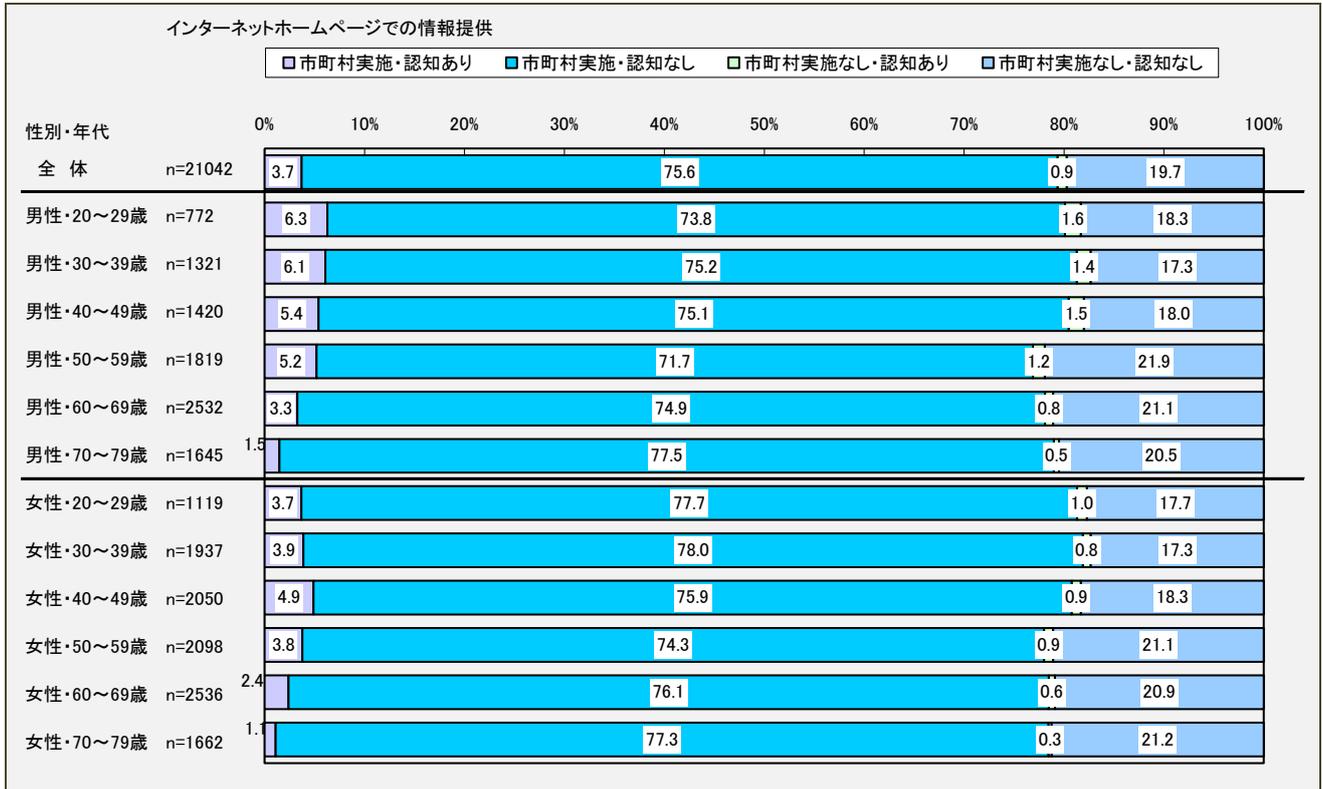


表 6-6-2-6 自治体における普及啓発取組みの効果・インターネットホームページでの情報提供×問8. 性別×問9. 年齢

		インターネットホームページでの情報提供				
		調査数	市町村実施・認知あり	市町村実施・認知なし	市町村実施なし・認知あり	市町村実施なし・認知なし
	全 体	21042 100.0	784 3.7	15917 75.6	187 0.9	4154 19.7
性別・年代	男性・20～29歳	772 100.0	49 6.3	570 73.8	12 1.6	141 18.3
	男性・30～39歳	1321 100.0	80 6.1	993 75.2	19 1.4	229 17.3
	男性・40～49歳	1420 100.0	76 5.4	1067 75.1	21 1.5	256 18.0
	男性・50～59歳	1819 100.0	94 5.2	1304 71.7	22 1.2	399 21.9
	男性・60～69歳	2532 100.0	83 3.3	1896 74.9	19 0.8	534 21.1
	男性・70～79歳	1645 100.0	25 1.5	1275 77.5	8 0.5	337 20.5
	女性・20～29歳	1119 100.0	41 3.7	869 77.7	11 1.0	198 17.7
	女性・30～39歳	1937 100.0	75 3.9	1511 78.0	16 0.8	335 17.3
	女性・40～49歳	2050 100.0	101 4.9	1555 75.9	19 0.9	375 18.3
	女性・50～59歳	2098 100.0	79 3.8	1559 74.3	18 0.9	442 21.1
	女性・60～69歳	2536 100.0	61 2.4	1929 76.1	16 0.6	530 20.9
	女性・70～79歳	1662 100.0	19 1.1	1285 77.3	5 0.3	353 21.2

男性( $\chi^2=91.342, df=15, p=0.000 < 0.05$ )女性( $\chi^2=75.212b, df=15, p=0.000 < 0.05$ )

⑤個人宛にハガキなどで検査を通知することによる受検勧奨

個人宛にハガキなどで検査を通知することによる受検勧奨については、40 代以降の年代でやや認知度が高くなる傾向があるが、全体的に認知度が小さい。また、実施している市町村における認知度は低いものの、実施していない市町村に住んでいる回答者の認知度はやや高い傾向がみられた。

図 6-6-2- 6 自治体における普及啓発取組みの効果・個人宛にハガキなどで検査を通知することによる受検勧奨×問9. 年齢

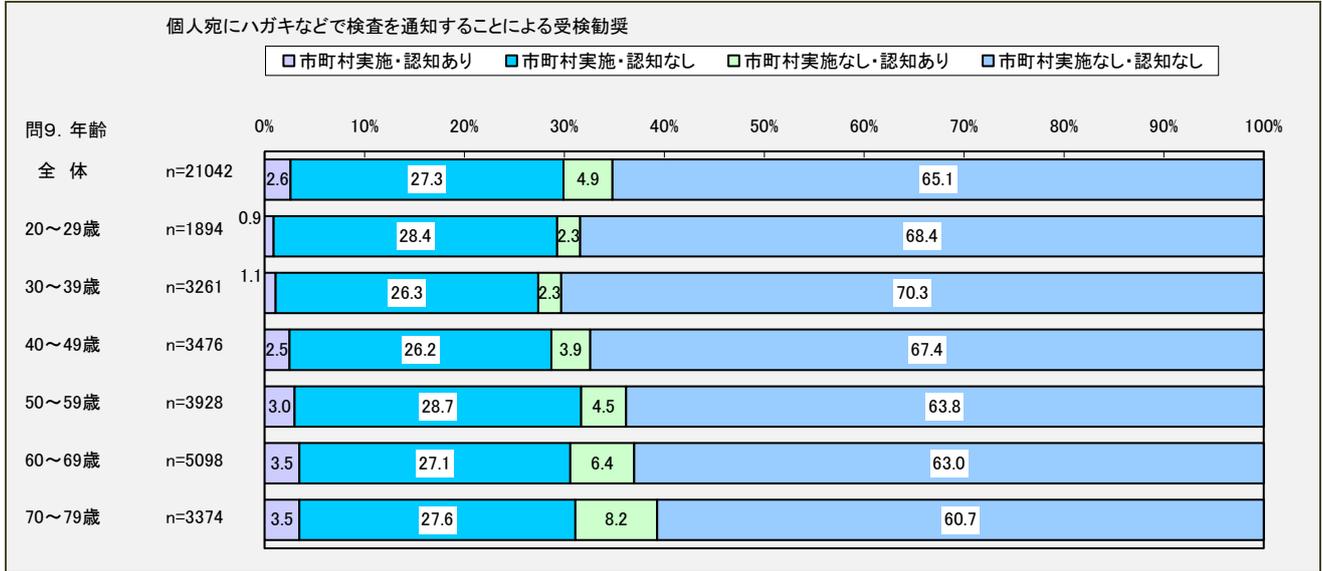


表 6-6-2- 7 自治体における普及啓発取組みの効果・個人宛にハガキなどで検査を通知することによる受検勧奨×問9. 年齢

		個人宛にハガキなどで検査を通知することによる受検勧奨				
		調査数	市町村実施・認知あり	市町村実施・認知なし	市町村実施なし・認知あり	市町村実施なし・認知なし
問9 年齢	全体	21042	555	5751	1036	13700
		100.0	2.6	27.3	4.9	65.1
	20~29歳	1894	17	538	44	1295
		100.0	0.9	28.4	2.3	68.4
	30~39歳	3261	37	857	74	2293
		100.0	1.1	26.3	2.3	70.3
	40~49歳	3476	86	910	136	2344
		100.0	2.5	26.2	3.9	67.4
50~59歳	3928	118	1127	177	2506	
	100.0	3.0	28.7	4.5	63.8	
60~69歳	5098	180	1383	325	3210	
	100.0	3.5	27.1	6.4	63.0	
70~79歳	3374	117	931	278	2048	
	100.0	3.5	27.6	8.2	60.7	

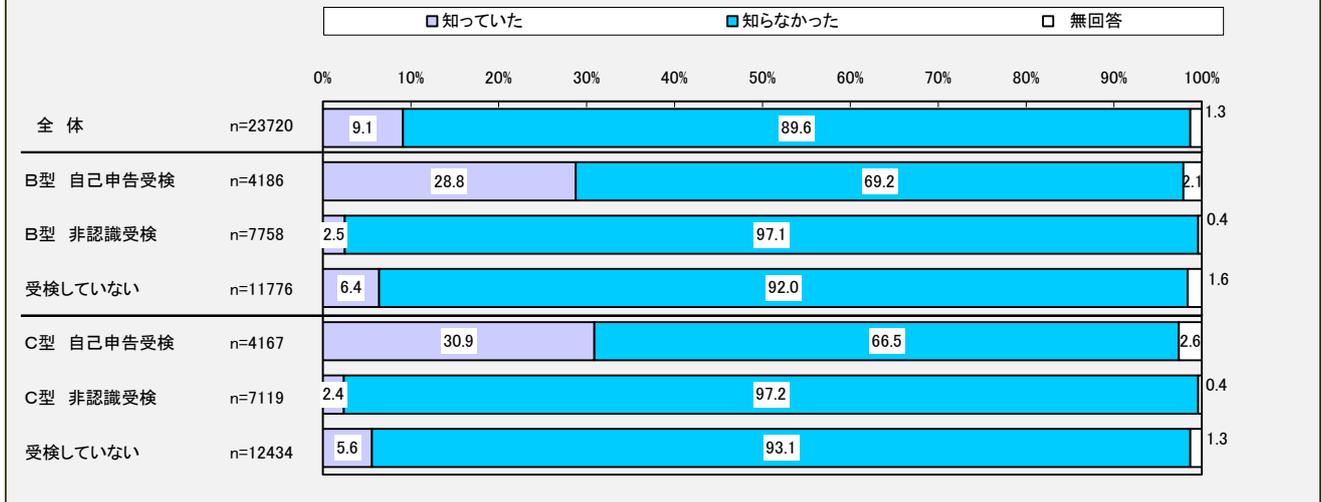
$(\chi^2=295.808, df=15, p=0.000 < 0.05)$

-  肝炎検査の普及啓発に向けた市町村の取組みが実施され、それを認知しているという回答は、「広報誌での情報提供」は 12.9%、「チラシ、ポスター等の医療機関への配布」は 5.1%となっていた。
-  性別・年代別にみると、若年層は全体的に取組を認知している割合が小さいが、「テレビ広報(ケーブルテレビを含む)」や「インターネットホームページでの情報提供」では若干高い傾向を示し、広報紙や新聞といった既存の紙媒体を利用した広報に一定の効果がみられた高齢層とは逆の傾向を示した。また、壮年層の場合は「テレビ広報(ケーブルテレビを含む)」の認知度が低く、女性の場合のみ「インターネットホームページでの情報提供」の認知度がやや高い傾向となっていた。

6-6-3. 問 7 (1) 肝炎の無料検査実施の認知度×受検状況別

図 6-6-3- 1 問7(1)肝炎の無料検査実施の認知度×受検状況別

問7. (1)保健所や一部医療機関では、今まで検査を受けたことのない人を対象に、「肝炎ウイルス検査」を無料で実施しています。このことをご存知でしたか。



肝炎ウイルス検査の無料化について、B型自己申告受検者は、28.8%が「知っている」と回答した。またC型自己申告受検者は、30.9%が「知っている」と回答した。

肝炎の無料検査実施の認知度については、表 6-6-3-1 の通り、B型肝炎ウイルス検査受検状況の違いにおいて 0.1%水準で有意な差がみられた。

具体的にみると、B型肝炎ウイルス検査受検状況別において、自己申告受検者が肝炎の無料検査実施について「知っていた」28.8%に対し、B型非認識受検 2.5%と比べると 26.3 ポイントの差があった。

表 6-6-3- 1 問7(1)肝炎の無料検査実施の認知度×受検状況別(B型肝炎ウイルス検査)

問7. (1) 保健所や一部医療機関では、今まで検査を受けたことのない人を対象に、「肝炎ウイルス検査」を無料で実施しています。

		このことをご存知でしたか			
		調査数	知っていた	知らなかった	無回答
受 肝 炎 検 査 状 況 査	全体	23720	2150	21264	306
		100.0	9.1	89.6	1.3
	B型 自己申告受検	4186	1204	2896	86
		100.0	28.8	69.2	2.1
	B型 非認識受検	7758	192	7535	31
		100.0	2.5	97.1	0.4
	受検していない	11776	754	10833	189
		100.0	6.4	92.0	1.6

$(\chi^2=2517.895, df=2, p=0.000 < 0.05)$

肝炎の無料検査実施の認知度については、表 6-6-3-2 の通り、C型肝炎ウイルス検査受検状況の違いにおいて 0.1%水準で有意な差がみられた。

具体的にみると、C型肝炎ウイルス検査受検状況別において、自己申告受検者が肝炎の無料検査実施について「知っていた」30.9%に対し、C型非認識受検 2.4%と比べると 25.5 ポイントの差があった。

表 6-6-3- 2 問7(1)肝炎の無料検査実施の認知度×受検状況別(C型肝炎ウイルス検査)

問7. (1) 保健所や一部医療機関では、今まで検査を受けたことのない人を対象に、「肝炎ウイルス検査」を無料で実施しています。

		このことをご存知でしたか			
		調査数	知っていた	知らなかった	無回答
	全 体	23720 100.0	2150 9.1	21264 89.6	306 1.3
	受 肝 炎 検 査 状 況 査	C型 自己申告受検	4167 100.0	1287 30.9	2770 66.5
	C型 非認識受検	7119 100.0	171 2.4	6919 97.2	29 0.4
	受検していない	12434 100.0	692 5.6	11575 93.1	167 1.3

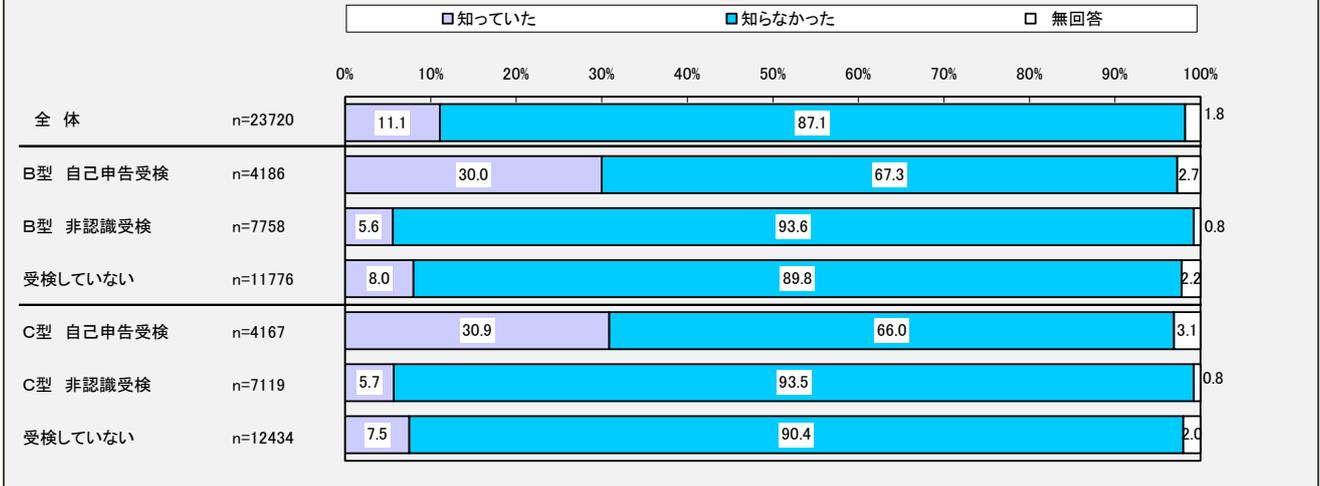
$$(\chi^2=3045.930, df=2, p=0.000 < 0.05)$$

 B型肝炎検査、C型肝炎検査ともに、肝炎検査の無料化について、自己申告受検者は、概ね 3 割が「知っている」と回答した。

6-6-4. 問 7 ( 2 ) 治療費の一部公費補助の認知度×受検状況別

図 6-6-4- 1 問7(2)治療費の一部公費補助の認知度×受検状況別

問7. (2)検査の結果、インターフェロン治療などが必要と診断された人を対象に、治療費の一部は公費補助を受けられます。このことをご存知でしたか。



肝炎ウイルス検査の無料化について、B型自己申告受検者は、30.0%が「知っている」と回答した。またC型自己申告受検者は、30.9%が「知っている」と回答した。

治療費の一部公費補助の認知度については、表 6-6-4-1 の通り、B型肝炎ウイルス検査受検状況の違いにおいて 0.1%水準で有意な差がみられた。

具体的にみると、B型肝炎ウイルス検査受検状況別において、自己申告受検者が肝炎の治療費の一部公費補助について「知っていた」30.0%に対し、B型非認識受検 5.6%と比べると 24.4 ポイントの差があった。

表 6-6-4- 1 問7(2)治療費の一部公費補助の認知度×受検状況別(B型肝炎ウイルス検査)

問7. (2) 検査の結果、インターフェロン治療などが必要と診断された人を対象に、治療費の一部は公費補助を受けられます。

		このことをご存知でしたか			
		調査数	知っていた	知らなかった	無回答
受肝炎検査状況	全体	23720	2634	20651	435
		100.0	11.1	87.1	1.8
	B型 自己申告受検	4186	1254	2818	114
		100.0	30.0	67.3	2.7
	B型 非認識受検	7758	437	7259	62
		100.0	5.6	93.6	0.8
	受検していない	11776	943	10574	259
		100.0	8.0	89.8	2.2

$(\chi^2=1896.313, df=2, p=0.000 < 0.05)$

治療費の一部公費補助の認知度については、表 6-6-4-2 の通り、C型肝炎ウイルス検査受検状況の違いにおいて 0.1%水準で有意な差がみられた。

具体的にみると、C型肝炎ウイルス検査受検状況別において、自己申告受検者が肝炎の治療費の一部公費補助について「知っていた」30.9%に対し、B型非認識受検 5.7%と比べると 25.2 ポイントの差があった。

表 6-6-4- 2 問7(2)治療費の一部公費補助の認知度×受検状況別(C型肝炎ウイルス検査)

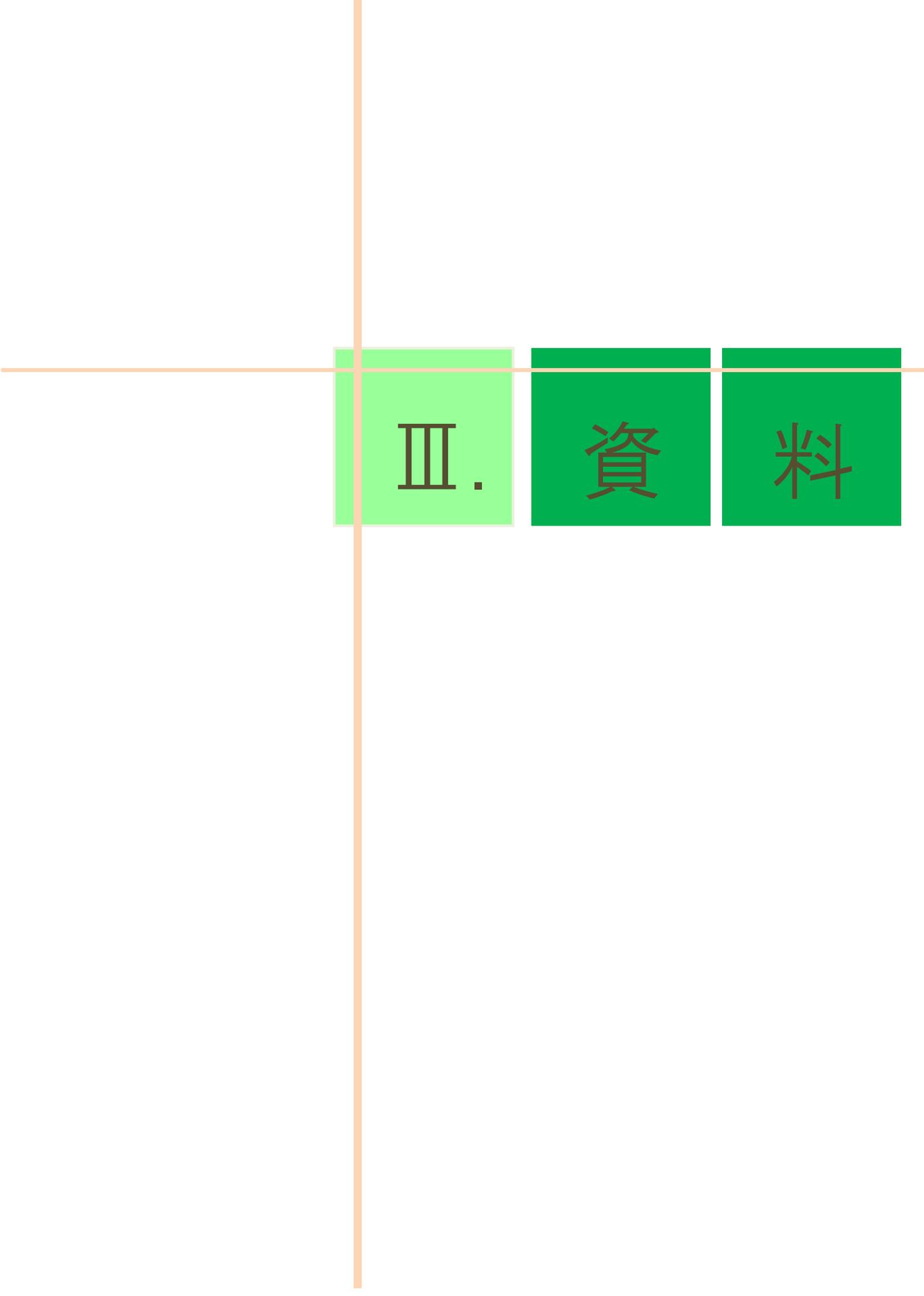
問7. (2) 検査の結果、インターフェロン治療などが必要と診断された人を対象に、治療費の一部は公費補助を受けられます。

		このことをご存知でしたか			
		調査数	知っていた	知らなかった	無回答
	全 体	23720 100.0	2634 11.1	20651 87.1	435 1.8
	受 肝 検 炎 状 検 査	C型 自己申告受検	4167 100.0	1287 30.9	2752 66.0
	C型 非認識受検	7119 100.0	409 5.7	6654 93.5	56 0.8
	受検していない	12434 100.0	938 7.5	11245 90.4	251 2.0

$$(\chi^2=2073.671, df=2, p=0.000 < 0.05)$$

 B型肝炎検査、C型肝炎検査ともに、治療費の一部公費補助について、自己申告受検者の概ね 3 割が「知っている」と回答した。





III.

資

料

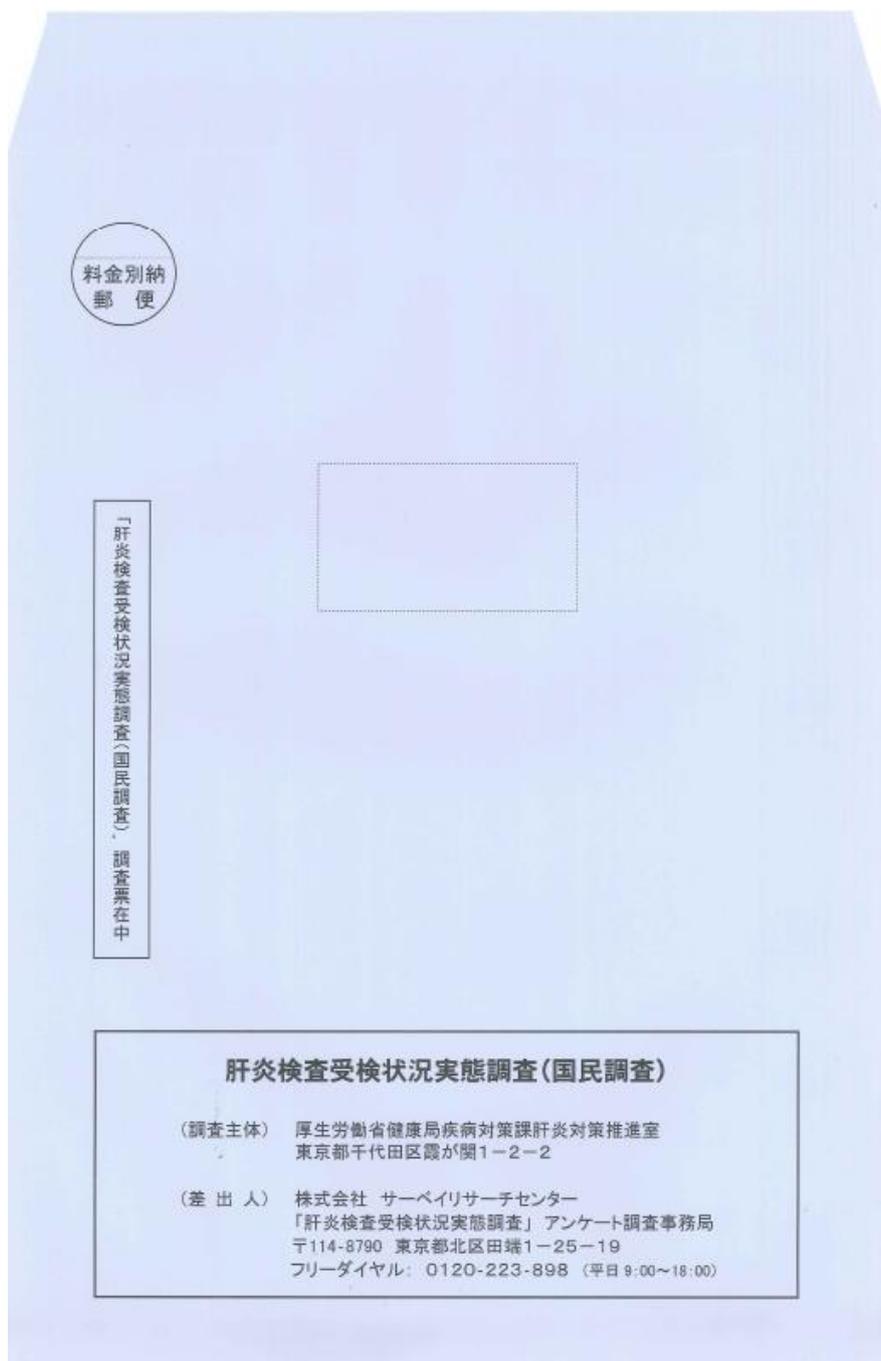


### Ⅲ. 資料

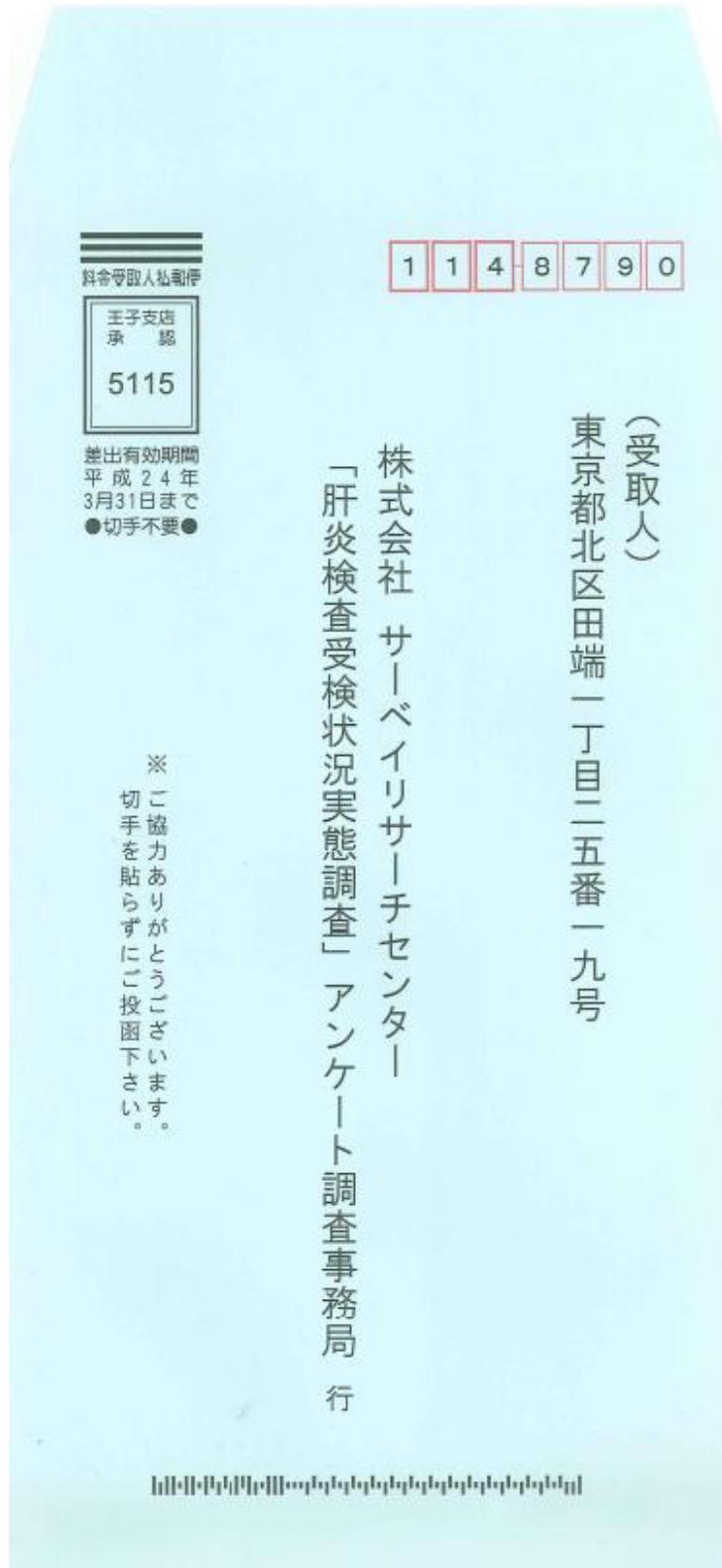
#### 1. 国民調査\_調査資料

##### 1-1. 実査資料

###### (1) 送付用封筒：角形 2号



(2) 送付用封筒：長形 3 号



## (3) 依頼状 (厚生労働省発)

平成 24 年 1 月 吉日

## 「肝炎検査受検状況実態調査」について (協力依頼)

拝啓

時下益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

この度、厚生労働省では、「肝炎検査受検状況実態調査」を実施することとなりました。我が国の肝炎ウイルスの持続感染者は、B型が 110 万人～140 万人、C型が 190 万人～230 万人存在すると推定されていますが、感染時期が明確ではないことや自覚症状がないことが多いため、適切な時期に治療を受けることなく、本人が気づかないうちに肝硬変や肝がんへ移行する感染者が多く存在することが問題となっています。

このため本調査では、国民の皆様がどの程度肝炎ウイルス検査についてご存知か、どの程度肝炎ウイルス検査を受検されているかなどについて網羅的に調査することで、今後の肝炎ウイルス検査の受検促進に関する効果的な施策を検討することとしております。

つきましては、お忙しいとは存じますが、本調査の趣旨をご理解いただき、調査への回答にご協力くださいますようお願い申し上げます。

敬具

\*なお、本調査は株式会社サーベイリサーチセンターに委託して実施しております。

厚生労働省健康局疾病対策課肝炎対策推進室長

神ノ田昌博

#### (4) 依頼状 (サーベイリサーチセンター発)

平成 24 年 1 月 吉日  
株式会社サーベイリサーチセンター

#### 「肝炎検査受検状況実態調査 (国民調査)」ご協力をお願い

時下ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

さて、弊社では厚生労働省補助金事業「平成 23 年度肝炎検査受検状況実態把握事業」を受託しており、この度その事業の一環として、「肝炎検査受検状況実態調査」を実施することとなりました。

ウイルス性肝炎、特に B 型及び C 型肝炎は、国内最大級の感染症と言われ、その対策は国、地方公共団体、健康保険組合などの保険者や医療機関など、様々な機関において取り組まれているところです。本調査は、様々な機関によって行われている B 型及び C 型肝炎検査の受検勧奨取組みによる国民の皆様の受検状況の実態把握と、ウイルス性肝炎に関する正しい知識の普及啓発、それによる更なるウイルス性肝炎検査の受検促進を目的として下記の通り実施するものです。

本調査は、国内に居住する 20 歳から 79 歳の方の中から、市・区役所や町役場の了解を得て住民基本台帳から全国で 370 地点、74,000 人の方を、誠に勝手ながら、**無作為に抽出**させていただきました。その結果、あなた様にご協力をお願いする運びとなり、封書にてごあいさつ申し上げる次第です。

お答えいただく内容には、これまでの肝炎検査受検経験のほか、検査結果や一部既往歴をうかがうことも含んでおりますが、あなた様のお答えいただいた内容は、調査対象者全体として集計し、「全体として何パーセント」というように扱い、あなた様個人のお名前やどのようなお答えをなさったかについて公表することは一切ありません。なお、ご回答は無記名でお願いしており、どなたの回答かは、一切特定することができなくなっております。また、回答内容や個人情報が上記目的以外に使用されたり、外部に漏れたりすることであなた様が不利益を被るようなことはありません。

ご多忙の折に大変お手数をお掛けいたしますが、調査の趣旨をご理解いただき、本アンケートにご協力を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

#### 記

1. ご対象先 : 日本国籍を持つ 20 歳～79 歳までの方
2. ご回答期限 : 平成 24 年 1 月 20 日 (金)
3. 実施方法 : 本調査票への回答と郵送によるご返送
4. アンケート調査の問合せ先 :

株式会社サーベイリサーチセンター 「肝炎検査受検状況実態調査」アンケート調査事務局  
担当：村木 (むらき)、坂本 (さかもと)

電話 : 0120-353-808 (平日 9:00～18:00)

FAX : 03-5832-7060

所在地 : 〒114-8519 東京都北区田端 1-25-19 サントル田端一丁目  
(株式会社サーベイリサーチセンター 田端事務所)

H P : <http://www.surece.co.jp>

5. 厚生労働省担当 :

厚生労働省健康局疾病対策課肝炎対策推進室 西塔(さいとう)、大石(おおいし)



当社は個人情報の保護をお約束する「プライバシーマーク」の認定を受けております。

※調査に関する問い合わせは「4. アンケート調査の問合せ先」へご連絡ください。

## (5) 調査票

## 肝炎検査受検状況実態調査（国民調査）

## 【調査票のご記入にあたって】

- ◇この調査は、国民の皆様がどの程度肝炎検査を受検されているか、どの程度肝炎検査についてご存知かをおうかがいし、今後の肝炎検査受検についての普及啓発のための政策立案の基礎資料とさせていただくことを目的としたアンケートです。
- ◇この調査の対象者は、国内に居住する 20 歳から 79 歳の方の中で、市・区役所や町役場の了解を得て住民基本台帳から全国で 370 地点、無作為に抽出した 74,000 人の方となっております。この調査票をお送りした際の封筒の宛名の方がお答えくださいますようお願いいたします。
- ◇この調査において「肝炎検査」とは、特に説明が無い場合は B 型肝炎検査、C 型肝炎検査両方のことを指します（それ以外の型の肝炎検査については含めません）。
- ◇おたずねする質問の中で、「あてはまる番号ひとつに○をつけて」いただくもの、「あてはまる番号すべてに○をつけて」いただくものがありますが、質問の指示に従い、あてはまる番号に直接○を付けてください。
- ◇おたずねする質問の中で、「その他」の項目番号を選んだ場合には、( ) 内に内容を具体的に記入ください。

ご多用中のところ誠に恐縮ですが、調査票は、平成 24 年 1 月 20 日（金）までにご回答いただき、同封の返信用封筒（切手不要）にてご返送くださいますようお願い申し上げます。

この調査の問合せ先：

株式会社サーベイリサーチセンター 肝炎検査受検状況実態調査 アンケート調査事務局

担当：村木（むらき）、坂本（さかもと）

電話：0120-353-808（平日 9:00～18:00）

FAX：03-5832-7060

所在地：〒114-8519 東京都北区田端 1-25-19 サントル田端一丁目

（株式会社サーベイリサーチセンター 田端事務所）

弊社 HP：http://www.surece.co.jp



当社は個人情報の保護をお約束する「プライバシーマーク」の認定を受けております。

**【すべての方にうかがいます】**

問 1. あなたは、B型肝炎、C型肝炎をご存知ですか。あてはまる回答を以下の(1)(2)の選択肢にそれぞれ○をご記入ください（あてはまる番号それぞれひとつに○をつけてください）。

(1) B型肝炎	1. 具体的な症状や治療方法について知っている 2. 名前は聞いたことがある 3. 知らない
(2) C型肝炎	1. 具体的な症状や治療方法について知っている 2. 名前は聞いたことがある 3. 知らない

<<B型肝炎・C型肝炎と肝炎ウイルス検査とは?>>

■肝炎とは、「肝臓に炎症が起きている状態」、すなわち肝臓の細胞が破壊されている状態を指し、これが肝炎ウイルスによって起こるものを「**ウイルス性肝炎**」といいます。ウイルス性肝炎にはA～E型の5種類があり、なかでもB型及びC型肝炎ウイルスの患者・感染者は合わせて推計300万人を越しており、**国内最大の感染症**とも言われています。

■肝炎ウイルス検査とは、B型、C型などのウイルス性肝炎の感染を判定するための血液検査（採血した検体の検査）です。これは一般的な健康診断で行われている**肝機能検査（AST(GOT)、ALT(GPT)、 $\gamma$ -GTPなどを測定）とは別の検査\***です。

肝炎ウイルス検査は、自ら医療機関等で受ける場合以外に、現在の**献血時**には肝炎ウイルス検査をしています。また**出血を伴う可能性のある手術や、分娩に際して**、医療機関で肝炎ウイルス検査をしている場合があります（概ね1990年代以降には検査されていると考えられます）。

※一般的な健康診断でも、会社や健康保険組合の意向等により肝炎ウイルス検査を行なっている場合もあります。

【次に、あなたご自身の肝炎ウイルス検査に関係がありそうな既往歴についてうかがいます】

問2 あなたご自身は、過去、以下の(1)～(3)についてご経験がありますか。

(I) それぞれの経験について、お答えください

(あてはまる番号ひとつに○をつけてください)。

(II) また、経験がある場合はその時期をお答えください

(複数回の経験がある場合は最近経験した時期をご記入ください)。

種類	(I): 経験の有無	(II): 時期
(1) 大きな外科手術 (全身麻酔での手術)	1. 1回ある 2. 2回以上ある 3. ない	経験が「ある」場合、直近の時期 西暦・昭和・平成( )年頃
(2) 妊娠・出産【女性のみ記入】	1. ある 2. ない	経験が「ある」場合、直近の時期 西暦・昭和・平成( )年
(3) 献血	1. 1回ある 2. 2回以上ある 3. ない	経験が「ある」場合、直近の時期 西暦・昭和・平成( )年

問3 あなたは今までに「肝炎ウイルス検査」を受けたことがありますか

(あてはまる番号ひとつに○をつけてください)。

- |                 |             |
|-----------------|-------------|
| 1. 1回だけ受けたことがある | 3. 受けたことがない |
| 2. 2回以上受けたことがある | 4. 分からない    |

【1または2と答えた方】

4ページの間4にお進みください。

【3と答えた方】

6ページにお進みいただき、問5(1)からお答えください。

【4と答えた方】

6ページにお進みいただき、問5(2)からお答えください。

**【肝炎ウイルス検査を受けたことがある方にうかがいます】**

問 4 検査はどのような経緯で、受けられましたか。これまでに(a)受検したきっかけと(b)受検した場所について、それぞれお答えください。また、問3で「2. 2回以上受けたことがある」とお答えいただいた方は(c)2回以上受けた理由についてもお答えください。

(a)受検したきっかけはどのような理由ですか（あてはまる番号すべてに○をつけてください）。

1. 40歳以上を対象とした検診の通知が、市町村から自分個人宛に送られてきたため
2. 都道府県や政令市のパンフレットやホームページで、保健所・医療機関での無料の検査を知ったため
3. 職場(加盟健康保険組合等を含む)での定期健康診断や人間ドックの検査項目にあったため
4. 手術前の検査、妊娠・出産時の検査、内視鏡検査前などの際に検査されたため
5. 親族や知り合いに肝炎にかかった人がいたため
6. 日本赤十字社の献血センターで献血した際に検査されたため
7. その他（ )
8. 特に理由はない（なんとなく）

(b)受検した場所はどこですか（あてはまる番号すべてに○をつけてください）。

1. 保健所
2. 肝炎検査を受検することを目的として行った医療機関（病院・診療所）
3. 肝炎検査以外の目的で行った医療機関（病院・診療所）
4. 職場内
5. 日本赤十字社の血液センター（献血ルーム等を含む）
6. その他（ )
7. 分からない、覚えていない

(c)【問3で「2. 2回以上受けたことがある」と答えた方に伺います】

2回以上受けたのはどのような理由ですか（あてはまる番号ひとつに○をつけてください）。

1. 前回の検査の結果を忘れたため
2. 前回の検査以降、感染する機会があり、不安が生じたため
3. 前回の検査以降、特に感染機会はなかったが、不安なため
4. 毎年定期的に受検するものと思っていたため
5. 特に理由はない（なんとなく）
6. その他（ )

問 4-1-1 受けられた検査の種類はどの検査ですか  
(あてはまる番号ひとつに○をつけてください)。

1. B型肝炎ウイルス検査
2. C型肝炎ウイルス検査
3. B型肝炎ウイルス検査、C型肝炎ウイルス検査の両方
4. 分からない、覚えていない

問 4-1-2 検査の結果をご存知ですか (あてはまる番号ひとつに○をつけてください)。

1. 知っている
2. 知らない (結果待ちを含む)
3. 分からない、覚えていない

▶ 問 4-1-3 差し支えなければ検査結果をお知らせください  
(あてはまる番号ひとつに○をつけてください)。

1. B型肝炎、C型肝炎いずれも陰性 (感染していなかった)
2. B型肝炎、C型肝炎いずれも陽性 (感染していた)
3. B型肝炎のみ陽性 (感染していた)
4. C型肝炎のみ陽性 (感染していた)
5. 言いたくない

▶ 問 4-1-4 【結果が陽性であった (感染していた) 方におたずねします。】  
結果を受けて、医療機関を受診しましたか  
(あてはまる番号ひとつに○をつけてください)。

1. 受診し、治癒したため、今は受診していない
2. 受診し、現在も継続して定期的を受診している (治療中、経過観察中)
3. 受診したが、医師より受診を終了してよいと言われ、今は受診していない
4. 受診したが、自己判断で通院を中止し、今は受診していない
5. 一度も受診していない

**【肝炎ウイルス検査を受けたことがない方にうかがいます】**

問 5 (1) 検査を受けていない理由はどのような理由からですか  
(あてはまる番号すべてに○をつけてください)。

1. 忙しいから
2. 検査に行くのが面倒だから
3. 費用がかかるから
4. 検査をしてくれる機関や場所がよく分からないから
5. 定期的に受けている健康診断等のメニューにないから
6. 自分は感染していないと思うから
7. 悪い結果を言われるのがいやだから
8. きっかけがなかったから
9. その他 ( )
10. 特に理由はない
11. 分からない、覚えていない
12. 検査について知らないから

**【肝炎ウイルス検査を受けたことがない、分からない方にうかがいます】**

問 5 (2) 今後、機会があれば検査を受けてみたいと思いますか  
(あてはまる番号ひとつに○をつけてください)。

1. ぜひ受けてみたい
2. どちらかといえば受けてみたい
3. 受けたくない
4. 分からない

問 5 (3) どのような行政施策があれば肝炎ウイルス検査を受けてみたいと思いますか  
(あてはまる番号すべてに○をつけてください)。

1. 検査の時間や場所の情報をもっと提供する
2. 検査を受ける理由、検査を受けることでどのような効果があるのか具体的に示す
3. 自分がいつもかかっている医者との連携をとる
4. 検査にかかる費用を安くする
5. 職場や地域(公民館等)で検査を受けられる等、検査の場所を柔軟にする
6. 夜間や土休日等、検査の時間を柔軟にする
7. 定期的に受けている健康診断等のメニューに加える
8. その他 ( )
9. 特にない、分からない





## (6) 記入要領

## 肝炎ウイルス検査受検状況実態調査 ご記入にあたって

## ■ B型肝炎・C型肝炎とは？ 肝炎ウイルス検査とは？

## ■ 肝炎とは、

「肝臓に炎症が起きている状態」、すなわち肝臓の細胞が破壊されている状態を指し、これが肝炎ウイルスによって起こるものを「ウイルス性肝炎」といいます。ウイルス性肝炎にはA～E型の5種類があり、なかでもB型及びC型肝炎ウイルスの患者・感染者は合わせて推計 300 万人を越しており、国内最大の感染症とも言われています。

## ■ 肝炎ウイルス検査とは、

B型、C型などのウイルス性肝炎の感染を判定するための血液検査（採血した検体の検査）です。これは一般的な健康診断で行われている肝機能検査（AST(GOT)、ALT(GPT)、 $\gamma$ -GTPなどを測定）とは別の検査\*です。

肝炎ウイルス検査は、自ら医療機関等で受ける場合以外に、現在の献血時には肝炎ウイルス検査をしています。また出血を伴う可能性のある手術や、分娩に際して、医療機関で肝炎ウイルス検査をしている場合があります（概ね 1990 年代以降には検査されていると考えられます）。

※一般的な健康診断でも、会社や健康保険組合の意向等により肝炎ウイルス検査を行なっている場合もあります。



調査票のご回答にあたり、下記のとおりご案内いたします。

- ・「調査票 記入の際のお願い」…………… 2 ページへ
- ・「調査票 回答の記入例」…………… 2～3 ページへ
- ・「お問合せ頂くことの多いQ&A」…………… 4 ページ上段へ
- ・「肝炎ウイルス検査受検状況実態調査調査」についてご不明な点がありましたら  
…………… 4 ページ下段へ

### ■調査票 記入の際のお願い

- 1) 調査票へご記入いただく際は、黒ボールペンや黒い鉛筆などをご使用ください。
- 2) 各設問の回答の記入方法については、次ページ以降にお示しする記入例等に従ってご記入ください。

### ■調査票 回答の記入例

#### 【「あてはまる番号ひとつに」○をつける場合】

【すべての方にうかがいます】

問 1. あなたは、B型肝炎、C型肝炎をご存知ですか。あてはまる回答以下の(1)(2)の選択肢にそれぞれ○をご記入ください。(あてはまる番号それぞれひとつに○をつけてください)。

(1) B型肝炎	1. 具体的な症状や治療方法について知っている 2. 名前は聞いたことがある 3. 知らない	
(2) C型肝炎	1. 具体的な症状や治療方法について知っている 2. 名前は聞いたことがある 3. 知らない	

#### 【「あてはまる番号ひとつに」○をつける場合】

用意された選択肢について、最も近い選択肢の番号に1つだけ○をつけてください。

#### 【回答していただく問が分岐する場合】

問 2 あなたご自身は、過去、以下の(1)～(3)についてご経験がありますか。

(I) それぞれの経験について、お答えください

(あてはまる番号ひとつに○をつけてください)。

(II) また、経験がある場合はその時期をお答えください

(複数回の経験がある場合は最近経験した時期をご記入ください)。

種類	(I): 経験の有無	(II): 時期
(1) 大きな外科手術 (全身麻酔での手術)	1. 1回ある 2. 2回以上ある 3. ない	経験が「ある」場合、直近の時期 西暦・昭和・平成( )年頃
(2) 妊娠・出産【女性のみ記入】	1. ある 2. ない	経験が「ある」場合、直近の時期 西暦・昭和・平成( )年
(3) 献血	1. 1回ある 2. 2回以上ある 3. ない	経験が「ある」場合、直近の時期 西暦・昭和・平成( )年

#### 【問が分岐する場合】

選択肢の横に記載された指示に従って、回答してください。

例の場合、(I)で選択肢1に○をつけたので、右側の(II)に進みます。

問 2 (I) の回答で経験が「ある」場合、西暦、またはあてはまる年号に○をした上で、カッコ内に具体的な年(数字)を記入してください。

【「あてはまる番号すべてに○」をつける場合】

【肝炎ウイルス検査を受けたことがある方にうかがいます】

問4 検査はどのような経緯で、受けられましたか。これまでに(a)受検したきっかけと(b)受検した場所について、それぞれお答えください。また、問3で「2、2回以上受けたことがある」とお答えいただいた方は(c)2回以上受けた理由についてもお答えください。

(a)受検したきっかけ（あてはまる番号すべてに○をつけてください）

1. 40歳以上を対象とした検診の通知が、市町村から自分個人宛に送られてきたため
2. 都道府県や政令市のパンフレットやHPで、保健所・医療機関での無料の検査を知ったため
3. 職場（加盟健康保険組合等を含む）での定期健康診断や人間ドックの検査項目にあったため
4. 手術前の検査、妊娠・出産時の検査、内視鏡検査前などの際に検査されたため
5. 親族や知り合いに肝炎にかかった人がいたため
6. 日本赤十字社の献血センターで献血した際に検査されたため
7. その他（ ）
8. 特に理由はない（なんとなく）

【あてはまる番号すべてに○をつける場合】

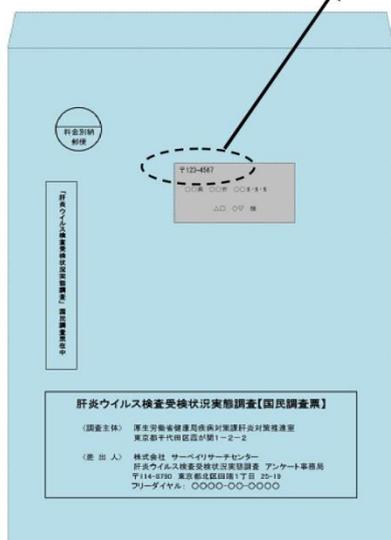
用意された選択肢について、あてはまる選択肢の番号すべてに○をつけてください（複数の選択肢番号に○がついても結構です）。

「その他」を回答する場合は、「その他」の番号に○をした上で、カッコ内に具体的な内容を記入してください。

【数値を記入する場合】

問10. あなたのお住まいの郵便番号を数字でお答えください

〒    -



【数値を記入する場合】

問10につきまして、お住まいの郵便番号を、内に数字を記入してください。

もし、郵便番号がわからない場合は、この調査票をお送りした際の封筒（左図参照）をご参照ください。

## 【お問合せ頂くことの多いQ&Aです】

- Q** この調査を実施しているサーベイリサーチセンターってどんな会社ですか？
- A** ⇒1975年創立の民間の市場調査・世論調査の専門調査会社です。  
官公庁や地方自治体からの世論調査を多く受託しております。  
詳細につきましては、弊社HP (<http://www.surece.co.jp>) をご覧いただけますと幸いです。
- Q** なぜ自分が当たったのですか？どのようにして選んだのですか？
- A** ⇒国内に居住する20歳から79歳の方の中から、全国で370地点、74,000人の方を、お住まいの市・区役所や町役場の了解を得て住民基本台帳から一定の間隔で無作為に選ばせて頂きました。
- Q** 自分の個人情報が流出する心配はないのでしょうか？
- A** ⇒ご回答頂きました内容は「全体として■■と回答した方が●%」というように統計的に処理いたします。また、ご記入いただいた調査票は、調査終了後に適正に廃棄処分をいたしますので、個人のお名前等が外に出るようなことは決してありません。
- Q** 必ず答えなくてはいけないのですか？
- A** ⇒この調査はみなさまのご好意で成り立っているものですので、強制力はありません。ただし、肝炎ウイルス検査や肝炎に関するご理解の深さなど、厚生労働省や都道府県、市区町村など行政の基礎資料として大変意義深いものとなりますため、是非ともご協力のほど、お願いいたします。

上記の他、ご不明な点がございましたら下記までご連絡ください。

### 調査票返送先及びお問合せ先

(調査実施機関) **株式会社 サーベイリサーチセンター**

「肝炎検査受検状況実態調査」 アンケート調査事務局 (担当: 村木・坂本)

TEL 0120-353-808 (受付時間: 平日9時~18時)

FAX 03-5832-7060

ホームページ <http://www.surece.co.jp>

注)本調査は、(株)サーベイリサーチセンターが、厚生労働省健康局肝炎対策室の補助金事業により、実施するものです。

(7) 検査勧奨パンフレット（肝炎対策推進室より原稿貸与）

肝炎ウイルス検査のお知らせ

肝臓は、  
あなたが聞いてみなければ、  
何も言わない。



肝臓は体の中で一番大きく、とても重要な臓器です。  
肝臓では、2500億個の細胞が、日々血液の解毒や、栄養分の貯蔵などを行い、あなたの体を健康に保っています。

そんな肝臓のニックネームは、「沈黙の臓器」。  
例えば肝炎になっても、肝臓はなかなかSOSを出しません。  
あなたが「体がだるい」と気付くころには、その肝臓はかなりの重症になってしまっています。

でも大丈夫。肝炎の原因であるウイルスは、検査で分かります。\*

肝炎ウイルスに感染していても、適切な健康管理・治療で、肝炎から肝硬変や肝がんに悪化するのを予防することが可能です。

\*肝炎のほとんどは、肝炎ウイルスによって起きる「ウイルス性肝炎」です



早期発見、早期治療！

とにかく一度  
検査を受けてみてください。

検査を受けるには？

## 肝炎の検査を受けるには？



### 【どんな検査？】

肝炎ウイルスに感染しているかどうかは、採血検査で判断します。採血だけなので短時間で済み、また、数週間で検査結果をお知らせできます。

※感染後は3ヶ月ほどたたないと、陽性にならないこともあります。

### 【どこで受けられるの？】

検査を受診する機会は、以下のようなものがあります。

- ・お住まいの市町村での地域検診
- ・お住まいの都道府県等の保健所での検診

具体的な実施日程や費用などは、それぞれの実施主体(下線部)によって異なりますので、別途お問い合わせください。

※肝炎についてもっと知りたい方は「一般的なQ&A」をご参照ください。

<http://www.mhlw.go.jp/bunya/kenkou/kekaku-kansenshou09/index.html>

### (お問い合わせ先)

- 厚生労働省健康局疾病対策課 肝炎対策推進室

TEL:03-5253-1111(月～金曜日、9時半～18時)

URL:<http://www.mhlw.go.jp>

- ウイルス肝炎研究財団(病気の相談)

TEL:03-5689-8202(月～金曜日、10時～16時)

URL:<http://www.vhfj.or.jp/> Mail: [vhfj@jeans.ocn.ne.jp](mailto:vhfj@jeans.ocn.ne.jp)

(製作) 厚生労働省健康局



このパンフレットは、平成20年3月時点のものです。

## 1-2. 調査準備資料

## (1) 住民基本台帳閲覧依頼状（厚生労働省発）

健 発 1014 第 7 号  
平成 23 年 10 月 14 日

住民基本台帳事務主管部長 殿

厚生労働省健康局長

住民基本台帳の一部の写しの閲覧について（依頼）

平素は、厚生労働行政に格別の御理解と御協力を賜り、厚くお礼申し上げます。

このたび、厚生労働省健康局では、肝炎ウイルス検査の受検状況の実態を把握し、未受検者への効果的な受検促進や種々の必要な施策等を検討することにより、肝炎総合対策のより一層の充実強化を図ることを目的として「肝炎ウイルス検査受検状況実態調査」を実施する予定となりました。

つきましては、御多用のところ誠に恐縮ですが、本調査の実施にあたり、貴職所管の住民基本台帳から調査の対象者を抽出させていただきたく、格段のご配慮をお願い申し上げます。

なお、閲覧を行う当該調査の委託先に対し、閲覧事項を本調査以外の目的で使用することなく、個人情報 は委託先で厳重に管理・保管し、委託業務終了後には完全に破棄処分するよう指示しております。

記

- 1 閲覧目的  
肝炎ウイルス検査受検状況実態調査の実施における調査対象者を抽出するため
- 2 調査実施主体  
厚生労働省健康局疾病対策課肝炎対策推進室  
東京都千代田区霞が関 1-2-2（代表）03-5253-1111（内線）2948 担当：西塔 哲
- 3 閲覧場所  
貴区市町村住民基本台帳事務主管課又は支所・出張所
- 4 閲覧者  
調査委託先：株式会社サーペイリサーチセンター  
東京都荒川区西日暮里 2-40-10 電話 03-3802-6757
- 5 閲覧時期  
平成 23 年 10 月 28 日（金）～平成 23 年 12 月 22 日（火）までの間の 1 日～3 日  
（別途、電話で日時の御都合をお尋ねいたします。）
- 6 1 地点あたりのサンプル数  
210 名
- 7 閲覧対象地域  
別紙のとおり  
なお、別紙地点で抽出しきれない場合には、近隣地域から抽出させていただきます。



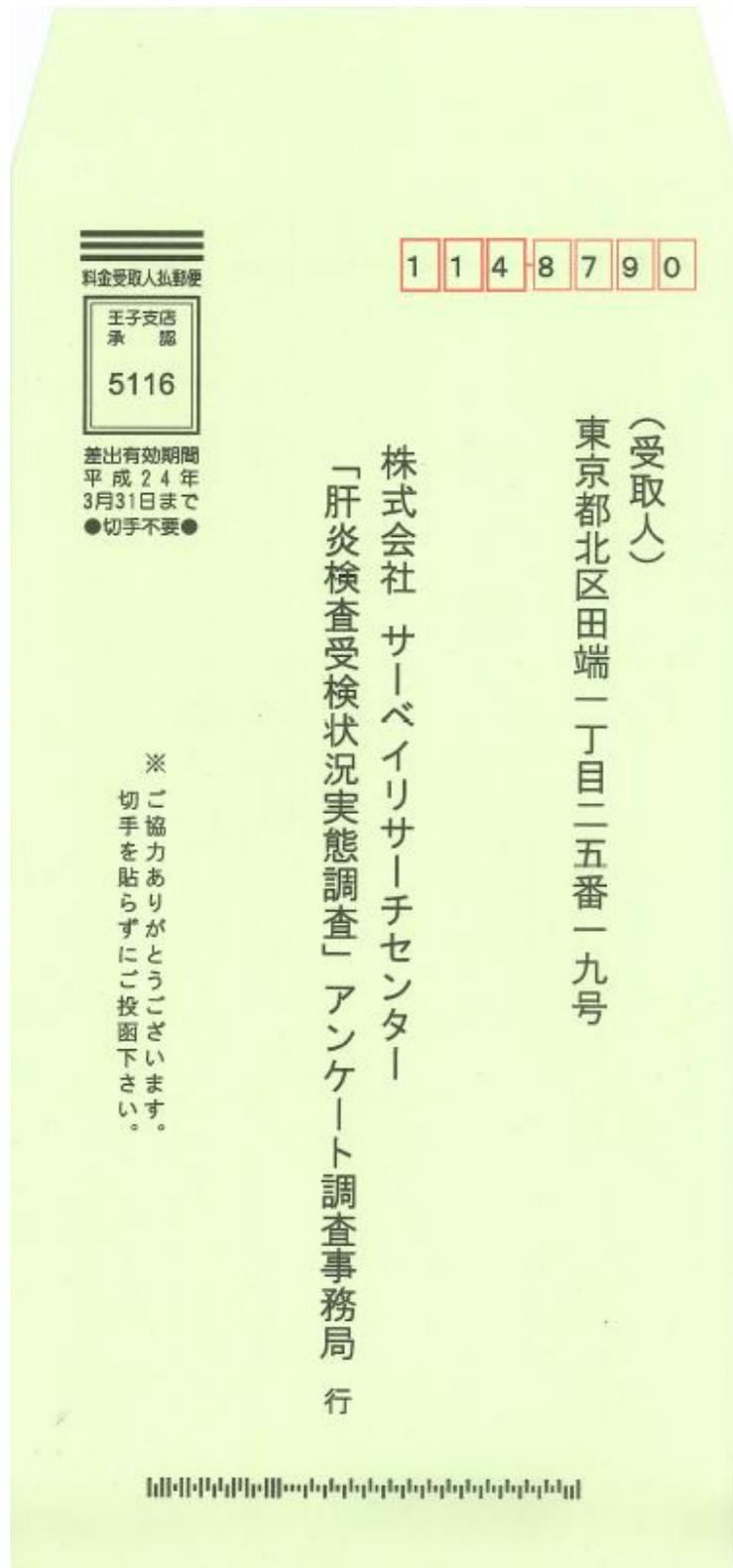
## 2. 保険者調査\_調査資料

### 2-1. 実査資料

#### (1) 送付用封筒：角形 2 号



(2) 送付用封筒：長形 3 号



### (3) 依頼状 (厚生労働省発)

【 事 務 連 絡 】

平成 23 年 12 月 16 日

保健事業担当課長 殿

厚生労働省健康局疾病対策課肝炎対策推進室長

「肝炎検査受検状況実態調査 (保険者調査)」について (協力依頼)

拝啓

平素より肝炎対策の推進につきましては格別の御高配をいただき、厚く御礼申し上げます。

さて、ウイルス性肝炎、特にB型及びC型肝炎は、国内最大級の感染症といわれ、現在その対策は貴組合を含め、様々な機関において取り組まれているところです。一方、多様な主体による肝炎検査への受検勧奨が、結果として本当に受検勧奨が必要な方々に届いているか、その効果が見えにくいとの指摘も受けているところです。

そこで、この度、厚生労働省では「平成23年度肝炎検査受検状況実態把握事業」において、様々な実施主体による肝炎検査の受検状況や受検勧奨等の実態について網羅的な調査を実施することといたしました。

この調査研究により、重点的な受検勧奨が必要な方々や、効果的な受検勧奨の方法等を分析し、今後の取組に資する情報を得ることとしておりますので、貴職におかれましては、本調査の趣旨を御理解いただき、御協力をいただきますよう、お願い申し上げます。

敬具

\*なお、本調査は株式会社サーベイリサーチセンターに委託して実施しております。

#### (4) 依頼状 (サーベイリサーチセンター発)

平成 23 年 1 2 月 吉日  
株式会社サーベイリサーチセンター

##### 「肝炎検査受検状況実態調査 (保険者調査)」ご協力をお願い

時下ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

さて、弊社では厚生労働省補助金事業「平成 23 年度肝炎検査受検状況実態把握事業」を受託しており、この度その事業の一環として、「肝炎検査受検状況実態調査」を実施することとなりました。

ご存知の通り、ウイルス性肝炎、特に B 型及び C 型肝炎は、国内最大級の感染症と言われ、その対策は国、地方公共団体や保険者団体の皆様方や医療機関など、様々な機関において取り組まれているところです。

本調査は、様々な機関によって行われている B 型及び C 型肝炎検査の受検勧奨取組みのうち、組合による取組みおよび検査受検の実績について確認し、同時に実施する国民一般を対象にした調査との比較を行なった上で、今後の受検勧奨取組みをより効果的なものとするための施策の基礎資料とすることを目的としております。

お答えいただく内容には、これまでの肝炎検査受検者実績などを含んでおりますが、貴組合のお答えいただいた内容は、調査対象団体全体として集計し、「全体として何パーセント」というように扱い、貴組合のお名前やどのようなお答えをなさったかについて公表することは一切ありません。

ご多忙の折に大変お手数をお掛けいたしますが、調査の趣旨をご理解いただき、本アンケートにご協力を賜りますようお願い申し上げます。

##### 記

1. ご対象先 : 保険者団体 保健事業 御担当部門の方
2. ご回答期限 : 平成 24 年 1 月 13 日 (金)
3. 実施方法 : 本調査票への回答と郵送によるご返送
4. アンケート調査の問合せ先 :

株式会社サーベイリサーチセンター 社会情報部 リサーチ 2 課

担当 : 村木 (むらき)、坂本 (さかもと)

電話 : 0120-223-898 (平日 9:00~18:00)

所在地 : 〒114-8519 東京都北区田端 1-25-19 サントル田端一丁目

(株式会社サーベイリサーチセンター 田端事務所)

H P : <http://www.surece.co.jp>

5. 厚生労働省担当 :

厚生労働省健康局疾病対策課肝炎対策推進室 西塔(さいとう)、大石(おおいし)



当社は個人情報の保護をお約束する  
「プライバシーマーク」の認定を受けております。

※調査に関する問い合わせは「4. アンケート調査の問合せ先」へご連絡ください。

## (5) 調査票

### 肝炎検査受検状況実態調査（保険者調査）

本調査では、貴組合におけるウイルス性肝炎検査受検状況や、ウイルス性肝炎に関する正しい知識の普及啓発状況、貴組合の肝炎対策の計画策定状況等についての実態把握を目的として実施するものです。

ご多用中のところ誠に恐縮ですが、調査票は平成24年1月13日（金）までにご回答いただき、同封の返信用封筒にてご返送くださいますようお願いの程、お願い申し上げます。

この調査の問合せ先：

株式会社サーベイリサーチセンター 社会情報部 リサーチ2課

担当：村木（むらき）、坂本（さかもと）

電 話：0120-223-898（平日9:00～18:00）

所在地：〒114-8519 東京都北区田端1-25-19 サントル田端一丁目

（株式会社サーベイリサーチセンター 田端事務所）

弊社HP：<http://www.surece.co.jp>

#### 【調査票記入時のご留意事項】

- 1) 選択項目では該当するもの1つ、あるいは複数回答可の設問は該当するもの全てを選び、あてはまる番号に直接○を付けてください。
- 2) 選択項目のうち、「その他」を選んだ場合には、必要に応じて内容をご記入ください。

#### I. 保険者の基本情報

問1 貴組合における保険適用者数について、以下の表にそれぞれお答えください。

		被保険者		被扶養者	
		男性	女性	男性	女性
保険適用者数 (H23.3月末)	総数	人	人	人	人
	～19歳	人	人	人	人
	20～29歳	人	人	人	人
	30～39歳	人	人	人	人
	40～49歳	人	人	人	人
	50～59歳	人	人	人	人
	60～69歳	人	人	人	人
	70～74歳	人	人	人	人

Ⅱ. 被保険者としての肝炎ウイルス検査の実施状況

問 2-1 貴組合におけるB型肝炎ウイルス検査の実施体制について、(1)被保険者、(2)被扶養者それぞれについてお答えください（〇はあてはまる番号にそれぞれひとつつけてください）。

(1)被保険者 1~3 の場合 は付問へ	1. 事業主が行う健診時に必ず受検する項目にしている 2. 事業主が行う健診時に任意で付加する項目にしている 3. 事業主が行う健診とは別に人間ドック等検診事業として実施 4. 検査は実施していない
(1)付問 B型肝炎 ウイルス検査の自己負担	1. なし 2. あり → 平均 (            ) 円 ※肝炎検査のみの金額が分かる場合にのみご記入ください
(2)被扶養者 1 の場合 は付問へ	1. 人間ドック等検診事業として検査を実施している 2. 検査は実施していない
(2)付問 B型肝炎 ウイルス検査の自己負担	1. なし 2. あり → 平均 (            ) 円 ※肝炎検査のみの金額が分かる場合にのみご記入ください

- ◎ (1)または(2)のいずれかで「検査を実施している」と回答された方は...  
 ⇒ 問2-1-1にお答えください
- ◎ (1)および(2)の両方も「検査は実施していない」と回答された方は...  
 ⇒ 問2-1-2にお答えください

## 【問 2-1 (1) で 1~3、または問 2-1 (2) で 1 と答えた方にお聞きします】

問 2-1-1 B型肝炎ウイルス検査を実施している経緯を、被保険者・被扶養者それぞれについてお教え下さい（〇はいくつでもあてはまる番号につけてください）。

(1)被保険者	1. 定期健診の必須項目に入っているから 2. 組合加入事業所からの実施要請により 3. 本人からの要望により 4. 厚生労働省からの実施勧奨により 5. 加入事業所に海外派遣者が多いため 6. その他（ ）
(2)被扶養者	1. 組合加入事業所からの実施要請により 2. 本人からの要望により 3. 厚生労働省からの実施勧奨により 4. 加入事業所に海外派遣者が多いため 5. その他（ ）

## 【問 2-1 (1) で 4、問 2-1 (2) で 2 と答えた方にお聞きします】

問 2-1-2 B型肝炎ウイルス検査を実施していない理由を、被保険者・被扶養者それぞれについてお教え下さい（〇はいくつでもあてはまる番号につけてください）。

(1)被保険者	1. 事業主側で実施しているため 2. 被保険者・被扶養者から特段の要望がなかったため 3. 市町村や保健所で実施しているため 4. その他（ ）
(2)被扶養者	1. 事業主側で実施しているため 2. 被保険者・被扶養者から特段の要望がなかったため 3. 市町村や保健所で実施しているため 4. その他（ ）

問 2-2 貴組合におけるC型肝炎ウイルス検査の実施体制について、(1)被保険者、(2)被扶養者それぞれについてお答えください（〇はあてはまる番号にそれぞれひとつつけてください）。

(1)被保険者	1~3 の場合 は付問へ ↓	1. 事業主が行う健診時に必ず受検する項目にしている
(1)付問 C型肝炎 ウイルス検査の自己負担		2. 事業主が行う健診時に任意で付加する項目にしている 3. 事業主が行う健診とは別に人間ドック等検診事業として実施 4. 検査は実施していない
(2)被扶養者	1 の場合 は付問へ ↓	1. なし
(2)付問 C型肝炎 ウイルス検査の自己負担		2. あり → 平均 (            ) 円 ※肝炎検査のみの金額が分かる場合にのみご記入ください
		1. 人間ドック等検診事業として実施している
		2. 検査は実施していない
		1. なし
		2. あり → 平均 (            ) 円 ※肝炎検査のみの金額が分かる場合にのみご記入ください

- ◎ (1)または(2)のいずれかで「検査を実施している」と回答された方は...  
⇒ 問2-2-1にお答えください
- ◎ (1)および(2)の両方も「検査は実施していない」と回答された方は...  
⇒ 問2-2-2にお答えください

## 【問 2-2 (1) で 1~3、または問 2-2 (2) で 1 と答えた方にお聞きします】

問 2-2-1 C型肝炎ウイルス検査を実施している経緯を、被保険者・被扶養者それぞれについてお教え下さい（〇はいくつでもあてはまる番号につけてください）。

(1)被保険者	1. 定期健診の必須項目に入っているから 2. 組合加入事業所からの実施要請により 3. 本人からの要望により 4. 厚生労働省からの実施勧奨により 5. 加入事業所に海外派遣者が多いため 6. その他（ ）
(2)被扶養者	1. 組合加入事業所からの実施要請により 2. 本人からの要望により 3. 厚生労働省からの実施勧奨により 4. 加入事業所に海外派遣者が多いため 5. その他（ ）

## 【問 2-2 (1) で 4、問 2-2 (2) で 2 と答えた方にお聞きします】

問 2-2-2 C型肝炎ウイルス検査を実施していない理由を、被保険者・被扶養者それぞれについてお教え下さい（〇はいくつでもあてはまる番号につけてください）。

(1)被保険者	1. 事業主側で実施しているため 2. 被保険者・被扶養者から特段の要望がなかったため 3. 市町村や保健所で実施しているため 4. その他（ ）
(2)被扶養者	1. 事業主側で実施しているため 2. 被保険者・被扶養者から特段の要望がなかったため 3. 市町村や保健所で実施しているため 4. その他（ ）

問3 最近5年間の貴組合におけるB型肝炎ウイルス検査・C型肝炎ウイルス検査の実績についてうかがいます。以下の(1)(2)の表に事業年度別、被保険者／被扶養者別の受検者人数をお答えください。また、そのうち陽性の方の人数もわかる場合はお答えください。  
 ※実施していない年度については「0」とご記入ください。  
 ※陽性者など、人数が分からない箇所には何もご記入いただかなくて結構です。

※B型・C型検査を同時に実施しており、それぞれの検査別の人数が回答出来ない場合は、右の欄に〇をご記入いただき、(1)にのみ人数をご記入ください。 →

(1) B型肝炎ウイルス検査

B型肝炎ウイルス検査			平成 18年度	平成 19年度	平成 20年度	平成 21年度	平成 22年度
(1)被 保 険 者	保険者が実施 する健診事業 (事業主から 受託した健診 を含む)	受検者	人	人	人	人	人
		うち 陽性者	人	人	人	人	人
(2)被 扶 養 者	保険者が実施 する健診事業	受検者	人	人	人	人	人
		うち 陽性者	人	人	人	人	人

(2) C型肝炎ウイルス検査

C型肝炎ウイルス検査			平成 18年度	平成 19年度	平成 20年度	平成 21年度	平成 22年度
(1)被 保 険 者	保険者が実施 する健診事業 (事業主から 受託した健診 を含む)	受検者	人	人	人	人	人
		うち 陽性者	人	人	人	人	人
(2)被 扶 養 者	保険者が実施 する健診事業	受検者	人	人	人	人	人
		うち 陽性者	人	人	人	人	人

問3-1 上記肝炎ウイルス検査を同一人物が複数回受検しているかどうかについて確認をしていますか。

1. 重複受検がないよう、過去の受検者名簿等をもとに確認している
2. 特に確認はしていない



## (6) 督促はがき

### 「肝炎検査受検状況実態調査（保険者調査）」 ご協力のお礼ならびにご回答のお願い

拝啓

時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

過日、ご依頼申し上げました標記調査について、ご回答はいただきましたでしょうか。

すでに回答いただき、ご返送くださいました皆様におかれましては、ご協力を賜りまして、誠にありがとうございました。

まだご回答頂いていない皆様には、回答期限後ではございますが、本調査の趣旨をご理解いただき、ご回答いただきますようお願いいたします。ご返信は調査票に記入の上、同封されております返信用封筒にてご投函くださいますようお願い申し上げます。

本状では、お忙しいところにご協力をいただいたお礼を申し上げたく、すでにご回答いただいたご担当者様にもお送りしております。本状がご回答と行き違っておりました場合は、ご容赦いただきますようお願い申し上げます。

敬具

平成 24 年 1 月

【アンケート調査の問合せ先】

株式会社 サーベイリサーチセンター

担当：村木（むらき）、坂本（さかもと）

TEL：0120-223-898（平日9:00~18:00）

【厚生労働省担当】

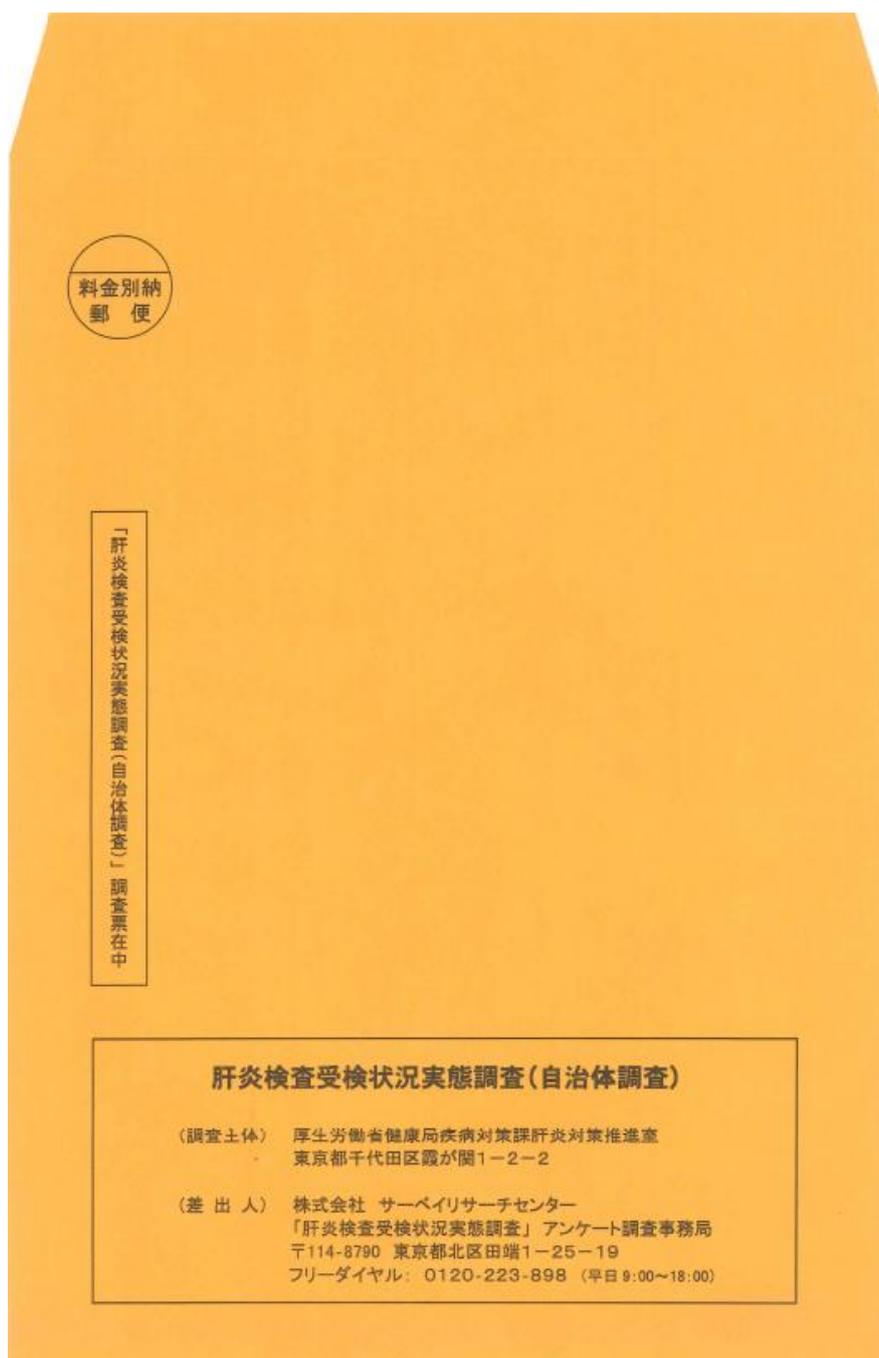
厚生労働省健康局疾病対策課肝炎対策推進室

西塔（さいとう）、大石（おおいし）

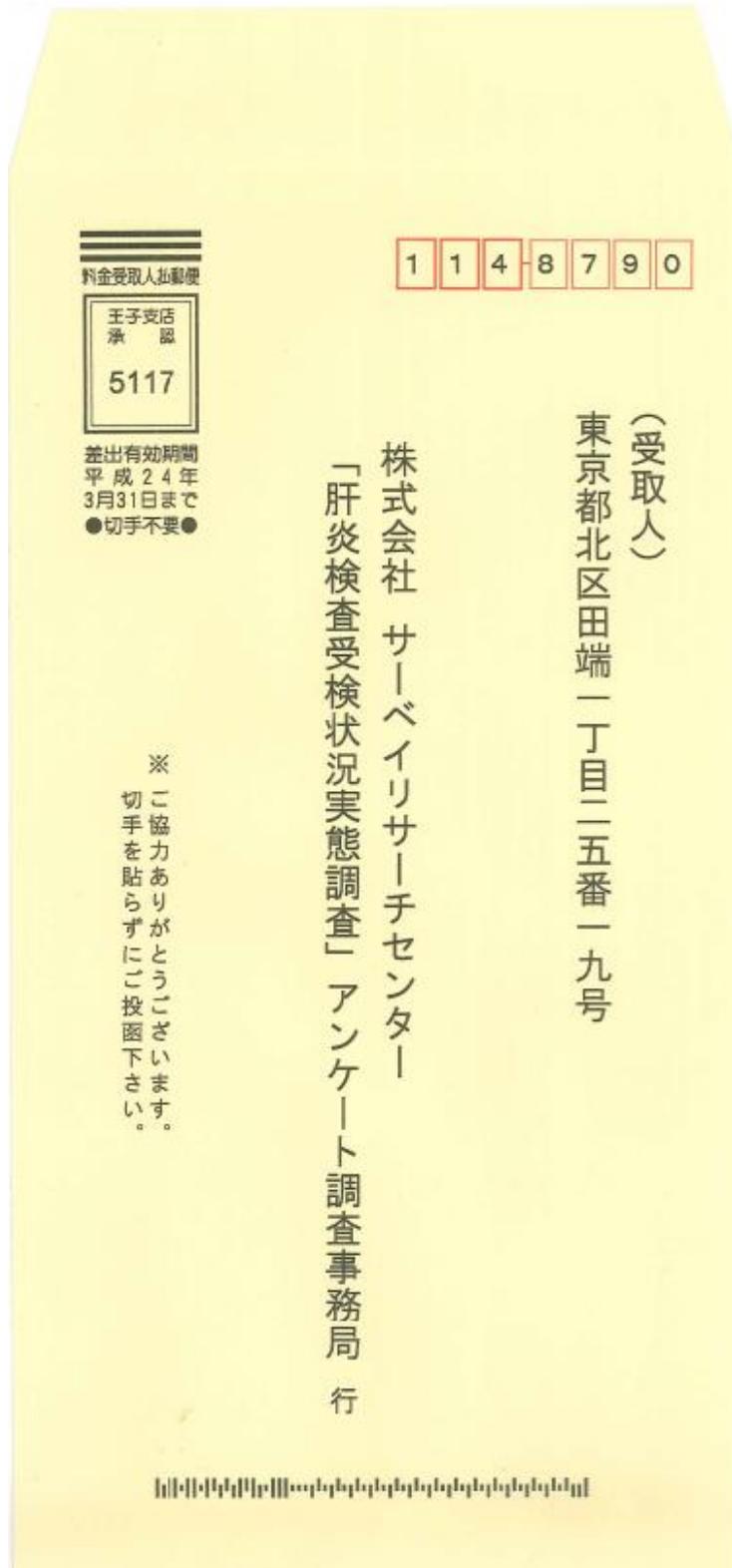
### 3. 自治体調査\_調査資料

#### 3-1. 実査資料

##### (1) 送付用封筒：角形 2 号



(2) 送付用封筒：長形 3 号



### (3) 依頼状（厚生労働省発）

【 事 務 連 絡 】

平成 23 年 12 月 13 日

各市町村肝炎対策担当課長 殿

厚生労働省健康局疾病対策課肝炎対策推進室長

「肝炎検査受検状況実態調査（自治体調査）」について（協力依頼）

拝啓

平素より肝炎対策の推進につきましては格別の御高配をいただき、厚く御礼申し上げます。

さて、ウイルス性肝炎、特にB型及びC型肝炎は、国内最大級の感染症といわれ、現在その対策は貴自治体を含め、様々な機関において取り組まれているところです。一方、多様な主体による肝炎検査への受検勧奨が、結果として本当に受検勧奨が必要な方々に届いているか、その効果が見えにくいとの指摘も受けているところです。

そこで、この度、厚生労働省では「平成 23 年度肝炎検査受検状況実態把握事業」において、様々な実施主体による肝炎検査の受検状況や受検勧奨等の実態について網羅的な調査を実施することといたしました。

この調査研究により、重点的な受検勧奨が必要な方々や、効果的な受検勧奨の方法等を分析し、今後の取組に資する情報を得ることとしておりますので、貴職におかれましては、本調査の趣旨を御理解いただき、御協力をいただきますよう、お願い申し上げます。

敬具

\*なお、本調査は株式会社サーベイリサーチセンターに委託して実施しております。

#### (4) 依頼状 (サーベイリサーチセンター発)

平成 23 年 12 月 吉日  
株式会社サーベイリサーチセンター

#### 「肝炎検査受検状況実態調査 (自治体調査)」ご協力をお願い

時下ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

さて、弊社では厚生労働省補助金事業「平成 23 年度肝炎検査受検状況実態把握事業」を受託しており、この度その事業の一環として、「肝炎検査受検状況実態調査」を実施することとなりました。

ご存知の通り、ウイルス性肝炎、特に B 型及び C 型肝炎は、国内最大級の感染症と言われ、その対策は国、貴自治体を含む地方公共団体や、保険者や医療機関など、様々な機関において取り組まれているところです。

本調査は、様々な機関によって行われている B 型及び C 型肝炎検査の受検勧奨取組みのうち、自治体の皆様による取組みおよび検査受検の実績について確認し、同時に実施する国民一般を対象にした調査との比較を行なった上で、今後の受検勧奨取組みをより効果的なものとするための施策の基礎資料とすることを目的としております。

お答えいただく内容には、これまでの肝炎検査受検経験のほか、検査結果や、一部既往歴をうかがうことも含んでおりますが、貴自治体のお答えいただいた内容は、調査対象団体全体として集計し、「全体として何パーセント」というように扱い、貴自治体のお名前やどのようなお答えをなされたかについて公表することは一切ありません。

ご多忙の折に大変お手数をお掛けいたしますが、調査の趣旨をご理解いただき、本アンケートにご協力を賜りますようよろしくお願い申し上げます。

#### 記

1. ご対象先 : 市町村における肝炎対策御担当者様
2. ご回答期限 : 平成 23 年 12 月 28 日 (水)
3. 実施方法 : 本調査票への回答と郵送によるご返送
4. アンケート調査の問合せ先 :

株式会社サーベイリサーチセンター 社会情報部 リサーチ 2 課

担当: 村木 (むらき)、坂本 (さかもと)

電 話: 0120-223-898 (平日 9:00~18:00)

所在地: 〒114-8519 東京都北区田端 1-25-19 サントル田端一丁目

(株式会社サーベイリサーチセンター 田端事務所)

H P : <http://www.surece.co.jp>

5. 厚生労働省担当 :

厚生労働省健康局疾病対策課肝炎対策推進室 西塔(さいとう)、大石(おおいし)



当社は個人情報の保護をお約束する「プライバシーマーク」の認定を受けております。

※調査に関する問い合わせは「4. アンケート調査の問合せ先」へご連絡ください。

## (5) 調査票

## 肝炎検査受検状況実態調査（自治体調査）

本調査では、貴自治体におけるウイルス性肝炎検査受検状況や、ウイルス性肝炎に関する正しい知識の普及啓発状況、貴自治体の肝炎対策の計画策定状況等についての実態把握を目的として実施するものです。

ご多用中のところ誠に恐縮ですが、調査票は平成 23 年 1 月 28 日（水）までにご回答いただき、同封の返信用封筒にてご返送くださいますようお願いの程、お願い申し上げます。

この調査の問合せ先：

株式会社サーベイリサーチセンター 社会情報部 リサーチ 2 課

担当：村木（むらき）、坂本（さかもと）

電 話：0120-223-898（平日 9:00~18:00）

所在地：〒114-8519 東京都北区田端 1-25-19 サントル田端一丁目

（株式会社サーベイリサーチセンター 田端事務所）

弊社 HP：<http://www.surece.co.jp>

## 【調査票記入時のご留意事項】

- 1) 選択項目では該当するもの 1 つ、あるいは複数回答可の設問は該当するもの全てを選び、あてはまる番号に直接○を付けてください。
- 2) 選択項目のうち、「その他」を選んだ場合には、必要に応じて内容をご記入ください。

## 問 1. 貴自治体の人口についてうかがいます

（平成 22 年度末の住民基本台帳ベース。外国人を含む）

	男性	女性
20 歳～79 歳人口総数	人	人
20～29 歳	人	人
30～39 歳	人	人
40～49 歳	人	人
50～59 歳	人	人
60～69 歳	人	人
70～79 歳	人	人

問 2. 肝炎対策基本法 9 条 1 項が策定を義務づけている「肝炎対策基本指針」による、貴自治体における肝炎対策推進にかかる計画・指針等の策定状況について、お答えください。

- |                                     |   |        |   |                |
|-------------------------------------|---|--------|---|----------------|
| 1. 策定済みである                          | → | 策定年月   | : | 平成 ( ) 年 ( ) 月 |
| 2. 策定中である                           | → | 策定予定年月 | : | 平成 ( ) 年 ( ) 月 |
| 3. 策定していない (都道府県の基本計画・指針等に基づき施策を展開) |   |        |   |                |

問 3. 貴自治体には、肝炎ウイルス検査の受検促進を盛り込んだその他の計画・指針等 (例: 医療計画・がん対策推進計画等) がありますか。

- |  |
|--|
| 1. 肝炎ウイルス検査の受検促進を盛り込んだその他の計画・指針等がある                            |
| →計画・指針の名称 ( )  |
| 2. 肝炎ウイルス検査の受検促進を盛り込んだその他の計画・指針等はない (都道府県のその他の計画・指針等に基づき施策を展開) |

問 4. 貴自治体の肝炎ウイルス検査に関する予算についてうかがいます。

	平成 20 年度	平成 21 年度	平成 22 年度
肝炎ウイルス検査費用	千円	千円	千円
肝炎ウイルス検査にかかる広報・啓発費用 ※切り出して記入できる場合のみ記入	千円	千円	千円

問 5. 貴自治体では、委託医療機関における出張型の検査の実績がありますか。(平成 22 年度)

- |                 |
|-----------------|
| 1. 実績がある→ ( ) 件 |
| 2. 実績がない        |

問 6. 貴自治体での B 型・C 型肝炎ウイルス検査の受検実績についてうかがいます。

(1) B 型肝炎ウイルス検査の実績を年度別に記入してください。

※陽性者数については、把握していない場合、空欄で構いません。

			平成 18 年度	平成 19 年度	平成 20 年度	平成 21 年度	平成 22 年度
健康増進法に 基づく肝 炎 ウイルス検査	①市町村 40 歳検診	対象者	人	人	人	人	人
		受検者	人	人	人	人	人
		うち陽性者	人	人	人	人	人
	②41 歳以上	受検者	人	人	人	人	人
		うち陽性者	人	人	人	人	人
	③市町村独自検診 (若年者等)	受検者	人	人	人	人	人
うち陽性者		人	人	人	人	人	

(2) C 型肝炎ウイルス検査の実績を年度別に記入してください。

※陽性者数については、把握していない場合、空欄で構いません。

			平成 18 年度	平成 19 年度	平成 20 年度	平成 21 年度	平成 22 年度
健康増進法に 基づく肝 炎 ウイルス検査	①市町村 40 歳検診	対象者	人	人	人	人	人
		受検者	人	人	人	人	人
		うち陽性者	人	人	人	人	人
	②41 歳以上	受検者	人	人	人	人	人
		うち陽性者	人	人	人	人	人
	③市町村独自検診 (若年者等)	受検者	人	人	人	人	人
うち陽性者		人	人	人	人	人	

(3) 上記、肝炎ウイルス検査を同一人物が複数回受検しているかどうかについて、貴自治体における確認方法をお答えください (あてはまる番号すべてに○をつけてください)。

- |  |
|--|
| 1. 受検者の自己申告による<br>2. 保健所での受検履歴の確認<br>3. 職域等への調査を実施して確認<br>4. その他 ( ) |
|--|



## (6) 督促はがき

「肝炎検査受検状況実態調査（自治体調査）」  
ご協力のお礼ならびにご回答のお願い

拝啓

時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

過日、ご依頼申し上げました標記調査について、ご回答はいただけましたでしょうか。

すでに回答いただき、ご返送くださいました皆様におかれましては、ご協力を賜りまして、誠にありがとうございました。

まだご回答頂いていない皆様には、回答期限後ではございますが、本調査の趣旨をご理解いただき、ご回答いただきますようお願いいたします。ご返信は調査票に記入の上、同封されております返信用封筒にてご投函くださいますようお願い申し上げます。

本状では、お忙しいところにご協力をいただいたお礼を申し上げます。すでにご回答いただいたご担当者様にもお送りしております。本状がご回答と行き違っておりました場合は、ご容赦いただきますようお願い申し上げます。

敬具

平成 24 年 1 月

【アンケート調査の問合せ先】

株式会社 サーベイリサーチセンター

担当：村木（むらき）、坂本（さかもと）

TEL：0120-223-898（平日9:00~18:00）

【厚生労働省担当】

厚生労働省健康局疾病対策課肝炎対策推進室

西塔（さいとう）、大石（おおいし）



---

# 平成23年度肝炎検査受検状況実態把握事業 事業成果報告書

平成 24 年 3 月

株式会社 サーベイリサーチセンター

(本 社)	〒116-8581	東京都荒川区西日暮里 2-40-10
	TEL 03-3802-6711 (代)	
	FAX 03-3802-6730	
(社会情報部)	〒114-8519	東京都北区田端 1-25-19
	TEL 03-5832-7061	
	FAX 03-5832-7060	

---

本書の記載内容の無断転載を禁ず。